文学部専門科目

史　学　科

（授業科目名五十音順）

科目名	漢文講読入門	後期	演習	2 単位
サブタイトル	漢文を読む基本的スキルの獲得			
担当者	梶木　良夫			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
漢文の基礎的読解力を身につけ、基礎的な歴史史料を読み解く技能と知識を養成する。

[授業概要]
漢文を訓読する能力と歴史史料を読み解く知識の獲得方法を演習形式で身につける。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
授業で示した課題（特に予習）に真摯に対応し、自ら積極的に「学ぶ」姿勢を身につける。

[授業計画]
1. オリエンテーション 「漢文を読む」意義とはなにか。
2.「返り点」を付ける (1)
3.「返り点」を付ける (2)
4.「再読文字」とは (1)
5.「再読文字」とは (2)
6.「漢文」を「書き下し文」に変換する (1)
7.「漢文」を「書き下し文」に変換する (2)
8.「漢文」を読み解く(1)
9.「漢文」を読み解く (2)
10.「漢文」を読み解く(3)
11. 歴史史料としての漢文の読解(1)
12. 歴史史料としての漢文の読解(2)
13. 歴史史料としての漢文の読解(3)
14. 歴史史料としての漢文の読解(4)
15. まとめ

[成績評価方法]
授業内の発表・小テスト：(50%) 学期末試験（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
小テストはコメントを付して返却する。学期末試験はmanabaを通じて講評を行なう。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S54150

科目名	漢文講読入門	後期	演習	2 単位
サブタイトル	漢文を読む基本的スキルの獲得			
担当者	梶木　良夫			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-2／自己の研究課題に関する資史料（文献史料・考古資料・民俗資料など）の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。
成績評価方法：発表・小テスト・学期末試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表・小テスト・学期末試験

[教科書（ISBN）]
『漢文訓読入門』 著者名：古田島洋介・湯城吉信　出版社：明治書院 （978-4-625-73400-7）

[参考書（ISBN）]
『全訳漢辞海』第4版　著者名：戸川 芳郎　出版社：三省堂 （978-4-385-14048-3）

S54150

科目名	漢文講読入門	後期	演習	2 単位
サブタイトル	漢文を読み解く力を身につける			
担当者	鈴木　宏節			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
漢文の基礎的読解力を身につけ、基礎的な歴史史料を読み解く技能と知識を養成する。

[授業概要]
漢文を訓読する能力と歴史史料を読み解く知識の獲得方法を演習形式で身につける。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
授業で示した課題（特に予習）に真摯に対応し、自ら積極的に「学ぶ」姿勢を身につける。

[授業計画]
1. オリエンテーション 「漢文を読む」意義とはなにか。
2.「返り点」を付ける (1)
3.「返り点」を付ける (2)
4.「再読文字」とは　(1)
5.「再読文字」とは　(2)
6.「漢文」を「書き下し文」に変換する (1)
7.「漢文」を「書き下し文」に変換する (2)
8.「漢文」を読み解く(1)
9.「漢文」を読み解く (2)
10.「漢文」を読み解く(3)
11. 歴史史料としての漢文の読解(1)
12. 歴史史料としての漢文の読解(2)
13. 歴史史料としての漢文の読解（3）
14. 歴史史料としての漢文の読解（4）
15. まとめ

[成績評価方法]
授業内の発表・小テスト：（50%） 学期末試験（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
manabaを利用する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	漢文講読入門	後期	演習	2 単位
サブタイトル	漢文を読み解く力を身につける			
担当者	鈴木　宏節			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-2／自己の研究課題に関する資史料（文献史料・考古資料・民俗資料など）の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。
成績評価方法：授業内の発表・小テスト・学期末試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業内の発表・小テスト・学期末試験

[教科書（ISBN）]
『漢文訓読入門』 著者名：古田島洋介・湯城吉信　出版社：明治書院 （978-4-625-73400-7）

[参考書（ISBN）]
『全訳漢辞海』第4版　著者名：戸川 芳郎 （監修）,佐藤 進 （編）,濱口 富士雄 （編）　出版社：三省堂 （978-4-385-14048-3）

S54151

科目名	基礎演習Ⅰ	後期	演習	2 単位
サブタイトル	歴史学へのいざない			
担当者	村田　路人			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
歴史学の分析手法を理解し、歴史学に関する文献の叙述を批判的に読むことができる能力を身につける。

[授業概要]
藤井譲治『シリーズ日本近世史①　戦国乱世から太平の世へ』(岩波新書、2015年)をテキストとし、これを輪読する。毎回、報告担当者が、自身が割り当てられた部分について、内容の要旨および疑問点･問題点を記したレジュメを全員に配布し、これをもとに報告を行う。報告後、授業参加者全員で議論する。
なお、授業期間中に1回、学外の史跡・博物館等の見学を行う。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
報告者は事前にレジュメを作成する。他の受講生も、必ずテキストの当該部分を事前に読んでおくこと。

[授業計画]
1. 授業の進め方
2. 史学科資料室と大学図書館書庫の見学
3. テキストの講読1
4. テキストの講読2
5. テキストの講読3
6. テキストの講読4
7. テキストの講読5
8. 学外の史跡・博物館等の見学
9. テキストの講読6
10. テキストの講読7
11. テキストの講読8
12. テキストの講読9
13. テキストの講読10
14. テキストの講読11
15. テキストの講読12

[成績評価方法]
レポート50%、報告レジュメの内容50%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S53020 [LH1-063]

科目名	基礎演習Ⅰ	後期	演習	2 単位
サブタイトル	歴史学へのいざない			
担当者	村田　路人			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：レポート、報告レジュメの内容

学科DP番号／DP内容：史学2-2／幅広く歴史学上の専門書や学術論文を精読し、研究上の課題を主体的に発見する能力を有している。
成績評価方法：レポート、報告レジュメの内容

学科DP番号／DP内容：史学2-5／演習の研究発表ならびに授業のレポートや卒業論文の作成を通じて、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を有している。
成績評価方法：レポート、報告レジュメの内容

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート、報告レジュメの内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：レポート、報告レジュメの内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：レポート、報告レジュメの内容

[教科書（ISBN）]
『シリーズ日本近世史①　戦国乱世から太平の世へ』 著者名：藤井譲治　出版社：岩波書店（岩波新書）（978-4-00-431522-3）

[参考書（ISBN）]
授業中に適宜紹介する

S53020 [LH1-063]

科目名	基礎演習Ⅰ	後期	演習	2 単位
サブタイトル	歴史を学ぶ「知」を高める			
担当者	梶木　良夫			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
歴史を学びとる基礎的力量を養う。

[授業概要]
この授業では、卒業論文を作成するための基礎的技能、「調べる力・発表する力・まとめる力」を身につけることを目的とする。発表者は内容に即して検討すべき「問題」を発見し、「調査」して議論の材料を提起する。受講者は、それをもとに自由に意見を述べあい、興味深い箇所や疑問点を共に発見しながら、歴史学研究の基本的な方法を身につけるという方法をとる。
受講に際しては、幅広い問題関心と柔軟な思考と意欲ある態度を希望する。なお、受講生各自の問題関心は、発表後の作業も付け加えてレポートを作成し提出してもらう。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
テキストから読み取った内容を、どれだけ興味深く伝えられるかを、自らの準備や他のゼミメンバーの報告を参考に仕上げてゆくよう努める。

[授業計画]
1. オリエンテーション　授業内容と到達目標の設定
2.「調べる」 知的関心をたかめる (1)
3.「調べる」 知的関心をたかめる (2)
4.「レジュメを作成する」 調べた内容をまとめる (1)
5.「レジュメを作成する」 調べた内容をまとめる (2)
6.「発表する」 討論の素材を提供する (1)
7.「発表する」 討論の素材を提供する (2)
8. 分担発表と意見交換 (1)
9. 分担発表と意見交換 (2)
10. 分担発表と意見交換 (3)
11. 分担発表と意見交換 (4)
12. 分担発表と意見交換 (5)
13. 分担発表と意見交換 (6)
14. 発表内容を「まとめる」
15. 成果と課題を確認しよう

[成績評価方法]
授業の準備状況、作成レジュメ、報告、質疑応答（60%）レポート（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポート課題の講評結果をmanabaで周知し、専門演習を選択する際に必要な知識や知的関心の集積に結びつく助言を行なう。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	基礎演習Ⅰ	後期	演習	2 単位
サブタイトル	歴史を学ぶ「知」を高める			
担当者	梶木　良夫			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-2／自己の研究課題に関する資史料（文献史料・考古資料・民俗資料など）の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。
成績評価方法：作成レジュメ・報告・質疑応答・レポート

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：作成レジュメ・報告・質疑応答・レポート

学科DP番号／DP内容：史学2-2／幅広く歴史学上の専門書や学術論文を精読し、研究上の課題を主体的に発見する能力を有している。
成績評価方法：作成レジュメ・報告・質疑応答・レポート

学科DP番号／DP内容：史学2-5／演習の研究発表ならびに授業のレポートや卒業論文の作成を通じて、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を有している。
成績評価方法：作成レジュメ・報告・質疑応答・レポート

学科DP番号／DP内容：史学3-1／演習形式の授業に積極的に取り組み、主体的に自己の課題を発見かつ解決できる能力を有している。
成績評価方法：作成レジュメ・報告・質疑応答・レポート

学科DP番号／DP内容：史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法：作成レジュメ・報告・質疑応答・レポート

学科DP番号／DP内容：史学3-3／演習や実習を通じて、他者を主導しつつ、共に課題の解決を図ろうとする対話力と協働性を有している。
成績評価方法：報告・質疑応答

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：報告、質疑応答

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：作成レジュメ・報告・質疑応答・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：作成レジュメ・報告・質疑応答・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：作成レジュメ・報告・質疑応答・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：作成レジュメ・報告・質疑応答・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：作成レジュメ・報告・質疑応答・レポート

[教科書（ISBN）]
『中世の罪と罰』（講談社学術文庫）　著者名：網野善彦ほか　出版社：講談社学術文庫　（978-4-06-517869-0）

[参考書（ISBN）]
なし。授業中に適宜、紹介する。

科目名	基礎演習Ⅰ	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	山内　晋次			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
専門的な歴史学を学ぶための基礎的な技能や方法論を身につける。

[授業概要]
受講者各自が国内・国外で興味・関心をもっている地域を選び、その地域における歴史の展開を自身で調べ、輪番で口頭発表をおこなう。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
本学の附属図書館や近隣の公立図書館の歴史コーナーに頻繁に足を運び、自分の主たる関心分野以外のものについても、さまざまな架蔵書を手に取り、内容を確認しておく。

[授業計画]
1. ガイダンス
2.「調べる」方法
3.「まとめる」方法
4.「発表する」方法
5. 口頭発表・質疑応答（1）
6. 口頭発表・質疑応答（2）
7. 口頭発表・質疑応答（3）
8. 口頭発表・質疑応答（4）
9. 口頭発表・質疑応答（5）
10. 口頭発表・質疑応答（6）
11. 口頭発表・質疑応答（7）
12. 口頭発表・質疑応答（8）
13. 口頭発表・質疑応答（9）
14. 口頭発表・質疑応答（10）
15. まとめ

[成績評価方法]
発表・質疑の内容および受講態度を総合的に評価する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	基礎演習Ⅰ	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	山内　晋次			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：報告・質疑の内容、受講態度

学科DP番号／DP内容：史学1-2／自己の研究課題に関する資史料（文献史料・考古資料・民俗資料など）の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。
成績評価方法：報告・質疑の内容、受講態度

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：報告・質疑の内容、受講態度

学科DP番号／DP内容：史学2-2／幅広く歴史学上の専門書や学術論文を精読し、研究上の課題を主体的に発見する能力を有している。
成績評価方法：報告・質疑の内容、受講態度

学科DP番号／DP内容：史学2-3／課題解決のために必要な資史料を的確に見きわめることができ、客観的に事実を見定める判断力を有している。
成績評価方法：報告・質疑の内容、受講態度

学科DP番号／DP内容：史学2-5／演習の研究発表ならびに授業のレポートや卒業論文の作成を通じて、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を有している。
成績評価方法：報告・質疑の内容、受講態度

学科DP番号／DP内容：史学3-1／演習形式の授業に積極的に取り組み、主体的に自己の課題を発見かつ解決できる能力を有している。
成績評価方法：報告・質疑の内容、受講態度

学科DP番号／DP内容：史学3-3／演習や実習を通じて、他者を主導しつつ、共に課題の解決を図ろうとする対話力と協働性を有している。
成績評価方法：報告・質疑の内容、受講態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：報告・質疑の内容、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：報告・質疑の内容、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：報告・質疑の内容、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：報告・質疑の内容、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：報告・質疑の内容、受講態度

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
なし

S53023 [LH1-063]

科目名	基礎演習Ⅰ	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	吉村　真美			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
入門演習よりも専門性の高い、史学科学生として必要な基礎的な知識・技能を習得する。

[授業概要]
文献調査・報告資料の作成など、卒業論文執筆の際に必要とされる基礎的な知識・技能の習得にむけての指導を行う。具体的には、各自が西洋史上の人物1名を選択し、その人物についての口頭発表を目的とした作業にとりくむ。関連の課題の提出も義務付ける。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
授業での指示に従って、各自の報告のための作業を準備として行うこと。また、他の学生の報告回に際しては、そのテーマについての基礎的な予備知識を得て報告にのぞむこと。

[授業計画]
1. はじめに～授業の目的と進行について スケジュール
2. 演習(1)ものを調べる①
3. 演習(2)ものを調べる②
4. 演習(3)考えをまとめる①
5. 演習(4)考えをまとめる②
6. 演習(5)わかりやすく伝える①
7. 演習(6)わかりやすく伝える②
8. 口頭発表・質疑応答(1)
9. 口頭発表・質疑応答(2)
10. 口頭発表・質疑応答(3)
11. 口頭発表・質疑応答(4)
12. 口頭発表・質疑応答(5)
13. 口頭発表・質疑応答(6)
14. 課題報告
15. おわりに

[成績評価方法]
課題および課題の口頭発表の内容(60%)、質疑応答への参加状況など授業参加の積極性(40%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	基礎演習Ⅰ	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	吉村　真美			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:史学1-2／自己の研究課題に関する資史料(文献史料・考古資料・民俗資料など)の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。
成績評価方法:課題

学科DP番号／DP内容:史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法:課題

学科DP番号／DP内容:史学2-2／幅広く歴史学上の専門書や学術論文を精読し、研究上の課題を主体的に発見する能力を有している。
成績評価方法:課題

学科DP番号／DP内容:史学2-3／課題解決のために必要な資史料を的確に見きわめることができ、客観的に事実を見定める判断力を有している。
成績評価方法:課題

学科DP番号／DP内容:史学2-4／読解した資史料を論理的に分析し、卒業論文の作成を通して自己の課題を解決していく能力を有している。
成績評価方法:課題

学科DP番号／DP内容:史学2-5／演習の研究発表ならびに授業のレポートや卒業論文の作成を通じて、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を有している。
成績評価方法:課題

学科DP番号／DP内容:史学3-1／演習形式の授業に積極的に取り組み、主体的に自己の課題を発見かつ解決できる能力を有している。
成績評価方法:課題

学科DP番号／DP内容:史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法:課題

学科DP番号／DP内容:史学3-3／演習や実習を通じて、他者を主導しつつ、共に課題の解決を図ろうとする対話力と協働性を有している。
成績評価方法:課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:課題

[教科書(ISBN)]
なし

[参考書(ISBN)]
適宜指示する。

科目名	基礎演習Ⅰ	後期		2 単位
サブタイトル	ライフヒストリーを読む			
担当者	川森　博司			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
「身の回りの歴史」に対する感覚を身につけ、自分なりの歴史に対するスタンスの取り方を考えていけるようになることを授業の到達目標とする。

[授業概要]
　人々の日常生活の細部の具体的な様相や人々の具体的な意識のありようを知るためには、さまざまな生活記録類を史料として活用していく必要がある。この演習では、宮本常一の『忘れられた日本人』をテキストとして、そこから何を読み取ることができるかを検討していく。そして、その中で「身の回りの歴史」に対する感覚を身につけ、自分なりの歴史に対するスタンスの取り方を考えていけるようになることを目ざして授業を進める。受講生は事前に割り当てられた部分について、内容を検討し、報告する。報告の後、受講生相互に討論をおこなうことにより、問題点の理解を深める。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
教科書の該当部分を予習・復習すること。

[授業計画]
1. 民俗学とライフヒストリー
2. 対馬の旅
3. 村の寄りあい
4. 山村の生活をめぐる対話
5. 子供の生活
6. 女の世間
7. 漂泊者の生活
8. 農民の生活
9. 漁師の生涯
10. 祖父と孫
11. 世間師(1)
12. 世間師(2)
13. 文字をもつ伝承者(1)
14. 文字をもつ伝承者(2)
15. まとめ

[成績評価方法]
学習態度（70%）と期末レポート（30%）を合わせて評価する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	基礎演習Ⅰ	後期		2 単位
サブタイトル	ライフヒストリーを読む			
担当者	川森　博司			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：課題報告

学科DP番号／DP内容：史学3-1／演習形式の授業に積極的に取り組み、主体的に自己の課題を発見かつ解決できる能力を有している。
成績評価方法：課題報告

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：課題報告

[教科書（ISBN）]
『忘れられた日本人』（岩波文庫）　著者名：宮本常一　出版社：岩波書店　(978-4003316412)

[参考書（ISBN）]
なし

S53026 [LH1-063]

科目名	基礎演習Ⅰ	後期		2 単位
サブタイトル	日本近現代史における主な人物・事件			
担当者	松下　孝昭			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
日本近現代史に登場する主な人物もしくは事件について詳しく調べ、レジュメを作成して研究発表をした上で、他の参加者との質疑応答が積極的にできるようになること、すなわち演習形式の授業に慣れることが目標である。

[授業概要]
少人数による演習形式の授業の履修を通して、日本近現代史に関する現在の研究状況を把握してもらうことを目的に開講される演習である。具体的には、日本近現代史に関する人物や事件などの中から、各自の関心に従ってテーマを設定し、それを徹底的に調べたうえで、研究発表を行ってもらう。発表者は、前半の45分間で調べてきたことを発表し、残り45分間で参加者全員による質疑応答を行う。したがって、日本近現代史に関心を有する者の意欲的な参加が求められる。自分でテーマを立てること、そのテーマに関する研究を自分で進めること、発表に創意工夫をこらすこと、質疑応答に積極的に加わることの４点が評価のポイントとなる。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
日本近現代史における様々なテーマに対して深い興味を示し、概説書などで基礎的な知識を身につけておく準備姿勢が必要である。

[授業計画]
1. 日本近現代史に関する各自の問題関心の披露と発表順の決定
2. 日本近現代史の研究状況について（講義）
3. 日本近現代史に関する資料の調べ方
4. 各自の発表1
5. 各自の発表2
6. 各自の発表3
7. 各自の発表4
8. 各自の発表5
9. 中間的なまとめ（これまでの発表の批判と反省）
10. 各自の発表6
11. 各自の発表7
12. 各自の発表8
13. 各自の発表9
14. 各自の発表10
15. 総括的な質疑応答

[成績評価方法]
受講状況（50%）、発表内容（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中あるいは終了時を利用して適宜フィードバックする。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	基礎演習Ⅰ	後期		2 単位
サブタイトル	日本近現代史における主な人物・事件			
担当者	松下　孝昭			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性

学科DP番号／DP内容：史学2-2／幅広く歴史学上の専門書や学術論文を精読し、研究上の課題を主体的に発見する能力を有している。
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性

学科DP番号／DP内容：史学2-5／演習の研究発表ならびに授業のレポートや卒業論文の作成を通じて、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を有している。
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性

学科DP番号／DP内容：史学3-1／演習形式の授業に積極的に取り組み、主体的に自己の課題を発見かつ解決できる能力を有している。
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性

学科DP番号／DP内容：史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性

学科DP番号／DP内容：史学3-3／演習や実習を通じて、他者を主導しつつ、共に課題の解決を図ろうとする対話力と協働性を有している。
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
なし

科目名	基礎演習Ⅰ	後期	演習	2 単位
サブタイトル	歴史学とアジア史の基礎を学ぶ			
担当者	鈴木　宏節			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
歴史学やアジアについて理解を深めるとともに、史学演習を受講するのに必要な知識と学力を養成する。

[授業概要]
歴史学やアジアについての知見を広げるため、概説書を講読してゆく。担当者は分担部分を調査したうえ、レジュメ(概要)を作成し口頭報告をおこなう。演習では教員・報告者とともに全員で討論する形式をとる。歴史学やアジア史における問題点を把握し、各自の興味関心を明確にすることをめざす。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
歴史研究の方法論を身につけるため、入門書ないし入門論文を輪読する。 少人数の演習方式で、関係する文献を探し、工具書を使って予習する。

[授業計画]
【全て遠隔授業】
1. 授業ガイダンス
2. 演習発表の基礎(1)リーディング篇
3. 演習発表の基礎(2)レジュメ篇
4. 文献講読とディスカッション(1)
5. 文献講読とディスカッション(2)
6. 文献講読とディスカッション(3)
7. 文献講読とディスカッション(4)
8. 文献講読とディスカッション(5)
9. 歴史学のフィールド
10. 文献講読とディスカッション(6)
11. 文献講読とディスカッション(7)
12. 文献講読とディスカッション(8)
13. 文献講読とディスカッション(9)
14. 文献講読とディスカッション(10)
15. まとめ

[成績評価方法]
受講態度(50%)＋レポート(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
manabaのアンケート機能を使用し質疑応答をおこなう。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	基礎演習Ⅰ	後期	演習	2 単位
サブタイトル	歴史学とアジア史の基礎を学ぶ			
担当者	鈴木　宏節			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学2-2／幅広く歴史学上の専門書や学術論文を精読し、研究上の課題を主体的に発見する能力を有している。
成績評価方法：受講態度・レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：受講態度・レポート

[教科書（ISBN）]
プリントを配布する。

[参考書（ISBN）]
授業中に紹介する。

S53028 [LH1-063]

科目名	基礎演習Ⅱ	前期	演習	2 単位
サブタイトル	民俗誌を読む			
担当者	川森　博司			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
「身の回りの歴史」に対する感覚を身につけ、自分なりの歴史に対するスタンスの取り方を考えていけるようになることを授業の到達目標とする。

[授業概要]
人々の日常生活の細部の具体的な様相や人々の具体的な意識のありようを知るためには、さまざまな生活記録類を史料として活用していく必要がある。この演習では、宮本常一の『家郷の訓』を基本テキストとして、そこから何を読み取ることができるかを検討していく。そして、その中で「身の回りの歴史」に対する感覚を身につけ、自分なりの歴史に対するスタンスの取り方を考えていけるようになることを目ざして授業を進める。受講生は事前に割り当てられた部分について、内容を検討し、報告する。報告の後、受講生相互に討論をおこなうことにより、問題点の理解を深める。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
教科書の該当部分を予習・復習すること。

[授業計画]
1. 宮本常一の民俗学について
2. 周防大島について
3. 女中奉公
4. 村の寄り合い
5. 年寄と孫
6. へそくりの行方
7. 母親の心
8. 夫と妻
9. 母親の躾
10. 父親の躾
11. 生育の祝い
12. 子供の遊び
13. 子供仲間
14. 若者組
15. まとめ

[成績評価方法]
学習態度（70%）と期末レポート（30%）を合わせて評価する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	基礎演習Ⅱ	前期	演習	2 単位
サブタイトル	民俗誌を読む			
担当者	川森　博司			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学2-3／課題解決のために必要な資史料を的確に見きわめることができ、客観的に事実を見定める判断力を有している。
成績評価方法：課題報告

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：課題報告

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：課題報告

[教科書（ISBN）]
『家郷の訓』（岩波文庫）　著者名：宮本常一　出版社：岩波書店　（978-4003316429　）

[参考書（ISBN）]
なし

S53040 [LH2-076]

科目名	基礎演習Ⅱ	前期	演習	2 単位
サブタイトル	アジア史の基礎を学ぶ			
担当者	鈴木　宏節			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
アジアについて理解を深めるとともに、史学演習を受講するのに必要な知識と学力を養成する。

[授業概要]
アジアについての知見を広げるとともに、基本的な史料の講読をおこなう。各自の興味関心の対象が世界史ないしアジア史のなかでどのような意味をもつのかを明確にする。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
歴史研究の方法論を身につけるため、基本的な概説論文を輪読する。 また、文献史料（漢文）を講読する。少人数の演習方式で、関係する専門書や研究書、論文を探し、工具書を使って予習する。

[授業計画]
1. 授業ガイダンス
2. アジアの基礎知識(1)
3. アジアの基礎知識(2)
4. 文献講読とディスカッション(1)
5. 文献講読とディスカッション(2)
6. 文献講読とディスカッション(3)
7. 文献講読とディスカッション(4)
8. 漢文史料の基礎知識(1)
9. 漢文史料の基礎知識(2)
10. 史料講読(1)
11. 史料講読(2)
12. 史料講読(3)
13. 史料講読(4)
14. 史料講読(5)
15. まとめ

[成績評価方法]
受講態度（50%）＋レポート（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
manabaのアンケート機能で質疑応答をおこなう。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	基礎演習Ⅱ	前期	演習	2 単位
サブタイトル	アジア史の基礎を学ぶ			
担当者	鈴木　宏節			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学2-2／幅広く歴史学上の専門書や学術論文を精読し、研究上の課題を主体的に発見する能力を有している。
成績評価方法：受講態度・レポート

学科DP番号／DP内容：史学2-3／課題解決のために必要な資史料を的確に見きわめることができ、客観的に事実を見定める判断力を有している。
成績評価方法：受講態度・レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：受講態度・レポート

[教科書（ISBN）]
『漢文を読むための助字小字典』 著者名：三浦勝利　出版社：内山書店 （9784900196124）

[参考書（ISBN）]
授業中に紹介する。

S53041 [LH2-076]

科目名	基礎演習Ⅱ	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	寺沢　知子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
考古学的な方法論の基礎を習得し、関連論文を読める力を養う。

[授業概要]
日本考古学の基礎を学びながら、考古学の手法で、歴史を研究する基礎を習得できるように指導したい。
各自が、興味にそったテーマを決めてまず発表する。発表者はテーマについて、なぜそのテーマを選んだかということを含めて、レジュメを作成して発表する。発表者以外もそのテーマについて事前に調べ、簡単なレポートとしてまとめ、質問することを記述して同時に提出する。
このようなゼミスタイルによって、各自の個別テーマでの発表であっても、ゼミ生全員が一つのテーマについて問題意識を共有して活発な討論が可能となる。発表者はこの疑問に答え、問題が残れば、次週までに調べて発表する。
全国紙の新聞1面に掲載の考古学の記事は、かならずチェックすることを義務づけ、記事についてのコメントが述べられることを日常的な課題としたい。また関連遺跡の見学も実施する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
発表者はレジュメ作成も含めて準備をする。発表者以外も予告されたテーマについて、調べてきたことを簡単なレポートとして提出する。質問事項も必ず記載しなけらばならない。

[授業計画]
【全て遠隔授業】
1. 基礎演習の取り組み方
2. 考古学の編年について
3. 考古学研究の基本手法
4. 各自のテーマの発表
5. 各自のテーマについて分担発表と討論①
6. 各自のテーマについて分担発表と討論②
7. 各自のテーマについて分担発表と討論③
9. 各自のテーマについての分担発表と討論④
10. 各自のテーマについての分担発表と討論⑤
11. 各自のテーマについての分担発表と討論⑥
12. 関連遺跡の見学①
13. 関連遺跡の見学②
14. 発表内容についての指導
15. 発表内容のまとめ

[成績評価方法]
発表内容（50%）・受講態度（30%）・レポート（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
演習中にレジュメやまとめの方法について、適宜指導する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S53043 [LH2-076]

科目名	基礎演習Ⅱ	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	寺沢　知子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：発表内容・レポート課題

学科DP番号／DP内容：史学1-2／自己の研究課題に関する資史料（文献史料・考古資料・民俗資料など）の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。
成績評価方法：発表内容・レポート課題

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：発表内容・レポート課題

学科DP番号／DP内容：史学2-2／幅広く歴史学上の専門書や学術論文を精読し、研究上の課題を主体的に発見する能力を有している。
成績評価方法：発表内容・レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：課題の発表内容・レポート課題

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
適宜指示する。

S53043 [LH2-076]

科目名	基礎演習Ⅱ	前期	演習	2 単位
サブタイトル	日本近現代史における主な人物・事件			
担当者	松下　孝昭			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
日本近現代史に登場する主な人物もしくは事件について詳しく調べ、レジュメを作成して研究発表をした上で、他の参加者との質疑応答が積極的にできるようになること、すなわち演習形式の授業に慣れることが目標である。

[授業概要]
少人数による演習形式の授業の履修を通して、日本近現代史に関する現在の研究状況を把握してもらうことを目的に開講される演習である。具体的には、日本近現代史に関する人物や事件などの中から、各自の関心に従ってテーマを設定し、それを徹底的に調べたうえで、研究発表を行ってもらう。発表者は、前半の45分間で調べてきたことを発表し、残り45分間で参加者全員による質疑応答を行う。したがって、日本近現代史に関心を有する者の意欲的な参加が求められる。自分でテーマを立てること、そのテーマに関する研究を自分で進めること、発表に創意工夫をこらすこと、質疑応答に積極的に加わることの４点が評価のポイントとなる。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
日本近現代史における様々なテーマに対して深い興味を示し、概説書などで基礎的な知識を身につけておく準備姿勢が必要である。

[授業計画]
【全て遠隔授業】
1. 日本近現代史に関する各自の問題関心の披露と発表順の決定
2. 日本近現代史の研究状況について（講義）
3. 日本近現代史に関する資料の調べ方
4. 各自の発表1
5. 各自の発表2
6. 各自の発表3
7. 各自の発表4
8. 各自の発表5
9. 中間的なまとめ（これまでの発表の批判と反省）
10. 各自の発表6
11. 各自の発表7
12. 各自の発表8
13. 各自の発表9
14. 各自の発表10
15. 総括的な質疑応答

[成績評価方法]
受講状況（50%）、発表内容（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中あるいは終了時を利用して適宜フィードバックする。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	基礎演習Ⅱ	前期	演習	2 単位
サブタイトル	日本近現代史における主な人物・事件			
担当者	松下　孝昭			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：発表内容

学科DP番号／DP内容：史学2-2／幅広く歴史学上の専門書や学術論文を精読し、研究上の課題を主体的に発見する能力を有している。
成績評価方法：発表内容

学科DP番号／DP内容：史学2-5／演習の研究発表ならびに授業のレポートや卒業論文の作成を通じて、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を有している。
成績評価方法：発表内容

学科DP番号／DP内容：史学3-1／演習形式の授業に積極的に取り組み、主体的に自己の課題を発見かつ解決できる能力を有している。
成績評価方法：受講状況、発表内容

学科DP番号／DP内容：史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法：受講状況、発表内容

学科DP番号／DP内容：史学3-3／演習や実習を通じて、他者を主導しつつ、共に課題の解決を図ろうとする対話力と協働性を有している。
成績評価方法：受講状況、発表内容

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：受講状況・発表内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：受講状況・発表内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：受講状況・発表内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：発表内容

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
適宜指示する。

科目名	現代社会	前期	講義	2 単位
サブタイトル	現代社会への歴史的視座			
担当者	川森　博司			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
現代社会の位置づけを把握し、現代社会が直面している課題を認識する。

[授業概要]
近代化のプロセスの結果として現代社会を位置づけ、近代化の光と影を具体的に学習した後に、地域づくり、少子高齢化社会における生きがいなどのテーマについて講義をおこなう。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
講義中の指示にしたがって、予習・復習をおこなうこと。

[授業計画]
1. 導入―現代社会を論じるために
2. 近代化の光と影
3. 現代社会の位置づけ
4. 柳田国男の社会構想
5. 日本の農村社会
6. 過渡期の認識と「都市」の発見
7. ふるさとイメージと開かれた土着思想
8. モダニティと現代民俗誌
9. 現代市民社会における民俗調査
10. 観光と現代社会
11. 宮本常一における旅と観光
12. 地域づくりと観光
13. 少子高齢化と女性のライフコース
14. 現代社会と生きがい論・幸福論
15. まとめ

[成績評価方法]
試験

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S54090

科目名	現代社会	前期	講義	2 単位
サブタイトル	現代社会への歴史的視座			
担当者	川森　博司			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：筆記試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：筆記試験

[教科書（ISBN）]
授業中に適宜資料を配付する。

[参考書（ISBN）]
社会学入門　人間と社会の未来　著者名：見田宗介　出版社：岩波書店（9784004310099）

S54090

科目名	古文書講読Ⅰ	前期	演習	2 単位
サブタイトル	近世古文書を読む			
担当者	村田　路人			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
以下の3点を到達目標とする。
①基本的なくずし字で書かれた近世古文書については、ほぼ解読することができる。
②歴史学の研究における史料の位置づけについて理解できる。
③近世古文書の文化財的価値およびその保存のあり方について理解できる。

[授業概要]
この授業では古文書テキスト（近世古文書の写真版またはコピー）を毎回読んでいく。授業の後半には、一部原物文書も使用する。履修生は、授業を通して、基本的な近世古文書の解読能力を修得するとともに、近世社会の実態、近世古文書と近世史研究との関係、近世古文書の文化財としての側面などについて理解を深めることになる。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
近世古文書に限らず、くずし字の解読能力を身につけるためには、まず、授業の前に必ず予習（最低1時間）をし、授業後は必ず復習（最低1時間）をしなければならない。これとあわせ、それまでの授業で取り上げた古文書テキストを、毎日繰り返し復習することも必要である。継続と繰り返しが上達の早道である。

[授業計画]
1. ガイダンス（授業の進め方、辞書の利用方法等についての説明）
2. 近世古文書の解読1
3. 近世古文書の解読2
4. 近世古文書の解読3
5. 近世古文書の解読4
6. 近世古文書の解読5
7. 近世古文書の解読6
8. 近世古文書の解読7
9. 近世古文書の解読8
10. 近世古文書の解読9
11. 近世古文書の解読10
12. 近世古文書の解読11
13. 近世古文書の解読12
14. 近世古文書の原物に触れる1
15. 近世古文書の原物に触れる2

[成績評価方法]
受講態度30%、試験70%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	古文書講読Ⅰ	前期	演習	2 単位
サブタイトル	近世古文書を読む			
担当者	村田　路人			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-2／自己の研究課題に関する資史料（文献史料・考古資料・民俗資料など）の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。
成績評価方法：受講態度、試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：受講態度、試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：受講態度、試験

[教科書（ISBN）]
古文書の写真のコピー（授業中に配布）
『増訂近世古文書解読字典』（これもテキストなので、必ず購入すること）　著者名：林英夫監修、若尾俊平・浅見恵・西口雅子編　出版社：柏書房（1972年）（4760100032）

[参考書（ISBN）]
授業中に適宜紹介する

科目名	古文書講読Ⅱ	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	尾﨑　真理			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
以下の3点を到達目標とする。
①基本的なくずし字で書かれた近世古文書については、ほぼ解読することができる。
②歴史学の研究における史料の位置づけについて理解できる。
③近世古文書の文化財的価値およびその保存のあり方について理解できる。

[授業概要]
古文書講読Ⅰ(前期)で習得した古文書読解力に基づき、この授業では中級レベルの古文書テキスト(近世古文書の写真版またはコピー)を毎回読んでいく。一部原物文書も使用し、古文書を含めた文化財の扱い方についても説明する。履修生は、授業を通して、基本的な近世古文書の解読能力を修得するとともに、近世社会の実態、近世古文書と近世史研究との関係、近世古文書の文化財としての側面などについて理解を深めることになる。
この授業は前期の古文書講読Ⅰの続きとして実施する。受講生は前期の古文書講読Ⅰを受講することが強く望まれる。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
近世古文書に限らず、くずし字の解読能力を身につけるためには、まず、授業の前に必ず予習(最低1時間)をし、授業後は必ず復習(最低1時間)をしなければならない。これとあわせ、それまでの授業で取り上げた古文書テキストを、毎日繰り返し復習することも必要である。継続と繰り返しが上達の早道である。

[授業計画]
1. ガイダンス(授業の進め方、辞書の利用方法等についての説明)
2. 近世古文書の解読1
3. 近世古文書の解読2
4. 近世古文書の解読3
5. 近世古文書の解読4
6. 近世古文書の解読5
7. 近世古文書の解読6
8. 近世古文書の解読7
9. 近世古文書の解読8
10. 近世古文書の解読9
11. 近世古文書の解読10
12. 近世古文書の解読11
13. 近世古文書の解読12
14. 近世古文書の解読13
15. 近世古文書の解読14

[成績評価方法]
受講態度30%、試験70%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	古文書講読Ⅱ	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	尾﨑　真理			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-2／自己の研究課題に関する資史料（文献史料・考古資料・民俗資料など）の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。
成績評価方法：受講態度、試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：受講態度、試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：受講態度、試験

[教科書（ISBN）]
古文書の写真のコピー（授業中に配布）
『増訂近世古文書解読字典』（これもテキストなので、必ず購入すること）　著者名：林英夫監修、若尾俊平・浅見恵・西口雅子編　出版社：柏書房（1972年）（4760100032）

[参考書（ISBN）]
授業中に適宜紹介する。

S51130 [LH2-062]

科目名	史学演習Ⅰ	後期	演習	2 単位
サブタイトル	フィールドワークと近世史料講読			
担当者	村田　路人			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
以下の4点を到達目標とする。①自身で研究テーマを設定し、自ら考えた方法によってその課題を解き、適切な解答を得る能力を身につける、②課題設定・課題追究のプロセスをわかりやすく発表する能力を身につける、③近世史料の読解力を身につける、④日本近世の特質について理解する。

[授業概要]
前半はフィードワークで訪れた史跡に関わるテーマについて、受講生各自が研究成果を報告する(A)。後半は、荻生徂徠『政談』を輪読する(B)。Aでは、1回につき2人が報告する。Bの報告者は、自身が割り当てられた部分について、①語句の意味、②現代語訳、③解説、を記したレジュメを全員に配布し、①②③の順に報告を行う。報告担当者以外の受講生も、事前に①②について準備をしておき、授業に臨む。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
ABとも、報告者は事前にレジュメを作成する。Bについては、報告担当者以外の受講生も、関係部分についてのレジュメを作成する。

[授業計画]
1. 授業のねらいと進め方
2. フィールドワーク①
3. フィールドワーク②
4. 研究報告の方法
5. 学生による研究報告1
6. 学生による研究報告2
7. 学生による研究報告3
8. 学生による研究報告4
9. 学生による研究報告5
10. 学生による研究報告6
11. 荻生徂徠『政談』の講読1
12. 荻生徂徠『政談』の講読2
13. 荻生徂徠『政談』の講読3
14. 荻生徂徠『政談』の講読4
15. 荻生徂徠『政談』の講読5

[成績評価方法]
発表レジュメの内容70%、受講態度30%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	史学演習Ⅰ	後期	演習	2 単位
サブタイトル	フィールドワークと近世史料講読			
担当者	村田　路人			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-2／自己の研究課題に関する資史料（文献史料・考古資料・民俗資料など）の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。
成績評価方法：発表レジュメの内容、受講態度

学科DP番号／DP内容：史学2-4／読解した資史料を論理的に分析し、卒業論文の作成を通して自己の課題を解決していく能力を有している。
成績評価方法：発表レジュメの内容、受講態度

学科DP番号／DP内容：史学2-5／演習の研究発表ならびに授業のレポートや卒業論文の作成を通じて、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を有している。
成績評価方法：発表レジュメの内容、受講態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表レジュメの内容、受講態度

[教科書（ISBN）]
プリントを配布する

[参考書（ISBN）]
授業中に適宜紹介する

科目名	史学演習Ⅰ	後期	演習	2 単位
サブタイトル	歴史研究の基礎を身につける			
担当者	梶木　良夫			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
卒業論文作成に際し必要とされる基礎的作業能力の修得を目的とする。

[授業概要]
卒論は、先ず「自分の興味や関心が何か」を明確にすることから始まる。そのため、(1)現時点での受講生の興味・関心を確認するために文献探索の初歩的手続きを学ぶ。(2)日本中世史の基礎文献を読み解くトレーニングを行なう。(3)史料の輪読を通して、関連するデータ検索のスキル獲得をめざす。(4)関心あるテーマの手がかりとなる論文を読む。分担報告の際はレジュメを作成し、また互いに該当資料や論文を事前に読み、議論に参加することを義務づける。さらに報告内容や報告後に検討した点を学期末のレポートにまとめて提出してもらう。なお、フィールドワークや博物館展示の見学を適宜、実施する。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
研究文献や史料は、分担報告者であるか否かに関わらず、丁寧に読み解くことを強く求める。その際に生じた疑問点や興味深い点を、ゼミメンバー全員で共有して、相互の理解を深められるよう準備することが望ましい。

[授業計画]
1. 日本中世史を学ぶにあたって(1)
2. 日本中世史を学ぶにあたって(2)
3. 日本中世史を学ぶにあたって(3)
4. 文献演習(基礎)(1)
5. 文献演習(基礎)(2)
6. 文献演習(基礎)(3)
7. 文献演習(基礎)(4)
8. 史料演習(1)
9. 史料演習(2)
10. 史料演習(3)
11. 史料演習(4)
12. 文献演習(1)
13. 文献演習(2)
14. 文献演習(3)
15. まとめ－春期休暇の課題設定－

[成績評価方法]
レポート(60%)授業の準備状況、提出レジュメ、報告、質疑応答(40%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
manabaレポートのコメント機能を使用。提出レポートの問題点を指摘し、春季休暇中に取り組むべき課題を提示する。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	史学演習Ⅰ	後期	演習	2 単位
サブタイトル	歴史研究の基礎を身につける			
担当者	梶木　良夫			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

学科DP番号／DP内容:史学1-2／自己の研究課題に関する資史料(文献史料・考古資料・民俗資料など)の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

学科DP番号／DP内容:史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

学科DP番号／DP内容:史学2-2／幅広く歴史学上の専門書や学術論文を精読し、研究上の課題を主体的に発見する能力を有している。
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

学科DP番号／DP内容:史学2-5／演習の研究発表ならびに授業のレポートや卒業論文の作成を通じて、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を有している。
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

学科DP番号／DP内容:史学3-1／演習形式の授業に積極的に取り組み、主体的に自己の課題を発見かつ解決できる能力を有している。
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

学科DP番号／DP内容:史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

学科DP番号／DP内容:史学3-3／演習や実習を通じて、他者を主導しつつ、共に課題の解決を図ろうとする対話力と協働性を有している。
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:報告、質疑応答

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

[教科書(ISBN)]
『中世史講義　―院政期から戦国時代まで』 著者名:高橋典幸、五味文彦編　出版社:ちくま新書1378 (978-4-480-07199-6)

[参考書(ISBN)]
なし。授業中に適宜、紹介する。

科目名	史学演習Ⅰ	後期	演習	2 単位
サブタイトル	民俗学の基礎を学ぶ			
担当者	川森　博司			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
民間伝承の資料から庶民の生活を読み取る視点を獲得する。

[授業概要]
現代における民俗学研究の枠組みをテーマ別に概観しながら、どのような研究課題があり、それに対してどのような研究方法があるのかを検討していく。
民俗学の学習において一番大切なのは、生活の実感を踏まえた理解である。日々の生活に視点を置いて見えてくることの面白さを実感してもらい、そのような実感を踏まえて、民俗学の視点から歴史を見ていく方法を身につけることを目ざしたい。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
教科書にもとづいて、しっかり予習・復習をすること。

[授業計画]
1. 民俗学の成立と展開
2. 日本民俗学の先達たち
3. 常民という視点
4. ハレとケ、そしてケガレ
5. ムラとイエ
6. 稲作と畑作
7. 山民と海民
8. 女性と子供
9. 老人の文化
10. 交際と贈答
11. 盆と正月
12. カミとヒト
13. 妖怪と幽霊
14. 仏教と民俗
15. 都市の民俗

[成績評価方法]
受講態度（70%）と発表内容（30%）を合わせて評価する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S53062 [LH2-077]

科目名	史学演習Ⅰ	後期	演習	2 単位
サブタイトル	民俗学の基礎を学ぶ			
担当者	川森　博司			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学2-3／課題解決のために必要な資史料を的確に見きわめることができ、客観的に事実を見定める判断力を有している。
成績評価方法：課題報告

学科DP番号／DP内容：史学3-1／演習形式の授業に積極的に取り組み、主体的に自己の課題を発見かつ解決できる能力を有している。
成績評価方法：課題報告

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：課題報告

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：課題報告

[教科書（ISBN）]
民俗学（講談社学術文庫）　著者名：宮田登　出版社：講談社　（978-4-06-518135-5）

[参考書（ISBN）]
授業中に指示する

S53062 [LH2-077]

科目名	史学演習Ⅰ	後期	演習	2 単位
サブタイトル	アジア史研究入門			
担当者	鈴木　宏節			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
特殊講義等の専門科目を受講するのに必要な基礎知識と蓄積し理解力を養成する。

[授業概要]
アジアの歴史を学ぶ基礎力を錬成するための演習であり、卒業論文作成への第一歩となる授業である。各自興味をもつテーマについて調査した成果を発表してもらい、全員で討論する。それぞれのテーマの歴史的背景や研究の方法と現状、史料の所在などを踏まえ、専門研究に触れることが第一の目標。演習の成果として発表内容に関するレポートを作成する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
関係する書籍を読み進めるとともに、アジア各地への関心を深める。また、ひろくアジアに関わる諸問題を把握する。

[授業計画]
1. 関心のあるテーマについてディスカッション
2. 研究方法と史料論(1)
3. 研究方法と史料論(2)
4. 研究方法と史料論(3)
5. 文献講読とディスカッション(1)
6. 文献講読とディスカッション(2)
7. 文献講読とディスカッション(3)
8. 文献講読とディスカッション(4)
9. 文献講読とディスカッション(5)
10. 研究論文の講読(1)
11. 研究論文の講読(2)
12. 研究論文の講読(3)
13. 研究論文の講読(4)
14. 研究論文の講読(5)
15. 研究成果の総括

[成績評価方法]
授業への取り組み（30%）＋レポート（70%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	史学演習Ⅰ	後期	演習	2 単位
サブタイトル	アジア史研究入門			
担当者	鈴木　宏節			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学3-1／演習形式の授業に積極的に取り組み、主体的に自己の課題を発見かつ解決できる能力を有している。
成績評価方法：授業への取り組み＋レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：授業への取り組み＋レポート

[教科書（ISBN）]
プリントを配布する。

[参考書（ISBN）]
授業中に紹介する。

S53063 [LH2-077]

科目名	史学演習Ⅰ	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	寺沢　知子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
論文を批判的に読み、問題点を抽出する能力を養う

[授業概要]
考古学の手法で卒論を作成するための基礎的演習である。各自のテーマを決定するための問題意識をみがきながら、考古学の研究手法をより深く学んでいく。テキストの分担にそって発表者がレジュメを作成し、問題点を提出しなければならないのはもちろんであるが、発表者以外も必ずまとめと質問を提出しなければならない。発表者は答えられなかった質問は次週までに調べて発表することが義務づけられる。考古学の論文は、個別の資料を集めただけの内容になりがちであるが、「歴史学」としての主体的な問題意識による時代性の把握をめざせるようにする。また関連遺跡の見学も実施する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
発表者はレジュメ作成。発表者以外はテキストの内容を800字程度にまとめ、疑問を書いてゼミ前日までに提出。

[授業計画]
1. テキストの読解方法と批判の仕方①
2. テキストの分担発表と指導①
3. テキストの分担発表と指導②
4. テキストの分担発表と指導③
5. テキストの分担発表と指導④
6. テキストの読解方法と批判の仕方②
7. テキストの分担発表と指導⑤
8. テキストの分担発表と指導⑥
9. テキストの分担発表と指導⑦
10. テキスト関連の遺跡見学
11. テキストの分担発表と指導⑧
12. テキストの分担発表と指導⑨
13. 卒論にむけての各自のテーマ選定指導①
14. 卒論にむけての各自のテーマ選定指導②
15. まとめ

[成績評価方法]
発表内容（50%）・受講態度（30%）・レポート（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
演習中に指導

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	史学演習Ⅰ	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	寺沢　知子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：発表内容・レポート課題

学科DP番号／DP内容：史学1-2／自己の研究課題に関する資史料（文献史料・考古資料・民俗資料など）の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。
成績評価方法：発表内容・レポート課題

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：発表内容・レポート課題

学科DP番号／DP内容：史学3-1／演習形式の授業に積極的に取り組み、主体的に自己の課題を発見かつ解決できる能力を有している。
成績評価方法：発表内容・レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表内容・レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：発表内容・レポート課題

[教科書（ISBN）]
なし （なし。）

[参考書（ISBN）]
なし

S53065 [LH2-077]

科目名	史学演習Ⅰ	後期	演習	2 単位
サブタイトル	日本近現代史料の読解			
担当者	松下　孝昭			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
くずし字で書かれた近現代史料に慣れ、一定レベルのものが読解できるようになることが目標である。

[授業概要]
日本近現代史を研究するにあたっては、史料の解釈や操作の方法を会得することと、現在の学界の研究状況を整理することの二点がとりわけ重要となってくる。この演習では、まず、各自が関心を持つテーマに関する史料の読解を通して、近代史料の特質や所在状況について理解を深めていく。とりわけくずし字で書かれた史料の読解に力点を置く。授業は、発表と討論を中心とするので、発表者以外の者に対しても事前の予習と積極的な発言を求める。近代のくずし字に関する理解を深めることと、ゼミ発表の準備・発表・質疑応答に積極的に取り組む姿勢を養うことが到達目標となる。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
日本近代史料に深い興味を抱く者が履修するよう望む。

[授業計画]
1. 各自の問題関心の披露
2. 近代史料の特質(講義)
3. 近代史料の所在(講義)
4. 近代史料読解の実際(初歩)
5. 近代史料読解の実際(初歩)
6. 近代史料読解の実際(初歩)
7. 近代史料読解の実際(初歩)
8. 近代史料読解の実際(初歩)
9. 中間的なまとめ
10. 近代史料読解の実際(中級)
11. 近代史料読解の実際(中級)
12. 近代史料読解の実際(中級)
13. 近代史料読解の実際(中級)
14. 近代史料読解の実際(中級)
15. 総体的なまとめの質疑応答

[成績評価方法]
受講状況(50%)、受講態度(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業終了後やオフィスアワーの時間を利用して適宜フィードバックする。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	史学演習Ⅰ	後期	演習	2 単位
サブタイトル	日本近現代史料の読解			
担当者	松下　孝昭			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：受講状況

学科DP番号／DP内容：史学1-2／自己の研究課題に関する資史料（文献史料・考古資料・民俗資料など）の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。
成績評価方法：受講状況

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：受講状況

学科DP番号／DP内容：史学2-3／課題解決のために必要な資史料を的確に見きわめることができ、客観的に事実を見定める判断力を有している。
成績評価方法：受講状況

学科DP番号／DP内容：史学2-4／読解した資史料を論理的に分析し、卒業論文の作成を通して自己の課題を解決していく能力を有している。
成績評価方法：受講状況

学科DP番号／DP内容：史学3-1／演習形式の授業に積極的に取り組み、主体的に自己の課題を発見かつ解決できる能力を有している。
成績評価方法：受講状況

学科DP番号／DP内容：史学3-3／演習や実習を通じて、他者を主導しつつ、共に課題の解決を図ろうとする対話力と協働性を有している。
成績評価方法：受講状況

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：受講状況

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：受講状況

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：受講状況

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：受講状況

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：受講状況

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：受講状況

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：受講状況

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：受講状況

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：受講状況

[教科書（ISBN）]
プリントを中心とする

[参考書（ISBN）]
なし

S53067 [LH2-077]

科目名	史学演習Ⅰ	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	山内　晋次			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
歴史学的な日本古代史像を組み立てていくための技術・方法論の初歩を身につけ、将来の卒業論文作成にあたっての基礎をつくる。

[授業概要]
日本古代史関連の基礎的な論著を読むことを通じて、史料にもとづいて歴史像を作りあげていく方法を学んでいく。受講者は、論著の内容の紹介報告を輪番で担当し、他の受講者はその報告に対して質疑をおこなう。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
自分の報告担当以外の部分についても、必ず事前に目を通したうえで授業に参加する。

[授業計画]
1. ガイダンス
2. 論文演習（1）
3. 論文演習（2）
4. 論文演習（3）
5. 論文演習（4）
6. 論文演習（5）
7. 論文演習（6）
8. 論文演習（7）
9. 論文演習（8）
10. 論文演習（9）
11. 論文演習（10）
12. 論文演習（11）
13. 論文演習（12）
14. 論文演習（13）
15. まとめ

[成績評価方法]
報告・質疑の内容および受講態度を総合的に評価する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	史学演習Ⅰ	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	山内　晋次			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：報告・質疑の内容、受講態度

学科DP番号／DP内容：史学1-2／自己の研究課題に関する資史料（文献史料・考古資料・民俗資料など）の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。
成績評価方法：報告・質疑の内容、受講態度

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：報告・質疑の内容、受講態度

学科DP番号／DP内容：史学2-2／幅広く歴史学上の専門書や学術論文を精読し、研究上の課題を主体的に発見する能力を有している。
成績評価方法：報告・質疑の内容、受講態度

学科DP番号／DP内容：史学2-3／課題解決のために必要な資史料を的確に見きわめることができ、客観的に事実を見定める判断力を有している。
成績評価方法：報告・質疑の内容、受講態度

学科DP番号／DP内容：史学2-5／演習の研究発表ならびに授業のレポートや卒業論文の作成を通じて、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を有している。
成績評価方法：報告・質疑の内容、受講態度

学科DP番号／DP内容：史学3-1／演習形式の授業に積極的に取り組み、主体的に自己の課題を発見かつ解決できる能力を有している。
成績評価方法：報告・質疑の内容、受講態度

学科DP番号／DP内容：史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法：報告・質疑の内容、受講態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：報告・質疑の内容、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：報告・質疑の内容、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：報告・質疑の内容、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：報告・質疑の内容、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：報告・質疑の内容、受講態度

[教科書（ISBN）]
なし。適宜資料コピーを配布する。 著者名：― 出版社：― （―）

[参考書（ISBN）]
なし 著者名：― 出版社：― （―）

S53068 [LH2-077]

科目名	史学演習Ⅰ	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	吉村　真美			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
卒業論文の作成に必要とされる資料収集や口頭発表の基礎を習得する。

[授業概要]
卒業論文の作成にむけて必要とされる、専門度の高い資料の収集や口頭発表の方法などの基礎事項について、演習方式で指導する。卒業論文のテーマについても、各自の関心にもとづく個別領域において資料収集を進めてゆく。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
教員の指示にしたがって、受講生はそれぞれのテーマに則した予備学習を十分に行って報告に臨むこととする。

[授業計画]
1. はじめに
2. 演習(1)テーマの設定
3. 演習(2)資料調査の方法①
4. 演習(3)資料調査の方法②
5. 演習(4)資料調査の方法③
6. 演習(5)プレゼンテーションの技法①
7. 演習(6)プレゼンテーションの技法②
8. 演習(7)プレゼンテーションの技法③
9. 口頭報告(1)
10. 口頭報告(2)
11. 口頭報告(3)
12. 口頭報告(4)
13. 口頭報告(5)
14. 卒論にむけて
15. おわりに

[成績評価方法]
課題および課題の口頭発表の内容(60%)、質疑応答への参加状況など授業参加の積極性(40%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S53069 [LH2-077]

科目名	史学演習Ⅰ	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	吉村　真美			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-2／自己の研究課題に関する資史料（文献史料・考古資料・民俗資料など）の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。
成績評価方法：課題

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：課題

学科DP番号／DP内容：史学2-2／幅広く歴史学上の専門書や学術論文を精読し、研究上の課題を主体的に発見する能力を有している。
成績評価方法：課題

学科DP番号／DP内容：史学2-3／課題解決のために必要な資史料を的確に見きわめることができ、客観的に事実を見定める判断力を有している。
成績評価方法：課題

学科DP番号／DP内容：史学2-4／読解した資史料を論理的に分析し、卒業論文の作成を通して自己の課題を解決していく能力を有している。
成績評価方法：課題

学科DP番号／DP内容：史学2-5／演習の研究発表ならびに授業のレポートや卒業論文の作成を通じて、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を有している。
成績評価方法：課題

学科DP番号／DP内容：史学3-1／演習形式の授業に積極的に取り組み、主体的に自己の課題を発見かつ解決できる能力を有している。
成績評価方法：課題

学科DP番号／DP内容：史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法：課題

学科DP番号／DP内容：史学3-3／演習や実習を通じて、他者を主導しつつ、共に課題の解決を図ろうとする対話力と協働性を有している。
成績評価方法：課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：課題

[教科書（ISBN）]
『ABC of ENGLISHペンマンシップ―はじめての筆記体練習ノート』「西洋史料講読II」の参考書と共通。講読における使用については、講読の初回授業時に説明す　著者名：総合学習指導研究会編　出版社：受験研究社、2005年 （4424289028）

[参考書（ISBN）]
適宜指示する。

S53069 [LH2-077]

科目名	史学演習Ⅱ	前期	演習	2 単位
サブタイトル	近世史研究の方法			
担当者	村田　路人			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
以下の2点を到達目標とする。
①古文書解読力をさらに高めるとともに、古文書整理能力を身につける。
②学術論文の内容とその問題点を正確に把握するとともに、それらをわかりやすくレジュメにまとめ、報告する能力を身につける。

[授業概要]
　この授業では、前半に古文書解読の訓練を行い、後半には論文講読を行う。
【前半(古文書解読)】
　毎回、近世古文書の写真を読む。また、原物を用いた古文書整理も行い、古文書整理方法について学ぶ。受講生は、2回生のときよりもさらに高い近世古文書の解読能力を修得するとともに、近世社会の実態、近世古文書と近世史研究との関係、近世古文書の文化財としての側面などについて、より理解を深めることになる。
【後半(論文講読)】
　毎回、日本近世史に関する論文を講読する。各回、以下の順に授業を進める。①受講生全員が事前に同じ論文を読み、論文の要旨と評価点・疑問点・問題点をまとめたレジュメを作成する。レジュメは、A4判4枚にまとめ、うち3枚を内容要約にあて、残り1枚には論文の評価点・疑問点・問題点を記す。取り上げる論文は教員が指定する、②授業当日、授業の冒頭に受講生全員がレジュメを教員に提出する、③あらかじめ決められた報告担当者が、レジュメに基づき、報告を行う。報告担当者はメイン報告者とサブ報告者の2名とし、メイン報告者は、論文の要旨および評価点・疑問点・問題点を報告し、サブ報告者は、評価点・疑問点・問題点のみを報告する。この両名は全員分のレジュメを用意し、授業開始前に配布しておく(報告者以外の受講生は、レジュメを1部用意するだけでよい)、④報告後、全員で議論する。
　報告担当者は、必ず関連論文をいくつか読んでおき、レジュメに反映させねばならない。また、④の議論には、受講生全員が積極的に参加することを望む。
　なお、授業期間中に1回、学外の史跡・博物館等の見学を行う。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
前半の古文書解読では、授業の前に必ず予習をし、授業後は必ず復習をすること。これとあわせ、それまでの授業で取り上げた古文書テキストを、毎日繰り返し復習すること。継続と繰り返しが古文書解読力上達の早道である。後半の論文講読では、毎回、受講生全員が、授業で取り上げる論文についてレジュメを作成する。

[授業計画]
1. 授業の進め方
2. 近世古文書の解読1
3. 近世古文書の解読2
4. 近世古文書の解読3
5. 近世古文書の解読4
6. 近世古文書の解読5
7. 近世古文書の解読6
8. 近世古文書の解読7
9. 学外の史跡・博物館等の見学
10. 論文の講読1
11. 論文の講読2
12. 論文の講読3
13. 論文の講読4
14. 論文の講読5
15. 論文の講読6

[成績評価方法]
前半期最後に行われる古文書試験50%。レポート30%、発表レジュメの内容20%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	史学演習Ⅱ	前期	演習	2 単位
サブタイトル	近世史研究の方法			
担当者	村田　路人			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法:レポート、発表レジュメの内容

学科DP番号／DP内容:史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法:レポート、発表レジュメの内容

学科DP番号／DP内容:史学2-2／幅広く歴史学上の専門書や学術論文を精読し、研究上の課題を主体的に発見する能力を有している。
成績評価方法:レポート、発表レジュメの内容

学科DP番号／DP内容:史学1-2／自己の研究課題に関する資史料(文献史料・考古資料・民俗資料など)の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。
成績評価方法:古文書試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:レポート、発表レジュメの内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:レポート、発表レジュメの内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:レポート、発表レジュメの内容、古文書試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:古文書試験

[教科書(ISBN)]
古文書の写真のコピー(授業中に配布)
『増訂近世古文書解読字典』(これもテキストなので、必ず購入すること)　著者名:林英夫監修、若尾俊平・浅見恵・西口雅子編　出版社:柏書房(1972年) (4760100032)
事前にmanabaを通して論文コピーを配信する。

[参考書(ISBN)]
授業中に適宜紹介する。

科目名	史学演習Ⅱ	前期	演習	2 単位
サブタイトル	文献史料を読み解く			
担当者	梶木　良夫			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
卒業論文作成に必要な歴史資料、特に文献史料を取扱う能力を修得する。

[授業概要]
前期は、春季休暇の成果にもとづき、現時点での受講生の興味・関心を再確認する。次に、ゼミ生全員と分担して本格的な研究文献および鎌倉幕府法とそれに関する論考を読み解いてゆく。報告に際しては、レジュメを作成すること、および該当史料や論文を事前に読み、議論に参加することを義務づける。また卒業論文に向けた準備報告を実施し、その成果は学期末レポートにまとめる。なお、日本中世史に関わるフィールドワークや博物館展示見学を適宜、実施する。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
分担報告する史料の理解を深めるための、丁寧な準備を強く求める。その過程で生じた疑問は、報告者以外のゼミメンバーと共有し、協働して相互の理解を深めるよう報告を工夫する。

[授業計画]
1. 卒業論文のテーマ案を披露し、今後のスケジュールを確認する
2. 文献演習　A(1)
3. 文献演習　A(2)
4. 文献演習　A(3)
5. 史料演習　御成敗式目(1)
6. 史料演習　御成敗式目(2)
7. 史料演習　御成敗式目(3)
8. 史料演習　御成敗式目と追加法(1)
9. 史料演習　御成敗式目と追加法(2)
10.史料演習　御成敗式目と追加法(3)
11.卒業論文テーマ準備報告
12.文献演習　B 日本中世の法と社会(1)
13.文献演習　B 日本中世の法と社会(2)
14.文献演習　B 日本中世の法と社会(3)
15.まとめ－夏期休暇の課題設定－

[成績評価方法]
レポート(60%)授業の準備状況、提出レジュメ、報告、質疑応答(40%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
manabaレポートのコメント機能を使用。提出レポートの問題点を指摘し、夏季休暇中に取り組むべき課題を提示する。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	史学演習Ⅱ	前期	演習	2 単位
サブタイトル	文献史料を読み解く			
担当者	梶木　良夫			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

学科DP番号／DP内容:史学1-2／自己の研究課題に関する資史料(文献史料・考古資料・民俗資料など)の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

学科DP番号／DP内容:史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

学科DP番号／DP内容:史学2-2／幅広く歴史学上の専門書や学術論文を精読し、研究上の課題を主体的に発見する能力を有している。
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

学科DP番号／DP内容:史学2-3／課題解決のために必要な資史料を的確に見きわめることができ、客観的に事実を見定める判断力を有している。
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

学科DP番号／DP内容:史学2-4／読解した資史料を論理的に分析し、卒業論文の作成を通して自己の課題を解決していく能力を有している。
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

学科DP番号／DP内容:史学2-5／演習の研究発表ならびに授業のレポートや卒業論文の作成を通じて、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を有している。
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

学科DP番号／DP内容:史学3-1／演習形式の授業に積極的に取り組み、主体的に自己の課題を発見かつ解決できる能力を有している。
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

学科DP番号／DP内容:史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

学科DP番号／DP内容:史学3-3／演習や実習を通じて、他者を主導しつつ、共に課題の解決を図ろうとする対話力と協働性を有している。
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:報告、質疑応答

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

[教科書(ISBN)]
なし。プリントを配布する。

[参考書(ISBN)]
なし。授業中に適宜、紹介する。

科目名	史学演習Ⅱ	前期	演習	2 単位
サブタイトル	民俗資料への視点と課題の発見			
担当者	川森　博司			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
民俗学の分野において本格的に研究を進めていくための視野を獲得することを到達目標とする。

[授業概要]
昔話資料の分析をおこなった論文を読み進めて、論文の組み立て方を学習しながら、各自の研究テーマの模索を並行して進めていく。民俗学においては、普段あまり意識せずにおこなっている身の回りの事項を振り返って意識しながら、先行研究を読んでいくことが、学習の基本である。昔話の中に表現されている様々な事項を読み解きながら、民俗学的な考察の視点を身につけ、それにもとづいて、各自のテーマ発表をおこなう。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
指示された課題の準備をして授業に臨むこと。

[授業計画]
1. 民俗学と現代社会（導入）
2. 昔話と現実
3. 昔話にみる現代人の課題
4. 異類婚姻譚の伝承
5. 伝説と昔話
6. 昔話にみる日本人の美意識
7. テーマ発表 (1)
8. テーマ発表 (2)
9. テーマ発表 (3)
10. テーマ発表 (4)
11. テーマ発表 (5)
12. 学外実習
13. 論文の書き方 (1)
14. 論文の書き方 (2)
15. まとめ

[成績評価方法]
学習態度（80%）とレポート（20%）を合わせて評価する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S53102 [LH3-119]

科目名	史学演習Ⅱ	前期	演習	2 単位
サブタイトル	民俗資料への視点と課題の発見			
担当者	川森　博司			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学2-2／幅広く歴史学上の専門書や学術論文を精読し、研究上の課題を主体的に発見する能力を有している。
成績評価方法：課題報告

学科DP番号／DP内容：史学3-1／演習形式の授業に積極的に取り組み、主体的に自己の課題を発見かつ解決できる能力を有している。
成績評価方法：課題報告

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：課題報告

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：課題報告

[教科書（ISBN）]
『昔話と現代〈〈物語と日本人の心〉コレクションV〉』（岩波現代文庫） 著者名：河合隼雄　出版社：岩波書店 （978-4006003487）

[参考書（ISBN）]
なし

S53102 [LH3-119]

科目名	史学演習Ⅱ	前期	演習	2 単位
サブタイトル	アジア史の諸問題			
担当者	鈴木　宏節			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
史学演習Ⅰに引き続いて専門分野に関する知識と研究方法への理解を深める。

[授業概要]
アジアの歴史を学ぶ上での基礎力を養成するための演習であり、史学演習Ⅰでの成果をうけて卒業論文作成のステップとする。各自が興味をもつテーマについて調査結果を発表してもらい、全員で討論する。あわせてそのテーマをめぐる歴史的背景や研究の方法と現状、史料の所在など関係情報を収集する。なお、夏期休業中には各自の調査結果を踏まえたレポートを執筆する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
関連文献についての書誌情報を集積し、専門書や論文を読み進める。

[授業計画]
【全て遠隔授業】
1. ガイダンス
2. 文献解読と史料批判(1)
3. 文献解読と史料批判(2)
4. 文献解読と史料批判(3)
5. 文献解読と史料批判(4)
6. 文献解読と史料批判(5)
7. 調査発表とディスカッション(1)
8. 調査発表とディスカッション(2)
9. 調査発表とディスカッション(3)
10. 調査発表とディスカッション(4)
11. 調査発表とディスカッション(5)
12. 研究論文の精読(1)
13. 研究論文の精読(2)
14. 研究論文の精読(3)
15. 調査結果の総括

[成績評価方法]
授業への取り組み（30%）＋レポート（70%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	史学演習Ⅱ	前期	演習	2 単位
サブタイトル	アジア史の諸問題			
担当者	鈴木　宏節			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学2-3／課題解決のために必要な資史料を的確に見きわめることができ、客観的に事実を見定める判断力を有している。
成績評価方法：授業への取り組み・レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：授業への取り組み・レポート

[教科書（ISBN）]
プリントを配布する。

[参考書（ISBN）]
授業中に紹介する。

S53103 [LH3-119]

科目名	史学演習Ⅱ	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	寺沢　知子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
論文を批判的に読み込み、それを文章化する力をつけるとともに、卒論のテーマの絞り込みをする。

[授業概要]
史学演習Ⅰに続いて、同様の方法で各自の興味に即した論文を分担して発表していく。各自が卒論にむけてのテーマのしぼりこみを開始し、後半ではその学習成果を少しずつ発表していくようにする。前期最後の演習では、半年間の成果と夏期休暇中の各自の達成目標を発表する。また関連遺跡の見学も実施する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
発表者はレジュメを作成。発表者以外は、テキスト内容を800字程度にまとめ、疑問点を書いてゼミ前日までに提出する。

[授業計画]
【全て遠隔授業】
1. 春季休暇中の課題の個人発表①
2. 春季休暇中の課題の個人発表②
3. 春季休暇中の課題の個人発表③
4. 各自の研究テーマの発表・テキストの分担発表①
5. 各自の研究テーマの発表・テキストの分担発表②
6. 各自の研究テーマの発表・テキストの分担発表③
7. テキスト関連遺跡見学①
8. 各自の研究テーマの発表・テキストの分担発表④
9. 各自の研究テーマの発表・テキストの分担発表⑤
10. 各自の研究テーマの発表・テキストの分担発表⑥
11. 各自の研究テーマの発表・テキストの分担発表⑦
12. 各自の研究テーマの検討会①
13. 各自の研究テーマの検討会②
14. テキスト関連遺跡見学②
15. 各自の夏季休暇中の課題を発表

[成績評価方法]
発表内容（50%）・受講態度（30%）・レポート（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
演習中に指導

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	史学演習Ⅱ	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	寺沢　知子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：発表内容・レポート課題

学科DP番号／DP内容：史学1-2／自己の研究課題に関する資史料（文献史料・考古資料・民俗資料など）の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。
成績評価方法：発表内容・レポート課題

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：発表内容・レポート課題

学科DP番号／DP内容：史学2-2／幅広く歴史学上の専門書や学術論文を精読し、研究上の課題を主体的に発見する能力を有している。
成績評価方法：発表内容・レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表内容・レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：発表内容・レポート課題

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
適宜指示する

科目名	史学演習Ⅱ	前期	演習	2 単位
サブタイトル	近現代史料の読解と活用			
担当者	松下　孝昭			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
くずし字で書かれた近現代史料が読解でき、それをもとにした研究発表ができることが大切である。あわせて、活発な質疑応答をおこない、集団討議に慣れることが、今学期の目標である。

[授業概要]
日本近現代史を研究するにあたっては、史料の解釈や操作の方法を会得することと、現在の学界の研究状況を整理することの二点がとりわけ重要となってくる。この演習では、まず、各自が関心を持つテーマに関する史料の読解を通して、近代史料の特質や所在状況について理解を深めていく。続いて、基本的な研究書や専門論文の講読を通して、各自の研究発表を行う。授業は、発表と討論を中心とするので、発表者以外の者に対しても事前の予習と積極的な発言を求める。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
史学演習Ⅰを受講して近代文書がある程度読めるようになっていることが前提となる。

[授業計画]
【全て遠隔授業】
1. 日本近現代史に関する各自の問題関心の披露と質疑応答
2. 基本的な史料を取りあげ、解釈や史料操作の方法を会得する
3. 近代史料の所在について理解を深める
4. 各自の研究発表1
5. 各自の研究発表2
6. 各自の研究発表3
7. 各自の研究発表4
8. 各自の研究発表5
9. 中間的なまとめ（1巡目の発表の批判と反省）
10. 各自の研究発表6
11. 各自の研究発表7
12. 各自の研究発表8
13. 各自の研究発表9
14. 各自の研究発表10
15. まとめの討論

[成績評価方法]
受講状況（50%）、発表内容（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中あるいは終了時を利用して適宜フィードバックする。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	史学演習Ⅱ	前期	演習	2 単位
サブタイトル	近現代史料の読解と活用			
担当者	松下　孝昭			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：受講状況・発表内容

学科DP番号／DP内容：史学1-2／自己の研究課題に関する資史料（文献史料・考古資料・民俗資料など）の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。
成績評価方法：受講状況・発表内容

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：受講状況・発表内容

学科DP番号／DP内容：史学2-3／課題解決のために必要な資史料を的確に見きわめることができ、客観的に事実を見定める判断力を有している。
成績評価方法：発表内容

学科DP番号／DP内容：史学2-5／演習の研究発表ならびに授業のレポートや卒業論文の作成を通じて、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を有している。
成績評価方法：発表内容

学科DP番号／DP内容：史学3-1／演習形式の授業に積極的に取り組み、主体的に自己の課題を発見かつ解決できる能力を有している。
成績評価方法：受講状況

学科DP番号／DP内容：史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法：発表内容

学科DP番号／DP内容：史学3-3／演習や実習を通じて、他者を主導しつつ、共に課題の解決を図ろうとする対話力と協働性を有している。
成績評価方法：受講状況

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：受講状況

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：受講状況

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：発表内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：発表内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：発表内容

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
なし

科目名	史学演習Ⅱ	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	山内　晋次			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
卒業論文作成の際に必要な論文読解能力を身につける。

[授業概要]
卒業論文を作成する際の基礎となる先行研究の理解と整理のしかたを、さまざま論文を読むことにより学ぶ。受講者が輪番で論文紹介を担当する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
担当する論文を事前に読み込んだうえで授業に出席すること。

[授業計画]
【全て遠隔授業】
1. ガイダンス
2. 論文講読（1）
3. 論文講読（2）
4. 論文講読（3）
5. 論文講読（4）
6. 論文講読（5）
7. 論文講読（6）
8. 論文講読（7）
9. 論文講読（8）
10. 論文講読（9）
11. 論文講読（10）
12. 論文講読（11）
13. 論文講読（12）
14. 論文講読（13）
15. まとめ

[成績評価方法]
報告・質疑の内容80%・受講態度20%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	史学演習Ⅱ	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	山内　晋次			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：報告・質疑の内容、受講態度

学科DP番号／DP内容：史学1-2／自己の研究課題に関する資史料（文献史料・考古資料・民俗資料など）の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。
成績評価方法：報告・質疑の内容、受講態度

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：報告・質疑の内容、受講態度

学科DP番号／DP内容：史学2-2／幅広く歴史学上の専門書や学術論文を精読し、研究上の課題を主体的に発見する能力を有している。
成績評価方法：報告・質疑の内容、受講態度

学科DP番号／DP内容：史学3-1／演習形式の授業に積極的に取り組み、主体的に自己の課題を発見かつ解決できる能力を有している。
成績評価方法：報告・質疑の内容、受講態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：報告・質疑の内容、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：報告・質疑の内容、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：報告・質疑の内容、受講態度

[教科書（ISBN）]
なし。適宜検討対象論文のコピーを配布する。 著者名：―　出版社：―（―）

[参考書（ISBN）]
なし　著者名：―　出版社：―（―）

S53108 [LH3-119]

科目名	史学演習Ⅱ	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	吉村　真美			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
各自の卒業論文のテーマを掘り下げ、各自で時間をかけて取り組める夏休みに備えて準備を進める。領域・時代・テーマについて卒業論文の概要を決定する。

[授業概要]
この演習は、卒業論文の作成にむけて、各自の選択したテーマにもとづく口頭発表を中心に行う。授業時には他の受講生の報告を受けて、積極的な質疑応答を行うこと。なお、講義と課題を含めた事前学習の後に、西洋史関連の展示などを見学する学外実習も実施する予定である。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
各回、予習復習合わせて2時間程度。教員の指示にしたがって、受講生はそれぞれのテーマに則した予備学習を十分に行って報告に臨むこととし、報告にたいする教員の指導と質疑応答をふまえてmanaba上に課題を再提出させることでフィードバックを行う。

[授業計画]
1. はじめに　スケジュールの確認
2. 各自のテーマ報告(1)
3. 口頭報告(1)
4. 口頭報告(2)
5. 口頭報告(3)
6. 口頭報告(4)
7. 口頭報告(5)
8. オンラインでの資料収集について
9. 口頭報告(6)
10. 口頭報告(7)
11. 口頭報告(8)
12. 口頭報告(9)
13. 口頭報告(10)
14. 各自のテーマ報告(2)
15. おわりに　休暇中の課題について

[成績評価方法]
課題および課題の口頭発表の内容(60%)、課題の再提出の内容および質疑応答への参加状況など授業参加の積極性(40%)
課題については授業時に口頭で指導し、その内容をふまえた再提出を課すことでフィードバックを行う。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	史学演習Ⅱ	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	吉村　真美			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:史学1-2／自己の研究課題に関する資史料(文献史料・考古資料・民俗資料など)の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。
成績評価方法:課題

学科DP番号／DP内容:史学2-3／課題解決のために必要な資史料を的確に見きわめることができ、客観的に事実を見定める判断力を有している。
成績評価方法:課題

学科DP番号／DP内容:史学2-5／演習の研究発表ならびに授業のレポートや卒業論文の作成を通じて、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を有している。
成績評価方法:課題

学科DP番号／DP内容:史学3-1／演習形式の授業に積極的に取り組み、主体的に自己の課題を発見かつ解決できる能力を有している。
成績評価方法:課題

学科DP番号／DP内容:史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法:課題

学科DP番号／DP内容:史学3-3／演習や実習を通じて、他者を主導しつつ、共に課題の解決を図ろうとする対話力と協働性を有している。
成績評価方法:課題

学科DP番号／DP内容:史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法:課題

学科DP番号／DP内容:史学2-2／幅広く歴史学上の専門書や学術論文を精読し、研究上の課題を主体的に発見する能力を有している。
成績評価方法:課題

学科DP番号／DP内容:史学2-4／読解した資史料を論理的に分析し、卒業論文の作成を通して自己の課題を解決していく能力を有している。
成績評価方法:課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:課題

[教科書(ISBN)]
なし

[参考書(ISBN)]
適宜指示する。

科目名	史学演習Ⅲ	後期	演習	2 単位
サブタイトル	日本近世史の諸問題			
担当者	村田　路人			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
この授業では、受講生各自が任意に選んだ日本近世史の研究テーマについて、現在の研究水準を確認し、いかなる課題が残されているのかを探る能力を身につけることを目標とする。

[授業概要]
この授業は、史学演習Ⅱをうけて行われる論文講読演習である。基本的な授業スタイルは史学演習Ⅱと変わらないが、取り上げる論文は、受講生各自がそれぞれの問題関心に従って設定したテーマに関わる最重要論文である。また、レジュメは報告者(2名)のみが作成し、他の受講生は作成する必要はない。
各回、以下の順に授業を進める。①報告担当者はメイン報告者とサブ報告者の2名とする。事前に、メイン報告者が、教員と相談の上、自身の問題関心に従って設定したテーマに関わる最重要論文を選ぶ、②受講生全員が事前に当該論文を読んでおき、授業に臨む、③授業当日、メイン報告者は当該論文の要旨と評価点・疑問点・問題点をまとめたレジュメにより報告する。レジュメは、A4判4枚にまとめ、うち3枚を内容要約にあて、残り1枚には論文の評価点・疑問点・問題点を記す。また、サブ報告者は、評価点・疑問点・問題点のみを記したレジュメ(A4判1枚)により報告する。④報告後、全員で議論する。
メイン報告者は、必ず関連論文をいくつか読んでおき、レジュメに反映させねばならない。また、④の議論には、受講生全員が積極的に参加することを望む。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
報告担当者は事前にレジュメを作成する。それ以外の受講生は、報告担当者が指定した論文を事前に読んでおく。

[授業計画]
1. 授業の進め方
2. 関心のある研究テーマについての報告(全受講生による)
3. 関心のある研究テーマについての報告1
4. 関心のある研究テーマについての報告2
5. 関心のある研究テーマについての報告3
6. 関心のある研究テーマについての報告4
7. 関心のある研究テーマについての報告5
8. 学外見学会
9. 関心のある研究 テーマについての報告6
10. 関心のある研究テーマについての報告7
11. 関心のある研究テーマについての報告8
12. 関心のある研究テーマについての報告9
13. 関心のある研究テーマについての報告10
14. 関心のある研究テーマについての報告11
15. 春休みにおける研究の進め方

[成績評価方法]
レポート50%、報告レジュメの内容50%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	史学演習Ⅲ	後期	演習	2 単位
サブタイトル	日本近世史の諸問題			
担当者	村田　路人			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：レポート、報告レジュメの内容

学科DP番号／DP内容：史学1-2／自己の研究課題に関する資史料（文献史料・考古資料・民俗資料など）の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。
成績評価方法：レポート、報告レジュメの内容

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：レポート、報告レジュメの内容

学科DP番号／DP内容：史学2-2／幅広く歴史学上の専門書や学術論文を精読し、研究上の課題を主体的に発見する能力を有している。
成績評価方法：レポート、報告レジュメの内容

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート、報告レジュメの内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：レポート、報告レジュメの内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：レポート、報告レジュメの内容

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
授業中に適宜紹介する

科目名	史学演習Ⅲ	後期	演習	2 単位
サブタイトル	研究文献と史料を読み解く技能を身につける			
担当者	梶木　良夫			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
卒論テーマについての研究史上の位置を明らかにする。

[授業概要]
この授業の目的は、各自の卒論テーマが「現在の歴史学研究ではどのように議論されているか」を確認することである。そのために、夏期休暇中に読んだ文献の内容を紹介し、自分の興味や関心の所在を明らかにする。次に、各自のテーマに最も関連する研究文献を選び、その内容と疑問点、課題をまとめた丁寧なレジュメを作成する。また引用史料の所在も確認する。学期末には、以上の作業を整理したレポートを作成する。なお、フィールドワークや博物館展示の見学を適宜、実施する。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
研究文献の内容の整理と重要史料の所在を確認すること。報告に向けてあらかじめ内容の理解を深めるよう努め、疑問点と課題を整理して報告に臨むことを強く求める。

[授業計画]
1. 文献演習(1)
2. 文献演習(2)
3. 文献演習(3)
4. 文献演習　学術論文を読む(1)
5. 文献演習　学術論文を読む(2)
6. 文献演習　学術論文を読む(3)
7. 文献演習　学術論文を読む(4)
8. 史料演習　史料を読み解く(1)
9. 史料演習　史料を読み解く(2)
10. 史料演習　史料を読み解く(3)
11. 史料演習　史料を読み解く(4)
12. 文献・史料を整理する(1)
13. 文献・史料を整理する(2)
14. 文献・史料を整理する(3)
15. まとめ　春期休暇の課題

[成績評価方法]
レポート(60%)
授業の準備状況、提出レジュメ、報告、質疑応答(40%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
manabaレポートのコメント機能を使用。提出レポートの問題点を指摘し、春季休暇中に取り組むべき課題を提示する。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	史学演習Ⅲ	後期	演習	2 単位
サブタイトル	研究文献と史料を読み解く技能を身につける			
担当者	梶木　良夫			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

学科DP番号／DP内容:史学1-2／自己の研究課題に関する資史料(文献史料・考古資料・民俗資料など)の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

学科DP番号／DP内容:史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

学科DP番号／DP内容:史学2-2／幅広く歴史学上の専門書や学術論文を精読し、研究上の課題を主体的に発見する能力を有している。
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

学科DP番号／DP内容:史学2-3／課題解決のために必要な資史料を的確に見きわめることができ、客観的に事実を見定める判断力を有している。
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

学科DP番号／DP内容:史学2-4／読解した資史料を論理的に分析し、卒業論文の作成を通して自己の課題を解決していく能力を有している。
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

学科DP番号／DP内容:史学2-5／演習の研究発表ならびに授業のレポートや卒業論文の作成を通じて、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を有している。
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

学科DP番号／DP内容:史学3-1／演習形式の授業に積極的に取り組み、主体的に自己の課題を発見かつ解決できる能力を有している。
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

学科DP番号／DP内容:史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

学科DP番号／DP内容:史学3-3／演習や実習を通じて、他者を主導しつつ、共に課題の解決を図ろうとする対話力と協働性を有している。
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:報告、質疑応答

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

[教科書(ISBN)]
なし。

[参考書(ISBN)]
なし。授業中に適宜、紹介する。

科目名	史学演習Ⅲ	後期	演習	2 単位
サブタイトル	民俗学の課題の発見と展開			
担当者	川森　博司			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
民俗学の研究視点を把握して、各自の卒業論文のテーマを設定し、そのテーマについての資料集めに取りかかることを到達目標とする。

[授業概要]
この演習においては、各自の卒業論文のテーマを設定し、そのテーマについての資料集めに取りかかることを目ざして授業を進める。まず、夏休みの課題の報告という形で、各自の関心のありかを報告してもらう。次に、それを踏まえて、自分の関心をどのようにして論文の形式に組み立てることができるかという観点から、論文の書き方の練習をおこなう。また、それと並行して、昔話の伝承を対象として民俗学の視点から考察していく方法を学習していく。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
授業中に指摘した関連文献の読解および課題の準備をおこなうこと。

[授業計画]
1. 夏休みの課題報告 (1)
2. 夏休みの課題報告 (2)
3. 昔話の中の他界
4. 昔話の主題
5. 昔話の心理学的考察
6. 昔話の残酷性
7. 夢と昔話
8. 学外学習
9. テーマ発表 (1)
10. テーマ発表 (2)
11. テーマ発表 (3)
12. テーマ発表 (4)
13. テーマ発表(5)
14. 論文の書き方の整理
15. まとめ

[成績評価方法]
学習態度（70%）と発表内容（30%）を合わせて評価する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S53122 [LH3-120]

科目名	史学演習Ⅲ	後期	演習	2 単位
サブタイトル	民俗学の課題の発見と展開			
担当者	川森　博司			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学2-2／幅広く歴史学上の専門書や学術論文を精読し、研究上の課題を主体的に発見する能力を有している。
成績評価方法：課題報告

学科DP番号／DP内容：史学3-1／演習形式の授業に積極的に取り組み、主体的に自己の課題を発見かつ解決できる能力を有している。
成績評価方法：課題報告

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：課題報告

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：課題報告

[教科書（ISBN）]
『昔話と現代〈〈物語と日本人の心〉コレクションV〉』（岩波現代文庫） 著者名：河合隼雄　出版社：岩波書店 （978-4006003487）

[参考書（ISBN）]
なし

S53122 [LH3-120]

科目名	史学演習Ⅲ	後期	演習	2 単位
サブタイトル	卒業論文のテーマを絞り込む			
担当者	鈴木　宏節			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
各自の問題関心に基づいてテーマを設定し、卒業論文を執筆する調査研究能力を養成する。

[授業概要]
前期にひきつづいて研究発表をおこない、各人が興味をもっているテーマに関係する文献や研究論文、史料などを取り上げ、輪読する。発表者以外も史料の講読や発表での質疑討論に積極的に参与することを期待している。
春期休業中には卒業論文に向けたレポートの作成を課題とする。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各自のテーマに関する論文や史料を収集し、卒業論文の構想を具体的に作成する。

[授業計画]
1. 文献・史料講読の作法
2. 文献・史料講読と史料批判(1)
3. 文献・史料講読と史料批判(2)
4. 文献・史料講読と史料批判(3)
5. 文献・史料講読と史料批判(4)
6. 文献・史料講読と史料批判(5)
7. 文献・史料講読と史料批判(6)
8. 講読結果の整理と総括
9. 研究発表(1)
10. 研究発表(2)
11. 研究発表(3)
12. 研究発表(4)
13. 研究発表(5)
14. 研究発表(6)
15. 研究結果の整理と総括

[成績評価方法]
授業への取り組み（40%）＋レポート（60%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	史学演習Ⅲ	後期	演習	2 単位
サブタイトル	卒業論文のテーマを絞り込む			
担当者	鈴木　宏節			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法：授業への取り組み＋レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：授業への取り組み＋レポート

[教科書（ISBN）]
プリントを配布する。

[参考書（ISBN）]
授業中に紹介する。

S53123 [LH3-120]

科目名	史学演習Ⅲ	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	寺沢　知子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
各自のテーマについて、先行研究を批判的にまとめる。

[授業概要]
史学演習Ⅱに続いて、各自のテーマに関するテキストを批判的読み込み、個別発表を続ける。後期の最後には、4回生での卒論作成にむけての春季休暇中の各自の課題を発表させる。考古資料による研究は、発掘報告書を詳細に読み取り、資料化し、分析していくことが求められるため、その方法を学ぶ。また、各自のテーマにかかわる遺跡や遺物を実際に踏査し、観察する機会を持つように指導する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
発表者はレジュメの作成。発表者以外はテキストの内容をまとめて疑問を書いて提出。各自のテーマについての研究を進める。

[授業計画]
1. 夏季休暇中の課題の個人発表①
2. 夏季休暇中の課題の個人発表②
3. 夏季休暇中の課題の個人発表③
4. 各自の研究テーマの発表・テキストの分担発表①
5. 各自の研究テーマの発表・テキストの分担発表②
6. 各自の研究テーマの発表・テキストの分担発表③
7. テキスト関連遺跡見学①
8. 各自の研究テーマの発表・テキストの分担発表④
9. 各自の研究テーマの発表・テキストの分担発表⑤
10. 各自の研究テーマの発表・テキストの分担発表⑥
11. 各自の研究テーマの発表・テキストの分担発表⑦
12. 各自の研究テーマの検討会・テキストの分担発表①
13. 各自の研究テーマの検討会・テキストの分担発表②
14. テキスト関連遺跡見学②
15. 各自の春季休暇中の課題を発表

[成績評価方法]
発表内容（50%）・受講態度（30%）・レポート（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	史学演習Ⅲ	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	寺沢　知子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：発表内容・レポート課題

学科DP番号／DP内容：史学2-2／幅広く歴史学上の専門書や学術論文を精読し、研究上の課題を主体的に発見する能力を有している。
成績評価方法：発表内容・レポート課題

学科DP番号／DP内容：史学2-3／課題解決のために必要な資史料を的確に見きわめることができ、客観的に事実を見定める判断力を有している。
成績評価方法：発表内容・レポート課題

学科DP番号／DP内容：史学2-4／読解した資史料を論理的に分析し、卒業論文の作成を通して自己の課題を解決していく能力を有している。
成績評価方法：発表内容・レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表内容・レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：発表内容・レポート課題

[教科書（ISBN）]
関連論文・資料を配布。

[参考書（ISBN）]
適宜指示する。

科目名	史学演習Ⅲ	後期	演習	2 単位
サブタイトル	日本近現代史研究の実際			
担当者	松下　孝昭			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
日本近現代史に関する専門論文を講読し、それにもとづく研究発表を通して、自分の問題関心を固めて、次年度における卒論作成に向けた準備をすることが目標である。

[授業概要]
前期の演習Ⅱに引続いて、各自の研究発表とそれに対する質疑応答を通して、日本近現代史に対する認識を深め、卒論作成に向けた準備をする。Ⅲでは、各自が関心をもつテーマに関する学術論文を講読し、それをもとにした発表と質疑応答を重ねて、専門性を高めていく。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
日本近現代史への深い興味を持って、広く研究整理をしようとする姿勢が望まれる。

[授業計画]
1. 各自が関心をもつテーマの確定
2. 学術論文の検索方法と収集について（講義）
3. 学術論文の読み方について（講義）
4. 各自の研究発表1
5. 各自の研究発表2
6. 各自の研究発表3
7. 各自の研究発表4
8. 各自の研究発表5
9. 中間的なまとめの討論
10. 各自の研究発表（2順目）1
11. 各自の研究発表（2順目）2
12. 各自の研究発表（2順目）3
13. 各自の研究発表（2順目）4
14. 各自の研究発表（2順目）5
15. 総括の討論

[成績評価方法]
受講状況（50%）、発表内容（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中あるいは終了時を利用して適宜フィードバックする。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	史学演習Ⅲ	後期	演習	2 単位
サブタイトル	日本近現代史研究の実際			
担当者	松下　孝昭			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：発表内容

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：発表内容

学科DP番号／DP内容：史学2-2／幅広く歴史学上の専門書や学術論文を精読し、研究上の課題を主体的に発見する能力を有している。
成績評価方法：発表内容

学科DP番号／DP内容：史学2-5／演習の研究発表ならびに授業のレポートや卒業論文の作成を通じて、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を有している。
成績評価方法：発表内容

学科DP番号／DP内容：史学3-1／演習形式の授業に積極的に取り組み、主体的に自己の課題を発見かつ解決できる能力を有している。
成績評価方法：受講状況、発表内容

学科DP番号／DP内容：史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法：受講状況、発表内容

学科DP番号／DP内容：史学3-3／演習や実習を通じて、他者を主導しつつ、共に課題の解決を図ろうとする対話力と協働性を有している。
成績評価方法：受講状況

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：受講状況

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：受講状況

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：受講状況

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：受講状況、発表内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：発表内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：受講状況、発表内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：受講状況、発表内容

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
なし

科目名	史学演習Ⅲ	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	山内　晋次			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
卒業論文に向けてテーマの絞り込みをおこなうとともに、実際の論文の作成方法を学ぶ。

[授業概要]
受講生が、関心を持っているテーマに沿った論著を選定し、その論著の紹介・検討報告をおこないながら、卒論テーマをより具体的なものに近づけていく。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
紹介・検討する論著について、事前に十分に目を通したうえで授業に参加する。

[授業計画]
1. ガイダンス
2. 論文の紹介と検討（1）
3. 論文の紹介と検討（2）
4. 論文の紹介と検討（3）
5. 論文の紹介と検討（4）
6. 論文の紹介と検討（5）
7. 論文の紹介と検討（6）
8. 論文の紹介と検討（7）
9. 卒論のテーマ設定に向けての報告（1）
10. 卒論のテーマ設定に向けての報告（2）
11. 卒論のテーマ設定に向けての報告（3）
12. 卒論のテーマ設定に向けての報告（4）
13. 卒論のテーマ設定に向けての報告（5）
14. 卒論のテーマ設定に向けての報告（6）
15. まとめ

[成績評価方法]
報告・質疑の内容および受講態度を総合的に評価する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	史学演習Ⅲ	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	山内　晋次			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：報告・質疑の内容、受講態度

学科DP番号／DP内容：史学1-2／自己の研究課題に関する資史料（文献史料・考古資料・民俗資料など）の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。
成績評価方法：報告・質疑の内容、受講態度

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：報告・質疑の内容、受講態度

学科DP番号／DP内容：史学2-2／幅広く歴史学上の専門書や学術論文を精読し、研究上の課題を主体的に発見する能力を有している。
成績評価方法：報告・質疑の内容、受講態度

学科DP番号／DP内容：史学2-3／課題解決のために必要な資史料を的確に見きわめることができ、客観的に事実を見定める判断力を有している。
成績評価方法：報告・質疑の内容、受講態度

学科DP番号／DP内容：史学2-5／演習の研究発表ならびに授業のレポートや卒業論文の作成を通じて、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を有している。
成績評価方法：報告・質疑の内容、受講態度

学科DP番号／DP内容：史学3-1／演習形式の授業に積極的に取り組み、主体的に自己の課題を発見かつ解決できる能力を有している。
成績評価方法：報告・質疑の内容、受講態度

学科DP番号／DP内容：史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法：報告・質疑の内容、受講態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：報告・質疑の内容、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：報告・質疑の内容、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：報告・質疑の内容、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：報告・質疑の内容、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：報告・質疑の内容、受講態度

[教科書（ISBN）]
なし　著者名：―　出版社：―　（―）

[参考書（ISBN）]
なし　著者名：―　出版社：―　（―）

S53128 [LH3-120]

科目名	史学演習Ⅲ	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	吉村　真美			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
各自の卒業論文のテーマを掘り下げ、各自で時間をかけて取り組める休暇に備えて準備を進める。領域・時代・テーマについて卒業論文の概要を決定する。

[授業概要]
この演習は、卒業論文の作成にむけて、各自の選択したテーマにもとづく口頭発表を中心に行う。授業時には他の受講生の報告を受けて、積極的な質疑応答を行うこと。なお、講義と課題を含めた事前学習の後に、西洋史関連の展示などを見学する学外実習も実施する予定である。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
各回、予習復習合わせて2時間程度。教員の指示にしたがって、受講生はそれぞれのテーマに則した予備学習を十分に行って報告に臨むこととし、報告にたいする教員の指導と質疑応答をふまえてmanaba上に課題を再提出させることでフィードバックを行う。

[授業計画]
1. はじめに　スケジュールの確認
2. 各自のテーマ報告(1)
3. 口頭報告(1)
4. 口頭報告(2)
5. 口頭報告(3)
6. 口頭報告(4)
7. 口頭報告(5)
8. 学外実習(予定)
9. 口頭報告(6)
10. 口頭報告(7)
11. 口頭報告(8)
12. 口頭報告(9)
13. 口頭報告(10)
14. 各自のテーマ報告(2)
15. おわりに　休暇中の課題について

[成績評価方法]
課題および課題の口頭発表の内容(60%)、課題の再提出の内容および質疑応答への参加状況など授業参加の積極性(40%)
課題については授業時に口頭で指導し、その内容をふまえた再提出を課すことでフィードバックを行う。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	史学演習Ⅲ	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	吉村　真美			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:史学1-2／自己の研究課題に関する資史料(文献史料・考古資料・民俗資料など)の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。
成績評価方法:課題

学科DP番号／DP内容:史学2-3／課題解決のために必要な資史料を的確に見きわめることができ、客観的に事実を見定める判断力を有している。
成績評価方法:課題

学科DP番号／DP内容:史学2-5／演習の研究発表ならびに授業のレポートや卒業論文の作成を通じて、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を有している。
成績評価方法:課題

学科DP番号／DP内容:史学3-1／演習形式の授業に積極的に取り組み、主体的に自己の課題を発見かつ解決できる能力を有している。
成績評価方法:課題

学科DP番号／DP内容:史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法:課題

学科DP番号／DP内容:史学3-3／演習や実習を通じて、他者を主導しつつ、共に課題の解決を図ろうとする対話力と協働性を有している。
成績評価方法:課題

学科DP番号／DP内容:史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法:課題

学科DP番号／DP内容:史学2-2／幅広く歴史学上の専門書や学術論文を精読し、研究上の課題を主体的に発見する能力を有している。
成績評価方法:課題

学科DP番号／DP内容:史学2-4／読解した資史料を論理的に分析し、卒業論文の作成を通して自己の課題を解決していく能力を有している。
成績評価方法:課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:課題

[教科書(ISBN)]
なし

[参考書(ISBN)]
適宜指示する。

科目名	史学演習Ⅳ	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	村田　路人			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
受講生各自が選択した卒業論文のテーマについて、先行研究の整理と史料の所在確認を行い、夏期休暇中の史料収集および収集史料分析につなげる。

[授業概要]
この授業は、受講生の発表形式により、卒業論文の作成指導を行うものである。授業は、【第一段階】受講生各自が卒業論文のテーマを選ぶ、【第二段階】受講生各自が選んだテーマに関わる先行研究をまとめるとともに、その問題点を明らかにし、報告する(一回目報告)、【第三段階】受講生各自が、それぞれのテーマに関わる史料の所在と内容を把握するとともに、卒業論文の構想についてまとめ、報告する(二回目報告)、の順に行う。報告者数は、毎回2名程度とする。なお、受講生は夏休み中に史料の収集と内容分析を行い、400字詰原稿用紙換算15 枚程度の卒論構想レポートを作成する。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
報告予定者は、事前に報告レジュメを作成する。

[授業計画]
1. 授業の進め方
2. 受講生全員が、それぞれどのようなテーマで卒業論文を作成したいのかについて報告する。
3. 卒論テーマに関わる先行研究についての報告(一回目報告)1
4. 卒論テーマに関わる先行研究についての報告(一回目報告)2
5. 卒論テーマに関わる先行研究についての報告(一回目報告)3
6. 卒論テーマに関わる先行研究についての報告(一回目報告)4
7. 卒論テーマに関わる先行研究についての報告(一回目報告)5
8. 卒論テーマに関わる先行研究についての報告(一回目報告)6
9. 卒論テーマに関わる史料の所在と内容および卒論構想についての報告(二回目報告)1
10. 卒論テーマに関わる史料の所在と内容および卒論構想についての報告(二回目報告)2
11. 卒論テーマに関わる史料の所在と内容および卒論構想についての報告(二回目報告)3
12. 卒論テーマに関わる史料の所在と内容および卒論構想についての報告(二回目報告)4
13. 卒論テーマに関わる史料の所在と内容および卒論構想についての報告(二回目報告)5
14. 卒論テーマに関わる史料の所在と内容および卒論構想についての報告(二回目報告)6
15. 教員が、夏休み中の研究の進め方と卒論構想レポートの作成について説明する。

[成績評価方法]
報告内容50%、授業への取り組み(討論への参加など)20%、レポート30%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	史学演習Ⅳ	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	村田　路人			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：報告内容、レポート

学科DP番号／DP内容：史学1-2／自己の研究課題に関する資史料（文献史料・考古資料・民俗資料など）の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。
成績評価方法：報告内容、レポート

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：報告内容、レポート

学科DP番号／DP内容：史学2-2／幅広く歴史学上の専門書や学術論文を精読し、研究上の課題を主体的に発見する能力を有している。
成績評価方法：報告内容、レポート

学科DP番号／DP内容：史学2-3／課題解決のために必要な資史料を的確に見きわめることができ、客観的に事実を見定める判断力を有している。
成績評価方法：報告内容、レポート

学科DP番号／DP内容：史学2-4／読解した資史料を論理的に分析し、卒業論文の作成を通して自己の課題を解決していく能力を有している。
成績評価方法：報告内容、レポート

学科DP番号／DP内容：史学2-5／演習の研究発表ならびに授業のレポートや卒業論文の作成を通じて、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を有している。
成績評価方法：報告内容、レポート

学科DP番号／DP内容：史学3-1／演習形式の授業に積極的に取り組み、主体的に自己の課題を発見かつ解決できる能力を有している。
成績評価方法：報告内容、授業への取り組み、レポート

学科DP番号／DP内容：史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法：報告内容、レポート

学科DP番号／DP内容：史学3-3／演習や実習を通じて、他者を主導しつつ、共に課題の解決を図ろうとする対話力と協働性を有している。
成績評価方法：報告内容、授業への取り組み、レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：報告内容、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：報告内容、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：報告内容、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：授業への取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
授業中に適宜紹介する

S53160 [LH3-121]

科目名	史学演習Ⅳ	前期	演習	2 単位
サブタイトル	卒論テーマを深める			
担当者	梶木　良夫			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
卒業論文テーマを確定し、準備レポートを作成する。

[授業概要]
卒業論文作成に必要な基本的スキルのうち、特に論文の要点の把握と疑問を導き出す能力、さらに当該テーマに必要な史料を読み解く技能を身につけるよう指導する。また論文の引用史料を手がかりに、関係史料の収集を進める。この作業で得た成果は、準備レポート(A)にまとめる。なお、夏期休暇中に、準備レポート(A)に対する講評を参考に、論文・史料を検討し、卒論準備合宿（9月初旬予定）で、その内容を報告する。この報告をもとに、卒論の原型となる準備レポート(B)を作成する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
準備レポート(A)の作成に向けて、授業計画の各テーマに対応した準備を進める。必要な研究文献と史料の所在の再確認につとめる。

[授業計画]
1. レポートをもとにした課題設定
2. 関連論文と史料の検索　－図書館とweb情報の利用－
3. 第1回準備報告　テーマの確定を中心に(1)
4. 第1回準備報告　テーマの確定を中心に(2)
5. 第1回準備報告　テーマの確定を中心に(3)
6. フィールドワーク演習　－卒論準備合宿に向けて(1)－
7. 第2回準備報告　研究史の整理を中心に(1)
8. 第2回準備報告　研究史の整理を中心に(2)
9. 第2回準備報告　研究史の整理を中心に(3)
10. フィールドワーク演習　－卒論準備合宿に向けて(2)－
11. 第3回準備報告　史料を読み解く作業を中心に(1)
12. 第3回準備報告　史料を読み解く作業を中心に(2)
13. 第3回準備報告　史料を読み解く作業を中心に(3)
14. 準備レポート(A)の作成(1)
15. 準備レポート(A)の作成(2)

[成績評価方法]
レポート（60%）授業の準備状況、提出レジュメ、報告、質疑応答（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
manabaレポートのコメント機能を使用。提出レポートの問題点を指摘し、卒論準備合宿までに取り組むべき課題を提示する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	史学演習Ⅳ	前期	演習	2 単位
サブタイトル	卒論テーマを深める			
担当者	梶木　良夫			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

学科DP番号／DP内容:史学1-2／自己の研究課題に関する資史料(文献史料・考古資料・民俗資料など)の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

学科DP番号／DP内容:史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

学科DP番号／DP内容:史学2-2／幅広く歴史学上の専門書や学術論文を精読し、研究上の課題を主体的に発見する能力を有している。
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

学科DP番号／DP内容:史学2-5／演習の研究発表ならびに授業のレポートや卒業論文の作成を通じて、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を有している。
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

学科DP番号／DP内容:史学3-1／演習形式の授業に積極的に取り組み、主体的に自己の課題を発見かつ解決できる能力を有している。
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

学科DP番号／DP内容:史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

学科DP番号／DP内容:史学3-3／演習や実習を通じて、他者を主導しつつ、共に課題の解決を図ろうとする対話力と協働性を有している。
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答

学科DP番号／DP内容:史学2-3／課題解決のために必要な資史料を的確に見きわめることができ、客観的に事実を見定める判断力を有している。
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

学科DP番号／DP内容:史学2-4／読解した資史料を論理的に分析し、卒業論文の作成を通して自己の課題を解決していく能力を有している。
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:報告、質疑応答

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:提出レジュメ・報告・質疑応答・レポート

[教科書(ISBN)]
なし。

[参考書(ISBN)]
なし。授業中に随時、紹介する。

科目名	史学演習Ⅳ	前期	演習	2 単位
サブタイトル	テーマから議論へ			
担当者	川森　博司			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
自分の考えをまとめる力を養うとともに、受講生相互の間で批評する力を身につけることが、この演習の到達目標である。

[授業概要]
論文における議論の組み立て方に重点を置いて演習を進める。モデル論文の検討をおこなった後に、各自の選んだテーマに沿って発表してもらう。自分の考えをまとめる力を養うとともに、受講生相互の間で批評する力を身につけることを目ざして演習を進める。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
授業中に指示した関連文献を読んでおくこと。

[授業計画]
1. 論文とは何か
2. モデル論文の検討（1）
3. モデル論文の検討（2）
4. 民俗学のテーマと方法（1）
5. 民俗学のテーマと方法（2）
6. 個人発表（1）
7. 個人発表（2）
8. 個人発表（3）
9. 個人発表（4）
10. 個人発表（5）
11. 議論の組み立て方（1）
12. 議論の組み立て方（2）
13. 個別課題の検討（1）
14. 個別課題の検討（2）
15. まとめ

[成績評価方法]
学習態度（50%）、発表内容（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	史学演習Ⅳ	前期	演習	2 単位
サブタイトル	テーマから議論へ			
担当者	川森　博司			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学2-5／演習の研究発表ならびに授業のレポートや卒業論文の作成を通じて、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を有している。
成績評価方法：卒論中間発表

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：卒論中間発表

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
原稿用紙10枚を書く力　著者名：齋藤孝　出版社：だいわ文庫 （9784479300731）

S53162 [LH3-121]

科目名	史学演習Ⅳ	前期	演習	2 単位
サブタイトル	卒業論文指導（1）			
担当者	鈴木　宏節			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
卒業論文を執筆する基本姿勢と方法についての理解を深める。

[授業概要]
卒業論文作成の準備段階で、各人が選んだテーマについて学んだ成果を発表し、全員で質疑討論をする。演習の進行と並行して各自が研究の成果をレポートにすることを求め、それに加えて夏期休業中には卒業論文の雛形となる大型のレポート作成を求める。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
文献・史料の網羅的収集をしつつ、各自のテーマを深化させるため関連論文と史料を積極的に読み進める。

[授業計画]
【全て遠隔授業】
1. 論文の作法(1)本文篇
2. 論文の作法(2)史料篇
3. 論文の作法(3)文献篇
4. 論文の構想発表(1)
5. 論文の構想発表(2)
6. 論文の構想発表(3)
7. 論文の構想発表(4)
8. 論文の構想発表(5)
9. 論文の構想発表(6)
10. 論文の構想発表(7)
11. 論文の構想発表(8)
12. 論文の構想発表(9)
13. 論文の構想発表(10)
14. 研究結果の総括(1)
15. 研究結果の総括(2)

[成績評価方法]
授業への取り組み（30%）＋レポート（70%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	史学演習Ⅳ	前期	演習	2 単位
サブタイトル	卒業論文指導（1）			
担当者	鈴木　宏節			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学2-4／読解した資史料を論理的に分析し、卒業論文の作成を通して自己の課題を解決していく能力を有している。
成績評価方法：授業への取り組み＋レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業への取り組み＋レポート

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
授業中に紹介する。

S53163 [LH3-121]

科目名	史学演習Ⅳ	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	寺沢　知子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
卒業論文作成にむけて、資料の収集につとめ、論文の組み立てを完成させる。

[授業概要]
各自のテーマに関しての個別発表を中心にし、テーマに関連した考古学の最新研究成果の検討をおこなう。考古資料の分析は、分布図や表などにオリジナリティが求められるため、その方法を学ぶ。また、各自のテーマにかかわる遺跡や遺物を可能な限り実際に踏査したり、観察する機会を持つように指導する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各自のテーマについて研究を進め、発表担当者は成果のまとめのレジュメを作成する。

[授業計画]
【対面授業――部遠隔授業】
1. 研究史の批判的検討の指導①
2. 研究史の批判的検討の指導②
3. 研究史の批判的検討のまとめ
4. テーマにそった資料の収集①
5. テーマにそった資料の収集②
6. テーマにそった資料の収集③
7. 資料収集のまとめ
8. 収集した資料の分析、図・表の作成①
9. 収集した資料の分析、図・表の作成②
10. 収集した資料の分析、図・表の作成③
11. 収集した資料の分析、図・表の作成のまとめ
12. 分析結果による考えをまとめる文章化の指導①
13. 分析結果による考えをまとめる文章化の指導②
14. 分析結果による考えをまとめる文章化の指導③
15. 文章化のまとめ

[成績評価方法]
発表内容（50%）・受講態度（30%）・レポート（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
演習中に、レジュメ・まとめの作成内容について指導

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	史学演習Ⅳ	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	寺沢　知子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-2／自己の研究課題に関する資史料（文献史料・考古資料・民俗資料など）の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。
成績評価方法：発表内容・レポート課題

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：発表内容・レポート課題

学科DP番号／DP内容：史学2-2／幅広く歴史学上の専門書や学術論文を精読し、研究上の課題を主体的に発見する能力を有している。
成績評価方法：発表内容・レポート課題

学科DP番号／DP内容：史学2-3／課題解決のために必要な資史料を的確に見きわめることができ、客観的に事実を見定める判断力を有している。
成績評価方法：発表内容・レポート課題

学科DP番号／DP内容：史学2-4／読解した資史料を論理的に分析し、卒業論文の作成を通して自己の課題を解決していく能力を有している。
成績評価方法：発表内容・レポート課題

学科DP番号／DP内容：史学2-5／演習の研究発表ならびに授業のレポートや卒業論文の作成を通じて、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を有している。
成績評価方法：発表内容・レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表内容・レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：発表内容・レポート課題

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
適宜指示する。

科目名	史学演習Ⅳ	前期	演習	2 単位
サブタイトル	日本近現代史研究の実際			
担当者	松下　孝昭			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
卒論に必要な史料の所在を確認し、夏季休暇中の収集に向けた準備を完成させることが目標である。あわせて各自のテーマに関する研究整理を進めることも今学期の課題である。

[授業概要]
卒論作成に向けた演習を行う。この演習Ⅳでは、まずは卒論のテーマを固め、それに関する文献の所在を確認し、収集を始めることが大切である。できれば収集した史料の読解も取り入れたい。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
史学演習Ⅰ～Ⅲを修得して、日本近現代史における史料の読解や研究状況の整理ができることが前提となる。

[授業計画]
【全て遠隔授業】
1. 各自の問題関心の披露
2. 卒論についての心構え(講義)
3. 論文作成のノウハウについて(講義)
4. 各自が関心を持つテーマに関する発表1
5. 各自が関心を持つテーマに関する発表2
6. 各自が関心を持つテーマに関する発表3
7. 各自が関心を持つテーマに関する発表4
8. 各自が関心を持つテーマに関する発表5
9. 中間的なまとめ
10. 卒論作成に向けたさらなる研究整理1
11. 卒論作成に向けたさらなる研究整理2
12. 卒論作成に向けたさらなる研究整理3
13. 卒論作成に向けたさらなる研究整理4
14. 卒論作成に向けたさらなる研究整理5
15. まとめ(夏休み中の目標の確認)

[成績評価方法]
受講状況(50%)、発表内容(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業中あるいは終了時を利用して適宜フィードバックする。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	史学演習Ⅳ	前期	演習	2 単位
サブタイトル	日本近現代史研究の実際			
担当者	松下　孝昭			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法:発表内容

学科DP番号／DP内容:史学1-2／自己の研究課題に関する資史料(文献史料・考古資料・民俗資料など)の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。
成績評価方法:発表内容

学科DP番号／DP内容:史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法:発表内容

学科DP番号／DP内容:史学2-2／幅広く歴史学上の専門書や学術論文を精読し、研究上の課題を主体的に発見する能力を有している。
成績評価方法:発表内容

学科DP番号／DP内容:史学2-3／課題解決のために必要な資史料を的確に見きわめることができ、客観的に事実を見定める判断力を有している。
成績評価方法:発表内容

学科DP番号／DP内容:史学2-4／読解した資史料を論理的に分析し、卒業論文の作成を通して自己の課題を解決していく能力を有している。
成績評価方法:発表内容

学科DP番号／DP内容:史学2-5／演習の研究発表ならびに授業のレポートや卒業論文の作成を通じて、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を有している。
成績評価方法:発表内容

学科DP番号／DP内容:史学3-1／演習形式の授業に積極的に取り組み、主体的に自己の課題を発見かつ解決できる能力を有している。
成績評価方法:発表内容

学科DP番号／DP内容:史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法:発表内容

学科DP番号／DP内容:史学3-3／演習や実習を通じて、他者を主導しつつ、共に課題の解決を図ろうとする対話力と協働性を有している。
成績評価方法:受講状況・発表内容

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:発表内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:受講状況

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:発表内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:発表内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:発表内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:発表内容

[教科書(ISBN)]
なし

[参考書(ISBN)]
なし

科目名	史学演習Ⅳ	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	山内　晋次			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
受講生各自の問題意識にもとづき、先行研究を整理しつつ、卒業論文の具体的なテーマを確定する。

[授業概要]
受講生各自が、自身の卒論テーマに選ぼうとしている研究課題について先行研究を調べ、その整理を通して、卒論の具体的な素材を準備していく。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
自分の卒論の方向性について、つねに検討・確認をおこなっておく。

[授業計画]
【全て遠隔授業】
1. ガイダンス
2. 各自が関心を持っているテーマの報告（1）
3. 各自が関心を持っているテーマの報告（2）
4. 各自が関心を持っているテーマの報告（3）
5. 各自が関心を持っているテーマの報告（4）
6. 先行研究の紹介と問題点の報告（1）
7. 先行研究の紹介と問題点の報告（2）
8. 先行研究の紹介と問題点の報告（3）
9. 先行研究の紹介と問題点の報告（4）
10. 先行研究の紹介と問題点の報告（5）
11. 選択したテーマに関する史料までを含めた準備報告（1）
12. 選択したテーマに関する史料までを含めた準備報告（2）
13. 選択したテーマに関する史料までを含めた準備報告（3）
14. 選択したテーマに関する史料までを含めた準備報告（4）
15. 夏期休暇中の課題の確認

[成績評価方法]
報告・質疑の内容・態度（70点）、卒論準備レポート（30点）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	史学演習Ⅳ	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	山内　晋次			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法:報告・質疑の内容、受講態度

学科DP番号／DP内容:史学1-2／自己の研究課題に関する資史料(文献史料・考古資料・民俗資料など)の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。
成績評価方法:報告・質疑の内容、受講態度

学科DP番号／DP内容:史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法:報告・質疑の内容、受講態度

学科DP番号／DP内容:史学2-2／幅広く歴史学上の専門書や学術論文を精読し、研究上の課題を主体的に発見する能力を有している。
成績評価方法:報告・質疑の内容、受講態度

学科DP番号／DP内容:史学2-3／課題解決のために必要な資史料を的確に見きわめることができ、客観的に事実を見定める判断力を有している。
成績評価方法:報告・質疑の内容、受講態度

学科DP番号／DP内容:史学2-4／読解した資史料を論理的に分析し、卒業論文の作成を通して自己の課題を解決していく能力を有している。
成績評価方法:報告・質疑の内容、受講態度

学科DP番号／DP内容:史学2-5／演習の研究発表ならびに授業のレポートや卒業論文の作成を通じて、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を有している。
成績評価方法:報告・質疑の内容、受講態度

学科DP番号／DP内容:史学3-1／演習形式の授業に積極的に取り組み、主体的に自己の課題を発見かつ解決できる能力を有している。
成績評価方法:報告・質疑の内容、受講態度

学科DP番号／DP内容:史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法:報告・質疑の内容、受講態度

学科DP番号／DP内容:史学3-3／演習や実習を通じて、他者を主導しつつ、共に課題の解決を図ろうとする対話力と協働性を有している。
成績評価方法:報告・質疑の内容、受講態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:報告・質疑の内容、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:報告・質疑の内容、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:報告・質疑の内容、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:報告・質疑の内容、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:報告・質疑の内容、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:報告・質疑の内容、受講態度

[教科書(ISBN)]
なし　著者名:―　出版社:―　(―)

[参考書(ISBN)]
なし　著者名:―　出版社:―　(―)

科目名	史学演習Ⅳ	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	吉村　真美			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
授業時間内にはひきつづき各自の選択したテーマにもとづいた口頭報告と質疑応答を行う。また卒業論文の構成表の作成も進め、それにもとづく中間発表も行う。終盤には実際に論文を執筆する際に必要となる表記作法を学習し、卒業論文の執筆を開始する。

[授業概要]
この演習は、卒業論文の作成にむけて、各自の選択したテーマにもとづく口頭発表を中心に行う。授業時には他の受講生の報告を受けて、積極的な質疑応答を行うこと。なお、講義と課題を含めた事前学習の後に、西洋史関連の展示などを見学する学外実習も実施する予定である。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
各回、予習復習合わせて2時間程度。教員の指示にしたがって、受講生はそれぞれのテーマに則した予備学習を十分に行って報告に臨むこととし、報告にたいする教員の指導と質疑応答をふまえてmanaba上に課題を再提出させることでフィードバックを行う。

[授業計画]
1. はじめに　スケジュールの確認
2. 各自のテーマ報告(1)
3. 口頭報告(1)
4. 口頭報告(2)
5. 口頭報告(3)
6. 口頭報告(4)
7. 口頭報告(5)
8. オンラインでの資料収集について
9. 口頭報告(6)
10. 口頭報告(7)
11. 口頭報告(8)
12. 口頭報告(9)
13. 口頭報告(10)
14. 各自のテーマ報告(2)
15. おわりに　休暇中の課題について

[成績評価方法]
課題および課題の口頭発表の内容(60%)、課題の再提出の内容および質疑応答への参加状況など授業参加の積極性(40%)
課題については授業時に口頭で指導し、その内容をふまえた再提出を課すことでフィードバックを行う。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	史学演習Ⅳ	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	吉村　真美			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:史学1-2／自己の研究課題に関する資史料(文献史料・考古資料・民俗資料など)の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。
成績評価方法:課題

学科DP番号／DP内容:史学2-3／課題解決のために必要な資史料を的確に見きわめることができ、客観的に事実を見定める判断力を有している。
成績評価方法:課題

学科DP番号／DP内容:史学2-5／演習の研究発表ならびに授業のレポートや卒業論文の作成を通じて、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を有している。
成績評価方法:課題

学科DP番号／DP内容:史学3-1／演習形式の授業に積極的に取り組み、主体的に自己の課題を発見かつ解決できる能力を有している。
成績評価方法:課題

学科DP番号／DP内容:史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法:課題

学科DP番号／DP内容:史学3-3／演習や実習を通じて、他者を主導しつつ、共に課題の解決を図ろうとする対話力と協働性を有している。
成績評価方法:課題

学科DP番号／DP内容:史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法:課題

学科DP番号／DP内容:史学2-2／幅広く歴史学上の専門書や学術論文を精読し、研究上の課題を主体的に発見する能力を有している。
成績評価方法:課題

学科DP番号／DP内容:史学2-4／読解した資史料を論理的に分析し、卒業論文の作成を通して自己の課題を解決していく能力を有している。
成績評価方法:課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:課題

[教科書(ISBN)]
なし

[参考書(ISBN)]
適宜指示する。

科目名	史学演習Ⅴ	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	村田　路人			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
卒業論文の作成を通して、歴史研究の方法を身につけるとともに、歴史学という学問とは何かを理解する。

[授業概要]
この授業は、受講生の発表形式により、卒業論文の作成指導を行うものである。授業は、【第一段階】受講生各自が、夏休み中に作成した卒論構想レポートをもとに、卒論の章節構成を報告する(一回目報告)、【第二段階】受講生各自が、一回目報告を修正する形で、卒論の章節構成を報告する(二回目報告)、の順で進める。受講生は、11月頃より卒論の下書きの執筆に取りかかり、1月に完成させて提出する。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
報告担当者は、レジュメを作成し、当日の報告に備える。報告担当者以外の受講生も、いつでも自身の研究の進捗状況を説明できるようにしておくこと。

[授業計画]
1. 授業の進め方
2. 卒論構想についての報告(一回目報告)1
3. 卒論構想についての報告(一回目報告)2
4. 卒論構想についての報告(一回目報告)3
5. 卒論構想についての報告(一回目報告)4
6. 卒論構想についての報告(一回目報告)5
7. 卒論構想についての報告(一回目報告)6
8. 卒論構想についての報告(一回目報告)7
9. 卒論構想についての報告(二回目報告)1
10. 卒論構想についての報告(二回目報告)2
11. 卒論構想についての報告(二回目報告)3
12. 卒論構想についての報告(二回目報告)4
13. 卒論構想についての報告(二回目報告)5
14. 卒論構想についての報告(二回目報告)6
15. 卒論構想についての報告(二回目報告)7

[成績評価方法]
レポート30%、各自の報告内容70%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	史学演習Ⅴ	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	村田　路人			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：報告内容、レポート

学科DP番号／DP内容：史学1-2／自己の研究課題に関する資史料（文献史料・考古資料・民俗資料など）の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。
成績評価方法：報告内容、レポート

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：報告内容、レポート

学科DP番号／DP内容：史学2-2／幅広く歴史学上の専門書や学術論文を精読し、研究上の課題を主体的に発見する能力を有している。
成績評価方法：報告内容、レポート

学科DP番号／DP内容：史学2-3／課題解決のために必要な資史料を的確に見きわめることができ、客観的に事実を見定める判断力を有している。
成績評価方法：報告内容、レポート

学科DP番号／DP内容：史学2-4／読解した資史料を論理的に分析し、卒業論文の作成を通して自己の課題を解決していく能力を有している。
成績評価方法：報告内容、レポート

学科DP番号／DP内容：史学2-5／演習の研究発表ならびに授業のレポートや卒業論文の作成を通じて、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を有している。
成績評価方法：報告内容、レポート

学科DP番号／DP内容：史学3-1／演習形式の授業に積極的に取り組み、主体的に自己の課題を発見かつ解決できる能力を有している。
成績評価方法：報告内容、レポート

学科DP番号／DP内容：史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法：報告内容、レポート

学科DP番号／DP内容：史学3-3／演習や実習を通じて、他者を主導しつつ、共に課題の解決を図ろうとする対話力と協働性を有している。
成績評価方法：報告内容、レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：報告内容、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：報告内容、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：報告内容、レポート

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
授業中に適宜紹介する

S53180 [LH3-122]

科目名	史学演習Ⅴ	後期	演習	2 単位
サブタイトル	卒業論文を仕上げる			
担当者	梶木　良夫			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
問題関心に対応した構成と論理展開を持つ卒論を完成させる。

[授業概要]
準備レポート(B)をもとに、その論理構成を確認し、かつその根拠となる史料の解読を含めた報告を行う。その際、各自の問題関心にふさわしい章立てと論理展開が行われているかをチェックし、学術論文としての形式にも留意して仕上げをめざす。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
準備レポート(B)についての課題をふまえ、授業計画の諸段階に対応した内容の充実をはかる。

[授業計画]
1. 準備レポート(B)に基づく課題設定
2. 関連論文と重点史料の検討および問題点の解明(1)
3. 関連論文と重点史料の検討および問題点の解明(2)
4. 関連論文と重点史料の検討および問題点の解明(3)
5. 関連論文と重点史料の検討および問題点の解明(4)
6. 章立ての検討(1)
7. 章立ての検討(2)
8. 章立ての検討(3)
9. 章立ての検討(4)
10. 論理展開の充実に向けて(1)
11. 論理展開の充実に向けて(2)
12. 論理展開の充実に向けて(3)
13. 論理展開の充実に向けて(4)
14. 引用データの再点検
15. 課題の設定

[成績評価方法]
授業の準備状況、提出レジュメ、報告、質疑応答

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
卒業論文を仕上げるため、下書きを提出させて、論旨の確認と表記の見直しを重点に指導する。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	史学演習Ⅴ	後期	演習	2 単位
サブタイトル	卒業論文を仕上げる			
担当者	梶木　良夫			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:史学1-2／自己の研究課題に関する資史料(文献史料・考古資料・民俗資料など)の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。
成績評価方法:提出レジュメ、報告、質疑応答

学科DP番号／DP内容:史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法:提出レジュメ、報告、質疑応答

学科DP番号／DP内容:史学2-2／幅広く歴史学上の専門書や学術論文を精読し、研究上の課題を主体的に発見する能力を有している。
成績評価方法:提出レジュメ、報告、質疑応答

学科DP番号／DP内容:史学2-5／演習の研究発表ならびに授業のレポートや卒業論文の作成を通じて、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を有している。
成績評価方法:提出レジュメ、報告、質疑応答

学科DP番号／DP内容:史学3-1／演習形式の授業に積極的に取り組み、主体的に自己の課題を発見かつ解決できる能力を有している。
成績評価方法:提出レジュメ、報告、質疑応答

学科DP番号／DP内容:史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法:提出レジュメ、報告、質疑応答

学科DP番号／DP内容:史学3-3／演習や実習を通じて、他者を主導しつつ、共に課題の解決を図ろうとする対話力と協働性を有している。
成績評価方法:提出レジュメ、報告、質疑応答

学科DP番号／DP内容:史学2-3／課題解決のために必要な資史料を的確に見きわめることができ、客観的に事実を見定める判断力を有している。
成績評価方法:提出レジュメ、報告、質疑応答

学科DP番号／DP内容:史学2-4／読解した資史料を論理的に分析し、卒業論文の作成を通して自己の課題を解決していく能力を有している。
成績評価方法:提出レジュメ、報告、質疑応答

学科DP番号／DP内容:史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法:提出レジュメ、報告、質疑応答

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:報告、質疑応答

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:提出レジュメ、報告、質疑応答

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:報告、質疑応答

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:提出レジュメ、報告、質疑応答

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:提出レジュメ、報告、質疑応答

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:提出レジュメ、報告、質疑応答

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:提出レジュメ、報告、質疑応答

[教科書(ISBN)]
なし

[参考書(ISBN)]
なし。授業中に随時、紹介する。

科目名	史学演習Ⅴ	後期	演習	2 単位
サブタイトル	論文作成の実践			
担当者	川森　博司			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
卒論の作成をとおして課題解決の作業の道筋を体得することを、この演習の到達目標とする。

[授業概要]
夏休み中の学習成果をもとに論文のアウトラインを作成することから始め、各自の論文の構想を順番に発表してもらう。その後、各自の執筆段階に応じて、個別の指導をおこなう。テーマに即した資料を集めて分析し、筋道を立てた論証をおこなうことが、そのポイントである。卒論の作成をとおして課題解決の作業の道筋を体得することを目ざして、演習を進める。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
授業中に指示した関連文献を読んでおこくこと。

[授業計画]
1. 論文のアウトラインの作成（1）
2. 論文のアウトラインの作成（2）
3. 個人発表（1）
4. 個人発表（2）
5. 個人発表（3）
6. 個人発表（4）
7. 個人発表（5）
8. 個人発表（6）
9. 論文執筆指導（1）
10. 論文執筆指導（2）
11. 論文執筆指導（3）
12. 論文執筆指導（4）
13. 論文執筆指導（5）
14. 論文執筆をふりかえって
15. まとめ

[成績評価方法]
学習態度（50%）、発表内容（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S53182 [LH3-122]

科目名	史学演習Ⅴ	後期	演習	2 単位
サブタイトル	論文作成の実践			
担当者	川森　博司			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学2-5／演習の研究発表ならびに授業のレポートや卒業論文の作成を通じて、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を有している。
成績評価方法：卒業論文

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：卒業論文

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
『原稿用紙10枚を書く力』だいわ文庫　著者名：齋藤孝　出版社：大和書房 （978-4-479-30073-1）

S53182 [LH3-122]

科目名	史学演習Ⅴ	後期	演習	2 単位
サブタイトル	卒業論文指導（2）			
担当者	鈴木　宏節			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
卒業論文の執筆を通して、表現力を磨くとともに歴史研究の意義を理解する。

[授業概要]
それぞれの研究発表を継続しながら、卒業論文の執筆を進める。原稿については適宜個別に指導をおこなう。論文の書き方、註のつけ方など細部にわたる指導も同時におこなう。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
卒業論文構想をもとに、研究書や論文の読解を進め、史料批判を深化させる。原稿を何度も読み返し論理的な文章を完成させることにつとめる。

[授業計画]
1.　論文の執筆作法
2. 史料報告と読解(1)
3.　史料報告と読解(2)
4.　史料報告と読解(3)
5.　史料報告と読解(4)
6.　史料報告と読解(5)
7.　史料報告と読解(6)
8.　研究報告と討論(1)
9.　研究報告と討論(2)
10.　研究報告と討論(3)
11.　研究報告と討論(4)
12.　研究報告と討論(5)
13.　研究報告と討論(6)
14.　執筆原稿の推敲(1)
15.　執筆原稿の推敲(2)

[成績評価方法]
授業への取り組み（30%）＋レポート（70%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	史学演習Ⅴ	後期	演習	2 単位
サブタイトル	卒業論文指導（2）			
担当者	鈴木　宏節			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学3-3／演習や実習を通じて、他者を主導しつつ、共に課題の解決を図ろうとする対話力と協働性を有している。
成績評価方法：授業への取り組み＋レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業への取り組み＋レポート

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
授業中に紹介する。

S53183 [LH3-122]

科目名	史学演習Ⅴ	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	寺沢　知子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
推敲を重ねた卒業論文の完成

[授業概要]
演習Ⅲにつづいて考古学の研究手法をより深く学びながら、考古学の手法で卒論を作成するために、分析方法や論の展開の整合性を検討していく。考古学の論文は、個別の資料を集めただけの内容になりがちであるが、常に「歴史学」としての主体的な問題意識による時代性の把握をめざせるようにする。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各自のテーマについて、資料収集の経過説明、分析、論証についての発表の準備と、レジュメの作成

[授業計画]
1. 分析結果の文章化の発表と指導①
2. 分析結果の文章化の発表と指導②
3. 分析結果の文章化の発表と指導③
4. 分析結果の文章化の発表と指導④
5. 分析結果の文章化の発表と指導⑤
6. 分析結果の文章化の発表と指導⑥
7. 分析法と文章化の全体的な指導
8. 結論の文章化の発表と指導①
9. 結論の文章化の発表と指導②
10. 結論の文章化の発表と指導③
11. 結論の文章化の発表と指導④
12. 結論の文章化の発表と指導⑤
13. 結論の文章化の発表と指導⑥
14. 卒論内容の最終校正指導①
15. 卒論内容の最終校正指導②

[成績評価方法]
発表内容（50%）・受講態度（30%）・レポート（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
演習中に指導

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	史学演習Ⅴ	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	寺沢　知子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-2／自己の研究課題に関する資史料（文献史料・考古資料・民俗資料など）の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。
成績評価方法：発表内容・レポート課題

学科DP番号／DP内容：史学2-2／幅広く歴史学上の専門書や学術論文を精読し、研究上の課題を主体的に発見する能力を有している。
成績評価方法：発表内容・レポート課題

学科DP番号／DP内容：史学2-3／課題解決のために必要な資史料を的確に見きわめることができ、客観的に事実を見定める判断力を有している。
成績評価方法：発表内容・レポート課題

学科DP番号／DP内容：史学2-4／読解した資史料を論理的に分析し、卒業論文の作成を通して自己の課題を解決していく能力を有している。
成績評価方法：発表内容・レポート課題

学科DP番号／DP内容：史学2-5／演習の研究発表ならびに授業のレポートや卒業論文の作成を通じて、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を有している。
成績評価方法：発表内容・レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
適宜指示する。

科目名	史学演習Ⅴ	後期	演習	2 単位
サブタイトル	卒業論文作成の実際			
担当者	松下　孝昭			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
卒論を作成することが最大の目標である。その際には、史料をもとに論証できているか、的確な研究整理と批判ができているか、の2点が肝要となる。

[授業概要]
前期に引き続いて、卒論作成に向けた演習を行う。Ⅴは後期開講科目なので、到達目標は、オリジナリティと手堅い論証に裏づけられた卒業論文を完成させることである。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
日本近現代史の広い視野と正確な史料読解能力を養成しておくことが準備学修として大切である。

[授業計画]
1. 夏休み中の成果の確認
2. 卒論に向けた方向性の確認
3. 卒論の具体的な章節立て・内容の発表(第一次発表)
4. 卒論の具体的な章節立て・内容の発表(第一次発表)
5. 卒論の具体的な章節立て・内容の発表(第一次発表)
6. 卒論の具体的な章節立て・内容の発表(第一次発表)
7. 中間的な質疑応答
8. 卒論の具体的な章節立て・内容の発表(第二次発表)
9. 卒論の具体的な章節立て・内容の発表(第二次発表)
10. 卒論の具体的な章節立て・内容の発表(第二次発表)
11. 卒論の具体的な章節立て・内容の発表(第二次発表)
12. 卒論の執筆と推敲 i
13. 卒論の執筆と推敲 ii
14. 卒論の執筆と推敲 iii
15. 卒論の執筆と提出

[成績評価方法]
受講状況(50%)、発表内容(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業中あるいは終了時を利用して適宜フィードバック。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	史学演習Ⅴ	後期	演習	2 単位
サブタイトル	卒業論文作成の実際			
担当者	松下　孝昭			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法:発表内容

学科DP番号／DP内容:史学1-2／自己の研究課題に関する資史料(文献史料・考古資料・民俗資料など)の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。
成績評価方法:発表内容

学科DP番号／DP内容:史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法:受講状況、発表内容

学科DP番号／DP内容:史学2-2／幅広く歴史学上の専門書や学術論文を精読し、研究上の課題を主体的に発見する能力を有している。
成績評価方法:発表内容

学科DP番号／DP内容:史学2-3／課題解決のために必要な資史料を的確に見きわめることができ、客観的に事実を見定める判断力を有している。
成績評価方法:発表内容

学科DP番号／DP内容:史学2-4／読解した資史料を論理的に分析し、卒業論文の作成を通して自己の課題を解決していく能力を有している。
成績評価方法:発表内容

学科DP番号／DP内容:史学2-5／演習の研究発表ならびに授業のレポートや卒業論文の作成を通じて、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を有している。
成績評価方法:受講状況、発表内容

学科DP番号／DP内容:史学3-1／演習形式の授業に積極的に取り組み、主体的に自己の課題を発見かつ解決できる能力を有している。
成績評価方法:受講状況、発表内容

学科DP番号／DP内容:史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法:発表内容

学科DP番号／DP内容:史学3-3／演習や実習を通じて、他者を主導しつつ、共に課題の解決を図ろうとする対話力と協働性を有している。
成績評価方法:受講状況

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:受講状況

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:受講状況

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:受講状況

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:受講状況

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:受講状況、発表内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:発表内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:受講状況、発表内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:受講状況、発表内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:受講状況

[教科書(ISBN)]
なし

[参考書(ISBN)]
なし

科目名	史学演習Ⅴ	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	山内　晋次			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
前期の授業の成果をさらに発展させ、卒業論文を完成させる。

[授業概要]
受講者各自の論文の構想と進捗状況を輪番で報告し、受講者全員で問題点などを検討する。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
自分の卒論の方向性について、指導教員と相談しながら、つねに検討・確認をおこなっておく。

[授業計画]
1. ガイダンス
2. 卒論の構想・進捗状況の発表(1)
3. 卒論の構想・進捗状況の発表(2)
4. 卒論の構想・進捗状況の発表(3)
5. 卒論の構想・進捗状況の発表(4)
6. 卒論の構想・進捗状況の発表(5)
7. 卒論の構想・進捗状況の発表(6)
8. 卒論の構想・進捗状況の発表(7)
9. 論文執筆の指導(1)
10. 論文執筆の指導(2)
11. 論文執筆の指導(3)
12. 論文執筆の指導(4)
13. 論文執筆の指導(5)
14. 論文執筆の指導(6)
15. まとめ

[成績評価方法]
報告・質疑の内容および受講態度を総合的に評価する。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	史学演習Ⅴ	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	山内　晋次			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法:報告・質疑の内容、受講態度、論文内容

学科DP番号／DP内容:史学1-2／自己の研究課題に関する資史料(文献史料・考古資料・民俗資料など)の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。
成績評価方法:報告・質疑の内容、受講態度、論文内容

学科DP番号／DP内容:史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法:報告・質疑の内容、受講態度、論文内容

学科DP番号／DP内容:史学2-2／幅広く歴史学上の専門書や学術論文を精読し、研究上の課題を主体的に発見する能力を有している。
成績評価方法:報告・質疑の内容、受講態度、論文内容

学科DP番号／DP内容:史学2-3／課題解決のために必要な資史料を的確に見きわめることができ、客観的に事実を見定める判断力を有している。
成績評価方法:報告・質疑の内容、受講態度、論文内容

学科DP番号／DP内容:史学2-4／読解した資史料を論理的に分析し、卒業論文の作成を通して自己の課題を解決していく能力を有している。
成績評価方法:報告・質疑の内容、受講態度、論文内容

学科DP番号／DP内容:史学2-5／演習の研究発表ならびに授業のレポートや卒業論文の作成を通じて、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を有している。
成績評価方法:報告・質疑の内容、受講態度、論文内容

学科DP番号／DP内容:史学3-1／演習形式の授業に積極的に取り組み、主体的に自己の課題を発見かつ解決できる能力を有している。
成績評価方法:報告・質疑の内容、受講態度、論文内容

学科DP番号／DP内容:史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法:報告・質疑の内容、受講態度、論文内容

学科DP番号／DP内容:史学3-3／演習や実習を通じて、他者を主導しつつ、共に課題の解決を図ろうとする対話力と協働性を有している。
成績評価方法:報告・質疑の内容、受講態度、論文内容

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:報告・質疑の内容、受講態度、論文内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:報告・質疑の内容、受講態度、論文内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:報告・質疑の内容、受講態度、論文内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:報告・質疑の内容、受講態度、論文内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:報告・質疑の内容、受講態度、論文内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:報告・質疑の内容、受講態度、論文内容

[教科書(ISBN)]
なし　著者名:—　出版社:—　(—)

[参考書(ISBN)]
なし　著者名:—　出版社:—　(—)

科目名	史学演習Ⅴ	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	吉村　真美			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
各自のテーマを掘り下げ、執筆に取り組んで卒業論文を完成させる。

[授業概要]
各自が選択したテーマについて卒業論文の執筆を進める。執筆作業は授業時間外の課題としても各自がとりくみ、原稿を事前に提出したうえで授業時には個別指導を行う。卒業論文の提出後は、各自の卒業論文の総括発表とともに、口頭試問にむけての指導を行う。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
受講生はそれぞれのテーマに則し、教員の指示にしたがって計画的に卒業論文の執筆にのぞむこと。各回、予習復習合わせて2時間程度。
教員の指導と質疑応答をふまえてmanaba上に課題を再提出させることでフィードバックを行う。

[授業計画]
1. はじめに　スケジュール確認
2. 卒論の構成(1)
3. 卒論の構成(2)
4. 個別指導(1)
5. 個別指導(2)
6. 個別指導(3)
7. 個別指導(4)
8. 個別指導(5)
9. 個別指導(6)
10. 個別指導(7)
11. 個別指導(8)
12. 卒論提出に際しての諸注意
13. 卒論事後指導(1)
14. 卒論事後指導(2)
15. 卒論事後指導(3)

[成績評価方法]
課題および課題の口頭発表の内容(60%)、課題の再提出の内容および質疑応答への参加状況など授業参加の積極性(40%)
課題については授業時に口頭で指導し、その内容をふまえた再提出を課すことでフィードバックを行う。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	史学演習Ⅴ	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	吉村　真美			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:史学1-2／自己の研究課題に関する資史料(文献史料・考古資料・民俗資料など)の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。
成績評価方法:課題

学科DP番号／DP内容:史学2-3／課題解決のために必要な資史料を的確に見きわめることができ、客観的に事実を見定める判断力を有している。
成績評価方法:課題

学科DP番号／DP内容:史学2-5／演習の研究発表ならびに授業のレポートや卒業論文の作成を通じて、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を有している。
成績評価方法:課題

学科DP番号／DP内容:史学3-1／演習形式の授業に積極的に取り組み、主体的に自己の課題を発見かつ解決できる能力を有している。
成績評価方法:課題

学科DP番号／DP内容:史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法:課題

学科DP番号／DP内容:史学3-3／演習や実習を通じて、他者を主導しつつ、共に課題の解決を図ろうとする対話力と協働性を有している。
成績評価方法:課題

学科DP番号／DP内容:史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法:課題

学科DP番号／DP内容:史学2-2／幅広く歴史学上の専門書や学術論文を精読し、研究上の課題を主体的に発見する能力を有している。
成績評価方法:課題

学科DP番号／DP内容:史学2-4／読解した資史料を論理的に分析し、卒業論文の作成を通して自己の課題を解決していく能力を有している。
成績評価方法:課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:課題

[教科書(ISBN)]
なし

[参考書(ISBN)]
適宜指示する。

科目名	自然地理学	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	村田　恵子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
地球の表面の地形・海洋・気候の概要とその成因を理解する。

[授業概要]
地球表層の地形・海洋・気候の概要とその成因をとらえる。様々な営力によって形成される地形とその特徴を理解し、大気の大循環や海流を通して気候を総合的にとらえる。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
毎回配布される次回のプリントを読み、おおまかな内容を予習し、疑問点を明確にしておく。
授業後は、テキストとノートで十分復習をすること。各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
1.地球の形状、緯度と経度、標準時
2.地球儀と地図
3.地球の大地形と地形をつくる力
4.変動帯の地形
5.安定大陸の地形
6.海岸と海にみられる地形
7.気候の影響が強い地形とカルスト地形
8.自然災害（地震と津波、火山）
9.地形図の読み取り（1）
10.地形図の読み取り（2）
11.世界の気候（気候と大気の循環）
12.世界の気候（熱帯・乾燥帯）
13.世界の気候（温帯・冷帯・寒帯）
14.海洋
15.まとめ

[成績評価方法]
試験

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
試験の答案を回収後、希望者には解答の解説をする。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	自然地理学	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	村田　恵子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：試験

[教科書（ISBN）]
なし。プリント配布

[参考書（ISBN）]
なし

S54070 [LH2-079]

科目名	社会科指導法Ⅰ	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	中阪　守			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
中学校学習指導要領についての理解を深め、情報機器等の活用を含めた、生徒の思考・判断・表現の育成につながる社会科教材の編成につながる、中学校社会科授業の創造を考える。

[授業概要]
この講座では、現在の中学校教育の課題や新たな学習観にも触れながら、中学校学習指導要領についての理解を深め、生徒の発達段階を踏まえた中学校社会科教育の在り方を考える。特に、広い視野に立って社会への関心を深めるための指導法や、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察するための指導法等、実践力につながる講座運営を行いたい。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
・『中学校学習指導要領』『学習指導要領解説　社会編』を読む。
・教育実習に行く自治体の採択教科書の出版社や内容の情報を得る。
・自治体の教育委員会の「教育振興基本計画」その他の発行物を調べる。
※高校へ実習に行く人は、教科書が改訂、科目が変わるので、母校から情報を得ておく。

[授業計画]
【全て遠隔授業】
1. 中学校教育の課題と中学校社会科の展開
2. 学校教育法規と学習指導要領
3. 学習指導要領研究Ⅰ
4. 学習指導要領研究Ⅱ
5. 学習指導要領研究Ⅲ
6. 学習指導要領研究Ⅳ
7. 情報機器の活用及び教材編成の実際
8. 課題学習の指導、資料等の活用法
9. 年間指導計画、学習指導案の作成Ⅰ
10. 年間指導計画、学習指導案の作成Ⅱ
11. 授業研究〔模擬授業〕Ⅰ
12. 授業研究〔模擬授業〕Ⅱ
13. 授業研究〔模擬授業〕Ⅲ
14. 試験問題の作成と評価法
15. まとめ
※ 受講生の要望と受講者数を勘案して、講義内容を変更することがある。

[成績評価方法]
・授業内作業、活動（30%）・提出課題の評価（30%）・授業内試験の評価（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	社会科指導法Ⅰ	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	中阪　守			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学3-1／演習形式の授業に積極的に取り組み、主体的に自己の課題を発見かつ解決できる能力を有している。
成績評価方法：試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：試験

[教科書（ISBN）]
中学校学習指導要領」(平成29年告示)
※他の講義で購入していればそれでよし(共有)
　著者名：文部科学省　出版社：東山書房　(978-4827814613)
「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説　社会編」　著者名：文部科学省　出版社：東洋館出版社　(978-4536590051)

[参考書（ISBN）]
「学校を改革する」 著者名：佐藤　学　出版社：岩波ブックレットNo. 842

S54130 [LH3-124]

科目名	女性史Ⅲ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	日本女性史			
担当者	松下　孝昭、梶木　良夫、村田　路人			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
日本史上の各時代における女性の位置づけや役割を学ぶことにより、多角的な歴史の見方を身につけることが到達目標である。

[授業概要]
今年度は日本中世史・近世史・近代史における女性史を時代順に取り上げる。３人の教員が連続して5回ずつ担当するオムニバス形式で講義を実施し、各人の最終授業回において、それぞれの「まとめ」をおこなう。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
新しい視角を主体的に学ぼうとする意欲をもって履修する姿勢が求められる。

[授業計画]
日本中世女性史(梶木)
1.「女房」の役割
2.「正妻」の地位と中世の「家」
3.「後家」の立場
4. 女性芸能者と「宿」
5. まとめ
日本近世女性史(村田)
6. 武家の女性
7. 農家の女性と村
8. 商家の女性と町
9. 遊女と遊廓
10. まとめ
日本近代女性史(松下)
11. 明治期女性の法的地位
12. 平塚らいてうと『青鞜』
13. 与謝野晶子・伊藤野枝と『青鞜』
14. 女性参政権をめぐって
15. まとめ

[成績評価方法]
各教員が実施する筆記試験（70%）＋受講態度（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
各教員の指示に従うこと。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	女性史Ⅲ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	日本女性史			
担当者	松下　孝昭、梶木　良夫、村田　路人			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：筆記試験、受講態度

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：筆記試験、受講態度

学科DP番号／DP内容：史学2-2／幅広く歴史学上の専門書や学術論文を精読し、研究上の課題を主体的に発見する能力を有している。
成績評価方法：筆記試験、受講態度

学科DP番号／DP内容：史学2-3／課題解決のために必要な資史料を的確に見きわめることができ、客観的に事実を見定める判断力を有している。
成績評価方法：筆記試験、受講態度

学科DP番号／DP内容：史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法：筆記試験、受講態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：筆記試験、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：筆記試験、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：筆記試験、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：筆記試験、受講態度

[教科書（ISBN）]
各教員の指示に従うこと。

[参考書（ISBN）]
各教員の指示に従うこと。

科目名	資料保存論	後期	講義	2 単位
サブタイトル	人文学的・自然科学的な資料の保存と取扱い			
担当者	秋山　浩三、菱田　淳子			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
①ともに学芸員資格が必要である、博物館学芸員および文化財専門職の業務遂行にあたり必須となる、各種資料の取り扱いや保管・保存における基礎的な知識・技術を学び身につける。
②博物館や文化財保管展示施設における、資料の劣化を予測するための科学的調査法、保存修理の考え方や原理とその手法、および保存環境に関する知識などを習得して、各種資料を健全な状態で保管するための基礎的能力を養う。

[授業概要]
　博物館や文化財保管展示施設における、資料の保存に関する基礎的な情報・スキル、とりわけ近年注目され展開されている項目をめぐって具体的な概説を実施する。
　さらに、学芸員や文化財専門職に必要な、資料の保存に関する保存科学の基礎知識を習得するため、資料の劣化と診断調査から、その修理と予防のための環境について論じる。
　なお、近年では、博物館にかぎらず各種の文化財保管展示施設においても、資料保存に関する専門的で高度なノウハウを必要とする専門職領域が増加している傾向にあるため、それらにも十分かつ具体的に対応できる講義内容にしたいと考えている。
　また、本講義では博物館・文化財関連施設における現地研修もおこなう予定である。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
　各種の博物館などへ積極的に赴き、その館・施設では資料の保存（劣化防止）や修復・復原に関しどのような取り組みがなされているか、自主的に観覧しておくこと。

[授業計画]
1. 科目の概要とガイダンス
　（学芸員・文化財専門職員における資料保存の役割／あなたのお気に入り博物館ではどうか？）
　（秋山）
2. 資料保存論の位置づけとその歴史性（意外にも見直されている日本の伝統）（秋山）
3. 発掘調査における資料保存（調査時の記録、脆弱遺物の取り上げ、断面剥ぎ取り）（菱田）
4. 出土品整理作業と資料保存
　（調査記録、写真データ、土器・石器・脆弱遺物等の調査後の保管と整理作業）（菱田）
5. 木製品の診断調査・記録・保存（実測、写真撮影、保存処理作業）（菱田）
6. 金属製品の診断調査・記録・保存（実測、写真撮影、保存処理作業）（菱田）
7. 文化財関係機関における資料保存・展示時の注意（博物館との相違と問題点など）（菱田）
8. 施設見学①：兵庫県立考古博物館における保存処理施設・出土品資料の見学（菱田）
9. 施設見学②：兵庫県立考古博物館における保存処理施設・出土品資料の見学（菱田）
10. 考古資料にみる具体的展開と活用（実務現状と文化庁指導をめぐって）（秋山）
11. 資料保存管理の留意点と劣化対策（何がダメで、何が良いか）（秋山）
12. 資料の予防的保存とIPM（とても気持ち悪い虫との対決も）（秋山）
13. 地域資源・文化遺産・自然環境の保存活用と博物館（エコミュージアムの思想）（秋山）
14. 阪神淡路・東日本大震災と博物館資料の保存（神戸で培われた思想）（秋山）
15. 課題レポート寸評／講義総括／そして、あなたが学芸員・文化財専門職員になったら！（秋山）

※8・9＝学外での現地研修（日曜日の予定）：詳細に関してはできるだけ早い段階に日時・内容等々をアナウンスする予定。

[成績評価方法]
秋山分：講義中の態度（25%）、討論参加の積極性（35%）、課題レポート(40%)
菱田分：講義中の態度（25%）、討論参加の積極性（25%）、課題レポート(50%)

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	資料保存論	後期	講義	2 単位
サブタイトル	人文学的・自然科学的な資料の保存と取扱い			
担当者	秋山　浩三、菱田　淳子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学3-1／演習形式の授業に積極的に取り組み、主体的に自己の課題を発見かつ解決できる能力を有している。
成績評価方法：

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：

[教科書（ISBN）]
『新時代の博物館学』 なお、必要に応じて資料を配付予定。 著者名：全国大学博物館学講座協議会西日本支部編　出版社：芙蓉書房出版
（ISBN978－4－8295－0551－9　C3030）

[参考書（ISBN）]
初回講義時に具体的な書籍類を何冊か提示紹介。

S54030 [LI3-003]

科目名	人文地理学	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	金子　直樹			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
この授業により、地形図をはじめとした地図資料の読み方や特徴、地形と村落や都市との対応関係・災害自然の特徴、過去の開発の諸相、近代以降の都市の特徴(都市構造と周辺地域の開発)などへの理解を深め、広範な地理学的視点を認識できることを目指す。

[授業概要]
地理学は地域や空間など規定される対象の特徴および一般性を明らかにするという目的のもと、人文自然の両科学において研究がなされてきた。本講義では、主として身近な地域である京阪神地域を対象にして、地理学的なテーマを概説する。具体的には生活空間と自然環境の関わり、都市や農地開発の歴史、都市の特徴や構造、およびその変貌などに注目する。さらにこれらを検討する上で基本資料となる地形図などの地図についても取り上げ、広範な内容を有する地理学の特徴を確認する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
授業各回の内容を事後に復習して、次回にのぞむこと。また講義で紹介するネット上の地理院地図や今昔マップなどの地理関連サイトを定期的に利用して、各自で地理的思考に触れる機会をもって欲しい。

[授業計画]
【全て遠隔授業】
1. オリエンテーション:地理学とは?
2. 地図の機能・歴史
3. 地形図の特徴
4. 地形と集落の関係
5. 地形と集落の関係2
6. 地形と自然災害
7. 古代開発の痕跡
8. 城下町の構造
9. 近代都市の誕生
10. 都市近郊地域の開発1:都市化および鉄道網の形成
11. 都市近郊地域の開発2:鉄道と観光・住宅地
12. 都市化と都市構造(同心円モデルとセクターモデル)
13. 大都市圏の形成と変貌:「インナーシティ」の発生と再開発
14. 現代における都市の諸相
15. まとめ

[成績評価方法]
授業中の課題（40%）、試験（60%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	人文地理学	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	金子　直樹			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：定期試験・課題

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：定期試験・課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：定期試験・課題

[教科書（ISBN）]
図説 京阪神の地理 地図から学ぶ　著者名：山口 覚・水田憲志・金子直樹・吉田雄介・中窪啓介・矢嶋 巌　出版社：ミネルヴァ書房 （9784623084845）

[参考書（ISBN）]
なし

S54060 [LH2-078]

科目名	西洋近現代史	後期	講義	2 単位
サブタイトル	近代化と世界の一体化			
担当者	吉村　真美			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
西洋近現代史における諸問題やその論点を理解する。

[授業概要]
西洋近現代史では、大航海時代以降のヨーロッパ大陸ならびに「新世界」の関係と、諸国の動向を中心に、最近の学界における研究成果も紹介しながら、西洋近現代史におけるさまざまな問題を論じる。
なおオープン科目としては、他学科の受講生についても下記の準備学習をするという条件を満たしたうえで、履修を許可するものとする。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各回、予習復習合わせて4時間程度。高校世界史程度の基礎事項は習得していることを前提に、専門科目としての講義を進めるので、必ず授業時に指示した課題（重要用語の確認）、および個々の予備知識に応じて必要だと思われる学習をしておくこと。

[授業計画]
1. はじめに
2. 西洋近現代史を学ぶ意義
3. 大航海時代（1）
4. 大航海時代（2）
5. 宗教改革
6. 絶対王政（1）
7. 絶対王政（2）
8.「イギリス革命」
9. アメリカ独立革命
10. フランス革命
11. 工業化とその影響
12. 19世紀の文化
13. 世紀転換期の変革
14. 大戦の時代
15. まとめ

[成績評価方法]
試験1回（100%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	西洋近現代史	後期	講義	2 単位
サブタイトル	近代化と世界の一体化			
担当者	吉村　真美			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：試験

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：試験

学科DP番号／DP内容：史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法：試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
適宜指示する。

S50070 [LH1-059]

科目名	西洋古代中世史	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	上山　益己			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
古代地中海世界の中から、どのように西ヨーロッパ世界が形成されていったのかを理解する。
古代～中世の西ヨーロッパとその周辺世界（東ヨーロッパ、西アジア、北アフリカ）との関係について理解を深める。

[授業概要]
ヨーロッパの古代・中世史について、基礎的な知識を確認するとともに、より専門的な理解を深める。古代史では、ギリシアとローマの歴史の把握に重点を置きつつ、地中海を挟んでそれらと隣接する、西アジアや北アフリカの歴史にも目を配って、古代地中海世界全体の歴史の理解を促す。中世史では、古代地中海世界が解体していく中で、どのように西ヨーロッパのラテン・カトリック世界が形成され、さらにその中から今日のヨーロッパ諸国につながる国ぐにが立ち現れていったかを見て行きたい。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
前回の授業時配布したプリント・史料などを再読し、復習すること。

[授業計画]
1. はじめに
2. 古代地中海世界の統一と解体（1）
3. 古代地中海世界の統一と解体（2）
4. 古代地中海世界の統一と解体（3）
5. 古代地中海世界の統一と解体（4）
6. ラテン・カトリック世界の成立（1）
7. ラテン・カトリック世界の成立（2）
8. ラテン・カトリック世界の成立（3）
9. ラテン・カトリック世界の成立（4）
10. 西欧諸王国の形成（1）
11. 西欧諸王国の形成（2）
12. 西欧諸王国の形成（3）
13. 西欧諸王国の形成（4）
14. おわりに
15. まとめ

[成績評価方法]
試験90%　受講態度10%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	西洋古代中世史	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	上山　益己			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：試験

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：試験

学科DP番号／DP内容：史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法：試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：試験

[教科書（ISBN）]
なし。適宜プリントを配布。

[参考書（ISBN）]
適宜指示

科目名	西洋古代中世史	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	上山　益己			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
古代地中海世界の中から、どのように西ヨーロッパ世界が形成されていったのかを理解する。
古代～中世の西ヨーロッパとその周辺世界（東ヨーロッパ、西アジア、北アフリカ）との関係について理解を深める。

[授業概要]
ヨーロッパの古代・中世史について、基礎的な知識を確認するとともに、より専門的な理解を深める。古代史では、ギリシアとローマの歴史の把握に重点を置きつつ、地中海を挟んでそれらと隣接する、西アジアや北アフリカの歴史にも目を配って、古代地中海世界全体の歴史の理解を促す。中世史では、古代地中海世界が解体していく中で、どのように西ヨーロッパのラテン・カトリック世界が形成され、さらにその中から今日のヨーロッパ諸国につながる国ぐにが立ち現れていったかを見て行きたい。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
前回の授業時配布したプリント・史料などを再読し、復習すること。

[授業計画]
1. はじめに
2. 古代地中海世界の統一と解体（1）
3. 古代地中海世界の統一と解体（2）
4. 古代地中海世界の統一と解体（3）
5. 古代地中海世界の統一と解体（4）
6. ラテン・カトリック世界の成立（1）
7. ラテン・カトリック世界の成立（2）
8. ラテン・カトリック世界の成立（3）
9. ラテン・カトリック世界の成立（4）
10. 西欧諸王国の形成（1）
11. 西欧諸王国の形成（2）
12. 西欧諸王国の形成（3）
13. 西欧諸王国の形成（4）
14. おわりに
15. まとめ

[成績評価方法]
試験90%　受講態度10%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	西洋古代中世史	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	上山　益己			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：試験

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：試験

学科DP番号／DP内容：史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法：試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：試験

[教科書（ISBN）]
なし。適宜プリントを配布。

[参考書（ISBN）]
適宜指示

科目名	西洋史特殊講義Ⅱ	後期		2 単位
サブタイトル				
担当者	上山　益己			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
中世におけるヨーロッパとイスラーム世界の歴史の基礎的な知識を確認する。そのうえで、両者の接触の歴史について理解を深める。またそうすることで、現代の世界を見る上でも多角的な視点を持ち得るようにしたい。

[授業概要]
今日の世界では、しばしばイスラーム文化圏に属する人々と欧米の文化圏に属する人々の間で摩擦・衝突が起き、それが大きな問題となっている。歴史上、両文化圏が初めて接触した中世においても、両者はしばしば衝突した。しかし中世における両者の接触は、必ずしも衝突ばかりではなく、実り多い交流の歴史をも展開させた。本講義では、中世における両者の接触のあり方を考察する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
前回の授業時配布したプリント・史料などを再読し、復習すること。

[授業計画]
1. ガイダンス
2. セム的一神教
2. イスラーム教とキリスト教
4. 十字軍の始まり
5. 第一回十字軍
6. キリスト教における暴力
7. 第一回十字軍はどのように認識されたか
8. 十字軍とジハード
9. ザンギー朝のジハード
10. ヒッティーンの戦い
11. その後の十字軍
12. アンダルスの展開
13. 文化の伝播
14. 寛容と不寛容
15.「まとめ」

[成績評価方法]
試験90%　受講態度10%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	西洋史特殊講義Ⅱ	後期		2 単位
サブタイトル				
担当者	上山　益己			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：試験

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：試験

学科DP番号／DP内容：史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法：試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験

[教科書（ISBN）]
なし。適宜プリントを配布する。

[参考書（ISBN）]
適宜指示

科目名	西洋史特殊講義Ⅳ	前期		2 単位
サブタイトル	近代イギリスと子ども移民			
担当者	吉村　真美			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
1. 17世紀以降の近代イギリス史の概要と、本国および植民地における政治的・社会的情勢を理解する。
2. 現代イギリスにおける社会問題として注目を集めている子ども移民(child migration)について、制度およびイギリス近代史の文脈におけるけるその役割や機能、意義について理解する。

[授業概要]
貧困層の年少者が家族や血縁者に伴われることなく海外植民地に渡る子ども移民(child migration)は、17世紀初頭における北米植民の開始とほぼ時期を同じくしてはじまった、イギリス帝国に利益をもたらすチャリティであり、同時に伝統的かつ典型的な棄民政策のひとつでもあった。講義では、この制度の実態と変遷をイギリス帝国史の枠組みでとらえ、そこに作用したさまざまな社会的・文化的要因を視野に入れて検証・考察を試みる。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
manaba(コースニュース、プロジェクト)に提示された資料は予習しておくこと。なおイギリス近現代史にかんするごく基礎的な知識、ならびに講義の際に言及した人名・歴史用語などについて理解が不足しているものについては、受講者各自で復習しておくこと。

[授業計画]
1.序論
2.資料　映画「オレンジと太陽」(2013イギリス)　鑑賞と解説
3.楽園と浮浪児―ヴァージニア子ども移民①
4.楽園と浮浪児―ヴァージニア子ども移民②
5.兵士と流刑囚―北米植民地への移動①
6.兵士と流刑囚―北米植民地への移動②
7.罪の子と「メサイア」―ロンドン・ファウンドリング・ホスピタル
8.懲罰と報奨―犯罪と子ども移民①
9.懲罰と報奨―犯罪と子ども移民②
10.博愛と誘拐―帝国と子ども移民①
11.博愛と誘拐―帝国と子ども移民②
12.からのゆりかご―戦争と子ども移民①
13.からのゆりかご―戦争と子ども移民②
14.結論
15.まとめ

[成績評価方法]
試験1回（100点満点）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	西洋史特殊講義Ⅳ	前期		2 単位
サブタイトル	近代イギリスと子ども移民			
担当者	吉村　真美			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：試験

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：試験

学科DP番号／DP内容：史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法：試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
適宜指示する。

S52160 [LH3-110]

科目名	西洋史料講読Ⅰ	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	上山　益己			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
西洋中世史特有の概念などについて理解を深める。とくに西洋中世史特有の用語を確実に把握できるようにする。また、ラテン語の初歩的な文法も習得する。

[授業概要]
年代記、事蹟、聖人伝、証書、手紙類など、ヨーロッパ中世史の研究に用いるさまざまな一次史料を紹介し、その英訳文を講読する。また、初歩的なラテン語文法の解説を行ったうえで、ごく簡単なラテン語史料の講読も行う。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
自分が担当している箇所はもちろん、担当していない箇所に関しても、授業の前に史料をよく読み込んでおくこと。

[授業計画]
毎回受講者が担当部分を和訳・報告し、それらについて解説・討議を行う。
1. ガイダンス
2. 予備講義
3. 予備講義
4. 講読（1）
5. 講読（2）
6. 講読（3）
7. 講読（4）
8. 講読（5）
9. 講読（6）
10. 講読（7）
11. 講読（8）
12. 講読（9）
13. 講読（10）
14. 講読（11）
15. 講読（12）、小テスト

[成績評価方法]
課題45%　受講態度15%　小テスト40%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S51200 [LH2-065]

科目名	西洋史料講読Ⅰ	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	上山　益己			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：課題、小テスト

学科DP番号／DP内容：史学1-2／自己の研究課題に関する資史料（文献史料・考古資料・民俗資料など）の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。
成績評価方法：課題、小テスト

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：課題、小テスト

学科DP番号／DP内容：史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法：課題、小テスト

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：課題、小テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：課題、小テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：課題、小テスト

[教科書（ISBN）]
なし。適宜プリントを配布する

[参考書（ISBN）]
適宜指示

科目名	西洋史料講読Ⅱ	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	吉村　真美			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
西洋の近代史研究で用いられるさまざまな欧文史料を紹介し、それらを読むための基礎的な知識・技能を習得する。

[授業概要]
学術論文や一次史料など、歴史に関連する欧文文献（英語）の講読を行う。基本的にはテキストの音読と日本語訳の口頭発表に教員が解説を加える形で進める。初回授業時にテキストおよび授業進行、評価方法についての詳しい説明をする。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
授業時に指定する箇所を、冊子形態の辞書（電子辞書の単独使用は不可）と付箋紙を使用して必ず予習してくること。各回、予習復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. はじめに～授業の進行についての説明
2. 欧文文献講読の基礎（1）～論文
3. 欧文文献講読の基礎（2）～論文
4. 史料講読～家政書・レシピ（1）
5. 史料講読～家政書・レシピ（2）
6. 史料講読～家政書・レシピ（3）
7. 史料講読～教区簿冊とセンサス（1）
8. 史料講読～教区簿冊とセンサス（2）、まとめ（1）
9. 史料講読～日記・書簡（1）
10. 史料講読～日記・書簡（2）
11. 史料講読～議会文書（1）
12. 史料講読～議会文書（2）
13. 史料講読～新聞・雑誌（1）
14. 史料講読～新聞・雑誌（2）、まとめ（2）
15. 史料講読～新聞・雑誌（3）、おわりに

[成績評価方法]
小テスト2回（30%）、ノートチェック（10%）、授業参加の積極性（60%）。詳細は初回授業で説明する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	西洋史料講読Ⅱ	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	吉村　真美			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：試験、授業時応答

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：試験、授業時応答

学科DP番号／DP内容：史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法：試験、授業時応答

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験、授業時応答

[教科書（ISBN）]
講読史料はプリントを配布する。毎回必ず英和辞典（書籍形態・電子辞書）と付箋を持参すること。

[参考書（ISBN）]
『ABC of ENGLISHペンマンシップ―はじめての筆記体練習ノート』 著者名：総合学習指導研究会編　出版社：受験研究社、2005年。（4424289028）

S51230 [LH2-066]

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル	卒業論文の充実をめざして			
担当者	梶木　良夫			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
卒業論文の作成

[授業概要]
史学演習Ⅳ・Ⅴの作成レジュメおよび口頭報告を基礎に、学術論文としての完成度を充実させることに重点を置いて指導する。そのため論文作成の諸手続きを再確認するとともに、論理的構成力を高めることに努める。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
学術論文としての様式と内容の充実に努めるため、各準備レポートの作成と課題の解決に積極的に取り組むよう心がける。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 論文と史料の検索
3. 研究テーマの確定(1)
4. 研究テーマの確定(2)
5. 研究テーマの確定(3)
6. 研究テーマの確定(4)
7. 研究史の整理(1)
8. 研究史の整理(2)
9. 研究史の整理(3)
10. 研究史の整理(4)
11. 史・資料の解読(1)
12. 史・資料の解読(2)
13. 史・資料の解読(3)
14. 準備レポート(A)構成案の作成(1)
15. 準備レポート(A)構成案の作成(2)

16. 準備レポート(A)の問題点と準備レポート(B)の課題設定
17. 関連論文の再検討と問題点の解明(1)
18. 関連論文の再検討と問題点の解明(2)
19. 関連論文の再検討と問題点の解明(3)
20. 関連論文の再検討と問題点の解明(4)
21. 章立て案の検討(1)
22. 章立て案の検討(2)
23. 章立て案の検討(3)
24. 章立て案の検討(4)
25. 論理展開の検討(1)
26. 論理展開の検討(2)
27. 論理展開の検討(3)
28. 論理展開の検討(4)
29. 関連論文および史・資料の再点検(1)
30. 関連論文および史・資料の再点検(2)

[成績評価方法]
卒業論文（研究史整理および論文の構成力・引用文献および史料の適切な処理能力・課題提示力など）および口頭試問における態度・応答内容などを総合的に判断する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
史学演習Ⅳ、Ⅴに準じる

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル	卒業論文の充実をめざして			
担当者	梶木　良夫			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：卒業論文・口頭試問

学科DP番号／DP内容：史学1-2／自己の研究課題に関する資史料（文献史料・考古資料・民俗資料など）の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。
成績評価方法：卒業論文・口頭試問

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：卒業論文・口頭試問

学科DP番号／DP内容：史学2-2／幅広く歴史学上の専門書や学術論文を精読し、研究上の課題を主体的に発見する能力を有している。
成績評価方法：卒業論文・口頭試問

学科DP番号／DP内容：史学2-3／課題解決のために必要な資史料を的確に見きわめることができ、客観的に事実を見定める判断力を有している。
成績評価方法：卒業論文・口頭試問

学科DP番号／DP内容：史学2-4／読解した資史料を論理的に分析し、卒業論文の作成を通して自己の課題を解決していく能力を有している。
成績評価方法：卒業論文・口頭試問

学科DP番号／DP内容：史学2-5／演習の研究発表ならびに授業のレポートや卒業論文の作成を通じて、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を有している。
成績評価方法：卒業論文・口頭試問

学科DP番号／DP内容：史学3-1／演習形式の授業に積極的に取り組み、主体的に自己の課題を発見かつ解決できる能力を有している。
成績評価方法：卒業論文・口頭試問

学科DP番号／DP内容：史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法：卒業論文・口頭試問

学科DP番号／DP内容：史学3-3／演習や実習を通じて、他者を主導しつつ、共に課題の解決を図ろうとする対話力と協働性を有している。
成績評価方法：卒業論文・口頭試問

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：卒業論文・口頭試問

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：卒業論文・口頭試問

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：卒業論文・口頭試問

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：卒業論文・口頭試問

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：卒業論文・口頭試問

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：卒業論文・口頭試問

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：卒業論文・口頭試問

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：卒業論文・口頭試問

[教科書(ISBN)]
なし

[参考書(ISBN)]
なし

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル				
担当者	川森　博司			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
テーマに即した資料を集めて分析し、筋道を立てた論証がおこなえるようになることを到達目標とする。

[授業概要]
論文における議論の組み立て方に重点を置いて授業を進める。モデル論文の検討をおこなった後に、各自が選んだテーマに沿って発表してもらう。続いて、論文の下書きを進める過程で、論証の仕方、論文の文章表現等について、個人指導をおこなう。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
授業中に指示した関連文献を読んでおくこと。

[授業計画]
1. モデル論文の検討（1）
2. モデル論文の検討（2）
3. モデル論文の検討（3）
4. 個人発表（1）
5. 個人発表（2）
6. 個人発表（3）
7. 個人発表（4）
8. 個人発表（5）
9. 議論の組み立て方の検討（1）
10. 議論の組み立て方の検討（2）
11. 議論の組み立て方の検討（3）
12. 議論の組み立て方の検討（4）
13. 個人発表（1）
14. 個人発表（2）
15. 個人発表（3）
16. 論文のアウトラインの作成（1）
17. 論文のアウトラインの作成（2）
18. 個人発表（1）
19. 個人発表（2）
20. 個人発表（3）
21. 個人発表（4）
22. 個人発表（5）
23. 論文執筆指導（1）
24. 論文執筆指導（2）
25. 論文執筆指導（3）
26. 論文執筆指導（4）
27. 論文執筆指導（5）
28. 論文執筆指導（6）
29. 論文執筆指導（7）
30. 論文執筆をふりかえって

[成績評価方法]
出来上がった卒業論文の評価を軸にして、作成のプロセスにおける努力の質の評価を加える。
（80%＋20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル				
担当者	川森　博司			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学2-5／演習の研究発表ならびに授業のレポートや卒業論文の作成を通じて、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を有している。
成績評価方法：卒業論文

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：卒業論文

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
なし

S59020 [LH4-006]

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル	卒業論文の執筆			
担当者	鈴木　宏節			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
アジア史の理解を深めつつ、卒業論文の完成を目標に調査、研究報告をおこなう。同時に研究成果を報告する準備をおこなう。

[授業概要]
卒業論文を執筆するための個人指導を中心にした演習を展開する。関心の所在を明確にし、論文の構成（章立て）に沿って序論から結論にいたるまで、本文を執筆してゆく。註や文献目録、図版の作成などについても指導する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
史料に立脚した行論になるように史料批判を展開する。論理的に論文を構成できるように随時執筆した草稿の検討をおこなう。

[授業計画]
【全て遠隔授業】（前期のみ）
《前期》
1. 論文の基本(1)関心の所在篇a
2. 論文の基本(2)関心の所在篇b
3. 論文の基本(3)論文の構成篇a
4. 論文の基本(4)論文の構成篇b
5. 論文の基本(5)史料批判の展開篇a
6. 論文の基本(6)史料批判の展開篇b
7. 論文の基本(7)史料批判の展開篇c
8. 論文の基本(8)史料批判の展開篇d
9. 論文の基本(9)註と文献引用篇a
10. 論文の基本(10)註と文献引用篇b
11. 論文の基本(11)註と文献引用篇c
12. 論文の基本(12)註と文献引用篇d
13. 研究成果の再検討(1)
14. 研究成果の再検討(2)
15. 研究成果の再検討(3)

《後期》
1. 論文指導(1)
2. 論文指導(2)
3. 論文指導(3)
4. 論文指導(4)
5. 論文指導(5)
6. 論文指導(6)
7. 論文指導(7)
8. 論文指導(8)
9. 論文指導(9)
10. 論文指導(10)
11. 論文指導(11)
12. 論文指導(12)
13. 研究の総括と成果報告(1)
14. 研究の総括と成果報告(2)
15. 研究の総括と成果報告(3)

[成績評価方法]
論文の内容と口頭報告、ならびに試問の結果により総合的に評価する（100%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル	卒業論文の執筆			
担当者	鈴木　宏節			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:史学2-5／演習の研究発表ならびに授業のレポートや卒業論文の作成を通じて、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を有している。
成績評価方法:論文の内容・口頭報告・試問

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:論文の内容・口頭報告・試問

[教科書(ISBN)]
なし

[参考書(ISBN)]
授業中に紹介する。

S59030 [LH4-006]

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル				
担当者	寺沢　知子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
問題意識を深め、先学の研究を批判的に学び、自ら集めて新しい切り口で分析した考古資料によって研究成果を文章化する。

[授業概要]
研究史を批判的にまとめることによって、研究の方向性を決める。テーマにそった考古資料を、報告書から丁寧に収集し、新しい切り口での分析方法を見出す。それをもとにオリジナリティのある図・表を作成し、考えを文章化する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
卒業論文の作成

[授業計画]
【全て遠隔授業】（前期のみ）
1. 研究史の批判的検討①
2. 研究史の批判的検討②
3. 研究史の批判的検討③
4. 研究史の批判的検討④
5. 研究史の批判的検討のまとめ
6. テーマにそった資料の収集①
7. テーマにそった資料の収集②
8. テーマにそった資料の収集③
9. テーマにそった資料の収集④
10. 資料収集のまとめ
11. 収集した資料の分析、図・表の作成①
12. 収集した資料の分析、図・表の作成②
13. 収集した資料の分析、図・表の作成③
14. 収集した資料の分析、図・表の作成④
15. 収集した資料の分析、図・表の作成のまとめ
16. 分析結果による考えをまとめ文章化する①
17. 分析結果による考えをまとめ文章化する②
18. 分析結果による考えをまとめ文章化する③
19. 分析結果による考えをまとめ文章化する④
20. 分析結果による考えをまとめ文章化する⑤
21. 分析結果による考えをまとめ文章化する⑥
22. 分析法のまとめ
23. 分析結果による考えをまとめ文章化する①
24. 分析結果による考えをまとめ文章化する②
25. 分析結果による考えをまとめ文章化する③
26. 分析結果による考えをまとめ文章化する④
27. 分析結果による考えをまとめ文章化する⑤
28. 分析結果による考えをまとめ文章化する⑥
29. 卒論内容の最終校正指導①
30. 卒論内容の最終校正指導②

[成績評価方法]
完成論文と口頭試問内容

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
添削指導

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル				
担当者	寺沢　知子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学2-4／読解した資史料を論理的に分析し、卒業論文の作成を通して自己の課題を解決していく能力を有している。
成績評価方法：論文内容

学科DP番号／DP内容：史学2-5／演習の研究発表ならびに授業のレポートや卒業論文の作成を通じて、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を有している。
成績評価方法：論文内容

学科DP番号／DP内容：史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法：論文内容

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：論文内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：論文内容

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
適宜指示する。

S59050 [LH4-006]

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル	卒業論文作成に向けて			
担当者	松下　孝昭			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
史料に基づく論証をおこない、自分のオリジナルな論を展開した卒論を仕上げることが目標である。

[授業概要]
卒論は4年間の大学での勉学における総決算なので、史料の読解のノウハウ、論理展開の精度、文章表現の正確さなど、これまで学んできたすべての学力を総動員して、良いものを仕上げていくように鍛錬する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
史学演習Ⅳ・Ⅴを履修することが前提となる。

[授業計画]
【全て遠隔授業】（前期のみ）
前期
1. 各自の問題関心の披露
2. 卒論についての心構え（講義）
3. 論文作成のノウハウについて（講義）
4. 各自が関心を持つテーマに関する発表1
5. 各自が関心を持つテーマに関する発表2
6. 各自が関心を持つテーマに関する発表3
7. 各自が関心を持つテーマに関する発表4
8. 各自が関心を持つテーマに関する発表5
9. 中間的なまとめ
10. 卒論作成に向けたさらなる研究整理1
11. 卒論作成に向けたさらなる研究整理2
12. 卒論作成に向けたさらなる研究整理3
13. 卒論作成に向けたさらなる研究整理4
14. 卒論作成に向けたさらなる研究整理5
15. まとめ（夏休み中の目標の確認）
後期
1. 夏休み中の成果の確認
2. 卒論に向けた方向性の確認
3. 卒論の具体的な章節立て・内容の発表（第１次発表）
4. 卒論の具体的な章節立て・内容の発表（第１次発表）
5. 卒論の具体的な章節立て・内容の発表（第１次発表）
6. 卒論の具体的な章節立て・内容の発表（第１次発表）
7. 中間的な質疑応答
8. 卒論の具体的な章節立て・内容の発表（第２次発表）
9. 卒論の具体的な章節立て・内容の発表（第２次発表）
10. 卒論の具体的な章節立て・内容の発表（第２次発表）
11. 卒論の具体的な章節立て・内容の発表（第２次発表）
12. 卒論の執筆と吟味
13. 卒論の執筆と吟味
14. 卒論の執筆と吟味
15. 卒論の執筆と提出

[成績評価方法]
論文の正確さ、オリジナリティ、史料の精査の度合い、口頭試問での応答などを基に総合的に判断し、点数をつける。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中あるいは終了時を利用して適宜フィードバックする

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル	卒業論文作成に向けて			
担当者	松下　孝昭			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：卒業論文

学科DP番号／DP内容：史学1-2／自己の研究課題に関する資史料（文献史料・考古資料・民俗資料など）の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。
成績評価方法：卒業論文

学科DP番号／DP内容：史学2-2／幅広く歴史学上の専門書や学術論文を精読し、研究上の課題を主体的に発見する能力を有している。
成績評価方法：卒業論文

学科DP番号／DP内容：史学2-3／課題解決のために必要な資史料を的確に見きわめることができ、客観的に事実を見定める判断力を有している。
成績評価方法：卒業論文

学科DP番号／DP内容：史学2-4／読解した資史料を論理的に分析し、卒業論文の作成を通して自己の課題を解決していく能力を有している。
成績評価方法：卒業論文

学科DP番号／DP内容：史学2-5／演習の研究発表ならびに授業のレポートや卒業論文の作成を通じて、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を有している。
成績評価方法：卒業論文

学科DP番号／DP内容：史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法：卒業論文

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：卒業論文

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：卒業論文

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：卒業論文

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：卒業論文

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：卒業論文

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：卒業論文

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
なし

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル				
担当者	村田　路人			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
卒業論文の完成

[授業概要]
受講生各自が選んだ卒業論文テーマについて、①当該テーマに関わる先行研究をまとめるとともに、その問題点を明らかにし、報告する、②それぞれのテーマに関わる史料の所在と内容を把握するとともに、卒業論文の構想についてまとめ、報告する、③夏休み中に卒論構想レポートを作成する、④③の卒論構想レポートをもとに、卒論の章節構成に従い、その内容について報告する、⑤④の報告を修正・深化させた報告を行う、の順で進める。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
報告予定者は、事前に報告レジュメを作成すること。他の受講生も、それぞれ自身の卒論作成に向けての取り組みを進める。

[授業計画]
【全て遠隔授業】(前期のみ)
1. 授業の進め方
2. 受講生全員が、それぞれどのようなテーマで卒業論文を作成したいのかについて報告する。
3. 卒論テーマに関わる先行研究についての報告(前半期一回目報告)1
4. 卒論テーマに関わる先行研究についての報告(前半期一回目報告)2
5. 卒論テーマに関わる先行研究についての報告(前半期一回目報告)3
6. 卒論テーマに関わる先行研究についての報告(前半期一回目報告)4
7. 卒論テーマに関わる先行研究についての報告(前半期一回目報告)5
8. 卒論テーマに関わる先行研究についての報告(前半期一回目報告)6
9. 卒論テーマに関わる史料の所在と内容および卒論構想についての報告(前半期二回目報告)1
10. 卒論テーマに関わる史料の所在と内容および卒論構想についての報告(前半期二回目報告)2
11. 卒論テーマに関わる史料の所在と内容および卒論構想についての報告(前半期二回目報告)3
12. 卒論テーマに関わる史料の所在と内容および卒論構想についての報告(前半期二回目報告)4
13. 卒論テーマに関わる史料の所在と内容および卒論構想についての報告(前半期二回目報告)5
14. 卒論テーマに関わる史料の所在と内容および卒論構想についての報告(前半期二回目報告)6
15. 教員が、夏休み中の研究の進め方と卒論構想レポートの作成について説明する。
16. 後半期の授業の進め方
17. 卒論構想についての報告(後半期一回目報告)1
18. 卒論構想についての報告(後半期一回目報告)2
19. 卒論構想についての報告(後半期一回目報告)3
20. 卒論構想についての報告(後半期一回目報告)4
21. 卒論構想についての報告(後半期一回目報告)5
22. 卒論構想についての報告(後半期一回目報告)6
23. 卒論構想についての報告(後半期一回目報告)7
24. 卒論構想についての報告(後半期二回目報告)1
25. 卒論構想についての報告(後半期二回目報告)2
26. 卒論構想についての報告(後半期二回目報告)3
27. 卒論構想についての報告(後半期二回目報告)4
28. 卒論構想についての報告(後半期二回目報告)5
29. 卒論構想についての報告(後半期二回目報告)6
30. 卒論構想についての報告(後半期二回目報告)7

[成績評価方法]
主査、副査による口頭試問をおこない、論文の内容と試問の結果によって、評価する。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル				
担当者	村田　路人			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学2-4／読解した資史料を論理的に分析し、卒業論文の作成を通して自己の課題を解決していく能力を有している。
成績評価方法：卒論の内容および口頭試問の結果

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：卒論の内容および口頭試問の結果

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：卒論の内容および口頭試問の結果

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：卒論の内容および口頭試問の結果

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
授業中に適宜紹介する

S59070 [LH4-006]

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル				
担当者	山内　晋次			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
卒業論文の完成。

[授業概要]
卒業論文を作成するにあたって必要な知識や技術を具体的に指導する。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
自分の卒論の方向性について、指導教員と緊密に連絡を取りながら、つねに検討・確認をおこなっておく。

[授業計画]
【全て遠隔授業】(前期のみ)
＜前期＞
1. ガイダンス
2. 各自が関心を持っているテーマの報告(1)
3. 各自が関心を持っているテーマの報告(2)
4. 各自が関心を持っているテーマの報告(3)
5. 各自が関心を持っているテーマの報告(4)
6. 先行研究の紹介と問題点の報告(1)
7. 先行研究の紹介と問題点の報告(2)
8. 先行研究の紹介と問題点の報告(3)
9. 先行研究の紹介と問題点の報告(4)
10. 先行研究の紹介と問題点の報告(5)
11. 選択したテーマに関する史料までを含めた準備報告(1)
12. 選択したテーマに関する史料までを含めた準備報告(2)
13. 選択したテーマに関する史料までを含めた準備報告(3)
14. 選択したテーマに関する史料までを含めた準備報告(4)
15. 夏期休暇中の課題の確認
＜後期＞
1. ガイダンス
2. 卒論の構想・進捗状況の発表(1)
3. 卒論の構想・進捗状況の発表(2)
4. 卒論の構想・進捗状況の発表(3)
5. 卒論の構想・進捗状況の発表(4)
6. 卒論の構想・進捗状況の発表(5)
7. 卒論の構想・進捗状況の発表(6)
8. 卒論の構想・進捗状況の発表(7)
9. 論文執筆の指導(1)
10. 論文執筆の指導(2)
11. 論文執筆の指導(3)
12. 論文執筆の指導(4)
13. 論文執筆の指導(5)
14. 論文執筆の指導(6)
15. まとめ

[成績評価方法]
授業における報告・質疑などの内容・態度および卒業論文の内容を総合的に評価する。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル				
担当者	山内　晋次			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法:報告・質疑の内容、受講態度、論文内容

学科DP番号／DP内容:史学1-2／自己の研究課題に関する資史料(文献史料・考古資料・民俗資料など)の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。
成績評価方法:報告・質疑の内容、受講態度、論文内容

学科DP番号／DP内容:史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法:報告・質疑の内容、受講態度、論文内容

学科DP番号／DP内容:史学2-2／幅広く歴史学上の専門書や学術論文を精読し、研究上の課題を主体的に発見する能力を有している。
成績評価方法:報告・質疑の内容、受講態度、論文内容

学科DP番号／DP内容:史学2-3／課題解決のために必要な資史料を的確に見きわめることができ、客観的に事実を見定める判断力を有している。
成績評価方法:報告・質疑の内容、受講態度、論文内容

学科DP番号／DP内容:史学2-4／読解した資史料を論理的に分析し、卒業論文の作成を通して自己の課題を解決していく能力を有している。
成績評価方法:報告・質疑の内容、受講態度、論文内容

学科DP番号／DP内容:史学2-5／演習の研究発表ならびに授業のレポートや卒業論文の作成を通じて、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を有している。
成績評価方法:報告・質疑の内容、受講態度、論文内容

学科DP番号／DP内容:史学3-1／演習形式の授業に積極的に取り組み、主体的に自己の課題を発見かつ解決できる能力を有している。
成績評価方法:報告・質疑の内容、受講態度、論文内容

学科DP番号／DP内容:史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法:報告・質疑の内容、受講態度、論文内容

学科DP番号／DP内容:史学3-3／演習や実習を通じて、他者を主導しつつ、共に課題の解決を図ろうとする対話力と協働性を有している。
成績評価方法:報告・質疑の内容、受講態度、論文内容

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:報告・質疑の内容、受講態度、論文内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:報告・質疑の内容、受講態度、論文内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:報告・質疑の内容、受講態度、論文内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:報告・質疑の内容、受講態度、論文内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:報告・質疑の内容、受講態度、論文内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:報告・質疑の内容、受講態度、論文内容

[教科書(ISBN)]
なし　著者名:—　出版社:—　(—)

[参考書(ISBN)]
なし　著者名:—　出版社:—　(—)

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル				
担当者	吉村　真美			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
各自が選択したテーマにもとづいた卒業論文を完成させる。

[授業概要]
学術論文の執筆ルールを学び、それぞれの選択したテーマについての検証・考察を卒業論文の形にまとめあげてゆく。前期前半は研究報告を中心とし、論文執筆について説明を実施したのち、各自の論文の個別指導を行う。なお、卒業論文提出期限前に、提出期限後分の授業を補講として集中的に実施する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各回、予習復習合わせて2時間程度。教員の指示にしたがって、受講生はそれぞれのテーマに則した予備学習を十分に行って報告に臨むこととする。教員の指導と質疑応答をふまえてmanaba上に課題を再提出させることでフィードバックを行う。

[授業計画]
1. はじめに
2. 研究発表と質疑応答（1）
3. 研究発表と質疑応答（2）
4. 研究発表と質疑応答（3）
5. 研究発表と質疑応答（4）
6. 研究発表と質疑応答（5）
7. 研究発表と質疑応答（6）
8. 卒業論文執筆説明会（1）　卒論の基礎
9. 卒業論文執筆説明会（2）　卒論の構成
10. 個別指導（1）
11. 個別指導（2）
12. 個別指導（3）
13. 個別指導（4）
14. 個別指導（5）
15. 個別指導（6）
16. 個別指導（7）
17. 個別指導（8）
18. 個別指導（9）
19. 個別指導（10）
20. 個別指導（11）
21. 個別指導（12）
22. 個別指導（13）
23. 個別指導（14）
24. 個別指導（15）
25. 卒業論文執筆説明会（3）　註の付け方
26. 個別指導（16）
27. 個別指導（17）
28. 個別指導（18）
29. 提出準備作業
30. 最終チェック、提出

[成績評価方法]
課題および課題の口頭発表の内容（60%）、課題の再提出の内容および質疑応答への参加状況など授業参加の積極性（40%）
課題については授業時に口頭で指導し、その内容をふまえた再提出を課すことでフィードバックを行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル				
担当者	吉村　真美			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容：史学1-2／自己の研究課題に関する資史料（文献史料・考古資料・民俗資料など）の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。
成績評価方法：課題

学科DP番号／DP内容：史学2-3／課題解決のために必要な資史料を的確に見きわめることができ、客観的に事実を見定める判断力を有している。
成績評価方法：課題

学科DP番号／DP内容：史学2-5／演習の研究発表ならびに授業のレポートや卒業論文の作成を通じて、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を有している。
成績評価方法：課題

学科DP番号／DP内容：史学3-1／演習形式の授業に積極的に取り組み、主体的に自己の課題を発見かつ解決できる能力を有している。
成績評価方法：課題

学科DP番号／DP内容：史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法：課題

学科DP番号／DP内容：史学3-3／演習や実習を通じて、他者を主導しつつ、共に課題の解決を図ろうとする対話力と協働性を有している。
成績評価方法：課題

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：課題

学科DP番号／DP内容：史学2-2／幅広く歴史学上の専門書や学術論文を精読し、研究上の課題を主体的に発見する能力を有している。
成績評価方法：課題

学科DP番号／DP内容：史学2-4／読解した資史料を論理的に分析し、卒業論文の作成を通して自己の課題を解決していく能力を有している。
成績評価方法：課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：課題

[教科書(ISBN)]
なし

[参考書(ISBN)]
適宜指示する。

科目名	地誌学	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	金子　直樹			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
この授業により、世界の様々な地理的特徴への基本的知識(大陸・各国の位置、人口・産業・資源・環境などの状況)を理解してほしい。またその結果として、それらがいかに昨今の国際情勢と関連しているかを認識し、グローバル化社会に対する基礎知識としての地誌の重要性を確認していただきたい。

[授業概要]
地理学の領域における地誌学の学術的な位置づけを理解した上で、様々な地理資料(地図や統計・写真等)を用いて、世界の各地域の自然環境と人間生活との関わりについて、社会的、歴史的文脈から総合的に概説していく。また、今日における社会的、文化的、経済的事象の地域や国境を越えた関係性についての理解も目指す。その過程を通じて、中学・高校の教職にも必要となるべき地理的思考や知識の体系を確認していく。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
授業各回の内容を事後に復習して、次回にのぞむこと。また講義で紹介するネット上の地理関連サイトを定期的に利用して、各自で地理的思考に触れる機会をもって欲しい

[授業計画]
1. オリエンテーション:「地誌学」の特徴と課題
2.世界各地域の概要 位置・区分・地図
3.世界各地域の概要 自然環境(地形・気候)
4.世界各地域の概要 人々の生活と環境
5.世界各地域の概要 衣食住・宗教
6.世界の人口・民族をめぐる諸問題 東・東南アジア
7.世界の人口・民族をめぐる諸問題 南・西・中央アジア
8.世界の人口・民族をめぐる諸問題 ヨーロッパ　自然環境・文化
9.世界の人口・民族をめぐる諸問題 ヨーロッパ　EUの人々の生活、および産業に対する影響
10.世界の人口・民族をめぐる諸問題 北アメリカ　自然環境・民族構成
11.世界の人口・民族をめぐる諸問題 北アメリカ　産業・文化
12.世界の人口・民族をめぐる諸問題 南アメリカ　自然環境・生活文化
13.世界の人口・民族をめぐる諸問題 南アメリカ　産業・環境問題
14.世界の人口・民族をめぐる諸問題 オセアニア
15.世界の人口・民族をめぐる諸問題 アフリカ

[成績評価方法]
授業中の課題(40%)、試験(60%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	地誌学	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	金子　直樹			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：定期試験・課題

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：定期試験・課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：定期試験・課題

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
新詳地理資料　COMPLETE 2021　著者名：帝国書院編集部編
　出版社：帝国書院
図説地理資料　世界の諸地域NOW2021
　著者名：帝国書院編集部編
　出版社：帝国書院
社会科　中学生の地理　世界の姿と日本の国土　出版社：帝国書院

S54080 [LH2-080]

科目名	地理歴史科指導法Ⅰ	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	浜田　直也			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
地歴科教育の意義を理解し、教材研究の視点を身につけ、学習指導案が作成できる力を養い、授業構成に関する専門的な技能を高める。また『学習指導要領』が目指す「日本史、世界史、地理の関連付け、近現代史と現在との結び付き、資料に基づく歴史的思考力の育成、歴史的背景を踏まえた地誌的考察力の育成」を踏まえつつ、多様な生徒の要求に応えられる教師としての資質を養う。また、生徒に主体的な学習習慣を身に着けさせるスキルとして、アクティブラーニングを導入して習得させる。

[授業概要]
『高等学校学習指導要領』(平成26年一部改訂)の〈地理歴史〉の目標にある「歴史・地理の主題を設定させ探求する学習活動の充実」を指針とし、学習指導の中心ともいうべき授業の進め方について、指導案作成、教壇実習、反省といった模擬授業を行い、授業実践及び授業批判の能力を高める。また教職試験の学習の進め方について考察する。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
学習指導要領を読み、社会科の教師としての指導目標を認識する。高等学校の地歴科の教科書を読み、歴史資料と地図を解読し、教科の指導内容を研究しておく。

[授業計画]
【全て遠隔授業】
1. 今、教師に求められるもの。
2. 地理歴史科授業のテーマの設定
3. 地理歴史科授業のねらいを『学習指導要領』の学習目標を踏まえて考察する。
4. 地理歴史科授業開発の目的と方法ーアクティブラーニングを使った学習指導の実践ー
5. 地理歴史科授業開発のための資料の収集と検討ー主体的な思考力の育成を目指してー
6. 教材研究Ⅰ:『日本史』　中学校社会の学習成果の上に立ち古代から中世を考察する。
7. 教材研究Ⅱ:『日本史』 近世・近現代史を現在との結び付きを考えながら考察する。
8. 教材研究Ⅲ:『世界史』 ヨーロッパ・アジア史を文明の誕生、世界帝国の形成から考察する。
9. 教材研究Ⅳ:『世界史』 近現代史を現代世界との結び付きを中心に考察する。
10 教材研究Ⅵ:『地理』 現代世界や生活圏の諸課題を歴史的背景を踏まえて考察する。
11. 教材研究Ⅴ:『地理』 世界・日本の自然地形・社会・文化を包括した地誌を中心に考察する。
12. 教育実習に向けて:学習指導案の作成と検討。
13. 授業研究Ⅰ:受講生による模擬授業実施。講評と評価。
14. 授業研究Ⅱ:受講生による模擬授業実施。講評と評価。
15. まとめ。

[成績評価方法]
提出課題(学習指導案、授業計画表、レポート)(70%)、模擬授業(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	地理歴史科指導法Ⅰ	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	浜田　直也			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

[教科書（ISBN）]
なし。別途プリント配布。（なし。）
高等学校時代に使用した、教科書及び資料等の副教材。

[参考書（ISBN）]
高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説　地理歴史編　著者名：文部科学省　出版社：（教育出版）（9784491036410）

S54140 [LH3-125]

科目名	東洋近現代史	後期	講義	2 単位
サブタイトル	中国を中心とした近世・近代の東アジア世界			
担当者	磯部　淳史			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
(1)中国近世・近代の歴史展開について理解し、それを説明することができる。
(2)近世・近代中国とその周辺世界との関係や、相互に与えた影響について理解し、それを説明することができる。
(3)近世・近代中国の歴史が、現代の中国に及ぼした影響について、自分なりに考え説明することができる。

[授業概要]
本講義では、中国史のうち特に14世紀～20世紀初頭、明から清、さらに中華民国に至る中国の歴史展開について、東アジア史やユーラシア史、さらには世界史との関連性も視野に入れつつ概観する。政治・経済・民族・外交などの諸問題を通じて、中国における「近世」および「近代」がいかなる特色を持った時代で、それが現代にどのようにつながり、いかなる影響を及ぼしたのかについて考えていきたい。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
毎回授業後にコメントをまとめ、提出することで、授業内容の整理を自分なりに行なう。また毎回次の授業までにレジュメを見直し、当該回に至るまでの歴史の流れを把握しておくこと。

[授業計画]
1. イントロダクション:近世とは何か？近代とは何か？
2. 君主独裁制の完成
3. 永楽帝と外征の時代
4. 外征から守勢へ
5. 皇帝権力と内閣
6. 北虜南倭の時代
7. 清朝の勃興
8. 明から清へ
9. 清の漢地支配と皇帝政治の展開
10. 康熙・雍正・乾隆三代の盛世
11. 清朝国家の支配構造
12. 清の繁栄と衰退
13. 清代の北京と「日中交流」
14. 列強の進出と清末の政治・外交
15. 清朝の滅亡と新しい「中国」の誕生／まとめ

[成績評価方法]
期末レポート(70%)　平常点(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
毎回授業終了時に授業内容に対する質問・感想・意見などの提出を求め、それを出席とあわせて平常点とする。またコメントの中の特徴的なものを次回の授業冒頭で取り上げ、回答や補足説明を行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	東洋近現代史	後期	講義	2 単位
サブタイトル	中国を中心とした近世・近代の東アジア世界			
担当者	磯部　淳史			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：レポート・毎回の小課題（コメント）

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：レポート

[教科書（ISBN）]
授業担当者が作成したレジュメ・資料を毎回配布する。

[参考書（ISBN）]
授業中に適宜紹介する。 著者名：紹介の際に知らせる。 出版社：紹介の際に知らせる。

S50050 [LH1-057]

科目名	東洋古代中世史	前期	講義	2 単位
サブタイトル	北アジア・中央ユーラシア世界の歴史			
担当者	鈴木　宏節			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
アジアの地理や生業を把握します。その上で、北アジア・中央ユーラシア世界が世界史に対してどのような影響力をおよぼしていったのかを理解します。そして、現代に伝わる歴史的文物や事象がどのように形成されてきたのかを考え、時間軸「いつ？」と空間軸「どこで？」をおさえたうえで、歴史の流れを適確に説明する能力を養います。

[授業概要]
アジアを東西南北の4つに区分した上でそれぞれの地理・風土の特徴を解説し、特に世界史を牽引してきた北アジア・中央ユーラシア世界の特徴をとらえてゆきます。ヒト・モノ・カネ・情報がゆきかう中央ユーラシアの特徴を読み解くために、遊牧民とその生活、オアシス農耕とその生活、草原とオアシスの共生関係、万里の長城、シルクロードなどを題材とします。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
プリントを配布し講義形式の授業をすすめてゆきます。山川出版社『詳説世界史B』、帝国書院『明解世界史図説エスカリエ』など、高等学校で利用した世界史の教科書や図版などを持参すると授業の理解が向上します。

[授業計画]
1. 導入―世界のなかの東洋・アジア―
2. アフロ=ユーラシア・アジアの乾燥地帯
3. 中央ユーラシア草原の地理と生業
4. 遊牧民と世界史
5. 万里の長城と司馬遷
6. 砂漠とオアシスの地理と生業
7. 草原とオアシスの共生関係
8. 民族大移動とシルクロード
9. シルクロードと玄奘三蔵(1)
10. シルクロードと玄奘三蔵(2)
11. モンゴル・オルホン渓谷と遊牧民(1)
12. モンゴル・オルホン渓谷と遊牧民(2)
13. 安史の乱とウイグル帝国
14. トルコ語とトルコ族の西遷
15. まとめ

[成績評価方法]
ミニッツペーパーへの記述（30%）＋試験（70%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
manabaのアンケート機能を使用し、講義内容についての質疑応答をおこないます。質問内容によっては次回の講義の冒頭で紹介し、問題意識を共有してゆきます。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	東洋古代中世史	前期	講義	2 単位
サブタイトル	北アジア・中央ユーラシア世界の歴史			
担当者	鈴木　宏節			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：ミニッツペーパーへの記述・試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：ミニッツペーパーへの記述・試験

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
『中央ユーラシア史』（新版世界各国史4）　著者名：小松久男（編）　出版社：山川出版社　（463441340X）
その他、適宜紹介する。

S50040 [LH1-056]

科目名	東洋史特殊講義Ⅰ	後期		2 単位
サブタイトル	突厥可汗国の諸問題			
担当者	鈴木　宏節			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
6世紀中葉から8世紀中葉にかけて北アジア・中央ユーラシア世界に興隆した遊牧国家・突厥可汗国に関わる諸問題を把握します。突厥可汗国を読み解く文献史料と考古資料の特性をおさえ、遊牧民の歴史を復元する実際の手続きを理解します。

[授業概要]
本講義では、草原世界に広域帝国を築いた古代トルコ系遊牧国家・突厥可汗国の歴史をとりあげます。特に可汗の系譜、王統観、部族構成に関わる諸問題を、文献史料（漢籍、漢文墓誌、突厥碑文）の読解を通して考察してゆきます。また、突厥碑文が残存していたモンゴル高原の遺跡や考古遺物などの物質資料、さらに自然景観なども視野に入れて、突厥可汗国の変容を追跡します。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
プリントを配布し講義形式の授業をすすめてゆきます。参考書欄に記載の文献を読み、突厥可汗国の概要を把握しておいてください。講義では漢文史料を使用しますが、事前に訓読文を作成してください。授業では、書き下しと翻訳を確認してゆきます。

[授業計画]
1. 突厥史の概観
2. 第一可汗国の系譜問題1
3. 第一可汗国の系譜問題2
4. オルドスと羈縻支配
5. 突厥可汗国の部族構成1
6. 突厥可汗国の部族構成2
7. 突厥碑文の建立背景
8. 新発現の突厥碑文
9. 第二可汗国の王統観1
10. 第二可汗国の王統観2
11. 南北モンゴルの遊牧中原1
12. 南北モンゴルの遊牧中原2
13. ゴビ砂漠の落書き
14. 羈縻支配と考古資料
15. まとめ

[成績評価方法]
ミニッツペーパーの記述（30%）＋試験（70%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
manabaのアンケート機能を使用し、講義内容についての質疑応答をおこないます。質問内容によっては次回の講義の冒頭で紹介し、問題意識を共有してゆきます。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	東洋史特殊講義Ⅰ	後期		2 単位
サブタイトル	突厥可汗国の諸問題			
担当者	鈴木　宏節			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：ミニッツペーパーの記述・試験

学科DP番号／DP内容：史学2-3／課題解決のために必要な資史料を的確に見きわめることができ、客観的に事実を見定める判断力を有している。
成績評価方法：ミニッツペーパーの記述・試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢。
成績評価方法：ミニッツペーパーの記述・試験

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
「今のモンゴルで昔のトルコ語を読む」
『FIELDPLUS』（フィールドプラス）19号（2018年）　著者名：鈴木宏節　出版社：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所　（http://www.aa.tufs.ac.jp/ja/publications/field-plus/19）
「突厥碑文から見るトルコ人とソグド人」
『ソグド人と東ユーラシアの文化交渉』アジア遊学175号（2014年）　著者名：鈴木宏節　出版社：勉誠出版　（978-4-585-22641-3）
「トルコ遊牧民と突厥碑文―草原に消えた古代文字を求めて―」
『史論』第71集（2018年）　著者名：鈴木宏節　出版社：東京女子大學讀史會
『古代遊牧帝国』中公新書437（1976年）　著者名：護雅夫　出版社：中央公論新社　（978-4121004376）

科目名	東洋史特殊講義Ⅳ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	宋代の中国社会と東部ユーラシア			
担当者	伊藤　一馬			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
中国の歴史が東部ユーラシアの状況と連動して展開していたことを理解する。

[授業概要]
宋代（10～13世紀）の中国における政治・軍事・社会・経済・外交などを、当時の東部ユーラシア各地の状況との関わりを視野に入れて考察する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
10～13世紀のアジア史について基本的な知識があることが望ましい。また、各回2時間程度、授業の配布資料や紹介する参考文献に目を通して予習・復習すること。

[授業計画]
1. ガイダンス
2. 唐宋変革と東部ユーラシア①
3. 唐宋変革と東部ユーラシア②
4. 「盟約の時代」と中央ユーラシア型国家①
5. 「盟約の時代」と中央ユーラシア型国家②
6. 北宋の軍事・外交情勢①
7. 北宋の軍事・外交情勢②
8. 遼金交替と両宋交替
9. 南宋の軍事・外交情勢
10. 宋代の「辺境軍事社会」①
11. 宋代の「辺境軍事社会」②
12. 東部ユーラシアの交易ネットワーク①
13. 東部ユーラシアの交易ネットワーク②
14.『清明集』の世界
15. まとめ

[成績評価方法]
授業の受講態度（30%）および試験（70%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	東洋史特殊講義Ⅳ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	宋代の中国社会と東部ユーラシア			
担当者	伊藤　一馬			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：試験、受講態度

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：試験、受講態度

学科DP番号／DP内容：史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法：試験、受講態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：試験、受講態度

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
授業中に適宜紹介する。

科目名	東洋史料講読Ⅰ	前期	演習	2 単位
サブタイトル	『十八史略』講読			
担当者	毛利　英介			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
初級の漢文読解能力と中国史の基礎的知識の獲得を目指す。

[授業概要]
元・曽先之『十八史略』は、中国の古代から南宋までの歴史を、複数の歴史書に基づき編年体（時系列順にものごとを叙述したスタイル）で簡略に綴った書物である。初学者向けの中国史参考書という性格が強く、特に日本ではかつて明治期を中心に広く読まれた。
上記のように二次的・三次的編纂物であるという性格から、現在『十八史略』が歴史研究で史料とし用いられることは少ない。しかし、中国史を学び始めるにあたってボリュームや文章の難易度において手ごろであるという点では、今なお一定の価値を有する。よって、本授業のテキストとして選ぶものである。
授業は、冒頭数回にわたって漢文の文法について学んだ後に、実際にテキストの講読へと進む。その際、基本的な文法事項に留意しつつ、古文による訓読と現代語訳の双方の学習を行う予定である。
なお、受講者には各自漢和辞典を準備してもらう必要があるが、担当者からは『全訳漢辞海（第四版）』（三省堂）を推奨する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
講読の授業であるので、毎回の予習が必須である。漢文は一面では外国語であるので、語学の学習の気構えでのぞむことが求められる。

[授業計画]
【全て遠隔授業】
1. ガイダンス・漢文法概説
2. 漢文法概説
3. 『十八史略』講読（1）
4. 『十八史略』講読（2）
5. 『十八史略』講読（3）
6. 『十八史略』講読（4）
7. 『十八史略』講読（5）
8. 『十八史略』講読（6）
9. 『十八史略』講読（7）
10. 『十八史略』講読（8）
11. 『十八史略』講読（9）
12. 『十八史略』講読（10）
13. 『十八史略』講読（11）
14. 『十八史略』講読（12）
15. 授業内確認テスト

[成績評価方法]
授業参加度100%（毎回全員にテキストの指定範囲について書き下しと現代語訳を準備してもらい、その中から一名に担当をしてもらう。その他、最終授業回には初見の漢文を読んでもらい確認テストを行う。）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
担当者には授業中その場でフィードバックを行う。それ以外については、各自必要に応じて質問すること。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	東洋史料講読Ⅰ	前期	演習	2 単位
サブタイトル	『十八史略』講読			
担当者	毛利　英介			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-2／自己の研究課題に関する資史料（文献史料・考古資料・民俗資料など）の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。
成績評価方法：受講態度

学科DP番号／DP内容：史学2-3／課題解決のために必要な資史料を的確に見きわめることができ、客観的に事実を見定める判断力を有している。
成績評価方法：受講態度

学科DP番号／DP内容：史学2-4／読解した資史料を論理的に分析し、卒業論文の作成を通して自己の課題を解決していく能力を有している。
成績評価方法：受講態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：受講態度

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
なし

S51140 [LH2-063]

科目名	東洋史料講読Ⅱ	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	磯部　淳史			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
東洋史、とくに中国史を研究する上で不可欠な漢文法に関する基礎知識を身につけることができる。また原典資料に親しみ、漢文読解能力を高めることができる。

[授業概要]
　この授業は、原典資料としての漢文に親しみ、東洋史学研究に必要な漢文史料の基礎的読解力を身につけることを目的とする。テキストは前近代中国で初心者向けの教科書的読み物であった『十八史略』を用い、その中から著名なエピソードについて書かれたトピックを選んで読んでいく。
　授業ではまず基本的な文法事項などについて説明した後、第3回よりテキストの読解に入る予定である。授業では予め担当者を決めず、受講生全員が予習の上、毎回少しずつ読み進めていく。その中で、各自基礎的な漢文読解力を養ってもらいたい。
　受講にあたっては各自漢和辞典の準備が必須である。辞典は指定しないが、新たに購入する場合は『新字源』(角川書店)、あるいは『全訳漢辞海(第四版)』(三省堂)を推奨する。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
毎回講読してもらうため、受講者全員がテキストの当該箇所を予習した上で授業に臨むこと。
また、漢文読解能力を養うには継続的な資料の読解が不可欠であるので、各自毎回復習を怠らないこと。

[授業計画]
1. 授業の進め方・テキスト等の説明
2. 漢文訓読の基礎についての解説
3. 『十八史略』読解:巻二、秦・始皇帝
4. 『十八史略』読解:巻三、三国・諸葛亮(1)
5. 『十八史略』読解:巻三、三国・諸葛亮(2)
6. 『十八史略』読解:巻四、南北朝・太武帝(1)
7. 『十八史略』読解:巻四、南北朝・太武帝(2)
8. 『十八史略』読解:巻五、唐・太宗李世民(1)
9. 『十八史略』読解:巻五、唐・太宗李世民(2)
10. 『十八史略』読解:巻五、唐・則天武后(1)
11. 『十八史略』読解:巻五、唐・則天武后(2)
12. 『十八史略』読解:巻六、五代・李存勗(1)
13. 『十八史略』読解:巻六、五代・李存勗(2)
14. 『十八史略』読解:巻七、宋・趙匡胤
15. 理解度確認テスト、および解説／まとめ

[成績評価方法]
授業への参加態度、発表内容(70%)　理解度確認テスト(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	東洋史料講読Ⅱ	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	磯部　淳史			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-2／自己の研究課題に関する資史料（文献史料・考古資料・民俗資料など）の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。
成績評価方法：発表・テスト

学科DP番号／DP内容：史学2-3／課題解決のために必要な資史料を的確に見きわめることができ、客観的に事実を見定める判断力を有している。
成績評価方法：発表・テスト

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：発表・テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：発表・テスト

[教科書（ISBN）]
教科書は特に使用しない。テキストは初回授業時に配布する。

[参考書（ISBN）]
なし

科目名	日本近現代史	後期	講義	2 単位
サブタイトル	政治史を中心とした日本近現代史の概観			
担当者	松下　孝昭			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
日本近現代史の流れが理解でき、個々の事実関係がその流れの中に位置づけて把握できるようになることが目標となる。試験の論述においても、その点が中心として問われる。

[授業概要]
日本近現代史を理解するにあたって必要とされる基本的な視角について講義する。具体的には、①明治維新後に成立した有司専制政府に対する政治的自由獲得のための自由民権運動、②議会開設後、自由民権運動の流れを受け継いだ政党勢力が、藩閥との対立と妥協を繰り返しながら政権に参入していく過程、③大正デモクラシーの風潮のもとに、政党政治が確立に向かう時期の動向、④満州事変以後の政党政治の崩壊等、主として政治史的視点から通観することにつとめ、適宜経済や社会運動等の動向にもふれることにする。歴史の勉強においては、個々の事実がいかなる歴史的な流れに位置づけられるのかが理解されなければならないが、そうした流れの把握に重点を置いて講義していく。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
高校で日本近現代史を習っていない者でも履修可能であるが、その場合でも、自ら概説書等を読んで、近現代の歴史の流れを把握しようとする準備学修の姿勢が望まれる。

[授業計画]
1. 近現代における明治維新
2. 国民国家の形成と明治維新
3. 岩倉使節団をめぐって
4. 明治六年政変の歴史的位置
5. 士族反乱と西南戦争
6. 自由民権運動
7. 明治憲法の制定と政治構造
8. 議会政治の始まりと日清・日露
9. 大正デモクラシー
10. 政党政治の確立と崩壊 i
11. 政党政治の確立と崩壊 ii
12. 二・二六事件の歴史的位置
13. 日中全面戦争の始まり
14. アジア・太平洋戦争
15. まとめ

[成績評価方法]
試験による（100%）。なお、手書きノートと配布プリントの持ち込みを許可する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
試験に対する講評を希望する者は、オフィスアワーを利用して個別に対応する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	日本近現代史	後期	講義	2 単位
サブタイトル	政治史を中心とした日本近現代史の概観			
担当者	松下　孝昭			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：試験による

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：試験による

学科DP番号／DP内容：史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法：試験による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：試験による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験による

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
なし

科目名	日本近世史	前期	講義	2 単位
サブタイトル	基本法令から読み解く近世の国家と社会			
担当者	村田　路人			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
この授業では、①日本近世の国家・社会の実態と特質を理解する、②法令史料と歴史叙述の関係を理解する、③史料読解能力を身につける、の3点を目標とする。

[授業概要]
日本の近世は、おおむね16世紀末の豊臣政権期から明治維新期までの約300年間の時代であり、その大部分は江戸時代である。この近世という時代の特質を把握するにはさまざまな方法があるが、近世社会成立期に統一政権（豊臣政権および初期徳川政権）が出した法令を検討するのも、有効な方法の一つである。この授業では、高校日本史教科書にも登場する近世初期の基本的な法令を順次取り上げ、近世の国家･社会の実態と特質を明らかにする。あわせて、法令史料と歴史叙述との関係にも言及する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
日頃から近世史に関する図書をできるだけ多く読んでおくこと（読書時間は週4時間程度を目安とする）。

[授業計画]
1. 講義のねらいと授業の流れ
2. 日本歴史における「近世」の位置1
3. 日本歴史における「近世」の位置2
4. 日本歴史における「近世」の位置3
5. 天正16年（1588）刀狩令1
6. 天正16年（1588）刀狩令2
7. 天正16年（1588）刀狩令3
8. 天正19年（1591）のいわゆる身分統制令1
9. 天正19年（1591）のいわゆる身分統制令2
10. 天正19年（1591）のいわゆる身分統制令3
11. 慶長20年（1615）禁中并公家諸法度1
12. 慶長20年（1615）禁中并公家諸法度2
13. 寛永12年（1635）武家諸法度1
14. 寛永12年（1635）武家諸法度2
15. 日本近世の国家と社会

[成績評価方法]
受講態度30%、期末試験70%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	日本近世史	前期	講義	2 単位
サブタイトル	基本法令から読み解く近世の国家と社会			
担当者	村田　路人			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：受講態度、期末試験

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：受講態度、期末試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：受講態度、期末試験

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
授業中に適宜紹介する

S50020 [LH1-054]

科目名	日本考古学	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	寺沢　知子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
遺物・遺跡から歴史を考えることを具体的に習得する

[授業概要]
考古学とは、人類が残した物質的資料をもとに人類の過去を研究する学問である。まず、考古学はなぜ必要かということを認識させる。次に、1万年以上も続いた縄文時代がいかに日本文化の基層となっているか、また弥生時代から古墳時代への変遷をどうとらえるかなどを、土偶や銅鐸や古墳などの造形物を詳しく学ぶことによって、考古学的手法で歴史を読み解くことを学ばせる。新聞（全国紙1面）掲載の考古学の記事はかならずチェックさせ、日常的に考古学への興味を持ち続ける動機づけとする。（パワーポイント使用）

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
講義中に提示した課題について調べておくこと。新聞の考古学関連記事をチエックしておくこと。

[授業計画]
1. 考古学とはなにか,考古学の対象（遺跡・遺構・遺物）
2. 考古学史、考古学の役割
3. 水戸光圀の文化財保護
4. 土偶から見る縄文社会①
5. 土偶から見る縄文社会②
6. 三内丸山遺跡発掘ビデオによる発掘の手順と成果
7. 三内丸山遺跡のから読み取る新しい縄文時代像
8. 土偶の消滅と弥生社会の開始
9. 銅鐸の役割変容①
10. 銅鐸の役割変容②
11. 邪馬台国時代と纒向遺跡①
12. 邪馬台国時代と纒向遺跡②
13. 古墳伝承と考古学
14. 世界遺産と百舌鳥・古市古墳群の課題
15. まとめ

[成績評価方法]
試験（80%）、受講態度・新聞記事のチェックなど（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
講義中に指導

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S50090 [LH1-061]

科目名	日本考古学	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	寺沢　知子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：試験・受講態度

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：試験・受講態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：試験・受講態度

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
なし

S50090 [LH1-061]

科目名	日本考古学実習	後期	実習	2 単位
サブタイトル				
担当者	竹原　千佳誉			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
考古学に必要な知識と技術を習得することを目標とする。

[授業概要]
考古学は遺跡や遺物などの出土資料から歴史を復元する学問である。発掘資料から多くの情報を読み取り、資料を分析し、資料化する作業は考古学を研究するための重要な作業となる。実習では、遺構や遺物をどのように取り扱い、資料化するのかを学び、文化財への理解と関心を深めることを目的とする。まずは、発掘調査の概要を学び、遺構の断面図作成や遺物の実測などをおこなう。最終的な到達目標は、発掘調査報告書を作成するために必要な技術を習得することである。また、学外実習として遺跡の見学もおこなう。

注1　史学演習で考古学ゼミを選択した学生は必修のこと。
　2　受講人数の均等化をおこなうので、希望する時限にそえない場合がある。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
新聞に掲載された、考古学に関する記事に注目しておくこと。

[授業計画]
1. 授業概要について
2. 埋蔵文化財の保護と発掘調査
3. 発掘調査方法（実践）①機材の取り扱い・簡単な測量方法
4. 発掘調査方法（実践）②遺構断面図の作成
5. 発掘調査報告書の基礎的知識
6. 遺物の整理①出土遺物の取り扱い方
7. 遺物の整理②土器の接合（植木鉢などの接合・ネーミング）
8. 遺物の整理③土器の復元（石膏をつかっての復元）
9. 遺物の整理④遺物実測（実測図の基礎）
10. 遺物の整理⑤遺物実測（土師器実測）
11. 遺物の整理⑥遺物実測（須恵器実測）
12. 遺物の整理⑦遺物実測
13. 遺物の整理⑧拓本実習
14. 遺跡見学、資料スケッチ（五色塚古墳）

[成績評価方法]
授業中の課題（60%）レポート（20%）課題への積極的なとりくみ（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	日本考古学実習	後期	実習	2 単位
サブタイトル				
担当者	竹原　千佳誉			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-2／自己の研究課題に関する資史料（文献史料・考古資料・民俗資料など）の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。
成績評価方法：レポート及び課題

学科DP番号／DP内容：史学3-3／演習や実習を通じて、他者を主導しつつ、共に課題の解決を図ろうとする対話力と協働性を有している。
成績評価方法：課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：課題

[教科書（ISBN）]
なし。必要に応じてプリントを配布。

[参考書（ISBN）]
なし

S51260 [LH2-067]

科目名	日本考古学実習	後期	実習	2 単位
サブタイトル				
担当者	竹原　千佳誉			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
考古学に必要な知識と技術を習得することを目標とする。

[授業概要]
考古学は遺跡や遺物などの出土資料から歴史を復元する学問である。発掘資料から多くの情報を読み取り、資料を分析し、資料化する作業は考古学を研究するための重要な作業となる。実習では、遺構や遺物をどのように取り扱い、資料化するのかを学び、文化財への理解と関心を深めることを目的とする。まずは、発掘調査の概要を学び、遺構の断面図作成や遺物の実測などをおこなう。最終的な到達目標は、発掘調査報告書を作成するために必要な技術を習得することである。また、学外実習として遺跡の見学もおこなう。

注1　史学演習で考古学ゼミを選択した学生は必修のこと。
　2　受講人数の均等化をおこなうので、希望する時限にそえない場合がある。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
新聞に掲載された、考古学に関する記事に注目しておくこと。

[授業計画]
1. 授業概要について
2. 埋蔵文化財の保護と発掘調査
3. 発掘調査方法（実践）①機材の取り扱い・簡単な測量方法
4. 発掘調査方法（実践）②遺構断面図の作成
5. 発掘調査報告書の基礎的知識
6. 遺物の整理①出土遺物の取り扱い方
7. 遺物の整理②土器の接合（植木鉢などの接合・ネーミング）
8. 遺物の整理③土器の復元（石膏をつかっての復元）
9. 遺物の整理④遺物実測（実測図の基礎）
10. 遺物の整理⑤遺物実測（土師器実測）
11. 遺物の整理⑥遺物実測（須恵器実測）
12. 遺物の整理⑦遺物実測
13. 遺物の整理⑧拓本実習
14. 遺跡見学、資料スケッチ（五色塚古墳）

[成績評価方法]
授業中の課題（60%）レポート（20%）課題への積極的なとりくみ（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	日本考古学実習	後期	実習	2 単位
サブタイトル				
担当者	竹原　千佳誉			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-2／自己の研究課題に関する資史料（文献史料・考古資料・民俗資料など）の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。
成績評価方法：レポート及び課題

学科DP番号／DP内容：史学3-3／演習や実習を通じて、他者を主導しつつ、共に課題の解決を図ろうとする対話力と協働性を有している。
成績評価方法：課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：課題

[教科書（ISBN）]
なし。必要に応じてプリントを配布。

[参考書（ISBN）]
なし

S51261 [LH2-067]

科目名	日本考古学特殊講義Ⅱ	後期		2 単位
サブタイトル	弥生・古墳時代社会論Ⅱ			
担当者	秋山　浩三、高野　陽子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
①考古学はどのような学問（科学）か、その特有な方法（論）とはいかなるものか、を把握。
②弥生時代の社会構造・文化内容などに関する見識を深め、古墳の出現とそれに伴う社会変化を理解する。

[授業概要]
弥生・古墳時代を中心とした時期（一部に縄文時代や古代以降の内容を含める）の社会・文化のほぼ全般にわたり、考古学の学問的特質と方法論の問題をとりまぜながら、議論をおこなう。あわせて、近年において学界で話題・研究の対象となっている学問上のいくつかの課題をとりあげてやや深く考究し、主に社会構造発展史の観点から総論を試みる。
何回かの講義では、発掘調査や遺跡整備についての記録映画を上映し、学問修得の一助とする。また、学外研修の時間を設け、実際の遺跡・古墳の見学や博物館等における遺物見学によって、考古学への理解がより深まるようにする。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
新聞記事あるいはテレビ・ネットニュースなどを通じて、考古学やそれに関する最新情報を獲得するよう留意しておいてください。

[授業計画]
1. ガイダンス／日本考古学研究と現代①（秋山）
2. 日本考古学研究と現代②（秋山）
3. 縄文・弥生移行期祭祀論（秋山）
4. 弥生農耕祭祀論（秋山）
5. 弥生集落論（秋山）
6. 弥生「都市」論（秋山）
7. 弥生実年代論からみた古墳出現期の評価（秋山）
8. 弥生時代の日本海交易（高野）
9. 日本海域の弥生王墓（高野）
10. 前方後円墳の出現と画期（高野）
11. 土器から復元される古墳社会（高野）
12. 古墳時代の首長祭祀（高野）
13. 巨大前方後円墳と古墳祭式①－学外研修（高野）
14. 巨大前方後円墳と古墳祭式②－学外研修（高野）
15. 日本考古学研究の展望／課題レポート寸評／講義総括（秋山）

※学外研修（13・14＝同日実施）の詳細はできるだけ早い段階に日時・内容等々をアナウンス（土曜日または日曜日に予定）。

[成績評価方法]
講義中の態度〔私語厳禁〕（25%）、講義中の討論参加の積極性（35%）、課題レポート（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	日本考古学特殊講義Ⅱ	後期		2 単位
サブタイトル	弥生・古墳時代社会論Ⅱ			
担当者	秋山　浩三、高野　陽子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：レポート課題・講義中討論

学科DP番号／DP内容：史学1-2／自己の研究課題に関する資史料（文献史料・考古資料・民俗資料など）の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。
成績評価方法：レポート課題・講義中討論

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：レポート課題・講義中討論

学科DP番号／DP内容：史学2-2／幅広く歴史学上の専門書や学術論文を精読し、研究上の課題を主体的に発見する能力を有している。
成績評価方法：レポート課題・講義中討論

学科DP番号／DP内容：史学2-3／課題解決のために必要な資史料を的確に見きわめることができ、客観的に事実を見定める判断力を有している。
成績評価方法：レポート課題・講義中討論

学科DP番号／DP内容：史学2-5／演習の研究発表ならびに授業のレポートや卒業論文の作成を通じて、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を有している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法：レポート課題・講義中討論

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：講義中討論

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：講義中討論

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：講義中討論

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題・講義中討論

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：レポート課題

[教科書（ISBN）]
なし。ただし、必要に応じて資料を配付し、それらに基づいて講義を実施。（×）

[参考書（ISBN）]
弥生実年代と都市論のゆくえ 池上曽根遺跡　著者名：秋山浩三　出版社：新泉社 （4-7877-0633-0 C1021）
弥生大形農耕集落の研究　著者名：秋山浩三　出版社：青木書店 （978-4-250-20713-6）
弥生時代のモノとムラ　著者名：秋山浩三　出版社：新泉社 （978-4-7877-1703-0 C1021）
邪馬台国時代の丹波・丹後・但馬と大和　著者名：高野陽子ほか　出版社：学生社 （978-4-311-20335-0 C0021）
大集結 邪馬台国時代のクニグニ　著者名：高野陽子ほか　出版社：青垣出版 （978-4-434-20365-7 C0321）

科目名	日本古代中世史	前期	講義	2 単位
サブタイトル	古代・中世の日本史とアジア史・世界史をつなぐ			
担当者	山内　晋次			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
日本の古代・中世史の展開がアジア史・世界史の展開と密接に関連していることを理解する。

[授業概要]
7～16世紀頃の日本の国際交流史をおもな素材としつつ、日本史とアジア史・世界史とのつながりを解説する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
すくなくとも高校の日本史・世界史教科書などにもう1度目を通したうえで授業に臨む。

[授業計画]
【全て遠隔授業】
第1回　ガイダンス
第2回　奈良時代以前の国際交流
第3回　奈良時代の国際交流　（唐との交流1）
第4回　　〃　　（唐との交流2）
第5回　　〃　　（新羅・渤海との交流）
第6回　平安時代の国際交流　（新羅・唐・呉越海商の来航）
第7回　　〃　　（日宋貿易1）
第8回　　〃　　（日宋貿易2）
第9回　　〃　　（日宋貿易3）
第10回　鎌倉時代の国際交流（日元貿易）
第11回　　〃　　（蒙古襲来）
第12回　室町時代の国際交流（明との交流）
第13回　　〃　　（琉球・朝鮮との交流）
第14回　　〃　　（ヨーロッパ人の来航）
第15回　まとめ

[成績評価方法]
受講態度30%・学期末試験70%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	日本古代中世史	前期	講義	2 単位
サブタイトル	古代・中世の日本史とアジア史・世界史をつなぐ			
担当者	山内　晋次			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：試験、受講態度

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：試験、受講態度

学科DP番号／DP内容：史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法：試験、受講態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：試験、受講態度

[教科書（ISBN）]
なし。適宜レジュメを配布する。

[参考書（ISBN）]
なし

科目名	日本古代中世史	前期	講義	2 単位
サブタイトル	古代・中世の日本史とアジア史・世界史をつなぐ			
担当者	山内　晋次			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
日本の古代・中世史の展開がアジア史・世界史の展開と密接に関連していることを理解する。

[授業概要]
7～16世紀頃の日本の国際交流史をおもな素材としつつ、日本史とアジア史・世界史とのつながりを解説する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
すくなくとも高校の日本史・世界史教科書などにもう1度目を通したうえで授業に臨む。

[授業計画]
【全て遠隔授業】
第1回　ガイダンス
第2回　奈良時代以前の国際交流
第3回　奈良時代の国際交流　（唐との交流1）
第4回　　〃　　（唐との交流2）
第5回　　〃　　（新羅・渤海との交流）
第6回　平安時代の国際交流　（新羅・唐・呉越海商の来航）
第7回　　〃　　（日宋貿易1）
第8回　　〃　　（日宋貿易2）
第9回　　〃　　（日宋貿易3）
第10回　鎌倉時代の国際交流（日元貿易）
第11回　　〃　　（蒙古襲来）
第12回　室町時代の国際交流（明との交流）
第13回　　〃　　（琉球・朝鮮との交流）
第14回　　〃　　（ヨーロッパ人の来航）
第15回　まとめ

[成績評価方法]
受講態度30%・学期末試験70%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	日本古代中世史	前期	講義	2 単位
サブタイトル	古代・中世の日本史とアジア史・世界史をつなぐ			
担当者	山内　晋次			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：試験、受講態度

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：試験、受講態度

学科DP番号／DP内容：史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法：試験、受講態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：試験、受講態度

[教科書（ISBN）]
なし。適宜レジュメを配布する。

[参考書（ISBN）]
なし

科目名	日本古文書学Ⅰ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	日本中世の古文書を読み解く			
担当者	梶木　良夫			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
日本中世文書の歴史的特質を実例の検討を通じて考える力量を身につける。

[授業概要]
本講義の目的は、実例の検討を通じて、日本中世文書の歴史的特質を認識することにある。その際、資料学における古文書の位置づけを確認する上で、伝来の状況やその理由を検討する。特に古文書の伝来から読み取れる中世社会の特徴するに留意する。
授業は、次のように構成する。① 代表的な様式をもつ中世文書の写真版（テキスト）や原寸大複製を利用して、その解読を行い、その内容や様式的特徴を確認する。解読作業は受講生が分担して行う。② 古文書学に必要な基礎的知識を身につける。なお、授業の理解度を小テスト形式で確認する機会を適宜、設ける。
資料館・博物館の古文書展示を見学し、原文書の様態を学ぶ機会を設ける。また、近年整備された古文書群データベースも活用する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
テキストの授業テーマに関連する箇所をよく読み、理解を深めるとともに、疑問点を整理することを強く求める。なお、この授業には、漢文を読む基礎知識とスキルが不可欠である。2回生で学修した内容を常に確認できるようにしておくこと。

[授業計画]
1. オリエンテーション　－史料の保存と廃棄－
2. 資料学における古文書
3. 武家文書の特徴
4. 武家文書を読む　裁許状　その1
5. 武家文書を読む　裁許状　その2
6. 武家文書を読む　補任状
7. 絵画資料に描かれた文書
8. 寺院文書の特徴
9. 契約書面を読む　売券とその様式的特徴
10. 契約書面の特徴　売券とその伝来　その1
11. 契約書面の特徴　売券とその伝来　その2
12. 起請文　様式とその特徴
13. 共同体文書を読む
14. 紙背文書を読む
15.まとめ

[成績評価方法]
レポート（70%）受講に対する取り組み、授業中の発表およびテーマ毎の小レポートまたは小テスト（30%）
博物館などでの古文書見学のレポート評価を加味する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
小レポートの内容を共有化して、履修者が相互に理解を深め合えるように努める。また、学期末レポートは、講評をmanabaに掲載して、今後の学びの課題を提示する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	日本古文書学Ⅰ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	日本中世の古文書を読み解く			
担当者	梶木　良夫			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：小レポートまたは小テスト・試験

学科DP番号／DP内容：史学1-2／自己の研究課題に関する資史料（文献史料・考古資料・民俗資料など）の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。
成績評価方法：小レポートまたは小テスト・試験

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：小レポートまたは小テスト・試験

学科DP番号／DP内容：史学2-3／課題解決のために必要な資史料を的確に見きわめることができ、客観的に事実を見定める判断力を有している。
成績評価方法：小レポートまたは小テスト・試験

学科DP番号／DP内容：史学2-5／演習の研究発表ならびに授業のレポートや卒業論文の作成を通じて、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を有している。
成績評価方法：小レポートまたは小テスト・試験

学科DP番号／DP内容：史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法：小レポートまたは小テスト・試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：小レポートまたは小テスト・試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：小レポートまたは小テスト・試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：小レポートまたは小テスト・試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：小レポートまたは小テスト・試験

[教科書（ISBN）]
演習古文書選　様式編　著者名：日本歴史学会編　出版社：（吉川弘文館）（9784642070584）
新版古文書学入門　著者名：佐藤進一著　出版社：（法政大学出版局）（9784588320118）

[参考書（ISBN）]
なし。授業中に適宜、紹介する。

科目名	日本古文書学Ⅱ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	日本中世文書の様式的研究とその課題			
担当者	梶木　良夫			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
文書様式論の研究史的意義を理解し、歴史資料論の課題を考える力を身につける。

[授業概要]
本講義では、日本中世文書の古典的成果でもある様式的変化とその歴史的背景を考察する。また、文書の作成および伝達過程の復原を試みるとともに、武家や寺院の文書群をとりあげて文書の保管・廃棄などに言及して、歴史資料論における文書論の意義を考えることにしたい。
なお、授業の理解度を小テスト形式で確認する機会を適宜、設ける。
また、資料館・博物館の古文書展示を見学し、原文書の様態を学ぶ機会を設ける。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
事前、事後を問わず、テキスト・プリントなどを見直し、授業内容の理解を深め、疑問点を整理することを強く求める。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 公式様文書　その1 様式はなぜ必要か
3. 公式様文書　その2　発給手続き
4. 公家様文書　その1　その特徴とは何か
5. 公家様文書　その2　官宣旨を読む
6. 公家様文書　まとめ
7. 武家様文書　直状と奉書
8. 武家様文書　室町幕府発給文書の特徴
9. 武家様文書　下文と下知状 その1
10. 武家様文書　下文と下知状 その2
11. 武家様文書　御判御教書
12. 武家様文書 まとめ
13. 古文書様式論の意義と課題 その1
14. 古文書様式論の意義と課題 その2
15. まとめ

[成績評価方法]
レポート（70%）授業内容のチェックシートおよび小テスト（30%）博物館などでの古文書見学のレポート評価を加味する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
小レポートの内容を共有化して、履修者が相互に理解を深め合えるように努める。また、学期末レポートは、講評をmanabaに掲載して、今後の学びの課題を提示する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	日本古文書学Ⅱ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	日本中世文書の様式的研究とその課題			
担当者	梶木　良夫			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：小テスト・レポート

学科DP番号／DP内容：史学1-2／自己の研究課題に関する資史料（文献史料・考古資料・民俗資料など）の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。
成績評価方法：小テスト・レポート

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：小テスト・レポート

学科DP番号／DP内容：史学2-3／課題解決のために必要な資史料を的確に見きわめることができ、客観的に事実を見定める判断力を有している。
成績評価方法：小テスト・レポート

学科DP番号／DP内容：史学2-5／演習の研究発表ならびに授業のレポートや卒業論文の作成を通じて、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を有している。
成績評価方法：小テスト・レポート

学科DP番号／DP内容：史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法：小テスト・レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：小テスト・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：小テスト・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：小テスト・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：小テスト・レポート

[教科書（ISBN）]
『演習古文書選』ー様式編ー　著者名：日本歴史学会編　出版社：（吉川弘文館）（4-642-07058-3）
『新版古文書学入門』 著者名：佐藤進一著　出版社：（法政大学出版局）（978-4-588-32011-8）

[参考書（ISBN）]
なし。授業中に適宜、紹介する。

科目名	日本史特殊講義Ⅱ	後期		2 単位
サブタイトル	島からみた歴史			
担当者	山内　晋次			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
東アジア海域に浮かぶいくつかの島の歴史を素材として、ヒト・モノ・情報などの国際的な移動・流通をめぐる最新の研究成果を学び、日本史とアジア史・世界史との連関を理解する。

[授業概要]
国内外のいくつかの島々の歴史を検討しながら、海を媒介としたヒト・モノ・情報などの国際的な移動・流通に関する最新の研究成果を紹介していく。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
配布されたレジュメや資料に事前に眼を通したうえで授業に臨む。

[授業計画]
1. ガイダンス
2. 九州北部の島々（1）
3. 九州北部の島々（2）
4. 九州北部の島々（3）
5. 九州北部の島々（4）
6. 南西諸島の島々（1）
7. 南西諸島の島々（2）
8. 南西諸島の島々（3）
9. 南西諸島の島々（4）
10. 朝鮮半島・中国の島々（1）
11. 朝鮮半島・中国の島々（2）
12. 朝鮮半島・中国の島々（3）
13. 朝鮮半島・中国の島々（4）
14. その他の島々
15. まとめ

[成績評価方法]
受講態度30%・学期末試験70%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	日本史特殊講義Ⅱ	後期		2 単位
サブタイトル	島からみた歴史			
担当者	山内　晋次			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：試験、受講態度

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：試験、受講態度

学科DP番号／DP内容：史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法：試験、受講態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：試験、受講態度

[教科書（ISBN）]
なし。適宜レジュメを配布する。（―）

[参考書（ISBN）]
なし（―）

S52020 [LH3-096]

科目名	日本史特殊講義Ⅳ	前期		2 単位
サブタイトル	日本中世の契約と紛争			
担当者	梶木　良夫			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
日本中世の政治と社会に関する視座を学び、歴史研究の方法を身につける。

[授業概要]
今年度は、日本中世の契約と紛争の特質を考える

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
講義のまとめや次回テーマのキーワードを調べる課題には、真摯に対処すること。論文の抄出を事前配布した場合には、重要な箇所の要旨をまとめておくこと。なお、講義では漢文体の古文書の事例を使用する。漢文を読む基礎知識とスキルを身に着けていること（または身に着けようとする意欲をもっていること）が望ましい。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 鎌倉後期・南北朝期の社会的特質 (1)
3. 鎌倉後期・南北朝期の社会的特質 (2)
4. 鎌倉後期・南北朝期の社会的特質 (3)
5. 中世寺院の経営と荘園 (1)
6. 中世寺院の経営と荘園 (2)
7. 小括
8. 中世契約文書の特質 (1)
9. 中世契約文書の特質 (2)
10. 中世契約文書の特質(3)
11. 中世契約文書の特質(4)
12. 中世契約文書の特質(5)
13. 鎌倉後期・南北朝期の権門寺院（1）
14. 鎌倉後期・南北朝期の権門寺院（2）
15. まとめ

[成績評価方法]
レポート：（70%） 講義内容に関するチェックシートおよびショートレポート（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
manabaレポートのコメント機能を使用。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S52040 [LH3-098]

科目名	日本史特殊講義Ⅳ	前期		2 単位
サブタイトル	日本中世の契約と紛争			
担当者	梶木　良夫			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：レポート・ショートレポート

学科DP番号／DP内容：史学1-2／自己の研究課題に関する資史料（文献史料・考古資料・民俗資料など）の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。
成績評価方法：レポート・ショートレポート

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：レポート・ショートレポート

学科DP番号／DP内容：史学2-2／幅広く歴史学上の専門書や学術論文を精読し、研究上の課題を主体的に発見する能力を有している。
成績評価方法：レポート・ショートレポート

学科DP番号／DP内容：史学2-3／課題解決のために必要な資史料を的確に見きわめることができ、客観的に事実を見定める判断力を有している。
成績評価方法：レポート・ショートレポート

学科DP番号／DP内容：史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法：レポート・ショートレポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力　／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート・ショートレポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解　／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：レポート・ショートレポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート・ショートレポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：レポート・ショートレポート

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
なし。授業中に適宜、紹介する。

科目名	日本史特殊講義Ⅴ	後期		2 単位
サブタイトル	近世における開発と治水			
担当者	村田　路人			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
以下の2点を到達目標とする。①日本近世における幕府・領主の開発・治水政策の具体的内容を理解することができる、②近世社会における開発と治水の関係を理解することができる。

[授業概要]
近世においては、前代に比して土地の開発が著しく進み、田畑の面積・石高が飛躍的に増加した。しかし、これは水害の一因となり、為政者は新たな治水策を打ち立てることになったが、それがまた新たな水害を引き起こすことにもなった。本講義では、江戸幕府や領主による開発・治水政策の変遷、および近世社会における開発と治水の関係を明らかにするとともに、新たな近世開発・治水論の構築を試みる。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
近世史に関する文献を広く読んでおくこと。

[授業計画]
1.課題と方法
2.近世の開発と治水をめぐる研究史
3.河川についての基礎知識
4.開発・治水史研究の新たな視角としての堤外地政策
5.17世紀畿内近国地域の川筋問題1
6.17世紀畿内近国地域の川筋問題2
7.17世紀の川筋開発と堤外地政策1
8.17世紀の川筋開発と堤外地政策2
9.18世紀初期の川筋開発と堤外地政策1
10.18世紀初期の川筋開発と堤外地政策2
11.享保改革と堤外地政策の転換1
12.享保改革と堤外地政策の転換2
13.18世紀中期以降の川筋開発と堤外地政策1
14.18世紀中期以降の川筋開発と堤外地政策2
15.まとめと近世開発・治水論の展望

[成績評価方法]
受講態度30%、試験70%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	日本史特殊講義Ⅴ	後期		2 単位
サブタイトル	近世における開発と治水			
担当者	村田　路人			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：試験

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：試験

学科DP番号／DP内容：史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法：試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：試験

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
授業中に随時紹介する。

科目名	日本史特殊講義Ⅷ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	近現代日本の軍隊と地域社会			
担当者	松下　孝昭			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
日本近現代史に関する専門講義を通して歴史研究のプロセスを理解し、自らが研究を実践していこうとする意欲を持つに到ることが目標となる。

[授業概要]
特殊講義とは、教員自身が現在進めている研究内容を披露することによって、受講者が卒業論文を作成するにあたって、有意義な方法論や視角が身につくことをめざして開講する専門性の高い講義である。受講者はそうした意識を持って出席しなければならない。この特殊講義Ⅷでは、陸海軍の立地とそれをめぐる都市形成のありかたについて講じる。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
高度に専門的な講義を受講して、自らも学術論文(卒論)の作成に向けて臨もうとする意欲を身につけておくことが求められる。

[授業計画]
1. 近代日本政治史の現状と課題
2. 近代史研究上の史料
3. 陸海軍の立地過程
4. 陸海軍の立地と誘致運動
5. 日露戦後の地域社会と軍隊
6. 軍隊と鉄道ⅰ
7. 軍隊と鉄道ⅱ
8. 軍隊と都市インフラⅰ
9. 軍隊と都市インフラⅱ
10. 軍隊と遊廓
11. 遊廓をめぐる都市地域社会
12. 軍隊の立地と遊廓
13. 戦後史への架橋
14. 自衛隊の誘致
15. まとめ

[成績評価方法]
試験による(なお、教科書、手書きノート、配布プリントの持ち込みを許可する)。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
試験に対する講評を希望する者には、オフィスアワー等を利用して個別に対応する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	日本史特殊講義Ⅷ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	近現代日本の軍隊と地域社会			
担当者	松下　孝昭			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：試験

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：試験

学科DP番号／DP内容：史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法：試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：試験

[教科書（ISBN）]
軍隊を誘致せよ一陸海軍と都市形成　著者名：松下孝昭
　出版社：吉川弘文館　（9784642057707）

[参考書（ISBN）]
なし

科目名	日本宗教史Ⅱ	前期		2 単位
サブタイトル	日本の仏教と葬送			
担当者	島津　毅			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
・古代・中世にあって仏教が果たしてきた役割と当時の死生観を理解する。
・これから直面するであろう多死社会において死生観をどう考えていくのか、その糧とする。

[授業概要]
江戸時代に創出されたとされる檀家制度によって、仏教が葬式や追善仏事のみに携わっていたと理解されてきたことから、日本仏教が葬式仏教と称されて久しい。しかし、これまでの古代中世史の研究では、仏教が葬送にどのように関わってきたのか、宗派史にとらわれず通時的に検討されることはほとんどなく、両者の関係やまして葬送に対する当時の人々の思いも問題として取り上げられることはなかった。
そこで本講では、8世紀から16世紀までを通して、人々が、そして仏教がどのように葬送に携わってきたのかを考察する。そして日本人が古来抱いていた死生観を考えることとする。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
毎回配布される次回レジメ資料を読み、大まかな内容を理解しておく。

[授業計画]
1. 超高齢社会と仏教
2. 近世以降の仏教と葬送①
3. 近世以降の仏教と葬送①
4. 9世紀前期までの仏教と葬送①
5. 9世紀前期までの仏教と葬送②
6. 9世紀後半から13世紀までの仏教と葬送①
7. 9世紀後半から13世紀までの仏教と葬送②
8. 14世紀以降の仏教と葬送の変化①
9. 14世紀以降の仏教と葬送の変化②
10. 中世後期の葬祭仏教化と近世仏教の胎動①
11. 中世後期の葬祭仏教化と近世仏教の胎動②
12. 古代中世の女性と葬祭仏教①
13. 古代中世の女性と葬祭仏教②
14. 古代中世の女性と葬祭仏教③
15. 葬式仏教論の再考・まとめ

[成績評価方法]
受講態度（毎回の小テストを含む）50%・期末試験50%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	日本宗教史Ⅱ	前期		2 単位
サブタイトル	日本の仏教と葬送			
担当者	島津　毅			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：小テストと期末試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：試験

[教科書（ISBN）]
なし。

[参考書（ISBN）]
講義中に適宜紹介する。

S52250 [LH3-118]

科目名	日本史料講読Ⅰ	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	山内　晋次			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
漢文史料の読み方の基礎を習得するとともに、古代日本の歴史を同時代のアジア史の一環として理解する。

[授業概要]
8～12世紀頃の日本に関する国際関係史料を輪番で読み進めていく。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
受講者全員が、必ず訓読・現代語訳の予習をして、授業に出席する。

[授業計画]
【全て遠隔授業】
1. 史料解題（1）
2. 史料解題（2）
3. 漢文入門（1）
4. 漢文入門（2）
5. 漢文入門（3）
6. テキスト講読（1）
7. テキスト講読（2）
8. テキスト講読（3）
9. テキスト講読（4）
10. テキスト講読（5）
11. テキスト講読（6）
12. テキスト講読（7）
13. テキスト講読（8）
14. テキスト講読（9）
15. まとめ

[成績評価方法]
受講態度30%・学期末試験70%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	日本史料講読Ⅰ	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	山内　晋次			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：試験、受講態度

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：試験、受講態度

学科DP番号／DP内容：史学2-2／幅広く歴史学上の専門書や学術論文を精読し、研究上の課題を主体的に発見する能力を有している。
成績評価方法：試験、受講態度

学科DP番号／DP内容：史学3-1／演習形式の授業に積極的に取り組み、主体的に自己の課題を発見かつ解決できる能力を有している。
成績評価方法：試験、受講態度

学科DP番号／DP内容：史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法：試験、受講態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：試験、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：試験、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：試験、受講態度

[教科書（ISBN）]
なし。テキストのコピーなどを適宜配布する。 著者名：― 出版社：― （―）

[参考書（ISBN）]
なし 著者名：― 出版社：― （―）

科目名	日本史料講読Ⅱ	後期	演習	2 単位
サブタイトル	日本中世の漢文史料を読む			
担当者	梶木　良夫			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
漢文史料に返り点を打ち、読み下し文を作成し、大意を読みとる方法を身につける。

[授業概要]
中世の基本史料をていねいに読み解きながら、中世社会の仕組みや規範・人々の様々な生活習慣や行動様式等について学んでいきたい。まず、中世史料の独特な文体に慣れることから始めて、文意を正しく理解するために必要な基礎的知識と技能を獲得するための基礎力をトレーニングする。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
漢文や古文の基礎知識を常に確認し、読み解く力を自ら身につけるように取り組むこと。中世の様々な文化遺産に関心を寄せ、事前・事後の学びを通して歴史上の興味を培うこと。

[授業計画]
1. 入門編：和製漢文の構造と読み方①
2. 入門編：和製漢文の構造と読み方②
3. 入門編：和製漢文の構造と読み方③
4. 基礎編：基礎的な漢文史料の読解①
5. 基礎編：基礎的な漢文史料の読解②
6. 基礎編：基礎的な漢文史料の読解③
7. 応用編：中世史料を訓読し、大意をまとめる　分担発表①
8. 応用編：中世史料を訓読し、大意をまとめる　分担発表②
9. 応用編：中世史料を訓読し、大意をまとめる　分担発表③
10. 応用編：中世史料を訓読し、大意をまとめる　分担発表④
11. 応用編：中世史料を訓読し、大意をまとめる　分担発表⑤
12. 応用編：中世史料を訓読し、大意をまとめる　分担発表⑥
13. 応用編：中世史料を訓読し、大意をまとめる　分担発表⑦
14. 応用編：中世史料を訓読し、大意をまとめる　分担発表⑧
15. まとめ

[成績評価方法]
授業中の口頭発表・小テスト（40%）、学期末試験（60%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
小テストは個別にコメントを付し、返却する。学期末試験をmanabaを通じて講評を行なう。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	日本史料講読Ⅱ	後期	演習	2 単位
サブタイトル	日本中世の漢文史料を読む			
担当者	梶木　良夫			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-2／自己の研究課題に関する資史料（文献史料・考古資料・民俗資料など）の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。
成績評価方法：口頭発表・小テスト・学期末試験

学科DP番号／DP内容：史学2-3／課題解決のために必要な資史料を的確に見きわめることができ、客観的に事実を見定める判断力を有している。
成績評価方法：口頭発表・小テスト・学期末試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：口頭発表・小テスト・学期末試験

[教科書（ISBN）]
なし、適宜プリントを配布　著者名：なし。　出版社：なし。

[参考書（ISBN）]
なし。授業中に連絡する。　著者名：なし。　出版社：なし。（なし。）

S51030 [LH2-058]

科目名	日本史料講読Ⅲ	前期	演習	2 単位
サブタイトル	近世史料の読解			
担当者	尾﨑　真理			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
以下の4点を到達目標とする。
①基本的な近世史料を読解する能力を身につける。
②各種辞書・事典類や関連文献の利用方法など、近世史料を読解するための方法を身につける。
③史料から歴史学に関わる課題を設定し、それを自身で解く能力を身につける。
④受講生の前で、自身の史料読解の結果や課題分析の結果をわかりやすく発表する能力を身につける。

[授業概要]
受講生の報告形式により、江戸幕府が出した法令を、法令発布者の意図および当時の社会状況に留意しつつ厳密に読んでいく。報告担当者は、自身が割り当てられた法令について、①読み下し文、②他の文献に収録された同一法令との文言の異同、③語句の意味、④現代語訳、⑤法令発布の背景と結果、⑥当該法令に関わる任意のテーマについての解説、を記したレジュメを全員に配布し、①～⑥の順に報告を行う。授業では、①～⑥の各段階ごとに、授業参加者全員で議論する。報告担当者以外の受講生も、事前に①～④について準備をしておき、授業に臨む。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
報告者は事前にレジュメを作成する。他の受講生も、取り上げる予定の法令に関して、上記「授業概要」に記した①～④については必ず事前に準備をしておねかばならない。

[授業計画]
1. ガイダンス（授業の進め方、辞書の利用方法等についての説明）
2. 図書館書庫および史学科資料室架蔵文献の案内
3. 江戸幕府法令の読解1
4. 江戸幕府法令の読解2
5. 江戸幕府法令の読解3
6. 江戸幕府法令の読解4
7. 江戸幕府法令の読解5
8. 江戸幕府法令の読解6
9. 江戸幕府法令の読解7
10. 江戸幕府法令の読解8
11. 江戸幕府法令の読解9
12. 江戸幕府法令の読解10
13. 江戸幕府法令の読解11
14. 江戸幕府法令の読解12
15. 江戸幕府法令の読解13

[成績評価方法]
発表レジュメの内容70%、受講態度30%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	日本史料講読Ⅲ	前期	演習	2 単位
サブタイトル	近世史料の読解			
担当者	尾﨑　真理			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-2／自己の研究課題に関する資史料（文献史料・考古資料・民俗資料など）の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。
成績評価方法：発表レジュメの内容、受講態度

学科DP番号／DP内容：史学2-4／読解した資史料を論理的に分析し、卒業論文の作成を通して自己の課題を解決していく能力を有している。
成績評価方法：発表レジュメの内容、受講態度

学科DP番号／DP内容：史学2-5／演習の研究発表ならびに授業のレポートや卒業論文の作成を通じて、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を有している。
成績評価方法：発表レジュメの内容、受講態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表レジュメの内容、受講態度

[教科書（ISBN）]
授業中にプリントを配布する。

[参考書（ISBN）]
授業中に適宜紹介する

科目名	日本史料講読Ⅳ	後期	演習	2 単位
サブタイトル	近現代史料の読解			
担当者	松下　孝昭			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
日本近現代史に関する史料の解読能力を身につけることが目標である。活字のテキストはもとより、くずし字で書かれた原文書もある程度読めるようになることをめざす。

[授業概要]
毎回プリントを配布し、受講者をあてて音読させる。テキストには『原敬日記』を用いるが、適宜他の史料も加え、さまざまなタイプの史料に接することができるように工夫する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
日本近現代史に関する史料に高い関心を持ち、自らくずし字辞典に触れながら解読に努めようとする姿勢が求められる。

[授業計画]
1. 日本近現代史料の所在（講義）
2. 日本近現代史料の特質（講義）
3. 原敬について（講義）
4. 原敬日記の講読1
5. 原敬日記の講読2
6. 原敬日記の講読3
7. 原敬日記の講読4
8. 原敬日記の講読5
9. 中間的なまとめ
10. 他の関連史料の講読1
11. 原敬日記の講読6
12. 原敬日記の講読7
13. 他の関連史料の講読2
14. 他の関連史料の講読3
15. まとめ

[成績評価方法]
試験（80%）、受講状況（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業終了後やオフィスアワーの時間を利用して適宜フィードバックする。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	日本史料講読Ⅳ	後期	演習	2 単位
サブタイトル	近現代史料の読解			
担当者	松下　孝昭			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-2／自己の研究課題に関する資史料（文献史料・考古資料・民俗資料など）の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。
成績評価方法：試験

学科DP番号／DP内容：史学2-3／課題解決のために必要な資史料を的確に見きわめることができ、客観的に事実を見定める判断力を有している。
成績評価方法：試験

学科DP番号／DP内容：史学2-4／読解した資史料を論理的に分析し、卒業論文の作成を通して自己の課題を解決していく能力を有している。
成績評価方法：試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：試験

[教科書（ISBN）]
毎回プリントを配布する。

[参考書（ISBN）]
なし

科目名	日本民俗学	前期	講義	2 単位
サブタイトル	民俗学入門			
担当者	川森　博司			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
民俗学の先人の研究に学びながら、そこに受講生自らの「問い」を見出してもらうことを講義の到達目標とする。

[授業概要]
民俗学とは、人々の日常生活の中から「問い」を見出し、日常生活を少しでも明るく生きがいのあるものにするためにはどうすればよいか、を考える学問である。その入門に当たるこの講義では、民俗学で扱う分野を概観しながら、現代に生きるわれわれにとっての民俗学の意義を問いかけていく。古い習慣や伝統のあり方を検討するのも、われわれがよりよい未来を拓くための拠点を見出すためなのである。先人の研究に学びながら、そこに受講生自らの「問い」を見出してもらうことを目ざして講義を進める。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
配付プリントおよび授業中に指摘する関連文献にもとづいて、予習・復習を進めること。

[授業計画]
1. 民俗学の歴史
2. 「民俗」とは何か
3. 『遠野物語』の誕生―百年前の日本―
4. 『遠野物語』の世界
5. 『遠野物語』の世界（続）
6. 家の問題―家族の葛藤、家の盛衰―
7. 河童伝承とムラ社会
8. 妖怪とは何か
9. 来訪神と小正月
10. 呪いとたたり信仰
11. 都市民俗への視点
12. 都市伝説の展開
13. 女性の民俗への視点
14. 現代社会における民俗学の役割
15. まとめ

[成績評価方法]
試験（80%）と受講態度（20%）を総合して評価する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	日本民俗学	前期	講義	2 単位
サブタイトル	民俗学入門			
担当者	川森　博司			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：筆記試験

学科DP番号／DP内容：史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法：筆記試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：筆記試験

[教科書（ISBN）]
プリントを配付

[参考書（ISBN）]
遠野物語remix 付・遠野物語　著者名：京極夏彦・柳田國男　出版社：角川学芸出版（角川ソフィア文庫）
（9784044083229）

S50080 [LH1-060]

科目名	日本民俗学	前期	講義	2 単位
サブタイトル	民俗学入門			
担当者	川森　博司			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
民俗学の先人の研究に学びながら、そこに受講生自らの「問い」を見出してもらうことを講義の到達目標とする。

[授業概要]
民俗学とは、人々の日常生活の中から「問い」を見出し、日常生活を少しでも明るく生きがいのあるものにするためにはどうすればよいか、を考える学問である。その入門に当たるこの講義では、民俗学で扱う分野を概観しながら、現代に生きるわれわれにとっての民俗学の意義を問いかけていく。古い習慣や伝統のあり方を検討するのも、われわれがよりよい未来を拓くための拠点を見出すためなのである。先人の研究に学びながら、そこに受講生自らの「問い」を見出してもらうことを目ざして講義を進める。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
配付プリントおよび授業中に指摘する関連文献にもとづいて、予習・復習を進めること。

[授業計画]
1. 民俗学の歴史
2. 「民俗」とは何か
3. 『遠野物語』の誕生―百年前の日本―
4. 『遠野物語』の世界
5. 『遠野物語』の世界（続）
6. 家の問題―家族の葛藤、家の盛衰―
7. 河童伝承とムラ社会
8. 妖怪とは何か
9. 来訪神と小正月
10. 呪いとたたり信仰
11. 都市民俗への視点
12. 都市伝説の展開
13. 女性の民俗への視点
14. 現代社会における民俗学の役割
15. まとめ

[成績評価方法]
試験（80%）と受講態度（20%）を総合して評価する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	日本民俗学	前期	講義	2 単位
サブタイトル	民俗学入門			
担当者	川森　博司			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：筆記試験

学科DP番号／DP内容：史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法：筆記試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：筆記試験

[教科書（ISBN）]
プリントを配付

[参考書（ISBN）]
遠野物語remix 付・遠野物語　著者名：京極夏彦・柳田國男　出版社：角川学芸出版（角川ソフィア文庫）
（9784044083229）

S50080F [LH1-060]

科目名	日本民俗学実習Ⅰ	前期		2 単位
サブタイトル	春・夏の年中行事			
担当者	川森　博司			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
年中行事の学習、見学をとおして、民俗学の視点と研究方法を身につけることを到達目標とする。

[授業概要]
民俗学は実地調査をおこなうことによって、自分なりの現場に対する実感を育て、その実感をもとにして、いろいろな資料を読み込んで考えていく学問である。この実習では、春と夏の年中行事に注目して、現在のような年中行事がおこなわれるようになった経緯を学習するとともに、実際に年中行事の現場を訪ねて調査実習をおこなう。現場を訪ねながら資料を読むという民俗学の研究スタイルを身につけることが、この実習の到達目標である。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
配付資料にもとづいて予習・復習をおこなうこと。

[授業計画]
1. 民俗学と民俗調査
2. 春の年中行事について
3. 神と仏の民俗（1）
4. 神と仏の民俗（2）
5. 奈良の寺院を訪ねる（見学実習）
6. 身のまわりの年中行事
7. 都市社会の年中行事（1）
8. 都市社会の年中行事（2）
9. 大阪のまちを歩く（見学実習）
10. 夏の年中行事について
11. 神社と民間信仰（1）
12. 神社と民間信仰（2）
13. 京都の夏の行事の見学（学外実習）
14. 年中行事と現代社会
15. まとめ

[成績評価方法]
学習態度（40%）とレポート（60%）を合わせて評価する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	日本民俗学実習Ⅰ	前期		2 単位
サブタイトル	春・夏の年中行事			
担当者	川森　博司			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：レポート

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：レポート

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
授業中に紹介する

S51280 [LH2-069]

科目名	日本民俗学特殊講義Ⅱ	後期		2 単位
サブタイトル	昔話の比較研究			
担当者	川森　博司			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
昔話の分析をとおして、民衆の生活の知恵を探る方法としての民俗学の研究の仕方を理解することを、到達目標とする。

[授業概要]
日本社会において口頭で語り継がれてきた昔話を題材として、民俗学の研究方法にしたがって分析を進める。日本の村落社会では数多くの昔話が語り継がれてきた。そこには、さまざまな民衆の知恵が込められていたものと考えられる。この講義では、具体的な昔話の実例を取り上げ、諸外国の事例とも比較しながら、そこに込められたメッセージを読み解き、それが現代に生きる我々にとってどのような意味を持つのかを考えていく。
あわせて、昔話の考察をとおして、民俗学の方法論の理解を進めることも、この授業の課題である。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
指示にしたがって、教科書の予習、復習をしておくこと。

[授業計画]
1. 昔話とは何か
2. 桃太郎
3. 白雪姫
4. 絵姿女房
5. 花咲爺
6. 七夕のおはなし
7. 片側人間
8. 創世物語と両性具有
9. かちかち山
10. イタリアの昔話
11. 継子譚
12. ケルトの昔話
13. アイヌの昔話
14. 昔話と現代
15. まとめ

[成績評価方法]
試験（80%）と学習態度（20%）を総合して評価する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	日本民俗学特殊講義Ⅱ	後期		2 単位
サブタイトル	昔話の比較研究			
担当者	川森　博司			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：筆記試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：筆記試験

[教科書（ISBN）]
『新装版　おはなしの知恵』（朝日文庫）　著者名：河合隼雄　出版社：朝日新聞社　(978-4-02-264756-6)

[参考書（ISBN）]
柳田国男『桃太郎の誕生』（角川ソフィア文庫）　著者名：柳田国男　出版社：角川学芸出版　(978-4044083182)

S52200 [LH3-114]

科目名	入門演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	村田　路人			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
文献の調べ方、専門書や論文の読み方、研究発表や質疑応答の方法およびレポートの書き方などを学び、大学での勉学の基盤を整えることを到達目標とする。

[授業概要]
少人数でのゼミ形式の授業を通して、図書館の利用方法、文献の調べ方、専門書や専門論文の読み方、研究発表や質疑応答の方法などを学び、新入生が大学での勉学のスタートを切るための入門的授業とする。あわせて学外での臨地実習なども適宜取り入れる。大学における歴史学の勉強は単なる暗記物ではなく、みずから調べて発表することが中心となるので、この入門演習への積極的な参加が求められる。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
附属図書館の歴史コーナーにどのような図書が架蔵されているか、できる限り頻繁に足を運び、全体の概要を自分なりに確認しておくことが望ましい。

[授業計画]
1. 各自の問題関心の披露
2. 図書館の使い方
3. 資料検索の実際
4. 学外実習Ⅰ
5. テキストの輪読（1）
6. テキストの輪読（2）
7. テキストの輪読（3）
8. テキストの輪読（4）
9. テキストの輪読（5）
10. テキストの輪読（6）
11. テキストの輪読（7）
12. 各自の関心テーマの研究発表（1）
13. 各自の関心テーマの研究発表（2）
14. 各自の関心テーマの研究発表（3）
15. まとめ

[成績評価方法]
受講態度（60% 発表内容・質疑応答の積極性）、レポート（40% 学外実習・自由課題）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	入門演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	村田　路人			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性、レポート

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性、レポート

学科DP番号／DP内容：史学2-2／幅広く歴史学上の専門書や学術論文を精読し、研究上の課題を主体的に発見する能力を有している。
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性、レポート

学科DP番号／DP内容：史学2-5／演習の研究発表ならびに授業のレポートや卒業論文の作成を通じて、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を有している。
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性、レポート

学科DP番号／DP内容：史学3-1／演習形式の授業に積極的に取り組み、主体的に自己の課題を発見かつ解決できる能力を有している。
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性、レポート

学科DP番号／DP内容：史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性、レポート

学科DP番号／DP内容：史学3-3／演習や実習を通じて、他者を主導しつつ、共に課題の解決を図ろうとする対話力と協働性を有している。
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：課題レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：課題レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：課題レポート

[教科書（ISBN）]
『歴史学入門 新版』 著者名：福井憲彦　出版社：（岩波書店）2019年 （978-4-00-028921-4）

[参考書（ISBN）]
適宜指示する。

S53000 [LH1-062]

科目名	入門演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	梶木　良夫			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
文献の調べ方、専門書や論文の読み方、研究発表や質疑応答の方法およびレポートの書き方などを学び、大学での勉学の基盤を整えることを到達目標とする。

[授業概要]
少人数でのゼミ形式の授業を通して、図書館の利用方法、文献の調べ方、専門書や専門論文の読み方、研究発表や質疑応答の方法などを学び、新入生が大学での勉学のスタートを切るための入門的授業とする。あわせて学外での臨地実習なども適宜取り入れる。大学における歴史学の勉強は単なる暗記物ではなく、みずから調べて発表することが中心となるので、この入門演習への積極的な参加が求められる。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
附属図書館の歴史コーナーにどのような図書が架蔵されているか、できる限り頻繁に足を運び、全体の概要を自分なりに確認しておくことが望ましい。

[授業計画]
1. 各自の問題関心の披露
2. 図書館の使い方
3. 資料検索の実際
4. 学外実習
5. テキストの輪読（1）
6. テキストの輪読（2）
7. テキストの輪読（3）
8. テキストの輪読（4）
9. テキストの輪読（5）
10. テキストの輪読（6）
11. テキストの輪読（7）
12. 各自の関心テーマの研究発表（1）
13. 各自の関心テーマの研究発表（2）
14. 各自の関心テーマの研究発表（3）
15. まとめ

[成績評価方法]
受講態度（60% 発表内容・質疑応答の積極性）、レポート（40% 学外実習・自由課題）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題に対する講評をmanabaレポートのコメント機能を利用して行うとともに、複数教員からの建設的コメントも得られるように工夫する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	入門演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	梶木　良夫			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性、レポート

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性、レポート

学科DP番号／DP内容：史学2-2／幅広く歴史学上の専門書や学術論文を精読し、研究上の課題を主体的に発見する能力を有している。
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性、レポート

学科DP番号／DP内容：史学2-5／演習の研究発表ならびに授業のレポートや卒業論文の作成を通じて、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を有している。
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性、レポート

学科DP番号／DP内容：史学3-1／演習形式の授業に積極的に取り組み、主体的に自己の課題を発見かつ解決できる能力を有している。
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性、レポート

学科DP番号／DP内容：史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性、レポート

学科DP番号／DP内容：史学3-3／演習や実習を通じて、他者を主導しつつ、共に課題の解決を図ろうとする対話力と協働性を有している。
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性、レポート

[教科書（ISBN）]
歴史学入門 新版　著者名：福井憲彦　出版社：（岩波書店）2019年　（9784000289214）

[参考書（ISBN）]
なし。適宜指示する。

S53001 [LH1-062]

科目名	入門演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル	歴史学入門			
担当者	鈴木　宏節			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
文献の調べ方、専門書や論文の読み方、研究発表や質疑応答の方法およびレポートの書き方などを学び、大学での勉学の基盤を整えることを到達目標とする。

[授業概要]
少人数でのゼミ形式の授業を通して、図書館の利用方法、文献の調べ方、専門書や専門論文の読み方、研究発表や質疑応答の方法などを学び、新入生が大学での勉学のスタートを切るための入門的授業とする。あわせて学外での臨地実習なども適宜取り入れる。大学における歴史学の勉強は単なる暗記物ではなく、みずから調べて発表することが中心となるので、この入門演習への積極的な参加が求められる。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
附属図書館の歴史コーナーにどのような図書が架蔵されているか、できる限り頻繁に足を運び、全体の概要を自分なりに確認しておくことが望ましい。

[授業計画]
【全て遠隔授業】
1. 各自の問題関心の披露
2. 図書館の使い方
3. 資料検索の実際
4. 学外実習Ⅰ
5. テキストの輪読（1）
6. テキストの輪読（2）
7. テキストの輪読（3）
8. テキストの輪読（4）
9. テキストの輪読（5）
10. テキストの輪読（6）
11. テキストの輪読（7）
12. 各自の関心テーマの研究発表（1）
13. 各自の関心テーマの研究発表（2）
14. 各自の関心テーマの研究発表（3）
15. まとめ

[成績評価方法]
受講態度（60%　発表内容・質疑応答の積極性）、レポート（40%　学外実習・自由課題）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	入門演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル	歴史学入門			
担当者	鈴木　宏節			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性、レポート

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性、レポート

学科DP番号／DP内容：史学2-2／幅広く歴史学上の専門書や学術論文を精読し、研究上の課題を主体的に発見する能力を有している。
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性、レポート

学科DP番号／DP内容：史学2-5／演習の研究発表ならびに授業のレポートや卒業論文の作成を通じて、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を有している。
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性、レポート

学科DP番号／DP内容：史学3-1／演習形式の授業に積極的に取り組み、主体的に自己の課題を発見かつ解決できる能力を有している。
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性、レポート

学科DP番号／DP内容：史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性、レポート

学科DP番号／DP内容：史学3-3／演習や実習を通じて、他者を主導しつつ、共に課題の解決を図ろうとする対話力と協働性を有している。
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：課題レポート

[教科書（ISBN）]
『歴史学入門』 著者名：福井憲彦　出版社：（岩波書店）2006年

[参考書（ISBN）]
適宜指示する。

S53002 [LH1-062]

科目名	入門演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	川森　博司			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
文献の調べ方、専門書や論文の読み方、研究発表や質疑応答の方法およびレポートの書き方などを学び、大学での勉学の基盤を整えることを到達目標とする。

[授業概要]
少人数でのゼミ形式の授業を通して、図書館の利用方法、文献の調べ方、専門書や専門論文の読み方、研究発表や質疑応答の方法などを学び、新入生が大学での勉学のスタートを切るための入門的授業とする。あわせて学外での臨地実習なども適宜取り入れる。大学における歴史学の勉強は単なる暗記物ではなく、みずから調べて発表することが中心となるので、この入門演習への積極的な参加が求められる。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
附属図書館の歴史コーナーにどのような図書が架蔵されているか、できる限り頻繁に足を運び、全体の概要を自分なりに確認しておくことが望ましい。

[授業計画]
1. 各自の問題関心の披露
2. 図書館の使い方
3. 資料検索の実際
4. 学外実習Ⅰ
5. テキストの輪読（1）
6. テキストの輪読（2）
7. テキストの輪読（3）
8. テキストの輪読（4）
9. テキストの輪読（5）
10. テキストの輪読（6）
11. テキストの輪読（7）
12. 各自の関心テーマの研究発表（1）
13. 各自の関心テーマの研究発表（2）
14. 各自の関心テーマの研究発表（3）
15. まとめ

[成績評価方法]
受講態度（60% 発表内容・質疑応答の積極性）、レポート（40% 学外実習・自由課題）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S53005 [LH1-062]

科目名	入門演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	川森　博司			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性、レポート

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性、レポート

学科DP番号／DP内容：史学2-2／幅広く歴史学上の専門書や学術論文を精読し、研究上の課題を主体的に発見する能力を有している。
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性、レポート

学科DP番号／DP内容：史学2-5／演習の研究発表ならびに授業のレポートや卒業論文の作成を通じて、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を有している。
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性、レポート

学科DP番号／DP内容：史学3-1／演習形式の授業に積極的に取り組み、主体的に自己の課題を発見かつ解決できる能力を有している。
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性、レポート

学科DP番号／DP内容：史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性、レポート

学科DP番号／DP内容：史学3-3／演習や実習を通じて、他者を主導しつつ、共に課題の解決を図ろうとする対話力と協働性を有している。
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：課題レポート

[教科書（ISBN）]
『歴史学入門 新版』 著者名：福井憲彦　出版社：（岩波書店）2019年 （978-4-00-028921-4）

[参考書（ISBN）]
適宜指示する。

S53005 [LH1-062]

科目名	入門演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	吉村　真美			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
文献の調べ方、専門書や論文の読み方、研究発表や質疑応答の方法およびレポートの書き方などを学び、大学での勉学の基盤を整えることを到達目標とする。

[授業概要]
少人数でのゼミ形式の授業を通して、図書館の利用方法、文献の調べ方、専門書や専門論文の読み方、研究発表や質疑応答の方法などを学び、新入生が大学での勉学のスタートを切るための入門的授業とする。あわせて学外での臨地実習なども適宜取り入れる。大学における歴史学の勉強は単なる暗記物ではなく、みずから調べて発表することが中心となるので、この入門演習への積極的な参加が求められる。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
附属図書館の歴史コーナーにどのような図書が架蔵されているか、できる限り頻繁に足を運び、全体の概要を自分なりに確認しておくことが望ましい。

[授業計画]
1. 各自の問題関心の披露
2. 図書館の使い方
3. 資料検索の実際
4. 学外実習
5. テキストの輪読（1）
6. テキストの輪読（2）
7. テキストの輪読（3）
8. テキストの輪読（4）
9. テキストの輪読（5）
10. テキストの輪読（6）
11. テキストの輪読（7）
12. 各自の関心テーマの研究発表（1）
13. 各自の関心テーマの研究発表（2）
14. 各自の関心テーマの研究発表（3）
15. まとめ

[成績評価方法]
受講態度（60 % 発表内容・質疑応答の積極性）、レポート（40% 学外実習・自由課題）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S53006 [LH1-062]

科目名	入門演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	吉村　真美			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性、レポート

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性、レポート

学科DP番号／DP内容：史学2-2／幅広く歴史学上の専門書や学術論文を精読し、研究上の課題を主体的に発見する能力を有している。
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性、レポート

学科DP番号／DP内容：史学2-5／演習の研究発表ならびに授業のレポートや卒業論文の作成を通じて、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を有している。
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性、レポート

学科DP番号／DP内容：史学3-1／演習形式の授業に積極的に取り組み、主体的に自己の課題を発見かつ解決できる能力を有している。
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性、レポート

学科DP番号／DP内容：史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性、レポート

学科DP番号／DP内容：史学3-3／演習や実習を通じて、他者を主導しつつ、共に課題の解決を図ろうとする対話力と協働性を有している。
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：課題

[教科書（ISBN）]
歴史学入門 新版　著者名：福井憲彦　出版社：（岩波書店）2006年　（9784000289214）

[参考書（ISBN）]
適宜指示する。

S53006 [LH1-062]

科目名	入門演習	前期		2 単位
サブタイトル				
担当者	松下　孝昭			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
文献の調べ方、専門書や論文の読み方、研究発表や質疑応答の方法およびレポートの書き方などを学び、大学での勉学の基盤を整えることを到達目標とする。

[授業概要]
少人数でのゼミ形式の授業を通して、図書館の利用方法、文献の調べ方、専門書や専門論文の読み方、研究発表や質疑応答の方法などを学び、新入生が大学での勉学のスタートを切るための入門的授業とする。あわせて学外での臨地実習なども適宜取り入れる。大学における歴史学の勉強は単なる暗記物ではなく、みずから調べて発表することが中心となるので、この入門演習への積極的な参加が求められる。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
附属図書館の歴史コーナーにどのような図書が架蔵されているか、できる限り頻繁に足を運び、全体の概要を自分なりに確認しておくことが望ましい。

[授業計画]
1. 各自の問題関心の披露
2. 図書館の使い方
3. 資料検索の実際
4. 学外実習
5. テキストの輪読（1）
6. テキストの輪読（2）
7. テキストの輪読（3）
8. テキストの輪読（4）
9. テキストの輪読（5）
10. テキストの輪読（6）
11. テキストの輪読（7）
12. 各自の関心テーマの研究発表（1）
13. 各自の関心テーマの研究発表（2）
14. 各自の関心テーマの研究発表（3）
15. まとめ

[成績評価方法]
受講態度（60% 発表内容・質疑応答の積極性）、レポート（40% 学外実習・自由課題）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中あるいは終了時を利用して適宜フィードバックする。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	入門演習	前期		2 単位
サブタイトル				
担当者	松下　孝昭			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性、レポート

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性、レポート

学科DP番号／DP内容：史学2-2／幅広く歴史学上の専門書や学術論文を精読し、研究上の課題を主体的に発見する能力を有している。
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性、レポート

学科DP番号／DP内容：史学2-5／演習の研究発表ならびに授業のレポートや卒業論文の作成を通じて、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を有している。
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性、レポート

学科DP番号／DP内容：史学3-1／演習形式の授業に積極的に取り組み、主体的に自己の課題を発見かつ解決できる能力を有している。
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性、レポート

学科DP番号／DP内容：史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性、レポート

学科DP番号／DP内容：史学3-3／演習や実習を通じて、他者を主導しつつ、共に課題の解決を図ろうとする対話力と協働性を有している。
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：発表内容・質疑応答の積極性、レポート

[教科書（ISBN）]
歴史学入門 新版　著者名：福井憲彦　出版社：（岩波書店）2019年　（978-4-00-028921-4）

[参考書（ISBN）]
適宜指示する。

S53007 [LH1-062]

科目名	博物館資料論	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	西本　幸嗣			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
①博物館における資料の収集・保管・調査研究についての基礎的知識を身につける。
②博物館資料の取り扱い方や整理方法などの技術・能力を養う。

[授業概要]
博物館に勤務する専門職員（学芸員）にとって、資料の収集・保存・公開・展示・活用・調査研究は、基本となる仕事である。そのなかで博物館資料は、博物館の基本的な要素であり、博物館は資料がなければ成り立たない。本講義では、博物館資料の概念を示し、資料の収集・取り扱い方・整理・調査研究などの基本事項を学び、資料の役割を深く理解することをめざす。博物館現場の経験者が、その経験を活かし、実際の博物館資料を用いて実践的な技能の習得も行う。なお、本講義では博物館現地学習も行う予定である。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
博物館資料に関する多くの知識を身につけるため、講義中に配布した資料を読み返すなど、復習を心がけてください。また、受講者には身近な博物館資料の調書台帳を作成してもらう。（授業内指示）。各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]

1. 科目の概要とガイダンス（博物館資料とは）
2. 博物館資料の意義と種類（モノから資料へ）
3. 博物館資料の収集史（博物館のコレクション）
4. 博物館資料の収集の理念と方法（博物館の役割）
5. 博物館資料の収集の手続き（関連法規とともに）
6. 博物館資料の整理方法（収蔵受入れや資料原簿作成）
7. 7～8回の間で博物館学外研修（博物館資料の取り扱いと整理）
8. 7～8回の間で博物館学外研修（博物館資料の取り扱いと整理）
9. モノを見る眼～実物の古文書から
10. 博物館資料の整理と取り扱い（美術資料の調書作成）
11. 博物館資料の整理と取り扱い（民俗資料の調書作成）
12. 博物館資料の比較検討（受講者の調書台帳をもとに）
13. 博物館資料の活用と公開（実物と複製、公開の理念）
14. 博物館資料の目録等の作成とデジタル化（近年の取り組み）
15. 科目のまとめ（博物館資料の可能性）

[成績評価方法]
試験（50%）、授業内課題（35%）、各回授業コメント感想（15%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
受講者が作成した調書台帳等の課題を授業で解説し、比較検討を行う。（第12回講義で比較検討会を実施）

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	博物館資料論	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	西本　幸嗣			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：試験、授業内課題

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：試験、授業内課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：試験、授業内課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：試験、授業内課題

[教科書（ISBN）]
『新時代の博物館学』ほか適宜プリントを配布する　著者名：全国大学博物館学講座協議会西日本支部編　出版社：芙蓉書房出版（9.78483E+12）

[参考書（ISBN）]
なし

S54010 [LI3-001]

科目名	博物館概論	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	塚本　浩司			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
博物館に関する基礎的な知識を理解し、専門職としての学芸員の基礎能力を養う。
また、博物館を取り巻く現状と求められる役割について知る。

[授業概要]
博物館は資料の収集保存、調査研究、展示、教育普及活動など多岐にわたる業務・事業を行なっている。本講義では、現役の学芸員である教員が、博物館に関する法令、諸制度などの基礎知識を現場の実例をもとに紹介し、博物館に関わる様々な事象について多角的に捉えていく。
また、博物館の歴史的経緯と現代における課題を理解し、これからの博物館を積極的に考える視点を提供する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
教科書の該当ページを読んで予習をしておくこと。新聞やインターネットなどを通して、文化教育一般、博物館関係の記事のリサーチにつとめ、その理解をこころがけること。また、博物館に関心を持ち、余暇などを利用して訪れること。

[授業計画]
1. ガイダンス
2. 博物館とは何か（1）定義と目的
3. 博物館とは何か（2）その機能と学芸員
4. 博物館とは何か（3）博物館の分類と関連法令
5. 博物館の歴史（1）世界
6. 博物館の歴史（2）日本
7. 学外研修
8. 学外研修　※博物館の現場を見学し、展示手法のほか、保存・研究・教育など全般にわたる博物館活動を知る。見学先は特色ある博物館とし、開講時に日程等を示す。
9. 展示の企画と実施（1）
10. 展示の企画と実施（2）
11. 現代社会と博物館（1）学校教育・生涯学習と博物館
12. 現代社会と博物館（2）文化財と博物館
13. 博物館の現状と課題（1）国内博物館の現状と運営体制の変化
14. 博物館の現状と課題（2）新しい博物館像
15. まとめ

[成績評価方法]
授業中の課題とワークショップ（60%）、試験（40%）
授業中の課題やワークショップについては、授業の中で講評を加えることがある。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	博物館概論	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	塚本　浩司			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：試験

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：ワークショップ

学科DP番号／DP内容：史学3-1／演習形式の授業に積極的に取り組み、主体的に自己の課題を発見かつ解決できる能力を有している。
成績評価方法：ワークショップ

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：ワークショップ

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：ワークショップ、試験

[教科書（ISBN）]
『新時代の博物館学』ほか講義内容に沿ってレジュメを配布する。 著者名：全国大学博物館学講座協議会西日本支部編　出版社：芙蓉書房出版 （ISBN-10: 4829505516
ISBN-13: 978-4829505519）

[参考書（ISBN）]
なし

S54000 [LI1-003]

科目名	博物館教育論	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	深井　明比古			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
1.博物館における教育プログラムや教育普及の特徴を理解し、基礎的知識を学ぶ。
2.博物館教育の現状を把握し、課題の整理・解決のため、企画検討や実施技術を養う。

[授業概要]
　近年、大都市への一極集中や地方の過疎化、核家族化が進み、歴史文化遺産への興味や継承が低下傾向にある。そのため博物館が社会との接点を繋ぐ役割が期待されており、展示と共に教育が重要視されている。
　この講義では博物館教育の在り方について歴史系博物館を例に、教育活動の現状を把握し、課題解決に向けた企画・実践を行い、基本的知識・技術を習得する。
　※学外実習は博物館において、１日に3コマ分を土曜日もしくは日曜日に実施する。その際、入館料等の負担が必要。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
　授業開始前に博物館・美術館を4時間程度見学した上、感想や課題等を整理し、説明できるようにしておくこと。

[授業計画]
1. オリエンテーション、博物館のイメージや課題
2. 博物館の教育機能と役割
3. 博物館教育・学校教育・生涯学習の比較
4. 博物館教育活動の在り方
5. 来館者のニーズと博物館活動
6. 博物館教育プログラムの企画と立案、ボランティア養成と役割
7. まとめ、学外実習事前説明
8. 博物館教育活動の現状（学外実習１）
9.博物館教育活動の現状（学外実習2）
10.博物館教育活動の現状（学外実習3）
11.課題解決のための博物館学習プログラムの作成
12.博物館学習プログラム発表・批評1
13.博物館学習プログラム発表・批評2
14.博物館学習プログラム発表・批評3
15.博物館学習プログラム発表・批評4、講評

[成績評価方法]
授業態度・発言（20%）、試験（30%）、プログラム作成と発表・批評（50%）により評価

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	博物館教育論	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	深井　明比古			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-2／自己の研究課題に関する資史料（文献史料・考古資料・民俗資料など）の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。
成績評価方法：試験

学科DP番号／DP内容：史学2-3／課題解決のために必要な資史料を的確に見きわめることができ、客観的に事実を見定める判断力を有している。
成績評価方法：プログラムの作成と発表

学科DP番号／DP内容：史学3-3／演習や実習を通じて、他者を主導しつつ、共に課題の解決を図ろうとする対話力と協働性を有している。
成績評価方法：授業態度・発言

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業態度・発言

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：プログラムの作成と発表

[教科書（ISBN）]
『新時代の博物館学』ほか適宜プリントを配布する　著者名：全国大学博物館学講座協議会西日本支部編　出版社：芙蓉書房出版 （9.78483E+12）

[参考書（ISBN）]
なし

S54005 [LI2-005]

科目名	博物館経営論	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	福田　和浩			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
ミュージアムマネジメントの方法と目的、背景となる制度について知り、現状の運営実態とその課題を理解する。現代社会における博物館の存在意義を経済的側面のみならず、教育・福祉・社会的課題など、多様な側面から考えるための視点を持つ。

[授業概要]
現役の学芸員である教員が、現場の視点から博物館を取り巻く課題と新しい取り組みを紹介しながら、博物館経営の目的と意義を考えていく。博物館特有の運営体制やマーケティングとイノベーション、広報戦略と情報発信の意義を理解し、博物館を経済社会の中に位置付けるとともに、その存在意義と提供すべきサービスを考える。利用者ニーズの多様性に対応し、現代的課題に対峙・解決するビジョンを共有するとともに、新しい博物館像について先行事例を踏まえた実践的な検討を行う。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
教科書の該当ページを読んで予習をしておくこと。新聞やインターネット等を通してたえず文化教育一般、博物館関係の記事のリサーチにつとめ、その論評をこころがけること。博物館を訪れ、来館者や地域に向けた取り組みや情報発信について検討・考察する視点で見学すること。

[授業計画]
1. ガイダンス
2. 博物館経営の意義と方法
3. 博物館の制度と組織（1）運営組織
4. 博物館の制度と組織（2）評価
5. 博物館施設の運営と管理
6. 学外研修
7. 学外研修　※博物館の現場を見学し、展示手法のほか、保存・研究・教育など全般にわたる博物館活動を知る。見学先は特色ある博物館とし、開講時に日程等を示す。
8. ワークショップ「博物館の経営分析①」
9. ワークショップ「博物館の経営分析②」
10. 博物館と社会連携（1）博物館の広報活動
11. 博物館と社会連携（2）博物館の学習支援
12. 博物館と社会連携（3）博物館のネットワーク活動
13. 博物館経営の実際と課題（1）博物館の経済効果
14. 博物館経営の実際と課題（2）現代的課題と博物館
15. まとめ

[成績評価方法]
授業中の課題とワークショップ（60%）、試験（40%）
授業中の課題やワークショップについては、授業の中で講評を加えることがある。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	博物館経営論	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	福田　和浩			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学3-1／演習形式の授業に積極的に取り組み、主体的に自己の課題を発見かつ解決できる能力を有している。
成績評価方法：受講態度および試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：

[教科書（ISBN）]
『新時代の博物館学』ほか適宜プリントを配布する。 著者名：全国大学博物館学講座協議会西日本支部編　出版社：芙蓉書房出版 （ISBN-10: 4829505516
ISBN-13: 978-4829505519）

[参考書（ISBN）]
なし

S54020 [LI3-002]

科目名	博物館実習	前期～後期	実習	3 単位
サブタイトル				
担当者	寺沢　知子			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
博物館館務実習にむけて、学芸員としての技術や心構えを身につける。

[授業概要]
博物館実習は、学芸員養成教育の最終段階の科目であり、「学内実習」と「館務実習」が中心であるが、博物館の見学実習も実施する。
「館務実習」は主に夏季休暇中に実施する。学内実習で学んだ内容を博物館の現場で実際に経験し、来館者対応などの実務も担うことで、学芸員として働く心構えを身につけることをめざすものである。
「学内実習」は、館務実習の事前・事後指導に加え、本学では、学芸員として必要な拓本・写真・情報処理などの技術をまなび、それを活かして、毎年テーマを決めて大学祭で展示発表できるように指導している。各自で資料収集をし、展示計画・パワーポイント・アンケート・個人シートなどの作成をするとともに、実習全体の報告書の作成を分担して行う。すべての実習においては技術的な面に加え、協調性やコミュニケーション能力を最も重視している。
学外博物館見学を実施し、史学科教員による学芸員に必要な専門的講義も行う。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
実習記録の作成、大学祭の展示にかかわる担当部分の調査やレポート作成

[授業計画]
【面接授業一一部遠隔授業】（前期のみ）
事前オリエンテーション　3回
（各自出身地の博物館を含む2館の見学とレポート）
1. 拓本資料収集法
2. タンポ製作と採拓実習（瓦など）
3. 石碑の採拓実習(須磨寺）
4. 写真撮影の技術指導
5. 写真撮影の実技
6. 梱包実習
7. 美術資料の取り扱い（講義と実習）
8. 寺院建築の講義
9. 寺院建築の学外研修
10. 中国書籍石碑の講義
11. 公文書の講義
12. 借用資料の取り扱い法
13. 軸装などの取り扱い実習
14. 民俗資料の講義
15. 民俗資料の展示・収蔵の見学
16. 館務実習事前指導
17. 展示企画①（ポスターの作成、班別企画）
18. 館務実習報告会、事後指導
19. 採拓作品の品評会
20. 展示企画②（個人シートの作成）
21. 展示企画③（特別展の企画）
22. 展示準備①（採拓作品の修復）
23. 展示準備②（採拓作品の写真撮影）
24. 展示準備③（看板・パンフレット）
25. 展示準備④（ポスター・チラシ）
26. 展示準備⑤（個人シート・展示図録）
27. 展示実習（前日の展示）
28. 展示室の実務実習（大学祭）①
29. 展示室の実務実務（大学祭）②
30. 展示記録作成（すみあ～と）

このほか、大学博物館・特別展などの見学とレポートの提出

[成績評価方法]
レポートや拓本などの作品内容（30%）・実習記録ノート（30%）・受講態度（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
実習中に、適宜、具体的に指導。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	博物館実習	前期～後期	実習	3 単位
サブタイトル				
担当者	寺沢　知子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容：史学1-2／自己の研究課題に関する資史料（文献史料・考古資料・民俗資料など）の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。
成績評価方法：課題内容

学科DP番号／DP内容：史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法：課題内容

学科DP番号／DP内容：史学3-3／演習や実習を通じて、他者を主導しつつ、共に課題の解決を図ろうとする対話力と協働性を有している。
成績評価方法：課題内容

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：課題内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：課題内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：課題内容

[教科書(ISBN)]
プリント配布

[参考書(ISBN)]
新しい博物館学　出版社：芙蓉出版　(9784829504161)

科目名	博物館展示論	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	西本　幸嗣			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
①博物館展示についての基本的理念と具体的な方法を身につける。
②実際の展示事例や展示企画立案を通して、実践的な技術・能力を養う。

[授業概要]
博物館に勤務する専門職員（学芸員）にとって、資料の収集・保存・公開・展示・活用・調査研究は、基本となる仕事である。そのなかで展示は、博物館の基本的な機能であり、博物館活動の基幹となる。本講義では、博物館の展示の概念を示し、展示の歴史や、展示の形態、展示環境、展示ストーリーの作成などの基本事項を学ぶ。博物館の現場経験者としてその経験と実際を授業に活かし、展示に関する実践的な技術と能力の習得をめざす。なお、本講義では博物館現地学習も行う予定である。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各自でも博物館・美術館を見学し、展示テーマ・手法などの視座をもって観覧してください。また、授業内で、受講者には展覧会の企画書（開催要項）とポスター・展示解説文、展示配置図を作成してもらう。（授業内指示）。各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]

1. 科目の概要とガイダンス（博物館の展示とは）
2. 展示の歴史（博物館以前の展示や歴史上話題の展示）
3. 展示資料の調査と収集（調査・研究に基づく展示）
4. さまざまな展示の形態（展示の分類と特性）
5. 展示と法令・手続き（文化財借用手続きなど）
6. 展示の設計と設備（展示の物理的な設計・環境・照明など）
7. 7～8の間で博物館学外研修（実際の展示手法を検討）
8. 7～8の間で博物館学外研修（実際の展示手法を検討）
9. 展覧会の企画と展示作業①（具体的手順）
10. 展覧会の企画と展示作業②（企画書の作成と出品交渉）
11. 展示と解説（解説パネルの作成・会場配置・観覧者目線の検討）
12. ポスター・展示解説書（図録）の作成（編集やレイアウトなど）
13. 受講者作成の展示企画書の比較検討会
14. 人文系展示および巡回展、連携展の展示（最近の取り組み紹介）
15. 科目のまとめ（展示の評価など）

[成績評価方法]
試験（50%）、授業内課題（35%）、受講態度・受講コメント感想（15%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
展覧会の企画書（開催要項）とポスター等の提出された課題を授業のなかで解説します。（第13回講義で検討会を実施）

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	博物館展示論	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	西本　幸嗣			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：試験、授業内課題

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：試験、授業内課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：試験、授業内課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：試験、授業内課題

[教科書（ISBN）]
『新時代の博物館学』ほか適宜プリントを配布する　著者名：全国大学博物館学講座協議会西日本支部編　出版社：芙蓉書房出版（9.78483E+12）

[参考書（ISBN）]
なし

S54025 [LI2-004]

科目名	美術史Ⅰ	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	木村　展子			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
美術史Ⅰでは日本美術史を学ぶ。平安時代、仏を荘厳するために人々がどのようなモノを創り出していったのか、また人々はどのような思いで仏を荘厳したのか、美術作品が生まれる契機を知り古代の人々の美意識を理解する。

[授業概要]
　日本には古代から現代に至るまでの多くの美術作品が現存する。それらには文字資料に表われない思想や社会が表象されており、第一級の視覚資料でもある。美術作品をその時代の思想や社会の反映という視点で再検討する。また、従来各論という形で述べられてきた絵画・彫刻・工芸・建築を有機的に関連したものとして総合的に考察する。美術史Ⅰでは主に平安時代の美術を見ていくが、前半は仏教美術、後半では絵巻物を取り上げる。
　学芸員として四天王寺で多くの国宝・重要文化財を扱ってきた経験をもとに、授業で紹介する美術作品に対するより深い知見を伝える。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各時代の社会背景をまとめた基礎知識プリントを配るので、日本史の基本的な知識のない人は事前によく読んでおくこと。また、関西で開催される主要な美術展を紹介するので積極的に観に行くこと。各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
【全て遠隔授業】
1.授業ガイダンス～日本の文化財概説
2.総合芸術としての平等院鳳凰堂Ⅰ
3.総合芸術としての平等院鳳凰堂Ⅱ
4.装飾経・平家納経
5.装飾経・扇面法華経冊子
6.装飾経・一字蓮台法華経
7.平安の工芸・懸守を中心に
8.地獄草紙と餓鬼草紙
9.病草紙と九相図巻
10.絵巻の基本
11.平安時代の服飾と化粧
12.源氏物語絵巻
13.伴大納言絵詞
14.鳥獣人物戯画
15.まとめ

[成績評価方法]
試験(100%)

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	美術史Ⅰ	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	木村　展子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：試験

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：試験

学科DP番号／DP内容：史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法：試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
なし

S52230 [LH2-071]

科目名	美術史Ⅱ	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	S. デュルト			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
西洋美術を鑑賞する際に必要な基礎的な知識を身につける。学芸員資格取得のための必修科目のため、美術館における作品・資料の扱いについても理解を深める。

[授業概要]
先史、古代より現代までの西洋における造形表現を具体的な現存作品に拠って概説する。現在私たちが「芸術作品」と考えている絵や彫刻は、「芸術」という考え方が成立する以前の時代においては、制作された当初からそのように呼ばれていたわけでも、考えられていたわけでもない。「西洋美術」と一口に言っても、国や地域、気候、文化、社会や思想等の要因によりその表現は多種多様なものとなっている。時代や地域における特徴を整理し、中でも、宗教美術については、その主題を理解するのに個々のエピソードに加え、社会文化的背景を含めて総合的に考察することが必要となる。基礎的な知識を身につけ、表現されたものについて、言葉を用いて人に伝えるデスクリプションの能力を養う授業となる。また、授業で取り上げる作品の現在における保存や展観の状況、それらのはらむ問題についても言及する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
日頃から自主的に美術館・博物館や展覧会に足を運ぶなど美術に興味を持ってほしい。また学期の初めに後期に関西で開催される主要な美術展を紹介するので積極的に観に行ってほしい。

[授業計画]
1.イメージのはじまり（洞窟壁画）
2.古代ギリシャの美術
3.古代ローマの美術
4.ロマネスク美術
5.ゴシック美術
6.ルネサンスの美術（1）
7.ルネサンスの美術（2）
8.バロック美術
9.17世紀オランダ美術とロココ美術
10.ロマン主義美術
11.古典主義・アカデミーとサロン
12.写実主義と印象主義
13.20世紀の美術（1）
14.20世紀の美術（2）
15.現代美術

[成績評価方法]
レポート(100%)

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	美術史Ⅱ	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	S. デュルト			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：史学3-2／多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、自立的に自己の視座を確立する能力を有している。
成績評価方法：

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
なし

S52240 [LH2-072]

科目名	法律学	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	豊福　一			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
法制度の基礎知識を得る。

[授業概要]
教員免許関連科目として、共通教育科目「日本国憲法」が必修になっており、本講義では、憲法以外の主要法律について概説する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
新聞等をよく読み、どのような問題が起きているのか知っておくようにしましょう。

[授業計画]
【全て遠隔授業】
1. 法の種類と権利の主体
2. 婚姻と離婚
3. 親子
4. 扶養と公的扶助、保険
5. 相続
6. 物権と債権
7. 契約と解除、借地権
8. 契約:消費貸借ほか
9. 不法行為
10. 消費者法
11. 労働法
12. 医事法
13. 刑事法
14. 紛争解決
15. まとめ

[成績評価方法]
試験による。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	法律学	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	豊福　一			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：国際1-1-1／日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。
成績評価方法：試験

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：試験

[教科書（ISBN）]
「新時代の法学・憲法」
日本国憲法、現代社会Ｉと共通　著者名：山田勉他　出版社：建帛社 （978-4-7679-4346-6）

[参考書（ISBN）]
特に指定しない。

S54110 [LH3-123]

科目名	倫理学概論	後期		2 単位
サブタイトル				
担当者	田中　美紀子			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
西洋倫理学の古典を読み、基本的用語を学び、その意味を理解できる。また、道徳的価値を多面的・多角的に捉え、善悪、正邪等を判断する基準について考えることができる。

[授業概要]
西洋倫理学の主要な思想を学ぶ。特に、アリストテレスの徳倫理学とカントの義務倫理学に重点を置き、彼らの主要著書を読む。各々の思想の基礎的な内容について研究課題を与えるので、学生が個人あるいはグループでその課題について発表を行う。つまり、担当教員の講義と学生によるプレゼンテーションを交互に行うことにより、学生の積極的な授業への参加を促す。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
指定された文献・資料をよく読んでおくこと。予習・復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. ガイダンス、倫理学とは？
2. プラトン、四元徳
3. アリストテレス: 徳倫理学①
3. アリストテレス: 徳倫理学②
4. エピクロスとストア派
5. 学生による研究発表①
6. 功利主義倫理学
7. カント『道徳形而上学原論』①
8. カント『道徳形而上学原論』②
9. カント『道徳形而上学原論』③
10. 学生による研究発表②
11. カント『実践理性批判』①
12. カント『実践理性批判』②
13. 実存主義と倫理
14. 学生による研究発表③
15. 総括

[成績評価方法]
manabaを使った小テスト（10%）、課題についての研究発表あるいはレポート（50%）、定期試験（40%）及び受講態度などを総合的に判断する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
小テスト及び定期試験の正解例はmanabaで公開する。研究発表のフィードバックは授業中に行う。レポートは添削して返却する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	倫理学概論	後期		2 単位
サブタイトル				
担当者	田中　美紀子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：研究発表およびレポート

学科DP番号／DP内容：史学2-2／幅広く歴史学上の専門書や学術論文を精読し、研究上の課題を主体的に発見する能力を有している。
成績評価方法：研究発表およびレポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：研究発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：研究発表およびレポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：研究発表

[教科書（ISBN）]
『道徳形而上学原論』
　著者名：カント　出版社：岩波文庫　（978-4003362518）
『倫理学入門』 著者名：宇都宮芳明　出版社：ちくま学芸文庫　（978-4-480-09904-4）

[参考書（ISBN）]
授業で適宜紹介する。 著者名：授業で適宜紹介する。 出版社：授業で適宜紹介する。（授業で適宜紹介する。）

S54120 [LH2-083]

科目名	歴史資料学入門	後期		2 単位
サブタイトル				
担当者	梶木　良夫、吉村　真美、松下　孝昭、寺沢　知子、川森　博司、山内　晋次、村田　路人、鈴木　宏節			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
歴史資料の多様性を知り、その基礎的な理解を深める。

[授業概要]
歴史研究に使う史資料は、記録や文書などの文字史料ばかりでなく、それぞれの分野や時代の特徴に基づく史資料を使った研究が進展している。
　この授業は、史資料の「姿」（形態）の多様性を知り、それがどのような問題関心と結びついて研究されているかを、主に講義形式で学修する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
授業中に紹介された参考文献を読み、実物資料に接する機会を積極的に利用し、歴史資料に関する興味をより深める取り組みを強く求める。

[授業計画]
第1講・第2講（日本中世史　梶木良夫）
①日本中世の絵画資料
②日本中世の仏像とその造立
第3講・第4講（日本古代史　山内　晋次）
① 日本古代史研究と文献史料
② 日本古代史研究とモノ資料
第5講・第6講（日本近世史　村田　路人）
①近世古文書と日本近世史研究
②本学所蔵の近世古文書
第7講・第8講（日本近現代史　松下　孝昭）
①公文書館の役割と現状
②デジタル化が進む日本近現代史資料
第9講・第10講（日本考古学　寺沢　知子）
①遺跡や遺物の年代決定の方法（相対年代と絶対年代）
②考古学の多様な分析資料
第11講（東洋史　鈴木　宏節）
①中国の歴史史料
第12講・第13講（西洋史　吉村　真美）
①西洋史研究のための史資料とその活用①
②西洋史研究のための史資料とその活用②
第14講・第15講（日本民俗学　川森　博司）
①口頭伝承の資料
②　旅の経験と旅の記録

[成績評価方法]
　レポート（80%）　授業中に提出するチェックシートの内容（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
manabaレポートのコメント機能を使用する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S54160

科目名	歴史資料学入門	後期		2 単位
サブタイトル				
担当者	梶木　良夫、吉村　真美、松下　孝昭、寺沢　知子、川森　博司、山内　晋次、村田　路人、鈴木　宏節			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学1-1／幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身に付けている。
成績評価方法：レポート、チェックシート

学科DP番号／DP内容：史学1-2／自己の研究課題に関する資史料（文献史料・考古資料・民俗資料など）の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。
成績評価方法：レポート、チェックシート

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：レポート、チェックシート

学科DP番号／DP内容：史学2-3／課題解決のために必要な資史料を的確に見きわめることができ、客観的に事実を見定める判断力を有している。
成績評価方法：レポート、チェックシート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート、チェックシート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力　／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：レポート、チェックシート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート、チェックシート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性　／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：レポート、チェックシート

[教科書（ISBN）]
なし。プリントを配布する。

[参考書（ISBN）]
なし。講義において、適宜紹介する。

文学部専門科目

教　育　学　科

（授業科目名五十音順）

科目名	異文化理解教育	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	家入　聖子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
1）英語が使われている国や地域の歴史、社会、文化について基本的な内容を理解する。
2）世界の文化の多様性や異文化コミュニケーションの現状と課題を理解する。
3）多様な文化的背景を持った人々との交流を通して、文化の多様性及び異文化交流の意義について体験的に理解する。

[授業概要]
異文化理解や異文化コミュニケーションの基本的知識を習得する。文化の違いによる考え方、言語行動、また非言語コミュニケーションにも着目し、その重要性を認識する。テキストに沿って講義を中心に進めるが、Active Learning型の授業を実践するため、グループワークやディスカッション、スピーチ発表等を取り入れる。また、神戸市内在住のさまざまな国籍の外国人との交流を通して、異文化体験学習を実施する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各回、予習復習合わせて4時間程度。
日頃から異文化理解に関係する国際ニュース等に関心を持つこと。また、日本におけるニュース等が他国でどのように享受されているかにも関心を持つこと。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 文化とは①＜世界における多様化と自国における多様化＞
3. 文化とは②＜トータルカルチャーとサブカルチャー＞
4. 文化とは③＜異文化適応＞
5.発表「わたしの異文化体験」
6. 英語が使われている国や地域を中心とした異文化理解①＜行動・視点・環境＞
7. 英語が使われている国や地域を中心とした異文化理解②＜固定観念＞
8. 英語が使われている国や地域を中心とした異文化理解③＜差別＞
9. 英語が使われている国や地域を中心とした異文化理解④＜価値観＞
10. 非言語コミュニケーション
11.多文化共生社会への参画
12. 交流体験学習①「English Day Camp」所管：神戸市教育委員会
13. 交流体験学習②「English Day Camp」所管：神戸市教育委員会
14. 発表「わたしの異文化理解授業」
15. 発表「異文化理解教育の学びを終えて」

[成績評価方法]
毎時間の振り返りレポート（60%）、発表内容（20%）、最終レポート（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
振り返りレポートは次授業時に紹介し、その内容を共有する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	異文化理解教育	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	家入　聖子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：発表、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：発表、レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：発表、レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表、レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：発表、レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：発表、レポート課題

[教科書(ISBN)]
グローバルな時代を生きるための　異文化理解入門　著者名：原沢伊都夫　出版社：研究社　(978-4-327-37734-2)

[参考書(ISBN)]
中学校学習指導要領（平成29年度告知）　著者名：文部科学省

科目名	英語科概説	後期	講義	2 単位
サブタイトル	小・中連携を見据えて、自信をもって英語を教えられる知識と実行力を身につける。			
担当者	佐藤　佳子			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
小学校における外国語活動・外国語科に必要な第二言語の習得に関する理解を深め、英語に関する専門的な知識を身に付ける。

[授業概要]
英語科教育の意義、目標、カリキュラムを概観し、小学校英語科教育について、小・中学校の接続も踏まえながら、効果的な学習法、指導法についても考察を行う。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
指定した教科書の範囲を読み、疑問点を事前につかんでおくこと。（2時間）。
疑問点が解消できたかどうかを授業後にレポートに記入。

[授業計画]
1. コミュニケーション能力（日本における外国語教育）
2. 第二言語習得論
3. 英語の音声
4. 英語の文字
5. 英語の発音と綴りの関係
6. 英語の書き方
7. 日本語のローマ字表記
8. 英語の語彙
9. 英語の文法
10. 相互作用の中で生じる発話の意味と働き
11. 現代社会における英語
12. コーパスの活用
13. 絵本を選ぶ視点
14. 英語教育と国語教育で扱われる児童文学
15. 異文化理解　まとめ

[成績評価方法]
振り返りシート及び授業への貢献度（60%）　指導案作成（20%）　最終レポート（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中及びmanabaの掲示板で行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	英語科概説	後期	講義	2 単位
サブタイトル	小・中連携を見据えて、自信をもって英語を教えられる知識と実行力を身につける。			
担当者	佐藤　佳子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：課題レポート

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：課題レポート、授業参加への積極性

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：授業参加への積極性

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業参加への積極性

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：授業参加への積極性

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：課題レポート

[教科書（ISBN）]
小学校で英語を教えるためのミニマムエッセンシャルズ　小学校外国語科内容論　著者名：酒井英樹　滝沢雄一　亘理陽一
　出版社：三省堂（9784385361383）

[参考書（ISBN）]
文部科学省　小学校学習指導要領解説　外国語活動・外国語編　著者名：文部科学省　出版社：開隆堂（9784304051685）
文部科学省　中学校学習指導要領解説　外国語編　著者名：文部科学省　出版社：開隆堂（9784304051692）

科目名	英語科概説	後期	講義	2 単位
サブタイトル	小・中連携を見据えて、自信をもって英語を教えられる知識と実行力を身につける。			
担当者	佐藤　佳子			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
小学校における外国語活動・外国語科に必要な第二言語の習得に関する理解を深め、英語に関する専門的な知識を身に付ける。

[授業概要]
英語科教育の意義、目標、カリキュラムを概観し、小学校英語科教育について、小・中学校の接続も踏まえながら、効果的な学習法、指導法についても考察を行う。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
指定した教科書の範囲を読み、疑問点を事前につかんでおくこと。（2時間）。
疑問点が解消できたかどうかを授業後にレポートに記入。

[授業計画]
1. コミュニケーション能力（日本における外国語教育）
2. 第二言語習得論
3. 英語の音声
4. 英語の文字
5. 英語の発音と綴りの関係
6. 英語の書き方
7. 日本語のローマ字表記
8. 英語の語彙
9. 英語の文法
10. 相互作用の中で生じる発話の意味と働き
11. 現代社会における英語
12. コーパスの活用
13. 絵本を選ぶ視点
14. 英語教育と国語教育で扱われる児童文学
15. 異文化理解　まとめ

[成績評価方法]
振り返りシート及び授業への貢献度（60%）　指導案作成（20%）　最終レポート（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中及びmanabaの掲示板で行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	英語科概説	後期	講義	2 単位
サブタイトル	小・中連携を見据えて、自信をもって英語を教えられる知識と実行力を身につける。			
担当者	佐藤　佳子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：課題レポート

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：課題レポート、授業参加への積極性

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：授業参加への積極性

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業参加への積極性

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：授業参加への積極性

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：課題レポート

[教科書（ISBN）]
小学校で英語を教えるためのミニマムエッセンシャルズ　小学校外国語科内容論　著者名：酒井英樹　滝沢雄一　亘理陽一
　出版社：三省堂（9784385361383）

[参考書（ISBN）]
文部科学省　小学校学習指導要領解説　外国語活動・外国語編　著者名：文部科学省　出版社：開隆堂（9784304051685）
文部科学省　中学校学習指導要領解説　外国語編　著者名：文部科学省　出版社：開隆堂（9784304051692）

科目名	英語科教育法	前期		2 単位
サブタイトル	外国語教育の理論と実践の融合を図る □			
担当者	佐藤　佳子			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
・小学校外国語教育の変遷、小学校の外国語活動や外国語科、中・高等学校の外国語科の目標、内容について理解している。□
・主教材の趣旨、校正、特徴について理解している。□
・小・中・高等学校の連携と小学校の役割について理解している。□
・様々な指導環境に柔軟に対応するため、児童や学校の多様性への対応について、基礎的な事柄を理解している。□
・コミュニケーションの目的や場面に応じて意味のあるやり取りを行う重要性を理解し、指導に生かすことができる。□
・受信から発信、音声から文字へと進むプロセスを理解し、指導に生かすことができる。□
・国語教育との連携等による言葉の面白さや豊かさへの気づきについて理解し、指導に生かすことができる。□

[授業概要]
本講義は、言語はどのように習得されるのかの理論（第2言語習得理論）を学び、小学校外国語教育の理念と意義を基に、小学校外国語教育の基本的な指導案作成を含めた理論と実践の融合を目指す。 □

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
テキストの指定された箇所を予習し、疑問点を整理しておくこと。授業の最後に毎時間振り返りシートに疑問点が解決したかどうかを記録して提出。 □

[授業計画]
第1回　ガイダンス　外国語教育の目的と目標　学習指導要領□
第2回　関連分野から見る外国語教育の意義と方向性□
第3回　指導者の役割、資質と研修　より良い指導者を目指して□
第4回　教材の構成と内容□
第5回　指導目標、領域別目標、年間指導計画の立て方と具体例□
第6回　言語材料と4技能の指導□
第7回　教材研究①□
第8回　教材研究②□
第9回　指導方法と指導技術□
第10回　情報機器及びいろいろな教材、教具の活用法□
第11回　評価の在り方、進め方□
第12回　授業過程と学習指導案の作り方□
第13回　授業づくり□
第14回　豊かな小学校外国語教育を目指して□
第15回　指導案作成とまとめ□

[成績評価方法]
各授業の振り返り60％　 指導案作成20％　最終レポート20％　□

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中及びmanabaの掲示版を利用する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S64720

科目名	英語科教育法	前期		2 単位
サブタイトル	外国語教育の理論と実践の融合を図る □			
担当者	佐藤　佳子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-5／教員という職業自体が社会的に特に高い人格・識見を求められる性質のものであることから、教員としての使命感を自覚し、その資質向上のためにたゆまず研鑽を積む態度と幼児・児童・生徒に対する教育的愛情をもつことができる。
成績評価方法：レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：レポート課題

[教科書（ISBN）]
新編 小学校英語教育法入門　著者名：樋口忠彦/代表 ?加賀田哲也、泉恵美子、衣笠知子　編著　□
□
　出版社：研究社　□
□
　（9784327410988　□
□
）

[参考書（ISBN）]
小学校学習指導要領(平成29年告示)解説　外国語活動・外国語編　著者名：文部科学省　□
　出版社：開隆堂　□
　（9784304051685　□
）

S64720

科目名	英語科教育法	前期		2 単位
サブタイトル	外国語教育の理論と実践の融合を図る □			
担当者	佐藤　佳子			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
・小学校外国語教育の変遷、小学校の外国語活動や外国語科、中・高等学校の外国語科の目標、内容について理解している。□
・主教材の趣旨、校正、特徴について理解している。□
・小・中・高等学校の連携と小学校の役割について理解している。□
・様々な指導環境に柔軟に対応するため、児童や学校の多様性への対応について、基礎的な事柄を理解している。□
・コミュニケーションの目的や場面に応じて意味のあるやり取りを行う重要性を理解し、指導に生かすことができる。□
・受信から発信、音声から文字へと進むプロセスを理解し、指導に生かすことができる。□
・国語教育との連携等による言葉の面白さや豊かさへの気づきについて理解し、指導に生かすことができる。□

[授業概要]
本講義は、言語はどのように習得されるのかの理論（第2言語習得理論）を学び、小学校外国語教育の理念と意義を基に、小学校外国語教育の基本的な指導案作成を含めた理論と実践の融合を目指す。 □

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
テキストの指定された箇所を予習し、疑問点を整理しておくこと。授業の最後に毎時間振り返りシートに疑問点が解決したかどうかを記録して提出。 □

[授業計画]
第1回　ガイダンス　外国語教育の目的と目標　学習指導要領□
第2回　関連分野から見る外国語教育の意義と方向性□
第3回　指導者の役割、資質と研修　より良い指導者を目指して□
第4回　教材の構成と内容□
第5回　指導目標、領域別目標、年間指導計画の立て方と具体例□
第6回　言語材料と4技能の指導□
第7回　教材研究①□
第8回　教材研究②□
第9回　指導方法と指導技術□
第10回　情報機器及びいろいろな教材、教具の活用法□
第11回　評価の在り方、進め方□
第12回　授業過程と学習指導案の作り方□
第13回　授業づくり□
第14回　豊かな小学校外国語教育を目指して□
第15回　指導案作成とまとめ□

[成績評価方法]
各授業の振り返り60％　 指導案作成20％　最終レポート20％　□

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中及びmanabaの掲示版を利用する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	英語科教育法	前期		2 単位
サブタイトル	外国語教育の理論と実践の融合を図る □			
担当者	佐藤　佳子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-5／教員という職業自体が社会的に特に高い人格・識見を求められる性質のものであることから、教員としての使命感を自覚し、その資質向上のためにたゆまず研鑽を積む態度と幼児・児童・生徒に対する教育的愛情をもつことができる。
成績評価方法：レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：レポート課題

[教科書（ISBN）]
新編 小学校英語教育法入門□著者名：樋口忠彦/代表 ?加賀田哲也、泉恵美子、衣笠知子　編著　□
□
　出版社：研究社　□
□
　（9784327410988　□
□
）

[参考書（ISBN）]
小学校学習指導要領(平成29年告示)解説　外国語活動・外国語編　著者名：文部科学省　□
　出版社：開隆堂　□
　（9784304051685　□
）

S64721

科目名	英語学概論Ⅰ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	英語の歴史			
担当者	加藤　正治			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
「英語とは何か」という素朴な疑問に対して答えるために、教える立場からの英語の変遷・成立を理解することを目標とする。

[授業概要]
現代の英語は「文法規則の例外の集合」という一面を持つ一方で、表現力が豊かで世界語として用いられるのに十分な資格を持つ言語という一面も持ち合わせている。英語の成立のプロセスを歴史的に概説することによりこの二面性を説明する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
第1回：古英語(Old English)：ブリテン島に渡来した民族
第2回：古英語：アングロ・サクソン人の言語
第3回：古英語：古英語の系図
第4回：古英語：文法（1）文字、発音、語順
第5回：古英語：文法（2）形態論
第6回：古英語：古ノルド語(Old Norse)の影響
第7回：中英語(Middle English)：ノルマン人による征服
第8回：中英語：中英語の成立
第9回：中英語：中英語の確立と文法
第10回：中英語：14世紀の文法
第11回：中英語：フランス語の影響
第12回：近代英語(Modern English)：時代背景と概要
第13回：近代英語：大規模な発音の変化と語形変化
第14回：近代英語：文法
第15回：近代英語：後期近代英語から現代英語(Present-day English)へ
定期試験

[成績評価方法]
定期試験（100%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	英語学概論Ⅰ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	英語の歴史			
担当者	加藤　正治			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法：試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
なし

S64210

科目名	英語学概論Ⅱ	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	加藤　正治			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
英語学の中核をなす領域の中から音声学、音韻論、形態論、統語論、意味論の5つを取り上げて概説することにより、英語学の観点から見た現代英語の姿を理解することを目標とする。

[授業概要]
英語の音声学、音韻論、形態論、統語論、意味論のそれぞれに対していくつかのトピックを取り上げて概説する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
授業計画
第1回：音声学 ― 音声と調音器官
第2回：音声学 ― 子音
第3回：音声学 ― 母音
第4回：音韻論 ― 音素（1）最小対と相補分布
第5回：音韻論 ― 音素（2）音変化と自由変異
第6回：音韻論 ― 強勢
第7回：形態論 ― 形態素
第8回：形態論 ― 接辞
第9回：形態論 ― 語形成
第10回：統語論 ― 文を生み出す能力
第11回：統語論 ― 文の構造
第12回：統語論 ― 生成文法
第13回：意味論 ― 意味の種類と意味の分析
第14回：意味論 ― 意味の関係と意味の変化
第15回：意味論 ― 文の意味
定期試験

[成績評価方法]
定期試験（100%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	英語学概論Ⅱ	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	加藤　正治			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法：試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
なし

S64220

科目名	英語圏文学入門	後期		2 単位
サブタイトル				
担当者	安藤　優			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
1. 有名な英米文学作品に親しむ。
2. 物語を単に楽しむだけでなく深く鑑賞するための批評的態度や姿勢を身に着ける。

[授業概要]
この講義では、有名な英米文学作品（主として小説）を映画を通じて紹介し、適宜作品の理解にかかわる文化的・歴史的背景を説明したうえで、批評的な視座からこれらの作品について解説する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各回、予習復習合わせて4時間程度。講義で取り上げる英米文学作品を翻訳でもよいので実際に読み、その作品のテーマやメッセージについて考える。

[授業計画]
1. イントロダクション
2. The Great Gatsby I
3. The Great Gatsby II
4. The Great Gatsby III
5. Breakfast at Tiffany's I
6. Breakfast at Tiffany's II
7. 中間レポート返却と講評
8. Romeo and Juliet I
9. Romeo and Juliet II
10. Pride and Prejudice I
11. Pride and Prejudice II
12. Pride and Prejudice III
13. A Room with a View I
14. A Room with a View II
15. A Room with a View III

[成績評価方法]
中間レポート（50%）、期末レポート（50%）
なお4回以上欠席した場合、原則として単位を認めません。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
中間レポート、期末レポートともに後日添削して返却します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	英語圏文学入門	後期		2 単位
サブタイトル				
担当者	安藤　優			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：レポート

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
なし

S64810

科目名	英語コミュニケーション Ⅰ	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	本多　明子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
小学校及び中学校学習指導要領外国語編の目標と内容を十分に理解し、小学校での学びと高等学校での学びの接続を認識しつつ、英語の4技能を授業実践で応用できる力を身につける。

[授業概要]
第二言語習得の基礎的理解を図りながら、英語に関する基本的な知識について多角的に考察する。さらに、聞くこと・読むこと・話すこと・書くことの4技能を有機的に関連づけることを学びながら、実際の場面で活用できる技能の向上に取り組む。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各回、予習復習を合わせて2時間程度。
学習指導要領（外国語編）をよく読んでおくこと。教科書を音読する際には、付属のCDを注意深く聴き、イントネーション、アクセント等に留意する。

[授業計画]
1. オリエンテーション、英語の4技能について
2. 外国語の言語習得過程
3. 英語の音声認識
4. 英語の言語知識（語彙力、文構造、文法等）
5. ペアワーク・グループワークとその実践
6. プレゼンテーションの技法
7. プレゼンテーションの実践
8. 授業実践に必要な知識と英語力（1）「外国語を聞く」
9. 授業実践に必要な知識と英語力（3）「外国語を読む」
10. 授業実践に必要な知識と英語力（2）「外国語を話す」
11. 授業実践に必要な知識と英語力（4）「外国語を書く」
12. 日常生活の場面を設定した言語活動
13. 社会生活の場面を設定した言語活動
14. 技能の統合的な活用
15. まとめ

[成績評価方法]
定期試験（50%）と授業中の課題（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題に対するフィードバックは授業で行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	英語コミュニケーションⅠ	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	本多　明子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：定期試験、授業中の課題

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：授業中の課題

学科DP番号／DP内容：教育3-5／教員という職業自体が社会的に特に高い人格・識見を求められる性質のものであることから、教員としての使命感を自覚し、その資質向上のためにたゆまず研鑽を積む態度と幼児・児童・生徒に対する教育的愛情をもつことができる。
成績評価方法：定期試験、授業中の課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業中の課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：定期試験、授業中の課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業中の課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：定期試験、授業中の課題

[教科書（ISBN）]
Hello, English -English for Teachers of Children-　著者名：Chizuko Aiba
Machiko Fujiwara
Brian Byrd
Jason Barrows　出版社：SEIBIDO （9784791947973）

[参考書（ISBN）]
中学校学習指導要領解説　外国語編　著者名：文部科学省　出版社：開隆堂 （9784304051692）
小学校学習指導要領解説　外国語活動・外国語編　著者名：文部科学省　出版社：開隆堂 （9784304051685）

科目名	英語コミュニケーションⅡ	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	本多　明子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
社会において必要とされる英語の4技能(読む・書く・聞く・話す)の基礎を養成する。
(1)異文化理解、外国語学習、科学、環境、経済、文化、健康など多岐にわたる題材について
　　書かれた英文を理解できる。
(2)英語を用いて自分の考えを述べたり書いたりできる。

[授業概要]
各授業は次の4つの部分で構成されている。
(1)設問に解答する形式でリスニングの訓練を行う。
(2)英語で書かれたエッセイを読み、英語の表現や文法を学習する。
(3)(2)で学習した表現や文法を用いて英文を書く。
(4)エッセイに関連した話題に関して自分の考えを述べる訓練を行う。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
各回、予習復習を合わせて2時間程度。
エッセイの箇所については、付属のCDを注意深く聴き、イントネーション、アクセント等に留意しながら発話練習を繰り返しておくこと。

[授業計画]
1. オリエンテーション & Unit 1 Attention, Please!
　Listening: 強く発音される語を聞き取る Reading: 仮の主語を見抜く
2. Unit 2 Color and Cost
　Listening: 語順のまま理解する Reading: 後ろからの説明を見抜く
3. Unit 3 Tips from a Pro!
　Listening: 消えるtとdを聞き取る Reading: 実現の可能性を見抜く
4. Unit 4 What's So Super About Super Bow!?
　Listening: 弱いcanを聞き取る Reading: andがつなぐものを見抜く
5. Unit5 The Capsule Wardrobe
　Listening: 弱いthatを聞き取る Reading: butやorがつなぐものを見抜く
6. Unit6 Bones
　Listening: nでつながる語句を聞き取る Reading: 文脈にあった意味を選ぶ
7. Unit 7 Japan and the World Art Scene
　Listening: 弱いofを聞き取る Reading: 知らない意味の単語を推測する 1
8. Unit 8 North-South Divide Information
　Listening: 対比による強調を理解する Reading: 知らない意味の単語を推測する 2
9. Unit 9 The Growing Popularity of Japanese Food Overseas
　Listening: 話の展開を予測する Reading: 代名詞が受けているものを見つける
10. Unit 10 Ethics Lecture Today's Topic: The Death Penalty
　Listening: のみこまれるdnを聞き取る Reading: 同じことを指している語句を見つける
11. Unit 11 Is Laughter the Best Medicine?
　Listening: 似た音に注意して聞き取る Reading: 文章展開の手がかりを見つける
12. Unit 12 Important Events of Global Warning
　Listening: 強弱のリズムに慣れる Reading: 時間軸に沿った文章展開を見つける
13. Unit 13 Glen's Employment Blog; Tips on Getting the Best Job!
　Listening: tでつながる語句を聞き取る Reading: 比較・対照する文章展開を見抜く
14. Unit 14 US Construction ― Original Intent or Living Document?
　Listening: 弱いforを聞き取る Reading: 原因と結果を表す文章展開を見抜く
15. Unit 15 Cars That Drive for You
　Listening: rでつながる語句を聞き取る Reading: 全体の要点を読み取る
　まとめ

[成績評価方法]
定期試験(50%)と授業中の課題(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題に対するフィードバックは授業で行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	英語コミュニケーションⅡ	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	本多　明子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：試験、授業中の課題

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：授業中の課題

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：試験、授業中の課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業中の課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験、授業中の課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業中の課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：試験、授業中の課題

[教科書（ISBN）]
AMBITIONS Pre-intermediate　著者名：靜 哲人 / 望月 正道 /　熊澤 孝昭 編者　出版社：金星堂 （9784764740556）

[参考書（ISBN）]
なし

S64240

科目名	英文法	後期	講義	2 単位
サブタイトル	基本的な英文法力を身につけ、将来、英語教員として英語指導ができる実力と自信を持てるようにする。			
担当者	佐藤　佳子			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
基本的な英文法力を身につけるとともに、TOEIC,TOEFLなどの資格試験、大学の原書購読やライティングの授業にも対応できる英語力をつける。将来、英語教員として英語指導ができる実力と自信を持てるようにする。

[授業概要]
英文法用語などの最低限の情報を確認したのち、例文を通して情報を確認し、例文の構造や意味を理解していくようにする。テキストの問題を解説しながら、実用的な英語力をつけるために、発音と共に単語の確認も行う。解説、問題を繰り返し行う。毎時間確認テストを実施。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
事前にテキストを読み、予習。（1時間）
授業後、自身の苦手な項目について復習を行う。（1時間）

[授業計画]
第1回:オリエンテーション　動詞の基礎と文型　例文問題と解説　確認テスト
第2回:　動詞2　例文問題と解説　確認テスト
第3回:　時制　　例文問題と解説　確認テスト
第4回:　助動詞　例文問題と解説　確認テスト
第5回:　名刺、冠詞、代名詞　例文問題と解説　確認テスト
第6回:　形容詞と副詞　例文問題と解説　確認テスト
第7回:　態　例文問題と解説　確認テスト
第8回:　否定・疑問　例文問題と解説　確認テスト
第9回:　準動詞1　例文問題と解説　確認テスト
第10回: 準動詞2接続詞　例文問題と解説　確認テスト
第11回: 関係詞　例文問題と解説　確認テスト
第12回: 形容詞的修飾語句と副詞的修飾語句　例文問題と解説　確認テスト
第13回: 比較　例文問題と解説　確認テスト
第14回: 仮定法　例文問題と解説　確認テスト
第15回: 倒置、要素の移動、強調、省略　例文問題と解説　確認テスト

[成績評価方法]
毎時間の確認テスト80%　授業中の応答、発表（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
毎時間授業中に行うとともに、manabaの掲示板を利用.

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S64780

科目名	英文法	後期	講義	2 単位
サブタイトル	基本的な英文法力を身につけ、将来、英語教員として英語指導ができる実力と自信を持てるようにする。			
担当者	佐藤　佳子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：試験、授業中の応答

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：試験、授業中の応答

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：試験、授業中の応答

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：試験、授業中の応答

[教科書（ISBN）]
大学生のための英文法再入門　著者名：　町田健　豊島克己著　出版社：研究社　（9784327421939）

[参考書（ISBN）]
文部科学省　小学校学習指導要領解説　外国語活動・外国語編　　著者名：文部科学省　出版社：開隆堂　（9784304051685）
文部科学省　中学校学習指導要領解説　外国語編　著者名：文部科学省　出版社：開隆堂　（9784304051692）

科目名	音楽科概説	後期	講義	2 単位
サブタイトル	保育現場で必要な音楽基礎力の養成			
担当者	小林　田鶴子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
保育現場で必要となる音楽の基礎知識を身につける。

[授業概要]
保育現場でピアノなどの楽器を演奏したり、歌を歌ったり、子どもへの音楽指導を行うためには、まずは音楽の基礎知識が必要となる。この授業では、保育現場で必要となる音楽の基礎知識を身につけることを目的とする。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
毎回の授業に充分な復習をして臨むこと。e-ラーニングの課題が出た時はきちんと自主学習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション（授業の進め方について）、譜表と音名、音符と休符
第2回　拍子とリズム、記号と標語（子どもの歌を例に）
第3回　音程①（全音階的音程）
第4回　音程②（半音階的音程）
第5回　和声とコードネーム①（三和音の種類、主要三和音）
第6回　和声とコードネーム②（転回形、四和音）
第7回　コード進行と伴奏付け（小学校唱歌の伴奏付け）
第8回　音階と調①（長音階）
第9回　音階と調②（短音階）
第10回　音階と調③（関係調、移調、様々な音階や旋法）
第11回　音楽史概論
第12回　様々なジャンルの曲・アレンジについて
第13回　ICTを取り入れた音楽
第14回　即興演奏など
第15回　テストとまとめ

[成績評価方法]
筆記試験（70%）、授業への取り組み（30%）
筆記試験後、解答解説を行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
試験終了後に解答解説を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	音楽科概説	後期	講義	2 単位
サブタイトル	保育現場で必要な音楽基礎力の養成			
担当者	小林　田鶴子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：筆記試験、授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業への取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業への取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：筆記試験、授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
この一冊でわかるピアノ実技と楽典（増補版）　著者名：深見友紀子、小林田鶴子、坂本暁美　出版社：音楽之友社 （978-4-276-10051-0）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア （978-4-636-95829-4 ）

S61190

科目名	音楽科概説	後期	講義	2 単位
サブタイトル	教育現場に必要な音楽基礎力の養成			
担当者	小林　田鶴子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
教育現場で必要となる音楽の基礎知識を身につける。

[授業概要]
教育現場でピアノなどの楽器を演奏したり、歌を歌ったり、子どもへの音楽指導を行うためには、まずは音楽の基礎知識が必要となる。この授業では、教育現場で必要となる音楽の基礎知識を身につけることを目的とする。 また、小学校で教える共通事項についても学ぶ。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
毎回の授業に充分な復習をして臨むこと。e-ラーニングの課題が出た時はきちんと自主学習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション（授業の進め方について）、譜表と音名、音符と休符
第2回　拍子とリズム、記号と標語（小学校共通教材を例に）
第3回　音程①（全音階的音程）
第4回　音程②（半音階的音程）
第5回　和声とコードネーム・和音記号①（三和音の種類、主要三和音、Ⅰ、Ⅳ、Ⅴ）
第6回　和声とコードネーム・和音記号②（転回形、四和音、Ⅴ7）
第7回　コード進行と伴奏付け（小学校唱歌の伴奏付け）
第8回　音階と調①（長音階）
第9回　音階と調②（短音階）
第10回　音階と調③（関係調、移調、様々な音階や旋法）
第11回　音楽史概論
第12回　様々なジャンルの曲・アレンジについて
第13回　ICTを取り入れた音楽
第14回　即興演奏など
第15回　テストとまとめ

[成績評価方法]
筆記試験（70%）、授業への取り組み（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
筆記試験後、解答解説を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	音楽科概説	後期	講義	2 単位
サブタイトル	教育現場に必要な音楽基礎力の養成			
担当者	小林　田鶴子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：筆記テストと授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：筆記試験・授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
この一冊でわかるピアノ実技と楽典（増補版）　著者名：深見友紀子、小林田鶴子、坂本暁美　出版社：音楽之友社 （978-4-276-10051-0）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア （978-4-636-95829-4 ）

S61191

科目名	音楽科概説	後期	講義	2 単位
サブタイトル	保育現場で必要な音楽基礎力の養成			
担当者	小林　田鶴子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
保育現場で必要となる音楽の基礎知識を身につける。

[授業概要]
保育現場でピアノなどの楽器を演奏したり、歌を歌ったり、子どもへの音楽指導を行うためには、まずは音楽の基礎知識が必要となる。この授業では、保育現場で必要となる音楽の基礎知識を身につけることを目的とする。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
毎回の授業に充分な復習をして臨むこと。e-ラーニングの課題が出た時はきちんと自主学習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション（授業の進め方について）、譜表と音名、音符と休符
第2回　拍子とリズム、記号と標語（子どもの歌を例に）
第3回　音程①（全音階的音程）
第4回　音程②（半音階的音程）
第5回　和声とコードネーム①（三和音の種類、主要三和音）
第6回　和声とコードネーム②（転回形、四和音）
第7回　コード進行と伴奏付け（子どもの歌の伴奏付け）
第8回　音階と調①（長音階）
第9回　音階と調②（短音階）
第10回　音階と調③（関係調、移調、様々な音階や旋法）
第11回　音楽史概論
第12回　様々なジャンルの曲・アレンジについて
第13回　ICTを取り入れた音楽
第14回　即興演奏など
第15回　テストとまとめ

[成績評価方法]
筆記試験（70%）、授業への取り組み（30%）
筆記試験後、解答解説を行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
筆記試験後、解答解説を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	音楽科概説	後期	講義	2 単位
サブタイトル	保育現場で必要な音楽基礎力の養成			
担当者	小林　田鶴子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：筆記試験、授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業への取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業への取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：筆記試験、授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
この一冊でわかるピアノ実技と楽典（増補版）　著者名：深見友紀子、小林田鶴子、坂本暁美　出版社：音楽之友社 （978-4-276-10051-0）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア （978-4-636-95829-4 ）

S61192

科目名	音楽科概説	後期	講義	2 単位
サブタイトル	教育現場に必要な音楽基礎力の養成			
担当者	小林　田鶴子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
教育現場で必要となる音楽の基礎知識を身につける。

[授業概要]
教育現場でピアノなどの楽器を演奏したり、歌を歌ったり、子どもへの音楽指導を行うためには、まずは音楽の基礎知識が必要となる。この授業では、教育現場で必要となる音楽の基礎知識を身につけることを目的とする。 また、小学校で教える共通事項についても学ぶ。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
毎回の授業に充分な復習をして臨むこと。e-ラーニングの課題が出た時はきちんと自主学習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション（授業の進め方について）、譜表と音名、音符と休符
第2回　拍子とリズム、記号と標語（小学校共通教材を例に）
第3回　音程①（全音階的音程）
第4回　音程②（半音階的音程）
第5回　和声とコードネーム・和音記号①（三和音の種類、主要三和音、Ⅰ、Ⅳ、Ⅴ）
第6回　和声とコードネーム・和音記号②（転回形、四和音、Ⅴ7）
第7回　コード進行と伴奏付け（小学校唱歌の伴奏付け）
第8回　音階と調①（長音階）
第9回　音階と調②（短音階）
第10回　音階と調③（関係調、移調、様々な音階や旋法）
第11回　音楽史概論
第12回　様々なジャンルの曲・アレンジについて
第13回　ICTを取り入れた音楽
第14回　即興演奏など
第15回　テストとまとめ

[成績評価方法]
筆記試験（70%）、授業への取り組み（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
筆記試験後、解答解説を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	音楽科概説	後期	講義	2 単位
サブタイトル	教育現場に必要な音楽基礎力の養成			
担当者	小林　田鶴子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：筆記テストと授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：筆記試験・授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
この一冊でわかるピアノ実技と楽典（増補版）　著者名：深見友紀子、小林田鶴子、坂本暁美　出版社：音楽之友社 （978-4-276-10051-0）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア （978-4-636-95829-4 ）

S61193

科目名	音楽科教育法	前期	講義	2 単位
サブタイトル	音楽科の指導法			
担当者	小林　田鶴子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
初等音楽科教育についての知識を身につけるとともに、小学校音楽科の教材ならびに指導法の研究を通して、教育現場で必要な技能を修得する。

[授業概要]
初等音楽科教育の目標を理解し、歴史を学ぶことを通して、これからの音楽科教育の動向や課題について考察する。教材や指導法についての研究を行うとともに、実際に楽器や歌の演奏をする。最終的に指導案を作成して模擬授業を行い、教育現場で必要な技能を身につける。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
毎回の授業に、充分な復習をして臨むこと。課題の練習はしっかり行うこと。
共通教材の弾き歌いをみんなの前でやってもらうので練習しておくこと。

[授業計画]
第1回：オリエンテーション、小学校音楽教育の目的と内容
第2回：小学校音楽科教育の歴史と現在
第3回：音楽科学習指導要領について－表現、鑑賞、共通事項
第4回：音楽科の指導内容①　歌唱と器楽（我が国の楽器を含む）、ICT機器の活用
第5回：音楽科の指導内容②　音楽づくりの指導法（創造的音楽学習を含む）、ICT機器の活用
第6回：音楽科の指導内容③　鑑賞の指導法（我が国の音楽を含む）、ICT機器の活用
第7回：音楽学習の評価について
第8回：学習指導案の作成
第9回：教材研究と評価方法等の工夫
第10回：教材研究と模擬授業計画立案、準備
第11回：教材研究と模擬授業、評価方法等の工夫、振り返り（歌唱）
第12回：教材研究と模擬授業、評価方法等の工夫、振り返り（器楽・音楽づくり）
第13回：教材研究と模擬授業、評価方法等の工夫、振り返り（鑑賞）
第14回：教材研究と模擬授業、評価方法等の工夫、振り返り（器楽・音楽づくり）
第15回：まとめ

[成績評価方法]
試験（或いはレポート）25%、模擬授業と指導案25%、授業への取り組み50%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
試験後に解答解説を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	音楽科教育法	前期	講義	2 単位
サブタイトル	音楽科の指導法			
担当者	小林　田鶴子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：試験及び指導案と模擬授業

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：試験及び授業への取り組み

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：模擬授業及び授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：模擬授業及び授業への取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：模擬授業

[教科書（ISBN）]
「最新　初等科音楽教育法　2017年告示　小学校学習指導要領準拠」　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社（978-4-276-821019）
小学校学習指導要領(平成29年告示)解説　音楽編　著者名：文部科学省　出版社：東洋館出版（978-4-491-03465-2）

[参考書（ISBN）]
2011年改訂版　小学校音楽科教育法　著者名：有本真紀・阪井恵・山下薫子・他　出版社：教育芸術社（978-4-877-884918）

S61060 [LH2-095]

科目名	音楽科教育法	前期	講義	2 単位
サブタイトル	音楽科の指導法			
担当者	小林　田鶴子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
初等音楽科教育についての知識を身につけるとともに、小学校音楽科の教材ならびに指導法の研究を通して、教育現場で必要な技能を修得する。

[授業概要]
初等音楽科教育の目標を理解し、歴史を学ぶことを通して、これからの音楽科教育の動向や課題について考察する。教材や指導法についての研究を行うとともに、実際に楽器や歌の演奏をする。最終的に指導案を作成して模擬授業を行い、教育現場で必要な技能を身につける。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
毎回の授業に、充分な復習をして臨むこと。課題の練習はしっかり行うこと。
共通教材の弾き歌いをみんなの前でやってもらうので練習しておくこと。

[授業計画]
第1回：オリエンテーション、小学校音楽教育の目的と内容
第2回：小学校音楽科教育の歴史と現在
第3回：音楽科学習指導要領について－表現、鑑賞、共通事項
第4回：音楽科の指導内容①　歌唱と器楽（我が国の楽器を含む）、ICT機器の活用
第5回：音楽科の指導内容②　音楽づくりの指導法（創造的音楽学習を含む）、ICT機器の活用
第6回：音楽科の指導内容③　鑑賞の指導法（我が国の音楽を含む）、ICT機器の活用
第7回：音楽学習の評価について
第8回：学習指導案の作成
第9回：教材研究と評価方法等の工夫
第10回：教材研究と模擬授業計画立案、準備
第11回：教材研究と模擬授業、評価方法等の工夫、振り返り（歌唱）
第12回：教材研究と模擬授業、評価方法等の工夫、振り返り（器楽・音楽づくり）
第13回：教材研究と模擬授業、評価方法等の工夫、振り返り（鑑賞）
第14回：教材研究と模擬授業、評価方法等の工夫、振り返り（器楽・音楽づくり）
第15回：まとめ

[成績評価方法]
試験（或いはレポート）25%、模擬授業と指導案25%、授業への取り組み50%
試験後、解答解説を行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
試験後に解答解説を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	音楽科教育法	前期	講義	2 単位
サブタイトル	音楽科の指導法			
担当者	小林　田鶴子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：試験及び指導案と模擬授業

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：試験及び授業への取り組み

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：模擬授業及び授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：模擬授業及び授業への取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：模擬授業

[教科書（ISBN）]
「最新　初等科音楽教育法　2017年告示　小学校学習指導要領準拠」　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社（978-4-276-821019）
小学校学習指導要領（平成29年告示）解説　音楽編　著者名：文部科学省　出版社：東洋館出版（978-4-491-03465-2）

[参考書（ISBN）]
2011年改訂版　小学校音楽科教育法　著者名：有本真紀・阪井恵・山下薫子・他　出版社：教育芸術社（978-4-877-884918）

S61061 [LH2-095]

科目名	音楽科教育法	前期	講義	2 単位
サブタイトル	音楽科の指導法			
担当者	小林　田鶴子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
初等音楽科教育についての知識を身につけるとともに、小学校音楽科の教材ならびに指導法の研究を通して、教育現場で必要な技能を修得する。

[授業概要]
初等音楽科教育の目標を理解し、歴史を学ぶことを通して、これからの音楽科教育の動向や課題について考察する。教材や指導法についての研究を行うとともに、実際に楽器や歌の演奏をする。最終的に指導案を作成して模擬授業を行い、教育現場で必要な技能を身につける。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
毎回の授業に、充分な復習をして臨むこと。課題の練習はしっかり行うこと。
共通教材の弾き歌いをみんなの前でやってもらうので練習しておくこと。

[授業計画]
第1回：オリエンテーション、小学校音楽教育の目的と内容
第2回：小学校音楽科教育の歴史と現在
第3回：音楽科学習指導要領について－表現、鑑賞、共通事項
第4回：音楽科の指導内容①　歌唱と器楽（我が国の楽器を含む）、ICT機器の活用
第5回：音楽科の指導内容②　音楽づくりの指導法（創造的音楽学習を含む）、ICT機器の活用
第6回：音楽科の指導内容③　鑑賞の指導法（我が国の音楽を含む）、ICT機器の活用
第7回：音楽学習の評価について
第8回：学習指導案の作成
第9回：教材研究と評価方法等の工夫
第10回：教材研究と模擬授業計画立案、準備
第11回：教材研究と模擬授業、評価方法等の工夫、振り返り（歌唱）
第12回：教材研究と模擬授業、評価方法等の工夫、振り返り（器楽・音楽づくり）
第13回：教材研究と模擬授業、評価方法等の工夫、振り返り（鑑賞）
第14回：教材研究と模擬授業、評価方法等の工夫、振り返り（器楽・音楽づくり）
第15回：まとめ

[成績評価方法]
試験（或いはレポート）25%、模擬授業と指導案25%、授業への取り組み50%
試験後、解答解説を行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
試験後に解答解説を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	音楽科教育法	前期	講義	2 単位
サブタイトル	音楽科の指導法			
担当者	小林　田鶴子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：試験及び指導案と模擬授業

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：試験及び授業への取り組み

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：模擬授業及び授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：模擬授業及び授業への取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：模擬授業

[教科書（ISBN）]
「最新　初等科音楽教育法　2017年告示　小学校学習指導要領準拠」　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社（978-4-276-821019）
小学校学習指導要領（平成29年告示）解説　音楽編　著者名：文部科学省　出版社：東洋館出版（978-4-491-03465-2）

[参考書（ISBN）]
2011年改訂版　小学校音楽科教育法　著者名：有本真紀・阪井恵・山下薫子・他　出版社：教育芸術社（978-4-877-884918）

S61062 [LH2-095]

科目名	音楽科教育法	前期	講義	2 単位
サブタイトル	音楽科の指導法			
担当者	小林　田鶴子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
初等音楽科教育についての知識を身につけるとともに、小学校音楽科の教材ならびに指導法の研究を通して、教育現場で必要な技能を修得する。

[授業概要]
初等音楽科教育の目標を理解し、歴史を学ぶことを通して、これからの音楽科教育の動向や課題について考察する。教材や指導法についての研究を行うとともに、実際に楽器や歌の演奏をする。最終的に指導案を作成して模擬授業を行い、教育現場で必要な技能を身につける。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
毎回の授業に、充分な復習をして臨むこと。課題の練習はしっかり行うこと。
共通教材の弾き歌いをみんなの前でやってもらうので練習しておくこと。

[授業計画]
第1回：オリエンテーション、小学校音楽教育の目的と内容
第2回：小学校音楽科教育の歴史と現在
第3回：音楽科学習指導要領について－表現、鑑賞、共通事項
第4回：音楽科の指導内容①　歌唱と器楽（我が国の楽器を含む）、ICT機器の活用
第5回：音楽科の指導内容②　音楽づくりの指導法（創造的音楽学習を含む）、ICT機器の活用
第6回：音楽科の指導内容③　鑑賞の指導法（我が国の音楽を含む）、ICT機器の活用
第7回：音楽学習の評価について
第8回：学習指導案の作成
第9回：教材研究と評価方法等の工夫
第10回：教材研究と模擬授業計画立案、準備
第11回：教材研究と模擬授業、評価方法等の工夫、振り返り（歌唱）
第12回：教材研究と模擬授業、評価方法等の工夫、振り返り（器楽・音楽づくり）
第13回：教材研究と模擬授業、評価方法等の工夫、振り返り（鑑賞）
第14回：教材研究と模擬授業、評価方法等の工夫、振り返り（器楽・音楽づくり）
第15回：まとめ

[成績評価方法]
試験（或いはレポート）25%、模擬授業と指導案25%、授業への取り組み50%
試験後、解答解説を行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
試験後に解答解説を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	音楽科教育法	前期	講義	2 単位
サブタイトル	音楽科の指導法			
担当者	小林　田鶴子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：試験及び指導案と模擬授業

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：試験及び授業への取り組み

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：模擬授業及び授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：模擬授業及び授業への取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：模擬授業

[教科書（ISBN）]
「最新　初等科音楽教育法　2017年告示　小学校学習指導要領準拠」　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社（978-4-276-821019）
小学校学習指導要領（平成29年告示）解説　音楽編　著者名：文部科学省　出版社：東洋館出版（978-4-491-03465-2）

[参考書（ISBN）]
2011年改訂版　小学校音楽科教育法　著者名：有本真紀・阪井恵・山下薫子・他　出版社：教育芸術社（978-4-877-884918）

S61063 [LH2-095]

科目名	音楽科教材研究	後期	講義	2 単位
サブタイトル	小学校の音楽教育			
担当者	宮内　晴美			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
初等音楽科教育についての知識をつけるとともに、小学校音楽科の教材ならびに指導法の研究を通して、教育現場で必要な技能を習得する。

[授業概要]
教育現場で必要とされる技能や知識を学び、実際にそれらを歌唱したり、演奏したりすることにより、音楽表現に活用できる能力と指導する能力を身に付ける。
小学校現場における音楽専科教員経験のある者が、その経験を活かして、児童の発達段階に応じた指導法を指導する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
毎回の授業に十分な復習をして臨むこと。
また、課題の実技練習をしっかりとすること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　歌唱・器楽（低学年）の教材研究
第3回　歌唱・器楽（中学年）の教材研究
第4回　歌唱・器楽（高学年）の教材研究
第5回　合唱及び合奏の指導法、指揮法
第6回　主要三和音、コードネームを使った伴奏法
第7回　歌唱・器楽の教材研究のまとめと模擬授業①
第8回　歌唱・器楽の教材研究のまとめと模擬授業②
第9回　音楽づくりの教材研究
第10回　音楽づくり発表会
第11回　鑑賞の教材研究（ICT機器の活用）
第12回　鑑賞の模擬授業
第13回　教職に必要な音楽理論の確認①
第14回　教職に必要な音楽理論の確認②
第15回　まとめ

[成績評価方法]
試験（25%）、模擬授業（25%）、授業への取り組み（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	音楽科教材研究	後期	講義	2 単位
サブタイトル	小学校の音楽教育			
担当者	宮内　晴美			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：試験、模擬授業、授業への取り組み

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：試験

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：模擬授業、授業への取り組み

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：授業への取り組み

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：模擬授業、授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：模擬授業

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験、授業への取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：模擬授業、授業への取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：模擬授業

[教科書（ISBN）]
最新 初等科音楽教育法　著者名：初等科音楽教育研究会（編）　出版社：音楽之友社　(978-4-276-82101-9)

[参考書（ISBN）]
この一冊でわかる ピアノ実技と楽典　著者名：深見友紀子、小林田鶴子、坂本暁美　出版社：音楽之友社　(978-4-276-10051-0)

S64680

科目名	外国語（英語）科教材研究	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	本多　明子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
小学校学習指導要領における外国語活動、外国語科で使用している教材の目標を確実に掴み、児童にどのような力をつけていくかということを常に考えながら教材を活用、開発していくことができる力を身に付ける。

[授業概要]
小学校で使用されている外国語（英語）の検定教科書、補助教材を用いて、教材の中身や構成、ねらいを理解し、実際に教科書を使って授業実践を行うことを通して、教材についての理解を深める。授業実践の振り返りの中で互いに意見交換を行いながら、児童の実態に応じた指導の在り方について考え、新学習指導要領における外国語活動及び外国語科で教材を選定、開発する上で必要な視点について学んでいく。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各回、予習復習を合わせて2時間程度。
学習指導要領をよく読んでおくこと。検定教科書の内容を確認し、各学年における学習内容について理解を深めておくこと。

[授業計画]
1. 小学校学習指導要領における外国語活動及び外国語科について、
   外国語教育における小中連携
2. 外国語活動・外国語科の目標、教材分析の視点
3. 外国語活動（3年生）の実践準備
4. 外国語活動（3年生）の実践・振り返り
5. 外国語活動（4年生）の実践準備
6. 外国語活動（4年生）の実践・振り返り
7. 外国語活動の実践のまとめ
8. 外国語科（5年生）の実践準備
9. 外国語科（5年生）の実践・振り返り
10. 外国語科（6年生）の実践準備
11. 外国語科（6年生）の実践・振り返り
12. 外国語科の実践のまとめ
13. 外国語活動の教材開発
14. 外国語科の教材開発
15. まとめ

[成績評価方法]
定期試験（30%）、課題への取り組み姿勢（40%）、授業実践（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題に対するフィードバックは授業で行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	外国語（英語）科教材研究	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	本多　明子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：授業実践

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：課題への取り組み姿勢、授業実践

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：定期試験、課題への取り組み姿勢、授業実践

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：課題への取り組み姿勢、授業実践

学科DP番号／DP内容：教育3-5／教員という職業自体が社会的に特に高い人格・識見を求められる性質のものであることから、教員としての使命感を自覚し、その資質向上のためにたゆまず研鑽を積む態度と幼児・児童・生徒に対する教育的愛情をもつことができる。
成績評価方法：定期試験、課題への取り組み姿勢、授業実践

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：課題への取り組み姿勢、授業実践

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：定期試験、課題への取り組み姿勢、授業実践

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業実践

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：定期試験、授業実践

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：定期試験、授業実践

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：課題への取り組み姿勢、授業実践

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／
成績評価方法：定期試験、課題への取り組み姿勢、授業実践

[教科書（ISBN）]
Let's Try! 1　著者名：文部科学省　出版社：東京書籍　（9784487258703）
Let's Try! 2　著者名：文部科学省　出版社：東京書籍　（9784487258710）
CROWN Jr. 5（小学校検定済教科書 英語505）　著者名：酒井英樹、他29名　出版社：三省堂　（9784385705224）
CROWN Jr. 6（小学校検定済教科書 英語605）　著者名：酒井英樹、他29名　出版社：三省堂　（9784385705231
）

[参考書（ISBN）]
小学校学習指導要領(平成29年告示)解説　外国語活動・外国語編　著者名：文部科学省　出版社：開隆堂　（9784304051685）
中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 外国語編　著者名：文部科学省　出版社：開隆堂　（9784304051692）

S64710

科目名	介護等体験	後期～2022年度	実習	1 単位
サブタイトル	個人の尊厳や社会連帯の認識を深める			
担当者	榎元　十三男、植戸　貴子、津田　理恵子、佐々木　勝一			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
義務教育に従事予定の教員志望者が、個人の尊厳及び社会連帯の理念に関する認識を深め、教員としての資質の向上に努める。そのために、障がい者・高齢者との関わり方について体験を通して学ぶ。

[授業概要]
事前指導では、施設等の状況、介護等体験の意義、心構え、社会福祉、高齢者福祉等を学ぶ。また、実習では、特別支援学校・社会福祉施設等で、当該職員の指導を受けながら、障がい者・高齢者等との関わり方について、体験を通して学ぶ。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
人権教育、特別支援教育、社会福祉施設等について、予習・復習をすること。

[授業計画]
事前指導
・オリエンテーション（榎元、教職支援センター）
・社会福祉の動向と介護等体験の意義について（佐々木）
・特別支援教育の指導の実際について（谷山）
・障がい者施設等の状況について（植戸）
・高齢者福祉施設の介護について（津田）
・体験上の心構えについて（榎元）
・申請手続き説明会（教職支援センター）
（現場体験実習）
・福祉施設等での体験実習（５日間）
・特別支援学校での体験実習（２日間）
（事後指導）
・まとめと反省（教職支援センター）

[成績評価方法]
実習体験記録（40%）、取組姿勢（40%）、レポート等（20%）
レポート等は添削後返却する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S60260B

科目名	介護等体験	後期～2022年度	実習	1 単位
サブタイトル	個人の尊厳や社会連帯の認識を深める			
担当者	榎元　十三男、植戸　貴子、津田　理恵子、佐々木　勝一			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-5／教員という職業自体が社会的に特に高い人格・識見を求められる性質のものであることから、教員としての使命感を自覚し、その資質向上のためにたゆまず研鑽を積む態度と幼児・児童・生徒に対する教育的愛情をもつことができる。
成績評価方法：レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

[教科書（ISBN）]
『介護等体験ガイドブック(フィリア)』 著者名：全国特別支援学校長会編集　出版社：ジアース教育新社 （978-4-86371-256-0）
全国社会福祉協議会編集『よくわかる社会福祉施設』 著者名：寺尾　徹　出版社：社会福祉協議会 （978-4-7935-1157-8）

[参考書（ISBN）]
特になし

S60260B

科目名	介護等体験	後期～2022年度	実習	1 単位
サブタイトル	個人の尊厳や社会連帯の認識を深める			
担当者	榎元　十三男、植戸　貴子、津田　理恵子、佐々木　勝一			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
義務教育に従事予定の教員志望者が、個人の尊厳及び社会連帯の理念に関する認識を深め、教員としての資質の向上に努める。そのために、障がい者・高齢者との関わり方について体験を通して学ぶ。

[授業概要]
事前指導では、施設等の状況、介護等体験の意義、心構え、社会福祉、高齢者福祉等を学ぶ。また、実習では、特別支援学校・社会福祉施設等で、当該職員の指導を受けながら、障がい者・高齢者等との関わり方について、体験を通して学ぶ。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
人権教育、特別支援教育、社会福祉施設等について、予習・復習をすること。

[授業計画]
事前指導
・オリエンテーション（榎元、教職支援センター）
・社会福祉の動向と介護等体験の意義について（佐々木）
・特別支援教育の指導の実際について（谷山）
・障がい者施設等の状況について（植戸）
・高齢者福祉施設の介護について（津田）
・体験上の心構えについて（榎元）
・申請手続き説明会（教職支援センター）
（現場体験実習）
・福祉施設等での体験実習（５日間）
・特別支援学校での体験実習（２日間）
（事後指導）
・まとめと反省（教職支援センター）

[成績評価方法]
実習体験記録（40%）、取組姿勢（40%）、レポート等（20%）
レポート等は添削後返却する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S60260C

科目名	介護等体験	後期～2022年度	実習	1 単位
サブタイトル	個人の尊厳や社会連帯の認識を深める			
担当者	榎元　十三男、植戸　貴子、津田　理恵子、佐々木　勝一			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-5／教員という職業自体が社会的に特に高い人格・識見を求められる性質のものであることから、教員としての使命感を自覚し、その資質向上のためにたゆまず研鑽を積む態度と幼児・児童・生徒に対する教育的愛情をもつことができる。
成績評価方法：レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

[教科書（ISBN）]
『介護等体験ガイドブック(フィリア)』 著者名：全国特別支援学校長会編集　出版社：ジアース教育新社 （978-4-86371-256-0）
全国社会福祉協議会編集『よくわかる社会福祉施設』 著者名：寺尾　徹　出版社：社会福祉協議会 （978-4-7935-1157-8）

[参考書（ISBN）]
特になし

S60260C

科目名	カウンセリング	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	小原　依子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
各自の自己理解を深めながら、面接や対人援助技術についての理論・実践の両面から学び、カウンセリングの基本を習得することを到達目標とする。

[授業概要]
近年カウンセリングは、教育・医療・福祉・保健など様々な領域で、幅広く用いられている。どの領域においても適切な援助を行うにあたり共通して求められることは、まず援助を受ける側の気持ちや不安、心理的葛藤等を理解することである。この授業では、「カウンセリングとは」の問いから始まり、対象者理解・自己理解演習をキーワードに、面接の基本的なスキルについて学んでいく。授業では、ロールプレイングや事例検討なども取り入れ、ビデオ教材なども用いながら、面接や対人援助技術についての理論・実践の両面から学び、カウンセリングの基本を修得していく。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
「心理学」で学ぶ人間のもつ心理的特性について復習しながら、前回の授業内容の理解を深め、次回の授業の予習をしておくこと。日頃から心のケアやその対応等についても関心をもつこと。各回、予習・復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
1. カウンセリングとは
2. 自己理解・他者理解、対人距離について
3. 面接室の設定・面接室の座り方演習
4. 自己理解演習
5. カウンセリングの基本原理とカウンセリング技法の全体の流れについて
6. 面接の基本的なスキル　1（ノンバーバルコミュニケーションと3つの「きく」）
7. 面接の基本的なスキル　3（うなずき・あいづち技法のロールプレイングと振り返り）
8. 面接の基本的なスキル　4（反復・要約の技法と事例検討）
9. 面接の基本的なスキル　5　（受容と共感について）
10. 面接の基本的なスキル　6　（感情の反射の技法と事例検討）
11. 面接の基本的なスキル　7　（明確化の技法と事例検討）
12. カウンセリングの基礎理論　1　（人間性心理学理論（来談者中心療法））
13. カウンセリングの基礎理論　2　（精神分析理論（心の構造、心的装置））
14. カウンセリングの基礎理論　3　（認知・行動理論（認知行動療法の実例））
15. まとめ

[成績評価方法]
授業中の課題（20%）、レポート提出（10%）、テスト（70%）等を総合的に判断して評価する。
・授業中の課題やレポートは、授業内でフィードバックします。
・テストの答案を回収後、解答の解説を行い、質問を受け付けます。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	カウンセリング	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	小原　依子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：授業中の課題、レポート課題、試験

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：授業中の課題、レポート課題、試験

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：授業中の課題、レポート課題、試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業中の課題、レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業中の課題、レポート課題、試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業中の課題、レポート課題、試験

[教科書（ISBN）]
なし。必要に応じて資料を配布する。

[参考書（ISBN）]
対人援助技術の実際－面接技法を中心に－　著者名：白石大介　出版社：創元社　（4-422-11124-8）

S63160 [LH3-183]

科目名	カウンセリング	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	小原　依子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
各自の自己理解を深めながら、面接や対人援助技術についての理論・実践の両面から学び、カウンセリングの基本を習得することを到達目標とする。

[授業概要]
近年カウンセリングは、教育・医療・福祉・保健など様々な領域で、幅広く用いられている。どの領域においても適切な援助を行うにあたり共通して求められることは、まず援助を受ける側の気持ちや不安、心理的葛藤等を理解することである。この授業では、「カウンセリングとは」の問いから始まり、対象者理解・自己理解演習をキーワードに、面接の基本的なスキルについて学んでいく。授業では、ロールプレイングや事例検討なども取り入れ、ビデオ教材なども用いながら、面接や対人援助技術についての理論・実践の両面から学び、カウンセリングの基本を修得していく。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
「心理学」で学ぶ人間のもつ心理的特性について復習しながら、前回の授業内容の理解を深め、次回の授業の予習をしておくこと。日頃から心のケアやその対応等についても関心をもつこと。各回、予習・復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
1. カウンセリングとは
2. 自己理解・他者理解、対人距離について
3. 面接室の設定・面接室の座り方演習
4. 自己理解演習
5. カウンセリングの基本原理とカウンセリング技法の全体の流れについて
6. 面接の基本的なスキル　1（ノンバーバルコミュニケーションと3つの「きく」）
7. 面接の基本的なスキル　3（うなずき・あいづち技法のロールプレイングと振り返り）
8. 面接の基本的なスキル　4（反復・要約の技法と事例検討）
9. 面接の基本的なスキル　5　（受容と共感について）
10. 面接の基本的なスキル　6　（感情の反射の技法と事例検討）
11. 面接の基本的なスキル　7　（明確化の技法と事例検討）
12. カウンセリングの基礎理論　1　（人間性心理学理論（来談者中心療法））
13. カウンセリングの基礎理論　2　（精神分析理論（心の構造、心的装置））
14. カウンセリングの基礎理論　3　（認知・行動理論（認知行動療法の実例））
15. まとめ

[成績評価方法]
授業中の課題（20%）、レポート提出（10%）、テスト（70%）等を総合的に判断して評価する。
・授業中の課題やレポートは、授業内でフィードバックします。
・テストの答案を回収後、解答の解説を行い、質問を受け付けます。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	カウンセリング	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	小原　依子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：授業中の課題、レポート課題、試験

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：授業中の課題、レポート課題、試験

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：授業中の課題、レポート課題、試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業中の課題、レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業中の課題、レポート課題、試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業中の課題、レポート課題、試験

[教科書（ISBN）]
なし。必要に応じて資料を配布する。

[参考書（ISBN）]
対人援助技術の実際－面接技法を中心に－　著者名：白石大介　出版社：創元社　（4-422-11124-8）

科目名	家族心理学	後期	講義	2 単位
サブタイトル	家族の抱える問題と心理的援助			
担当者	曽山　いづみ			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
家族メンバー相互の関係とその変容過程を理解し、家族が直面する危機を克服するための援助方法の基礎を身につける。

[授業概要]
近年、家族や地域の子育て力の低下が指摘されることが多い。そのため、保育所・幼稚園・小学校などが「子育て支援」の社会的役割をも担うようになってきている。「子育て支援」を行うためには、子どもを対象とするだけでなく、親やきょうだいなど家族とその家庭生活全体を理解し、それらをふまえて適切な相談・助言を行うことが欠かせない。そこで、本講では、それぞれの家族のニーズに応じた多様な支援を提供できる能力を育成するために、家族関係の心理学的理解を深め、さらに心理的援助の実際について講義する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
日ごろから新聞やテレビなどで報道される家族に関する諸問題に関心をもつようにする。そのうえで、毎回の授業で取り上げたテーマと関連づけて考えてみる。

[授業計画]
1. 現代の家族の状況
2. 家族の発達段階
3. 家族関係の心理学的理解
4. アタッチメント（愛着）形成
5. アタッチメント（愛着）形成の障がい
6. 子どもの障がいと家族
7. 子ども虐待と家族
8. 夫婦関係における問題、夫婦間暴力（DV）について
9. 離婚・再婚と家族
10. 思春期・青年期における問題と家族①（不登校・少年非行など）
11. 思春期・青年期における問題と家族②（ひきこもり・家庭内暴力など）
12. 性役割と家族
13. 子どもの貧困と家族
14. 社会的養護について
15. まとめ

[成績評価方法]
レポートによる

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	家族心理学	後期	講義	2 単位
サブタイトル	家族の抱える問題と心理的援助			
担当者	曽山　いづみ			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：レポートによる

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：レポートによる

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：レポートによる

[教科書（ISBN）]
指定しない。

[参考書（ISBN）]
授業時に資料を配布する。

S63100 [LH3-176]

科目名	学校インターンシップⅠ	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	榎元　十三男、松崎　隆幸			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
教師の仕事内容とともに心構えや対応力を会得し、自分なりの教師像を確立する。

[授業概要]
・学外での実習体験を通して教員としての使命感・責任感を体得し、社会性・指導力・対話力・
　児童理解力等教員として必要な資質を認識することができる。
・教員の基礎基本、服務や職務内容等に触れる中で、卒業後における自分自身の適性を考察する
　とともに今後の学修の課題を自覚する機会とする。
・学校現場教員の多忙感とともに子供と触れながら教職のやりがいを見出すことができる。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
訪問の前に学校現場で観察したいこと、学びたいこと、質問したいことなどをポイントを絞って整理しておき、体験学習を実効性のあるものに繋げていけるよう主体的に取り組むこと。

[授業計画]
第 1 回事前指導オリエンテーション①（目的・内容・日程・実施期間等）
第 2 回事前指導オリエンテーション②（留意事項・報告書の書き方・質疑応答等）
第 3 回学内集団面接（意思確認・目標・学びたいこと等についての面接）
第 4 回学校現場の実情についての校長講和（2から3名）
第 5 回学校現場の実情についての校長講和（2から3名）
第 6 回実習体験先決定（実習校の発表、挨拶・依頼等連絡の方法等）
第 7 回学校現場実習①
第 8 回学校現場実習②
第 9 回学校現場実習③　　（※コロナの影響等で学校訪問できない場合は別途支持する）
第10回学校現場実習④
第11回学校現場実習⑤
第12回学校現場実習⑥
第13回インターンシップ体験発表会の準備（情報交換、原稿・資料作成、練習等）
第14回インターンシップ体験発表会（印象に残ったこと、学んだこと、課題等）
第15回全体の総括（振り返る、最終レポートのまとめ「実習体験で学んだこと」）

[成績評価方法]
活動時間数（60%）、期末レポート（20%）、体験発表（10%）観察記録（10%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
不十分なレポート等については、個別に指導を行い再提出を求める。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	学校インターンシップⅠ	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	榎元　十三男、松崎　隆幸			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：観察記録・期末レポート・体験発表会

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：観察記録・期末レポート・体験発表会

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：観察記録・期末レポート・体験発表会

学科DP番号／DP内容：教育3-5／教員という職業自体が社会的に特に高い人格・識見を求められる性質のものであることから、教員としての使命感を自覚し、その資質向上のためにたゆまず研鑽を積む態度と幼児・児童・生徒に対する教育的愛情をもつことができる。
成績評価方法：観察記録・期末レポート・体験発表会

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：観察記録・期末レポート・体験発表会

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：観察記録・期末レポート・体験発表会

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：観察記録・期末レポート・体験発表会

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：観察記録・期末レポート・体験発表会

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：観察記録・期末レポート・体験発表会

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：観察記録・期末レポート・体験発表会

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
なし

科目名	学校インターンシップⅠ	前期		1 単位
サブタイトル				
担当者	平井　和恵、大西　雅裕			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
学外での実習体験を通して、教職についての理解を深め、その責任感・使命感を体得し、社会性・コミュニケーション力・幼児理解等の必要性を認識する

[授業概要]
・インターンシップに行く前、行ったとき、行った後の3局面を通して、社会人としてしてのマナーやモラル等を理解するとともに、教員としての資質・能力を高め、職業としての重要性や必要性を深めていく。
・学校園現場で実習体験を実施するに当たっての、自分なりの目的意識を明確に持つ。
・子供たちと接する具体的な場面を観察する中で課題解決等の方策を見出す。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
学校園現場で実習体験を実施するに当たっての、自分なりの目的意識を明確に持つ

[授業計画]
1. オリエンテーション（幼小合同）
2. オリエンテーション
3. 幼稚園での実習　6時間　4回
4. 振り返り
5. 振り返り （幼小合同）

[成績評価方法]
実習態度　　60%
授業態度　　20%
報告書内容　20%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	学校インターンシップⅠ	前期		1 単位
サブタイトル				
担当者	平井　和恵、大西　雅裕			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：授業態度・報告内容

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：実習態度・報告内容

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：実習態度

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
なし

S61740

科目名	学校インターンシップⅡ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	榎元　十三男、松崎　隆幸			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
教師の仕事内容とともに心構えや対応力を会得し、自分なりの教師像を確立する。

[授業概要]
・学外での実習体験を通して教員としての使命感・責任感を体得し、社会性・指導力・対話力・
　児童理解力等教員として必要な資質を認識することができる。
・教員の基礎基本、服務や職務内容等に触れる中で、卒業後における自分自身の適性を考察する
　とともに今後の学修の課題を自覚する機会とする。
・学校現場教員の多忙感とともに子供と触れながら教職のやりがいを見出すことができる。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
訪問の前に学校現場で観察したいこと、学びたいこと、質問したいことなどをポイントを絞って整理しておき、体験学習を実効性のあるものに繋げていけるよう主体的に取り組むこと。

[授業計画]
第 1 回事前指導オリエンテーション①（目的・内容・日程・実施期間等）
第 2 回事前指導オリエンテーション②（留意事項・報告書の書き方・質疑応答等）
第 3 回学内集団面接（意思確認・目標・学びたいこと等についての面接）
第 4 回学校現場の実情についての校長講和（2から3名）
第 5 回学校現場の実情についての校長講和（2から3名）
第 6 回実習体験先決定（実習校の発表、挨拶・依頼等連絡の方法等）
第 7 回学校現場実習①
第 8 回学校現場実習②
第 9 回学校現場実習③　　（※コロナの影響等で学校訪問できない場合は別途支持する）
第10回学校現場実習④
第11回学校現場実習⑤
第12回学校現場実習⑥
第13回インターンシップ体験発表会の準備（情報交換、原稿・資料作成、練習等）
第14回インターンシップ体験発表会（印象に残ったこと、学んだこと、課題等）
第15回全体の総括（振り返る、最終レポートのまとめ「実習体験で学んだこと」）

[成績評価方法]
活動時間数（60%）、期末レポート（20%）、体験発表（10%）観察記録（10%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
不十分なレポート等については、個別に指導を行い再提出を求める。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	学校インターンシップⅡ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	榎元　十三男、松崎　隆幸			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：観察記録・期末レポート・体験発表会

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：観察記録・期末レポート・体験発表会

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：観察記録・期末レポート・体験発表会

学科DP番号／DP内容：教育3-5／教員という職業自体が社会的に特に高い人格・識見を求められる性質のものであることから、教員としての使命感を自覚し、その資質向上のためにたゆまず研鑽を積む態度と幼児・児童・生徒に対する教育的愛情をもつことができる。
成績評価方法：観察記録・期末レポート・体験発表会

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：観察記録・期末レポート・体験発表会

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：観察記録・期末レポート・体験発表会

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：観察記録・期末レポート・体験発表会

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：観察記録・期末レポート・体験発表会

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：観察記録・期末レポート・体験発表会

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：観察記録・期末レポート・体験発表会

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
なし

科目名	学校インターンシップⅡ	後期		1 単位
サブタイトル				
担当者	平井　和恵、大西　雅裕			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
学校園現場で教員としての基礎基本、服務や職務内容等に触れる中で、卒業後における自分自身の適性を考察するとともに、今後の学修の課題を自覚する機会とする。

[授業概要]
インターンシップに行く前、行ったとき、行った後の3局面を通して、社会人としてしてのマナーやモラル等を理解するとともに、教員としての資質・能力を高め、職業としての重要性や必要性を深めていく。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
子供たちと接する具体的な場面を観察する中で課題解決等の方策を見出す。

[授業計画]
幼稚園実習　6時間×５

[成績評価方法]
実習態度80%・報告内容20%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S61760

科目名	学校インターンシップⅡ	後期		1 単位
サブタイトル				
担当者	平井　和恵、大西　雅裕			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：実習態度・報告内容

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：実習態度・報告内容

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：実習態度

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
なし

S61760

科目名	学校観察実習Ⅰ	前期～後期	実習	2 単位
サブタイトル				
担当者	榎元　十三男、住本　純			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
毎回活動記録を作成し、思索と反省を繰り返しながら、自分の教師観を構築する。児童との関わり方を身につけ、児童理解を深める。

[授業概要]
学校教育の場にあっては学習者と教授者のコミュニケーションの在り方が最大の課題であり、一人ひとりの児童をどのように享受すべきかは、実際の教育の現場においてこそ学び取れるものである。神戸市、芦屋市、伊丹市、大阪市などの募集するスクールサポータや北須磨小、近隣の小学校との連携によって、学校観察実習を設置し、児童の行動や考え方を真剣に観察し、受け入れ、真の教師像とはどのようなものであるかを考え学ぶ場を設けます。教師になりたいという強い意志が固まった学生が履修可能です。単に教員免許が欲しいというだけでは不十分です。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
小学校現場で教員から学びたいこと、児童との関わりから学びたいこと、また教員同士の関わり方、学校と地域との関わりから学びたいことを項目にしてまとめておく。

[授業計画]

開始は5月末～6月初旬で小学校に行くのは毎週1回程度、または大学の夏休み・春休みです。初めて観察実習を履修する人は学校観察実習Ⅰを履修する。週に1度午前中または1日中空き時間がある曜日を作ることが望ましい。希望者はa-sumimoto@yg.kobe-wu.ac.jp に学年、クラス、番号、氏名、携帯番号を明記の上、受講希望の意思表示をしメール送信する。面接の後、観察実習小学校を決定し、教職支援センター掲示板に掲載する。各自確認し指示に従う。面接の詳細時刻は別途連絡する。

[成績評価方法]
活動時間数（60%）、期末レポート（30%）、観察記録（10%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	学校観察実習Ⅰ	前期～後期	実習	2 単位
サブタイトル				
担当者	榎元　十三男、住本　純			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：小学校での活動時間、期末レポート課題、観察記録

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：小学校での活動時間、レポート課題、観察記録

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：活動時間、レポート課題、観察記録

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
なし

S61700 [LH2-106]

科目名	学校観察実習Ⅱ	前期～後期	実習	2 単位
サブタイトル				
担当者	榎元　十三男、住本　純			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
毎回活動記録を作成し、思索と反省を繰り返しながら、自分の教師観を構築する。児童との関わり方を身につけ、児童理解を深める。

[授業概要]
学校教育の場にあっては学習者と教授者のコミュニケーションの在り方が最大の課題であり、一人ひとりの児童をどのように享受すべきかは、実際の教育の現場においてこそ学び取れるものである。神戸市、芦屋市、伊丹市、大阪市などの募集するスクールサポータや北須磨小、近隣の小学校との連携によって、学校観察実習を設置し、児童の行動や考え方を真剣に観察し、受け入れ、真の教師像とはどのようなものであるかを考え学ぶ場を設けます。教師になりたいという強い意志が固まった学生が履修可能です。単に教員免許が欲しいというだけでは不十分です。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
小学校現場で教員から学びたいこと、児童との関わりから学びたいこと、また教員同士の関わり方、学校と地域との関わりから学びたいことを項目にしてまとめておく。

[授業計画]
開始は5月末～6月初旬で小学校に行くのは毎週1回程度、または大学の夏休み・春休みです。初めて観察実習を履修する人は学校観察実習Ⅰを履修する。週に1度午前中または1日中空き時間がある曜日を作ることが望ましい。希望者はa-sumimoto@yg.kobe-wu.ac.jp に学年、クラス、番号、氏名、携帯番号を明記の上、受講希望の意思表示をしメール送信する。面接の後、観察実習小学校を決定し、教職支援センター掲示板に掲載する。各自確認し指示に従う。面接の詳細時刻は別途連絡する。

[成績評価方法]
活動時間数（60%）、期末レポート（30%）、観察記録（10%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	学校観察実習Ⅱ	前期～後期	実習	2 単位
サブタイトル				
担当者	榎元　十三男、住本　純			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：小学校での活動時間、期末レポート課題、観察記録

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：小学校での活動時間、レポート課題、観察記録

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：活動時間、レポート課題、観察記録

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
なし

S61710 [LH3-154]

科目名	学校観察実習Ⅲ	前期～後期	実習	2 単位
サブタイトル				
担当者	榎元　十三男、住本　純			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
毎回活動記録を作成し、思索と反省を繰り返しながら、自分の教師観を構築する。児童との関わり方を身につけ、児童理解を深める。

[授業概要]
学校教育の場にあっては学習者と教授者のコミュニケーションの在り方が最大の課題であり、一人ひとりの児童をどのように享受すべきかは、実際の教育の現場においてこそ学び取れるものである。神戸市、芦屋市、伊丹市、大阪市などの募集するスクールサポータや北須磨小、近隣の小学校との連携によって、学校観察実習を設置し、児童の行動や考え方を真剣に観察し、受け入れ、真の教師像とはどのようなものであるかを考え学ぶ場を設けます。教師になりたいという強い意志が固まった学生が履修可能です。単に教員免許が欲しいというだけでは不十分です。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
小学校現場で教員から学びたいこと、児童との関わりから学びたいこと、また教員同士の関わり方、学校と地域との関わりから学びたいことを項目にしてまとめておく。

[授業計画]
開始は5月末～6月初旬で小学校に行くのは毎週1回程度、または大学の夏休み・春休みです。初めて観察実習を履修する人は学校観察実習Ⅰを履修する。週に1度午前中または1日中空き時間がある曜日を作ることが望ましい。希望者はa-sumimoto@yg.kobe-wu.ac.jp に学年、クラス、番号、氏名、携帯番号を明記の上、受講希望の意思表示をしメール送信する。面接の後、観察実習小学校を決定し、教職支援センター掲示板に掲載する。各自確認し指示に従う。面接の詳細時刻は別途連絡する。

[成績評価方法]
活動時間数（60%）、期末レポート（30%）、観察記録（10%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	学校観察実習Ⅲ	前期～後期	実習	2 単位
サブタイトル				
担当者	榎元　十三男、住本　純			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：小学校での活動時間、期末レポート課題、観察記録

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：小学校での活動時間、レポート課題、観察記録

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：活動時間、レポート課題、観察記録

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
なし

S61720 [LH4-012]

科目名	家庭科概説	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	齋藤　美保子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
学習指導要領に基づき、対象学年に応じた学習内容と学習教材の開発の理解

[授業概要]
小学校家庭科教育のねらいは、家庭生活に関する学習を通して生活者としての基礎・基本を習得させることであり、家族関係の学習を通して人間としての生き方をみつめ、考えさせることにある。そこで、本講座では家庭科の基礎・基本の学習内容を取り扱うとともに、生活科・総合的な学習の時間との関連性にも言及し、生活に役立つ実践的・体験的な授業の分析や学習教材の開発、並びに消費者教育における情報機器の活用・情報活用能力の育成等に力点をおいている。受講者自身が消費者・生活者としての健全なライフスタイルを築き、生活・生命の質(QOL)を高めようとする資質を身に付けさせたい。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
作成した学習内容を基に現実の家庭生活の問題発見、さらにこの問題発見から、問題解決に至るにはどのようにすればよいかを理解、行動するかを考える。

[授業計画]
1. 家庭科の歴史と学習指導要領
2. 小学校における家庭科教育の意義とねらい―家庭科とは何か
3. 学習内容Ⅰ 人の生涯発達
4. 学習内容Ⅱ　高齢者・高齢社会
5. 学習内容Ⅲ　家族の歴史
6. 学習内容Ⅳ　衣生活　衣生活の現状
7. 学習内容Ⅳ　衣生活　被服と社会とのかかわりを考える
8. 学習内容Ⅴ 生活経営①　労働の現状
9. 学習内容Ⅵ 生活経営②　職業労働と賃金
10. 学習内容Ⅶ 食生活①　栄養と食品
11. 学習内容Ⅷ 食生活②　食生活に関する現状と問題
12. 学習内容Ⅸ　住生活①　住生活の現状
13. 学習内容Ⅹ　住生活?　住生活とまちづくり
14. 学習内容?　環境問題　地球温暖化と生活
15. これからの共生者会にむけて　情報・消費者教育への取り組み

[成績評価方法]
授業中の課題(20%)　レポート(80%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
毎回の授業後の感想レポートを提出。特に返却することはないが、希望があれば返却する。試験はなく、終わりに大きな課題2つを提出。返却希望であれば返却する。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	家庭科概説	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	齋藤　美保子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：試験、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：試験、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：試験、レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験、レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：試験、レポート課題

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
小学校学習指導要領（平成29年告示）解説
　家庭編　　著者名：文部科学省　　出版社：東洋館出版社 （ ）
文部科学省検定済教科書　　出版社：開隆堂
家庭科の授業　　著者名：家庭科教育研究社連盟編　　出版社：大月書店
明日の授業に使える小学校家庭科　著者名：澤田悦子　出版社：大月書店

科目名	家庭科概説	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	齋藤　美保子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
学習指導要領に基づき、対象学年に応じた学習内容と学習教材の開発の理解

[授業概要]
小学校家庭科教育のねらいは、家庭生活に関する学習を通して生活者としての基礎・基本を習得させることであり、家族関係の学習を通して人間としての生き方をみつめ、考えさせることにある。そこで、本講座では家庭科の基礎・基本の学習内容を取り扱うとともに、生活科・総合的な学習の時間との関連性にも言及し、生活に役立つ実践的・体験的な授業の分析や学習教材の開発、並びに消費者教育における情報機器の活用・情報活用能力の育成等に力点をおいている。受講者自身が消費者・生活者としての健全なライフスタイルを築き、生活・生命の質(QOL)を高めようとする資質を身に付けさせたい。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
作成した学習内容を基に現実の家庭生活の問題発見、さらにこの問題発見から、問題解決に至るにはどのようにすればよいかを理解、行動するかを考える。

[授業計画]
1. 家庭科の歴史と学習指導要領
2. 小学校における家庭科教育の意義とねらい―家庭科とは何か
3. 学習内容Ⅰ 人の生涯発達
4. 学習内容Ⅱ　高齢者・高齢社会
5. 学習内容Ⅲ　家族の歴史
6. 学習内容Ⅳ　衣生活　衣生活の現状
7. 学習内容Ⅳ　衣生活　被服と社会とのかかわりを考える
8. 学習内容Ⅴ 生活経営①　労働の現状
9. 学習内容Ⅵ 生活経営②　職業労働と賃金
10. 学習内容Ⅶ 食生活①　栄養と食品
11. 学習内容Ⅷ 食生活②　食生活に関する現状と問題
12. 学習内容Ⅸ　住生活①　住生活の現状
13. 学習内容Ⅹ　住生活?　住生活とまちづくり
14. 学習内容?　環境問題　地球温暖化と生活
15. これからの共生者会にむけて　情報・消費者教育への取り組み

[成績評価方法]
授業中の課題(20%)　レポート(80%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
毎回の授業後の感想レポートを提出。特に返却することはないが、希望があれば返却する。試験はなく、終わりに大きな課題2つを提出。返却希望であれば返却する。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	家庭科概説	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	齋藤　美保子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：試験、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：試験、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：試験、レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験、レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：試験、レポート課題

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
小学校学習指導要領（平成29年告示）解説
　家庭編　　著者名：文部科学省　　出版社：東洋館出版社（ ）
文部科学省検定済教科書　　出版社：開隆堂
家庭科の授業　　著者名：家庭科教育研究社連盟編　　出版社：大月書店
明日の授業に使える小学校家庭科　著者名：澤田悦子　出版社：大月書店

科目名	家庭科教育法	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	齋藤　美保子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
1. 学習指導計画案作成及び教材開発
2. 適切な評価活動

[授業概要]
小学校教師として家庭科を担当するにあたっての適切な教材観、指導観を養い、指導力を高めることを目標としている。本講座では、1. 家庭科の目標を達成するためのカリキュラム作成　2. 学習教材の選択と運用　3. 被服製作を通して、観点別評価基準に基づく評価活動　4. 指導計画と指導方法　などを学ぶ。特に学習指導計画案を作成し、模擬授業を通して実践する指導力や目標に準拠した評価（絶対評価）力、新たな学習教材を開発する能力、情報機器の活用、児童の自己効力感を高めるコメント力など教師として必要な能力を身に付けさせたい。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
模擬授業へ向けての学習教材の開発と学習指導案を立案、作成すること。

[授業計画]
1. 学習指導要領改訂のポイント及び方向性について説明
2. 家庭科の目標に準拠した年間カリキュラムの作成・検討
3. 学習指導案の書き方　および　学習教材・教具の作成
　問題解決としての授業
4. 学習教材Ⅰ　家族・家庭生活：衣生活：教材開発
5. 学習教材Ⅱ　食生活と消費生活
6. 学習教材Ⅲ　住生活：環境の活用
(7回以降から、学生模擬授業)
7.学生の模擬授業が中心 学生模擬授業(1)(2)　コメント
8. 学生模擬授業(3)(4)　コメント
9. 学生模擬授業(5)(6)　コメント
10. 学生模擬授業(7)(8)　コメント
11. 学生模擬授業(9)(10)　コメント
12. 学生模擬授業(11)(12)　コメント
13. 学生模擬授業(13)(14)　コメント
14. 学生模擬授業(15)(16)　コメント
15. 教師の役割とこれからの家庭科教育の課題

[成績評価方法]
授業中の課題（20%）　レポート（80%）実際の模擬授業実習も含む

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポート試験(指導案)・模擬授業・学生の評価・教員の評価
レポートは返却しない・返却希望者には返却

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	家庭科教育法	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	齋藤　美保子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：発表・討議への参加態度

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：発表・討議への参加態度

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：発表への立案

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：発表への参加

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：発表への立案・参加

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：発表・討議への参加態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：発表・討議への参加態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：発表・討議への参加態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表・討議への参加態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：発表・討議への参加態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題解決力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：発表・討議への参加態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：発表・討議への実践

[教科書（ISBN）]
1. 小学校学習指導要領(平成29年告示)解説
　家庭編　著者名：文部科学省　出版社：
東洋館出版社 （本体95円＋税）
小学校家庭科用文部科学省検定済教科書　出版社：開隆堂

[参考書（ISBN）]
新版 授業力UP家庭科の授業　著者名：伊藤葉子　出版社：日本標準 （9784820806462）
明日の授業に使える小学校家庭科　著者名：澤田悦子　出版社：大月書店 （9784272411979）

科目名	家庭科教育法	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	齋藤　美保子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
1. 学習指導計画案作成及び教材開発
2. 適切な評価活動

[授業概要]
小学校教師として家庭科を担当するにあたっての適切な教材観、指導観を養い、指導力を高めることを目標としている。本講座では、1. 家庭科の目標を達成するためのカリキュラム作成　2. 学習教材の選択と運用　3. 被服製作を通して、観点別評価基準に基づく評価活動　4. 指導計画と指導方法　などを学ぶ。特に学習指導計画案を作成し、模擬授業を通して実践する指導力や目標に準拠した評価（絶対評価）力、新たな学習教材を開発する能力、情報機器の活用、児童の自己効力感を高めるコメント力など教師として必要な能力を身に付けさせたい。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
模擬授業へ向けての学習教材の開発と学習指導案を立案、作成すること。

[授業計画]
1. 学習指導要領改訂のポイント及び方向性について説明
2. 家庭科の目標に準拠した年間カリキュラムの作成・検討
3. 学習指導案の書き方　および　学習教材・教具の作成
　問題解決としての授業
4. 学習教材Ⅰ　家族・家庭生活：衣生活：教材開発
5. 学習教材Ⅱ　食生活と消費生活
6. 学習教材Ⅲ　住生活：環境の活用
(7回以降から、学生模擬授業)
7.学生の模擬授業が中心 学生模擬授業(1)(2)　コメント
8. 学生模擬授業(3)(4)　コメント
9. 学生模擬授業(5)(6)　コメント
10. 学生模擬授業(7)(8)　コメント
11. 学生模擬授業(9)(10)　コメント
12. 学生模擬授業(11)(12)　コメント
13. 学生模擬授業(13)(14)　コメント
14. 学生模擬授業(15)(16)　コメント
15. 教師の役割とこれからの家庭科教育の課題

[成績評価方法]
授業中の課題（20%）　レポート（80%）実際の模擬授業実習も含む

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポート試験(指導案)・模擬授業・学生の評価・教員の評価
レポートは返却しない・返却希望者には返却

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	家庭科教育法	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	齋藤　美保子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：発表・討議への参加態度

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：発表・討議への参加態度

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：発表への立案

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：発表への参加

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：発表への立案・参加

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：発表・討議への参加態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：発表・討議への参加態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：発表・討議への参加態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表・討議への参加態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：発表・討議への参加態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題解決力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：発表・討議への参加態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：発表・討議への実践

[教科書（ISBN）]
1. 小学校学習指導要領(平成29年告示)解説
　家庭編　著者名：文部科学省　出版社：
東洋館出版社 （本体95円＋税）
小学校家庭科用文部科学省検定済教科書　出版社：開隆堂

[参考書（ISBN）]
新版 授業力UP家庭科の授業　著者名：伊藤葉子　出版社：日本標準 （9784820806462）
明日の授業に使える小学校家庭科　著者名：澤田悦子　出版社：大月書店 （9784272411979）

科目名	家庭科教材研究	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	齋藤　美保子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
学習指導要領に基づき、対象学年に応じた学習内容と学習教材の開発の理解

[授業概要]
家庭科概説に準じ小・中・高校の家庭科の実習や体験学習，調べ学習を主に行う。子どもたちに楽しんでかつ主体的に学んでいける調理実習・被服実習内容を考え、授業開発ならびに教材開発として，適切な教具・教材などは協同・グループ学習も取り入れて実践する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
作成した学習内容を基に現実の家庭生活の問題発見、さらにこの問題発見から、問題解決に至るにはどのようにすればよいかを理解、行動するかを考える。 また、実際に実習や作品を作ることにより、技能を高め、教材開発となるようにする。

[授業計画]
第 1回　・・・・オリエンテーション，グループ分け　体験学習の意義など
第 2回　・・・・家族・家庭生活，子ども・高齢者などの問題を探る　小物づくり
第 3回　・・・・衣生活についての問題と課題　　小物づくり
第 4回　・・・・小物作り
第 5回　・・・・小物作り
第 6回　・・・・食生活についての問題と課題
第 7回　・・・・食生活の問題と思われる調べ学習 できれば実習
第 8回　・・・・食生活の問題と思われる調べ学習と発表 できれば実習
第 9回　・・・・住生活の問題と課題
第10回　・・・・住生活の問題と課題と思われる調べ学習
第11回　・・・・住生活の問題と課題と思われる調べ学習と発表
第12回　・・・・環境問題の現状と課題
第13回　・・・・環境問題に関する調査・調べ学習
第14回　・・・・環境問題に関する調査・調べ学習
第15回　・・・・まとめ 発表

[成績評価方法]
授業中の課題（20%）　レポート（80%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中において、コメントおよびアドバイス、援助をする。レポートに関しては特に返却はしないが、希望すれば返却する。作品についてのコメント・講評はグループおよび教員から行う。作品は返却する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	家庭科教材研究	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	齋藤　美保子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：試験、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：試験、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：試験、レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験、レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：試験、レポート課題

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
小学校学習指導要領（平成29年告示）解説
　家庭編　　著者名：文部科学省　　出版社：東洋館出版社（ ）
文部科学省検定済教科書　　出版社：開隆堂
家庭科の授業　　著者名：家庭科教育研究社連盟編　　出版社：大月書店
テキスト家庭科教育　　著者名：武藤八重子　　出版社：家政教育社

S64700

科目名	家庭支援論	後期	講義	2 単位
サブタイトル	家庭支援と保育士			
担当者	前田　研史			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
家庭における子育てを、保育所を含む地域全体で支援していくために、どのような視点やアプローチが求められているのかを理解する。

[授業概要]
近年、家庭・家族や地域の子育て力の低下が指摘されることが多い。そのため、幼稚園・保育所・小学校などが「子育て支援」の社会的役割をも担うようになってきている。「子育て支援」を行うためには、子どもを対象とするだけでなく、親やきょうだいなど家族とその家庭生活全体を理解し、保育所を含む地域の資源が連携して「家庭支援」を行うという視点が求められる。そこで、本講では、それぞれの家族のニーズに応じた多様な支援を提供できる能力を育成するため、基本的な家庭・家族理解のあり方と、地域のさまざまな組織・機関と保育所、幼稚園、学校の連携の実際について講義する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
日ごろから、新聞やテレビなどで報道される家族に関する諸問題に関心をもつように努める。そのうえで、毎回の授業で取り上げたテーマと関連づけて考えてみる。

[授業計画]
1. 家庭支援の意義1
2. 家庭支援の意義2
3. 子育て不安と親になること
4. 子育て支援の社会的資源
5. 家庭支援における保育士の姿勢と倫理
6. 子ども虐待と家庭支援1
7. 子ども虐待と家庭支援2
8. アタッチメント形成
9. トラウマとPTSD
10. 障がい児と家庭支援
11. 夫婦間暴力と家庭支援
12. 子どもの貧困と家庭支援
13. 家庭支援における個別的支援
14. 社会的養護と家庭支援
15. まとめ

[成績評価方法]
レポートによる

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	家庭支援論	後期	講義	2 単位
サブタイトル	家庭支援と保育士			
担当者	前田　研史			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：レポートによる

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：レポートによる

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：レポートによる

[教科書（ISBN）]
指定しない。

[参考書（ISBN）]
授業時に資料を配布する。

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	鈴江　美子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
演奏の基礎技能と人前での表現力を身につけ,保育園・幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
音楽の基礎的な技能を習得すると共に、特にピアノ技能、弾き歌い技能を身につける。
音楽の基礎的な部分については、基本的にクラス授業の形態をとる。
また、2回の到達度確認によって、習得度を確認する。
詳しくは、内規を参照すること。(教科書は1回目の授業時に必要なものを説明するので、それを聞いてから購入すること)

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
実技授業なので、与えられた課題をやり、必ず予習復習をして臨むこと。レッスン前後の時間がある場合は練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン1
第3回　歌唱の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン2
第4回　こどもの歌についてのクラス授業、個人及びグループレッスン3
第5回　小学校歌唱教材についてのクラス授業、個人及びグループレッスン4
第6回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン5
第7回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン6
第8回　到達度テスト1
第9回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン7
第10回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン8
第11回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン9
第12回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン10
第13回　こどもの歌や小学校歌唱教材のまとめのクラス授業、個人及びグループレッスン11
第14回　人前で演奏するためのクラス授業、個人及びグループレッスン12
第15回　到達度テスト2

[成績評価方法]
実技テストの成績とレッスンの状況、クラス授業への取り組みによって総合的に評価する。
実技テスト50%、その他50%
実技テスト結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	鈴江　美子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで使用。　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社（978-4-276-82101-9
）
こどものうた100　＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社（978-4111701957 ）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社（978-4-11-101010-3）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・阪井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8 ）

S68000

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	田中　琴弓			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
演奏の基礎技能と人前での表現力を身につけ,保育園・幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
音楽の基礎的な技能を習得すると共に、特にピアノ技能、弾き歌い技能を身につける。
音楽の基礎的な部分については、基本的にクラス授業の形態をとる。
また、2回の到達度確認によって、習得度を確認する。
詳しくは、内規を参照すること。(教科書は1回目の授業時に必要なものを説明するので、それを聞いてから購入すること)

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
実技授業なので、与えられた課題をやり、必ず予習復習をして臨むこと。レッスン前後の時間がある場合は練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]

第1回　オリエンテーション
第2回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業1、個人及びグループレッスン1
第3回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業2、個人及びグループレッスン2
第4回　歌唱の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン3
第5回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン4
第6回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン5
第7回　弾き歌いの伴奏付けについてのクラス授業、個人及びグループレッスン6
第9回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業3、個人及びグループレッスン7
第10回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業4、個人及びグループレッスン8
第11回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン9
第12回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン10
第13回　こどもの歌や小学校歌唱教材のまとめのクラス授業、個人及びグループレッスン11
第14回　人前で演奏するための授業、個人及びグループレッスン12
第15回　到達度確認、後半のまとめ

[成績評価方法]
実技テストの成績とレッスンの状況、クラス授業への取り組みによって総合的に評価する。
実技テスト50%、その他50%
実技テスト結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	田中　琴弓			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで使用。　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社（978-4-276-82101-9
）
こどものうた100　＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社（978-4111701957 ）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社（978-4-11-101010-3）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・阪井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8 ）

S68001

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	辻　真理子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
演奏の基礎技能と人前での表現力を身につけ,保育園・幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
音楽の基礎的な技能を習得すると共に、特にピアノ技能、弾き歌い技能を身につける。
音楽の基礎的な部分については、基本的にクラス授業の形態をとる。
また、2回の到達度確認によって、習得度を確認する。
詳しくは、内規を参照すること。(教科書は1回目の授業時に必要なものを説明するので、それを聞いてから購入すること)

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
実技授業なので、与えられた課題をやり、必ず予習復習をして臨むこと。レッスン前後の時間がある場合は練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン1
第3回　歌唱の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン2
第4回　こどもの歌についてのクラス授業、個人及びグループレッスン3
第5回　小学校歌唱教材についてのクラス授業、個人及びグループレッスン4
第6回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン5
第7回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン6
第8回　到達度テスト1
第9回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン7
第10回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン8
第11回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン9
第12回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン10
第13回　こどもの歌や小学校歌唱教材のまとめのクラス授業、個人及びグループレッスン11
第14回　人前で演奏するためのクラス授業、個人及びグループレッスン12
第15回　到達度テスト2

[成績評価方法]
実技テストの成績とレッスンの状況、クラス授業への取り組みによって総合的に評価する。
実技テスト50%、その他50%
実技テスト結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	辻　真理子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで使用。　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社（978-4-276-82101-9
）
こどものうた100　＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社（978-4111701957 ）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社（978-4-11-101010-3）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・阪井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8 ）

S68002

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	東　恵子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
演奏の基礎技能と人前での表現力を身につけ,保育園・幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
音楽の基礎的な技能を習得すると共に、特にピアノ技能、弾き歌い技能を身につける。
音楽の基礎的な部分については、基本的にクラス授業の形態をとる。
また、2回の到達度確認によって、習得度を確認する。
詳しくは、内規を参照すること。(教科書は1回目の授業時に必要なものを説明するので、それを聞いてから購入すること)

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
実技授業なので、与えられた課題をやり、必ず予習復習をして臨むこと。レッスン前後の時間がある場合は練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン1
第3回　歌唱の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン2
第4回　こどもの歌についてのクラス授業、個人及びグループレッスン3
第5回　小学校歌唱教材についてのクラス授業、個人及びグループレッスン4
第6回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン5
第7回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン6
第8回　到達度テスト1
第9回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン7
第10回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン8
第11回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン9
第12回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン10
第13回　こどもの歌や小学校歌唱教材のまとめのクラス授業、個人及びグループレッスン11
第14回　人前で演奏するためのクラス授業、個人及びグループレッスン12
第15回　到達度テスト2

[成績評価方法]
実技テストの成績とレッスンの状況、クラス授業への取り組みによって総合的に評価する。
実技テスト50%、その他50%
実技テスト結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	東　恵子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで使用。　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社（978-4-276-82101-9
）
こどものうた100　＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社（978-4111701957 ）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社（978-4-11-101010-3）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・阪井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8 ）

S68003

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	福田　絵麻			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
演奏の基礎技能と人前での表現力を身につけ,保育園・幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
音楽の基礎的な技能を習得すると共に、特にピアノ技能、弾き歌い技能を身につける。
音楽の基礎的な部分については、基本的にクラス授業の形態をとる。
また、2回の到達度確認によって、習得度を確認する。
詳しくは、内規を参照すること。(教科書は1回目の授業時に必要なものを説明するので、それを聞いてから購入すること)

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
実技授業なので、与えられた課題をやり、必ず予習復習をして臨むこと。レッスン前後の時間がある場合は練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]

第1回　オリエンテーション
第2回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業1、個人及びグループレッスン1
第3回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業2、個人及びグループレッスン2
第4回　歌唱の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン3
第5回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン4
第6回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン5
第7回　弾き歌いの伴奏付けについてのクラス授業、個人及びグループレッスン6
第9回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業3、個人及びグループレッスン7
第10回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業4、個人及びグループレッスン8
第11回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン9
第12回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン10
第13回　こどもの歌や小学校歌唱教材のまとめのクラス授業、個人及びグループレッスン11
第14回　人前で演奏するための授業、個人及びグループレッスン12
第15回　到達度確認、後半のまとめ

[成績評価方法]
実技テストの成績とレッスンの状況、クラス授業への取り組みによって総合的に評価する。
実技テスト50%、その他50%
実技テスト結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	福田　絵麻			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで使用。　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社（978-4-276-82101-9
）
こどものうた100　＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社（978-4111701957 ）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社（978-4-11-101010-3）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・阪井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8 ）

S68004

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	宮内　晴美			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
演奏の基礎技能と人前での表現力を身につけ、保育園・幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
音楽の基礎的な技能を習得すると共に、特にピアノ技能、弾き歌い技能を身につける。
音楽の基礎的な部分については、基本的にクラス授業の形態をとる。
また、2回の到達度確認によって、習得度を確認する。
詳しくは、内規を参照すること。（教科書は1回目の授業時に必要なものを説明するので、それを聞いてから購入すること）

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
実技授業なので、与えられた課題をやり、必ず予習復習をして臨むこと。レッスン前後の時間がある場合は練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン1
第3回　歌唱の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン2
第4回　こどもの歌についてのクラス授業、個人及びグループレッスン3
第5回　小学校歌唱教材についてのクラス授業、個人及びグループレッスン4
第6回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン5
第7回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン6
第8回　到達度テスト1
第9回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン7
第10回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン8
第11回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン9
第12回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン10
第13回　こどもの歌や小学校歌唱教材のまとめのクラス授業、個人及びグループレッスン11
第14回　人前で演奏するためのクラス授業、個人及びグループレッスン12
第15回　到達度テスト2

[成績評価方法]
実技テストの成績とレッスンの状況、クラス授業への取り組みによって総合的に評価する。
実技テスト50%、その他50%
実技テスト結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	宮内　晴美			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社（9784778500566）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで使用。　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社（9784276821026）
こどものうた100　＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社（9784805481868）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社（9784111701957 ）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社（9784111010103）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア（9784636958294）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・阪井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8 ）

S68005

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	山口　雅敏			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
演奏の基礎技能と人前での表現力を身につけ,保育園・幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
音楽の基礎的な技能を習得すると共に、特にピアノ技能、弾き歌い技能を身につける。
音楽の基礎的な部分については、基本的にクラス授業の形態をとる。
また、2回の到達度確認によって、習得度を確認する。
詳しくは、内規を参照すること。(教科書は1回目の授業時に必要なものを説明するので、それを聞いてから購入すること)

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
実技授業なので、与えられた課題をやり、必ず予習復習をして臨むこと。レッスン前後の時間がある場合は練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン1
第3回　歌唱の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン2
第4回　こどもの歌についてのクラス授業、個人及びグループレッスン3
第5回　小学校歌唱教材についてのクラス授業、個人及びグループレッスン4
第6回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン5
第7回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン6
第8回　到達度テスト1
第9回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン7
第10回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン8
第11回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン9
第12回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン10
第13回　こどもの歌や小学校歌唱教材のまとめのクラス授業、個人及びグループレッスン11
第14回　人前で演奏するためのクラス授業、個人及びグループレッスン12
第15回　到達度テスト2

[成績評価方法]
実技テストの成績とレッスンの状況、クラス授業への取り組みによって総合的に評価する。
実技テスト50%、その他50%
実技テスト結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	山口　雅敏			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで使用。　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社（978-4-276-82101-9
）
こどものうた100　＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社（978-4111701957 ）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社（978-4-11-101010-3）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・阪井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8 ）

S68006

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	山下　佑子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
演奏の基礎技能と人前での表現力を身につけ,保育園・幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
音楽の基礎的な技能を習得すると共に、特にピアノ技能、弾き歌い技能を身につける。
音楽の基礎的な部分については、基本的にクラス授業の形態をとる。
また、2回の到達度確認によって、習得度を確認する。
詳しくは、内規を参照すること。(教科書は1回目の授業時に必要なものを説明するので、それを聞いてから購入すること)

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
実技授業なので、与えられた課題をやり、必ず予習復習をして臨むこと。レッスン前後の時間がある場合は練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン1
第3回　歌唱の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン2
第4回　こどもの歌についてのクラス授業、個人及びグループレッスン3
第5回　小学校歌唱教材についてのクラス授業、個人及びグループレッスン4
第6回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン5
第7回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン6
第8回　到達度テスト1
第9回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン7
第10回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン8
第11回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン9
第12回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン10
第13回　こどもの歌や小学校歌唱教材のまとめのクラス授業、個人及びグループレッスン11
第14回　人前で演奏するためのクラス授業、個人及びグループレッスン12
第15回　到達度テスト2

[成績評価方法]
実技テストの成績とレッスンの状況、クラス授業への取り組みによって総合的に評価する。
実技テスト50%、その他50%
実技テスト結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	山下　佑子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで使用。　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社（978-4-276-82101-9
）
こどものうた100　＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社（978-4111701957 ）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社（978-4-11-101010-3）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・阪井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8 ）

S68007

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	雪原　典子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
演奏の基礎技能と人前での表現力を身につけ,保育園・幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
音楽の基礎的な技能を習得すると共に、特にピアノ技能、弾き歌い技能を身につける。
音楽の基礎的な部分については、基本的にクラス授業の形態をとる。
また、2回の到達度確認によって、習得度を確認する。
詳しくは、内規を参照すること。(教科書は1回目の授業時に必要なものを説明するので、それを聞いてから購入すること)

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
実技授業なので、与えられた課題をやり、必ず予習復習をして臨むこと。レッスン前後の時間がある場合は練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン1
第3回　歌唱の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン2
第4回　こどもの歌についてのクラス授業、個人及びグループレッスン3
第5回　小学校歌唱教材についてのクラス授業、個人及びグループレッスン4
第6回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン5
第7回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン6
第8回　到達度テスト1
第9回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン7
第10回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン8
第11回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン9
第12回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン10
第13回　こどもの歌や小学校歌唱教材のまとめのクラス授業、個人及びグループレッスン11
第14回　人前で演奏するためのクラス授業、個人及びグループレッスン12
第15回　到達度テスト2

[成績評価方法]
実技テストの成績とレッスンの状況、クラス授業への取り組みによって総合的に評価する。
実技テスト50%、その他50%
実技テスト結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	雪原　典子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで使用。　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社（978-4-276-82101-9
）
こどものうた100　＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社（978-4111701957 ）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社（978-4-11-101010-3）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・阪井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8 ）

S68008

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	久我　裕子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
演奏の基礎技能と人前での表現力を身につけ,保育園・幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
音楽の基礎的な技能を習得すると共に、特にピアノ技能、弾き歌い技能を身につける。
音楽の基礎的な部分については、基本的にクラス授業の形態をとる。
また、2回の到達度確認によって、習得度を確認する。
詳しくは、内規を参照すること。(教科書は1回目の授業時に必要なものを説明するので、それを聞いてから購入すること)

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
実技授業なので、与えられた課題をやり、必ず予習復習をして臨むこと。レッスン前後の時間がある場合は練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]

第1回　オリエンテーション
第2回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業1、個人及びグループレッスン1
第3回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業2、個人及びグループレッスン2
第4回　歌唱の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン3
第5回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン4
第6回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン5
第7回　弾き歌いの伴奏付けについてのクラス授業、個人及びグループレッスン6
第9回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業3、個人及びグループレッスン7
第10回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業4、個人及びグループレッスン8
第11回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン9
第12回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン10
第13回　こどもの歌や小学校歌唱教材のまとめのクラス授業、個人及びグループレッスン11
第14回　人前で演奏するための授業、個人及びグループレッスン12
第15回　到達度確認、後半のまとめ

[成績評価方法]
実技テストの成績とレッスンの状況、クラス授業への取り組みによって総合的に評価する。
実技テスト50%、その他50%
実技テスト結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	久我　裕子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社（9784778500566）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで使用。　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社（9784276821026）
こどものうた100　＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社（9784805481868）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社（9784111701957）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社（9784111010103）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア（9784636958294）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・阪井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8 ）

S68020

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	小林　由佳			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
演奏の基礎技能と人前での表現力を身につけ,保育園・幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
音楽の基礎的な技能を習得すると共に、特にピアノ技能、弾き歌い技能を身につける。
音楽の基礎的な部分については、基本的にクラス授業の形態をとる。
また、2回の到達度確認によって、習得度を確認する。
詳しくは、内規を参照すること。(教科書は1回目の授業時に必要なものを説明するので、それを聞いてから購入すること)

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
実技授業なので、与えられた課題をやり、必ず予習復習をして臨むこと。レッスン前後の時間がある場合は練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業1、個人及びグループレッスン1
第3回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業2、個人及びグループレッスン2
第4回　歌唱の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン3
第5回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン4
第6回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン5
第7回　弾き歌いの伴奏付けについてのクラス授業、個人及びグループレッスン6
第9回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業3、個人及びグループレッスン7
第10回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業4、個人及びグループレッスン8
第11回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン9
第12回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン10
第13回　こどもの歌や小学校歌唱教材のまとめのクラス授業、個人及びグループレッスン11
第14回　人前で演奏するためのクラス授業、個人及びグループレッスン12
第15回　到達度確認、後半のまとめ

[成績評価方法]
実技テストの成績とレッスンの状況、クラス授業への取り組みによって総合的に評価する。
実技テスト50%、その他50%
実技テスト結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	小林　由佳			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで使用。　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社（978-4-276-82101-9
）
こどものうた100　＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社（978-4111701957 ）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社（978-4-11-101010-3）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・阪井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8 ）

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	鈴江　美子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
演奏の基礎技能と人前での表現力を身につけ,保育園・幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
音楽の基礎的な技能を習得すると共に、特にピアノ技能、弾き歌い技能を身につける。
音楽の基礎的な部分については、基本的にクラス授業の形態をとる。
また、2回の到達度確認によって、習得度を確認する。
詳しくは、内規を参照すること。(教科書は1回目の授業時に必要なものを説明するので、それを聞いてから購入すること)

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
実技授業なので、与えられた課題をやり、必ず予習復習をして臨むこと。レッスン前後の時間がある場合は練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン1
第3回　歌唱の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン2
第4回　こどもの歌についてのクラス授業、個人及びグループレッスン3
第5回　小学校歌唱教材についてのクラス授業、個人及びグループレッスン4
第6回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン5
第7回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン6
第8回　到達度テスト1
第9回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン7
第10回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン8
第11回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン9
第12回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン10
第13回　こどもの歌や小学校歌唱教材のまとめのクラス授業、個人及びグループレッスン11
第14回　人前で演奏するためのクラス授業、個人及びグループレッスン12
第15回　到達度テスト2

[成績評価方法]
実技テストの成績とレッスンの状況、クラス授業への取り組みによって総合的に評価する。
実技テスト50%、その他50%
実技テスト結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	鈴江　美子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで使用。　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社（978-4-276-82101-9
）
こどものうた100　＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社（978-4111701957 ）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社（978-4-11-101010-3）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・阪井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8 ）

S68022

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	田中　琴弓			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
演奏の基礎技能と人前での表現力を身につけ,保育園・幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
音楽の基礎的な技能を習得すると共に、特にピアノ技能、弾き歌い技能を身につける。
音楽の基礎的な部分については、基本的にクラス授業の形態をとる。
また、2回の到達度確認によって、習得度を確認する。
詳しくは、内規を参照すること。(教科書は1回目の授業時に必要なものを説明するので、それを聞いてから購入すること)

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
実技授業なので、与えられた課題をやり、必ず予習復習をして臨むこと。レッスン前後の時間がある場合は練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]

第1回　オリエンテーション
第2回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業1、個人及びグループレッスン1
第3回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業2、個人及びグループレッスン2
第4回　歌唱の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン3
第5回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン4
第6回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン5
第7回　弾き歌いの伴奏付けについてのクラス授業、個人及びグループレッスン6
第9回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業3、個人及びグループレッスン7
第10回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業4、個人及びグループレッスン8
第11回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン9
第12回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン10
第13回　こどもの歌や小学校歌唱教材のまとめのクラス授業、個人及びグループレッスン11
第14回　人前で演奏するための授業、個人及びグループレッスン12
第15回　到達度確認、後半のまとめ

[成績評価方法]
実技テストの成績とレッスンの状況、クラス授業への取り組みによって総合的に評価する。
実技テスト50%、その他50%
実技テスト結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	田中　琴弓			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで使用。　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社（978-4-276-82101-9
）
こどものうた100　＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社（978-4111701957 ）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社（978-4-11-101010-3）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・阪井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8 ）

S68023

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	東　恵子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
演奏の基礎技能と人前での表現力を身につけ,保育園・幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
音楽の基礎的な技能を習得すると共に、特にピアノ技能、弾き歌い技能を身につける。
音楽の基礎的な部分については、基本的にクラス授業の形態をとる。
また、2回の到達度確認によって、習得度を確認する。
詳しくは、内規を参照すること。(教科書は1回目の授業時に必要なものを説明するので、それを聞いてから購入すること)

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
実技授業なので、与えられた課題をやり、必ず予習復習をして臨むこと。レッスン前後の時間がある場合は練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン1
第3回　歌唱の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン2
第4回　こどもの歌についてのクラス授業、個人及びグループレッスン3
第5回　小学校歌唱教材についてのクラス授業、個人及びグループレッスン4
第6回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン5
第7回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン6
第8回　到達度テスト1
第9回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン7
第10回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン8
第11回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン9
第12回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン10
第13回　こどもの歌や小学校歌唱教材のまとめのクラス授業、個人及びグループレッスン11
第14回　人前で演奏するためのクラス授業、個人及びグループレッスン12
第15回　到達度テスト2

[成績評価方法]
実技テストの成績とレッスンの状況、クラス授業への取り組みによって総合的に評価する。
実技テスト50%、その他50%
実技テスト結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	東　恵子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで使用。　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社（978-4-276-82101-9
）
こどものうた100　＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社（978-4111701957 ）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社（978-4-11-101010-3）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・阪井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8 ）

S68024

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	福田　可織			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
演奏の基礎技能と人前での表現力を身につけ,保育園・幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
音楽の基礎的な技能を習得すると共に、特にピアノ技能、弾き歌い技能を身につける。
音楽の基礎的な部分については、基本的にクラス授業の形態をとる。
また、2回の到達度確認によって、習得度を確認する。
詳しくは、内規を参照すること。(教科書は1回目の授業時に必要なものを説明するので、それを聞いてから購入すること)

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
実技授業なので、与えられた課題をやり、必ず予習復習をして臨むこと。レッスン前後の時間がある場合は練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン1
第3回　歌唱の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン2
第4回　こどもの歌についてのクラス授業、個人及びグループレッスン3
第5回　小学校歌唱教材についてのクラス授業、個人及びグループレッスン4
第6回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン5
第7回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン6
第8回　到達度テスト1
第9回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン7
第10回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン8
第11回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン9
第12回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン10
第13回　こどもの歌や小学校歌唱教材のまとめのクラス授業、個人及びグループレッスン11
第14回　人前で演奏するためのクラス授業、個人及びグループレッスン12
第15回　到達度テスト2

[成績評価方法]
実技テストの成績とレッスンの状況、クラス授業への取り組みによって総合的に評価する。
実技テスト50%、その他50%
実技テスト結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	福田　可織			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで使用。　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社（978-4-276-82101-9
）
こどものうた100　＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社（978-4111701957 ）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社（978-4-11-101010-3）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・阪井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8 ）

S68025

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	宮内　晴美			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
演奏の基礎技能と人前での表現力を身につけ、保育園・幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
音楽の基礎的な技能を習得すると共に、特にピアノ技能、弾き歌い技能を身につける。
音楽の基礎的な部分については、基本的にクラス授業の形態をとる。
また、2回の到達度確認によって、習得度を確認する。
詳しくは、内規を参照すること。（教科書は1回目の授業時に必要なものを説明するので、それを聞いてから購入すること）

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
実技授業なので、与えられた課題をやり、必ず予習復習をして臨むこと。レッスン前後の時間がある場合は練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン1
第3回　歌唱の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン2
第4回　こどもの歌についてのクラス授業、個人及びグループレッスン3
第5回　小学校歌唱教材についてのクラス授業、個人及びグループレッスン4
第6回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン5
第7回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン6
第8回　到達度テスト1
第9回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン7
第10回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン8
第11回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン9
第12回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン10
第13回　こどもの歌や小学校歌唱教材のまとめのクラス授業、個人及びグループレッスン11
第14回　人前で演奏するためのクラス授業、個人及びグループレッスン12
第15回　到達度テスト2

[成績評価方法]
実技テストの成績とレッスンの状況、クラス授業への取り組みによって総合的に評価する。
実技テスト50%、その他50%
実技テスト結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	宮内　晴美			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社（9784778500566）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで使用。　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社（9784276821026）
こどものうた100　＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社（9784805481868）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社（9784111701957 ）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社（9784111010103）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア（9784636958294）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・阪井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8 ）

S68026

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	山口　雅敏			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
演奏の基礎技能と人前での表現力を身につけ,保育園・幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
音楽の基礎的な技能を習得すると共に、特にピアノ技能、弾き歌い技能を身につける。
音楽の基礎的な部分については、基本的にクラス授業の形態をとる。
また、2回の到達度確認によって、習得度を確認する。
詳しくは、内規を参照すること。(教科書は1回目の授業時に必要なものを説明するので、それを聞いてから購入すること)

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
実技授業なので、与えられた課題をやり、必ず予習復習をして臨むこと。レッスン前後の時間がある場合は練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン1
第3回　歌唱の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン2
第4回　こどもの歌についてのクラス授業、個人及びグループレッスン3
第5回　小学校歌唱教材についてのクラス授業、個人及びグループレッスン4
第6回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン5
第7回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン6
第8回　到達度テスト1
第9回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン7
第10回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン8
第11回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン9
第12回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン10
第13回　こどもの歌や小学校歌唱教材のまとめのクラス授業、個人及びグループレッスン11
第14回　人前で演奏するためのクラス授業、個人及びグループレッスン12
第15回　到達度テスト2

[成績評価方法]
実技テストの成績とレッスンの状況、クラス授業への取り組みによって総合的に評価する。
実技テスト50%、その他50%
実技テスト結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	山口　雅敏			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで使用。　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社（978-4-276-82101-9
）
こどものうた100　＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社（978-4111701957 ）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社（978-4-11-101010-3）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・阪井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8 ）

S68027

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	山下　佑子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
演奏の基礎技能と人前での表現力を身につけ,保育園・幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
音楽の基礎的な技能を習得すると共に、特にピアノ技能、弾き歌い技能を身につける。
音楽の基礎的な部分については、基本的にクラス授業の形態をとる。
また、2回の到達度確認によって、習得度を確認する。
詳しくは、内規を参照すること。(教科書は1回目の授業時に必要なものを説明するので、それを聞いてから購入すること)

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
実技授業なので、与えられた課題をやり、必ず予習復習をして臨むこと。レッスン前後の時間がある場合は練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン1
第3回　歌唱の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン2
第4回　こどもの歌についてのクラス授業、個人及びグループレッスン3
第5回　小学校歌唱教材についてのクラス授業、個人及びグループレッスン4
第6回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン5
第7回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン6
第8回　到達度テスト1
第9回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン7
第10回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン8
第11回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン9
第12回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン10
第13回　こどもの歌や小学校歌唱教材のまとめのクラス授業、個人及びグループレッスン11
第14回　人前で演奏するためのクラス授業、個人及びグループレッスン12
第15回　到達度テスト2

[成績評価方法]
実技テストの成績とレッスンの状況、クラス授業への取り組みによって総合的に評価する。
実技テスト50%、その他50%
実技テスト結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	山下　佑子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで使用。　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社（978-4-276-82101-9
）
こどものうた100　＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社（978-4111701957 ）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社（978-4-11-101010-3）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・阪井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8 ）

S68028

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	雪原　典子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
演奏の基礎技能と人前での表現力を身につけ,保育園・幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
音楽の基礎的な技能を習得すると共に、特にピアノ技能、弾き歌い技能を身につける。
音楽の基礎的な部分については、基本的にクラス授業の形態をとる。
また、2回の到達度確認によって、習得度を確認する。
詳しくは、内規を参照すること。(教科書は1回目の授業時に必要なものを説明するので、それを聞いてから購入すること)

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
実技授業なので、与えられた課題をやり、必ず予習復習をして臨むこと。レッスン前後の時間がある場合は練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン1
第3回　歌唱の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン2
第4回　こどもの歌についてのクラス授業、個人及びグループレッスン3
第5回　小学校歌唱教材についてのクラス授業、個人及びグループレッスン4
第6回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン5
第7回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン6
第8回　到達度テスト1
第9回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン7
第10回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン8
第11回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン9
第12回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン10
第13回　こどもの歌や小学校歌唱教材のまとめのクラス授業、個人及びグループレッスン11
第14回　人前で演奏するためのクラス授業、個人及びグループレッスン12
第15回　到達度テスト2

[成績評価方法]
実技テストの成績とレッスンの状況、クラス授業への取り組みによって総合的に評価する。
実技テスト50%、その他50%
実技テスト結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	雪原　典子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで使用。　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社（978-4-276-82101-9
）
こどものうた100　＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社（978-4111701957 ）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社（978-4-11-101010-3）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・阪井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8 ）

S68029

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	久我　裕子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
演奏の基礎技能と人前での表現力を身につけ,保育園・幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
音楽の基礎的な技能を習得すると共に、特にピアノ技能、弾き歌い技能を身につける。
音楽の基礎的な部分については、基本的にクラス授業の形態をとる。
また、2回の到達度確認によって、習得度を確認する。
詳しくは、内規を参照すること。(教科書は1回目の授業時に必要なものを説明するので、それを聞いてから購入すること)

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
実技授業なので、与えられた課題をやり、必ず予習復習をして臨むこと。レッスン前後の時間がある場合は練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]

第1回　オリエンテーション
第2回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業1、個人及びグループレッスン1
第3回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業2、個人及びグループレッスン2
第4回　歌唱の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン3
第5回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン4
第6回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン5
第7回　弾き歌いの伴奏付けについてのクラス授業、個人及びグループレッスン6
第9回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業3、個人及びグループレッスン7
第10回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業4、個人及びグループレッスン8
第11回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン9
第12回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン10
第13回　こどもの歌や小学校歌唱教材のまとめのクラス授業、個人及びグループレッスン11
第14回　人前で演奏するための授業、個人及びグループレッスン12
第15回　到達度確認、後半のまとめ

[成績評価方法]
実技テストの成績とレッスンの状況、クラス授業への取り組みによって総合的に評価する。
実技テスト50%、その他50%
実技テスト結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	久我　裕子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社（9784778500566）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで使用。　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社（9784276821026）
こどものうた100　＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社（9784805481868）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社（9784111701957）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社（9784111010103）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア（9784636958294）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・阪井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8 ）

S68040

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	小林　由佳			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
演奏の基礎技能と人前での表現力を身につけ,保育園・幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
音楽の基礎的な技能を習得すると共に、特にピアノ技能、弾き歌い技能を身につける。
音楽の基礎的な部分については、基本的にクラス授業の形態をとる。
また、2回の到達度確認によって、習得度を確認する。
詳しくは、内規を参照すること。(教科書は1回目の授業時に必要なものを説明するので、それを聞いてから購入すること)

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
実技授業なので、与えられた課題をやり、必ず予習復習をして臨むこと。レッスン前後の時間がある場合は練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業1、個人及びグループレッスン1
第3回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業2、個人及びグループレッスン2
第4回　歌唱の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン3
第5回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン4
第6回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン5
第7回　弾き歌いの伴奏付けについてのクラス授業、個人及びグループレッスン6
第9回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業3、個人及びグループレッスン7
第10回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業4、個人及びグループレッスン8
第11回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン9
第12回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン10
第13回　こどもの歌や小学校歌唱教材のまとめのクラス授業、個人及びグループレッスン11
第14回　人前で演奏するためのクラス授業、個人及びグループレッスン12
第15回　到達度確認、後半のまとめ

[成績評価方法]
実技テストの成績とレッスンの状況、クラス授業への取り組みによって総合的に評価する。
実技テスト50%、その他50%
実技テスト結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	小林　由佳			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで使用。　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社（978-4-276-82101-9
）
こどものうた100　＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社（978-4111701957 ）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社（978-4-11-101010-3）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・阪井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8 ）

S68041

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	鈴江　美子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
演奏の基礎技能と人前での表現力を身につけ,保育園・幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
音楽の基礎的な技能を習得すると共に、特にピアノ技能、弾き歌い技能を身につける。
音楽の基礎的な部分については、基本的にクラス授業の形態をとる。
また、2回の到達度確認によって、習得度を確認する。
詳しくは、内規を参照すること。(教科書は1回目の授業時に必要なものを説明するので、それを聞いてから購入すること)

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
実技授業なので、与えられた課題をやり、必ず予習復習をして臨むこと。レッスン前後の時間がある場合は練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン1
第3回　歌唱の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン2
第4回　こどもの歌についてのクラス授業、個人及びグループレッスン3
第5回　小学校歌唱教材についてのクラス授業、個人及びグループレッスン4
第6回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン5
第7回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン6
第8回　到達度テスト1
第9回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン7
第10回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン8
第11回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン9
第12回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン10
第13回　こどもの歌や小学校歌唱教材のまとめのクラス授業、個人及びグループレッスン11
第14回　人前で演奏するためのクラス授業、個人及びグループレッスン12
第15回　到達度テスト2

[成績評価方法]
実技テストの成績とレッスンの状況、クラス授業への取り組みによって総合的に評価する。
実技テスト50%、その他50%
実技テスト結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	鈴江　美子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで使用。　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社（978-4-276-82101-9
）
こどものうた100　＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社（978-4111701957 ）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社（978-4-11-101010-3）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・阪井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8 ）

S68042

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	田中　琴弓			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
演奏の基礎技能と人前での表現力を身につけ,保育園・幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
音楽の基礎的な技能を習得すると共に、特にピアノ技能、弾き歌い技能を身につける。
音楽の基礎的な部分については、基本的にクラス授業の形態をとる。
また、2回の到達度確認によって、習得度を確認する。
詳しくは、内規を参照すること。(教科書は1回目の授業時に必要なものを説明するので、それを聞いてから購入すること)

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
実技授業なので、与えられた課題をやり、必ず予習復習をして臨むこと。レッスン前後の時間がある場合は練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]

第1回　オリエンテーション
第2回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業1、個人及びグループレッスン1
第3回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業2、個人及びグループレッスン2
第4回　歌唱の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン3
第5回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン4
第6回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン5
第7回　弾き歌いの伴奏付けについてのクラス授業、個人及びグループレッスン6
第9回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業3、個人及びグループレッスン7
第10回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業4、個人及びグループレッスン8
第11回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン9
第12回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン10
第13回　こどもの歌や小学校歌唱教材のまとめのクラス授業、個人及びグループレッスン11
第14回　人前で演奏するための授業、個人及びグループレッスン12
第15回　到達度確認、後半のまとめ

[成績評価方法]
実技テストの成績とレッスンの状況、クラス授業への取り組みによって総合的に評価する。
実技テスト50%、その他50%
実技テスト結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	田中　琴弓			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで使用。　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社（978-4-276-82101-9
）
こどものうた100　＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社（978-4111701957 ）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社（978-4-11-101010-3）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・阪井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8 ）

S68043

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	東　恵子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
演奏の基礎技能と人前での表現力を身につけ,保育園・幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
音楽の基礎的な技能を習得すると共に、特にピアノ技能、弾き歌い技能を身につける。
音楽の基礎的な部分については、基本的にクラス授業の形態をとる。
また、2回の到達度確認によって、習得度を確認する。
詳しくは、内規を参照すること。(教科書は1回目の授業時に必要なものを説明するので、それを聞いてから購入すること)

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
実技授業なので、与えられた課題をやり、必ず予習復習をして臨むこと。レッスン前後の時間がある場合は練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン1
第3回　歌唱の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン2
第4回　こどもの歌についてのクラス授業、個人及びグループレッスン3
第5回　小学校歌唱教材についてのクラス授業、個人及びグループレッスン4
第6回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン5
第7回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン6
第8回　到達度テスト1
第9回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン7
第10回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン8
第11回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン9
第12回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン10
第13回　こどもの歌や小学校歌唱教材のまとめのクラス授業、個人及びグループレッスン11
第14回　人前で演奏するためのクラス授業、個人及びグループレッスン12
第15回　到達度テスト2

[成績評価方法]
実技テストの成績とレッスンの状況、クラス授業への取り組みによって総合的に評価する。
実技テスト50%、その他50%
実技テスト結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	東　恵子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで使用。　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社（978-4-276-82101-9
）
こどものうた100　＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社（978-4111701957 ）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社（978-4-11-101010-3）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・阪井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8 ）

S68044

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	福田　可織			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
演奏の基礎技能と人前での表現力を身につけ,保育園・幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
音楽の基礎的な技能を習得すると共に、特にピアノ技能、弾き歌い技能を身につける。
音楽の基礎的な部分については、基本的にクラス授業の形態をとる。
また、2回の到達度確認によって、習得度を確認する。
詳しくは、内規を参照すること。(教科書は1回目の授業時に必要なものを説明するので、それを聞いてから購入すること)

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
実技授業なので、与えられた課題をやり、必ず予習復習をして臨むこと。レッスン前後の時間がある場合は練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン1
第3回　歌唱の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン2
第4回　こどもの歌についてのクラス授業、個人及びグループレッスン3
第5回　小学校歌唱教材についてのクラス授業、個人及びグループレッスン4
第6回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン5
第7回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン6
第8回　到達度テスト1
第9回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン7
第10回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン8
第11回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン9
第12回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン10
第13回　こどもの歌や小学校歌唱教材のまとめのクラス授業、個人及びグループレッスン11
第14回　人前で演奏するためのクラス授業、個人及びグループレッスン12
第15回　到達度テスト2

[成績評価方法]
実技テストの成績とレッスンの状況、クラス授業への取り組みによって総合的に評価する。
実技テスト50%、その他50%
実技テスト結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	福田　可織			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで使用。　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社（978-4-276-82101-9
）
こどものうた100　＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社（978-4111701957　）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社（978-4-11-101010-3）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・阪井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8　）

S68045

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	宮内　晴美			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
演奏の基礎技能と人前での表現力を身につけ、保育園・幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
音楽の基礎的な技能を習得すると共に、特にピアノ技能、弾き歌い技能を身につける。
音楽の基礎的な部分については、基本的にクラス授業の形態をとる。
また、2回の到達度確認によって、習得度を確認する。
詳しくは、内規を参照すること。（教科書は1回目の授業時に必要なものを説明するので、それを聞いてから購入すること）

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
実技授業なので、与えられた課題をやり、必ず予習復習をして臨むこと。レッスン前後の時間がある場合は練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン1
第3回　歌唱の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン2
第4回　こどもの歌についてのクラス授業、個人及びグループレッスン3
第5回　小学校歌唱教材についてのクラス授業、個人及びグループレッスン4
第6回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン5
第7回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン6
第8回　到達度テスト1
第9回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン7
第10回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン8
第11回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン9
第12回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン10
第13回　こどもの歌や小学校歌唱教材のまとめのクラス授業、個人及びグループレッスン11
第14回　人前で演奏するためのクラス授業、個人及びグループレッスン12
第15回　到達度テスト2

[成績評価方法]
実技テストの成績とレッスンの状況、クラス授業への取り組みによって総合的に評価する。
実技テスト50%、その他50%
実技テスト結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	宮内　晴美			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社（9784778500566）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで使用。　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社（9784276821026）
こどものうた100　＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社（9784805481868）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社（9784111701957）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社（9784111010103）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア（9784636958294）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・阪井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8　）

S68046

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	山口　雅敏			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
演奏の基礎技能と人前での表現力を身につけ,保育園・幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
音楽の基礎的な技能を習得すると共に、特にピアノ技能、弾き歌い技能を身につける。
音楽の基礎的な部分については、基本的にクラス授業の形態をとる。
また、2回の到達度確認によって、習得度を確認する。
詳しくは、内規を参照すること。(教科書は1回目の授業時に必要なものを説明するので、それを聞いてから購入すること)

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
実技授業なので、与えられた課題をやり、必ず予習復習をして臨むこと。レッスン前後の時間がある場合は練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン1
第3回　歌唱の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン2
第4回　こどもの歌についてのクラス授業、個人及びグループレッスン3
第5回　小学校歌唱教材についてのクラス授業、個人及びグループレッスン4
第6回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン5
第7回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン6
第8回　到達度テスト1
第9回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン7
第10回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン8
第11回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン9
第12回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン10
第13回　こどもの歌や小学校歌唱教材のまとめのクラス授業、個人及びグループレッスン11
第14回　人前で演奏するためのクラス授業、個人及びグループレッスン12
第15回　到達度テスト2

[成績評価方法]
実技テストの成績とレッスンの状況、クラス授業への取り組みによって総合的に評価する。
実技テスト50%、その他50%
実技テスト結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	山口　雅敏			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで使用。　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社（978-4-276-82101-9
）
こどものうた100　＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社（978-4111701957 ）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社（978-4-11-101010-3）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・阪井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8 ）

S68047

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	雪原　典子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
演奏の基礎技能と人前での表現力を身につけ,保育園・幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
音楽の基礎的な技能を習得すると共に、特にピアノ技能、弾き歌い技能を身につける。
音楽の基礎的な部分については、基本的にクラス授業の形態をとる。
また、2回の到達度確認によって、習得度を確認する。
詳しくは、内規を参照すること。(教科書は1回目の授業時に必要なものを説明するので、それを聞いてから購入すること)

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
実技授業なので、与えられた課題をやり、必ず予習復習をして臨むこと。レッスン前後の時間がある場合は練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン1
第3回　歌唱の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン2
第4回　こどもの歌についてのクラス授業、個人及びグループレッスン3
第5回　小学校歌唱教材についてのクラス授業、個人及びグループレッスン4
第6回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン5
第7回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン6
第8回　到達度テスト1
第9回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン7
第10回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン8
第11回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン9
第12回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン10
第13回　こどもの歌や小学校歌唱教材のまとめのクラス授業、個人及びグループレッスン11
第14回　人前で演奏するためのクラス授業、個人及びグループレッスン12
第15回　到達度テスト2

[成績評価方法]
実技テストの成績とレッスンの状況、クラス授業への取り組みによって総合的に評価する。
実技テスト50%、その他50%
実技テスト結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	雪原　典子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで使用。　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社（978-4-276-82101-9
）
こどものうた100　＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社（978-4111701957 ）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社（978-4-11-101010-3）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・阪井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8 ）

S68048

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	鈴江　美子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
演奏の基礎技能と人前での表現力を身につけ,保育園・幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
音楽の基礎的な技能を習得すると共に、特にピアノ技能、弾き歌い技能を身につける。
音楽の基礎的な部分については、基本的にクラス授業の形態をとる。
また、2回の到達度確認によって、習得度を確認する。
詳しくは、内規を参照すること。(教科書は1回目の授業時に必要なものを説明するので、それを聞いてから購入すること)

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
実技授業なので、与えられた課題をやり、必ず予習復習をして臨むこと。レッスン前後の時間がある場合は練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン1
第3回　歌唱の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン2
第4回　こどもの歌についてのクラス授業、個人及びグループレッスン3
第5回　小学校歌唱教材についてのクラス授業、個人及びグループレッスン4
第6回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン5
第7回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン6
第8回　到達度テスト1
第9回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン7
第10回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン8
第11回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン9
第12回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン10
第13回　こどもの歌や小学校歌唱教材のまとめのクラス授業、個人及びグループレッスン11
第14回　人前で演奏するためのクラス授業、個人及びグループレッスン12
第15回　到達度テスト2

[成績評価方法]
実技テストの成績とレッスンの状況、クラス授業への取り組みによって総合的に評価する。
実技テスト50%、その他50%
実技テスト結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	鈴江　美子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで使用。　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社（978-4-276-82101-9
）
こどものうた100　＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社（978-4111701957 ）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社（978-4-11-101010-3）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・阪井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8 ）

S68060

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	田中　琴弓			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
演奏の基礎技能と人前での表現力を身につけ,保育園・幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
音楽の基礎的な技能を習得すると共に、特にピアノ技能、弾き歌い技能を身につける。
音楽の基礎的な部分については、基本的にクラス授業の形態をとる。
また、2回の到達度確認によって、習得度を確認する。
詳しくは、内規を参照すること。(教科書は1回目の授業時に必要なものを説明するので、それを聞いてから購入すること)

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
実技授業なので、与えられた課題をやり、必ず予習復習をして臨むこと。レッスン前後の時間がある場合は練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]

第1回　オリエンテーション
第2回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業1、個人及びグループレッスン1
第3回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業2、個人及びグループレッスン2
第4回　歌唱の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン3
第5回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン4
第6回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン5
第7回　弾き歌いの伴奏付けについてのクラス授業、個人及びグループレッスン6
第9回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業3、個人及びグループレッスン7
第10回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業4、個人及びグループレッスン8
第11回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン9
第12回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン10
第13回　こどもの歌や小学校歌唱教材のまとめのクラス授業、個人及びグループレッスン11
第14回　人前で演奏するための授業、個人及びグループレッスン12
第15回　到達度確認、後半のまとめ

[成績評価方法]
実技テストの成績とレッスンの状況、クラス授業への取り組みによって総合的に評価する。
実技テスト50%、その他50%
実技テスト結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	田中　琴弓			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで使用。　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社（978-4-276-82101-9
）
こどものうた100　＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社（978-4111701957 ）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社（978-4-11-101010-3）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・阪井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8 ）

S68061

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	辻　真理子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
演奏の基礎技能と人前での表現力を身につけ,保育園・幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
音楽の基礎的な技能を習得すると共に、特にピアノ技能、弾き歌い技能を身につける。
音楽の基礎的な部分については、基本的にクラス授業の形態をとる。
また、2回の到達度確認によって、習得度を確認する。
詳しくは、内規を参照すること。(教科書は1回目の授業時に必要なものを説明するので、それを聞いてから購入すること)

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
実技授業なので、与えられた課題をやり、必ず予習復習をして臨むこと。レッスン前後の時間がある場合は練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン1
第3回　歌唱の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン2
第4回　こどもの歌についてのクラス授業、個人及びグループレッスン3
第5回　小学校歌唱教材についてのクラス授業、個人及びグループレッスン4
第6回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン5
第7回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン6
第8回　到達度テスト1
第9回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン7
第10回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン8
第11回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン9
第12回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン10
第13回　こどもの歌や小学校歌唱教材のまとめのクラス授業、個人及びグループレッスン11
第14回　人前で演奏するためのクラス授業、個人及びグループレッスン12
第15回　到達度テスト2

[成績評価方法]
実技テストの成績とレッスンの状況、クラス授業への取り組みによって総合的に評価する。
実技テスト50%、その他50%
実技テスト結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	辻　真理子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで使用。　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社（978-4-276-82101-9
）
こどものうた100　＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社（978-4111701957 ）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社（978-4-11-101010-3）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・阪井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8 ）

S68062

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	東　恵子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
演奏の基礎技能と人前での表現力を身につけ,保育園・幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
音楽の基礎的な技能を習得すると共に、特にピアノ技能、弾き歌い技能を身につける。
音楽の基礎的な部分については、基本的にクラス授業の形態をとる。
また、2回の到達度確認によって、習得度を確認する。
詳しくは、内規を参照すること。(教科書は1回目の授業時に必要なものを説明するので、それを聞いてから購入すること)

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
実技授業なので、与えられた課題をやり、必ず予習復習をして臨むこと。レッスン前後の時間がある場合は練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン1
第3回　歌唱の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン2
第4回　こどもの歌についてのクラス授業、個人及びグループレッスン3
第5回　小学校歌唱教材についてのクラス授業、個人及びグループレッスン4
第6回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン5
第7回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン6
第8回　到達度テスト1
第9回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン7
第10回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン8
第11回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン9
第12回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン10
第13回　こどもの歌や小学校歌唱教材のまとめのクラス授業、個人及びグループレッスン11
第14回　人前で演奏するためのクラス授業、個人及びグループレッスン12
第15回　到達度テスト2

[成績評価方法]
実技テストの成績とレッスンの状況、クラス授業への取り組みによって総合的に評価する。
実技テスト50%、その他50%
実技テスト結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	東　恵子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで使用。　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社（978-4-276-82101-9
）
こどものうた100　＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社（978-4111701957 ）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社（978-4-11-101010-3）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・阪井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8 ）

S68063

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	福田　可織			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
演奏の基礎技能と人前での表現力を身につけ,保育園・幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
音楽の基礎的な技能を習得すると共に、特にピアノ技能、弾き歌い技能を身につける。
音楽の基礎的な部分については、基本的にクラス授業の形態をとる。
また、2回の到達度確認によって、習得度を確認する。
詳しくは、内規を参照すること。(教科書は1回目の授業時に必要なものを説明するので、それを聞いてから購入すること)

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
実技授業なので、与えられた課題をやり、必ず予習復習をして臨むこと。レッスン前後の時間がある場合は練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン1
第3回　歌唱の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン2
第4回　こどもの歌についてのクラス授業、個人及びグループレッスン3
第5回　小学校歌唱教材についてのクラス授業、個人及びグループレッスン4
第6回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン5
第7回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン6
第8回　到達度テスト1
第9回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン7
第10回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン8
第11回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン9
第12回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン10
第13回　こどもの歌や小学校歌唱教材のまとめのクラス授業、個人及びグループレッスン11
第14回　人前で演奏するためのクラス授業、個人及びグループレッスン12
第15回　到達度テスト2

[成績評価方法]
実技テストの成績とレッスンの状況、クラス授業への取り組みによって総合的に評価する。
実技テスト50%、その他50%
実技テスト結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	福田　可織			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで使用。　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社　（978-4-276-82101-9
）
こどものうた100　＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルドﾞ本社　（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（978-4111701957　）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社　（978-4-11-101010-3）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・阪井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8　）

S68064

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	福田　絵麻			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
演奏の基礎技能と人前での表現力を身につけ,保育園・幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
音楽の基礎的な技能を習得すると共に、特にピアノ技能、弾き歌い技能を身につける。
音楽の基礎的な部分については、基本的にクラス授業の形態をとる。
また、2回の到達度確認によって、習得度を確認する。
詳しくは、内規を参照すること。(教科書は1回目の授業時に必要なものを説明するので、それを聞いてから購入すること)

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
実技授業なので、与えられた課題をやり、必ず予習復習をして臨むこと。レッスン前後の時間がある場合は練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン1
第3回　歌唱の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン2
第4回　こどもの歌についてのクラス授業、個人及びグループレッスン3
第5回　小学校歌唱教材についてのクラス授業、個人及びグループレッスン4
第6回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン5
第7回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン6
第8回　到達度テスト1
第9回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン7
第10回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン8
第11回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン9
第12回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン10
第13回　こどもの歌や小学校歌唱教材のまとめのクラス授業、個人及びグループレッスン11
第14回　人前で演奏するためのクラス授業、個人及びグループレッスン12
第15回　到達度テスト2

[成績評価方法]
実技テストの成績とレッスンの状況、クラス授業への取り組みによって総合的に評価する。
実技テスト50%、その他50%
実技テスト結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	福田　絵麻			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで使用。　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社（978-4-276-82101-9
）
こどものうた100　＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社（978-4111701957 ）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社（978-4-11-101010-3）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・阪井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8 ）

S68065

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	宮内　晴美			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
演奏の基礎技能と人前での表現力を身につけ、保育園・幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
音楽の基礎的な技能を習得すると共に、特にピアノ技能、弾き歌い技能を身につける。
音楽の基礎的な部分については、基本的にクラス授業の形態をとる。
また、2回の到達度確認によって、習得度を確認する。
詳しくは、内規を参照すること。（教科書は1回目の授業時に必要なものを説明するので、それを聞いてから購入すること）

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
実技授業なので、与えられた課題をやり、必ず予習復習をして臨むこと。レッスン前後の時間がある場合は練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン1
第3回　歌唱の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン2
第4回　こどもの歌についてのクラス授業、個人及びグループレッスン3
第5回　小学校歌唱教材についてのクラス授業、個人及びグループレッスン4
第6回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン5
第7回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン6
第8回　到達度テスト1
第9回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン7
第10回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン8
第11回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン9
第12回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン10
第13回　こどもの歌や小学校歌唱教材のまとめのクラス授業、個人及びグループレッスン11
第14回　人前で演奏するためのクラス授業、個人及びグループレッスン12
第15回　到達度テスト2

[成績評価方法]
実技テストの成績とレッスンの状況、クラス授業への取り組みによって総合的に評価する。
実技テスト50%、その他50%
実技テスト結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	宮内　晴美			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社（9784778500566）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで使用。　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社（9784276821026）
こどものうた100　＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社（9784805481868）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社（9784111701957 ）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社（9784111010103）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア（9784636958294）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・阪井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8 ）

S68066

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	山口　雅敏			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
演奏の基礎技能と人前での表現力を身につけ,保育園・幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
音楽の基礎的な技能を習得すると共に、特にピアノ技能、弾き歌い技能を身につける。
音楽の基礎的な部分については、基本的にクラス授業の形態をとる。
また、2回の到達度確認によって、習得度を確認する。
詳しくは、内規を参照すること。(教科書は1回目の授業時に必要なものを説明するので、それを聞いてから購入すること)

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
実技授業なので、与えられた課題をやり、必ず予習復習をして臨むこと。レッスン前後の時間がある場合は練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン1
第3回　歌唱の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン2
第4回　こどもの歌についてのクラス授業、個人及びグループレッスン3
第5回　小学校歌唱教材についてのクラス授業、個人及びグループレッスン4
第6回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン5
第7回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン6
第8回　到達度テスト1
第9回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン7
第10回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン8
第11回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン9
第12回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン10
第13回　こどもの歌や小学校歌唱教材のまとめのクラス授業、個人及びグループレッスン11
第14回　人前で演奏するためのクラス授業、個人及びグループレッスン12
第15回　到達度テスト2

[成績評価方法]
実技テストの成績とレッスンの状況、クラス授業への取り組みによって総合的に評価する。
実技テスト50%、その他50%
実技テスト結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	山口　雅敏			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで使用。　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社（978-4-276-82101-9
）
こどものうた100　＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社（978-4111701957 ）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社（978-4-11-101010-3）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・阪井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8 ）

S68067

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	雪原　典子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
演奏の基礎技能と人前での表現力を身につけ,保育園・幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
音楽の基礎的な技能を習得すると共に、特にピアノ技能、弾き歌い技能を身につける。
音楽の基礎的な部分については、基本的にクラス授業の形態をとる。
また、2回の到達度確認によって、習得度を確認する。
詳しくは、内規を参照すること。(教科書は1回目の授業時に必要なものを説明するので、それを聞いてから購入すること)

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
実技授業なので、与えられた課題をやり、必ず予習復習をして臨むこと。レッスン前後の時間がある場合は練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　音楽の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン1
第3回　歌唱の基礎的な内容についてのクラス授業、個人及びグループレッスン2
第4回　こどもの歌についてのクラス授業、個人及びグループレッスン3
第5回　小学校歌唱教材についてのクラス授業、個人及びグループレッスン4
第6回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン5
第7回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業1、個人及びグループレッスン6
第8回　到達度テスト1
第9回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン7
第10回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業2、個人及びグループレッスン8
第11回　こどもの歌の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン9
第12回　小学校歌唱教材の弾き歌いについてのクラス授業3、個人及びグループレッスン10
第13回　こどもの歌や小学校歌唱教材のまとめのクラス授業、個人及びグループレッスン11
第14回　人前で演奏するためのクラス授業、個人及びグループレッスン12
第15回　到達度テスト2

[成績評価方法]
実技テストの成績とレッスンの状況、クラス授業への取り組みによって総合的に評価する。
実技テスト50%、その他50%
実技テスト結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得			
担当者	雪原　典子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで使用。　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社（978-4-276-82101-9
）
こどものうた100　＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社（978-4111701957 ）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社（978-4-11-101010-3）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・阪井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8 ）

S68068

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	小林　田鶴子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰで習得した演奏の基礎技能と人前での表現力をさらに伸ばし、幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
器楽Ⅰで習得した音楽の基礎技能を元に、ピアノ技能、弾き歌い技能（幼児コースは表現も加わる）を伸ばす。実技テストによって、習得度を測る。
詳しくは、内規を参照すること。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
実技授業なので、必ず予習復習をして臨むこと。また、レッスンの前後は、ピアノ練習室等でしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　個人およびグループレッスン1
第3回　個人およびグループレッスン2
第4回　個人およびグループレッスン3
第5回　個人およびグループレッスン4
第6回　個人およびグループレッスン5
第7回　個人およびグループレッスン6
第8回　到達度確認、前半のまとめ
第9回　個人およびグループレッスン7
第10回　個人およびグループレッスン8
第11回個人およびグループレッスン9
第12回　個人およびグループレッスン10
第13回　個人およびグループレッスン11
第14回　個人およびグループレッスン12
第15回　到達度確認、後半のまとめ

[成績評価方法]
2回の実技テスト（50%）と、レッスンの状況等(50%)によって総合的に評価する。
また、テスト結果については原則として、レッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
試験後に試験時の評価などを説明して、練習課題とする。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	小林　田鶴子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで
使用　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社　（978-4-276-82101-9）
こどものうた１００＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（978-4111701957）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！　音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・坂井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8）

S68200

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	上原　輝子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰで習得した演奏の基礎技能と人前での表現力をさらに伸ばし、幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
器楽Ⅰで習得した音楽の基礎技能を元に、ピアノ技能、弾き歌い技能（幼児コースは表現も加わる）を伸ばす。実技テストによって、習得度を測る。
詳しくは、内規を参照すること。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
実技授業なので、必ず予習復習をして臨むこと。また、レッスンの前後は、ピアノ練習室等でしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　個人およびグループレッスン1
第3回　個人およびグループレッスン2
第4回　個人およびグループレッスン3
第5回　個人およびグループレッスン4
第6回　個人およびグループレッスン5
第7回　個人およびグループレッスン6
第8回　到達度確認、前半のまとめ
第9回　個人およびグループレッスン7
第10回　個人およびグループレッスン8
第11回個人およびグループレッスン9
第12回　個人およびグループレッスン10
第13回　個人およびグループレッスン11
第14回　個人およびグループレッスン12
第15回　到達度確認、後半のまとめ

[成績評価方法]
2回の実技テスト（80%）と、レッスンの状況等(20%)によって総合的に評価する。
また、テスト結果については原則として、レッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	上原　輝子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで
使用　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社　（978-4-276-82101-9）
こどものうた１００＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（978-4111701957）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！　音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・坂井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8）

S68201

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	久我　裕子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰで習得した演奏の基礎技能と人前での表現力をさらに伸ばし、幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
器楽Ⅰで習得した音楽の基礎技能を元に、ピアノ技能、弾き歌い技能（幼児コースは表現も加わる）を伸ばす。実技テストによって、習得度を測る。
詳しくは、内規を参照すること。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
実技授業なので、必ず予習復習をして臨むこと。また、レッスンの前後は、ピアノ練習室等でしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　個人およびグループレッスン1
第3回　個人およびグループレッスン2
第4回　個人およびグループレッスン3
第5回　個人およびグループレッスン4
第6回　個人およびグループレッスン5
第7回　個人およびグループレッスン6
第8回　到達度確認、前半のまとめ
第9回　個人およびグループレッスン7
第10回　個人およびグループレッスン8
第11回個人およびグループレッスン9
第12回　個人およびグループレッスン10
第13回　個人およびグループレッスン11
第14回　個人およびグループレッスン12
第15回　到達度確認、後半のまとめ

[成績評価方法]
2回の実技テスト（50%）と、レッスンの状況等(50%)によって総合的に評価する。
また、テスト結果については原則として、レッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	久我　裕子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで
使用　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社　（978-4-276-82101-9）
こどものうた１００＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（978-4111701957）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！　音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・坂井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8）

S68202

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	小林　由佳			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰで習得した演奏の基礎技能と人前での表現力をさらに伸ばし、幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
器楽Ⅰで習得した音楽の基礎技能を元に、ピアノ技能、弾き歌い技能（幼児コースは表現も加わる）を伸ばす。実技テストによって、習得度を測る。
詳しくは、内規を参照すること。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
実技授業なので、必ず予習復習をして臨むこと。また、レッスンの前後は、ピアノ練習室等でしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　個人およびグループレッスン1
第3回　個人およびグループレッスン2
第4回　個人およびグループレッスン3
第5回　個人およびグループレッスン4
第6回　個人およびグループレッスン5
第7回　個人およびグループレッスン6
第8回　到達度確認、前半のまとめ
第9回　個人およびグループレッスン7
第10回　個人およびグループレッスン8
第11回　個人およびグループレッスン9
第12回　個人およびグループレッスン10
第13回　個人およびグループレッスン11
第14回　個人およびグループレッスン12
第15回　到達度確認、後半のまとめ

[成績評価方法]
2回の実技テスト（50%）と、レッスンの状況等(50%)によって総合的に評価する。
また、テスト結果については原則として、レッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S68203

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	小林　由佳			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで
使用　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社　（978-4-276-82101-9）
こどものうた１００＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（978-4111701957）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！　音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・坂井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8）

S68203

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	田中　琴弓			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰで習得した演奏の基礎技能と人前での表現力をさらに伸ばし、幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
器楽Ⅰで習得した音楽の基礎技能を元に、ピアノ技能、弾き歌い技能（幼児コースは表現も加わる）を伸ばす。実技テストによって、習得度を測る。
詳しくは、内規を参照すること。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
実技授業なので、必ず予習復習をして臨むこと。また、レッスンの前後は、ピアノ練習室等でしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　個人およびグループレッスン1
第3回　個人およびグループレッスン2
第4回　個人およびグループレッスン3
第5回　個人およびグループレッスン4
第6回　個人およびグループレッスン5
第7回　個人およびグループレッスン6
第8回　到達度確認、前半のまとめ
第9回　個人およびグループレッスン7
第10回　個人およびグループレッスン8
第11回　個人およびグループレッスン9
第12回　個人およびグループレッスン10
第13回　個人およびグループレッスン11
第14回　個人およびグループレッスン12
第15回　到達度確認、後半のまとめ

[成績評価方法]
2回の実技テスト（50%）と、レッスンの状況等(50%)によって総合的に評価する。
また、テスト結果については原則として、レッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	田中　琴弓			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで
使用　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社　（978-4-276-82101-9）
こどものうた１００＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（978-4111701957）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！　音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・坂井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8）

S68204

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	辻　真理子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰで習得した演奏の基礎技能と人前での表現力をさらに伸ばし、幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
器楽Ⅰで習得した音楽の基礎技能を元に、ピアノ技能、弾き歌い技能（幼児コースは表現も加わる）を伸ばす。実技テストによって、習得度を測る。
詳しくは、内規を参照すること。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
実技授業なので、必ず予習復習をして臨むこと。また、レッスンの前後は、ピアノ練習室等でしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　個人およびグループレッスン1
第3回　個人およびグループレッスン2
第4回　個人およびグループレッスン3
第5回　個人およびグループレッスン4
第6回　個人およびグループレッスン5
第7回　個人およびグループレッスン6
第8回　到達度確認、前半のまとめ
第9回　個人およびグループレッスン7
第10回　個人およびグループレッスン8
第11回個人およびグループレッスン9
第12回　個人およびグループレッスン10
第13回　個人およびグループレッスン11
第14回　個人およびグループレッスン12
第15回　到達度確認、後半のまとめ

[成績評価方法]
2回の実技テスト（50%）と、レッスンの状況等(50%)によって総合的に評価する。
また、テスト結果については原則として、レッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S68205

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	辻　真理子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで
使用　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社　（978-4-276-82101-9）
こどものうた１００＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（978-4111701957）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！　音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・坂井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8）

S68205

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	福田　可織			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰで習得した演奏の基礎技能と人前での表現力をさらに伸ばし、幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
器楽Ⅰで習得した音楽の基礎技能を元に、ピアノ技能、弾き歌い技能（幼児コースは表現も加わる）を伸ばす。実技テストによって、習得度を測る。
詳しくは、内規を参照すること。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
実技授業なので、必ず予習復習をして臨むこと。また、レッスンの前後は、ピアノ練習室等でしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　個人およびグループレッスン１
第3回　個人およびグループレッスン２
第4回　個人およびグループレッスン３
第5回　個人およびグループレッスン４
第6回　個人およびグループレッスン５
第7回　個人およびグループレッスン６
第8回　到達度確認、前半のまとめ
第9回　個人およびグループレッスン7
第10回　個人およびグループレッスン８
第11回個人およびグループレッスン９
第12回　個人およびグループレッスン１０
第13回　個人およびグループレッスン１１
第14回　個人およびグループレッスン１２
第15回　到達度確認、後半のまとめ

[成績評価方法]
実技テストの成績とレッスンの状況などによって総合的に評価する。
実技テスト50%その他50%
テスト結果については原則として、レッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	福田　可織			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで
使用　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社　（978-4-276-82101-9）
こどものうた１００＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（978-4111701957）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！　音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・坂井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8）

S68206

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	宮内　晴美			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰで習得した演奏の基礎技能と人前での表現力をさらに伸ばし、幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
器楽Ⅰで習得した音楽の基礎技能を元に、ピアノ技能、弾き歌い技能（幼児コースは表現も加わる）を伸ばす。実技テストによって、習得度を測る。
詳しくは、内規を参照すること。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
実技授業なので、必ず予習復習をして臨むこと。また、レッスンの前後は、ピアノ練習室等でしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　個人およびグループレッスン１
第3回　個人およびグループレッスン２
第4回　個人およびグループレッスン３
第5回　個人およびグループレッスン４
第6回　個人およびグループレッスン５
第7回　個人およびグループレッスン６
第8回　到達度確認、前半のまとめ
第9回　個人およびグループレッスン7
第10回　個人およびグループレッスン８
第11回　個人およびグループレッスン９
第12回　個人およびグループレッスン１０
第13回　個人およびグループレッスン１１
第14回　個人およびグループレッスン１２
第15回　到達度確認、後半のまとめ

[成績評価方法]
2回の実技テスト（50%）と、レッスンの状況等（50%）によって総合的に評価する。
また、テスト結果については原則として、レッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	宮内　晴美			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで
使用　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社　（978-4-276-82101-9）
こどものうた１００＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（978-4111701957）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！　音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・坂井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8）

S68207

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	山下　佑子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰで習得した演奏の基礎技能と人前での表現力をさらに伸ばし、幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
器楽Ⅰで習得した音楽の基礎技能を元に、ピアノ技能、弾き歌い技能（幼児コースは表現も加わる）を伸ばす。実技テストによって、習得度を測る。
詳しくは、内規を参照すること。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
実技授業なので、必ず予習復習をして臨むこと。また、レッスンの前後は、ピアノ練習室等でしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　個人およびグループレッスン1
第3回　個人およびグループレッスン2
第4回　個人およびグループレッスン3
第5回　個人およびグループレッスン4
第6回　個人およびグループレッスン5
第7回　個人およびグループレッスン6
第8回　到達度確認、前半のまとめ
第9回　個人およびグループレッスン7
第10回　個人およびグループレッスン8
第11回個人およびグループレッスン9
第12回　個人およびグループレッスン10
第13回　個人およびグループレッスン11
第14回　個人およびグループレッスン12
第15回　到達度確認、後半のまとめ

[成績評価方法]
実技テストの成績とレッスンの状況、クラス授業への取り組みによって総合的に評価する。
実技テスト50%、その他50%
実技テスト結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	山下　佑子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで
使用　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社　（978-4-276-82101-9）
こどものうた１００＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（978-4111701957）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！　音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・坂井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8）

S68208

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	雪原　典子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰで習得した演奏の基礎技能と人前での表現力をさらに伸ばし、幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
器楽Ⅰで習得した音楽の基礎技能を元に、ピアノ技能、弾き歌い技能（幼児コースは表現も加わる）を伸ばす。実技テストによって、習得度を測る。
詳しくは、内規を参照すること。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
実技授業なので、必ず予習復習をして臨むこと。また、レッスンの前後は、ピアノ練習室等でしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　個人およびグループレッスン1
第3回　個人およびグループレッスン2
第4回　個人およびグループレッスン3
第5回　個人およびグループレッスン4
第6回　個人およびグループレッスン5
第7回　個人およびグループレッスン6
第8回　到達度確認、前半のまとめ
第9回　個人およびグループレッスン7
第10回　個人およびグループレッスン8
第11回個人およびグループレッスン9
第12回　個人およびグループレッスン10
第13回　個人およびグループレッスン11
第14回　個人およびグループレッスン12
第15回　到達度確認、後半のまとめ

[成績評価方法]
2回の実技テスト（50%）と、レッスンの状況等(50%)によって総合的に評価する。
また、テスト結果については原則として、レッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S68209

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	雪原　典子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで
使用　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社　（978-4-276-82101-9）
こどものうた１００＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（978-4111701957）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！　音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・坂井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8）

S68209

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	久我　裕子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰで習得した演奏の基礎技能と人前での表現力をさらに伸ばし、幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
器楽Ⅰで習得した音楽の基礎技能を元に、ピアノ技能、弾き歌い技能（幼児コースは表現も加わる）を伸ばす。実技テストによって、習得度を測る。
詳しくは、内規を参照すること。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
実技授業なので、必ず予習復習をして臨むこと。また、レッスンの前後は、ピアノ練習室等でしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　個人およびグループレッスン1
第3回　個人およびグループレッスン2
第4回　個人およびグループレッスン3
第5回　個人およびグループレッスン4
第6回　個人およびグループレッスン5
第7回　個人およびグループレッスン6
第8回　到達度確認、前半のまとめ
第9回　個人およびグループレッスン7
第10回　個人およびグループレッスン8
第11回個人およびグループレッスン9
第12回　個人およびグループレッスン10
第13回　個人およびグループレッスン11
第14回　個人およびグループレッスン12
第15回　到達度確認、後半のまとめ

[成績評価方法]
2回の実技テスト（50%）と、レッスンの状況等(50%)によって総合的に評価する。
また、テスト結果については原則として、レッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	久我　裕子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで
使用　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社　（978-4-276-82101-9）
こどものうた１００＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（978-4111701957）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！　音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・坂井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8）

S68220

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	鈴江　美子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰで習得した演奏の基礎技能と人前での表現力をさらに伸ばし、幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
器楽Ⅰで習得した音楽の基礎技能を元に、ピアノ技能、弾き歌い技能（幼児コースは表現も加わる）を伸ばす。実技テストによって、習得度を測る。
詳しくは、内規を参照すること。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
実技授業なので、必ず予習復習をして臨むこと。また、レッスンの前後は、ピアノ練習室等でしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　個人およびグループレッスン1
第3回　個人およびグループレッスン2
第4回　個人およびグループレッスン3
第5回　個人およびグループレッスン4
第6回　個人およびグループレッスン5
第7回　個人およびグループレッスン6
第8回　到達度確認、前半のまとめ
第9回　個人およびグループレッスン7
第10回　個人およびグループレッスン8
第11回個人およびグループレッスン9
第12回　個人およびグループレッスン10
第13回　個人およびグループレッスン11
第14回　個人およびグループレッスン12
第15回　到達度確認、後半のまとめ

[成績評価方法]
2回の実技テスト（50%）と、レッスンの状況等(50%)によって総合的に評価する。
また、テスト結果については原則として、レッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	鈴江　美子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで
使用　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社　（978-4-276-82101-9）
こどものうた１００＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（978-4111701957）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！　音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・坂井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8）

S68221

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	田中　琴弓			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰで習得した演奏の基礎技能と人前での表現力をさらに伸ばし、幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
器楽Ⅰで習得した音楽の基礎技能を元に、ピアノ技能、弾き歌い技能（幼児コースは表現も加わる）を伸ばす。実技テストによって、習得度を測る。
詳しくは、内規を参照すること。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
実技授業なので、必ず予習復習をして臨むこと。また、レッスンの前後は、ピアノ練習室等でしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　個人およびグループレッスン1
第3回　個人およびグループレッスン2
第4回　個人およびグループレッスン3
第5回　個人およびグループレッスン4
第6回　個人およびグループレッスン5
第7回　個人およびグループレッスン6
第8回　到達度確認、前半のまとめ
第9回　個人およびグループレッスン7
第10回　個人およびグループレッスン8
第11回個人およびグループレッスン9
第12回　個人およびグループレッスン10
第13回　個人およびグループレッスン11
第14回　個人およびグループレッスン12
第15回　到達度確認、後半のまとめ

[成績評価方法]
2回の実技テスト（50%）と、レッスンの状況等(50%)によって総合的に評価する。
また、テスト結果については原則として、レッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	田中　琴弓			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで
使用　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社　（978-4-276-82101-9）
こどものうた１００＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（978-4111701957）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！　音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・坂井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8）

S68222

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	辻　真理子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰで習得した演奏の基礎技能と人前での表現力をさらに伸ばし、幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
器楽Ⅰで習得した音楽の基礎技能を元に、ピアノ技能、弾き歌い技能（幼児コースは表現も加わる）を伸ばす。実技テストによって、習得度を測る。
詳しくは、内規を参照すること。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
実技授業なので、必ず予習復習をして臨むこと。また、レッスンの前後は、ピアノ練習室等でしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　個人およびグループレッスン1
第3回　個人およびグループレッスン2
第4回　個人およびグループレッスン3
第5回　個人およびグループレッスン4
第6回　個人およびグループレッスン5
第7回　個人およびグループレッスン6
第8回　到達度確認、前半のまとめ
第9回　個人およびグループレッスン7
第10回　個人およびグループレッスン8
第11回個人およびグループレッスン9
第12回　個人およびグループレッスン10
第13回　個人およびグループレッスン11
第14回　個人およびグループレッスン12
第15回　到達度確認、後半のまとめ

[成績評価方法]
2回の実技テスト（50%）と、レッスンの状況等(50%)によって総合的に評価する。
また、テスト結果については原則として、レッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	辻　真理子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで
使用　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社　（978-4-276-82101-9）
こどものうた１００＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（978-4111701957）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！　音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・坂井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8）

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	東　恵子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰで習得した演奏の基礎技能と人前での表現力をさらに伸ばし、幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
器楽Ⅰで習得した音楽の基礎技能を元に、ピアノ技能、弾き歌い技能（幼児コースは表現も加わる）を伸ばす。実技テストによって、習得度を測る。
詳しくは、内規を参照すること。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
実技授業なので、必ず予習復習をして臨むこと。また、レッスンの前後は、ピアノ練習室等でしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　個人およびグループレッスン1
第3回　個人およびグループレッスン2
第4回　個人およびグループレッスン3
第5回　個人およびグループレッスン4
第6回　個人およびグループレッスン5
第7回　個人およびグループレッスン6
第8回　到達度確認、前半のまとめ
第9回　個人およびグループレッスン7
第10回　個人およびグループレッスン8
第11回個人およびグループレッスン9
第12回　個人およびグループレッスン10
第13回　個人およびグループレッスン11
第14回　個人およびグループレッスン12
第15回　到達度確認、後半のまとめ

[成績評価方法]
2回の実技テスト（50%）と、レッスンの状況等(50%)によって総合的に評価する。
また、テスト結果については原則として、レッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	東　恵子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで
使用　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社　（978-4-276-82101-9）
こどものうた１００＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（978-4111701957）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！　音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・坂井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8）

S68224

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	福田　可織			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰで習得した演奏の基礎技能と人前での表現力をさらに伸ばし、幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
器楽Ⅰで習得した音楽の基礎技能を元に、ピアノ技能、弾き歌い技能（幼児コースは表現も加わる）を伸ばす。実技テストによって、習得度を測る。
詳しくは、内規を参照すること。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
実技授業なので、必ず予習復習をして臨むこと。また、レッスンの前後は、ピアノ練習室等でしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　個人およびグループレッスン1
第3回　個人およびグループレッスン2
第4回　個人およびグループレッスン3
第5回　個人およびグループレッスン4
第6回　個人およびグループレッスン5
第7回　個人およびグループレッスン6
第8回　到達度確認、前半のまとめ
第9回　個人およびグループレッスン7
第10回　個人およびグループレッスン8
第11回個人およびグループレッスン9
第12回　個人およびグループレッスン10
第13回　個人およびグループレッスン11
第14回　個人およびグループレッスン12
第15回　到達度確認、後半のまとめ

[成績評価方法]
実技テストの成績とレッスンの状況などによって総合的に評価する。
実技テスト50%その他50%
テスト結果については原則として、レッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	福田　可織			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで
使用　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社　（978-4-276-82101-9）
こどものうた１００＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（978-4111701957）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！　音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・坂井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8）

S68225

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	宮内　晴美			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰで習得した演奏の基礎技能と人前での表現力をさらに伸ばし、幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
器楽Ⅰで習得した音楽の基礎技能を元に、ピアノ技能、弾き歌い技能（幼児コースは表現も加わる）を伸ばす。実技テストによって、習得度を測る。
詳しくは、内規を参照すること。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
実技授業なので、必ず予習復習をして臨むこと。また、レッスンの前後は、ピアノ練習室等でしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　個人およびグループレッスン１
第3回　個人およびグループレッスン２
第4回　個人およびグループレッスン３
第5回　個人およびグループレッスン４
第6回　個人およびグループレッスン５
第7回　個人およびグループレッスン６
第8回　到達度確認、前半のまとめ
第9回　個人およびグループレッスン7
第10回　個人およびグループレッスン８
第11回　個人およびグループレッスン９
第12回　個人およびグループレッスン１０
第13回　個人およびグループレッスン１１
第14回　個人およびグループレッスン１２
第15回　到達度確認、後半のまとめ

[成績評価方法]
2回の実技テスト（50%）と、レッスンの状況等（50%）によって総合的に評価する。
また、テスト結果については原則として、レッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	宮内　晴美			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　(978-4-7785-0056-3)
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで
使用　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社　(978-4-276-82101-9)
こどものうた１００＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　(978-4-8054-8186)
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　(978-4111701957)

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！　音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　(978-4-636-95829-4)
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・坂井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　(978-4-87788-491-8)

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	山口　雅敏			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰで習得した演奏の基礎技能と人前での表現力をさらに伸ばし、幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
器楽Ⅰで習得した音楽の基礎技能を元に、ピアノ技能、弾き歌い技能（幼児コースは表現も加わる）を伸ばす。実技テストによって、習得度を測る。
詳しくは、内規を参照すること。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
実技授業なので、必ず予習復習をして臨むこと。また、レッスンの前後は、ピアノ練習室等でしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　個人およびグループレッスン1
第3回　個人およびグループレッスン2
第4回　個人およびグループレッスン3
第5回　個人およびグループレッスン4
第6回　個人およびグループレッスン5
第7回　個人およびグループレッスン6
第8回　到達度確認、前半のまとめ
第9回　個人およびグループレッスン7
第10回　個人およびグループレッスン8
第11回個人およびグループレッスン9
第12回　個人およびグループレッスン10
第13回　個人およびグループレッスン11
第14回　個人およびグループレッスン12
第15回　到達度確認、後半のまとめ

[成績評価方法]
2回の実技テスト（50%）と、レッスンの状況等(50%)によって総合的に評価する。
また、テスト結果については原則として、レッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	山口　雅敏			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで
使用　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社　（978-4-276-82101-9）
こどものうた１００＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（978-4111701957）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！　音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・坂井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8）

S68227

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	山下　佑子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰで習得した演奏の基礎技能と人前での表現力をさらに伸ばし、幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
器楽Ⅰで習得した音楽の基礎技能を元に、ピアノ技能、弾き歌い技能（幼児コースは表現も加わる）を伸ばす。実技テストによって、習得度を測る。
詳しくは、内規を参照すること。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
実技授業なので、必ず予習復習をして臨むこと。また、レッスンの前後は、ピアノ練習室等でしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　個人およびグループレッスン1
第3回　個人およびグループレッスン2
第4回　個人およびグループレッスン3
第5回　個人およびグループレッスン4
第6回　個人およびグループレッスン5
第7回　個人およびグループレッスン6
第8回　到達度確認、前半のまとめ
第9回　個人およびグループレッスン7
第10回　個人およびグループレッスン8
第11回個人およびグループレッスン9
第12回　個人およびグループレッスン10
第13回　個人およびグループレッスン11
第14回　個人およびグループレッスン12
第15回　到達度確認、後半のまとめ

[成績評価方法]
実技テストの成績とレッスンの状況、クラス授業への取り組みによって総合的に評価する。
実技テスト50%、その他50%
実技テスト結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	山下　佑子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで
使用　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社　（978-4-276-82101-9）
こどものうた１００＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（978-4111701957）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！　音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・坂井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8）

S68228

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	雪原　典子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰで習得した演奏の基礎技能と人前での表現力をさらに伸ばし、幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
器楽Ⅰで習得した音楽の基礎技能を元に、ピアノ技能、弾き歌い技能（幼児コースは表現も加わる）を伸ばす。実技テストによって、習得度を測る。
詳しくは、内規を参照すること。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
実技授業なので、必ず予習復習をして臨むこと。また、レッスンの前後は、ピアノ練習室等でしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　個人およびグループレッスン1
第3回　個人およびグループレッスン2
第4回　個人およびグループレッスン3
第5回　個人およびグループレッスン4
第6回　個人およびグループレッスン5
第7回　個人およびグループレッスン6
第8回　到達度確認、前半のまとめ
第9回　個人およびグループレッスン7
第10回　個人およびグループレッスン8
第11回個人およびグループレッスン9
第12回　個人およびグループレッスン10
第13回　個人およびグループレッスン11
第14回　個人およびグループレッスン12
第15回　到達度確認、後半のまとめ

[成績評価方法]
2回の実技テスト（50%）と、レッスンの状況等(50%)によって総合的に評価する。
また、テスト結果については原則として、レッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	雪原　典子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで
使用　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社　（978-4-276-82101-9）
こどものうた１００＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（978-4111701957）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！　音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・坂井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8）

S68229

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	鈴江　美子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰで習得した演奏の基礎技能と人前での表現力をさらに伸ばし、幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
器楽Ⅰで習得した音楽の基礎技能を元に、ピアノ技能、弾き歌い技能（幼児コースは表現も加わる）を伸ばす。実技テストによって、習得度を測る。
詳しくは、内規を参照すること。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
実技授業なので、必ず予習復習をして臨むこと。また、レッスンの前後は、ピアノ練習室等でしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　個人およびグループレッスン1
第3回　個人およびグループレッスン2
第4回　個人およびグループレッスン3
第5回　個人およびグループレッスン4
第6回　個人およびグループレッスン5
第7回　個人およびグループレッスン6
第8回　到達度確認、前半のまとめ
第9回　個人およびグループレッスン7
第10回　個人およびグループレッスン8
第11回個人およびグループレッスン9
第12回　個人およびグループレッスン10
第13回　個人およびグループレッスン11
第14回　個人およびグループレッスン12
第15回　到達度確認、後半のまとめ

[成績評価方法]
2回の実技テスト（50%）と、レッスンの状況等(50%)によって総合的に評価する。
また、テスト結果については原則として、レッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	鈴江　美子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで
使用　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社　（978-4-276-82101-9）
こどものうた１００＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（978-4111701957）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！　音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・坂井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8）

S68240

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	田中　琴弓			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰで習得した演奏の基礎技能と人前での表現力をさらに伸ばし、幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
器楽Ⅰで習得した音楽の基礎技能を元に、ピアノ技能、弾き歌い技能（幼児コースは表現も加わる）を伸ばす。実技テストによって、習得度を測る。
詳しくは、内規を参照すること。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
実技授業なので、必ず予習復習をして臨むこと。また、レッスンの前後は、ピアノ練習室等でしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　個人およびグループレッスン1
第3回　個人およびグループレッスン2
第4回　個人およびグループレッスン3
第5回　個人およびグループレッスン4
第6回　個人およびグループレッスン5
第7回　個人およびグループレッスン6
第8回　到達度確認、前半のまとめ
第9回　個人およびグループレッスン7
第10回　個人およびグループレッスン8
第11回　個人およびグループレッスン9
第12回　個人およびグループレッスン10
第13回　個人およびグループレッスン11
第14回　個人およびグループレッスン12
第15回　到達度確認、後半のまとめ

[成績評価方法]
2回の実技テスト（50%）と、レッスンの状況等(50%)によって総合的に評価する。
また、テスト結果については原則として、レッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	田中　琴弓			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで
使用　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社　（978-4-276-82101-9）
こどものうた１００＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（978-4111701957）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！　音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・坂井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8）

S68241

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	辻　真理子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰで習得した演奏の基礎技能と人前での表現力をさらに伸ばし、幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
器楽Ⅰで習得した音楽の基礎技能を元に、ピアノ技能、弾き歌い技能（幼児コースは表現も加わる）を伸ばす。実技テストによって、習得度を測る。
詳しくは、内規を参照すること。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
実技授業なので、必ず予習復習をして臨むこと。また、レッスンの前後は、ピアノ練習室等でしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　個人およびグループレッスン1
第3回　個人およびグループレッスン2
第4回　個人およびグループレッスン3
第5回　個人およびグループレッスン4
第6回　個人およびグループレッスン5
第7回　個人およびグループレッスン6
第8回　到達度確認、前半のまとめ
第9回　個人およびグループレッスン7
第10回　個人およびグループレッスン8
第11回個人およびグループレッスン9
第12回　個人およびグループレッスン10
第13回　個人およびグループレッスン11
第14回　個人およびグループレッスン12
第15回　到達度確認、後半のまとめ

[成績評価方法]
2回の実技テスト（50%）と、レッスンの状況等(50%)によって総合的に評価する。
また、テスト結果については原則として、レッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S68242

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	辻　真理子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで
使用　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社　（978-4-276-82101-9）
こどものうた１００＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（978-4111701957）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！　音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・坂井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8）

S68242

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	東　恵子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰで習得した演奏の基礎技能と人前での表現力をさらに伸ばし、幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
器楽Ⅰで習得した音楽の基礎技能を元に、ピアノ技能、弾き歌い技能（幼児コースは表現も加わる）を伸ばす。実技テストによって、習得度を測る。
詳しくは、内規を参照すること。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
実技授業なので、必ず予習復習をして臨むこと。また、レッスンの前後は、ピアノ練習室等でしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　個人およびグループレッスン1
第3回　個人およびグループレッスン2
第4回　個人およびグループレッスン3
第5回　個人およびグループレッスン4
第6回　個人およびグループレッスン5
第7回　個人およびグループレッスン6
第8回　到達度確認、前半のまとめ
第9回　個人およびグループレッスン7
第10回　個人およびグループレッスン8
第11回個人およびグループレッスン9
第12回　個人およびグループレッスン10
第13回　個人およびグループレッスン11
第14回　個人およびグループレッスン12
第15回　到達度確認、後半のまとめ

[成績評価方法]
2回の実技テスト（50%）と、レッスンの状況等(50%)によって総合的に評価する。
また、テスト結果については原則として、レッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	東　恵子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで
使用　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社　（978-4-276-82101-9）
こどものうた１００＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（978-4111701957）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！　音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・坂井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8）

S68243

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	福田　絵麻			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰで習得した演奏の基礎技能と人前での表現力をさらに伸ばし、幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
器楽Ⅰで習得した音楽の基礎技能を元に、ピアノ技能、弾き歌い技能（幼児コースは表現も加わる）を伸ばす。実技テストによって、習得度を測る。
詳しくは、内規を参照すること。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
実技授業なので、必ず予習復習をして臨むこと。また、レッスンの前後は、ピアノ練習室等でしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　個人およびグループレッスン1
第3回　個人およびグループレッスン2
第4回　個人およびグループレッスン3
第5回　個人およびグループレッスン4
第6回　個人およびグループレッスン5
第7回　個人およびグループレッスン6
第8回　到達度確認、前半のまとめ
第9回　個人およびグループレッスン7
第10回　個人およびグループレッスン8
第11回個人およびグループレッスン9
第12回　個人およびグループレッスン10
第13回　個人およびグループレッスン11
第14回　個人およびグループレッスン12
第15回　到達度確認、後半のまとめ

[成績評価方法]
2回の実技テスト（80%）と、レッスンの状況等(20%)によって総合的に評価する。
また、テスト結果については原則として、レッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	福田　絵麻			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで
使用　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社　（978-4-276-82101-9）
こどものうた１００＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（978-4111701957）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！　音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・坂井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8）

S68244

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	福田　可織			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰで習得した演奏の基礎技能と人前での表現力をさらに伸ばし、幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
器楽Ⅰで習得した音楽の基礎技能を元に、ピアノ技能、弾き歌い技能（幼児コースは表現も加わる）を伸ばす。実技テストによって、習得度を測る。
詳しくは、内規を参照すること。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
実技授業なので、必ず予習復習をして臨むこと。また、レッスンの前後は、ピアノ練習室等でしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　個人およびグループレッスン１
第3回　個人およびグループレッスン２
第4回　個人およびグループレッスン３
第5回　個人およびグループレッスン４
第6回　個人およびグループレッスン５
第7回　個人およびグループレッスン６
第8回　到達度確認、前半のまとめ
第9回　個人およびグループレッスン7
第10回　個人およびグループレッスン８
第11回個人およびグループレッスン９
第12回　個人およびグループレッスン１０
第13回　個人およびグループレッスン１１
第14回　個人およびグループレッスン１２
第15回　到達度確認、後半のまとめ

[成績評価方法]
実技テストの成績とレッスンの状況などによって総合的に評価する。
実技テスト50%その他50%
テスト結果については原則として、レッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	福田　可織			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで
使用　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社　（978-4-276-82101-9）
こどものうた１００＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（978-4111701957）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！　音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・坂井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8）

S68245

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	宮内　晴美			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰで習得した演奏の基礎技能と人前での表現力をさらに伸ばし、幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
器楽Ⅰで習得した音楽の基礎技能を元に、ピアノ技能、弾き歌い技能（幼児コースは表現も加わる）を伸ばす。実技テストによって、習得度を測る。
詳しくは、内規を参照すること。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
実技授業なので、必ず予習復習をして臨むこと。また、レッスンの前後は、ピアノ練習室等でしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　個人およびグループレッスン1
第3回　個人およびグループレッスン2
第4回　個人およびグループレッスン3
第5回　個人およびグループレッスン4
第6回　個人およびグループレッスン5
第7回　個人およびグループレッスン6
第8回　到達度確認、前半のまとめ
第9回　個人およびグループレッスン7
第10回　個人およびグループレッスン8
第11回　個人およびグループレッスン9
第12回　個人およびグループレッスン10
第13回　個人およびグループレッスン11
第14回　個人およびグループレッスン12
第15回　到達度確認、後半のまとめ

[成績評価方法]
2回の実技テスト（50%）と、レッスンの状況等（50%）によって総合的に評価する。
また、テスト結果については原則として、レッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	宮内　晴美			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで
使用　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社　（978-4-276-82101-9）
こどものうた１００＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（978-4111701957）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！　音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・坂井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8）

S68246

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	山口　雅敏			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰで習得した演奏の基礎技能と人前での表現力をさらに伸ばし、幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
器楽Ⅰで習得した音楽の基礎技能を元に、ピアノ技能、弾き歌い技能（幼児コースは表現も加わる）を伸ばす。実技テストによって、習得度を測る。
詳しくは、内規を参照すること。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
実技授業なので、必ず予習復習をして臨むこと。また、レッスンの前後は、ピアノ練習室等でしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　個人およびグループレッスン1
第3回　個人およびグループレッスン2
第4回　個人およびグループレッスン3
第5回　個人およびグループレッスン4
第6回　個人およびグループレッスン5
第7回　個人およびグループレッスン6
第8回　到達度確認、前半のまとめ
第9回　個人およびグループレッスン7
第10回　個人およびグループレッスン8
第11回個人およびグループレッスン9
第12回　個人およびグループレッスン10
第13回　個人およびグループレッスン11
第14回　個人およびグループレッスン12
第15回　到達度確認、後半のまとめ

[成績評価方法]
2回の実技テスト（50%）と、レッスンの状況等(50%)によって総合的に評価する。
また、テスト結果については原則として、レッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	山口　雅敏			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで
使用　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社　（978-4-276-82101-9）
こどものうた１００＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（978-4111701957）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！　音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・坂井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8）

S68247

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	雪原　典子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰで習得した演奏の基礎技能と人前での表現力をさらに伸ばし、幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
器楽Ⅰで習得した音楽の基礎技能を元に、ピアノ技能、弾き歌い技能（幼児コースは表現も加わる）を伸ばす。実技テストによって、習得度を測る。
詳しくは、内規を参照すること。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
実技授業なので、必ず予習復習をして臨むこと。また、レッスンの前後は、ピアノ練習室等でしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　個人およびグループレッスン1
第3回　個人およびグループレッスン2
第4回　個人およびグループレッスン3
第5回　個人およびグループレッスン4
第6回　個人およびグループレッスン5
第7回　個人およびグループレッスン6
第8回　到達度確認、前半のまとめ
第9回　個人およびグループレッスン7
第10回　個人およびグループレッスン8
第11回個人およびグループレッスン9
第12回　個人およびグループレッスン10
第13回　個人およびグループレッスン11
第14回　個人およびグループレッスン12
第15回　到達度確認、後半のまとめ

[成績評価方法]
2回の実技テスト（50%）と、レッスンの状況等(50%)によって総合的に評価する。
また、テスト結果については原則として、レッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	雪原　典子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで
使用　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社　（978-4-276-82101-9）
こどものうた１００＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（978-4111701957）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！　音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・坂井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8）

S68248

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	上原　輝子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰで習得した演奏の基礎技能と人前での表現力をさらに伸ばし、幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
器楽Ⅰで習得した音楽の基礎技能を元に、ピアノ技能、弾き歌い技能（幼児コースは表現も加わる）を伸ばす。実技テストによって、習得度を測る。
詳しくは、内規を参照すること。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
実技授業なので、必ず予習復習をして臨むこと。また、レッスンの前後は、ピアノ練習室等でしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　個人およびグループレッスン1
第3回　個人およびグループレッスン2
第4回　個人およびグループレッスン3
第5回　個人およびグループレッスン4
第6回　個人およびグループレッスン5
第7回　個人およびグループレッスン6
第8回　到達度確認、前半のまとめ
第9回　個人およびグループレッスン7
第10回　個人およびグループレッスン8
第11回個人およびグループレッスン9
第12回　個人およびグループレッスン10
第13回　個人およびグループレッスン11
第14回　個人およびグループレッスン12
第15回　到達度確認、後半のまとめ

[成績評価方法]
2回の実技テスト（80%）と、レッスンの状況等(20%)によって総合的に評価する。
また、テスト結果については原則として、レッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	上原　輝子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで
使用　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社　（978-4-276-82101-9）
こどものうた１００＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（978-4111701957）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！　音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・坂井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8）

S68260

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	久我　裕子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰで習得した演奏の基礎技能と人前での表現力をさらに伸ばし、幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
器楽Ⅰで習得した音楽の基礎技能を元に、ピアノ技能、弾き歌い技能（幼児コースは表現も加わる）を伸ばす。実技テストによって、習得度を測る。
詳しくは、内規を参照すること。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
実技授業なので、必ず予習復習をして臨むこと。また、レッスンの前後は、ピアノ練習室等でしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　個人およびグループレッスン1
第3回　個人およびグループレッスン2
第4回　個人およびグループレッスン3
第5回　個人およびグループレッスン4
第6回　個人およびグループレッスン5
第7回　個人およびグループレッスン6
第8回　到達度確認、前半のまとめ
第9回　個人およびグループレッスン7
第10回　個人およびグループレッスン8
第11回個人およびグループレッスン9
第12回　個人およびグループレッスン10
第13回　個人およびグループレッスン11
第14回　個人およびグループレッスン12
第15回　到達度確認、後半のまとめ

[成績評価方法]
2回の実技テスト（50%）と、レッスンの状況等(50%)によって総合的に評価する。
また、テスト結果については原則として、レッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	久我　裕子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで
使用　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社　（978-4-276-82101-9）
こどものうた１００＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（978-4111701957）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！　音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・坂井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8）

S68261

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	鈴江　美子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰで習得した演奏の基礎技能と人前での表現力をさらに伸ばし、幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
器楽Ⅰで習得した音楽の基礎技能を元に、ピアノ技能、弾き歌い技能（幼児コースは表現も加わる）を伸ばす。実技テストによって、習得度を測る。
詳しくは、内規を参照すること。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
実技授業なので、必ず予習復習をして臨むこと。また、レッスンの前後は、ピアノ練習室等でしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　個人およびグループレッスン1
第3回　個人およびグループレッスン2
第4回　個人およびグループレッスン3
第5回　個人およびグループレッスン4
第6回　個人およびグループレッスン5
第7回　個人およびグループレッスン6
第8回　到達度確認、前半のまとめ
第9回　個人およびグループレッスン7
第10回　個人およびグループレッスン8
第11回個人およびグループレッスン9
第12回　個人およびグループレッスン10
第13回　個人およびグループレッスン11
第14回　個人およびグループレッスン12
第15回　到達度確認、後半のまとめ

[成績評価方法]
2回の実技テスト（50%）と、レッスンの状況等(50%)によって総合的に評価する。
また、テスト結果については原則として、レッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S68262

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	鈴江　美子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで
使用　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社　（978-4-276-82101-9）
こどものうた１００＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（978-4111701957）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！　音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・坂井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8）

S68262

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	田中　琴弓			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰで習得した演奏の基礎技能と人前での表現力をさらに伸ばし、幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
器楽Ⅰで習得した音楽の基礎技能を元に、ピアノ技能、弾き歌い技能（幼児コースは表現も加わる）を伸ばす。実技テストによって、習得度を測る。
詳しくは、内規を参照すること。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
実技授業なので、必ず予習復習をして臨むこと。また、レッスンの前後は、ピアノ練習室等でしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　個人およびグループレッスン1
第3回　個人およびグループレッスン2
第4回　個人およびグループレッスン3
第5回　個人およびグループレッスン4
第6回　個人およびグループレッスン5
第7回　個人およびグループレッスン6
第8回　到達度確認、前半のまとめ
第9回　個人およびグループレッスン7
第10回　個人およびグループレッスン8
第11回　個人およびグループレッスン9
第12回　個人およびグループレッスン10
第13回　個人およびグループレッスン11
第14回　個人およびグループレッスン12
第15回　到達度確認、後半のまとめ

[成績評価方法]
2回の実技テスト（50%）と、レッスンの状況等(50%)によって総合的に評価する。
また、テスト結果については原則として、レッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	田中　琴弓			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで
使用　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社　（978-4-276-82101-9）
こどものうた１００＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（978-4111701957）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！　音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・坂井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8）

S68263

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	辻　真理子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰで習得した演奏の基礎技能と人前での表現力をさらに伸ばし、幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
器楽Ⅰで習得した音楽の基礎技能を元に、ピアノ技能、弾き歌い技能（幼児コースは表現も加わる）を伸ばす。実技テストによって、習得度を測る。
詳しくは、内規を参照すること。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
実技授業なので、必ず予習復習をして臨むこと。また、レッスンの前後は、ピアノ練習室等でしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　個人およびグループレッスン1
第3回　個人およびグループレッスン2
第4回　個人およびグループレッスン3
第5回　個人およびグループレッスン4
第6回　個人およびグループレッスン5
第7回　個人およびグループレッスン6
第8回　到達度確認、前半のまとめ
第9回　個人およびグループレッスン7
第10回　個人およびグループレッスン8
第11回個人およびグループレッスン9
第12回　個人およびグループレッスン10
第13回　個人およびグループレッスン11
第14回　個人およびグループレッスン12
第15回　到達度確認、後半のまとめ

[成績評価方法]
2回の実技テスト（50%）と、レッスンの状況等(50%)によって総合的に評価する。
また、テスト結果については原則として、レッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	辻　真理子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで
使用　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社　（978-4-276-82101-9）
こどものうた１００＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（978-4111701957）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！　音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・坂井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8）

S68264

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	東　恵子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰで習得した演奏の基礎技能と人前での表現力をさらに伸ばし、幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
器楽Ⅰで習得した音楽の基礎技能を元に、ピアノ技能、弾き歌い技能（幼児コースは表現も加わる）を伸ばす。実技テストによって、習得度を測る。
詳しくは、内規を参照すること。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
実技授業なので、必ず予習復習をして臨むこと。また、レッスンの前後は、ピアノ練習室等でしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　個人およびグループレッスン1
第3回　個人およびグループレッスン2
第4回　個人およびグループレッスン3
第5回　個人およびグループレッスン4
第6回　個人およびグループレッスン5
第7回　個人およびグループレッスン6
第8回　到達度確認、前半のまとめ
第9回　個人およびグループレッスン7
第10回　個人およびグループレッスン8
第11回個人およびグループレッスン9
第12回　個人およびグループレッスン10
第13回　個人およびグループレッスン11
第14回　個人およびグループレッスン12
第15回　到達度確認、後半のまとめ

[成績評価方法]
2回の実技テスト（50%）と、レッスンの状況等(50%)によって総合的に評価する。
また、テスト結果については原則として、レッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	東　恵子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで
使用　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社　（978-4-276-82101-9）
こどものうた１００＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（978-4111701957）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！　音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・坂井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8）

S68265

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	福田　可織			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰで習得した演奏の基礎技能と人前での表現力をさらに伸ばし、幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
器楽Ⅰで習得した音楽の基礎技能を元に、ピアノ技能、弾き歌い技能（幼児コースは表現も加わる）を伸ばす。実技テストによって、習得度を測る。
詳しくは、内規を参照すること。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
実技授業なので、必ず予習復習をして臨むこと。また、レッスンの前後は、ピアノ練習室等でしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　個人およびグループレッスン1
第3回　個人およびグループレッスン2
第4回　個人およびグループレッスン3
第5回　個人およびグループレッスン4
第6回　個人およびグループレッスン5
第7回　個人およびグループレッスン6
第8回　到達度確認、前半のまとめ
第9回　個人およびグループレッスン7
第10回　個人およびグループレッスン8
第11回個人およびグループレッスン9
第12回　個人およびグループレッスン10
第13回　個人およびグループレッスン11
第14回　個人およびグループレッスン12
第15回　到達度確認、後半のまとめ

[成績評価方法]
実技テストの成績とレッスンの状況などによって総合的に評価する。
実技テスト50%その他50%
テスト結果については原則として、レッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	福田　可織			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで
使用　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社　（978-4-276-82101-9）
こどものうた１００＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（978-4111701957）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！　音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・坂井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8）

S68266

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	山口　雅敏			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰで習得した演奏の基礎技能と人前での表現力をさらに伸ばし、幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
器楽Ⅰで習得した音楽の基礎技能を元に、ピアノ技能、弾き歌い技能（幼児コースは表現も加わる）を伸ばす。実技テストによって、習得度を測る。
詳しくは、内規を参照すること。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
実技授業なので、必ず予習復習をして臨むこと。また、レッスンの前後は、ピアノ練習室等でしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　個人およびグループレッスン1
第3回　個人およびグループレッスン2
第4回　個人およびグループレッスン3
第5回　個人およびグループレッスン4
第6回　個人およびグループレッスン5
第7回　個人およびグループレッスン6
第8回　到達度確認、前半のまとめ
第9回　個人およびグループレッスン7
第10回　個人およびグループレッスン8
第11回個人およびグループレッスン9
第12回　個人およびグループレッスン10
第13回　個人およびグループレッスン11
第14回　個人およびグループレッスン12
第15回　到達度確認、後半のまとめ

[成績評価方法]
2回の実技テスト（50%）と、レッスンの状況等(50%)によって総合的に評価する。
また、テスト結果については原則として、レッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	山口　雅敏			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで
使用　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社　（978-4-276-82101-9）
こどものうた１００＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（978-4111701957）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！　音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・坂井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8）

S68267

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	雪原　典子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰで習得した演奏の基礎技能と人前での表現力をさらに伸ばし、幼稚園や小学校の実習等に対応できる力をつける。

[授業概要]
器楽Ⅰで習得した音楽の基礎技能を元に、ピアノ技能、弾き歌い技能（幼児コースは表現も加わる）を伸ばす。実技テストによって、習得度を測る。
詳しくは、内規を参照すること。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
実技授業なので、必ず予習復習をして臨むこと。また、レッスンの前後は、ピアノ練習室等でしっかり練習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　個人およびグループレッスン1
第3回　個人およびグループレッスン2
第4回　個人およびグループレッスン3
第5回　個人およびグループレッスン4
第6回　個人およびグループレッスン5
第7回　個人およびグループレッスン6
第8回　到達度確認、前半のまとめ
第9回　個人およびグループレッスン7
第10回　個人およびグループレッスン8
第11回個人およびグループレッスン9
第12回　個人およびグループレッスン10
第13回　個人およびグループレッスン11
第14回　個人およびグループレッスン12
第15回　到達度確認、後半のまとめ

[成績評価方法]
2回の実技テスト（50%）と、レッスンの状況等(50%)によって総合的に評価する。
また、テスト結果については原則として、レッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	雪原　典子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：実技試験と授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　（978-4-7785-0056-3）
初等科音楽教育法＊小学校コースの弾き歌いで
使用　著者名：初等科音楽教育研究会　出版社：音楽之友社　（978-4-276-82101-9）
こどものうた１００＊幼稚園コースの弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　　＊幼稚園コースの表現で使用　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（978-4111701957）

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！　音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（978-4-636-95829-4）
小学校音楽科教育法　＊小学校コースの弾き歌いの参考書　著者名：有本真紀・坂井恵・山下薫　出版社：教育芸術社　（978-4-87788-491-8）

S68268

科目名	器楽Ⅲ	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	久我　裕子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰ、Ⅱで培った音楽基礎的能力をもとに、人前での演奏力を伸ばし、さらに高い音楽技術の獲得を目指す。

[授業概要]
幼稚園教諭・保育士採用試験およ保育教育実習などに万全で臨めるように、ピアノ演奏と弾き歌いを重視した個人レッスン及びグループ指導を行う。試験は基本的にピアノ演奏と弾き歌い、表現からなっている。到達度確認を2回行う。詳細内容は別記の課題曲、内規などを参照のこと。
(必要教材は1回目の授業時に説明するので、それに従って購入すること)

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
毎回のレッスンに、十分な練習をして臨むこと。また、レッスン前後で時間がある場合は、ピアノ練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 個人及びグループ指導①
3. 個人及びグループ指導②
4. 個人及びグループ指導③
5. 個人及びグループ指導④
6. 個人及びグループ指導⑤
7. 個人及びグループ指導⑥
8 . 個人及びグループ指導⑦
9. 個人及びグループ指導⑧
10. 個人及びグループ指導⑨
11. 個人及びグループ指導⑩
12. 個人及びグループ指導⑪
13. 個人及びグループ指導⑫
14. 個人及びグループ指導⑬
15. 個人及びグループ指導⑭
＊15回のうち2回は、どの程度習得したかの到達度確認を行う。

[成績評価方法]
ピアノ及び弾き歌い等の実技テストとレッスン状況によって評価する。(テスト50%、レッスン状況50%)
テストの結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅲ	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	久我　裕子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：実技テストとレッスンへの取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストとレッスンへの取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同出版社　（9784778500566）
こどものうた100　＊弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　（9784805481868）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊表現で使用。　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（9784111701957）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社　（9784111010103）
ブルクミュラー・ソナチネ・ソナタ等進度によって対応

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（9784636958294）

S68300

科目名	器楽Ⅲ	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	鈴江　美子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰ、Ⅱで培った音楽基礎的能力をもとに、人前での演奏力を伸ばし、さらに高い音楽技術の獲得を目指す。

[授業概要]
幼稚園教諭・保育士採用試験およ保育教育実習などに万全で臨めるように、ピアノ演奏と弾き歌いを重視した個人レッスン及びグループ指導を行う。試験は基本的にピアノ演奏と弾き歌い、表現からなっている。到達度確認を2回行う。詳細内容は別記の課題曲、内規などを参照のこと。
(必要教材は1回目の授業時に説明するので、それに従って購入すること)

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
毎回のレッスンに、十分な練習をして臨むこと。また、レッスン前後で時間がある場合は、ピアノ練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 個人及びグループ指導①
3. 個人及びグループ指導②
4. 個人及びグループ指導③
5. 個人及びグループ指導④
6. 個人及びグループ指導⑤
7. 個人及びグループ指導⑥
8. 個人及びグループ指導⑦
9. 個人及びグループ指導⑧
10. 個人及びグループ指導⑨
11. 個人及びグループ指導⑩
12. 個人及びグループ指導⑪
13. 個人及びグループ指導⑫
14. 個人及びグループ指導⑬
15. 個人及びグループ指導⑭
＊15回のうち2回は、どの程度習得したかの到達度確認を行う。

[成績評価方法]
ピアノ及び弾き歌い等の実技テストとレッスン状況によって評価する。(テスト50%、レッスン状況50%)
テストの結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅲ	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	鈴江　美子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：実技テストとレッスンへの取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストとレッスンへの取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同出版社　（978-4-7785-0056-3　）
こどものうた100　＊弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド゛本社　（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊表現で使用。　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（978-4111701957）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社　（978-4-11-101010-3　）
ブルクミュラー・ソナチネ・ソナタ等進度によって対応

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（978-4-636-95829-4）

S68301

科目名	器楽Ⅲ	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	田中　琴弓			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰ、Ⅱで培った音楽基礎的能力をもとに、人前での演奏力を伸ばし、さらに高い音楽技術の獲得を目指す。

[授業概要]
幼稚園教諭・保育士採用試験およ保育教育実習などに万全で臨めるように、ピアノ演奏と弾き歌いを重視した個人レッスン及びグループ指導を行う。試験は基本的にピアノ演奏と弾き歌い、表現からなっている。到達度確認を2回行う。詳細内容は別記の課題曲、内規などを参照のこと。
(必要教材は1回目の授業時に説明するので、それに従って購入すること)

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
毎回のレッスンに、十分な練習をして臨むこと。また、レッスン前後で時間がある場合は、ピアノ練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 個人及びグループ指導①
3. 個人及びグループ指導②
4. 個人及びグループ指導③
5. 個人及びグループ指導④
6. 個人及びグループ指導⑤
7. 個人及びグループ指導⑥
8. 個人及びグループ指導⑦
9. 個人及びグループ指導⑧
10. 個人及びグループ指導⑨
11. 個人及びグループ指導⑩
12. 個人及びグループ指導⑪
13. 個人及びグループ指導⑫
14. 個人及びグループ指導⑬
15. 個人及びグループ指導⑭
＊15回のうち2回は、どの程度習得したかの到達度確認を行う。

[成績評価方法]
ピアノ及び弾き歌い等の実技テストとレッスン状況によって評価する。(テスト50%、レッスン状況50%)
テストの結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅲ	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	田中　琴弓			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：実技テストとレッスンへの取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストとレッスンへの取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同出版社　（978-4-7785-0056-3　）
こどものうた100　＊弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊表現で使用。　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（978-4111701957）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社　（978-4-11-101010-3　）
ブルクミュラー・ソナチネ・ソナタ等進度によって対応

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（978-4-636-95829-4）

S68302

科目名	器楽Ⅲ	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	辻　真理子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰ、Ⅱで培った音楽基礎的能力をもとに、人前での演奏力を伸ばし、さらに高い音楽技術の獲得を目指す。

[授業概要]
幼稚園教諭・保育士採用試験およ保育教育実習などに万全で臨めるように、ピアノ演奏と弾き歌いを重視した個人レッスン及びグループ指導を行う。試験は基本的にピアノ演奏と弾き歌い、表現からなっている。到達度確認を2回行う。詳細内容は別記の課題曲、内規などを参照のこと。
(必要教材は1回目の授業時に説明するので、それに従って購入すること)

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
毎回のレッスンに、十分な練習をして臨むこと。また、レッスン前後で時間がある場合は、ピアノ練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 個人及びグループ指導①
3. 個人及びグループ指導②
4. 個人及びグループ指導③
5. 個人及びグループ指導④
6. 個人及びグループ指導⑤
7. 個人及びグループ指導⑥
8. 個人及びグループ指導⑦
9. 個人及びグループ指導⑧
10. 個人及びグループ指導⑨
11. 個人及びグループ指導⑩
12. 個人及びグループ指導⑪
13. 個人及びグループ指導⑫
14. 個人及びグループ指導⑬
15. 個人及びグループ指導⑭
＊15回のうち2回は、どの程度習得したかの到達度確認を行う。

[成績評価方法]
ピアノ及び弾き歌い等の実技テストとレッスン状況によって評価する。(テスト50%、レッスン状況50%)
テストの結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅲ	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	辻　真理子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：実技テストとレッスンへの取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストとレッスンへの取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同出版社　（978-4-7785-0056-3　）
こどものうた100　＊弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド゛本社　（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊表現で使用。　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（978-4111701957）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社　（978-4-11-101010-3　）
ブルクミュラー・ソナチネ・ソナタ等進度によって対応

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（978-4-636-95829-4）

S68303

科目名	器楽Ⅲ	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	東　恵子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰ、Ⅱで培った音楽基礎的能力をもとに、人前での演奏力を伸ばし、さらに高い音楽技術の獲得を目指す。

[授業概要]
幼稚園教諭・保育士採用試験およ保育教育実習などに万全で臨めるように、ピアノ演奏と弾き歌いを重視した個人レッスン及びグループ指導を行う。試験は基本的にピアノ演奏と弾き歌い、表現からなっている。到達度確認を2回行う。詳細内容は別記の課題曲、内規などを参照のこと。
(必要教材は1回目の授業時に説明するので、それに従って購入すること)

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
毎回のレッスンに、十分な練習をして臨むこと。また、レッスン前後で時間がある場合は、ピアノ練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 個人及びグループ指導①
3. 個人及びグループ指導②
4. 個人及びグループ指導③
5. 個人及びグループ指導④
6. 個人及びグループ指導⑤
7. 個人及びグループ指導⑥
8. 個人及びグループ指導⑦
9. 個人及びグループ指導⑧
10. 個人及びグループ指導⑨
11. 個人及びグループ指導⑩
12. 個人及びグループ指導⑪
13. 個人及びグループ指導⑫
14. 個人及びグループ指導⑬
15. 個人及びグループ指導⑭
＊15回のうち2回は、どの程度習得したかの到達度確認を行う。

[成績評価方法]
ピアノ及び弾き歌い等の実技テストとレッスン状況によって評価する。(テスト50%、レッスン状況50%)
テストの結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅲ	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	東　恵子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：実技テストとレッスンへの取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストとレッスンへの取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同出版社　（978-4-7785-0056-3　）
こどものうた100　＊弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド゛本社　（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊表現で使用。　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（978-4111701957）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社　（978-4-11-101010-3　）
ブルクミュラー・ソナチネ・ソナタ等進度によって対応

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（978-4-636-95829-4）

S68304

科目名	器楽Ⅲ	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	福田　絵麻			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰ、Ⅱで培った音楽基礎的能力をもとに、人前での演奏力を伸ばし、さらに高い音楽技術の獲得を目指す。

[授業概要]
幼稚園教諭・保育士採用試験およ保育教育実習などに万全で臨めるように、ピアノ演奏と弾き歌いを重視した個人レッスン及びグループ指導を行う。試験は基本的にピアノ演奏と弾き歌い、表現からなっている。到達度確認を2回行う。詳細内容は別記の課題曲、内規などを参照のこと。
(必要教材は1回目の授業時に説明するので、それに従って購入すること)

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
毎回のレッスンに、十分な練習をして臨むこと。また、レッスン前後で時間がある場合は、ピアノ練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]

1. オリエンテーション
2. 個人及びグループ指導①
3. 個人及びグループ指導②
4. 個人及びグループ指導③
5. 個人及びグループ指導④
6. 個人及びグループ指導⑤
7. 個人及びグループ指導⑥
8. 個人及びグループ指導⑦
9. 個人及びグループ指導⑧
10. 個人及びグループ指導⑨
11. 個人及びグループ指導⑩
12. 個人及びグループ指導⑪
13. 個人及びグループ指導⑫
14. 個人及びグループ指導⑬
15. 個人及びグループ指導⑭
＊15回のうち2回は、どの程度習得したかの到達度確認を行う。

[成績評価方法]
ピアノ及び弾き歌い等の実技テストとレッスン状況によって評価する。(テスト50%、レッスン状況50%)
テストの結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅲ	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	福田　絵麻			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：実技テストとレッスンへの取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストとレッスンへの取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同出版社　(978-4-7785-0056-3　)
こどものうた100　＊弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　(978-4-8054-8186)
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊表現で使用。　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　(978-4111701957)
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社　(978-4-11-101010-3　)
ブルクミュラー・ソナチネ・ソナタ等進度によって対応

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　(978-4-636-95829-4)

S68305

科目名	器楽Ⅲ	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	福田　可織			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰ、Ⅱで培った音楽基礎的能力をもとに、人前での演奏力を伸ばし、さらに高い音楽技術の獲得を目指す。

[授業概要]
幼稚園教諭・保育士採用試験およ保育教育実習などに万全で臨めるように、ピアノ演奏と弾き歌いを重視した個人レッスン及びグループ指導を行う。試験は基本的にピアノ演奏と弾き歌い、表現からなっている。到達度確認を2回行う。詳細内容は別記の課題曲、内規などを参照のこと。
(必要教材は1回目の授業時に説明するので、それに従って購入すること)

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
毎回のレッスンに、十分な練習をして臨むこと。また、レッスン前後で時間がある場合は、ピアノ練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]

1. オリエンテーション
2. 個人及びグループ指導①
3. 個人及びグループ指導②
4. 個人及びグループ指導③
5. 個人及びグループ指導④
6. 個人及びグループ指導⑤
7. 個人及びグループ指導⑥
8. 個人及びグループ指導⑦
9. 個人及びグループ指導⑧
10. 個人及びグループ指導⑨
11. 個人及びグループ指導⑩
12. 個人及びグループ指導⑪
13. 個人及びグループ指導⑫
14. 個人及びグループ指導⑬
15. 個人及びグループ指導⑭
＊15回のうち2回は、どの程度習得したかの到達度確認を行う。

[成績評価方法]
ピアノ及び弾き歌い等の実技テストとレッスン状況によって評価する。(テスト50%、レッスン状況50%)
テストの結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅲ	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	福田　可織			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：実技テストとレッスンへの取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストとレッスンへの取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同出版社　（978-4-7785-0056-3　）
こどものうた100　＊弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド゛本社　（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊表現で使用。　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（978-4111701957）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社　（978-4-11-101010-3　）
ブルクミュラー・ソナチネ・ソナタ等進度によって対応

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（978-4-636-95829-4）

S68306

科目名	器楽Ⅲ	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	宮内　晴美			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰ、Ⅱで培った音楽基礎的能力をもとに、人前での演奏力を伸ばし、さらに高い音楽技術の獲得を目指す。

[授業概要]
　幼稚園教諭・保育士採用試験および保育教育実習などに万全で臨めるように、ピアノ演奏と弾き歌いを重視した個人レッスン及びグループ指導を行う。試験は基本的にピアノ演奏と弾き歌い、表現からなっている。到達度確認を2回行う。詳細内容は別記の課題曲、内規などを参照のこと。
(必要教材は1回目の授業時に説明するので、それに従って購入すること)

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
　毎回のレッスンに、十分な練習をして臨むこと。また、レッスン前後で時間がある場合は、ピアノ練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 個人及びグループ指導①
3. 個人及びグループ指導②
4. 個人及びグループ指導③
5. 個人及びグループ指導④
6. 個人及びグループ指導⑤
7. 個人及びグループ指導⑥
8. 個人及びグループ指導⑦
9. 個人及びグループ指導⑧
10. 個人及びグループ指導⑨
11. 個人及びグループ指導⑩
12. 個人及びグループ指導⑪
13. 個人及びグループ指導⑫
14. 個人及びグループ指導⑬
15. 個人及びグループ指導⑭
＊15回のうち2回は、どの程度習得したかの到達度確認を行う。

[成績評価方法]
ピアノ及び弾き歌い等の実技テストとレッスン状況によって評価する。(テスト50%、レッスン状況50%)
テストの結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S68307

科目名	器楽Ⅲ	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	宮内　晴美			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：実技テストとレッスンへの取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストとレッスンへの取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同出版社　（9784778500566）
こどものうた100　＊弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　（9784805481868）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊表現で使用。　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（9784111701957）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社　（9784111010103）
ブルクミュラー・ソナチネ・ソナタ等進度によって対応

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（9784636958294）

S68307

科目名	器楽Ⅲ	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	山口　雅敏			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰ、Ⅱで培った音楽基礎的能力をもとに、人前での演奏力を伸ばし、さらに高い音楽技術の獲得を目指す。

[授業概要]
幼稚園教諭・保育士採用試験およ保育教育実習などに万全で臨めるように、ピアノ演奏と弾き歌いを重視した個人レッスン及びグループ指導を行う。試験は基本的にピアノ演奏と弾き歌い、表現からなっている。到達度確認を2回行う。詳細内容は別記の課題曲、内規などを参照のこと。
(必要教材は1回目の授業時に説明するので、それに従って購入すること)

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
毎回のレッスンに、十分な練習をして臨むこと。また、レッスン前後で時間がある場合は、ピアノ練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 個人及びグループ指導①
3. 個人及びグループ指導②
4. 個人及びグループ指導③
5. 個人及びグループ指導④
6. 個人及びグループ指導⑤
7. 個人及びグループ指導⑥
8. 個人及びグループ指導⑦
9. 個人及びグループ指導⑧
10. 個人及びグループ指導⑨
11. 個人及びグループ指導⑩
12. 個人及びグループ指導⑪
13. 個人及びグループ指導⑫
14. 個人及びグループ指導⑬
15. 個人及びグループ指導⑭
＊15回のうち2回は、どの程度習得したかの到達度確認を行う。

[成績評価方法]
ピアノ及び弾き歌い等の実技テストとレッスン状況によって評価する。(テスト50%、レッスン状況50%)
テストの結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅲ	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	山口　雅敏			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：実技テストとレッスンへの取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストとレッスンへの取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同出版社　（978-4-7785-0056-3　）
こどものうた100　＊弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド゛本社　（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊表現で使用。　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（978-4111701957）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社　（978-4-11-101010-3　）
ブルクミュラー・ソナチネ・ソナタ等進度によって対応

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（978-4-636-95829-4）

S68308

科目名	器楽Ⅲ	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	雪原　典子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰ、Ⅱで培った音楽基礎的能力をもとに、人前での演奏力を伸ばし、さらに高い音楽技術の獲得を目指す。

[授業概要]
幼稚園教諭・保育士採用試験およ保育教育実習などに万全で臨めるように、ピアノ演奏と弾き歌いを重視した個人レッスン及びグループ指導を行う。試験は基本的にピアノ演奏と弾き歌い、表現からなっている。到達度確認を2回行う。詳細内容は別記の課題曲、内規などを参照のこと。
(必要教材は1回目の授業時に説明するので、それに従って購入すること)

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
毎回のレッスンに、十分な練習をして臨むこと。また、レッスン前後で時間がある場合は、ピアノ練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 個人及びグループ指導①
3. 個人及びグループ指導②
4. 個人及びグループ指導③
5. 個人及びグループ指導④
6. 個人及びグループ指導⑤
7. 個人及びグループ指導⑥
8. 個人及びグループ指導⑦
9. 個人及びグループ指導⑧
10. 個人及びグループ指導⑨
11. 個人及びグループ指導⑩
12. 個人及びグループ指導⑪
13. 個人及びグループ指導⑫
14. 個人及びグループ指導⑬
15. 個人及びグループ指導⑭
＊15回のうち2回は、どの程度習得したかの到達度確認を行う。

[成績評価方法]
ピアノ及び弾き歌い等の実技テストとレッスン状況によって評価する。(テスト50%、レッスン状況50%)
テストの結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅲ	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	雪原　典子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：実技テストとレッスンへの取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストとレッスンへの取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同出版社　（978-4-7785-0056-3　）
こどものうた100　＊弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊表現で使用。　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（978-4111701957）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社　（978-4-11-101010-3　）
ブルクミュラー・ソナチネ・ソナタ等進度によって対応

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（978-4-636-95829-4）

S68309

科目名	器楽Ⅲ	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	上原　輝子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰ、Ⅱで培った音楽基礎的能力をもとに、人前での演奏力を伸ばし、さらに高い音楽技術の獲得を目指す。

[授業概要]
幼稚園教諭・保育士採用試験およ保育教育実習などに万全で臨めるように、ピアノ演奏と弾き歌いを重視した個人レッスン及びグループ指導を行う。試験は基本的にピアノ演奏と弾き歌い、表現からなっている。到達度確認を2回行う。詳細内容は別記の課題曲、内規などを参照のこと。
(必要教材は1回目の授業時に説明するので、それに従って購入すること)

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
毎回のレッスンに、十分な練習をして臨むこと。また、レッスン前後で時間がある場合は、ピアノ練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]
【全て遠隔授業】
1. オリエンテーション
2. 個人及びグループ指導①
3. 個人及びグループ指導②
4. 個人及びグループ指導③
5. 個人及びグループ指導④
6. 個人及びグループ指導⑤
7. 個人及びグループ指導⑥
8. 個人及びグループ指導⑦
9. 個人及びグループ指導⑧
10. 個人及びグループ指導⑨
11. 個人及びグループ指導⑩
12. 個人及びグループ指導⑪
13. 個人及びグループ指導⑫
14. 個人及びグループ指導⑬
15. 個人及びグループ指導⑭
＊15回のうち2回は、どの程度習得したかの到達度確認を行う。

[成績評価方法]
ピアノ及び弾き歌い等の実技テストとレッスン状況によって評価する。(テスト50%、レッスン状況50%)
テストの結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅲ	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	上原　輝子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：実技テストとレッスンへの取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストとレッスンへの取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同出版社　（978-4-7785-0056-3　）
こどものうた100　＊弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド゛本社　（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊表現で使用。　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（978-4111701957）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社　（978-4-11-101010-3　）
ブルクミュラー・ソナチネ・ソナタ等進度によって対応

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（978-4-636-95829-4）

S68320

科目名	器楽Ⅲ	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	久我　裕子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰ、Ⅱで培った音楽基礎的能力をもとに、人前での演奏力を伸ばし、さらに高い音楽技術の獲得を目指す。

[授業概要]
幼稚園教諭・保育士採用試験およ保育教育実習などに万全で臨めるように、ピアノ演奏と弾き歌いを重視した個人レッスン及びグループ指導を行う。試験は基本的にピアノ演奏と弾き歌い、表現からなっている。到達度確認を2回行う。詳細内容は別記の課題曲、内規などを参照のこと。
(必要教材は1回目の授業時に説明するので、それに従って購入すること)

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
毎回のレッスンに、十分な練習をして臨むこと。また、レッスン前後で時間がある場合は、ピアノ練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 個人及びグループ指導①
3. 個人及びグループ指導②
4. 個人及びグループ指導③
5. 個人及びグループ指導④
6. 個人及びグループ指導⑤
7. 個人及びグループ指導⑥
8 . 個人及びグループ指導⑦
9. 個人及びグループ指導⑧
10. 個人及びグループ指導⑨
11. 個人及びグループ指導⑩
12. 個人及びグループ指導⑪
13. 個人及びグループ指導⑫
14. 個人及びグループ指導⑬
15. 個人及びグループ指導⑭
＊15回のうち2回は、どの程度習得したかの到達度確認を行う。

[成績評価方法]
ピアノ及び弾き歌い等の実技テストとレッスン状況によって評価する。(テスト50%、レッスン状況50%)
テストの結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅲ	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	久我　裕子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：実技テストとレッスンへの取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストとレッスンへの取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同出版社　（9784778500566）
こどものうた100　＊弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　（9784805481868）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊表現で使用。　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（9784111701957）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社　（9784111010103）
ブルクミュラー・ソナチネ・ソナタ等進度によって対応

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（9784636958294）

S68321

科目名	器楽Ⅲ	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	鈴江　美子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰ、Ⅱで培った音楽基礎的能力をもとに、人前での演奏力を伸ばし、さらに高い音楽技術の獲得を目指す。

[授業概要]
幼稚園教諭・保育士採用試験およ保育教育実習などに万全で臨めるように、ピアノ演奏と弾き歌いを重視した個人レッスン及びグループ指導を行う。試験は基本的にピアノ演奏と弾き歌い、表現からなっている。到達度確認を2回行う。詳細内容は別記の課題曲、内規などを参照のこと。
(必要教材は1回目の授業時に説明するので、それに従って購入すること)

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
毎回のレッスンに、十分な練習をして臨むこと。また、レッスン前後で時間がある場合は、ピアノ練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 個人及びグループ指導①
3. 個人及びグループ指導②
4. 個人及びグループ指導③
5. 個人及びグループ指導④
6. 個人及びグループ指導⑤
7. 個人及びグループ指導⑥
8. 個人及びグループ指導⑦
9. 個人及びグループ指導⑧
10. 個人及びグループ指導⑨
11. 個人及びグループ指導⑩
12. 個人及びグループ指導⑪
13. 個人及びグループ指導⑫
14. 個人及びグループ指導⑬
15. 個人及びグループ指導⑭
＊15回のうち2回は、どの程度習得したかの到達度確認を行う。

[成績評価方法]
ピアノ及び弾き歌い等の実技テストとレッスン状況によって評価する。(テスト50%、レッスン状況50%)
テストの結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅲ	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	鈴江　美子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：実技テストとレッスンへの取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストとレッスンへの取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同出版社　（978-4-7785-0056-3　）
こどものうた100　＊弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド゛本社　（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊表現で使用。　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（978-4111701957）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社　（978-4-11-101010-3　）
ブルクミュラー・ソナチネ・ソナタ等進度によって対応

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（978-4-636-95829-4）

S68322

科目名	器楽Ⅲ	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	田中　琴弓			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰ、Ⅱで培った音楽基礎的能力をもとに、人前での演奏力を伸ばし、さらに高い音楽技術の獲得を目指す。

[授業概要]
幼稚園教諭・保育士採用試験およ保育教育実習などに万全で臨めるように、ピアノ演奏と弾き歌いを重視した個人レッスン及びグループ指導を行う。試験は基本的にピアノ演奏と弾き歌い、表現からなっている。到達度確認を2回行う。詳細内容は別記の課題曲、内規などを参照のこと。
(必要教材は1回目の授業時に説明するので、それに従って購入すること)

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
毎回のレッスンに、十分な練習をして臨むこと。また、レッスン前後で時間がある場合は、ピアノ練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 個人及びグループ指導①
3. 個人及びグループ指導②
4. 個人及びグループ指導③
5. 個人及びグループ指導④
6. 個人及びグループ指導⑤
7. 個人及びグループ指導⑥
8 . 個人及びグループ指導⑦
9. 個人及びグループ指導⑧
10. 個人及びグループ指導⑨
11. 個人及びグループ指導⑩
12. 個人及びグループ指導⑪
13. 個人及びグループ指導⑫
14. 個人及びグループ指導⑬
15. 個人及びグループ指導⑭
＊15回のうち2回は、どの程度習得したかの到達度確認を行う。

[成績評価方法]
ピアノ及び弾き歌い等の実技テストとレッスン状況によって評価する。(テスト50%、レッスン状況50%)
テストの結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅲ	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	田中　琴弓			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：実技テストとレッスンへの取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストとレッスンへの取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同出版社　（978-4-7785-0056-3　）
こどものうた100　＊弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊表現で使用。　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（978-4111701957）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社　（978-4-11-101010-3　）
ブルクミュラー・ソナチネ・ソナタ等進度によって対応

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（978-4-636-95829-4）

S68323

科目名	器楽Ⅲ	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	辻　真理子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰ、Ⅱで培った音楽基礎的能力をもとに、人前での演奏力を伸ばし、さらに高い音楽技術の獲得を目指す。

[授業概要]
幼稚園教諭・保育士採用試験およ保育教育実習などに万全で臨めるように、ピアノ演奏と弾き歌いを重視した個人レッスン及びグループ指導を行う。試験は基本的にピアノ演奏と弾き歌い、表現からなっている。到達度確認を2回行う。詳細内容は別記の課題曲、内規などを参照のこと。
(必要教材は1回目の授業時に説明するので、それに従って購入すること)

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
毎回のレッスンに、十分な練習をして臨むこと。また、レッスン前後で時間がある場合は、ピアノ練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 個人及びグループ指導①
3. 個人及びグループ指導②
4. 個人及びグループ指導③
5. 個人及びグループ指導④
6. 個人及びグループ指導⑤
7. 個人及びグループ指導⑥
8. 個人及びグループ指導⑦
9. 個人及びグループ指導⑧
10. 個人及びグループ指導⑨
11. 個人及びグループ指導⑩
12. 個人及びグループ指導⑪
13. 個人及びグループ指導⑫
14. 個人及びグループ指導⑬
15. 個人及びグループ指導⑭
＊15回のうち2回は、どの程度習得したかの到達度確認を行う。

[成績評価方法]
ピアノ及び弾き歌い等の実技テストとレッスン状況によって評価する。(テスト50%、レッスン状況50%)
テストの結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅲ	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	辻　真理子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：実技テストとレッスンへの取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストとレッスンへの取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同出版社　（978-4-7785-0056-3　）
こどものうた100　＊弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド゛本社　（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊表現で使用。　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（978-4111701957）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社　（978-4-11-101010-3　）
ブルクミュラー・ソナチネ・ソナタ等進度によって対応

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（978-4-636-95829-4）

S68324

科目名	器楽Ⅲ	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	東　恵子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰ、Ⅱで培った音楽基礎的能力をもとに、人前での演奏力を伸ばし、さらに高い音楽技術の獲得を目指す。

[授業概要]
幼稚園教諭・保育士採用試験およ保育教育実習などに万全で臨めるように、ピアノ演奏と弾き歌いを重視した個人レッスン及びグループ指導を行う。試験は基本的にピアノ演奏と弾き歌い、表現からなっている。到達度確認を2回行う。詳細内容は別記の課題曲、内規などを参照のこと。
(必要教材は1回目の授業時に説明するので、それに従って購入すること)

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
毎回のレッスンに、十分な練習をして臨むこと。また、レッスン前後で時間がある場合は、ピアノ練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 個人及びグループ指導①
3. 個人及びグループ指導②
4. 個人及びグループ指導③
5. 個人及びグループ指導④
6. 個人及びグループ指導⑤
7. 個人及びグループ指導⑥
8. 個人及びグループ指導⑦
9. 個人及びグループ指導⑧
10. 個人及びグループ指導⑨
11. 個人及びグループ指導⑩
12. 個人及びグループ指導⑪
13. 個人及びグループ指導⑫
14. 個人及びグループ指導⑬
15. 個人及びグループ指導⑭
＊15回のうち2回は、どの程度習得したかの到達度確認を行う。

[成績評価方法]
ピアノ及び弾き歌い等の実技テストとレッスン状況によって評価する。(テスト50%、レッスン状況50%)
テストの結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅲ	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	東　恵子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：実技テストとレッスンへの取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストとレッスンへの取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同出版社　（978-4-7785-0056-3　）
こどものうた100　＊弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド゛本社　（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊表現で使用。　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（978-4111701957）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社　（978-4-11-101010-3　）
ブルクミュラー・ソナチネ・ソナタ等進度によって対応

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（978-4-636-95829-4）

S68325

科目名	器楽Ⅲ	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	福田　可織			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰ、Ⅱで培った音楽基礎的能力をもとに、人前での演奏力を伸ばし、さらに高い音楽技術の獲得を目指す。

[授業概要]
幼稚園教諭・保育士採用試験およ保育教育実習などに万全で臨めるように、ピアノ演奏と弾き歌いを重視した個人レッスン及びグループ指導を行う。試験は基本的にピアノ演奏と弾き歌い、表現からなっている。到達度確認を2回行う。詳細内容は別記の課題曲、内規などを参照のこと。
(必要教材は1回目の授業時に説明するので、それに従って購入すること)

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
毎回のレッスンに、十分な練習をして臨むこと。また、レッスン前後で時間がある場合は、ピアノ練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]

1. オリエンテーション
2. 個人及びグループ指導①
3. 個人及びグループ指導②
4. 個人及びグループ指導③
5. 個人及びグループ指導④
6. 個人及びグループ指導⑤
7. 個人及びグループ指導⑥
8. 個人及びグループ指導⑦
9. 個人及びグループ指導⑧
10. 個人及びグループ指導⑨
11. 個人及びグループ指導⑩
12. 個人及びグループ指導⑪
13. 個人及びグループ指導⑫
14. 個人及びグループ指導⑬
15. 個人及びグループ指導⑭
＊15回のうち2回は、どの程度習得したかの到達度確認を行う。

[成績評価方法]
ピアノ及び弾き歌い等の実技テストとレッスン状況によって評価する。(テスト50%、レッスン状況50%)
テストの結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅲ	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	福田　可織			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：実技テストとレッスンへの取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストとレッスンへの取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同出版社　（978-4-7785-0056-3　）
こどものうた100　＊弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド゛本社　（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊表現で使用。　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（978-4111701957）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社　（978-4-11-101010-3　）
ブルクミュラー・ソナチネ・ソナタ等進度によって対応

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（978-4-636-95829-4）

S68326

科目名	器楽Ⅲ	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	山口　雅敏			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰ、Ⅱで培った音楽基礎的能力をもとに、人前での演奏力を伸ばし、さらに高い音楽技術の獲得を目指す。

[授業概要]
幼稚園教諭・保育士採用試験およ保育教育実習などに万全で臨めるように、ピアノ演奏と弾き歌いを重視した個人レッスン及びグループ指導を行う。試験は基本的にピアノ演奏と弾き歌い、表現からなっている。到達度確認を2回行う。詳細内容は別記の課題曲、内規などを参照のこと。
(必要教材は1回目の授業時に説明するので、それに従って購入すること)

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
毎回のレッスンに、十分な練習をして臨むこと。また、レッスン前後で時間がある場合は、ピアノ練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 個人及びグループ指導①
3. 個人及びグループ指導②
4. 個人及びグループ指導③
5. 個人及びグループ指導④
6. 個人及びグループ指導⑤
7. 個人及びグループ指導⑥
8. 個人及びグループ指導⑦
9. 個人及びグループ指導⑧
10. 個人及びグループ指導⑨
11. 個人及びグループ指導⑩
12. 個人及びグループ指導⑪
13. 個人及びグループ指導⑫
14. 個人及びグループ指導⑬
15. 個人及びグループ指導⑭
＊15回のうち2回は、どの程度習得したかの到達度確認を行う。

[成績評価方法]
ピアノ及び弾き歌い等の実技テストとレッスン状況によって評価する。(テスト50%、レッスン状況50%)
テストの結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅲ	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	山口　雅敏			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：実技テストとレッスンへの取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストとレッスンへの取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同出版社　（978-4-7785-0056-3　）
こどものうた100　＊弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド゛本社　（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊表現で使用。　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（978-4111701957）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社　（978-4-11-101010-3　）
ブルクミュラー・ソナチネ・ソナタ等進度によって対応

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（978-4-636-95829-4）

S68327

科目名	器楽Ⅲ	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	山下　佑子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰ、Ⅱで培った音楽基礎的能力をもとに、人前での演奏力を伸ばし、さらに高い音楽技術の獲得を目指す。

[授業概要]
幼稚園教諭・保育士採用試験およ保育教育実習などに万全で臨めるように、ピアノ演奏と弾き歌いを重視した個人レッスン及びグループ指導を行う。試験は基本的にピアノ演奏と弾き歌い、表現からなっている。到達度確認を2回行う。詳細内容は別記の課題曲、内規などを参照のこと。
(必要教材は1回目の授業時に説明するので、それに従って購入すること)

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
　毎回のレッスンに、十分な練習をして臨むこと。また、レッスン前後で時間がある場合は、ピアノ練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 個人及びグループ指導①
3. 個人及びグループ指導②
4. 個人及びグループ指導③
5. 個人及びグループ指導④
6. 個人及びグループ指導⑤
7. 個人及びグループ指導⑥
8. 個人及びグループ指導⑦
9. 個人及びグループ指導⑧
10. 個人及びグループ指導⑨
11. 個人及びグループ指導⑩
12. 個人及びグループ指導⑪
13. 個人及びグループ指導⑫
14. 個人及びグループ指導⑬
15. 個人及びグループ指導⑭
＊15回のうち2回は、どの程度習得したかの到達度確認を行う。

[成績評価方法]
ピアノ及び弾き歌い等の実技テストとレッスン状況によって評価する。(テスト50%、レッスン状況50%)
テストの結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅲ	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	山下　佑子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：実技テストとレッスンへの取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストとレッスンへの取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　　出版社：共同出版社　（978-4-7785-0056-3）
こどものうた100　＊弾き歌いで使用。 著者名：小林美実：監修　　出版社：チャイルド゛本社　（978-4-8054-8186　）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊表現で使用。 著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社 （978-4111701957）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社 （978-4-11-101010-3　）
ブルクミュラー・ソナチネ・ソナタ等進度によって対応

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア （978-4-636-95829-4　）

S68328

科目名	器楽Ⅲ	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	雪原　典子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
器楽Ⅰ、Ⅱで培った音楽基礎的能力をもとに、人前での演奏力を伸ばし、さらに高い音楽技術の獲得を目指す。

[授業概要]
幼稚園教諭・保育士採用試験およ保育教育実習などに万全で臨めるように、ピアノ演奏と弾き歌いを重視した個人レッスン及びグループ指導を行う。試験は基本的にピアノ演奏と弾き歌い、表現からなっている。到達度確認を2回行う。詳細内容は別記の課題曲、内規などを参照のこと。
(必要教材は1回目の授業時に説明するので、それに従って購入すること)

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
毎回のレッスンに、十分な練習をして臨むこと。また、レッスン前後で時間がある場合は、ピアノ練習室などでしっかり練習すること。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 個人及びグループ指導①
3. 個人及びグループ指導②
4. 個人及びグループ指導③
5. 個人及びグループ指導④
6. 個人及びグループ指導⑤
7. 個人及びグループ指導⑥
8. 個人及びグループ指導⑦
9. 個人及びグループ指導⑧
10. 個人及びグループ指導⑨
11. 個人及びグループ指導⑩
12. 個人及びグループ指導⑪
13. 個人及びグループ指導⑫
14. 個人及びグループ指導⑬
15. 個人及びグループ指導⑭
＊15回のうち2回は、どの程度習得したかの到達度確認を行う。

[成績評価方法]
ピアノ及び弾き歌い等の実技テストとレッスン状況によって評価する。(テスト50%、レッスン状況50%)
テストの結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅲ	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	雪原　典子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：実技テストとレッスンへの取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストとレッスンへの取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同出版社　（978-4-7785-0056-3　）
こどものうた100　＊弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド゛本社　（978-4-8054-8186）
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊表現で使用。　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　（978-4111701957）
標準バイエルピアノ教則本　出版社：全音出版社　（978-4-11-101010-3　）
ブルクミュラー・ソナチネ・ソナタ等進度によって対応

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　（978-4-636-95829-4）

S68329

科目名	器楽Ⅳ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	久我　裕子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
到達度確認を通して、人前での演奏に慣れ、さらに高い音楽技術の獲得を目指す。

[授業概要]
幼稚園教員・保育士採用試験および教育実習などに万全で臨めるように、ピアノ演奏と弾き歌い、表現を重視した個人レッスンおよびグループ指導を行う。到達度確認は2回行われる。詳細内容や教材についてはオリエンテーション時に配布の課題曲、内規などを参照のこと。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
毎回のレッスンに、十分な練習をして臨むこと.。また、レッスン前後はピアノ練習室などで、しっかり練習すること。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 個人およびグループ指導①
3. 個人およびグループ指導②
4. 個人およびグループ指導③
5. 個人およびグループ指導④
6. 個人およびグループ指導⑤
7. 個人およびグループ指導⑥
8. 個人およびグループ指導⑦
9. 個人およびグループ指導⑧
10. 個人およびグループ指導⑨
11. 個人およびグループ指導⑩
12. 個人およびグループ指導⑪
13. 個人およびグループ指導⑫
14. 個人およびグループ指導⑬
15. 個人およびグループ指導⑭
＊15回のうち2回は、どの程度習得したかの到達度確認を行う。

教材・内容は担当教員が各人に指示する。

[成績評価方法]
実技テスト（50%）およびレッスン状況や授業への取り組みに（50%）よって評価する。
テスト結果については、原則的にレッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S68400

科目名	器楽Ⅳ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	久我　裕子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　(978-4-7785-0056-3)
こどものうた100　＊弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　(978-4-8054-8186)
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊表現で使用。　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　(978-4111701957)
バイエル、ブルクミュラー、ソナチネ、ソナタ等は各自の進度によって指示

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　(978-4-636-95829-4)

S68400

科目名	器楽Ⅳ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	小林　由佳			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
到達度確認を通して、人前での演奏に慣れ、さらに高い音楽技術の獲得を目指す。

[授業概要]
幼稚園教員・保育士採用試験および教育実習などに万全で臨めるように、ピアノ演奏と弾き歌い、表現を重視した個人レッスンおよびグループ指導を行う。到達度確認は2回行われる。詳細内容や教材についてはオリエンテーション時に配布の課題曲、内規などを参照のこと。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
毎回のレッスンに、十分な練習をして臨むこと.。また、レッスン前後はピアノ練習室などで、しっかり練習すること。

[授業計画]
1.　オリエンテーション
2.　個人およびグループ指導①
3.　個人およびグループ指導②
4.　個人およびグループ指導③
5.　個人およびグループ指導④
6.　個人およびグループ指導⑤
7.　個人およびグループ指導⑥
8.　個人およびグループ指導⑦
9.　個人およびグループ指導⑧
10. 個人およびグループ指導⑨
11. 個人およびグループ指導⑩
12. 個人およびグループ指導⑪
13. 個人およびグループ指導⑫
14. 個人およびグループ指導⑬
15. 個人およびグループ指導⑭
＊15回のうち2回は、どの程度習得したかの到達度確認を行う。

教材・内容は担当教員が各人に指示する。

[成績評価方法]
実技テスト（50%）およびレッスン状況や授業への取り組みに（50%）よって評価する。
テスト結果については、原則的にレッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S68401

科目名	器楽Ⅳ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	小林　由佳			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　(978-4-7785-0056-3)
こどものうた100　＊弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　(978-4-8054-8186)
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊表現で使用。　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　(978-4111701957)
バイエル、ブルクミュラー、ソナチネ、ソナタ等は各自の進度によって指示

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　(978-4-636-95829-4)

S68401

科目名	器楽Ⅳ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	鈴江　美子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
到達度確認を通して、人前での演奏に慣れ、さらに高い音楽技術の獲得を目指す。

[授業概要]
幼稚園教員・保育士採用試験および教育実習などに万全で臨めるように、ピアノ演奏と弾き歌い、表現を重視した個人レッスンおよびグループ指導を行う。到達度確認は2回行われる。詳細内容や教材についてはオリエンテーション時に配布の課題曲、内規などを参照のこと。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
毎回のレッスンに、十分な練習をして臨むこと.。また、レッスン前後はピアノ練習室などで、しっかり練習すること。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 個人およびグループ指導①
3. 個人およびグループ指導②
4. 個人およびグループ指導③
5. 個人およびグループ指導④
6. 個人およびグループ指導⑤
7. 個人およびグループ指導⑥
8. 個人およびグループ指導⑦
9. 個人およびグループ指導⑧
10. 個人およびグループ指導⑨
11. 個人およびグループ指導⑩
12. 個人およびグループ指導⑪
13. 個人およびグループ指導⑫
14. 個人およびグループ指導⑬
15. 個人およびグループ指導⑭
＊15回のうち2回は、どの程度習得したかの到達度確認を行う。

教材・内容は担当教員が各人に指示する。

[成績評価方法]
実技テスト（50%）およびレッスン状況や授業への取り組みに（50%）よって評価する。
テスト結果については、原則的にレッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅳ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	鈴江　美子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　(978-4-7785-0056-3)
こどものうた100　＊弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　(978-4-8054-8186)
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊表現で使用。　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　(978-4111701957)
バイエル、ブルクミュラー、ソナチネ、ソナタ等は各自の進度によって指示

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　(978-4-636-95829-4)

S68402

科目名	器楽Ⅳ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	田中　琴弓			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
到達度確認を通して、人前での演奏に慣れ、さらに高い音楽技術の獲得を目指す。

[授業概要]
幼稚園教員・保育士採用試験および教育実習などに万全で臨めるように、ピアノ演奏と弾き歌い、表現を重視した個人レッスンおよびグループ指導を行う。到達度確認は2回行われる。詳細内容や教材についてはオリエンテーション時に配布の課題曲、内規などを参照のこと。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
毎回のレッスンに、十分な練習をして臨むこと.。また、レッスン前後はピアノ練習室などで、しっかり練習すること。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 個人およびグループ指導①
3. 個人およびグループ指導②
4. 個人およびグループ指導③
5. 個人およびグループ指導④
6. 個人およびグループ指導⑤
7. 個人およびグループ指導⑥
8. 個人およびグループ指導⑦
9. 個人およびグループ指導⑧
10 . 個人およびグループ指導⑨
11. 個人およびグループ指導⑩
12. 個人およびグループ指導⑪
13. 個人およびグループ指導⑫
14. 個人およびグループ指導⑬
15. 個人およびグループ指導⑭
＊15回のうち2回は、どの程度習得したかの到達度確認を行う。

教材・内容は担当教員が各人に指示する。

[成績評価方法]
実技テスト（50%）およびレッスン状況や授業への取り組みに（50%）よって評価する。
テスト結果については、原則的にレッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S68403

科目名	器楽Ⅳ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	田中　琴弓			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　(978-4-7785-0056-3)
こどものうた100　＊弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　(978-4-8054-8186)
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊表現で使用。　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　(978-4111701957)
バイエル、ブルクミュラー、ソナチネ、ソナタ等は各自の進度によって指示

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　(978-4-636-95829-4)

S68403

科目名	器楽Ⅳ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	東　恵子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
到達度確認を通して、人前での演奏に慣れ、さらに高い音楽技術の獲得を目指す。

[授業概要]
幼稚園教員・保育士採用試験および教育実習などに万全で臨めるように、ピアノ演奏と弾き歌い、表現を重視した個人レッスンおよびグループ指導を行う。到達度確認は2回行われる。詳細内容や教材についてはオリエンテーション時に配布の課題曲、内規などを参照のこと。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
毎回のレッスンに、十分な練習をして臨むこと.。また、レッスン前後はピアノ練習室などで、しっかり練習すること。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 個人およびグループ指導①
3. 個人およびグループ指導②
4. 個人およびグループ指導③
5. 個人およびグループ指導④
6. 個人およびグループ指導⑤
7. 個人およびグループ指導⑥
8. 個人およびグループ指導⑦
9. 個人およびグループ指導⑧
10. 個人およびグループ指導⑨
11. 個人およびグループ指導⑩
12. 個人およびグループ指導⑪
13. 個人およびグループ指導⑫
14. 個人およびグループ指導⑬
15. 個人およびグループ指導⑭
＊15回のうち2回は、どの程度習得したかの到達度確認を行う。

教材・内容は担当教員が各人に指示する。

[成績評価方法]
実技テスト（50%）およびレッスン状況や授業への取り組みに（50%）よって評価する。
テスト結果については、原則的にレッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅳ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	東　恵子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　(978-4-7785-0056-3)
こどものうた100　＊弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　(978-4-8054-8186)
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊表現で使用。　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　(978-4111701957)
バイエル、ブルクミュラー、ソナチネ、ソナタ等は各自の進度によって指示

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　(978-4-636-95829-4)

科目名	器楽Ⅳ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	福田　絵麻			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
到達度確認を通して、人前での演奏に慣れ、さらに高い音楽技術の獲得を目指す。

[授業概要]
幼稚園教員・保育士採用試験および教育実習などに万全で臨めるように、ピアノ演奏と弾き歌い、表現を重視した個人レッスンおよびグループ指導を行う。到達度確認は2回行われる。詳細内容や教材についてはオリエンテーション時に配布の課題曲、内規などを参照のこと。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
毎回のレッスンに、十分な練習をして臨むこと.。また、レッスン前後はピアノ練習室などで、しっかり練習すること。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 個人およびグループ指導①
3. 個人およびグループ指導②
4. 個人およびグループ指導③
5. 個人およびグループ指導④
6. 個人およびグループ指導⑤
7. 個人およびグループ指導⑥
8. 個人およびグループ指導⑦
9. 個人およびグループ指導⑧
10. 個人およびグループ指導⑨
11. 個人およびグループ指導⑩
12. 個人およびグループ指導⑪
13. 個人およびグループ指導⑫
14. 個人およびグループ指導⑬
15. 個人およびグループ指導⑭
＊15回のうち2回は、どの程度習得したかの到達度確認を行う。

教材・内容は担当教員が各人に指示する。

[成績評価方法]
実技テスト（80%）およびレッスン状況や授業への取り組みに（20%）よって評価する。
テスト結果については、原則的にレッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅳ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	福田　絵麻			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　(978-4-7785-0056-3)
こどものうた100　＊弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　(978-4-8054-8186)
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊表現で使用。　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　(978-4111701957)
バイエル、ブルクミュラー、ソナチネ、ソナタ等は各自の進度によって指示

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　(978-4-636-95829-4)

S68405

科目名	器楽Ⅳ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	福田　可織			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
到達度確認を通して、人前での演奏に慣れ、さらに高い音楽技術の獲得を目指す。

[授業概要]
幼稚園教員・保育士採用試験および教育実習などに万全で臨めるように、ピアノ演奏と弾き歌い、表現を重視した個人レッスンおよびグループ指導を行う。到達度確認は2回行われる。詳細内容や教材についてはオリエンテーション時に配布の課題曲、内規などを参照のこと。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
毎回のレッスンに、十分な練習をして臨むこと.。また、レッスン前後はピアノ練習室などで、しっかり練習すること。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 個人およびグループ指導①
3. 個人およびグループ指導②
4. 個人およびグループ指導③
5. 個人およびグループ指導④
6. 個人およびグループ指導⑤
7. 個人およびグループ指導⑥
8. 個人およびグループ指導⑦
9. 個人およびグループ指導⑧
10. 個人およびグループ指導⑨
11. 個人およびグループ指導⑩
12. 個人およびグループ指導⑪
13. 個人およびグループ指導⑫
14. 個人およびグループ指導⑬
15. 個人およびグループ指導⑭
＊15回のうち2回は、どの程度習得したかの到達度確認を行う。

教材・内容は担当教員が各人に指示する。

[成績評価方法]
実技テストの成績とレッスンの状況などによって総合的に評価する。
実技テスト50%その他50%。
テスト結果については、原則的にレッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S68406

科目名	器楽Ⅳ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	福田　可織			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　(978-4-7785-0056-3)
こどものうた100　＊弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド゛本社　(978-4-8054-8186)
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊表現で使用。　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　(978-4111701957)
バイエル、ブルクミュラー、ソナチネ、ソナタ等は各自の進度によって指示

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　(978-4-636-95829-4)

S68406

科目名	器楽Ⅳ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	宮内　晴美			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
到達度確認を通して、人前での演奏に慣れ、さらに高い音楽技術の獲得を目指す。

[授業概要]
　幼稚園教員・保育士採用試験および教育実習などに万全で臨めるように、ピアノ演奏と弾き歌い、表現を重視した個人レッスンおよびグループ指導を行う。到達度確認は2回行われる。詳細内容や教材についてはオリエンテーション時に配布の課題曲、内規などを参照のこと。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
　毎回のレッスンに、十分な練習をして臨むこと.。また、レッスン前後はピアノ練習室などで、しっかり練習すること。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 個人およびグループ指導①
3. 個人およびグループ指導②
4. 個人およびグループ指導③
5. 個人およびグループ指導④
6. 個人およびグループ指導⑤
7. 個人およびグループ指導⑥
8. 個人およびグループ指導⑦
9. 個人およびグループ指導⑧
10. 個人およびグループ指導⑨
11. 個人およびグループ指導⑩
12. 個人およびグループ指導⑪
13. 個人およびグループ指導⑫
14. 個人およびグループ指導⑬
15. 個人およびグループ指導⑭
＊15回のうち2回は、どの程度習得したかの到達度確認を行う。

　教材・内容は担当教員が各人に指示する。

[成績評価方法]
実技テスト（80%）およびレッスン状況や授業への取り組みに（20%）よって評価する。
テスト結果については、原則的にレッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅳ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	宮内　晴美			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　(978-4-7785-0056-3)
こどものうた100　＊弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　(978-4-8054-8186)
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊表現で使用。　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　(978-4111701957)
バイエル、ブルクミュラー、ソナチネ、ソナタ等は各自の進度によって指示

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　(978-4-636-95829-4)

S68407

科目名	器楽Ⅳ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	山口　雅敏			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
到達度確認を通して、人前での演奏に慣れ、さらに高い音楽技術の獲得を目指す。

[授業概要]
幼稚園教員・保育士採用試験および教育実習などに万全で臨めるように、ピアノ演奏と弾き歌い、表現を重視した個人レッスンおよびグループ指導を行う。到達度確認は2回行われる。詳細内容や教材についてはオリエンテーション時に配布の課題曲、内規などを参照のこと。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
毎回のレッスンに、十分な練習をして臨むこと.。また、レッスン前後はピアノ練習室などで、しっかり練習すること。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 個人およびグループ指導①
3. 個人およびグループ指導②
4. 個人およびグループ指導③
5. 個人およびグループ指導④
6. 個人およびグループ指導⑤
7. 個人およびグループ指導⑥
8. 個人およびグループ指導⑦
9. 個人およびグループ指導⑧
10. 個人およびグループ指導⑨
11. 個人およびグループ指導⑩
12. 個人およびグループ指導⑪
13. 個人およびグループ指導⑫
14. 個人およびグループ指導⑬
15. 個人およびグループ指導⑭
＊15回のうち2回は、どの程度習得したかの到達度確認を行う。

教材・内容は担当教員が各人に指示する。

[成績評価方法]
実技テスト（50%）およびレッスン状況や授業への取り組みに（50%）よって評価する。
テスト結果については、原則的にレッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S68408

科目名	器楽Ⅳ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	山口　雅敏			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　(978-4-7785-0056-3)
こどものうた100　＊弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　(978-4-8054-8186)
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊表現で使用。　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　(978-4111701957)
バイエル、ブルクミュラー、ソナチネ、ソナタ等は各自の進度によって指示

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　(978-4-636-95829-4)

科目名	器楽Ⅳ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	雪原　典子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
到達度確認を通して、人前での演奏に慣れ、さらに高い音楽技術の獲得を目指す。

[授業概要]
幼稚園教員・保育士採用試験および教育実習などに万全で臨めるように、ピアノ演奏と弾き歌い、表現を重視した個人レッスンおよびグループ指導を行う。到達度確認は2回行われる。詳細内容や教材についてはオリエンテーション時に配布の課題曲、内規などを参照のこと。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
毎回のレッスンに、十分な練習をして臨むこと.。また、レッスン前後はピアノ練習室などで、しっかり練習すること。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 個人およびグループ指導①
3. 個人およびグループ指導②
4. 個人およびグループ指導③
5. 個人およびグループ指導④
6. 個人およびグループ指導⑤
7. 個人およびグループ指導⑥
8. 個人およびグループ指導⑦
9. 個人およびグループ指導⑧
10. 個人およびグループ指導⑨
11. 個人およびグループ指導⑩
12. 個人およびグループ指導⑪
13. 個人およびグループ指導⑫
14. 個人およびグループ指導⑬
15. 個人およびグループ指導⑭
＊15回のうち2回は、どの程度習得したかの到達度確認を行う。

教材・内容は担当教員が各人に指示する。

[成績評価方法]
実技テスト（50%）およびレッスン状況や授業への取り組みに（50%）よって評価する。
テスト結果については、原則的にレッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S68409

科目名	器楽Ⅳ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	雪原　典子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　(978-4-7785-0056-3)
こどものうた100　＊弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　(978-4-8054-8186)
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊表現で使用。　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　(978-4111701957)
バイエル、ブルクミュラー、ソナチネ、ソナタ等は各自の進度によって指示

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　(978-4-636-95829-4)

S68409

科目名	器楽Ⅳ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	久我　裕子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
到達度確認を通して、人前での演奏に慣れ、さらに高い音楽技術の獲得を目指す。

[授業概要]
幼稚園教員・保育士採用試験および教育実習などに万全で臨めるように、ピアノ演奏と弾き歌い、表現を重視した個人レッスンおよびグループ指導を行う。到達度確認は2回行われる。詳細内容や教材についてはオリエンテーション時に配布の課題曲、内規などを参照のこと。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
毎回のレッスンに、十分な練習をして臨むこと.。また、レッスン前後はピアノ練習室などで、しっかり練習すること。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 個人およびグループ指導①
3. 個人およびグループ指導②
4. 個人およびグループ指導③
5. 個人およびグループ指導④
6. 個人およびグループ指導⑤
7. 個人およびグループ指導⑥
8. 個人およびグループ指導⑦
9. 個人およびグループ指導⑧
10. 個人およびグループ指導⑨
11. 個人およびグループ指導⑩
12. 個人およびグループ指導⑪
13. 個人およびグループ指導⑫
14. 個人およびグループ指導⑬
15. 個人およびグループ指導⑭
＊15回のうち2回は、どの程度習得したかの到達度確認を行う。

教材・内容は担当教員が各人に指示する。

[成績評価方法]
実技テスト（50%）およびレッスン状況や授業への取り組みに（50%）よって評価する。
テスト結果については、原則的にレッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅳ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	久我　裕子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　(978-4-7785-0056-3)
こどものうた100　＊弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　(978-4-8054-8186)
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊表現で使用。　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　(978-4111701957)
バイエル、ブルクミュラー、ソナチネ、ソナタ等は各自の進度によって指示

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　(978-4-636-95829-4)

科目名	器楽Ⅳ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	鈴江　美子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
到達度確認を通して、人前での演奏に慣れ、さらに高い音楽技術の獲得を目指す。

[授業概要]
幼稚園教員・保育士採用試験および教育実習などに万全で臨めるように、ピアノ演奏と弾き歌い、表現を重視した個人レッスンおよびグループ指導を行う。到達度確認は2回行われる。詳細内容や教材についてはオリエンテーション時に配布の課題曲、内規などを参照のこと。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
毎回のレッスンに、十分な練習をして臨むこと.。また、レッスン前後はピアノ練習室などで、しっかり練習すること。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 個人およびグループ指導①
3. 個人およびグループ指導②
4. 個人およびグループ指導③
5. 個人およびグループ指導④
6. 個人およびグループ指導⑤
7. 個人およびグループ指導⑥
8. 個人およびグループ指導⑦
9. 個人およびグループ指導⑧
10. 個人およびグループ指導⑨
11. 個人およびグループ指導⑩
12. 個人およびグループ指導⑪
13. 個人およびグループ指導⑫
14. 個人およびグループ指導⑬
15. 個人およびグループ指導⑭
＊15回のうち2回は、どの程度習得したかの到達度確認を行う。

教材・内容は担当教員が各人に指示する。

[成績評価方法]
実技テスト（50%）およびレッスン状況や授業への取り組みに（50%）よって評価する。
テスト結果については、原則的にレッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅳ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	鈴江　美子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　(978-4-7785-0056-3)
こどものうた100　＊弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　(978-4-8054-8186)
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊表現で使用。　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　(978-4111701957)
バイエル、ブルクミュラー、ソナチネ、ソナタ等は各自の進度によって指示

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　(978-4-636-95829-4)

科目名	器楽Ⅳ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	田中　琴弓			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
到達度確認を通して、人前での演奏に慣れ、さらに高い音楽技術の獲得を目指す。

[授業概要]
幼稚園教員・保育士採用試験および教育実習などに万全で臨めるように、ピアノ演奏と弾き歌い、表現を重視した個人レッスンおよびグループ指導を行う。到達度確認は2回行われる。詳細内容や教材についてはオリエンテーション時に配布の課題曲、内規などを参照のこと。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
毎回のレッスンに、十分な練習をして臨むこと.。また、レッスン前後はピアノ練習室などで、しっかり練習すること。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 個人およびグループ指導①
3. 個人およびグループ指導②
4. 個人およびグループ指導③
5. 個人およびグループ指導④
6. 個人およびグループ指導⑤
7. 個人およびグループ指導⑥
8. 個人およびグループ指導⑦
9. 個人およびグループ指導⑧
10. 個人およびグループ指導⑨
11. 個人およびグループ指導⑩
12. 個人およびグループ指導⑪
13. 個人およびグループ指導⑫
14. 個人およびグループ指導⑬
15. 個人およびグループ指導⑭
＊15回のうち2回は、どの程度習得したかの到達度確認を行う。

教材・内容は担当教員が各人に指示する。

[成績評価方法]
実技テスト（50%）およびレッスン状況や授業への取り組みに（50%）よって評価する。
テスト結果については、原則的にレッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S68422

科目名	器楽Ⅳ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	田中　琴弓			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　(978-4-7785-0056-3)
こどものうた100　＊弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　(978-4-8054-8186)
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊表現で使用。　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　(978-4111701957)
バイエル、ブルクミュラー、ソナチネ、ソナタ等は各自の進度によって指示

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　(978-4-636-95829-4)

S68422

科目名	器楽Ⅳ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	辻　真理子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
到達度確認を通して、人前での演奏に慣れ、さらに高い音楽技術の獲得を目指す。

[授業概要]
　幼稚園教員・保育士採用試験および教育実習などに万全で臨めるように、ピアノ演奏と弾き歌い、表現を重視した個人レッスンおよびグループ指導を行う。到達度確認は2回行われる。詳細内容や教材についてはオリエンテーション時に配布の課題曲、内規などを参照のこと。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
　毎回のレッスンに、十分な練習をして臨むこと.。また、レッスン前後はピアノ練習室などで、しっかり練習すること。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 個人およびグループ指導①
3. 個人およびグループ指導②
4. 個人およびグループ指導③
5. 個人およびグループ指導④
6. 個人およびグループ指導⑤
7. 個人およびグループ指導⑥
8. 個人およびグループ指導⑦
9. 個人およびグループ指導⑧
10. 個人およびグループ指導⑨
11. 個人およびグループ指導⑩
12. 個人およびグループ指導⑪
13. 個人およびグループ指導⑫
14. 個人およびグループ指導⑬
15. 個人およびグループ指導⑭
＊15回のうち2回は、どの程度習得したかの到達度確認を行う。

　教材・内容は担当教員が各人に指示する。

[成績評価方法]
実技テスト（50%）およびレッスン状況や授業への取り組みに（50%）よって評価する。
テスト結果については、原則的にレッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅳ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	辻　真理子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　(978-4-7785-0056-3)
こどものうた100　＊弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　(978-4-8054-8186)
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊表現で使用。　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　(978-4111701957)
バイエル、ブルクミュラー、ソナチネ、ソナタ等は各自の進度によって指示

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　(978-4-636-95829-4)

S68423

科目名	器楽Ⅳ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	東　恵子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
到達度確認を通して、人前での演奏に慣れ、さらに高い音楽技術の獲得を目指す。

[授業概要]
幼稚園教員・保育士採用試験および教育実習などに万全で臨めるように、ピアノ演奏と弾き歌い、表現を重視した個人レッスンおよびグループ指導を行う。到達度確認は2回行われる。詳細内容や教材についてはオリエンテーション時に配布の課題曲、内規などを参照のこと。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
毎回のレッスンに、十分な練習をして臨むこと.。また、レッスン前後はピアノ練習室などで、しっかり練習すること。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 個人およびグループ指導①
3. 個人およびグループ指導②
4. 個人およびグループ指導③
5. 個人およびグループ指導④
6. 個人およびグループ指導⑤
7. 個人およびグループ指導⑥
8. 個人およびグループ指導⑦
9. 個人およびグループ指導⑧
10. 個人およびグループ指導⑨
11. 個人およびグループ指導⑩
12. 個人およびグループ指導⑪
13. 個人およびグループ指導⑫
14. 個人およびグループ指導⑬
15. 個人およびグループ指導⑭
＊15回のうち2回は、どの程度習得したかの到達度確認を行う。

教材・内容は担当教員が各人に指示する。

[成績評価方法]
実技テスト（50%）およびレッスン状況や授業への取り組みに（50%）よって評価する。
テスト結果については、原則的にレッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅳ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	東　恵子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　(978-4-7785-0056-3)
こどものうた100　＊弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　(978-4-8054-8186)
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊表現で使用。　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　(978-4111701957)
バイエル、ブルクミュラー、ソナチネ、ソナタ等は各自の進度によって指示

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　(978-4-636-95829-4)

科目名	器楽Ⅳ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	宮内　晴美			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
到達度確認を通して、人前での演奏に慣れ、さらに高い音楽技術の獲得を目指す。

[授業概要]
　幼稚園教員・保育士採用試験および教育実習などに万全で臨めるように、ピアノ演奏と弾き歌い、表現を重視した個人レッスンおよびグループ指導を行う。到達度確認は2回行われる。詳細内容や教材についてはオリエンテーション時に配布の課題曲、内規などを参照のこと。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
　毎回のレッスンに、十分な練習をして臨むこと.。また、レッスン前後はピアノ練習室などで、しっかり練習すること。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 個人およびグループ指導①
3. 個人およびグループ指導②
4. 個人およびグループ指導③
5. 個人およびグループ指導④
6. 個人およびグループ指導⑤
7. 個人およびグループ指導⑥
8. 個人およびグループ指導⑦
9. 個人およびグループ指導⑧
10. 個人およびグループ指導⑨
11. 個人およびグループ指導⑩
12. 個人およびグループ指導⑪
13. 個人およびグループ指導⑫
14. 個人およびグループ指導⑬
15. 個人およびグループ指導⑭
＊15回のうち2回は、どの程度習得したかの到達度確認を行う。

　教材・内容は担当教員が各人に指示する。

[成績評価方法]
実技テスト（80%）およびレッスン状況や授業への取り組みに（20%）よって評価する。
テスト結果については、原則的にレッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅳ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	宮内　晴美			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　(978-4-7785-0056-3)
こどものうた100　＊弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　(978-4-8054-8186)
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊表現で使用。　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　(978-4111701957)
バイエル、ブルクミュラー、ソナチネ、ソナタ等は各自の進度によって指示

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　(978-4-636-95829-4)

S68425

科目名	器楽Ⅳ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	山口　雅敏			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
到達度確認を通して、人前での演奏に慣れ、さらに高い音楽技術の獲得を目指す。

[授業概要]
幼稚園教員・保育士採用試験および教育実習などに万全で臨めるように、ピアノ演奏と弾き歌い、表現を重視した個人レッスンおよびグループ指導を行う。到達度確認は2回行われる。詳細内容や教材についてはオリエンテーション時に配布の課題曲、内規などを参照のこと。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
毎回のレッスンに、十分な練習をして臨むこと.。また、レッスン前後はピアノ練習室などで、しっかり練習すること。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 個人およびグループ指導①
3. 個人およびグループ指導②
4. 個人およびグループ指導③
5. 個人およびグループ指導④
6. 個人およびグループ指導⑤
7. 個人およびグループ指導⑥
8. 個人およびグループ指導⑦
9. 個人およびグループ指導⑧
10. 個人およびグループ指導⑨
11. 個人およびグループ指導⑩
12. 個人およびグループ指導⑪
13. 個人およびグループ指導⑫
14. 個人およびグループ指導⑬
15. 個人およびグループ指導⑭
＊15回のうち2回は、どの程度習得したかの到達度確認を行う。

教材・内容は担当教員が各人に指示する。

[成績評価方法]
実技テスト（50%）およびレッスン状況や授業への取り組みに（50%）よって評価する。
テスト結果については、原則的にレッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅳ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	山口　雅敏			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　(978-4-7785-0056-3)
こどものうた100　＊弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　(978-4-8054-8186)
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊表現で使用。　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　(978-4111701957)
バイエル、ブルクミュラー、ソナチネ、ソナタ等は各自の進度によって指示

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　(978-4-636-95829-4)

科目名	器楽Ⅳ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	山下　佑子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
到達度確認を通して、人前での演奏に慣れ、さらに高い音楽技術の獲得を目指す。

[授業概要]
幼稚園教員・保育士採用試験および教育実習などに万全で臨めるように、ピアノ演奏と弾き歌い、表現を重視した個人レッスンおよびグループ指導を行う。到達度確認は2回行われる。詳細内容や教材についてはオリエンテーション時に配布の課題曲、内規などを参照のこと。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
毎回のレッスンに、十分な練習をして臨むこと.。また、レッスン前後はピアノ練習室などで、しっかり練習すること。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 個人およびグループ指導①
3. 個人およびグループ指導②
4. 個人およびグループ指導③
5. 個人およびグループ指導④
6. 個人およびグループ指導⑤
7. 個人およびグループ指導⑥
8. 個人およびグループ指導⑦
9. 個人およびグループ指導⑧
10. 個人およびグループ指導⑨
11. 個人およびグループ指導⑩
12. 個人およびグループ指導⑪
13. 個人およびグループ指導⑫
14. 個人およびグループ指導⑬
15. 個人およびグループ指導⑭
＊15回のうち2回は、どの程度習得したかの到達度確認を行う。

教材・内容は担当教員が各人に指示する。

[成績評価方法]
実技テストの成績とレッスンの状況、クラス授業への取り組みによって総合的に評価する。
実技テスト50%、その他50%
実技テスト結果については、原則としてレッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	器楽Ⅳ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	山下　佑子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　(978-4-7785-0056-3)
こどものうた100　＊弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　(978-4-8054-8186)
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊表現で使用。　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　(978-4111701957)
バイエル、ブルクミュラー、ソナチネ、ソナタ等は各自の進度によって指示

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　(978-4-636-95829-4)

科目名	器楽Ⅳ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	雪原　典子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
到達度確認を通して、人前での演奏に慣れ、さらに高い音楽技術の獲得を目指す。

[授業概要]
　幼稚園教員・保育士採用試験および教育実習などに万全で臨めるように、ピアノ演奏と弾き歌い、表現を重視した個人レッスンおよびグループ指導を行う。到達度確認は2回行われる。詳細内容や教材についてはオリエンテーション時に配布の課題曲、内規などを参照のこと。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
　毎回のレッスンに、十分な練習をして臨むこと.。また、レッスン前後はピアノ練習室などで、しっかり練習すること。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 個人およびグループ指導①
3. 個人およびグループ指導②
4. 個人およびグループ指導③
5. 個人およびグループ指導④
6. 個人およびグループ指導⑤
7. 個人およびグループ指導⑥
8. 個人およびグループ指導⑦
9. 個人およびグループ指導⑧
10. 個人およびグループ指導⑨
11. 個人およびグループ指導⑩
12. 個人およびグループ指導⑪
13. 個人およびグループ指導⑫
14. 個人およびグループ指導⑬
15. 個人およびグループ指導⑭
＊15回のうち2回は、どの程度習得したかの到達度確認を行う。

　教材・内容は担当教員が各人に指示する。

[成績評価方法]
実技テスト（50%）およびレッスン状況や授業への取り組みに（50%）よって評価する。
テスト結果については、原則的にレッスン担当者から知らせる。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S68428

科目名	器楽Ⅳ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	雪原　典子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実技テストと授業への取り組み

[教科書（ISBN）]
ピアノ教本　レッスンとワーク　著者名：公文征子、高塚由美、飯泉裕美子　出版社：共同音楽出版社　(978-4-7785-0056-3)
こどものうた100　＊弾き歌いで使用。　著者名：小林美実：監修　出版社：チャイルド本社　(978-4-8054-8186)
保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集　＊表現で使用。　著者名：茂田すすむ：編著　出版社：全音出版社　(978-4111701957)
バイエル、ブルクミュラー、ソナチネ、ソナタ等は各自の進度によって指示

[参考書（ISBN）]
みんなが知りたい！音楽実技対策　著者名：深見友紀子　出版社：ヤマハミュージックメディア　(978-4-636-95829-4)

S68428

科目名	教育学演習	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	穴田　恭輔			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
卒論テーマを設定する。

[授業概要]
前期の「教育学購読」を踏まえて、研究テーマを設定しグループもしくは個人で研究を行う。研究・発表することを通して、教材研や授業づくりが自分で行えるようになるための方法を身につけ、4年次の卒業研究につなげる。
なお、当研究室では、当科目の単位を修得しなければ、次の年の「卒業論文」には進めないのでしっかり学ぶこと。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
発表者は、必ずレジュメを用意する。

[授業計画]
1. 研究テーマの設定①
2. 研究テーマの設定②
3. グループ（もしくは個人）での研究①
4. グループ（もしくは個人）での研究②
5. グループ発表と討議①
6. グループ発表と討議②
7. グループ発表と討議③
8. グループ発表と討議④
9. グループ発表と討議⑤
10. 総括とレポート作成に向けて
11. 最終レポート作成①
12. 最終レポート作成②
13. 最終レポート作成③
14. 卒論テーマ設定に向けて
15. まとめ

[成績評価方法]
発表（50%）、提出物（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題は添削して返却する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育学演習	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	穴田　恭輔			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：発表

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 算数編 平成29年7月　著者名：文部科学省　出版社：日本文教出版
（978-4536590105）

S61600 [LI3-006]

科目名	教育学演習	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	石田　裕子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
興味関心に沿った問題意識を持ち、研究方法について知る。

[授業概要]
各自の興味関心に沿いながら、研究を進めていくための具体的方法について学ぶ。卒業研究をすすめるための基盤となる事柄を身につける。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各自授業内で指示する課題に取り組むこと
各回予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
1.子どもをとりまく問題点について考える
2.各自の問題意識を発表及びディスカッション
3.研究テーマ発表
4.文献検索及び先行研究検索
5.研究活動における倫理
6.質問紙の作成法
7.観察研究に必要な視点
8.実験デザイン
9.データのまとめかた
10.データ分析のしかた
11.報告書の作成
12.報告内容発表
13.報告内容修正
14.相互評価
15.総括

[成績評価方法]
課題提出内容30%　受講態度20%　レポート50%
受講態度は積極性や、行動を評価する

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポート　課題は　翌次回返却し、講評する

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S61604 [LI3-006]

科目名	教育学演習	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	石田　裕子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：課題提出内容　受講態度　レポート

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：課題提出内容　受講態度　レポート

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：課題提出内容　受講態度　レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：課題提出内容　受講態度　レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：課題提出内容　受講態度　レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：課題提出内容　受講態度　レポート

[教科書（ISBN）]
なし　著者名：×　出版社：×

[参考書（ISBN）]
なし　著者名：×　出版社：×

科目名	教育学演習	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	稲垣　善茂			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
小学校の教育現場で生徒を指導できるよう、英語、算数、理科など基礎学力の向上、小学校学習指導要綱の学習内容にかかわる基本的な原理・原則を理解・習得する。さらに卒業論文を執筆するために必要な基礎学力、専門系学力を向上させる。

[授業概要]
小学校学習指導要綱の学習内容にかかわる基本的な原理・原則を習得・理解する。もちろん小学校3年生から始まる理科のために、小学校教員として必要な理科の基礎学力、応用力、魅力ある教え方の習得を目指す。また、卒業論文執筆に必要な論文（英語・日本語）やエッセイ（英語・日本語）を読込んで紹介し、基礎学力、専門系学力の向上に努める。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
Word, Excel, PowerPointの使用方法になれていることが必要である。また、模擬授業や論文紹介（PowerPoint使用）については、発表担当者が事前の準備をすること（指導案やワークシート、板書計画、論文説明資料：A4表裏1-2枚以内）。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. エッセイ（英語・日本語）の講読と紹介1
3. エッセイ（英語・日本語）の講読と紹介2
4.エッセイ（英語・日本語）の講読と紹介3
5. エッセイ（英語・日本語）の講読と紹介4
6. 論文（英語・日本語）の講読と紹介1
7. 論文（英語・日本語）の講読と紹介2
8. 論文（英語・日本語）の講読と紹介3
9.論文（英語・日本語）の講読と紹介4
10. 卒業論文執筆に向けての準備①
11. 卒業論文執筆に向けての準備②
12. 卒業論文執筆に向けての準備③
13. 卒業論文執筆に向けての準備④
14.卒業論文執筆に向けての準備⑤
15. まとめ

[成績評価方法]
課題提出（50%）、授業中のプレゼンテーション（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
指導案、小論文課題、レポート、グループワーク課題などの提出物については、赤字で添削したのち、直接返却しています。また、manabaの小テストによる課題に対しては、課題締め切り後に、ポートフォリオに採点結果と正答が公開されるようになっています。ポートフォリオを確認して復習に利用してください。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育学演習	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	稲垣　善茂			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：プレゼンテーション・レポート

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：プレゼンテーション・レポート

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：プレゼンテーション

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：プレゼンテーション・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：プレゼンテーション・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：プレゼンテーション・レポート

[教科書（ISBN）]
事前にプリントなどを配布する。
教科書はない。

[参考書（ISBN）]
新しい学びを拓く「理科」授業の理論と実践（小学校編）　著者名：角屋重樹　出版社：ミネルヴァ書房　（978-4-623-06042-9）
小学校学習指導要領解説（理科編）平成20年8月　著者名：文部科学省大日本図書　出版社：大日本図書　（978-4-477-01949-9）

S61608 [LI3-006]

科目名	教育学演習	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	大西　雅裕			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
子どもを取り巻く環境及び子育て環境について理解し、それらの課題に対しての支援策について実践的、経験的な観点から学ぶことを目標とする。また、4回生の卒業論文を目指して、研究計画書の作成をし、文献探し、草稿までをめざす。

[授業概要]
子どもを育てる環境としての家庭機能は、今日のさまざまな社会変化の中で、多様化、脆弱化してきている。 本演習では、その家庭の今日的状況を踏まえて、子育て支援策の展開、諸機関の機能についてより具体的に学ぶ。その上で学生自身が主体性をもってどのように対応していかなければならないかについて学ぶ。
以上を踏まえて、4回生での卒業論文の前段階として、研究計画書の作成、文献探し、調査方法、草稿、推敲、清書までのプロセスについて学ぶ。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
3回生前期を踏まえて、後期では、より各学生の興味のある分野を選定する必要がある。そのために自らの研究を進めていく分野について、ある程度限定できるように学修を進めておくこと。

[授業計画]
1. ガイダンス
2. テーマの理解を深める
3. グループ編成を行う
4. 研究課題の整理、設定①
5. 研究課題の整理、設定②
6. 研究計画の設定
7. フィールドワーク①
8. フィールドワーク②
9. フィールドワーク③
10. 中間まとめ
11. 卒業論文のプロセス①
12. 卒業論文のプロセス②
13. 文献探し
14. 研究計画書の作成
15. まとめ

[成績評価方法]
レポートによって評価を行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育学演習	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	大西　雅裕			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：授業への参加態度及びレポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：授業への参加態度及びレポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：授業への参加態度及びレポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-5／教員という職業自体が社会的に特に高い人格・識見を求められる性質のものであることから、教員としての使命感を自覚し、その資質向上のためにたゆまず研鑽を積む態度と幼児・児童・生徒に対する教育的愛情をもつことができる。
成績評価方法：授業への参加態度及びレポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業への参加態度及びレポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：授業への参加態度及びレポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：授業への参加態度及びレポート課題

[教科書（ISBN）]
必要に応じて資料を配付する。

[参考書（ISBN）]
適宜紹介する。

科目名	教育学演習	後期	演習	2 単位
サブタイトル	乳幼児及び児童（障害のある幼児、児童、を含む）への理解を深め保育者の在り方を考える			
担当者	隠岐　厚美			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
乳幼児の発達・障害や保育に関連する問題についてフィールドワークや論文研究を通して理論的・実証的に考える力を養う。フィールドワークならびに文献研究を基に各自の関心に沿った研究テーマを設定する。

[授業概要]
乳幼児教育学講読を踏まえ、各自の関心に基づくフィールドワークを行い子どもの成長・発達について理解を深める。また、子どもの発達を理解するための研究方法を学ぶ。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各自が興味を持っているトピックに応じた書籍や講義時に配布される論文を読み、自分の考えをまとめ、ディスカッションの準備をしてください。各回、予習・復習あわせて2時間程度の自主学習が必要です。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. グループワーク　発達を理解するための調査・実験方法　①
3. グループワーク　発達を理解するための調査・実験方法　②
4. テーマ設定に向けての資料収集と整理　①
5. テーマ設定に向けての資料収集と整理　②
6. フィールドワーク　①
7. フィールドワーク　②
8. 個人課題の設定
9. 個人課題　①
10. 個人課題　②
11. 個人の課題に沿った文献研究の発表　①
12. 個人の課題に沿った文献研究の発表　②
13. 卒業研究に向けた　フィールドワークの計画発表　①
14. 卒業研究に向けた　フィールドワークの計画発表　②
15. まとめ

[成績評価方法]
研究の内容と研究態度、プレゼンテーションの内容およびディスカッションへの参加態度などから総合的に評価する。（研究の内容と態度70%、プレゼンテーションの内容およびディスカッションへの参加態度30%）なお、フィードバックは発表後及び課題返却時に口頭で行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育学演習	後期	演習	2 単位
サブタイトル	乳幼児及び児童（障害のある幼児、児童、を含む）への理解を深め保育者の在り方を考える			
担当者	隠岐　厚美			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：フィールドワークへの取り組み

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：フィールドワークへの取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：フィールドワークへの取り組みレポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート課題プレゼンテーション

[教科書（ISBN）]
なし。必要に応じて指示する。

[参考書（ISBN）]
保育発達学　著者名：服部照子 岡本雅子編著　出版社：ミネルヴァ書房 （978-4-623-05449-7）

S61616 [LI3-006]

科目名	教育学演習	後期	演習	2 単位
サブタイトル	研究テーマのデザインと研究プロジェクト			
担当者	金岩　俊明			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
研究課題を設定し、必要な文献講読や具体的実践を通して、各自の研究デザインを構成し、卒業論文の作成に向けて取り組む。

[授業概要]
教育学講読の内容や、教育実践の課題から、研究課題を明らかにする。文献研究や研究調査を通じて、教師の力量としての教育実践の企画力・表現力の育成に向けた取り組みを行う。また、研究の道筋を定め、議論しながら研究デザインを構築し卒業論文への見通しが持てるようにする。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
日常的に、研究テーマに沿った文献研究や資料講読を進めておくこと。受講生の研究テーマについても、自らの視点で論議できるように予習・復習を行うこと。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 文献紹介①
3. 文献紹介②
4. 文献紹介③
5. 文献紹介④
6. 卒論中間発表会への参加
7. 研究プロジェクト①
8. 研究プロジェクト②
9. 研究プロジェクト③
10. 研究プロジェクト④
11. 研究内容プロット及び文献発表①
12. 研究内容プロット及び文献発表②
13. 研究内容プロット及び文献発表③
14. 研究内容プロット及び文献発表④
15. まとめ

[成績評価方法]
研究発表（50%）研究プロジェクト及び討議への参加（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題は授業内で評価します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育学演習	後期	演習	2 単位
サブタイトル	研究テーマのデザインと研究プロジェクト			
担当者	金岩　俊明			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：発表・課題レポート等

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：発表・課題レポート等

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：発表・課題レポート等

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：発表・課題レポート等

[教科書（ISBN）]
なし　必要に応じて資料を配布

[参考書（ISBN）]
なし

科目名	教育学演習	後期	演習	2 単位
サブタイトル	学校図書館の意義と活用			
担当者	久野　和子			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
先行研究批判に基づいて、自分の取り組むべき研究対象と課題の明確化を図る。

[授業概要]
前期で学んだこと、興味を持ったことについて、さらに文献講読を通して理解を深める。各自設定した研究テーマについて先行研究を検索し、読み、考え、自分の研究対象と課題をより明確にする。演習においては、教員が司書としての実務経験にもとづく具体的な知識と技術を生かしてより実践的な指導をする。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
毎回、次の文献の指定箇所をしっかり読んでおくこと。
常に自分の卒論のテーマについて意識しておくこと。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 文献購読①
3. 文献購読②
4. 文献購読③
5. 文献購読④
6. 文献購読⑤
7. 各自の研究テーマ発表と講評①
8. 各自の研究テーマ発表と講評②
9. 各自の研究テーマ発表と講評③
10. 各自の研究テーマ発表と講評④
11. 各自の研究テーマ発表と講評⑤
12. 各自の研究テーマ発表と講評⑥
13. 各自の研究テーマ発表と講評⑦
14. 各自の研究テーマ発表と講評⑧
15. まとめ

[成績評価方法]
議論への参加・発表（50%）、レポート（50%）で評価する。
レポートは後日添削して返却します。
発表は相互評価、自己評価、教員による評価によって総合的に評価する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育学演習	後期	演習	2 単位
サブタイトル	学校図書館の意義と活用			
担当者	久野　和子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：文献理解、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：文献理解、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：文献理解、テーマ発表

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：文献理解、テーマ発表

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：文献理解、テーマ発表

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：文献理解、テーマ発表

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：テーマ発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題、発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート課題、文献読解

[教科書（ISBN）]
授業中に指示する

[参考書（ISBN）]
授業中に指示する

科目名	教育学演習	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	小林　田鶴子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
1. 音楽教育学や音楽に関する文献を読んで、理解を深める。
2. 小学校、幼稚園・保育所等の教育現場や音楽関係機関の音楽教育を調べ、表現教育の現状を知る。
3. 各自の研究テーマに沿って研究を進める

[授業概要]
音楽教育を中心に自らの課題意識に沿った研究テーマを探究する。
教育・保育現場での音楽教育の現状を踏まえ、それをレポートや論文にあらわす。
教育・保育現場に実際に音楽を使ってアプローチすることも考える。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
音楽や幼児教育に関する、文献、雑誌、新聞記事など、身の周りのものに常に関心を持っておく。
音楽の教育について、疑問に思ったことがあれば、自ら調べる姿勢を持つようにする。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　小学校、幼稚園・保育所での音楽の現状について(実習等を踏まえて)（1）
第3回　小学校、幼稚園・保育所での音楽の現状について（実習等を踏まえて）（2）
第4回　文献講読（1）
第5回　探究テーマについての研究や実践（1）
第6回　文献講読（2）
第7回　文献講読（3）
第8回　探究テーマについての研究や実践（2）
第9回　探究テーマについての研究や実践3）
第10回　探究テーマについての研究や実践（4）（外部講師招聘による講演）
第11回　音楽施設の現状（可能であれば音のミュージアム等の見学）
第12回　卒業論文の構成案を考える
第13回　中間発表に向けての準備
第14回　卒業論文中間発表
第15回　まとめ

[成績評価方法]
研究への取り組み（50%）　課題・レポート（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
その都度、ゼミの中で指導する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育学演習	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	小林　田鶴子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：研究への取り組み

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：研究への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：研究への取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：研究への取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：課題・レポート

[教科書（ISBN）]
必要に応じて紹介する

[参考書（ISBN）]
必要に応じて紹介する

科目名	教育学演習	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	齋藤　美保子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
教育・保育現場における教材・教具についての理解と開発

[授業概要]
教師並びに保育士として現場に欠かせない教材・教具について調査し、自ら創造する喜びや楽しさを学ぶます。今回は、学生の要望から、エプロンシアター製作に至るまでを立案・製作を学生自ら研究計画として提出します。題材(テーマ)として様々の物語、童話、絵本、創作　として、考え決定します。製作は布・フェルトが主なもので、材料など工夫します。作成したものを学生全体に共有するため、発表を行います。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
作成した学習教材への相互評価・検討を基に学習教材の見直し、新たな学習教材を開発するなど、家庭科で使用できる教材を作成すること。

[授業計画]
1.はじめに
2.教材・教具の必要性
3.エプロンシアターとは何か
4.テーマをどうするか・テーマを考える
5. エプロンシアター製作に必要なもの
6.デッサン①
7.デッサン②
8.作品製作①
9.作品製作②
10.作品製作③
11.作品制作④(仕上げ)
12.研究発表①
13. 研究発表②
14. 研究発表③
15.まとめ

[成績評価方法]
授業中の課題（20%）　レポート（80%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中において、コメントおよびアドバイス、援助をする。レポートに関しては特に返却はしないが、希望すれば返却する。作品についてのコメント・講評はグループおよび教員から行う。作品は返却する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育学演習	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	齋藤　美保子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：演習中の活動・レポート

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：演習中の活動・レポート

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：演習中の活動・レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：演習中の活動とレポート

[教科書（ISBN）]
エプロンシアタ-に関する文献

[参考書（ISBN）]
小学校学習指導要領（平成29年告示）解説
　家庭編　著者名：文部科学省　出版社：東洋館出版社
文部科学省検定済教科書　出版社：開隆堂
家庭科の授業　著者名：家庭科教育研究社連盟編　出版社：大月書店
テキスト家庭科教育　著者名：武藤八重子　出版社：家政教育社

S61632 [LI3-006]

科目名	教育学演習	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	佐藤　浩樹			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
模擬授業や教育実習の振り返り等を通して、教育に対する考えつくり、小学校教師としての実践的指導力の基礎を身に付ける。
自分の問題意識を明確化し、卒業研究テーマを仮決定して、文献講読・発表を行って卒業研究に向けての基盤を作る。

[授業概要]
①授業および場面指導について演習形式で学ぶ。
②教育実習を振り返ってレポートを作成・発表する。教師として必要な資質について演習形式で学ぶ。
④卒業研究の方法について学ぶ。卒業研究テーマを仮決定し、文献紹介をして討議する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
参加者全員がテーマについて問題意識を持って授業に臨むことを期待する。

[授業計画]
1. 文献紹介と討議①
2. 文献紹介と討議②
3. 教育実習の振り返り演習①
4. 教育実習の振り返り演習②
5. 卒論中間発表会参加
6. 教師として必要な資質・能力に関する討議①
7. 教師として必要な資質・能力に関する討議②
8. 授業づくり演習
9. 場面指導演習
10. 卒業論文作成について
11. 研究テーマ設定に向けて、文献検索について
12. 先輩の卒論の紹介と討議①
13. 先輩の卒論の紹介と討議②
14. 研究テーマ発表と討議
15. 卒論発表会参加

[成績評価方法]
授業への姿勢（60%）、レポート（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育学演習	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	佐藤　浩樹			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：授業への取組姿勢、レポート

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：授業への取組姿勢、レポート

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：授業への取組姿勢、レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業への取組姿勢、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業への取組姿勢、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：授業への取組姿勢、レポート

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
必要に応じて、授業の中で適宜紹介する。

科目名	教育学演習	後期	演習	2 単位
サブタイトル	研究デザインの構築			
担当者	住本　純			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
研究テーマを設定し、必要な文献講読を行い、テーマに即した具体的な調査方法を構築していく。それらを通じて、卒業論文の作成に向けて取り組む。

[授業概要]
教育学講読の内容や自己経験の課題から、研究テーマを設定する。文献研究や研究調査を通じて、研究の道筋を定め、議論しながら研究デザインを構築し卒業論文への見通しが持てるようにする。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
日常的に、研究テーマに沿った文献や資料講読を進めておくこと。同授業の他受講生の研究テーマについても、自らの視点で論議できるように予習・復習を行うこと。

[授業計画]
1. 研究テーマの発表と文献紹介①
2. 研究テーマの発表と文献紹介②
3. 研究テーマの発表と文献紹介③
4. 研究テーマの発表と文献紹介④
5. 研究テーマの発表と文献紹介⑤
6. 研究計画の作成①
7. 研究計画の作成②
8. 研究計画の作成③
9. 研究計画の発表①
10. 研究計画の発表②
11. 小学校体育科校内研修に見学参加①
12. 小学校体育科校内研修に見学参加②
13. 幼稚園、保育園、こども園の運動遊び実践の見学参加①
14. 幼稚園、保育園、こども園の運動遊び実践の見学参加②
15. まとめ

[成績評価方法]
提出課題（30%）、発表（30%）、ディスカッション（20%）、意欲的な態度（20%）
※課題のフィードバックは授業内で行う

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育学演習	後期	演習	2 単位
サブタイトル	研究デザインの構築			
担当者	住本　純			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：提出 課題・発表・ディスカッション

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：提出 課題・発表・ディスカッション

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力　／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：提出課題・発表・ディスカッション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表・ディスカッション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：提出 課題

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
なし

科目名	教育学演習	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	竹田　和恵			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
研究テーマに基づいた文献調査および学習ソフトを開発するための実践的な知識と技術を修得する。

[授業概要]
研究テーマに関わる情報収集および情報整理を行う。また、それらについて考えをまとめ発表し討論する。さらに、テーマに沿ってユーザーの視点に立った学習ソフトを考案し、ソフト構築に必要なプログラミングの実践的な知識と技術を修得してゆく。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
前回の講義の復習

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 学習ソフトの作成（1）
3. 学習ソフトの作成（2）
4. 学習ソフトの作成（3）
5. 学習ソフトの作成（4）
6. 学習ソフトの作成（5）
7. 学習ソフトの作成（6）
8. 学習ソフトの作成（7）
9. 学習ソフトの作成（8）
10. 学習ソフトの作成（9）
11. 論文検索（1）
12. 論文検索（2）
13. 調査発表・討論（1）
14. 調査発表・討論（2）
15. まとめ

[成績評価方法]
課題（100%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育学演習	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	竹田　和恵			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：発表課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：プログラミング演習課題レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：プログラミング演習課題レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：プログラミング演習課題レポート課題

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
なし

科目名	教育学演習	後期	演習	2 単位
サブタイトル	教育と哲学			
担当者	田中　美紀子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
口頭発表を行い、質疑応答を通してディスカッションする能力が身につく。

[授業概要]
まずルソーが叙述する自然状態あるいは未開状態における人間像を捉え、人類が自然状態から社会状態へ移行するというルソーの歴史観を理解する。さらに自然的教育を賞賛するルソーの教育論の根幹を把握する。次に、ルソーの影響を受けながら「人間」について学ぶことに目覚めたカントの思想を概観する。カントが道徳哲学、教育哲学を通して「人間の学」の構築を目指したことを学び、道徳的理性的人間の養成と自由の確立を目標としたカントの思想を研究する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
問題意識を持ってテキストを予め読んでおくこと。積極的に議論に参加すること。各回、予習復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. 導入、教育と哲学
2. ルソーの自然的教育、『エミール』①
3. ルソーの自然的教育、『エミール』②
4. ルソーの自然的教育、『エミール』③
5. カントの道徳哲学①
6. カントの道徳哲学②
7. カントの道徳哲学③
8. カントの道徳哲学④
9. カントの道徳哲学⑤
10. カントの教育学①
11. カントの教育学②
12. カントの教育学③
13. 学生発表①
14. 学生発表②
15. 総括

[成績評価方法]
ゼミでの発言・活動（20%）、発表（30%）、レポート（50%）。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートは添削して返却する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育学演習	後期	演習	2 単位
サブタイトル	教育と哲学			
担当者	田中　美紀子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：ゼミ活動

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：レポート

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：発表

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：レポート

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：議論への参加

学科DP番号／DP内容：教育3-5／教員という職業自体が社会的に特に高い人格・識見を求められる性質のものであることから、教員としての使命感を自覚し、その資質向上のためにたゆまず研鑽を積む態度と幼児・児童・生徒に対する教育的愛情をもつことができる。
成績評価方法：レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：議論への参加

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：議論への参加

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：発表、レポート

[教科書（ISBN）]
『道徳形而上学原論』 著者名：イマヌエル・カント　出版社：岩波文庫 （978-4003362518）

[参考書（ISBN）]
授業中に適宜紹介する。

科目名	教育学演習	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	谷山　優子			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
・教育実習での経験を生かし、自分に足らない点を意識し、教員としての資質を高める。
・自分のよさを教員としてどう生かすかを考え、実践していく。
・卒業論文作成に向けて、研究テーマを絞り込む。
・全学共通のディプロマ・ポリシーに基づき、基礎・基本となる力の「知識・技能」、考える力としての「思考力・判断力・表現力等の能力」、そして、それらを活用するときの態度に現れる「主体性・多様性・協働性」を身につける。

[授業概要]
この授業では、学校現場における教員経験があるものが、その経験を活かして、今日的な課題（特別支援教育等）への対応を指導する。教育実習を終えて、学校現場が直面する教育課題について自ら関心を持って探究し、どのような教員が求められているのかを考え、自身の資質を高めていく授業を行う。自分のよさを知り、他人の良さに気付き、相手に分かるように表現する力を身に付ける練習を反復し自信をつける。見聞を広め、様々な体験を進んで行う機会を多く持つことで、教員としての豊かな知識と感性を培う。各自で英語力を高める。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
身の回りの事象に常に関心を持ち、表現を工夫して相手に伝えられるようにしておく。
学外の体験学習（フィールドワーク）に参加し、レポートを作成する。

[授業計画]
1. 授業研究「国語」・英語力向上トレーニング
2. 授業研究「算数」・英語力向上トレーニング
3. 授業研究「道徳」・英語力向上トレーニング
4. 教育実習報告と教育課題①・英語力向上トレーニング
5. 教育実習報告と教育課題②・英語力向上トレーニング
6. 教育実習報告と教育課題③・英語力向上トレーニング
7. 卒業論文のテーマと研究目的の発表①・英語力向上トレーニング
8. 卒業論文のテーマと研究目的の発表②・英語力向上トレーニング
9. 卒業論文のテーマと研究目的の発表③・英語力向上トレーニング
10. 卒業論文のテーマと研究目的の発表④・英語力向上トレーニング
11. 卒業論文のテーマと研究目的の発表⑤・英語力向上トレーニング
12. 教員の資質を高めるフィールドワーク①
13. 教員の資質を高めるフィールドワーク②
14. 信頼される教員とは（ディスカッション）（小論文）・英会話トレーニング
15. 自己PRと表現力を鍛えるグループワーク・英会話トレーニング

[成績評価方法]
授業中の課題（50%）、授業以外の研究課題（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中の課題に対してコメント等のフィードバックを返します。
授業以外の研究課題に対して添削等の指導を行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育学演習	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	谷山　優子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：試験、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：試験、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：試験、レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：試験、レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：試験、レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：試験、レポート課題

[教科書（ISBN）]
なし。別途プリントを配布する。

[参考書（ISBN）]
授業の進度に応じて紹介する

科目名	教育学演習	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	中村　隆文			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
前期で検討した課題を深化させ、卒業論文に向けた研究活動を準備すること。

[授業概要]
今年度のゼミナール後期は、前期に引き続き卒業論文テーマの検討を行う。後期前半においては、夏期休暇で決定された論文テーマに沿って、資料収集、資料講読を中心に指導する。また後半においては文章をまとめる練習に入り、本格的な論文執筆の準備を行う。卒業論文のレベルは大学院入学可能な程度に設定するので、各自の精進に期待する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
後期開始時には、卒論テーマを確定し、おおまかなレジュメが書けるようになっておくこと。またそれに付随して、夏季休業中に資料集め等をしっかりしておくこと。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 資料講読1
3. 資料講読2
4. 資料講読3
5. 資料講読4
6. 資料講読5
7. 資料講読6
8. 各自のテーマ別発表と講評1
9. 各自のテーマ別発表と講評2
10. 各自のテーマ別発表と講評3
11. 各自のテーマ別発表と講評4
12. 各自のテーマ別発表と講評5
13. 各自のテーマ別発表と講評6
14. 各自のテーマ別発表と講評7
15. 総括と次年度方針の決定

[成績評価方法]
発表（70%）と報告（30%）で評価する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
随時、講評する

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育学演習	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	中村　隆文			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：発表・レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：レポート・発表

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
『男女交際進化論』2006年。 著者名：中村隆文　出版社：集英社新書 （4－08－720336－0）
『「視線」からみた日本近代―明治期図画教育史研究』2002年　著者名：中村隆文　出版社：京都大学学術出版会 （4-87698-099-3）
他は授業中に指示する。

S61656 [LI3-006]

科目名	教育学演習	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	平井　和恵			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
幼児教育に関する専門職としての資質を高める。

[授業概要]
幼児教育学講読において学んだことを土台に、各自の研究課題・今日的課題を探求、討議するとともに、フィールドワーク等を行い実践的課題を明確にする。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
幼児教育学講読において学んだことを基礎とする。

[授業計画]
1. 研究についてのガイダンス
2. フィールドワーク①
3. フィールドワーク①の振り返り
4. 教材研究1
5. 教材研究2
6. フィールドワーク②
7. フィールドワーク②の振り返り
8. 教材研究3
9. 教材研究4
10. 論文の書き方について
11. フィールドワーク③
12. フィールドワーク③の振り返り
13. 研究テーマの検討
14. 研究計画作成
15. まとめ

[成績評価方法]
授業態度30％・フィールドワーク取組姿勢30％・レポート40％

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育学演習	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	平井　和恵			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
必要に応じて提示する。

S61660 [LI3-006]

科目名	教育学演習	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	堀江　祐爾			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
卒業論文のテーマへ結びつくよう、問題意識を明確化し、資料を探し、文章化する力を蓄える。

[授業概要]
前期の「教育学講読」を踏まえて、各人の対象とする国語科教科書教材について発表をおこなう。資料探し・発表の仕方・論文作成への予備的練習を重ねる。発表の際は、全員での話し合いを通して課題を明らかにする。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
国語科教材についての、先行研究、実践例などを、文献やネット検索によって収集し、問題点を整理しておくこと。各回、予習復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 情報収集の方法論①
3. 情報収集の方法論②
4. 発表方法の基本①
5. 発表方法の基本②
6. 各自の発表と話し合い①
7. 各自の発表と話し合い②
8. 各自の発表と話し合い③
9. 各自の発表と話し合い④
10. 各自の発表と話し合い⑤
11. 各自の発表と話し合い⑥
12. 各自の発表と話し合い⑦
13. 各自の発表と話し合い⑧
14. 各自の発表と話し合い⑨
15. まとめ
※受講生の研究テーマなどに合わせて柔軟に展開していく。

[成績評価方法]
課題についての発表（50%）・レポート（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題・レポートについては印刷配布、またはmanabaやインターネットなどを通してフィードバックする。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S61664 [LI3-006]

科目名	教育学演習	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	堀江　祐爾			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：レポート課題

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
小学校学習指導要領解説国語編　著者名：文部科学省　出版社：東洋館出版社 （978-4491034621）

S61664 [LI3-006]

科目名	教育学演習	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	本多　明子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
英語学・英語教育学の知識、理解を深め、卒業論文のテーマを決定し、研究を進めていくことができる。

[授業概要]
英語学、英語教育学に関する各自が選択したテーマについて文献を調べ、必要なデータを収集し分析を行い、理論と実践の両面から理解する。報告会、意見交換会を実施しながら課題研究を進めていく。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各回、予習復習を合わせて2時間程度。
問題解決の見通しを立てて、文献を読むこと。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 研究テーマに関する文献調査と発表①
3. 研究テーマに関する文献調査と発表②
4. 研究テーマに関する文献調査と発表③
5. 研究テーマに関する文献調査と発表④
6. 研究テーマに関する文献調査と発表⑤
7. 文献調査結果のまとめと報告会
8. データの取得方法について
9. データ収集と分析①
10. データ収集と分析②
11. データ収集と分析③
12. データ収集と分析④
13. データ分析結果のまとめ
14. 成果発表会
15. まとめ

[成績評価方法]
発表（50%）と研究レポート（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題に対するフィードバックは授業で行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育学演習	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	本多　明子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：発表

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：研究レポート

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：研究レポート

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：発表、研究レポート

学科DP番号／DP内容：教育3-5／教員という職業自体が社会的に特に高い人格・識見を求められる性質のものであることから、教員としての使命感を自覚し、その資質向上のためにたゆまず研鑽を積む態度と幼児・児童・生徒に対する教育的愛情をもつことができる。
成績評価方法：研究レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：発表、研究レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：研究レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：研究レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：発表、研究レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／
成績評価方法：発表、研究レポート

[教科書（ISBN）]
必要に応じて資料を配布する

[参考書（ISBN）]
中学校学習指導要領解説　外国語編　著者名：文部科学省　出版社：開隆堂　（9784304051692
）
小学校学習指導要領解説　外国語活動・外国語編　著者名：文部科学省　出版社：開隆堂　（9784304051685）

S61668 [LI3-006]

科目名	教育学演習	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	三宅　茂夫			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
科学的・研究的な視点から、乳幼児の保育や教育を捉えることのできる高い専門性に裏づけられた実践力の構築を目指す。

[授業概要]
幼児教育学講読において進めてきた研究を土台に、自らの研究課題を意識し、関連する文献や先行研究のリサーチ、フィールドワーク等を実施し、その結果を発表する。また、研究のまとめや報告書、論文の作成の仕方についても学ぶ。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
前回の講義内容を復習し理解して、次回の講義（研究）の予習をしておくこと。日常的に講義（研究）に関係する情報に関心を持ち、問題意識を持って、積極的に学びを進めること。授業内容が講義の場合は予習・復習合わせて4時間程度　演習の場合は予習・復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. 研究についてのガイダンス
2. フィールドワーク等のリポート①
3. 研究課題の整理①
4. 研究課題の整理②
5. 研究課題の整理③
6. フィールドワーク等のリポート②
7. 研究計画の進め方に関するトレーニング①
8. 研究計画の進め方に関するトレーニング②
9. 研究計画の進め方に関するトレーニング③
10. 研究計画の作成方法について
11. フィールドワーク等のリポート③
12. 研究計画のプレゼンテーション①
13. 研究計画のプレゼンテーション②
14. 研究計画のプレゼンテーション③
15. まとめ（研究発表）

[成績評価方法]
課題研究の成果（60%）、発表（40%）を総合して行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
その都度、指導を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育学演習	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	三宅　茂夫			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：レポート課題、プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：レポート課題、プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：レポート課題、プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：レポート課題、プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：レポート課題、プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：レポート課題、プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：レポート課題、プレゼンテーション、ディスカッション

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：レポート課題、プレゼンテーション、ディスカッション

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題、プレゼンテーション、ディスカッション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：プレゼンテーション、ディスカッション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：プレゼンテーション、ディスカッション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：ディスカッション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：プレゼンテーション、ディスカッション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート課題、ディスカッション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：レポート課題、プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：レポート課題、プレゼンテーション

[教科書（ISBN）]
後日連絡する。

[参考書（ISBN）]
必要に応じて、文献の紹介や資料の配布を行う。

科目名	教育学演習	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	村田　恵子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
小学校理科（主に地学・物理分野）の教育課程についての知識を深める。
教員として必要な基礎学力、応用力、実践力を身につける。

[授業概要]
地球の歴史について学ぶことにより、個体地球に関する知識を深める。物理分野（力学など）と地学分野（天体・天気など）の基本的な原理・原則を理解しながら、小学校理科の教育課程の指導方法について議論する。また、教員採用試験に対応できる学力を身につけるために、理科の演習問題に取り組む。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
毎回配布される次回のプリントを読み、おおまかな内容を予習する。各回、予習復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1.オリエンテーション
2.論文の輪読・英語で読む理科①
3.論文の輪読・英語で読む理科②
4.論文の輪読・英語で読む理科③
5.論文の輪読・英語で読む理科④
6.論文の輪読・英語で読む理科⑤
7.論文の輪読・英語で読む理科⑥
8.物理（力学・熱力学）①
9.物理（力学・熱力学）②
10.物理（力学・熱力学）③
11.物理（力学・熱力学）④
12.天体・湿度・天気①
13.天体・湿度・天気②
14.地層・岩石①
15.地層・岩石②

[成績評価方法]
課題

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題提出後採点し、返却時に解説。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育学演習	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	村田　恵子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：課題

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：課題

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：課題

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
なし

科目名	教育学演習	後期	演習	2 単位
サブタイトル	美術作品の制作と研究			
担当者	守本　智美			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
美術作品を制作し、また各自興味の持てるテーマで美術の研究を行い、豊かな感性を育むことを目的とする。

[授業概要]
美術作品の制作を通して、描き、創造する喜びや楽しさを学ぶます。特にあらゆる美術の基礎となるデッサンには重点を置き、観察力、描写力をつけ、多様な表現を試みます。題材としては主として静物、風景、人物、さらには抽象的なものを取り上げてデッサンの技法の習得を行い、デッサン用具の扱いになれることに主眼を置きます。着色は水彩絵具または油絵具等で行い作品を完成させます。また、好きな作家や作品、その他、技法、材料等をはじめ、美術に関係したことの中から各自興味のあるテーマを設定し研究を行います。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各回、予習復習合わせて4時間程度。美術館で本物の作品を鑑賞したり、画集でも授業で関連する内容の作品はよく見て、自分の作品制作や研究に生かすこと。manaba（マナバ）にて授業に必要な連絡をするので、必ずmanabaに登録しておくこと。

[授業計画]
1.はじめに
2.デッサン（自由テーマの設定、静物・風景・人物等のジャンルから）
3.デッサン①
4.デッサン②（仕上げ）
5.作品制作①（絵具等による着色）
6.作品制作②
7.作品制作③（仕上げ）
8.作家・作例研究の方法
9.作家作例研究①（古今東西の作例検討）
10.作家作例研究②
11.作家作例研究③（まとめ）
12.研究発表
13.オリジナル作品の制作①
14.オリジナル作品の制作②（仕上げ）
15.まとめ

[成績評価方法]
レポート（40%）・作品（60%）等による総合評価。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
提出課題に対してコメントを行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育学演習	後期	演習	2 単位
サブタイトル	美術作品の制作と研究			
担当者	守本　智美			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：レポート、作品。

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：レポート、作品。

学科DP番号／DP内容：教育3-5／教員という職業自体が社会的に特に高い人格・識見を求められる性質のものであることから、教員としての使命感を自覚し、その資質向上のためにたゆまず研鑽を積む態度と幼児・児童・生徒に対する教育的愛情をもつことができる。
成績評価方法：レポート、作品。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：レポート、作品。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート、作品。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：レポート、作品。

[教科書（ISBN）]
なし。参考書、プリント等使用。

[参考書（ISBN）]
なし。プリント資料等、授業中に指示する。

科目名	教育学演習	後期	演習	2 単位
サブタイトル	幼児及び児童への理解を深め保育者の在り方を考える			
担当者	山成　昭世			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
幼児・児童の造形活動についてフィールドワークや論文研究を通して理論的・実証的に考える力を養う。

[授業概要]
各自の関心のあるテーマについてフィールドワーク、造形作品制作を行い，さまざまな造形表現を深く理解するための研究方法を学ぶ。また、子どもの成長・発達について理解を深める。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各自が興味のあるテーマに応じた書籍や論文を読む。積極的に美術館等に出向き造形表現の多様性に触れる。予習・復習あわせて2時間程度の自主学習が必要。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. グループワーク　造形表現について
3. グループワーク　子どもの造形表現
4. テーマ設定に向けての資料収集①
5. テーマ設定に向けての資料整理②
6. フィールドワーク　①
7. フィールドワーク　②
8. 個人課題の設定
9. 個人テーマの設定①
10. 個人テーマを深める②
11. 個人の課題に沿った文献研究や造形作品の試作①
12. 個人の課題に沿った文献研究や造形作品の修正②
13. 卒業研究に向けた個人テーマについて話し合う①
14. 卒業研究に向けたテーマについて検討する②
15. まとめ

[成績評価方法]
研究の内容と研究態度、プレゼンテーションの内容およびディスカッションへの参加態度などから総合的に評価する。（研究の内容と態度70%、プレゼンテーションの内容およびディスカッションへの参加態度30%）なお、フィードバックは発表後及び課題返却時に口頭で行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
プレゼンテーション時や日々の指導で行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育学演習	後期	演習	2 単位
サブタイトル	幼児及び児童への理解を深め保育者の在り方を考える			
担当者	山成　昭世			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：フィールドワークへの取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員として自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：フィールドワークへの取り組みレポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート課題プレゼンテーション

[教科書（ISBN）]
なし。必要に応じて指示する。

[参考書（ISBN）]
なし。必要に応じて指示する。

科目名	教育学概論	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	中村　隆文			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
全ての学生が、教育学に関する一般的知識を獲得するとともに、自らの自主的な努力によって、自立した思考が可能な学生になることを、目標とする。

[授業概要]
　教育学概論とは、従来では教育学全体について、その概要を知ることでした。しかし現在において概要を知るとは、大まかに全体を知ることだけを指すのではないのです。さらにそれより一歩進んだ内容が現代の高等教育では要求されています。この講義では、教育学の基本を学習しながら、つまり全体の知識を踏まえながら、学生自らの調査可能な領域を徹底して究明することによって、その知識を実質化し、応用可能なものとすることを目的とします。このことで、従来の「硬直化した講義一辺倒」の教育学から、「生きた教育」に接する教育学概論が可能になります。そこでこの授業では、講義だけを中心としない、学生主体の能動的な参加を前提とした授業方法でその目的を達しようと試みます。授業では、先ず講義（ここは少しだけ講義です）によって、教育学の基礎と女性教育史を中心として学習します。次いで、そこで学んだことを軸にしながら、バズグループ、ディスカッション、プレゼンテーションなどを行い、現代の教育問題を検討します。その後、各自の問題意識を中心とした発表や討論を通じて教育学についての問題関心をさらに深化させます。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
「教育学」とは、今まで学んだことのない学問です。「教育学」についての著作をなんでもいいから、一冊は読んでください。

[授業計画]
【全て遠隔授業】
1. オリエンテーション1
2. オリエンテーション2
3. 教育とは何か？1—なんで先生になるのか？1
4. 教育とは何か？2
5. 教育とは何か？3
6. 教育の計画化—教育の目的1
7. 教育の計画化—教育の目的2
8. 教育の計画化—教育の目的3
9. 教育の過程1
10. 教育の過程2
11. 教育の過程3
12. 教育の歴史1
13. 教育の歴史2
14. 教育の歴史3
15. まとめと振り返り—なんで先生になるのか？2

[成績評価方法]
小テスト（20%）、討論などへの参加（20%）、レポート（10%）、発表（50%）などで評価する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
随時、テスト成績発表等。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育学概論	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	中村　隆文			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：テスト・レポート・発表

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：発表

[教科書（ISBN）]
授業中に指示する

[参考書（ISBN）]
授業中に指示する

S63400 [LH1-094]

科目名	教育学講読	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	穴田　恭輔			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
卒論テーマの設定に向けての基本的な事柄を修得する。

[授業概要]
初等教育における算数教育の課題を知り、それらの課題に対して、各自が解決方法を提案することを通して、算数教育の方法を学ぶ。今年度は算数教育の課題として、2020年度に必修化されたプログラミングを「算数におけるプログラミング」として考察することも含む。基本文献を購読し、討論もしくは模擬授業を行う。
なお、当研究室では、当科目の単位を修得しなければ、次の年の「卒業論文」には進めないのでしっかり学ぶこと。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
発表者は、必ずレジュメを用意する。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 算数教育の課題の概観①
3. 算数教育の課題の概観②
4. 算数教育の課題の概観③
5. 基本文献の講読、発表①
6. 基本文献の講読、発表②
7. 基本文献の講読、発表③
8. 基本文献の講読、発表④
9. 基本文献の輪読、発表⑤
10. 基本文献の講読、発表⑥
11. 基本文献の講読、発表⑦
12. 基本文献の講読、発表⑧
13. 基本文献の講読、発表⑨
14. 基本文献の講読、発表⑩
15. まとめ

[成績評価方法]
発表（50%）、提出物（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題は添削して返却する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育学講読	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	穴田　恭輔			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：発表

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：発表

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：発表

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：発表

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
小学校学習指導要領(平成29年告示)解説　算数編　著者名：文部科学省　出版社：日本文教出版
（9784536590105）

S61500 [LI3-005]

科目名	教育学講読	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	石田　裕子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
子どもや保育をめぐるさまざまな諸問題について関心を持ち、まとめることができる。

[授業概要]
各自問題意識を掘り下げ、その問題に関連する文献を収集し、発表する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
授業内で指示する課題を完成させてくること。新聞に目を通し、社会問題にも目を向けること。
各回予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
1.子どもや保育をめぐる諸問題について考える
2.ディスカッション　視野を広げる
3.関連文献検索方法
4.関連文献収集、読み込み
5.文献紹介
6.文献紹介相互評価
7.ディスカッション
8.問題意識を深化させる
9.関連文献収集
10.文献及び考察まとめ
11.文献及び考察　発表
12.相互評価
13.修正
14.最終発表
15.総括

[成績評価方法]
授業参加態度50%　提出物50%
授業参加態度は積極的な態度や発言について評価をする
提出物は内容は当然のこと、期限や形式についても評価をする

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S61504 [LI3-005]

科目名	教育学講読	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	石田　裕子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：授業参加態度50%　提出物50%

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：授業参加態度50%　提出物50%

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：授業参加態度50%　提出物50%

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：授業参加態度50%　提出物50%

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業参加態度50%　提出物50%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：授業参加態度50%　提出物50%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：授業参加態度50%　提出物50%

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
必要な時に授業内で提示する　出版社：×

科目名	教育学講読	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	稲垣　善茂			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
小学校の教育現場で生徒を指導できるよう、英語、算数など基礎学力の向上、小学校学習指導要綱の学習内容にかかわる基本的な原理・原則を理解・習得しながら、授業実践力を身につけさせる。

[授業概要]
TOEICなどを題材にした英語学習、卒業論文に関わる論文（英語・日本語）やエッセイ（英語・日本語）を読み込んで基礎学力、専門系学力の向上に努める。また、小学校学習指導要綱の学習内容にかかわる基本的な原理・原則を習得・理解する。もちろん小学校3年生から始まる理科のために、小学校教員として必要な理科の基礎学力、応用力、魅力ある教え方の習得を目指す。さらに、授業指導案作成および模擬授業を行うことにより、具体的な教授方法・授業実践力を身につける。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
Word, Excel, PowerPointの使用方法になれていることが必要である。また、模擬授業や論文紹介（PowerPoint使用）については、発表担当者が事前の準備をすること（指導案やワークシート、板書計画、論文説明資料：A4表裏1-2枚以内）。

[授業計画]
【全て遠隔授業】
1. オリエンテーション
2. TOEICなどを題材にした英語学習1
3. TOEICなどを題材にした英語学習2
4. TOEICなどを題材にした英語学習3
5. 模擬授業①
6. 模擬授業②
7. 模擬授業③
8. 模擬授業④
9. エッセイ（英語・日本語）の講読と紹介1
10. エッセイ（英語・日本語）の講読と紹介2
11. エッセイ（英語・日本語）の講読と紹介3
12. 論文（英語・日本語）の講読と紹介1
13. 論文（英語・日本語）の講読と紹介2
14. 論文（英語・日本語）の講読と紹介3
15. まとめ

[成績評価方法]
課題提出（50%）、授業中のプレゼンテーション（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
指導案、小論文課題、レポートなどの提出物については、赤字で添削したのち、直接返却しています。また、manabaの小テストによる課題に対しては、課題締め切り後に、ポートフォリオに採点結果と正答が公開されるようになっています。ポートフォリオを確認して復習に利用してください。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育学講読	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	稲垣　善茂			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：プレゼンテーション・レポート

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：プレゼンテーション・レポート

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：プレゼンテーション

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：プレゼンテーション・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：プレゼンテーション・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：プレゼンテーション・レポート

[教科書（ISBN）]
事前にプリントなどを配布する。
教科書はない。

[参考書（ISBN）]
新しい学びを拓く「理科」授業の理論と実践（小学校編）　著者名：角屋重樹　出版社：ミネルヴァ書房　（978-4-623-06042-9）
小学校学習指導要領解説（理科編）平成20年8月　著者名：文部科学省大日本図書　出版社：大日本図書　（978-4-477-01949-9）

S61508 [LI3-005]

科目名	教育学講読	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	大西　雅裕			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
保育、教育の専門職活動の基礎的な考え方（理念、思想、理論等）について、より具体的に学ぶことを目標とする。

[授業概要]
本授業では、保育、幼児教育等の基礎的な考え方（理念、思想、理論等）を先達の研究業績をまず概観する。その後それを踏まえて学生自身が主体性をもって実践活動に連結し、専門的実践活動の方法を学ぶ。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
社会福祉学・教育学の文献資料を選定して、ゼミの時間にそれを踏まえての議論を行うことにするので、必ず事前に読み込んでくること。

[授業計画]
【全て遠隔授業】
1. ガイダンス
2. 研究の方法
3. 研究課題の探索、整理（1）
4. 研究課題の探索、整理（2）
5. 研究課題の探索、整理（3）
6. 図書館での文献資料探索
7. 文献等の講読（1）
8. 文献等の講読（2）
9. 文献等の講読（3）
10. 文献等の講読（4）
11. 教育、保育、福祉関連での活動実践（1）
12. 教育、保育、福祉関連での活動実践（2）
13. 発表、報告、まとめ（1）
14. 発表、報告、まとめ（2）
15. 発表、報告、まとめ（3）

[成績評価方法]
レポートで評価を行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育学講読	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	大西　雅裕			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：学習態度及びレポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：授業での態度とレポート課題

[教科書（ISBN）]
レジュメ、資料を作成し配布する

[参考書（ISBN）]
適宜紹介する。

科目名	教育学講読	前期	演習	2 単位
サブタイトル	乳幼児及び児童（障害のある幼児、児童、を含む）への理解を深め保育者の在り方を考える			
担当者	隠岐　厚美			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
乳幼児の発達・障害や保育に関連する問題を理論的・実証的に考える力を養う。

[授業概要]
研究の手順、文献等の収集と整理法、主な研究方法を学びながら、各自のテーマ設定に向けて情報収集を行う。それと同時に発表ならびにディスカッションを通して幼児教育研究についての知識を深め、効果的なプレゼンテーションを行う力をみにつける。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
共通理解のため受講生と選んだ資料および配布された文献は熟読し、ディスカッションができる準備をすること。各回、予習・復習合わせて最低2時間程度の自主学習が必要です。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 研究とは
3. 研究の進め方 ①
4. 研究の進め方 ②
5. 研究の進め方 ③
6. 文献・資料の集め方と整理の方法
7. 効果的なプレゼンテーションとは
8. 幼児教育研究についての発表とディスカッション ①
9. 幼児教育研究についての発表とディスカッション ②
10. 幼児教育研究についての発表とディスカッション ③
11. 幼児教育研究についての発表とディスカッション ④
12. 幼児教育研究についての発表とディスカッション ⑤
13. 幼児教育研究についての発表とディスカッション ⑥
14. 幼児教育研究についての発表とディスカッション ⑦
15. まとめ

[成績評価方法]
発表の内容と方法およびディスカッションへの参加態度、提出物、などを総合的に評価する。（発表内容と方法およびディスカッションへの参加態度70%、提出物30%）なお、フィードバックは発表後及び提出物の返却時に口頭で行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育学講読	前期	演習	2 単位
サブタイトル	乳幼児及び児童（障害のある幼児、児童、を含む）への理解を深め保育者の在り方を考える			
担当者	隠岐　厚美			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：レポート課題プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：プレゼンテーション

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：プレゼンテーションレポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：グループ発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート課題

[教科書（ISBN）]
なし。必要に応じて指示する。

[参考書（ISBN）]
保育発達学（第2版） 著者名：服部照子・岡本雅子編著　出版社：ミネルバ書房 （9784623054497）

S61516 [LI3-005]

科目名	教育学講読	前期	演習	2 単位
サブタイトル	「学び」としての授業づくり			
担当者	金岩　俊明			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
　文献や先行研究から教育論及び授業論の基礎・基本を習得し、生活科をはじめとする学習指導の実践に必要な知識を習得や指導技術を習得する。また、小学校教育現場における諸問題についても見識を深める。

[授業概要]
・テーマ別に文献を講読し、小学校教師としての授業スタイルを確立するための知識や技能を学ぶ。さらに、模擬授業を進めながら論議し、授業の実践力を培う。
・現代の教育課題についての見識をひろげ、小学校教育の在り方を展望する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
　授業研究や教育現場の喫緊の問題についてのテーマをも定め、自主的に関連する文献講読を進めておくこと。なお、模擬授業の実施にあたっては、事前にプレ授業等を行い検討課題が提案できるようにしておくこと。

[授業計画]
1. オリエンテーション、文献講読とディスカッション①
2. 文献講読とディスカッション②
3. 文献講読とディスカッション③
4. 文献講読とディスカッション④
5. 文献講読とディスカッション⑤
6. 文献講読とディスカッション⑥
7. 模擬授業の実践と評価①
8. 模擬授業の実践と評価②
9. 模擬授業の実践と評価③
10. 模擬授業の実践と評価④
11. 模擬授業の実践と評価⑤
12. 模擬授業の実践と評価⑥
13. 模擬授業の実践と評価⑦
14. 小学校における臨床的諸問題の研究①
15. 小学校における臨床的諸問題の研究②、まとめ

[成績評価方法]
ディスカッション及び模擬授業実践（100%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
提出課題については、授業内で返却します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育学講読	前期	演習	2 単位
サブタイトル	「学び」としての授業づくり			
担当者	金岩　俊明			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：発表・レポート

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：発表

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：発表

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表・レポート

[教科書（ISBN）]
なし　その都度資料を配布

[参考書（ISBN）]
『授業デザインの最前線』 著者名：高垣マユミ　出版社：北大路書房 （978-4-7628-2423-4）

S61520 [LI3-005]

科目名	教育学講読	前期	演習	2 単位
サブタイトル	学校図書館の意義と活用			
担当者	久野　和子			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
・学校図書館を、いかに小学校教育において効果的に活用するかについて、理解を深め、技能を習得する。
・文献購読を通して、卒業論文のテーマになりそうな研究対象や課題をいくつか見つける。

[授業概要]
多様なメディア情報資源について、その種類、歴史、内容、特質と教育的効果を学ぶ。また、学校図書館の有する多様な教育的機能について最新の理論に基づいて検討する。卒論の準備に向けて、基本的文献を購読する。演習においては、教員が司書としての実務経験にもとづく具体的な知識と技術を生かしてより実践的な指導をする。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
すぐれた文学や児童書を多く読んでおくこと。
毎回、次の文献の指定箇所をしっかり読んでおくこと。

[授業計画]
【全て遠隔授業】
1. オリエンテーション
2. 基本文献講読①
3. 基本文献講読②
4. 基本文献講読③
5. 基本文献講読④
6. 基本文献講読⑤
7. 各自の発表と講評①
8. 各自の発表と講評②
9. 各自の発表と講評③
10. 各自の発表と講評④
11. 各自の発表と講評⑤
12. 各自の発表と講評⑥
13. 各自の発表と講評⑦
14. 各自の発表と講評⑧
15. まとめ

[成績評価方法]
議論への参加・発表（50%）、レポート（50%）で総合的に評価する。
レポートは後日添削して返却します。
発表は相互評価、自己評価、教員による評価によって総合的に評価する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育学講読	前期	演習	2 単位
サブタイトル	学校図書館の意義と活用			
担当者	久野　和子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：文献理解、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：文献理解、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：文献理解、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：文献理解、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：文献理解、レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題、発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：グループ活動

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：文献理解

[教科書（ISBN）]
プリントを適宜配布する。

[参考書（ISBN）]
授業中に指示する

科目名	教育学講読	前期	演習	2 単位
サブタイトル	創造性を育む幼児音楽教育			
担当者	小林　田鶴子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
1. 音楽教育学や音楽に関する文献を読んで、理解を深める。
2. 小学校や幼稚園、保育所等の教育現場や音楽関係機関の音楽教育を調べ、表現教育の現状を知る。
3. 論文の基礎的な書き方を学ぶ。
4. 研究テーマを決める

[授業概要]
音楽教育について、これまで学んできた知識・技能を活かしつつ、探究を深め、卒業論文のテーマを決める。
ゼミ形式で授業を行うので、個人の研究テーマを重点的に指導する。
授業の詳細については、ゼミのメンバーや研究テーマにしたがって決める。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
常に音楽や音楽教育、表現教育に興味を持って臨むこと。自主的に学修すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション：ゼミの進め方について
第2回　音楽教育学についての概説（1）
第3回　音楽教育学についての概説（2）
第4回　文献講読（1）
第5回　文献講読（2）
第6回　文献講読（3）
第7回　研究テーマについての探求（1）
第8回　教育・保育現場の状況視察（可能であれば見学やセミナー参加）
第9回　音楽教育現場の状況視察（可能であれば見学やセミナー参加）
第10回　論文の書き方について（1）
第11回　論文の書き方について（2）
第12回　研究テーマについての探求（2）
第13回　研究テーマについての探求（3）
第14回　論文テーマ案決定
第15回　論文概要のまとめ

[成績評価方法]
授業への取り組み（50%）、課題・レポート提出（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
その都度ゼミの中で指導する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育学講読	前期	演習	2 単位
サブタイトル	創造性を育む幼児音楽教育			
担当者	小林　田鶴子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：課題・レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業への取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：授業への取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：課題・レポート

[教科書（ISBN）]
ゼミのメンバーを見て、オリエンテーション時に紹介

[参考書（ISBN）]
授業の都度紹介する

科目名	教育学講読	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	齋藤　美保子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
保育や教育に関する専門職としての豊かな実践力の基盤となる理論や知識、考え方などを経験的・実践的な視点から学ぶことを目標とする。

[授業概要]
本授業では、実践現場に身を置き、以下の内容に関するものの中から各自が課題を見つけ出し、反省的な視点から基盤となる文献や先行研究を基に講読を行う。また、各自が行っている保育や教育現場での自主実習・ボランティア等の報告を行い、保育実践力の構築につなげ、共有化を図る。
・顕在的・潜在的カリキュラムに関すること
・保育や教育の内容・方法に関すること
・子どもをとりまくコミュニケーション（主に人（保護者や保育者、周囲の子どもなど）とのかかわり）に関すること
・子どもの心の育ち（道徳性の芽生えなど）に関すること
・幼保の一体化、幼保小の連携などの保育・教育現場の諸問題に関すること
・保育や教育の改善を目指した研究法に関すること
・諸外国の幼児教育・保育に関すること
・子どもの遊び・遊び集団に関すること

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
前回の講義内容を復習し理解して、次回の講義（研究）の予習をしておくこと。日常的に講義（研究）に関係する情報に関心を持ち、問題意識を持って、積極的に学びを進めること。授業内容が講義の場合は予習・復習合わせて4時間程度　演習の場合は予習・復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
【全て遠隔授業】
1. 研究についてのガイダンス
2. 研究課題に関する文献等の講読①
3. 研究課題に関する文献等の講読②
4. 研究課題に関する文献等の講読③
5. 研究課題に関する文献等の講読④
6. フィールドワーク等のリポート①
7. 研究課題に関する文献等の講読⑤
8. 研究課題に関する文献等の講読⑥
9. 研究課題に関する文献等の講読⑦
10. フィールドワーク等のリポート②
11. 研究課題に関する文献等の講読⑧
12. 研究課題に関する文献等の講読⑨
13. 研究課題に関する文献等の講読⑩
14. フィールドワーク等のリポート③
15. まとめ（研究発表会）

[成績評価方法]
課題（60%）、発表（40%）を総合して行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育学講読	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	齋藤　美保子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：レポート課題、プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：レポート課題、プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：プレゼンテーション、ディスカッション

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：プレゼンテーション、ディスカッション

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：レポート課題、プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：プレゼンテーション、ディスカッション

学科DP番号／DP内容：教育3-5／教員という職業自体が社会的に特に高い人格・識見を求められる性質のものであることから、教員としての使命感を自覚し、その資質向上のためにたゆまず研鑽を積む態度と幼児・児童・生徒に対する教育的愛情をもつことができる。
成績評価方法：プレゼンテーション、ディスカッション

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：プレゼンテーション、ディスカッション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：プレゼンテーション、ディスカッション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：レポート課題、ディスカッション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：プレゼンテーション、ディスカッション

[教科書（ISBN）]
後日連絡する。

[参考書（ISBN）]
必要に応じて、文献の紹介や資料の配布を行う。

科目名	教育学講読	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	佐藤　浩樹			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
文献の講読を通して、教育および授業について考えを深めることができる。
授業づくりの演習を通して、授業づくりのポイントを理解することができる。
研究的な視点を持って学習指導案を作成し、模擬授業を行うことができる。模擬授業を振り返り、よい授業に必要ことを考えることができる。

[授業概要]
①教育のあり方、授業のあり方に関わる文献を講読・発表し、ディスカッションする。
②授業づくり・学級づくり演習を行い、授業づくり・学級づくりのポイントについて考える。
③各自テーマを決めて教材研究を行い、授業案を作成する。模擬授業を行い、ディスカッションする。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
　発表レポート、模擬授業案作成には、質の高いものを作成しようとする姿勢で取り組むこと。参加者全員がテーマについて問題意識を持って授業に臨むこと。

[授業計画]
【全て遠隔授業】
1. オリエンテーション
2. 基本文献の講読・発表とディスカッション①
3. 基本文献の講読・発表とディスカッション②
4. 基本文献の講読・発表とディスカッション③
5. 授業づくり演習①
6. 授業づくり演習②
7. 学級通信の分析と学級づくり①
8. 学級通信の分析と学級づくり②
9. 模擬授業とディスカッション①
10. 模擬授業とディスカッション②
11. 模擬授業とディスカッション③
12. 模擬授業とディスカッション④
13. 模擬授業とディスカッション⑤
14. 模擬授業の振り返り －よい授業とは－
15. まとめ

[成績評価方法]
レポート（40%）、模擬授業への取り組み（40%）、授業への姿勢（20%）。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育学講読	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	佐藤　浩樹			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：レポート、授業への取組姿勢

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：レポート、授業への取組姿勢

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：レポート、授業への取組姿勢

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：レポート、授業への取組姿勢

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート、授業への取組姿勢

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：レポート、授業への取組姿勢

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
必要に応じて、授業の中で適宜紹介する。

科目名	教育学講読	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	住本　純			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
保育や教育（特に体育・スポーツ分野）に関する理論や知識、考え方などを経験的・実践的な視点から学ぶことを目標とする。

[授業概要]
文献や先行研究から体育・スポーツに関わる基礎・基本を習得し、小学校の体育授業や幼児期の運動遊びに必要な実践的指導力を高める。また、学校園現場における諸問題についても見識を深める。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
教育現場に出向き、子どもの実態を知る。または遊びの現場でこどもと身近に触れ合い子ども理解をする。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション：ゼミの進め方について
第2回　体育科教育学（幼児期の運動遊びも含む）についての概説
第3回　体育・スポーツについての概説
第4回　文献講読（1）
第5回　文献講読（2）
第6回　文献講読（3）
第7回　研究テーマについての探求（1）
第8回　研究テーマについての探求（2）
第9回　研究テーマについての探求（3）
第10回　論文の書き方について（1）
第11回　論文の書き方について（2）
第12回　保育教育現場の状況視察（可能であれば見学）
第13回　保育教育現場の状況視察（可能であれば見学）
第14回　論文テーマ案決定
第15回　論文概要のまとめ

[成績評価方法]
受講態度（授業参加度など）30%、課題内容70%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S61540 [LI3-005]

科目名	教育学講読	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	住本　純			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：レポート

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：発表

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
なし

科目名	教育学講読	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	竹田　和恵			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
ICT機器を活用した授業などの教育活動や、プログラミング教育についての実状を把握する。また、研究テーマに関する情報の収集・考察を行い、論文としてまとめ発表する力を付ける。さらに、システム開発に必要なプログラミングにおける基本的な知識・技術を修得する。

[授業概要]
教育現場でのICT機器を活用した教育活動や小学校でのプログラミング教育について調査する。また、論文作成に必要なテーマの設定や情報の収集方法、本文の構成について学ぶ。さらに、小学校のプログラミング教育で使用されている教材の活用やExcel VBAの実習を通して、システム開発に必要な基本的な知識と技術を修得する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
タイプクイックの練習　及び　前回の講義の復習

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 文献講読、システム開発に必要な知識・技術の習得（1）
3. 文献講読、システム開発に必要な知識・技術の習得（2）
4. 文献調査、システム開発に必要な知識・技術の習得（1）
5. 文献調査、システム開発に必要な知識・技術の習得（2）
6. 文献調査、システム開発に必要な知識・技術の習得（3）
7. 調査発表、システム開発に必要な知識・技術の習得（1）
8. 調査発表、システム開発に必要な知識・技術の習得（2）
9. 調査発表、システム開発に必要な知識・技術の習得（3）
10. 調査発表、システム開発に必要な知識・技術の習得（4）
11. 調査発表、システム開発に必要な知識・技術の習得（5）
12. 調査発表、システム開発に必要な知識・技術の習得（6）
13. 調査発表、システム開発に必要な知識・技術の習得（7）
14. 調査発表、システム開発に必要な知識・技術の習得（8）
15. まとめ

[成績評価方法]
課題（100%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育学講読	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	竹田　和恵			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：プログラミング演習課題レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：プログラミング演習課題レポート課題

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
なし

S61544 [LI3-005]

科目名	教育学講読	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	田中　美紀子			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
文献を精読し解釈する能力を身につけ、問題点を見つけ理路整然と議論をまとめることができる。

[授業概要]
教育学史上で重要な古典的文献をクラスで読みながら、教育学の持つ意義と役割を西洋思想を通して理解し、教育学に関する基礎的知識を得る。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
指定された文献・資料をあらかじめ読んでおくこと。各回、予習復習あわせて2時間程度。

[授業計画]
【全て遠隔授業】
1. 導入、教育学とは？
2. プラトン『ソクラテスの弁明』①
3. プラトン『ソクラテスの弁明』②
4. プラトン『ソクラテスの弁明』③
5. ルソー『エミール』①
6. ルソー『エミール』②
7. ルソー『エミール』③
8. ルソー『エミール』④
9. ルソー『エミール』⑤
10. カント『道徳形而上学原論』①
11. カント『道徳形而上学原論』②
12. カント『道徳形而上学原論』③
13. カント『道徳形而上学原論』④
14. カント『道徳形而上学原論』⑤
15. 総括

[成績評価方法]
授業での発言・活動（50%）、レポート(50%)。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートは添削して返却する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育学講読	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	田中　美紀子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：授業態度、議論への参加

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：授業態度、議論への参加

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業態度、議論への参加

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業態度、議論への参加

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：レポート課題

[教科書（ISBN）]
ルソー『エミール』(上)　著者名：ルソー　出版社：岩波文庫　(978-4003362211)
『ソクラテスの弁明・クリトン』　著者名：プラトン　出版社：講談社学術文庫　(978-4061593169)
『道徳形而上学原論』　著者名：カント　出版社：岩波文庫　(978-4003362518)

[参考書（ISBN）]
授業中に適宜指示する。

科目名	教育学講読	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	谷山　優子			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
・工夫を凝らした外国語学習の時間の指導について探究する。
・「わかる授業」をするための指導方法について研究し、卒業論文研究に向けてテーマを設定する。
・教員としての資質を高める活動を積極的に行い、身に付けていく。
・全学共通のディプロマ・ポリシーに基づき、基礎・基本となる力の「知識・技能」、考える力としての「思考力・判断力・表現力等の能力」、そして、それらを活用するときの態度に現れる「主体性・多様性・協働性」を身につける。

[授業概要]
この授業では、学校現場における教員経験があるものが、その経験を活かして、今日的な課題（特別支援教育等）への対応を指導する。生徒指導論や教育相談の授業で学んだ理論および指導方法をさらに深める。最新の教育課題について関心を持ち進んで探究し、ディスカッションを通して考察を広げていく。ユニバーサルデザインの授業作りの視点で、見てわかる聞いてわかる英語の授業の指導方法を模擬授業を通して研究しする。そして、国語や算数等のわかる授業の在り方を探求する。フィールドワークや体験活動を積極的に取り入れ、知識や見聞を広め、多様性を認め合う社会、多様性を認め合う学級づくりをめざす教員としての資質を涵養する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
関心を持った教育課題を探求し、レポートにまとめ提出する。
自己設定した英語の課題に毎週取り組む。

[授業計画]
【全て遠隔授業】
1. オリエンテーション
2. 「外国語活動」模擬授業とディスカッション・英語力向上トレーニング①
3. 「外国語活動」模擬授業とディスカッション・英語力向上トレーニング②
4. 「外国語活動」模擬授業とディスカッション・英語力向上トレーニング③
5. 「外国語活動」の授業の課題とは・英語力向上トレーニング④
6. フィールドワーク①
7. 「算数」模擬授業とディスカッション・英語力向上トレーニング⑤
8. わかる「算数」の授業とは・英語力向上トレーニング⑥
9. 「国語」模擬授業・ディスカッション・英語力向上トレーニング⑦
10. わかる「国語」の授業とは・英語力向上トレーニング⑧
11. わかる「理科」の授業とは・英語力向上トレーニング⑨
12. わかる「社会」の授業とは・TOEIC⑩
13. 「道徳」の授業の課題とは・TOEIC⑪
14. 「特活」模擬授業・ディスカッション・TOEIC⑫
15. フィールドワーク②

[成績評価方法]
授業中の課題（口頭試問を含む）（50%）、授業以外の研究課題（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中の課題に対してコメント等のフィードバックを返します。
授業以外の研究課題に対して添削等の指導を行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育学講読	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	谷山　優子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：試験、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：試験、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：試験、レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：試験、レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：計画力・実行力

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：計画力・実行力

[教科書（ISBN）]
なし。別途プリントを配布する。

[参考書（ISBN）]
授業に応じて紹介

科目名	教育学講読	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	中村　隆文			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
卒業論文の前提となる研究対象を明確にし、それに対する専門的知識を修得する。

[授業概要]
今年度のゼミナール前期は、その前半において教育社会史に関する基礎的な文献を講読する。後半に至っては、各自の卒業論文テーマを検討するため、それぞれ興味のある課題について研究を開始する。卒業論文のレベルは大学院入学可能な程度に設定するので、各自の精進に期待する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
４月まで、読書会を催しますので、しっかり参加して勉強してください。

[授業計画]
【全て遠隔授業】
1. オリエンテーション
2. 基本文献講読1
3. 基本文献講読2
4. 基本文献講読3
5. 基本文献講読4
6. 基本文献講読5
7. 基本文献講読6
8. 各自のテーマ別発表と講評1
9. 各自のテーマ別発表と講評2
10. 各自のテーマ別発表と講評3
11. 各自のテーマ別発表と講評4
12. 各自のテーマ別発表と講評5
13. 各自のテーマ別発表と講評6
14. 各自のテーマ別発表と講評7
15. 総括と後期方針の決定

[成績評価方法]
発表（70%）と報告（30%）で評価する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
随時、発表をし、その度に講評する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育学講読	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	中村　隆文			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：レポート・発表

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：レポート・発表

[教科書（ISBN）]
授業中に指示する。

[参考書（ISBN）]
『「視線」からみた日本近代―明治期図画教育史研究』2002年　著者名：中村隆文　出版社：京都大学学術出版会
（4-87698-099-3
）

S61556 [LI3-005]

科目名	教育学講読	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	平井　和恵			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
幼児教育に関する専門職としての資質を高める。

[授業概要]
文献等を研究し、自分なりの考えをもち討議しながら、幼児教育に対する視野を広める。
併せて、フィールドワークを行い、実践的に幼児理解を深め、幼児教育に対する資質や見識を高める。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
幼児教育における文献や先行研究を基礎とする。

[授業計画]
【全て遠隔授業】
1. ガイダンス
2. 課題に対する文献等の講読①
3. 課題に対する文献等の講読②
4. 課題に対する文献等の講読③
5. 課題に対する文献等の講読④
6. 保育に関する時事問題①
7. 課題に対する文献等の講読⑤
8. 課題に対する文献等の講読⑥
9. 課題に対する文献等の講読⑦
10. 保育に関する時事問題②
11. 課題に対する文献等の講読⑧
12. 課題に対する文献等の講読⑨
13. 課題に対する文献等の講読⑩
14. 保育に関する時事問題③
15. まとめ

[成績評価方法]
授業態度30％・フィールドワーク取組態度30％・レポート40％

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育学講読	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	平井　和恵			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：授業態度

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：フィールドワーク課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
必要に応じて提示する。

科目名	教育学講読	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	堀江　祐爾			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
文献や先行研究から授業論の基礎・基本を習得し、国語科における学習指導の実践に必要な指導技術を高める。また、小学校での国語科授業における諸問題についても見識を深める。

[授業概要]
初等教育における国語科教育の課題を知り、それらの課題に対して、各自が解決方法を提案することを通して、国語科の授業づくりについて学ぶ。特に、国語科教材についての教材研究の力を身につけるため、各自の発表会と話し合いを重視する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
小学校国語科教科書をよく読み、教材研究の対象とする教材を選び、その教材についての先行研究、実践例などについて調べておくこと。各回、予習復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
【全て遠隔授業】
1. オリエンテーション
2. 基本文献講読①
3. 基本文献講読②
4. 基本文献講読③
5. 基本文献講読④
6. 基本文献講読⑤
7. 各自の発表と話し合い①
8. 各自の発表と話し合い②
9. 各自の発表と話し合い③
10. 各自の発表と話し合い④
11. 各自の発表と話し合い⑤
12. 各自の発表と話し合い⑥
13. 各自の発表と話し合い⑦
14. 各自の発表と話し合い⑧
15. まとめ
※授業の展開の都合により順序や内容が変わることがある。

[成績評価方法]
課題についての発表（50%）・レポート（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題・レポートについては印刷配布、またはmanabaやインターネットなどを通してフィードバックする。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S61564 [LI3-005]

科目名	教育学講読	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	堀江　祐爾			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：レポート課題

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
なし

科目名	教育学講読	前期		2 単位
サブタイトル				
担当者	本多　明子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
英語学、英語教育学に関わる論文や文献資料を自ら収集し、それらを読み解き、日本語・英語を使って論理的に説明できると同時に、多角的な視点から意見交換ができる。

[授業概要]
英語学、英語教育学に関するテーマについて文献を調べ、纏め、日本語と英語の両言語で発表を行う。意見交換をしながら、各テーマに関する学びの理解を深めていく。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各回、予習復習を合わせて2時間程度。
毎回発表を行うので、日本語・英語ともに、何度も音声を口から出して練習を重ね、準備を整えておくこと。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. テーマに関する発表と意見交換①
3. テーマに関する発表と意見交換②
4. テーマに関する発表と意見交換③
5. テーマに関する発表と意見交換④
6. テーマに関する発表と意見交換⑤
7. テーマに関する発表と意見交換⑥
8. テーマに関する発表と意見交換⑦
9. 英語文献の講読①
10. 英語文献の講読②
11. 英語文献の講読③
12. 英語文献の講読④
13. 英語文献の講読⑤
14. 英語文献の講読⑥
15. まとめ

[成績評価方法]
発表（50%）とレポート（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題に対するフィードバックは授業で行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育学講読	前期		2 単位
サブタイトル				
担当者	本多　明子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：発表

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：レポート

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：レポート

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：発表、レポート

学科DP番号／DP内容：教育3-5／教員という職業自体が社会的に特に高い人格・識見を求められる性質のものであることから、教員としての使命感を自覚し、その資質向上のためにたゆまず研鑽を積む態度と幼児・児童・生徒に対する教育的愛情をもつことができる。
成績評価方法：レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：発表、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_： 多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_： 論理的思考力／道筋に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：発表、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_： 計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：発表、レポート

[教科書（ISBN）]
必要に応じて資料を配布する

[参考書（ISBN）]
小学校学習指導要領(平成29年告示)解説　外国語活動・外国語編　著者名：文部科学省　出版社：開隆堂
（9784304051685）

科目名	教育学講読	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	三宅　茂夫			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
保育や教育に関する専門職としての豊かな実践力の基盤となる理論や知識、考え方などを経験的・実践的な視点から学ぶことを目標とする。

[授業概要]
本授業では、実践現場に身を置き、以下の内容に関するものの中から各自が課題を見つけ出し、反省的な視点から基盤となる文献や先行研究を基に講読を行う。また、各自が行っている保育や教育現場での自主実習・ボランティア等の報告を行い、保育実践力の構築につなげ、共有化を図る。
・顕在的・潜在的カリキュラムに関すること
・保育や教育の内容・方法に関すること
・子どもをとりまくコミュニケーション（主に人（保護者や保育者、周囲の子どもなど）とのかかわり）に関すること
・子どもの心の育ち（道徳性の芽生えなど）に関すること
・幼保の一体化、幼保小の連携などの保育・教育現場の諸問題に関すること
・保育や教育の改善を目指した研究法に関すること
・諸外国の幼児教育・保育に関すること
・子どもの遊び・遊び集団に関すること

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
前回の講義内容を復習し理解して、次回の講義（研究）の予習をしておくこと。日常的に講義（研究）に関係する情報に関心を持ち、問題意識を持って、積極的に学びを進めること。授業内容が講義の場合は予習・復習合わせて4時間程度　演習の場合は予習・復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
【全て遠隔授業】
1. 研究についてのガイダンス
2. 研究課題に関する文献等の講読①
3. 研究課題に関する文献等の講読②
4. 研究課題に関する文献等の講読③
5. 研究課題に関する文献等の講読④
6. フィールドワーク等のリポート①
7. 研究課題に関する文献等の講読⑤
8. 研究課題に関する文献等の講読⑥
9. 研究課題に関する文献等の講読⑦
10. フィールドワーク等のリポート②
11. 研究課題に関する文献等の講読⑧
12. 研究課題に関する文献等の講読⑨
13. 研究課題に関する文献等の講読⑩
14. フィールドワーク等のリポート③
15. まとめ（研究発表会）

[成績評価方法]
課題（60%）、発表（40%）を総合して行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
その都度指導を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育学講読	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	三宅　茂夫			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：レポート課題、プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：レポート課題、プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：プレゼンテーション、ディスカッション

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：プレゼンテーション、ディスカッション

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：レポート課題、プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：プレゼンテーション、ディスカッション

学科DP番号／DP内容：教育3-5／教員という職業自体が社会的に特に高い人格・識見を求められる性質のものであることから、教員としての使命感を自覚し、その資質向上のためにたゆまず研鑽を積む態度と幼児・児童・生徒に対する教育的愛情をもつことができる。
成績評価方法：プレゼンテーション、ディスカッション

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：プレゼンテーション、ディスカッション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：プレゼンテーション、ディスカッション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：レポート課題、ディスカッション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：プレゼンテーション、ディスカッション

[教科書（ISBN）]
後日連絡する。

[参考書（ISBN）]
必要に応じて、文献の紹介や資料の配布を行う。

科目名	教育学講読	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	村田　恵子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
小学校の教育現場で理科を指導できるよう、小学校理科の学習内容にかかわる基本的な原理・原則を理解・習得しながら、授業実践力を身につける。

[授業概要]
小学校理科の学習内容（主に地学・物理分野）にかかわる基本的な原理・原則を習得・理解する。また、個別に小学校理科の授業指導案作成および模擬授業を行うことにより、具体的な教授方法・授業実践力を身につける。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
模擬授業担当者は、授業前に準備（指導案・ワークシート・板書計画の作成など）をする。担当者以外の人は、模擬授業で扱う単元について予習する。各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
1.オリエンテーション
2.小学校理科の教育課程について①
3.小学校理科の教育課程について②
4.小学校理科の教育課程について③
5.模擬授業①
6.模擬授業②
7.模擬授業③
8.模擬授業④
9.模擬授業⑤
10.模擬授業⑥
11.模擬授業⑦
12.模擬授業⑧
13.模擬授業⑨
14.模擬授業⑩
15.まとめ

[成績評価方法]
課題（100%）・プレゼンテーション（模擬授業）（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
指導案・ワークシートなどの添削・修正を繰り返し完成させる。修正箇所については随時説明する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育学講読	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	村田　恵子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：課題・プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：課題・プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：課題・プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：課題・プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：課題・プレゼンテーション

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：課題・プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：課題・プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：課題・プレゼンテーション

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
なし

科目名	教育学講読	前期	演習	2 単位
サブタイトル	美術作品の研究と制作			
担当者	守本　智美			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
美術作品を制作し、また各自興味の持てるテーマで美術の研究を行い、豊かな感性を育むことを目的とする。

[授業概要]
美術作品の制作を通して、描き、創造する喜びや楽しさを学びます。特にあらゆる美術の基礎となるデッサンには重点を置き、観察力、描写力をつけ、多様な表現を試みます。題材としては主として静物、風景、人物、さらには抽象的なものを取り上げてデッサンの技法の習得を行い、デッサン用具の扱いになれることに主眼を置きます。着色は水彩絵具または油絵具等で行い作品を完成させます。さらに、各自の好きなテーマで作品制作を行います。また、好きな作家や作品、その他、技法、材料等をはじめ、美術に関係したことの中から各自興味のあるテーマを設定し研究を行います。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各回、予習復習合わせて4時間程度。美術館で本物の作品を鑑賞したり、画集でも授業で関連する内容の作品はよく見て、自分の作品制作や研究に生かすこと。manaba（マナバ）にて授業に必要な連絡をするので、必ずmanabaに登録しておくこと。

[授業計画]
1.はじめに
2.デッサンの技法と作例鑑賞
3.デッサン①（静物・風景・人物のジャンルから）
4.デッサン②（制作）
5.デッサン③(仕上げ)
6.各自のテーマを見つけて作品制作①（絵画、デザイン、彫刻、工芸）
7.各自のテーマを見つけて作品制作②
8.各自のテーマを見つけて作品制作③
9.各自のテーマを見つけて作品制作④
10.各自のテーマを見つけて作品制作⑤（仕上げ）
11.好きな作品を探そう①（日本美術、西洋美術）
12.好きな作品を探そう②
13.好きな作品の研究①（日本美術、西洋美術）
14.好きな作品の研究②
15.まとめ

[成績評価方法]
レポート（40%）・作品（60%）等による総合評価。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題作品等に対するコメントを行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育学講読	前期	演習	2 単位
サブタイトル	美術作品の研究と制作			
担当者	守本　智美			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：レポート、作品。

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：レポート　、作品。

学科DP番号／DP内容：教育3-5／教員という職業自体が社会的に特に高い人格・識見を求められる性質のものであることから、教員としての使命感を自覚し、その資質向上のためにたゆまず研鑽を積む態度と幼児・児童・生徒に対する教育的愛情をもつことができる。
成績評価方法：レポート、作品。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：レポート、作品。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート、作品。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：レポート、作品。

[教科書（ISBN）]
なし。ある場合は授業中に指示する。

[参考書（ISBN）]
なし。ある場合は授業中に指示する。

科目名	教育学講読	前期	演習	2 単位
サブタイトル	幼児及び児童への理解を深め保育者の在り方を考える。			
担当者	山成　昭世			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
1、幼児の発達を視野に入れ造形表現の特性をつかむことができる。
2、様々な造形表現の多様性を通して、幼児の造形活動を理解することができる。

[授業概要]
　様々な造形表現を学びながら、各自のテーマ設定に向けて情報収集を行う。それと同時に自らが造形制作した作品の発表ならびにディスカッションを通して，幼児の造形についての知識を深め、効果的なプレゼンテーションを行う力を身につける。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
　共通理解のため受講生と資料を読み，造形制作を通してプレゼンテーションの準備をすること。各回、予習・復習合わせて最低2時間程度の自主学習や自主制作が必要です。

[授業計画]

1. オリエンテーション
2. 研究とは
3. 各自テーマについて話し合う①
4. 各自テーマについて調査する②
5. 各自テーマについて発表する③
6. 文献・資料の集め方と整理の方法
7. 効果的なプレゼンテーションとは
8. 造形表現についてディスカッション①
9. 造形表現についての（検討）②
10. 造形表現について（試作）③
11. 造形表現について（内容を深める）④
12. 造形表現について（修正）⑤
13. プレゼンテーションと鑑賞　Aグループ①
14. プレゼンレーションと鑑賞　Bグループ②
15. まとめ　振り返りと今後の課題

[成績評価方法]
発表の内容と方法およびディスカッションへの参加態度、提出物、などを総合的に評価する。（発表内容と方法およびディスカッションへの参加態度70%、提出物30%）なお、フィードバックは発表後及び提出物の返却時に口頭で行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育学講読	前期	演習	2 単位
サブタイトル	幼児及び児童への理解を深め保育者の在り方を考える。			
担当者	山成　昭世			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：レポート課題プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：レポート課題、造形作品

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：プレゼンテーション、造形作品

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性　／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：プレゼンテーション、レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：グループ発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力　／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート課題

[教科書（ISBN）]
なし。必要に応じて指示する。

[参考書（ISBN）]
なし。必要に応じて指示する。

科目名	教育基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	大西　雅裕			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
教育をとりまく諸問題の基礎を理解するために、情報を適切に得ることができる。
教育をとりまく諸問題に対し、自らの考えを言語化し、適切な方法で伝達することができる。

[授業概要]
本授業では、教育の基礎理論および教育学研究の基礎を学ぶとともに、教育という事象を分析する上で重要となる視点や考え方を養う。加えて、批判的思考力、調査能力、意見表明能力の基礎を育む。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各回、予習復習を合わせて2時間程度。
各自の発表に向けた主体的な取り組みを求める。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 図書館利用案内・利用実習
3. 表現（プレゼンテーションまたはディベート）の作法
4. 文献講読: 争点の理解
5. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の準備: 情報収集
6. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の準備: 情報整理
7. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の準備: 意見表明準備
8. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の実施
9. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の反省会
10. 文献検索案内とグループ別学習オリエンテーション
11. グループ別学習: 情報収集と発表方法
12. グループ別学習: 情報整理
13. グループ別学習: 意見発表準備
14. グループ別プレゼンテーション
15. グループ別プレゼンテーションの反省会

[成績評価方法]
担当回の発表内容・発表方法、発言（計60%）、最終レポート（40%）により、総合的に判断する。
フィードバックは適宜授業で行い、最終レポートのフィードバックは返却またはmanabaを通じて行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートは、基本的に後日添削し、返却します。
また、諸課題については、授業内での指導、解説や、メール、manaba等を活用して、
フィードバックを行います。
具体的には担当教員の指示に従ってください。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	大西　雅裕			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：発表課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：発表課題

[教科書（ISBN）]
なし。適宜資料を配布する。

[参考書（ISBN）]
なし

S63500 [LH1-083]

科目名	教育基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	久野　和子			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
教育をとりまく諸問題の基礎を理解するために、情報を適切に得ることができる。
教育をとりまく諸問題に対し、自らの考えを言語化し、適切な方法で伝達することができる。

[授業概要]
本授業では、教育の基礎理論および教育学研究の基礎を学ぶとともに、教育という事象を分析する上で重要となる視点や考え方を養う。加えて、批判的思考力、調査能力、意見表明能力の基礎を育む。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各回、予習復習を合わせて2時間程度。
各自の発表に向けた主体的な取り組みを求める。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 図書館利用案内・利用実習
3. 表現（プレゼンテーションまたはディベート）の作法
4. 文献講読: 争点の理解
5. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の準備: 情報収集
6. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の準備: 情報整理
7. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の準備: 意見表明準備
8. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の実施
9. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の反省会
10. 文献検索案内とグループ別学習オリエンテーション
11. グループ別学習: 情報収集と発表方法
12. グループ別学習: 情報整理
13. グループ別学習: 意見発表準備
14. グループ別プレゼンテーション
15. グループ別プレゼンテーションの反省会

[成績評価方法]
担当回の発表内容・発表方法、発言（計60%）、最終レポート（40%）により、総合的に判断する。
フィードバックは適宜授業で行い、最終レポートのフィードバックは返却またはmanabaを通じて行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートは、基本的に後日添削し、返却します。
また、諸課題については、授業内での指導、解説や、メール、manaba等を活用して、
フィードバックを行います。
具体的には担当教員の指示に従ってください。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	久野　和子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：発表課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：発表課題

[教科書（ISBN）]
なし。適宜資料を配布する。

[参考書（ISBN）]
なし

科目名	教育基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	田中　美紀子			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
教育をとりまく諸問題の基礎を理解するために、情報を適切に得ることができる。
教育をとりまく諸問題に対し、自らの考えを言語化し、適切な方法で伝達することができる。

[授業概要]
本授業では、教育の基礎理論および教育学研究の基礎を学ぶとともに、教育という事象を分析する上で重要となる視点や考え方を養う。加えて、批判的思考力、調査能力、意見表明能力の基礎を育む。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各回、予習復習を合わせて2時間程度。
各自の発表に向けた主体的な取り組みを求める。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 図書館利用案内・利用実習
3. 表現（プレゼンテーションまたはディベート）の作法
4. 文献講読: 争点の理解
5. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の準備: 情報収集
6. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の準備: 情報整理
7. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の準備: 意見表明準備
8. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の実施
9. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の反省会
10. 文献検索案内とグループ別学習オリエンテーション
11. グループ別学習: 情報収集と発表方法
12. グループ別学習: 情報整理
13. グループ別学習: 意見発表準備
14. グループ別プレゼンテーション
15. グループ別プレゼンテーションの反省会

[成績評価方法]
担当回の発表内容・発表方法、発言（計60%）、最終レポート（40%）により、総合的に判断する。
フィードバックは適宜授業で行い、最終レポートのフィードバックは返却またはmanabaを通じて行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートは、基本的に後日添削し、返却します。
また、諸課題については、授業内での指導、解説や、メール、manaba等を活用して、
フィードバックを行います。
具体的には担当教員の指示に従ってください。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	田中　美紀子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：発表課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：発表課題

[教科書（ISBN）]
なし。適宜資料を配布する。

[参考書（ISBN）]
なし

科目名	教育基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	本多　明子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
教育をとりまく諸問題の基礎を理解するために、情報を適切に得ることができる。
教育をとりまく諸問題に対し、自らの考えを言語化し、適切な方法で伝達することができる。

[授業概要]
本授業では、教育の基礎理論および教育学研究の基礎を学ぶとともに、教育という事象を分析する上で重要となる視点や考え方を養う。加えて、批判的思考力、調査能力、意見表明能力の基礎を育む。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各回、予習復習を合わせて2時間程度。
各自の発表に向けた主体的な取り組みを求める。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 図書館利用案内・利用実習
3. 表現（プレゼンテーションまたはディベート）の作法
4. 文献講読: 争点の理解
5. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の準備: 情報収集
6. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の準備: 情報整理
7. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の準備: 意見表明準備
8. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の実施
9. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の反省会
10. 文献検索案内とグループ別学習オリエンテーション
11. グループ別学習: 情報収集と発表方法
12. グループ別学習: 情報整理
13. グループ別学習: 意見発表準備
14. グループ別プレゼンテーション
15. グループ別プレゼンテーションの反省会

[成績評価方法]
担当回の発表内容・発表方法、発言（計60%）、最終レポート（40%）により、総合的に判断する。
フィードバックは適宜授業で行い、最終レポートのフィードバックは返却またはmanabaを通じて行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートは、基本的に後日添削し、返却します。
また、諸課題については、授業内での指導、解説や、メール、manaba等を活用して、
フィードバックを行います。
具体的には担当教員の指示に従ってください。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	本多　明子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：発表課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：発表課題

[教科書（ISBN）]
なし。適宜資料を配布する。

[参考書（ISBN）]
なし

科目名	教育基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	齋藤　美保子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
教育をとりまく諸問題の基礎を理解するために、情報を適切に得ることができる。
教育をとりまく諸問題に対し、自らの考えを言語化し、適切な方法で伝達することができる。

[授業概要]
本授業では、教育の基礎理論および教育学研究の基礎を学ぶとともに、教育という事象を分析する上で重要となる視点や考え方を養う。加えて、批判的思考力、調査能力、意見表明能力の基礎を育む。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各回、予習復習を合わせて2時間程度。
各自の発表に向けた主体的な取り組みを求める。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 図書館利用案内・利用実習
3. 表現（プレゼンテーションまたはディベート）の作法
4. 文献講読: 争点の理解
5. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の準備: 情報収集
6. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の準備: 情報整理
7. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の準備: 意見表明準備
8. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の実施
9. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の反省会
10. 文献検索案内とグループ別学習オリエンテーション
11. グループ別学習: 情報収集と発表方法
12. グループ別学習: 情報整理
13. グループ別学習: 意見発表準備
14. グループ別プレゼンテーション
15. グループ別プレゼンテーションの反省会

[成績評価方法]
担当回の発表内容・発表方法、発言（計60%）、最終レポート（40%）により、総合的に判断する。
フィードバックは適宜授業で行い、最終レポートのフィードバックは返却またはmanabaを通じて行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートは、基本的に後日添削し、返却します。
また、諸課題については、授業内での指導、解説や、メール、manaba等を活用して、
フィードバックを行います。
具体的には担当教員の指示に従ってください。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	齋藤　美保子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：発表課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：発表課題

[教科書（ISBN）]
なし。適宜資料を配布する。

[参考書（ISBN）]
なし

科目名	教育基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	黒田　昌克			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
教育をとりまく諸問題の基礎を理解するために、情報を適切に得ることができる。
教育をとりまく諸問題に対し、自らの考えを言語化し、適切な方法で伝達することができる。

[授業概要]
本授業では、教育の基礎理論および教育学研究の基礎を学ぶとともに、教育という事象を分析する上で重要となる視点や考え方を養う。加えて、批判的思考力、調査能力、意見表明能力の基礎を育む。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各回、予習復習を合わせて2時間程度。
各自の発表に向けた主体的な取り組みを求める。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 図書館利用案内・利用実習
3. 表現（プレゼンテーションまたはディベート）の作法
4. 文献講読: 争点の理解
5. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の準備: 情報収集
6. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の準備: 情報整理
7. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の準備: 意見表明準備
8. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の実施
9. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の反省会
10. 文献検索案内とグループ別学習オリエンテーション
11. グループ別学習: 情報収集と発表方法
12. グループ別学習: 情報整理
13. グループ別学習: 意見発表準備
14. グループ別プレゼンテーション
15. グループ別プレゼンテーションの反省会

[成績評価方法]
担当回の発表内容・発表方法、発言（計60%）、最終レポート（40%）により、総合的に判断する。
フィードバックは適宜授業で行い、最終レポートのフィードバックは返却またはmanabaを通じて行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートは、基本的に後日添削し、返却します。
また、諸課題については、授業内での指導、解説や、メール、manaba等を活用して、
フィードバックを行います。
具体的には担当教員の指示に従ってください。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	黒田　昌克			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：発表課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：発表課題

[教科書（ISBN）]
なし。適宜資料を配布する。

[参考書（ISBN）]
なし

科目名	教育基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	大西　雅裕			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
教育をとりまく諸問題の基礎を理解するために、情報を適切に得ることができる。
教育をとりまく諸問題に対し、自らの考えを言語化し、適切な方法で伝達することができる。

[授業概要]
本授業では、教育の基礎理論および教育学研究の基礎を学ぶとともに、教育という事象を分析する上で重要となる視点や考え方を養う。加えて、批判的思考力、調査能力、意見表明能力の基礎を育む。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各回、予習復習を合わせて2時間程度。
各自の発表に向けた主体的な取り組みを求める。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 図書館利用案内・利用実習
3. 表現（プレゼンテーションまたはディベート）の作法
4. 文献講読: 争点の理解
5. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の準備: 情報収集
6. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の準備: 情報整理
7. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の準備: 意見表明準備
8. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の実施
9. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の反省会
10. 文献検索案内とグループ別学習オリエンテーション
11. グループ別学習: 情報収集と発表方法
12. グループ別学習: 情報整理
13. グループ別学習: 意見発表準備
14. グループ別プレゼンテーション
15. グループ別プレゼンテーションの反省会

[成績評価方法]
担当回の発表内容・発表方法、発言（計60%）、最終レポート（40%）により、総合的に判断する。
フィードバックは適宜授業で行い、最終レポートのフィードバックは返却またはmanabaを通じて行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートは、基本的に後日添削し、返却します。
また、諸課題については、授業内での指導、解説や、メール、manaba等を活用して、
フィードバックを行います。
具体的には担当教員の指示に従ってください。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	大西　雅裕			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：発表課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：発表課題

[教科書（ISBN）]
なし。適宜資料を配布する。

[参考書（ISBN）]
なし

S63520 [LH1-083]

科目名	教育基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	小原　依子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
教育をとりまく諸問題の基礎を理解するために、情報を適切に得ることができる。
教育をとりまく諸問題に対し、自らの考えを言語化し、適切な方法で伝達することができる。

[授業概要]
本授業では、教育の基礎理論および教育学研究の基礎を学ぶとともに、教育という事象を分析する上で重要となる視点や考え方を養う。加えて、批判的思考力、調査能力、意見表明能力の基礎を育む。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各回、予習復習を合わせて2時間程度。
各自の発表に向けた主体的な取り組みを求める。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 図書館利用案内・利用実習
3. 表現（プレゼンテーションまたはディベート）の作法
4. 文献講読: 争点の理解
5. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の準備: 情報収集
6. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の準備: 情報整理
7. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の準備: 意見表明準備
8. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の実施
9. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の反省会
10. 文献検索案内とグループ別学習オリエンテーション
11. グループ別学習: 情報収集と発表方法
12. グループ別学習: 情報整理
13. グループ別学習: 意見発表準備
14. グループ別プレゼンテーション
15. グループ別プレゼンテーションの反省会

[成績評価方法]
担当回の発表内容・発表方法、発言（計60%）、最終レポート（40%）により、総合的に判断する。
フィードバックは適宜授業で行い、最終レポートのフィードバックは返却またはmanabaを通じて行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートは、基本的に後日添削し、返却します。
また、諸課題については、授業内での指導、解説や、メール、manaba等を活用して、
フィードバックを行います。
具体的には担当教員の指示に従ってください。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	小原　依子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：発表課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：発表課題

[教科書（ISBN）]
なし。適宜資料を配布する。

[参考書（ISBN）]
なし

S63521 [LH1-083]

科目名	教育基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	中島　實			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
教育をとりまく諸問題の基礎を理解するために、情報を適切に得ることができる。
教育をとりまく諸問題に対し、自らの考えを言語化し、適切な方法で伝達することができる。

[授業概要]
本授業では、教育の基礎理論および教育学研究の基礎を学ぶとともに、教育という事象を分析する上で重要となる視点や考え方を養う。加えて、批判的思考力、調査能力、意見表明能力の基礎を育む。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各回、予習復習を合わせて2時間程度。
各自の発表に向けた主体的な取り組みを求める。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 図書館利用案内・利用実習
3. 表現（プレゼンテーションまたはディベート）の作法
4. 文献講読: 争点の理解
5. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の準備: 情報収集
6. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の準備: 情報整理
7. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の準備: 意見表明準備
8. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の実施
9. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の反省会
10. 文献検索案内とグループ別学習オリエンテーション
11. グループ別学習: 情報収集と発表方法
12. グループ別学習: 情報整理
13. グループ別学習: 意見発表準備
14. グループ別プレゼンテーション
15. グループ別プレゼンテーションの反省会

[成績評価方法]
担当回の発表内容・発表方法、発言（計60%）、最終レポート（40%）により、総合的に判断する。
フィードバックは適宜授業で行い、最終レポートのフィードバックは返却またはmanabaを通じて行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートは、基本的に後日添削し、返却します。
また、諸課題については、授業内での指導、解説や、メール、manaba等を活用して、
フィードバックを行います。
具体的には担当教員の指示に従ってください。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	中島　實			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：発表課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：発表課題

[教科書（ISBN）]
なし。適宜資料を配布する。

[参考書（ISBN）]
なし

科目名	教育基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	中村　隆文			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
教育をとりまく諸問題の基礎を理解するために、情報を適切に得ることができる。
教育をとりまく諸問題に対し、自らの考えを言語化し、適切な方法で伝達することができる。

[授業概要]
本授業では、教育の基礎理論および教育学研究の基礎を学ぶとともに、教育という事象を分析する上で重要となる視点や考え方を養う。加えて、批判的思考力、調査能力、意見表明能力の基礎を育む。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各回、予習復習を合わせて2時間程度。
各自の発表に向けた主体的な取り組みを求める。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 図書館利用案内・利用実習
3. 表現（プレゼンテーションまたはディベート）の作法
4. 文献講読: 争点の理解
5. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の準備: 情報収集
6. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の準備: 情報整理
7. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の準備: 意見表明準備
8. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の実施
9. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の反省会
10. 文献検索案内とグループ別学習オリエンテーション
11. グループ別学習: 情報収集と発表方法
12. グループ別学習: 情報整理
13. グループ別学習: 意見発表準備
14. グループ別プレゼンテーション
15. グループ別プレゼンテーションの反省会

[成績評価方法]
担当回の発表内容・発表方法、発言（計60%）、最終レポート（40%）により、総合的に判断する。
フィードバックは適宜授業で行い、最終レポートのフィードバックは返却またはmanabaを通じて行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートは、基本的に後日添削し、返却します。
また、諸課題については、授業内での指導、解説や、メール、manaba等を活用して、
フィードバックを行います。
具体的には担当教員の指示に従ってください。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	中村　隆文			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：発表課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：発表課題

[教科書（ISBN）]
なし。適宜資料を配布する。

[参考書（ISBN）]
なし

S63523 [LH1-083]

科目名	教育基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	前田　研史			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
教育をとりまく諸問題の基礎を理解するために、情報を適切に得ることができる。
教育をとりまく諸問題に対し、自らの考えを言語化し、適切な方法で伝達することができる。

[授業概要]
本授業では、教育の基礎理論および教育学研究の基礎を学ぶとともに、教育という事象を分析する上で重要となる視点や考え方を養う。加えて、批判的思考力、調査能力、意見表明能力の基礎を育む。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各回、予習復習を合わせて2時間程度。
各自の発表に向けた主体的な取り組みを求める。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 図書館利用案内・利用実習
3. 表現（プレゼンテーションまたはディベート）の作法
4. 文献講読: 争点の理解
5. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の準備: 情報収集
6. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の準備: 情報整理
7. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の準備: 意見表明準備
8. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の実施
9. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の反省会
10. 文献検索案内とグループ別学習オリエンテーション
11. グループ別学習: 情報収集と発表方法
12. グループ別学習: 情報整理
13. グループ別学習: 意見発表準備
14. グループ別プレゼンテーション
15. グループ別プレゼンテーションの反省会

[成績評価方法]
担当回の発表内容・発表方法、発言（計60%）、最終レポート（40%）により、総合的に判断する。
フィードバックは適宜授業で行い、最終レポートのフィードバックは返却またはmanabaを通じて行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートは、基本的に後日添削し、返却します。
また、諸課題については、授業内での指導、解説や、メール、manaba等を活用して、
フィードバックを行います。
具体的には担当教員の指示に従ってください。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	前田　研史			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：発表課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：発表課題

[教科書（ISBN）]
なし。適宜資料を配布する。

[参考書（ISBN）]
なし

科目名	教育基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	守本　智美			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
教育をとりまく諸問題の基礎を理解するために、情報を適切に得ることができる。
教育をとりまく諸問題に対し、自らの考えを言語化し、適切な方法で伝達することができる。

[授業概要]
本授業では、教育の基礎理論および教育学研究の基礎を学ぶとともに、教育という事象を分析する上で重要となる視点や考え方を養う。加えて、批判的思考力、調査能力、意見表明能力の基礎を育む。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各回、予習復習を合わせて2時間程度。
各自の発表に向けた主体的な取り組みを求める。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 図書館利用案内・利用実習
3. 表現（プレゼンテーションまたはディベート）の作法
4. 文献講読: 争点の理解
5. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の準備: 情報収集
6. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の準備: 情報整理
7. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の準備: 意見表明準備
8. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の実施
9. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の反省会
10. 文献検索案内とグループ別学習オリエンテーション
11. グループ別学習: 情報収集と発表方法
12. グループ別学習: 情報整理
13. グループ別学習: 意見発表準備
14. グループ別プレゼンテーション
15. グループ別プレゼンテーションの反省会

[成績評価方法]
担当回の発表内容・発表方法、発言（計60%）、最終レポート（40%）により、総合的に判断する。
フィードバックは適宜授業で行い、最終レポートのフィードバックは返却またはmanabaを通じて行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートは、基本的に後日添削し、返却します。
また、諸課題については、授業内での指導、解説や、メール、manaba等を活用して、
フィードバックを行います。
具体的には担当教員の指示に従ってください。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	守本　智美			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：発表課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：発表課題

[教科書（ISBN）]
なし。適宜資料を配布する。

[参考書（ISBN）]
なし

科目名	教育基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	大西　雅裕			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
教育をとりまく諸問題の基礎を理解するために、情報を適切に得ることができる。
教育をとりまく諸問題に対し、自らの考えを言語化し、適切な方法で伝達することができる。

[授業概要]
本授業では、教育の基礎理論および教育学研究の基礎を学ぶとともに、教育という事象を分析する上で重要となる視点や考え方を養う。加えて、批判的思考力、調査能力、意見表明能力の基礎を育む。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各回、予習復習を合わせて2時間程度。
各自の発表に向けた主体的な取り組みを求める。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 図書館利用案内・利用実習
3. 表現（プレゼンテーションまたはディベート）の作法
4. 文献講読: 争点の理解
5. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の準備: 情報収集
6. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の準備: 情報整理
7. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の準備: 意見表明準備
8. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の実施
9. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の反省会
10. 文献検索案内とグループ別学習オリエンテーション
11. グループ別学習: 情報収集と発表方法
12. グループ別学習: 情報整理
13. グループ別学習: 意見発表準備
14. グループ別プレゼンテーション
15. グループ別プレゼンテーションの反省会

[成績評価方法]
担当回の発表内容・発表方法、発言（計60%）、最終レポート（40%）により、総合的に判断する。
フィードバックは適宜授業で行い、最終レポートのフィードバックは返却またはmanabaを通じて行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートは、基本的に後日添削し、返却します。
また、諸課題については、授業内での指導、解説や、メール、manaba等を活用して、
フィードバックを行います。
具体的には担当教員の指示に従ってください。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	大西　雅裕			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：発表課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：発表課題

[教科書（ISBN）]
なし。適宜資料を配布する。

[参考書（ISBN）]
なし

科目名	教育基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	竹田　和恵			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
教育をとりまく諸問題の基礎を理解するために、情報を適切に得ることができる。
教育をとりまく諸問題に対し、自らの考えを言語化し、適切な方法で伝達することができる。

[授業概要]
本授業では、教育の基礎理論および教育学研究の基礎を学ぶとともに、教育という事象を分析する上で重要となる視点や考え方を養う。加えて、批判的思考力、調査能力、意見表明能力の基礎を育む。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各回、予習復習を合わせて2時間程度。
各自の発表に向けた主体的な取り組みを求める。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 図書館利用案内・利用実習
3. 表現（プレゼンテーションまたはディベート）の作法
4. 文献講読: 争点の理解
5. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の準備: 情報収集
6. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の準備: 情報整理
7. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の準備: 意見表明準備
8. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の実施
9. 発表（プレゼンテーションまたはディベート）の反省会
10. 文献検索案内とグループ別学習オリエンテーション
11. グループ別学習: 情報収集と発表方法
12. グループ別学習: 情報整理
13. グループ別学習: 意見発表準備
14. グループ別プレゼンテーション
15. グループ別プレゼンテーションの反省会

[成績評価方法]
担当回の発表内容・発表方法、発言（計60%）、最終レポート（40%）により、総合的に判断する。
フィードバックは適宜授業で行い、最終レポートのフィードバックは返却またはmanabaを通じて行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートは、基本的に後日添削し、返却します。
また、諸課題については、授業内での指導、解説や、メール、manaba等を活用して、
フィードバックを行います。
具体的には担当教員の指示に従ってください。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	竹田　和恵			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：発表課題

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：発表課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：発表課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：発表課題

[教科書（ISBN）]
なし。適宜資料を配布する。

[参考書（ISBN）]
なし

科目名	教育原理	前期	講義	2 単位
サブタイトル	教育の概念・思想・歴史			
担当者	山内　紀幸			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
1　教育の概念や主要な教育思想家の思想について、基本的な知識を身に着けている。
2　教育の歴史や構造を理解し、現代の教育課題について考えることができる。

[授業概要]
　本授業では、教育を巡る様々な概念（教育、学習、子ども、教師、人間形成）について講義した後に、古代ギリシャから現代までにいたる教育の歴史について理解させる。最後に、ソクラテスからブルーナーまでの主要な教育思想家たちの時代意識と教育観について、基本的な事項を習得させる。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
予習としては、高校までに学んだ授業範囲の歴史や現代社会の知識を確認しておくこと。復習としては、授業の主な内容を1000字以内で説明できるようにすること。各回、予習復習合わせて4時間程度を充てること。

[授業計画]
1　教育の概念：語源、目的、目標、教育関係
2　子どもと家族の概念：アリエスの近代家族
3　子どもと教師の関係：臨床哲学
4　人権の概念：エリオット先生の授業
5　生と死の概念：デーケンの悲嘆のプロセス
6　ケアの概念：メイヤロフのケア
7　古代ギリシャの教育：アテネとスパルタ
8　日本の子育て観：縄文時代と江戸時代
9　学校の誕生：フーコーからみた生の技法
10　教育問題の歴史：戦後の学習指導要領の変遷
11　教育の古典：ソクラテス・コメニウス
12　啓蒙時代の教育思想：ロック・ルソー・ペスタロッチ・ヘルバルト
13　幼児教育の思想：フレーベル・モンテッソーリ
14　子ども中心主義の思想：エレンケイ・デューイ
15　現代の思想：ラングラン・ブルーナー

[成績評価方法]
小テスト（70%）、総括レポート（30%）によって評価する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題に対する講評を授業時間内に行う。
最終（に近い）回のレポートの講評はmanabaから配信することがある。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育原理	前期	講義	2 単位
サブタイトル	教育の概念・思想・歴史			
担当者	山内　紀幸			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：小テスト、総括レポート

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：小テスト、総括レポート

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：小テスト、総括レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：小テスト、総括レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：小テスト、総括レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：小テスト、総括レポート

[教科書（ISBN）]
なし。適宜資料を配付します。

[参考書（ISBN）]
教育思想史　著者名：今井康雄（編）　出版社：有斐閣　(978-4-641-12384-7)

S63420 [LH1-084]

科目名	教育原理	前期	講義	2 単位
サブタイトル	教育の概念・思想・歴史			
担当者	山内　紀幸			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
1　教育の概念や主要な教育思想家の思想について、基本的な知識を身に着けている。
2　教育の歴史や構造を理解し、現代の教育課題について考えることができる。

[授業概要]
　本授業では、教育を巡る様々な概念（教育、学習、子ども、教師、人間形成）について講義した後に、古代ギリシャから現代までにいたる教育の歴史について理解させる。最後に、ソクラテスからブルーナーまでの主要な教育思想家たちの時代意識と教育観について、基本的な事項を習得させる。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
予習としては、高校までに学んだ授業範囲の歴史や現代社会の知識を確認しておくこと。復習としては、授業の主な内容を1000字以内で説明できるようにすること。各回、予習復習合わせて4時間程度を充てること。

[授業計画]
1　教育の概念：語源、目的、目標、教育関係
2　子どもと家族の概念：アリエスの近代家族
3　子どもと教師の関係：臨床哲学
4　人権の概念：エリオット先生の授業
5　生と死の概念：デーケンの悲嘆のプロセス
6　ケアの概念：メイヤロフのケア
7　古代ギリシャの教育：アテネとスパルタ
8　日本の子育て観：縄文時代と江戸時代
9　学校の誕生：フーコーからみた生の技法
10　教育問題の歴史：戦後の学習指導要領の変遷
11　教育の古典：ソクラテス・コメニウス
12　啓蒙時代の教育思想：ロック・ルソー・ペスタロッチ・ヘルバルト
13　幼児教育の思想：フレーベル・モンテッソーリ
14　子ども中心主義の思想：エレンケイ・デューイ
15　現代の思想：ラングラン・ブルーナー

[成績評価方法]
小テスト（70%）、総括レポート（30%）によって評価する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題に対する講評を授業時間内に行う。
最終（に近い）回のレポートの講評はmanabaから配信することがある。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育原理	前期	講義	2 単位
サブタイトル	教育の概念・思想・歴史			
担当者	山内　紀幸			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：小テスト、総括レポート

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：小テスト、総括レポート

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：小テスト、総括レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：小テスト、総括レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：小テスト、総括レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：小テスト、総括レポート

[教科書（ISBN）]
なし。適宜資料を配付します。

[参考書（ISBN）]
教育思想史　著者名：今井康雄（編）　出版社：有斐閣　(978-4-641-12384-7)

科目名	教育史	後期		2 単位
サブタイトル				
担当者	山内　由賀			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
①近代フランスを中心に西洋における女子教育の歴史について基本的な流れを理解する。
②教育の歴史に対するジェンダーの視点を獲得し、その上で教育の今日的な課題を考察する力を身につける。

[授業概要]
現代において女性は男性と同等な立場で教育を受ける機会が保障されている。しかしながら、かつては日本でも西洋でも女性に教育は必要ない、あるいは男子とは異なる教育をするべきだと考えられていた。本講義では、西洋特にフランスを中心に、歴史的背景をふまえながら、女性像及び女子教育の変遷について学ぶ。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
ニュースや新聞などのメディアに接し、女子教育に関する話題に目を通しておくこと。

[授業計画]
1. 授業内容と授業計画の説明
2.「子ども」の誕生①　中世ヨーロッパにおける子ども
3.「子ども」の誕生②　子どもを中心とした家庭の形成
4. 女性の歴史①　母役割と母性
5. 女性の歴史②　女子に対するしつけと礼儀作法
6. 女性の歴史③　近代ヨーロッパにおける理想の女性像
7. イギリスにおける女子教育
8. アメリカにおける女子教育
9. 映画鑑賞
10. フランスにおける女子教育①修道院寄宿学校での教育
11. フランスにおける女子教育②女子教育論の展開
12. フランスにおける女子教育③公教育化にむけて
13. フランスにおける女子教育④義務教育と男女共学
14. 現代における女子教育
15. まとめ

[成績評価方法]
授業中の課題(50%)・試験(50%)

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
試験後、解答の解説をおこないます。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S64620

科目名	教育史	後期		2 単位
サブタイトル				
担当者	山内　由賀			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：試験

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：授業中の課題

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：授業中の課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：授業中の課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／道筋に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：授業中の課題

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
なし

科目名	教育実習指導	前期	講義	1 単位
サブタイトル	充実した教育実習を目指して			
担当者	榎元　十三男			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
学校現場で教育実習を行うために必要な心得や行動を理解するとともに、教科指導や生徒指導、学級経営等に携わることができる素地を身に付ける。また、自らの教育実習を評価し、課題を見出だし改善することができるようになる。

[授業概要]
「教育実習」参加の前提として、事前・事後指導の履修が課せられている。本講義は、教育職員免許法の趣旨に基づき、これまでに学習した関係科目の内容の総合的理解を図り、教育実習生として必要な心得や行動、教科指導や生徒指導、学級経営に携わる素地を身につけるとともに、児童との人間的な関わりを通して、教師としての責務や使命を感得する。また、模擬授業を実施することにより、各教科の指導法で学んだ内容を基礎として、学習指導案の書き方や授業実践の方法を整理する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
授業内容について、授業資料や参考書等で復習する。予習として、学習内容についての質問事項を準備して受講する。

[授業計画]
1. 教育実習の意義と目的、内容
2. 教育実習の心得（準備と心得、教員の仕事、一日の勤務）
3. 学級経営の実際（教育課程、学習指導、生徒指導、人権教育等）
4. 観察実習（授業参観）のポイント≪授業記録・板書技術・教師の動き・話術等≫
5. 教育実習における授業設計≪カリキュラムマネージメント・教材研究・ICT活用・発問等≫
6. 授業実習の実際①（教材研究、学習指導案の書き方）
7. 授業実習の実際②（学習指導案の作成）
8. 授業実習の実際③（授業の基礎技術）
9. 受け入れ校の校長講話
10. 模擬授業の演習①（算数・道徳）
11. 模擬授業の演習②（国語・生活）
12. 模擬授業の演習③（社会、理科）
13. 教育実習の最終準備（実習校との打ち合わせに向けて）
14. 教育実習の整理と反省（実習記録の書き方）
15. 教育実習指導のまとめ

[成績評価方法]
テスト（30%）、レポート（30%）、模擬授業（20%）、出席（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
manabを積極的に活用し、その都度のコメント等でフィードバックを行う。
教職支援センターまたは研究室にて個別指導も可。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育実習指導	前期	講義	1 単位
サブタイトル	充実した教育実習を目指して			
担当者	榎元　十三男			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：試験、レポート課題、指導案作成

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：レポート課題、授業記録

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題、授業態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート課題

[教科書（ISBN）]
「教育実習の手引きと記録」　初回授業時に配布予定　著者名：神戸女子大学　出版社：神戸女子大学

[参考書（ISBN）]
【参考書】小学校学習指導要領(平成29年告示)
　著者名：文部科学省　出版社：東洋館出版社
（9784491034607）
教育実践の理論と方法　教育実習・子どもの発達・授業　著者名：長瀬義雄　出版社：教育出版株式会社（9784316804507）

S60230 [LH3-138]

科目名	教育実習指導	後期	講義	1 単位
サブタイトル	意義ある教育実習を行うために			
担当者	平井　和恵			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
　これまで習得してきた知識や技能を基盤にして、有意義な教育実習を経験できるように、指導計画の作成や実践的な模擬保育を行う等する。また今後の課題を見つける。

[授業概要]
「教育実習」参加の前提として、事前・事後指導の必履修が課せられている。本講義は、教育職員免許法の趣旨に基づいて行うものである。現在まで学習した関係科目の内容を総合的にまとめて理解し、教育実習生として必要な態度や行動、学級経営に携わる問題点を整理し、自己の課題として取り組みつつ、将来現場の教師として有効に活かせるように研究する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
「幼児教育指導法」を始め、保育内容等の関連科目を学修

[授業計画]
1. 教育実習の意義。・指導案作成
2. 模擬保育1
3. 模擬保育2
4. 模擬保育1・2振り返り
5. 模擬保育3
6. 模擬保育4
7. 模擬保育3・4振り返り
8. 模擬保育5
9. 模擬保育6
11. 模擬保育5・6振り返り
12. 模擬保育7
13. 模擬保育7振り返り
14. 実習に向けて1
15. 実習に向けて2

[成績評価方法]
授業態度（70%）、レポート（30%）
（本講義科目は、必須である「教育実習」の事前指導にあたるもので、これを履修・修得していなければ幼稚園実習に参加することが認められない。）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育実習指導	後期	講義	1 単位
サブタイトル	意義ある教育実習を行うために			
担当者	平井　和恵			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：レポート

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：授業態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：授業態度

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
幼稚園教育要領解説　著者名：文部科学省　出版社：フレーベル館（9784577814475）

S60231 [LH3-138]

科目名	教育実習指導	後期	講義	1 単位
サブタイトル	意義ある教育実習を行うために			
担当者	平井　和恵			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
　これまで習得してきた知識や技能を基盤にして、有意義な教育実習を経験できるように、指導計画の作成や実践的な模擬保育を行う等する。また今後の課題を見つける。

[授業概要]
「教育実習」参加の前提として、事前・事後指導の必履修が課せられている。本講義は、教育職員免許法の趣旨に基づいて行うものである。現在まで学習した関係科目の内容を総合的にまとめて理解し、教育実習生として必要な態度や行動、学級経営に携わる問題点を整理し、自己の課題として取り組みつつ、将来現場の教師として有効に活かせるように研究する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
「幼児教育指導法」を始め、保育内容等の関連科目を学修

[授業計画]
1. 教育実習の意義。・指導案作成
2. 模擬保育1
3. 模擬保育2
4. 模擬保育1・2振り返り
5. 模擬保育3
6. 模擬保育4
7. 模擬保育3・4振り返り
8. 模擬保育5
9. 模擬保育6
11. 模擬保育5・6振り返り
12. 模擬保育7
13. 模擬保育7振り返り
14. 実習に向けて1
15. 実習に向けて2

[成績評価方法]
授業態度（70%）、レポート（30%）
（本講義科目は、必須である「教育実習」の事前指導にあたるもので、これを履修・修得していなければ幼稚園実習に参加することが認められない。）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育実習指導	後期	講義	1 単位
サブタイトル	意義ある教育実習を行うために			
担当者	平井　和恵			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：レポート

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：授業態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：授業態度

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
幼稚園教育要領解説　著者名：文部科学省　出版社：フレーベル館（9784577814475）

S60232 [LH3-138]

科目名	教育社会学	前期	講義	2 単位
サブタイトル	「教育」を多面的に考えよう。			
担当者	伴仲　謙欣			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
現代社会の変化に伴う教育的事象・環境への影響について、授業内容の理解を前提にクリティカルな視点を持って自分なりに考えることができる。

[授業概要]
現代社会に暮らす私たちは、幼い頃から公私を問わず、必ず何かしらの「教育的行為」を経験します。「教育」とは「人を人として」育み、社会の一員に迎えるための営みといえるでしょう。つまり「教育」と「社会」は、互いに不可分かつ表裏一体な関係にあり、強い相関を持ちながら刻々と変化していくものです。本講義では、「教育」・「学校」・「社会」という三者を統合的に捉えつつ、教育と社会的事象がどのようにつながりもつのかについて、具体的な事例を踏まえて社会学的観点（クリティカル）から考えていきます。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
（特に）教育問題に関する新聞記事を読むことを習慣化してください。記事を読み、その内容がどのように社会とつながりを持っているのかを意識的に考えましょう（各回、事前・事後学修合わせて4時間程度）。※可能であれば「教育新聞」を推奨しますが、どの新聞でも構いません。

[授業計画]
第1回：オリエンテーション－教育社会学とは―
第2回：教育と社会化
第3回：社会における「学校」とは何か？①
第4回：社会における「学校」とは何か？②
第5回：教育とメディア
第6回：教育と少子化
第7回：学校とこども
第8回：教育とジェンダー
第9回：教育と経済
第10回：教育と格差
第11回：学校と地域
第12回：社会と教師
第13回：現在の教育問題を考える①
第14回：現在の教育問題を考える②
第15回：まとめ

[成績評価方法]
以下の評価項目と割合で総合評価します。
①定期試験：50%
②各授業で示す提出物：50%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
提出物に対しては、授業中や学内システムを通じての返却やコメント等のフィードバックを行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育社会学	前期	講義	2 単位
サブタイトル	「教育」を多面的に考えよう。			
担当者	伴仲　謙欣			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：定期試験

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：定期試験、提出物

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：定期試験、提出物

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：定期試験、提出物

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：定期試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：定期試験、提出物

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
『新しい時代の教育社会学（シリーズ現代の教職）』（2012）　著者名：加野 芳正、越智 康詞
　出版社：ミネルヴァ書房　（978-4623064427）
『よくわかる教育社会学（やわらかアカデミズム・わかるシリーズ）』（2012）　著者名：酒井 朗、中村 高康、多賀 太　出版社：ミネルヴァ書房　（978-4623062935）
『半径5メートルからの教育社会学（大学生の学びをつくる）』（2017）　著者名：片山 悠樹、内田 良、古田 和久、牧野 智和　出版社：大月書店　（978-4272412389）

科目名	教育社会学	前期	講義	2 単位
サブタイトル	「教育」を多面的に考えよう。			
担当者	伴仲　謙欣			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
現代社会の変化に伴う教育的事象・環境への影響について、授業内容の理解を前提にクリティカルな視点を持って自分なりに考えることができる。

[授業概要]
現代社会に暮らす私たちは、幼い頃から公私を問わず、必ず何かしらの「教育的行為」を経験します。「教育」とは「人を人として」育み、社会の一員に迎えるための営みといえるでしょう。つまり「教育」と「社会」は、互いに不可分かつ表裏一体な関係にあり、強い相関を持ちながら刻々と変化していくものです。本講義では、「教育」・「学校」・「社会」という三者を統合的に捉えつつ、教育と社会的事象がどのようにつながりもつのかについて、具体的な事例を踏まえて社会学的観点（クリティカル）から考えていきます。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
（特に）教育問題に関する新聞記事を読むことを習慣化してください。記事を読み、その内容がどのように社会とつながりを持っているのかを意識的に考えましょう（各回、事前・事後学修合わせて4時間程度）。※可能であれば「教育新聞」を推奨しますが、どの新聞でも構いません。

[授業計画]
第1回：オリエンテーション－教育社会学とは―
第2回：教育と社会化
第3回：社会における「学校」とは何か？①
第4回：社会における「学校」とは何か？②
第5回：教育とメディア
第6回：教育と少子化
第7回：学校とこども
第8回：教育とジェンダー
第9回：教育と経済
第10回：教育と格差
第11回：学校と地域
第12回：社会と教師
第13回：現在の教育問題を考える①
第14回：現在の教育問題を考える②
第15回：まとめ

[成績評価方法]
以下の評価項目と割合で総合評価します。
①定期試験：50%
②各授業で示す提出物：50%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
提出物に対しては、授業中や学内システムを通じての返却やコメント等のフィードバックを行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育社会学	前期	講義	2 単位
サブタイトル	「教育」を多面的に考えよう。			
担当者	伴仲　謙欣			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：定期試験

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：定期試験、提出物

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：定期試験、提出物

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：定期試験、提出物

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：定期試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：定期試験、提出物

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
『新しい時代の教育社会学（シリーズ現代の教職）』（2012）　著者名：加野 芳正、越智 康詞
　出版社：ミネルヴァ書房　（978-4623064427）
『よくわかる教育社会学（やわらかアカデミズム・わかるシリーズ）』（2012）　著者名：酒井 朗、中村 高康、多賀 太　出版社：ミネルヴァ書房　（978-4623062935）
『半径5メートルからの教育社会学（大学生の学びをつくる）』（2017）　著者名：片山 悠樹、内田 良、古田 和久、牧野 智和　出版社：大月書店　（978-4272412389）

科目名	教育相談	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	谷山　優子			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
・学校における教育相談緒意義と課題を理解している。
・教育相談を進める際に必要な基礎的知識（カウンセリングに関す基礎知識を含む）を理解している。
・いじめ、不登校、虐待、非行、発達障害等、最近の教育課題への教育相談の進め方や組織的な取組みや連携の必要性を理解している。
・全学共通のディプロマ・ポリシーに基づき、基礎・基本となる力の「知識・技能」、考える力としての「思考力・判断力・表現力等の能力」、そして、それらを活用するときの態度に現れる「主体性・多様性・協働性」を身につける。

[授業概要]
この授業では、学校現場における教員経験があるものが、その経験を活かして、今日的な課題（特別支援教育等）への対応を指導する。学校現場では、いじめ、不登校、非行、学級崩壊といった教育課題にどう対処するかが重要になっている。児童生徒一人ひとりの発達に即して、好ましい人間関係を育て、生活によく適応させ、自己理解を深めさせ、人格を成長させる支援が教員に求められている。
この授業では、主体的で深い学びをめざし、アクティブ・ラーニングやロールプレイなどを用いる。学校教育におけるカウンセリングマインドの必要性、教育相談の意義や基本的な技法、教育相談の進め方などを事例から学習し身に付けることをめあてとする。また、発達障害のある子供の理解や支援の方法、保護者や関係機関との望ましい連携の在り方（カウンセリングの基礎基本を含む）を身に付けることをめあてとして授業を行う。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
・事前に「教育相談」「カウンセリング」に関する書物や資料を読むこと。
・教育課題についての概要を把握すること。
・授業で出された課題について探究的に取り組むこと。

[授業計画]
1.教育相談の意義（個性の伸長と人格の成長）
2.教育相談の校内体制づくり、学級づくり（目標の立て方や進め方）
3.自己理解と好ましい人間関係
4.教育相談に関わる心理学の基礎理論と技法（受容、傾聴、共感）
5.教育相談の進め方①（カウンセリングマインド）
6.教育相談の進め方②（いじめ、不登校、虐待、非行等）
7.教育相談の進め方③（進路や生き方）<学外＞
8.教育相談の進め方④（保護者との連携）
9.グループエンカウンター、アサーショントレーニングの実践
10.「ケース会議」のロールプレイ
11. 発達障害の理解
12. スクールカウンセラー・関係諸機関との連携＜学外特別講師＞
13. リフレ―ミング、ストレスマネジメントの実践
14. 予防的・開発的教育相談＜学外＞
15. まとめ

[成績評価方法]
授業中の課題（50%）、試験（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中の課題に対してコメント等のフィードバックを返します。
授業以外の研究課題に対して添削等の指導を行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育相談	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	谷山　優子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：試験、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：試験、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：試験、レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：試験、レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：試験、レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：試験、レポート課題

[教科書（ISBN）]
『生徒指導提要』 著者名：文部科学省　出版社：教育図書 （978-4-87730-274-0）

[参考書（ISBN）]
授業進度に応じて紹介

S61130 [LH2-098]

科目名	教育の方法及び技術	後期		2 単位
サブタイトル				
担当者	黒田　昌克			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
教育方法を工夫することの意義や学習指導案の基本的な要素と作成の流れを理解した上で、実際に授業設計できる。その際、ICT等を活用した基本的な指導技術を身につけた上で、授業設計に組み込むことができる。

[授業概要]
授業設計（インストラクショナルデザイン）に関わる基本的な考え方、授業場面での指導技術、ICTの効果的な活用や情報社会の中で学び続ける力の育成方法を学びます。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各回、予習復習合わせて4時間程度の主体的な学修を求めます。予習としては、教科書の講義に対応する章に目を通し、大まかな内容を把握してください。復習としては、重要な内容に関して振り返り、自分の言葉で説明できるようにノートにまとめる等してください。

[授業計画]
1.これからの子どもたちに育みたい資質・能力
2.教師に求められる授業力
3.授業をつくるということ。授業づくりのプロセス
4.授業評価をデザインする・目標・指導・評価の一体化の意義
5.学習環境のデザイン・授業企画書の発表会
6.授業を支える指導技術
7.学びを引き出す指導技術
8.学習指導案をつくる（1）学習目標の設定
9.学習指導案をつくる（2）深い学びを導く教材研究
10.学習指導案をつくる（3）主体的・対話的な学習過程
11.学習指導案をつくる（4）学びが見える評価方法
12.授業の魅力を高めるICTの活用
13.情報活用能力を育てる
14.これからの学習環境とテクノロジの役割
15.模擬授業の実施と授業の改善・授業のまとめ

[成績評価方法]
小レポート課題（30%）、模擬授業等の発表（20%）、最終レポート課題（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
小レポート及び模擬授業等の発表のフィードバックは適宜授業において行います。最終レポートのフィードバックはコメントを記入した上、返却またはmanabaを通じて行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育の方法及び技術	後期		2 単位
サブタイトル				
担当者	黒田　昌克			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：レポート課題、発表

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：レポート課題、発表

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：レポート課題、発表

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題、発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題、発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート課題、発表

[教科書（ISBN）]
教育の方法と技術　著者名：稲垣　忠　出版社：北大路書房 （978-4-7628-3060-0）

[参考書（ISBN）]
なし

S63450 [LH1-089]

科目名	教育評価	前期	講義	2 単位
サブタイトル	教育評価の理論と実践			
担当者	山内　紀幸			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
1　教育評価について、基本的・発展的な知識を身に着けている。
2　教育評価の目的やねらいを理解し、実際に適正な教育評価を実施することができる。

[授業概要]
　本授業では、学力論、教育評価の基本的概念、評価方法論について講義した後に、教育評価計画を作らせ、実際に様々な教育評価の技法について学ばせる。講義科目ではあるが、アクティブ・ラーニングの要素を導入し、実際の評価活動を通じて、学生に反省的に知識・技能を習得させることをねらいとしている。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
＜予習＞授業前に配布資料を読み、講義内容を大まかに把握してください。
＜復習＞ノートを読み返して理解を確実にし、重要語句を覚えてください。

[授業計画]
1　学力とは何か：何を測るのか
2　教育評価の基本：相対評価と絶対評価・他者評価と自己評価
3　教育評価の多様性：診断的評価、形成的評価、総括的評価
4　評価方法論：観察法、パフォーマンス評価、ポートフォリオ評価、ペーパーテスト
5　教育評価計画：指導計画と評価計画
6　教育評価の実際①：学力の要素と4観点から評価規準をつくる
7　教育評価の実際②：パフォーマンス課題
8　教育評価の実際③：パフォーマンス評価
9　教育評価の実際④：ペーパーテスト課題A
10　教育評価の実際⑤：ペーパーテスト評価A
11　教育評価の実際⑥：ペーパーテスト課題B
12　教育評価の実際⑦：ペーパーテスト課題B
13　教育評価の実際⑧：ポートフォリオをつくろう
14　教育評価の実際⑨：ポートフォリオ評価
15　学習評価の課題と展望：まとめ

[成績評価方法]
小テスト（20%）、授業中の課題（50%）、レポート（30%）で評価します。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
フィードバックは適宜manabaを通じて行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育評価	前期	講義	2 単位
サブタイトル	教育評価の理論と実践			
担当者	山内　紀幸			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：授業中の課題、小テスト、レポート

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：授業中の課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：授業中の課題、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：授業中の課題、レポート

[教科書（ISBN）]
なし。適宜資料を配付します。

[参考書（ISBN）]
『小学校学習指導要領』 著者名：文部科学省　出版社：東洋館出版社 （978-4491034607）
『中学校学習指導要領』 著者名：文部科学省　出版社：東山書房 （978-4827815795）

S60150 [LH4-008]

科目名	教育心理学	前期	講義	2 単位
サブタイトル	児童生徒の発達と学習			
担当者	中島　實			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
幼児、児童、生徒の発達、学習の基礎と学習指導、教育評価について心理学からの理解を深めること、よりよい教育活動のあり方についての課題を理解すること、子どもの発達および教師の役割を発展的に考えることが、この授業の到達目標である。

[授業概要]
本講は、学校教育場面にかかわる諸テーマについて主として心理学のさまざまな分野の知見、特に幼児、児童、生徒の発達の姿、学習の基礎理論と学習指導法、学習の動機づけ、教育評価の目的と方法について理解を深め、よりよい教育活動を行う上で必要な知識と方法を学んでいく。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
前回の授業内容および該当する教科書（プリント）の関連個所を復習し、次回の予定内容に関連する教科書の該当箇所を予習すること。
各回、予習復習合わせて4時間程度

[授業計画]

第１回：教育心理学のねらいと概要
第２回：発達の概念
第３回：発達の規定因―遺伝と環境
第４回：発達の理論―発達課題と発達段階
第５回：発達の理論―人格と社会性の発達段階
第６回：発達の理論―言語、認知の発達段階
第７回：学習の基礎理論―条件づけ理論
第８回：学習の基礎理論―観察学習と洞察
第９回：学習の動機づけ―外発的動機づけと内発的動機づけ
第１０回：学習の動機づけ―帰属と学習意欲
第１１回：学習指導の方法―プログラム学習と発見学習
第１２回：学習指導―有意味受容学習と協同学習
第１３回：教育評価の目的と内容
第１４回：教育評価の方法
第１５回：まとめ

[成績評価方法]
試験（100％）とともに、授業時の質疑への対応も考慮して評価を行なう。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
フィードバックは問合せに応じて回答を解説する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育心理学	前期	講義	2 単位
サブタイトル	児童生徒の発達と学習			
担当者	中島　實			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験

[教科書（ISBN）]
精選コンパクト教育心理学　著者名：北尾倫彦ほか　出版社：北大路書房 （4762825220）

[参考書（ISBN）]
適宜指摘する

S63410 [LH1-087]

科目名	教育心理学	前期	講義	2 単位
サブタイトル	児童生徒の発達と学習			
担当者	中島　實			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
幼児、児童、生徒の発達、学習の基礎と学習指導、教育評価について心理学からの理解を深めること、よりよい教育活動のあり方についての課題を理解すること、子どもの発達および教師の役割を発展的に考えることが、この授業の到達目標である。

[授業概要]
本講は、学校教育場面にかかわる諸テーマについて主として心理学のさまざまな分野の知見、特に幼児、児童、生徒の発達の姿、学習の基礎理論と学習指導法、学習の動機づけ、教育評価の目的と方法について理解を深め、よりよい教育活動を行う上で必要な知識と方法を学んでいく。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
前回の授業内容および該当する教科書（プリント）の関連個所を復習し、次回の予定内容に関連する教科書の該当箇所を予習すること。
各回、予習復習合わせて4時間程度

[授業計画]

第１回：教育心理学のねらいと概要
第２回：発達の概念
第３回：発達の規定因―遺伝と環境
第４回：発達の理論―発達課題と発達段階
第５回：発達の理論―人格と社会性の発達段階
第６回：発達の理論―言語、認知の発達段階
第７回：学習の基礎理論―条件づけ理論
第８回：学習の基礎理論―観察学習と洞察
第９回：学習の動機づけ―外発的動機づけと内発的動機づけ
第１０回：学習の動機づけ―帰属と学習意欲
第１１回：学習指導の方法―プログラム学習と発見学習
第１２回：学習指導―有意味受容学習と協同学習
第１３回：教育評価の目的と内容
第１４回：教育評価の方法
第１５回：まとめ

[成績評価方法]
試験（100％）とともに、授業時の質疑への対応も考慮して評価を行なう。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
フィードバックは問合せに応じて回答を解説する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教育心理学	前期	講義	2 単位
サブタイトル	児童生徒の発達と学習			
担当者	中島　實			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：

[教科書（ISBN）]
精選コンパクト教育心理学　著者名：北尾倫彦ほか　出版社：北大路書房 （4762825220）

[参考書（ISBN）]
適宜指摘する

S63411 [LH1-087]

科目名	教職実践演習（幼・小）	後期	演習	2 単位
サブタイトル	実践力のある小学校教師を目指して			
担当者	佐藤　浩樹、金岩　俊明、穴田　恭輔、谷山　優子、堀江　祐爾、住本　純、黒田　昌克			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
授業実践力や児童理解力、心構え等、教員としての職務に必要な資質・能力を整理して、自分にとって何が課題であるかを自覚する。そして、不足している知識や技能を補い、その定着を図り、教員生活を円滑にスタートできるようになる。

[授業概要]
学校見学や現場教師・指導主事等の講義などを通して、学校現場の実情を学び、実務に当たっての心構えを学ぶ。また、指導計画の立案や模擬授業、事例研究などについて、グループ学習や討論を行い、実践力の育成を図る。また、これらの活動を通して、教員としての自己の課題を自覚するとともに、必要な知識・技能の定着を図る。
※小学校教諭免許状取得予定者は必修である。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
教職に向けての仕上げであることを意識して、専門科目、学級経営、指導技術等、これまでの学修内容を復習しておく。講義前には、学校園現場での指導を意識して、課題を持って講義に臨むようにすること。

[授業計画]
1. オリエンテーション （佐藤）
2. 教職の意義や教員の役割 （堀江）
3. 学級経営・校務運営の実際 （穴田）
4. 国語科授業づくりの基本－音読・朗読－ （堀江）
5. 算数科におけるプログラミング教育 （穴田）
6. プログラミング教育 （黒田）
7. 特別支援教育とユニバーサルデザインの授業 （谷山）
8. 小学校における研究・研修への取組 （佐藤）
9. 生徒指導と教育相談 （谷山）
10. 教師の成長と授業リフレクション （住本）
11. 保護者や地域との連携 （金岩）
12. 教材開発とカリキュラム・マネジメント （佐藤）
13. 卒業生を招いたシンポジウム （佐藤）
14. 模擬授業の実践と協議 （黒田）
15. 教職への決意・総まとめ （金岩、住本、谷山、佐藤）

[成績評価方法]
授業内容の理解、ワークシート、レポート（50%）、授業への取組姿勢（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教職実践演習（幼・小）	後期	演習	2 単位
サブタイトル	実践力のある小学校教師を目指して			
担当者	佐藤　浩樹、金岩　俊明、穴田　恭輔、谷山　優子、堀江　祐爾、住本　純、黒田　昌克			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：授業への取組姿勢、ワークシート、レポート

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：授業への取組姿勢、ワークシート、レポート

学科DP番号／DP内容：教育3-5／教員という職業自体が社会的に特に高い人格・識見を求められる性質のものであることから、教員としての使命感を自覚し、その資質向上のためにたゆまず研鑽を積む態度と幼児・児童・生徒に対する教育的愛情をもつことができる。
成績評価方法：授業への取組姿勢、ワークシート、レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業への取組姿勢、ワークシート、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：授業への取組姿勢、ワークシート、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：授業への取組姿勢、ワークシート、レポート

[教科書（ISBN）]
適宜プリント等を配布

[参考書（ISBN）]
これまで教職、教科に関する科目で使用してきたテキスト

科目名	教職実践演習（幼・小）	後期	演習	2 単位
サブタイトル	実践力のある幼稚園教諭を目指して			
担当者	三宅　茂夫、大西　雅裕、隠岐　厚美、石田　裕子、平井　和恵、山成　昭世			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
保育実践力や幼児理解力、心構え等、教員としての職務に必要な資質・能力を整理して、自分にとって何が課題であるかを自覚する。そして、不足している知識や技能を補い、その定着を図り、教員生活を円滑にスタートできるようになる。

[授業概要]
保育の第一線で活躍する園長や教諭・指導主事等の講義やワークショップなどを通して、幼稚園現場の実情を学び、実務に当たっての心構えを学ぶ。また、保育計画の立案や模擬保育、事例研究などについて、グループ学習や討論を行い、実践力の育成を図る。また、これらの活動を通して、教員としての自己の課題を自覚するとともに、必要な知識・技能の定着を図る。
※幼稚園教諭免許状取得予定者は必修である。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
教職に向けての総仕上げであることを意識して、専門科目、学級経営、保育技術等、これまでの学修内容を復習しておく。講義前には、幼稚園現場での指導者としての立場を意識して、課題を持って講義に臨むようにすること。授業内容が講義の場合は予習・復習合わせて4時間程度　演習の場合は予習・復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. オリエンテーション（講義の趣旨及び計画）（三宅）
2. 教職の意義と教員の役割（講演）（外部講師・榎元）
3. 学校園経営と担任の役割1（幼稚園長による講義）（外部講師・榎元）
4. 学校園経営と担任の役割2（講義に基づくワークショップ）（三宅）
5. 学校園における安全管理／保育環境、事故例とその対応（三宅）
6. 幼児・児童理解の方法と対応／幼児理解の方法（講義とグループ討議）（三宅）
7. 学校園における特別支援教育の実際（講義、グループ討議）（平井）
8. 幼小連携の意味と実態、課題について（講義）（金岩）
9. 社会人としての基本の習得（講義とロールプレイ）（資格サポートセンター講師・榎元）
10. 保護者や地域との連携（講義とロールプレイ）（三宅）
11. 授業・保育の基礎技術／伴奏、弾き歌い（講義、実習）（小林田）
12. 自らの保育観の省察とさらなる構築に向けて（演習）（中村）
13. 教育改革とこれからの学校教育、幼児教育の展望（講義）（三宅）
14. 教職実践演習のまとめ、教職に向けての決意1（発表の準備）（三宅）
15. 教職実践演習のまとめ、教職に向けての決意2（発表）（三宅）

[成績評価方法]
課題（50%）、発表（50%）を総合して行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
その都度、指導を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教職実践演習（幼・小）	後期	演習	2 単位
サブタイトル	実践力のある幼稚園教諭を目指して			
担当者	三宅　茂夫、大西　雅裕、隠岐　厚美、石田　裕子、平井　和恵、山成　昭世			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：レポート課題、プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：レポート課題、プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：レポート課題、プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：レポート課題、プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：レポート課題、プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：レポート課題、プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：レポート課題、プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：レポート課題、プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育3-5／教員という職業自体が社会的に特に高い人格・識見を求められる性質のものであることから、教員としての使命感を自覚し、その資質向上のためにたゆまず研鑽を積む態度と幼児・児童・生徒に対する教育的愛情をもつことができる。
成績評価方法：レポート課題、プレゼンテーション

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題、プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：振り返りシート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート課題、プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：レポート課題、プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：レポート課題、プレゼンテーション

[教科書（ISBN）]
適宜プリント等を配布

[参考書（ISBN）]
これまで教職、教科に関する科目で使用してきたテキスト

科目名	教職論	前期	講義	2 単位
サブタイトル	学校教育の実情・課題・求められる教師像等を考える			
担当者	榎元　十三男			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
教師になるにあたっての心構えや対応力を会得し、将来の教師としてのあるべき姿を確立する。

[授業概要]
「教職とは何か」について、教職の意義、教員の使命・役割、職務内容（身分、服務、研修等）を、実際の教育事例に基づき概説し、その基礎的・基本的な理論を通して「理想の教師像」に繋げていく。また、目まぐるしく変化する現代社会において、学校現場にも益々複雑・多様化した課題が山積してきている。これらの課題にどう対応するかは、教師に課せられた課題でもある。このような課題解決のための必要な方策を考え、求められる資質や能力を探究し、将来の教職の基礎としたい。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
予告された次回の授業内容やそのキーワード等について各自が情報を収集し、可能な限り自分なりの課題意識を持って授業に臨めるようにしておく。

[授業計画]
1. 教職の意義1　－教職とは何か、その意義・原点について考える－
2. 教職の意義2　－求められる教師像とは何か、教師観・信頼される教師像を考える－
3・教師の仕事　－多忙感と充実感、教育愛と教職のやりがい－
4. 教師の使命・役割　－「教える」ことの意味、育て上げる覚悟－
5・学校教育の抱える課題－様々な今日的課題、不易と流行－
6. 教科指導と学力　－学習指導要領の変遷と理解、学力とは、評価とは－
7. 教員の身分・服務　－教育公務員として・様々な関係法規－
8. 教員の研修　－専門性と学び続けることの意味－
9. 教科外指導　－特別支援教育・防災・人権・キャリア・食育・進路指導等－
10.学校と家庭との連携　－共に居場所となるために、児童生徒理解は保護者理解－
11.「生きる力」を育む－子どもは親の宝、学校の太陽、国の未来－
12.学級経営　－子どもが喜ぶ楽級・競争から共創・豆腐と納豆、「教育は人なり」－
13.学校経営　－命を守る安全安心な学校づくり・チーム学校・GIGAスクール構想－
14.教職への道　－教育実習・介護等体験・採用試験・学校現場の実情－
15.教職論のまとめ

[成績評価方法]
試験（50%）、レポート・小テスト（30%）、受講態度（20%）
レポートは添削して返却する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
manabaを積極的に活用し、その都度コメント等でフィードバックを行う。
教職支援センター又は研究室にて個別指導も可

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教職論	前期	講義	2 単位
サブタイトル	学校教育の実情・課題・求められる教師像等を考える			
担当者	榎元　十三男			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：試験、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：試験、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：試験、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：試験、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-5／教員という職業自体が社会的に特に高い人格・識見を求められる性質のものであることから、教員としての使命感を自覚し、その資質向上のためにたゆまず研鑽を積む態度と幼児・児童・生徒に対する教育的愛情をもつことができる。
成績評価方法：試験、レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験、レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：試験、レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：試験、レポート課題

[教科書（ISBN）]
小学校学習指導要領(平成29年告示)解説　総則編　著者名：文部科学省　出版社：東洋館出版社　(9784491034614)

[参考書（ISBN）]
適時指示する。

S60100 [LH1-069]

科目名	教職論	前期	講義	2 単位
サブタイトル	学校教育の実情・課題・求められる教師像等を考える			
担当者	榎元　十三男			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
教師になるにあたっての心構えや対応力を会得し、将来の教師としてのあるべき姿を確立する。

[授業概要]
「教職とは何か」について、教職の意義、教員の使命・役割、職務内容（身分、服務、研修等）を、実際の教育事例に基づき概説し、その基礎的・基本的な理論を通して「理想の教師像」に繋げていく。また、目まぐるしく変化する現代社会において、学校現場にも益々複雑・多様化した課題が山積してきている。これらの課題にどう対応するかは、教師に課せられた課題でもある。このような課題解決のための必要な方策を考え、求められる資質や能力を探究し、将来の教職の基礎としたい。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
予告された次回の授業内容やそのキーワード等について各自が情報を収集し、可能な限り自分なりの課題意識を持って授業に臨めるようにしておく。

[授業計画]
1. 教職の意義1　－教職とは何か、その意義・原点を考える－
2. 教職の意義2　－求められる教師像とは何か、教師観・信頼される教師像を考える－
3・教師の仕事　－多忙感と充実感、教育愛と教職のやりがい－
4. 教師の使命・役割　－「教える」ことの意味、育て上げる覚悟－
5・学校教育の抱える課題－様々な今日的課題、不易と流行－
6. 教科指導と学力　－学習指導要領の変遷の理解、学力とは、評価とは－
7. 教員の身分・服務　－教育公務員として・様々な関係法規－
8. 教員の研修　－専門性と学び続けることの意味－
9. 教科外指導　－特別支援教育・防災・人権・キャリア・食育・進路指導等－
10.学校と家庭との連携　－共に居場所となるために、児童生徒理解は保護者理解－
11.「生きる力」 を育む－子どもは親の宝・学校の太陽・国の未来－
12.学級経営　－子どもが喜ぶ楽級・競争から共創・豆腐と納豆・「教育は人なり」－
13.学校経営　－命を守る安全安心な学校づくり・チーム学校・GIGAスクール構想－
14.教職への道－教育実習・介護等体験・採用試験・学校現場の実情－
15.教職論のまとめ

[成績評価方法]
試験（50%）、レポート・小テスト（30%）、受講態度（20%）
レポートは添削して返却する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
manabaを積極的に活用し、その都度コメント等でフィードバックを行う。
教職支援センター又は研究室にて個別指導も可

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	教職論	前期	講義	2 単位
サブタイトル	学校教育の実情・課題・求められる教師像等を考える			
担当者	榎元　十三男			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：試験、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：試験、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：試験、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：試験、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-5／教員という職業自体が社会的に特に高い人格・識見を求められる性質のものであることから、教員としての使命感を自覚し、その資質向上のためにたゆまず研鑽を積む態度と幼児・児童・生徒に対する教育的愛情をもつことができる。
成績評価方法：試験、レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験、レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：試験、レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：試験、レポート課題

[教科書（ISBN）]
小学校学習指導要領(平成29年告示)解説　総則編　著者名：文部科学省　出版社：東洋館出版社　(9784491034614)

[参考書（ISBN）]
適時指示する。

科目名	国語科概説（書写を含む。）	後期	講義	2 単位
サブタイトル	小学校国語科授業づくりの基礎を身につけよう			
担当者	堀江　祐爾			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
小学校国語教科書教材を用いて、国語科授業づくりの基礎を身につけることをめざしている。授業実践ビデオから学びながら、それぞれが教材にふさわしい言語活動を考え、工夫する力を身につけて欲しい。

[授業概要]
学習指導要領が求める小学校国語科授業のポイントをしっかりと押さえる。そして、小学校国語教材の教材研究をもとに、適切な学習のめあてや言語活動を設定するという授業づくりの基本を身につける。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
毎回の授業内容を復習して理解を確かなものにするとともに、教材をよく読み込んでどのような授業づくりをおこなうか、考えておくこと。各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
1. オリエンテーション 「国語科に関する調査」（これまで言葉をどのように学んできたか）
2. 入門期の指導
3. 二つの言葉
4. 入門期の学習指導―1年生のノートを例に―
5. 文学教材の学習指導
6. 説明文教材の学習指導
7. 書くことの学習指導
8. 教材研究の方法1
9. 教材研究の方法2
10.ワークシートを用いた学習指導―6年生の教材を例に―
11. 学習指導要領のポイント　学習指導案の書き方
12. 筆順―書写の基本―
13.「漢字の成り立ち」―書写の基礎―
14. 書写の指導―小学校低学年の書道授業」から学んだこと―
15. どんな「言葉の力」を身につけたか　授業の振り返り
※授業の展開の都合により順序や内容が変わることがある。

[成績評価方法]
授業中の課題（50%）レポート（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題・レポートについては印刷配布、またはmanabaやインターネットなどを通してフィードバックする。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	国語科概説（書写を含む。）	後期	講義	2 単位
サブタイトル	小学校国語科授業づくりの基礎を身につけよう			
担当者	堀江　祐爾			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：レポート課題

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
小学校学習指導要領解説国語編　著者名：文部科学省　出版社：東洋館出版社 （978-4491034621）

S61140

科目名	国語科概説（書写を含む。）	前期	講義	2 単位
サブタイトル	小学校国語科授業づくりの基礎を身につけよう			
担当者	堀江　祐爾			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
小学校国語教科書教材を用いて、国語科授業づくりの基礎を身につけることをめざしている。授業実践ビデオから学びながら、それぞれが教材にふさわしい言語活動を考え、工夫する力を身につけて欲しい。

[授業概要]
学習指導要領が求める小学校国語科授業のポイントをしっかりと押さえる。そして、小学校国語教材の教材研究をもとに、適切な学習のめあてや言語活動を設定するという授業づくりの基本を身につける。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
毎回の授業内容を復習して理解を確かなものにするとともに、教材をよく読み込んでどのような授業づくりをおこなうか、考えておくこと。各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
1. オリエンテーション 「国語科に関する調査」（これまで言葉をどのように学んできたか）
2. 入門期の指導
3. 二つの言葉
4. 入門期の学習指導―1年生のノートを例に―
5. 文学教材の学習指導―2年生のノートを例に―
6. 説明文教材の学習指導―2年生の教材を例に―
7. 書くことの学習指導―3年生の教材を例に―
8. 教材研究の方法1
9. 教材研究の方法2
10.ワークシートを用いた学習指導―6年生の教材を例に―
11. 学習指導要領のポイント　学習指導案の書き方
12. 筆順―書写の基本―
13.「漢字の成り立ち」―書写の基礎―
14. 書写の指導―小学校低学年の書道授業」から学んだこと―
15. どんな「言葉の力」を身につけたか　授業の振り返り
※授業の展開の都合により順序が変わることがある。

[成績評価方法]
授業中の課題（50%）レポート（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中の課題については授業の中でフィードバックする。レポートについては研究室に取りに来れば返却可能。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	国語科概説（書写を含む。）	前期	講義	2 単位
サブタイトル	小学校国語科授業づくりの基礎を身につけよう			
担当者	堀江　祐爾			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：レポート課題

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
小学校学習指導要領解説国語編　著者名：文部科学省　出版社：東洋館出版社 （978-4491034621）

S61141

科目名	国語科教育法	後期	講義	2 単位
サブタイトル	言葉の力をつける国語科授業づくり			
担当者	堀江　祐爾			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
小学校国語教材を用いて、国語科授業づくりの基礎を身につけることをめざしている。特に共通教材である「ごんぎね」と説明文教材についてじっくりと取り組む。多様な言語活動を展開した模擬授業をおこない授業実践力を身につける。

[授業概要]
授業実践ビデオを放映し、すぐれた教師の指導法を学ぶ。それをもとに、小学校国語教科書の教材研究をおこない、学習のめあてや言語活動を設定する授業づくりの基本を押さえる。さらに、学習指導案（板書計画、評価方法などを含む）を作成し、模擬授業をおこないながら授業実践力を身につける。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
毎回の授業内容を復習して理解を確かなものにするとともに、国語科教科書をよく読み込んでどのような授業づくりをおこなうかについて、考えておくこと。各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
1. オリエンテーション　学習指導案の書き方　興味・関心調査
2. 物語教材「ごんぎつね」の教材分析その1
3. 物語教材「ごんぎつね」の教材分析その2
4. 物語教材「ごんぎつね」の教材分析その3
5. 物語教材「ごんぎつね」の教材分析その4
6. 物語教材「ごんぎつね」の模擬授業①
7. 物語教材「ごんぎつね」の模擬授業②
8. 物語教材「ごんぎつね」の模擬授業③
9. 物語教材「ごんぎつね」の模擬授業④
10. 物語教材「ごんぎつね」の模擬授業⑤
11. 物語教材「ごんぎつね」の模擬授業⑥
12. 説明文教材の教材分析
13. 説明文教材の模擬授業①
14. 説明文教材の模擬授業②
15. 身につけた力の振り返り
※授業の展開の都合により順序や内容が変わることがある。

[成績評価方法]
授業中の課題（50%）レポート（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題・レポートについては印刷配布、またはmanabaやインターネットなどを通してフィードバックする。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S61010 [LH2-092]

科目名	国語科教育法	後期	講義	2 単位
サブタイトル	言葉の力をつける国語科授業づくり			
担当者	堀江　祐爾			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：レポート課題

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
小学校学習指導要領解説国語編　　著者名：文部科学省　出版社：東洋館出版社　（978-4491034621）

科目名	国語科教材研究	後期		2 単位
サブタイトル				
担当者	堀江　祐爾			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
小学校国語教材の教材研究を叙述に基づいておこなう力をつけるとともに、適切な学習のめあてや言語活動を設定するという授業づくりの基本を身につける。

[授業概要]
学習指導要領が求める小学校国語科授業のポイントをしっかりと押さえる。そして、小学校国語教材の教材研究をもとに、適切な学習のめあてや言語活動を設定するという授業づくりの基本を身につける。特に教材研究の力を身につけることをめざす。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
毎回の授業内容を復習して教材研究についての理解を確かなものにするとともに、教材をよく読み込んでどのような授業づくりをおこなうか考えておくこと。各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
1. オリエンテーション 「国語科教材に関する調査」 小テスト
2. 国語科教材研究の基本　小テスト
3. 低学年の教材の研究：文学教材　小テスト
4. 低学年の教材の研究：文学教材　小テスト
5. 低学年の教材の研究：説明文教材　小テスト
6. 低学年の教材の研究：知識教材　小テスト
7. 中学年の教材の研究：文学教材　小テスト
8. 中学年の教材の研究：文学教材　小テスト
9. 中学年の教材の研究：説明文教材　小テスト
10. 中学年の教材の研究：知識教材　小テスト
11. 高中学年の教材の研究：文学教材　小テスト
12. 高学年の教材の研究：文学教材　小テスト
13. 高学年の教材の研究：説明文教材　小テスト
14. 高学年の教材の研究：知識教材　小テスト
15. 国語科教材研究の方法のまとめ　授業の振り返り
※授業の展開の都合により順序や内容が変わることがある。

[成績評価方法]
授業中の課題（50%）レポート（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題・レポートについては印刷配布、またはmanabaやインターネットなどを通してフィードバックする。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	国語科教材研究	後期		2 単位
サブタイトル				
担当者	堀江　祐爾			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力　／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力　／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力　／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：レポート課題

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
なし

科目名	子育て支援	後期		2 単位
サブタイトル				
担当者	大西　雅裕			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
1. 保護者に対する相談、助言、情報提供等について、その特性と展開を具体的に理解する。
2. 様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を、実践事例等を通して具体的に理解する。

[授業概要]
子育て支援の援助活動は、知識はもちろんのこと、援助者である保育士にとって必要となる姿勢、態度を習得することが大切である。本授業では、講義とワーク、事例研究等を取り入れた演習方式を組み合わせて、保育士にとって必要な技術、技能を習得することを目指す。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
日頃より、子どもたちの生活について興味を持ち、新聞、テレビ等のマスメディアを活用すること。授業で行ったことについて、必ず復習をするように。

[授業計画]
1. ガイダンズ　子育て支援と子育ち支援
2. 子育て支援の概念
3. 子育て支援の歴史的経過①
4. 子育て支援の歴史的経過②
5. 子育て支援と相談援助、ソーシャルワーク
6. 子育て支援の方法としての相談援助
7. 子育て支援の方法　ソーシャルワーク実践の基礎
8. 子育て支援の方法と展開①
9. 子育て支援の方法と展開②
10. 子育て支援の実際①
11. 子育て支援の実際②
12. 子育て支援の実際③
13. 子育て支援の実際④
14. 子育て支援の実際⑤
15. まとめ

[成績評価方法]
授業中の課題（20%）レポート試験（80%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中での課題について後日添削して返却します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	子育て支援	後期		2 単位
サブタイトル				
担当者	大西　雅裕			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：レポート試験、授業中の課題

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：レポート試験、授業中の課題

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：レポート試験、授業中の課題

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：レポート試験、授業中の課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題、小テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題、小テスト等

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：レポート課題、小テスト等

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画的実行力／
成績評価方法：

[教科書（ISBN）]
「子育て支援セミナー」 著者名：大西　雅裕　編著　出版社：建帛社 （9784767951065）

[参考書（ISBN）]
相談援助セミナー　著者名：赤木正典、大西雅裕編著　出版社：建帛社 （9784767933009）

S64570

科目名	子育て支援	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	大西　雅裕			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
保育相談支援の意義と原則について理解を深める。
保育相談支援の実際について学び、その方法等について理解する
保護者支援の基本について理解する

[授業概要]
本授業は、保護者が支援を求めている子育ての問題や課題に対して、保護者の気持ちを受け止めつつ、保育者が行う保育相談支援についての概要について理解する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
予習・復習をしっかり行い、事例を通して見えてくる、子どもを取り巻く環境について理解できるようにしてください。

[授業計画]
1. イントロダクション
2. 子どもを取り巻く環境および家族（保護者）のおかれている状況
3. 保育相談支援の基本とその意義
4. 保育ソーシャルワーク
5. 事例検討とその方法①
6. 事例検討とその方法②
7. 具体的相談内容の検討①
8. 具体的相談内容の検討②
9. 具体的相談内容の検討③
10. 具体的相談内容の検討④
11. 具体的相談内容の検討⑤
12. 具体的相談内容の検討⑥
13. 具体的相談内容の検討⑦
14. 具体的相談内容の検討⑧
15. 地域連携の現状と事例検討／まとめ

[成績評価方法]
レポート等（85%）による評価を行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S64571

科目名	子育て支援	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	大西　雅裕			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：レポート課題、発表を含む積極的授業態度

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：レポート課題、発表を含む積極的授業態度

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：レポート課題、発表を含む積極的授業態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題、発表を含む積極的授業態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題、発表を含む積極的授業態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：レポート課題、発表を含む積極的授業態度

[教科書（ISBN）]
保育者のための　子育て支援セミナー　著者名：大西雅裕 編著　出版社：建帛社 （978-4-7679-5106-5）

[参考書（ISBN）]
「相談援助セミナー」
適宜紹介する。 著者名：赤木　正典、大西雅裕編著　出版社：建帛社 （978-4-7679-3300-9 ）

S64571

科目名	子ども家庭支援の心理学	後期	講義	2 単位
サブタイトル	子どもと家庭支援の心理学的理解			
担当者	前田　研史			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
保育士として子どもと家庭を支援していくための心理学的視点を身につける

[授業概要]
本講では、まず子どもと家庭をとりまく現代社会の状況と課題について検討する。そして、人の生涯にとっての乳幼児期の重要性と、その後の発達過程の諸段階での特徴や移行と発達課題を明らかにする。また、家族関係や家庭の機能と意義についての心理学的理解を深める。さらに、親子関係や家族関係について発達的に理解し、子どもとその家族を包括的に捉える視点を習得する。また、虐待を受けた子どもの被る影響や虐待をする親の心理的メカニズムの理解と支援のあり方、障がいのある子どもなど特別な配慮を必要とする子どもとその家庭への支援のあり方などについて理解する。子どもの精神保健とその課題についてもとりあげ検討する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
日頃から、新聞やテレビなど報道される家族に関する諸問題に関心をもつように努める。そのうえで、毎回の授業で取り上げたテーマと関連づけて考えてみる。

[授業計画]
1. 子育てを取り巻く社会的状況
2. ライフコースと仕事・子育て
3. 乳幼児期から学童期前期までの発達
4. 学童期後期から青年期までの発達
5. 成人期・老年期までの発達
6. 家族・家庭の意義と機能
7. 親子関係・家族関係の理解
8. 子育ての経験と親としての育ち
9. 子どものこころの健康に関わる問題1
10. 子どものこころの健康に関わる問題2
11. 子どもの生活・生育環境とその影響1
12. 子どもの生活・生育環境とその影響2
13. 多様な家庭とその課題
14. 特別な配慮を要する家庭
15. まとめ

[成績評価方法]
レポートによる

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	子ども家庭支援の心理学	後期	講義	2 単位
サブタイトル	子どもと家庭支援の心理学的理解			
担当者	前田　研史			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：レポートによる

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：レポートによる

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：レポートによる

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：レポートによる

[教科書（ISBN）]
指定しない

[参考書（ISBN）]
授業時に資料を配布する。

S62300

科目名	子ども家庭福祉	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	大西　雅裕			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
子ども家庭福祉の現状を概観する中で、その定義や本質、理念、制度施策及び実践活動の現状について学び、子どもの置かれている状況の把握し、理解することを目標とする。

[授業概要]
　子ども家庭福祉の概念、歴史的展開、児童の置かれている現代的社会状況について概説する中で、保育と子ども家庭福祉との関係や、制度、実践活動体系について学ぶ。そして学生自身が保育士としてより主体的、積極的な実践活動の展開ができるように、より具体的に学ぶ。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
日常的に子どもについて、また子どもを取り巻く環境等についての情報をインターネット、新聞、雑誌等から収集に努めること。

[授業計画]
【全て遠隔授業】
1. ガイダンス
2. 少子高齢化社会と子ども家庭福祉問題
3. 子ども家庭福祉の基本的考え方
4. 子どもという存在と子ども家庭福祉
5. 歴史的展開について
6. 子ども家庭福祉の制度体系
7. 子ども家庭福祉施設（児童福祉施設）
8. 援助の基本と子ども家庭福祉
8. 母子保健と健全育成
9. 地域での子育て支援
10. 拠点型保育・教育の現状
11. 虐待を受けている子どもと子ども家庭福祉
12. 心理的支援の必要な子どもと非行問題
13. 子どもの貧困とひとり親家庭と子ども家庭福祉
14. 障がいのある子どもと子ども家庭福祉
15. まとめ

[成績評価方法]
定期試験及びレポート課題によって評価を行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	子ども家庭福祉	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	大西　雅裕			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：レポート課題、試験

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：レポート課題、試験

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：レポート課題、試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：試験、レポート課題

[教科書（ISBN）]
シリーズ・福祉を知る3　子ども家庭福祉論
（第2版）　著者名：山縣文治著　出版社：ミネルヴァ書房（9784623083459）

[参考書（ISBN）]
適宜紹介する

S62190

科目名	子どもの食と栄養	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	西山　貴子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
・基礎的な栄養学の知識を身につけることができる。
・幼児期における食育の重要性を理解し、実践することができる。
・幼児食育の担い手として、自らも望ましい食生活が実践できる。

[授業概要]
小児期の栄養、食生活は生涯にわたる健康と生活の基礎を築くものである。したがって基本的な栄養学ならびに食生活の正しい知識を習得する。また、小児を取り巻く近年の食生活上の問題点や発達、健康状態への影響などを幅広く学ぶことにより、保育の実際に即応できる応用力を養う。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
授業前に指示のあった教科書の関連部分を一度読んでおくこと。日ごろから自身の食生活だけでなく、家族や周りの人の食と健康に興味関心をもっておくこと。

[授業計画]
【全て遠隔授業】
1. 幼児の食と食育の重要性
2. 子どもの発育発達と食生活の関連について
3. 基礎栄養学　糖質
4. 基礎栄養学　タンパク質
5. 基礎栄養学　脂質
6. 基礎栄養学　ビタミン・食物繊維
7. 基礎栄養学　ミネラル
8. 食べる機能の発達　離乳の開始とすすめ方
9. 食べる機能の発達　離乳食から幼児食へのすすめ方
10. バランスの良い食事を知る　食事バランスガイドについて
11. 学校給食および児童福祉施設における食事について
12. 子どもの疾病と食生活（妊娠期から～幼児期）
13. 子どもの疾病と食生活（学童期から思春期）
14. 食育の実践について
15. まとめ

[成績評価方法]
授業内課題（20%）・試験（80%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S62400 [LH3-165]

科目名	子どもの食と栄養	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	西山　貴子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：試験、授業内課題

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：試験、授業内課題

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：試験、授業内課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

[教科書（ISBN）]
子どもの食と栄養　著者名：坂本裕子　出版社：青鞜社 （902636-65-9）

[参考書（ISBN）]
食育白書　著者名：農林水産省編　出版社：日経印刷株式会社 （978-4-86579-089-4
）
子どもの食と栄養　著者名：太田百合子、堤ちはる編著　出版社：羊土社 （978-4-7581-0907-9）

S62400 [LH3-165]

科目名	子どもの食と栄養	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	西山　貴子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
・基礎的な栄養学の知識を身につけることができる。
・幼児期における食育の重要性を理解し、実践することができる。
・幼児食育の担い手として、自らも望ましい食生活が実践できる。

[授業概要]
小児期の栄養、食生活は生涯にわたる健康と生活の基礎を築くものである。したがって基本的な栄養学ならびに食生活の正しい知識を習得する。また、小児を取り巻く近年の食生活上の問題点や発達、健康状態への影響などを幅広く学ぶことにより、保育の実際に即応できる応用力を養う。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
授業前に指示のあった教科書の関連部分を一度読んでおくこと。日ごろから自身の食生活だけでなく、家族や周りの人の食と健康に興味関心をもっておくこと。

[授業計画]
【全て遠隔授業】
1. 幼児の食と食育の重要性
2. 子どもの発育発達と食生活の関連について
3. 基礎栄養学　糖質
4. 基礎栄養学　タンパク質
5. 基礎栄養学　脂質
6. 基礎栄養学　ビタミン・食物繊維
7. 基礎栄養学　ミネラル
8. 食べる機能の発達　離乳の開始とすすめ方
9. 食べる機能の発達　離乳食から幼児食へのすすめ方
10. バランスの良い食事を知る　食事バランスガイドについて
11. 学校給食および児童福祉施設における食事について
12. 子どもの疾病と食生活（妊娠期から～幼児期）
13. 子どもの疾病と食生活（学童期から思春期）
14. 食育の実践について
15. まとめ

[成績評価方法]
授業内課題（20%）・試験（80%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S62401 [LH3-165]

科目名	子どもの食と栄養	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	西山　貴子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：試験、授業内課題

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：試験、授業内課題

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：試験、授業内課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

[教科書（ISBN）]
子どもの食と栄養　著者名：坂本裕子　出版社：青鞜社 （902636-65-9）

[参考書（ISBN）]
食育白書　著者名：農林水産省編　出版社：日経印刷株式会社 （978-4-86579-089-4
）
子どもの食と栄養　著者名：太田百合子、堤ちはる編著　出版社：羊土社 （978-4-7581-0907-9）

S62401 [LH3-165]

科目名	子どもの保健Ⅰ	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	森田　婦美子			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
1. 保育者がいのちを育む意味について理解できる。
2. 環境が与える母子への影響がわかる。
3. 子どもの健康について考える事ができる。
4. 各期の子どもの発育・発達について理解できる。
5. 子どもを取り巻く安全管理が理解できる。
6. これからの保育士の活動の広がりがわかる。

[授業概要]
健康な子どもは健康な母体から生まれる。胎児期からの健康について考える事ができる保育士の育成を目指す。また、小児の健全な発育を支援することができる知識を持つことが出来るよう小児保健の重要性と保育士の役割を学ぶことを目的としている。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
自分たちを取り巻く環境に常に関心を持ち、自らの健康に取り組むこと。
授業終了後は各回で配布されたワークシートを完成させること。2時間程度

[授業計画]
【対面授業・遠隔授業】
1. 子どもの保健を学ぶ意義-いのちの誕生
2. 妊娠の成立・胎児の発育・胎児期の異常
3. 健康の概念と健康指導
4. 人間形成にかかわる環境因子
5. 現代社会における子どもの健康に関する現状と課題-児童虐待と防止
6. 乳幼児期・ 学童期・思春期・青年期各期の特徴
7. 子どもの身体発育と生理機能の発達①成長と発達
8. 子どもの身体発育と生理機能の発達②身体発育と保健
9. 子どもの身体発育と生理機能の発達③生理機能の発達と保健
10. 子どもの身体発育と生理機能の発達④運動機能の発達
11. 生活リズムの確立と睡眠覚醒リズム
12. 子どもの食と栄養
13. 子どもの健康観察
14. 子どもの健康観察　発育の評価方法
15. まとめ　学びの評価

[成績評価方法]
授業まとめで実施する科目終講試験100%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
試験後、解答の解説を行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	子どもの保健Ⅰ	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	森田　婦美子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：終講試験100%

[教科書（ISBN）]
保育者のためのわかりやすい子どもの保健　著者名：飯島一誠　編者：稲垣由子　出版社：日本小児医事出版社 （ISBN 9784889242645）

[参考書（ISBN）]
なし

S62350 [LH2-122]

科目名	子どもの保健Ⅱ	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	内　正子			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
1　子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解する。
2　子どもの身体発育や生理機能及び運動機能並びに精神機能の発達と保健について理解する。
3　子どもの疾病とその予防法及び適切な対応について理解する。
4　子どもの精神保健とその課題等について理解する。
5　保育における環境及び衛生管理並びに安全管理について理解する。
6　施設等における子どもの心身の健康及び安全の実施体制について理解する。

[授業概要]
　子どもの心身の健康状態の観察や不調等の早期発見などを理解し、健康状態の把握の方法について学ぶ。また、子どもに多く見られる疾病の特徴を理解し、予防方法および他職種間の連携・協働の下で適切な対応について学ぶ。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
　子どもの保健Ⅰの講義内容を理解した上で受講すること。
各回の授業についての予習・復習2時間程度。

[授業計画]
1　子どもの疾病の予防と適切な対応①　こどもの病気の特徴
2　子どもの疾病の予防と適切な対応②　感染症
3　子どもの疾病の予防と適切な対応③　アレルギー
4　子どもの疾病の予防と適切な対応④　その他の病気1
5　子どもの疾病の予防と適切な対応⑤　その他の病気2
6　子どもの疾病の予防と適切な対応⑥　予防接種
7　症状・けがへの対応①　健康観察、主な症状と対応
8　症状・けがへの対応②　子どもの事故とけがへの対応
9　症状・けがへの対応③　救急蘇生法
10　子どもの環境と保健①　環境整備.・衛生管理
11　子どもの環境と保健②　安全管理①
12　子どもの環境と保健③　安全管理②
13　子どもの発達障害と精神保健
14　母子保健対策と保育
15　まとめと確認

[成績評価方法]
試験（60%）、レポート（30%）、授業への取り組み(10%)

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
試験およびレポートの解説を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	子どもの保健Ⅱ	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	内　正子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：試験、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：試験、レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：試験、レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験、レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：試験、レポート課題

[教科書（ISBN）]
これならわかる！子どもの保健演習ノート　改訂第3版追補　著者名：榊原洋一・小林美由紀　出版社：診断と治療社　（9784787824073）

[参考書（ISBN）]
なし

S62360

科目名	子どもの保健Ⅱ	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	内　正子			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
1　子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解する。
2　子どもの身体発育や生理機能及び運動機能並びに精神機能の発達と保健について理解する。
3　子どもの疾病とその予防法及び適切な対応について理解する。
4　子どもの精神保健とその課題等について理解する。
5　保育における環境及び衛生管理並びに安全管理について理解する。
6　施設等における子どもの心身の健康及び安全の実施体制について理解する。

[授業概要]
　子どもの心身の健康状態の観察や不調等の早期発見などを理解し、健康状態の把握の方法について学ぶ。また、子どもに多く見られる疾病の特徴を理解し、予防方法および他職種間の連携・協働の下で適切な対応について学ぶ。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
　子どもの保健Ⅰの講義内容を理解した上で受講すること。
各回の授業についての予習・復習2時間程度。

[授業計画]
1　子どもの疾病の予防と適切な対応①　こどもの病気の特徴
2　子どもの疾病の予防と適切な対応②　感染症
3　子どもの疾病の予防と適切な対応③　アレルギー
4　子どもの疾病の予防と適切な対応④　その他の病気1
5　子どもの疾病の予防と適切な対応⑤　その他の病気2
6　子どもの疾病の予防と適切な対応⑥　予防接種
7　症状・けがへの対応①　健康観察、主な症状と対応
8　症状・けがへの対応②　子どもの事故とけがへの対応
9　症状・けがへの対応③　救急蘇生法
10　子どもの環境と保健①　環境整備.・衛生管理
11　子どもの環境と保健②　安全管理①
12　子どもの環境と保健③　安全管理②
13　子どもの発達障害と精神保健
14　母子保健対策と保育
15　まとめと確認

[成績評価方法]
試験（60%）、レポート（30%）、授業への取り組み(10%)

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
試験およびレポートの解説を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	子どもの保健Ⅱ	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	内　正子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：試験、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：試験、レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：試験、レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験、レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：試験、レポート課題

[教科書（ISBN）]
これならわかる！子どもの保健演習ノート　改訂第3版追補　著者名：榊原洋一・小林美由紀　出版社：診断と治療社　（9784787824073）

[参考書（ISBN）]
なし

S62361

科目名	子どもの保健Ⅲ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	子どもの健康と安全			
担当者	森田　婦美子			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
1.健康観察に必要な技術を習得し、成長の評価と異常の発見ができる。
2.子どもの健康管理に必要な基礎的な保健の技術が習得できる。
3.健康面の緊急時対応のための技術が習得できる。
4.災害発生時の緊急対応のための技術が習得できる。

[授業概要]
乳幼児の健康と発育を保障するために保育者は医学・保健学の知識に基づいた専門的な根拠のある技術に基づいた養育が必要であり、保育の実践のために、その技術の習得は不可欠である。小児保健学で学ぶ知識を基礎として、知識と技術が統合できることを目的に、養育技術と環境の整備、小児期におこりがちな傷病の予防と手当ての方法を習得する。また、近年多発する様々な災害に対しての危機管理の能力を培う。
教科書は2年次購入教科書を使用

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
望ましい発育・発達とは，健全に育成するとは，日頃から授業に関連するニュース等に関心を持つこと。

[授業計画]
【対面授業・遠隔授業】
1.　子どもの健康と安全の演習授業の意義（子どもの保健の復習）
2.　安全教育における子どもの特性
3.　安全教育の実際
4.　体調不良などのへの対応
5.　感染予防対策
6.　子どもへの与薬
7.　応急処置、創傷の手当
8.　心肺蘇生
9.　健康だより作成①－感染症対策
10.　健康だより作成②－日常生活指導
11.　保育環境①－室内の環境・衛生管理の実際と方法
12.　保育環境②－室外の環境・衛生管理の実際と方法
13.　子どもの慢性疾患の理解と日常の対応
14. 子どもの慢性疾患の理解と緊急時の対応
15. 子どもの健康と安全　授業の振り返りとまとめ　学びの評価

[成績評価方法]
演習内容10%、終講試験90%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
試験後、解答の解説を行う。
演習で作成された提出物の評価の解説を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	子どもの保健Ⅲ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	子どもの健康と安全			
担当者	森田　婦美子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：終講試験90%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：提出物10%

[教科書（ISBN）]
子どもの健康と安全
新・基本保育シリーズ 11

購入済

著者名：松田博雄、金森三枝　出版社：中央法規出版 （ISBN 9784805857915）

[参考書（ISBN）]
なし

S62380 [LH3-164]

科目名	子どもの保健Ⅲ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	子どもの健康と安全			
担当者	森田　婦美子			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
1. 健康観察に必要な技術を習得し、成長の評価と異常の発見ができる。
2. 子どもの健康管理に必要な基礎的な保健の技術が習得できる。
3. 健康面の緊急時対応のための技術が習得できる。
4. 災害発生時の緊急対応のための技術が習得できる。

[授業概要]
乳幼児の健康と発育を保障するために保育者は医学・保健学の知識に基づいた専門的な根拠のある技術に基づいた養育が必要であり、保育の実践のために、その技術の習得は不可欠である。小児保健学で学ぶ知識を基礎として、知識と技術が統合できることを目的に、養育技術と環境の整備、小児期におこりがちな傷病の予防と手当ての方法を習得する。また、近年多発する様々な災害に対しての危機管理の能力を培う。
教科書は2年次購入教科書を使用

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
望ましい発育・発達とは，健全に育成するとは，日頃から授業に関連するニュース等に関心を持つこと。

[授業計画]
【対面授業・遠隔授業】
1.　子どもの健康と安全の演習授業の意義（子どもの保健の復習）
2.　安全教育における子どもの特性
3.　安全教育の実際
4.　体調不良などのへの対応
5.　感染予防対策
6.　子どもへの与薬
7.　応急処置、創傷の手当
8.　心肺蘇生
9.　健康だより作成①－感染症対策
10.　健康だより作成②－日常生活指導
11.　保育環境①－室内の環境・衛生管理の実際と方法
12.　保育環境②－室外の環境・衛生管理の実際と方法
13.　子どもの慢性疾患の理解と日常の対応
14. 子どもの慢性疾患の理解と緊急時の対応
15. 子どもの健康と安全　授業の振り返りとまとめ　学びの評価

[成績評価方法]
演習内容10%、終講試験90%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
試験後、解答の解説を行う。
演習で作成された提出物の評価の解説を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	子どもの保健Ⅲ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	子どもの健康と安全			
担当者	森田　婦美子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：終講試験90%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：提出物10%

[教科書（ISBN）]
子どもの健康と安全
新・基本保育シリーズ11　著者名：松田博雄、金森三枝　出版社：中央法規出版（ISBNコード：9784805857915）

[参考書（ISBN）]
なし

S62381 [LH3-164]

科目名	子どもの理解と援助	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	隠岐　厚美			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
①保育場面における乳幼児の心身の発達を実践的に理解する。
②乳幼児の体験や学びの過程をふまて保育士の基本的援助や態度について理解する
③子どもを理解するための具体的な方法を学ぶ

[授業概要]
乳幼児にとっては、遊びを中心とするに日常生活が学びの場であり、他者との相互的かかわりを通して様々な心的機能を確立する。この点を重視し、本授業では社会性の発達を中心に乳幼児期の心身の発達を促す保育士の援助や態度について演習形式で学ぶ

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
①授業内で紹介する参考資料を熟読してください
②各自の保育観を育めるよう、授業内容をしっかり復習してください
なお、各回予習・復習あわせて2時間程度の自主学習が必要です

[授業計画]
1.保育におけるこども理解の意義
2.乳幼児期の学びについて
3. 子どもに対する共感的理解と保育者のかかわり
4.子どもの生活と遊び　①遊びと主体性
5.子どもの生活と遊び　②遊びの中の他者とのかかわりー自己理解と他者理解ー
6.子どもの生活と遊び　③遊びの中で獲得される社会スキルー自己抑制と自己主張ー
7.子どもの生活と遊び　④基本的生活習慣の獲得と社会スキル
8.子どもの生活と遊び　⑤遊びを中心とする日常生活で育まれる「わたし」の基盤
9.子どもの生活と遊び　⑥保育環境の理解と発達に応じた環境
10.子どもの発達理解の方法
11.保育の中で出会う臨床的問題と発達支援
12.乳幼児期の学びを支える保育　　①養護と保育が一体的に展開する保育
13.乳幼児期の学びを支える保育　　②保護者への支援
14..乳幼児期の学びを支える保育　　③発達の連続性と就学へ向けた支援
15.まとめ

[成績評価方法]
レポート課題（70%）、グループ発表（20%）、その他の提出物（10%）を総合的に評価する。
発表後、及び提出物の返却時に口頭でフィードバックを行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S62310

科目名	子どもの理解と援助	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	隠岐　厚美			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：レポート課題グループ発表

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：レポート課題グループ発表

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題グループ発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：グループ発表レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：グループ発表レポート課題

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
平成29年告示　幼児園教育要領　保育所保育指針　幼穂連携型認定こども園教育・保育要領 〈原本〉 出版社：チャイルド社 （978-4-8054-0258-0）

S62310

科目名	子どもの理解と援助	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	隠岐　厚美			

[実務経験のある教員による授業]
〇

[到達目標]
①保育場面における乳幼児の心身の発達を実践的に理解する。
②乳幼児の体験や学びの過程をふまて保育士の基本的援助や態度について理解する
③子どもを理解するための具体的な方法を学ぶ

[授業概要]
乳幼児にとっては、遊びを中心とするに日常生活が学びの場であり、他者との相互的かかわりを通して様々な心的機能を確立する。この点を重視し、本授業では社会性の発達を中心に乳幼児期の心身の発達を促す保育士の援助や態度について演習形式で学ぶ

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
①授業内で紹介する参考資料を熟読してください
②各自の保育観を育めるよう、授業内容をしっかり復習してください
なお、各回予習・復習あわせて2時間程度の自主学習が必要です

[授業計画]
1.保育におけるこども理解の意義
2.乳幼児期の学びについて
3. 子どもに対する共感的理解と保育者のかかわり
4.子どもの生活と遊び　①遊びと主体性
5.子どもの生活と遊び　②遊びの中の他者とのかかわりー自己理解と他者理解ー
6.子どもの生活と遊び　③遊びの中で獲得される社会スキルー自己抑制と自己主張ー
7.子どもの生活と遊び　④基本的生活習慣の獲得と社会スキル
8.子どもの生活と遊び　⑤遊びを中心とする日常生活で育まれる「わたし」の基盤
9.子どもの生活と遊び　⑥保育環境の理解と発達に応じた環境
10.子どもの発達理解の方法
11.保育の中で出会う臨床的問題と発達支援
12.乳幼児期の学びを支える保育　　①養護と保育が一体的に展開する保育
13.乳幼児期の学びを支える保育　　②保護者への支援
14..乳幼児期の学びを支える保育　　③発達の連続性と就学へ向けた支援
15.まとめ

[成績評価方法]
レポート課題（70%）、グループ発表（20%）、その他の提出物（10%）を総合的に評価する。
発表後、及び提出物の返却時に口頭でフィードバックを行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S62311

科目名	子どもの理解と援助	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	隠岐　厚美			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：レポート課題グループ発表

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：レポート課題グループ発表

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題グループ発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：グループ発表レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：グループ発表レポート課題

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
平成29年告示　幼児園教育要領　保育所保育指針　幼穂連携型認定こども園教育・保育要領 〈原本〉 出版社：チャイルド社 （978-4-8054-0258-0）

科目名	子どもの理解と発達Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	石田　裕子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
乳幼児期の子どもの発達や子育て支援についての知識や技能について学び、それらを保育や子育て支援の実際において活かすことのできる資質へと高めることを目指す

[授業概要]
本学では地域への子育て支援における社会貢献や実践力のある保育者養成を目指している。 子どもの発達理解や保育技術の修得、保育観や教育観、発達観等の構築、保育の計画や環境構成などの保育構成に関する知識や技術の修得を行う。また、保育者の資質として求められるようになった子育て支援に関する知識や技能の修得、子どもや保護者等へのコミュニケーション能力の獲得などについて、さまざまな角度や方法で学ぶ。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
子どもの発達理解や子育て支援など関連科目の知識や学びについて、整理しておく。
テーマごとに、予習、復習をすること。グループでの準備作業等もある。各回3時間程度の予習、準備、復習が必要となる。

[授業計画]
1.オリエンテーション・学習課題の設定
2.6か月未満児の発達について
3.6か月未満児に関する育児不安について
4.6か月未満児の保育計画
5.実践準備
6.保育実践
7..振り返り
8.6か月以上1歳未満児の発達について
9.6か月以上1歳未満児に関する育児不安について
10.か月以上1歳未満児の保育計画
11.実践準備
12.保育実践1
13.保育実践2
14.振り返り
15.まとめ

[成績評価方法]
取組への姿勢（相互評価）40%　提出物60%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
翌回に指導・提出物の返却フィードバックを行う

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S64600

科目名	子どもの理解と発達Ⅰ	前期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	石田　裕子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：提出物

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：取り組みへの姿勢・提出物

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：取り組みへの姿勢（相互評価）

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：取り組みへの姿勢（相互評価）

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：提出物・取り組みへの姿勢

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：取り組みへの姿勢（相互評価）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実践力／
成績評価方法：提出物・取り組みへの姿勢（相互評価）

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
指定はしないが、各自必要なものを探すこと

S64600

科目名	子どもの理解と発達Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	石田　裕子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
乳幼児期の子どもの発達や子育て支援についての知識や技能について学び、それらを保育や子育て支援の実際において活かすことのできる資質へと高めることを目指す

[授業概要]
本学では地域への子育て支援における社会貢献や実践力のある保育者養成を目指している。 子どもの発達理解や保育技術の修得、保育観や教育観、発達観等の構築、保育の計画や環境構成などの保育構成に関する知識や技術の修得を行う。また、保育者の資質として求められるようになった子育て支援に関する知識や技能の修得、子どもや保護者等へのコミュニケーション能力の獲得などについて、さまざまな角度や方法で学ぶ。 なお本授業の履修にあたっては、前期の子どもの理解と発達Iを履修することを必須とする

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
子どもの発達理解や子育て支援など関連科目の知識や学びについて、整理しておく。
テーマごとに、予習、復習をすること。グループでの準備作業等もある。各回3時間程度の予習、準備、復習が必要となる。

[授業計画]
1.オリエンテーション　グループ分け　課題設定
2.子育て支援施設見学1
3..子育て支援施設見学2
4.見学振り返り
5.1-2歳児の発達について
6.1-2歳児に関する育児不安について
7.1-2歳児の保育計画
8.実践準備
9.実践1
10.実践2
11.実践振り返り
12.振り返り
13.保護者支援とは
14.保護者支援ロールプレイ
15取り組み全体の反省と活動のまとめ

[成績評価方法]
取組への姿勢（相互評価）40%　提出物60%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
翌回に指導・提出物の返却フィードバックを行う

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S64601

科目名	子どもの理解と発達Ⅱ	後期	演習	1 単位
サブタイトル				
担当者	石田　裕子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：提出物

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：取り組みへの姿勢・提出物

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：取り組みへの姿勢（相互評価）

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：取り組みへの姿勢（相互評価）

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：取り組みへの姿勢・提出物

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：取り組みへの姿勢（相互評価）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：提出物・取り組みへの姿勢（相互評価）

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
なし　各自探すこと

S64601

科目名	算数科概説	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	穴田　恭輔			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
小学校算数科における学習内容とその教授方法を修得する。特に、「数学的活動」によって算数・数学に必要な概念を構成できる能力を養成する。算数教育に有用なソフトウェアを算数科の授業に利用できる。

[授業概要]
『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 算数編』によって、小学校の算数科の内容と方法を理解し、実践化する。本講義では、算数の背景にある数学的内容、算数を教えるために必要な認知心理学的な背景を述べたい。現在私たちが使う記数法には位取りの原理が使われており、そのよさはその構造を自覚してこそわかる。また、算数教育の数概念の形成の裏には常に必ず量が介在しており、抽象的な「数」を理解する上には、心理的、認知的な問題が含まれている。これらを自らの「数学的活動」として学ぶことで、学習指導要領の算数科の目標に掲げられる「数学的活動を通して」を体験する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各回の復習に加え、本授業の内容をしっかり理解できるよう教科書として示した本を読んでおくこと。

[授業計画]
1. 算数という教科の意義・目標・内容
2. 算数教育とその目標の変遷
3. 問題解決と数学的な考え方
4. 記数法と命数法
5. 加法
6. 減法
7. 乗法
8. 除法
9. 量（外延量と内包量）
10. 測定
11. 小数
12. 分数
13. 変化と関係（関数の考え）
14. データの活用（表、グラフ）
15. まとめ

[成績評価方法]
課題（30%），試験（70%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
manaba のコースニュースおよび掲示板で適宜コメントします。
採点が済んだ試験を返却します。希望者はとりにきてください。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S64200

科目名	算数科概説	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	穴田　恭輔			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：試験，提出物

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：試験

[教科書（ISBN）]
小学校算数科教育法　著者名：鈴木将史　出版社：建帛社　(978-4767921129)
小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 算数編 平成29年7月　著者名：文部科学省　出版社：日本文教出版　(978-4536590105)

[参考書（ISBN）]
入門算数学　著者名：黒木哲徳　出版社：日本評論社　(978-4535785403)
数学の学び方・教え方　著者名：遠山啓　出版社：岩波新書　(978-4004160076)

S64200

科目名	算数科概説	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	穴田　恭輔			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
小学校算数科における学習内容とその教授方法を修得する。特に、「数学的活動」によって算数・数学に必要な概念を構成できる能力を養成する。算数教育に有用なソフトウェアを算数科の授業に利用できる。

[授業概要]
『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 算数編』によって、小学校の算数科の内容と方法を理解し、実践化する。本講義では、算数の背景にある数学的内容、算数を教えるために必要な認知心理学的な背景を述べたい。現在私たちが使う記数法には位取りの原理が使われており、そのよさはその構造を自覚してこそわかる。また、算数教育の数概念の形成の裏には常に必ず量が介在しており、抽象的な「数」を理解する上には、心理的、認知的な問題が含まれている。これらを自らの「数学的活動」として学ぶことで、学習指導要領の算数科の目標に掲げられる「数学的活動を通して」を体験する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各回の復習に加え、本授業の内容をしっかり理解できるよう教科書として示した本を読んでおくこと。

[授業計画]
1. 算数という教科の意義・目標・内容
2. 算数教育とその目標の変遷
3. 問題解決と数学的な考え方
4. 記数法と命数法
5. 加法
6. 減法
7. 乗法
8. 除法
9. 量（外延量と内包量）
10. 測定
11. 小数
12. 分数
13. 変化と関係（関数の考え）
14. データの活用（表、グラフ）
15. まとめ

[成績評価方法]
課題（30%），試験（70%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
manaba のコースニュースおよび掲示板で適宜コメントします。
採点が済んだ試験を返却します。希望者はとりにきてください。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S64201

科目名	算数科概説	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	穴田　恭輔			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：試験，提出物

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：試験

[教科書（ISBN）]
小学校算数科教育法　著者名：鈴木将史　出版社：建帛社　（9784767921129）
小学校学習指導要領(平成29年告示)解説　算数編　著者名：文部科学省　出版社：日本文教出版　（9784536590105）

[参考書（ISBN）]
入門算数学　著者名：黒木哲徳　出版社：日本評論社　（9784535785403）
数学の学び方・教え方　著者名：遠山啓　出版社：岩波新書　（9784004160076）

S64201

科目名	算数科教育法	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	穴田　恭輔			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
算数に関する目標と内容についてその詳細を理解する。また、指導方法と授業設計について、基礎的な技能および情報機器の活用技能を身につける。

[授業概要]
算数教育の目的、数学的な見方・考え方の指導、カリキュラムの内容の系統（五つの領域）について解説する。学習指導案を作成して模擬授業を行い、数学的活動について考え「授業研究」を体験する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各自時間をつくって、本講義の教科書および参考書として示した本を読み物として少しずつ読んでおくこと。

[授業計画]
1. 算数科の目標と内容の系統
2. 数学的な見方・考え方と数学的活動
3. 実践的な実際の授業（研究授業）から学ぶ（1）
4. 実践的な実際の授業（研究授業）から学ぶ（2）（研究授業の分析と評価）
5. 算数科における指導と評価
6.「A数と計算」または「C測定」領域における数学的活動について考察する
7.「C変化と関係」または「Dデータの活用」領域における数学的活動について考察する
8.「B図形」領域における数学的活動について考察する
9. 学習指導案について
10. 学習指導案を作成する（対象単元の教材観を中心に）
11. 学習指導案を作成する（本時の学習過程を中心に）
12. 模擬授業の実施と振り返り（「A数と計算」領域を中心に）
13. 模擬授業の実施と振り返り（「B図形」領域を中心に）
14. 模擬授業の実施と振り返り（「C測定」「C変化と関係」または「Dデータの活用」領域）
15.まとめ

[成績評価方法]
提出課題（30%）、試験(70%)

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
manaba のコースニュースおよび掲示板で適宜コメントします。
採点が済んだ試験を返却します。希望者はとりにきてください。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	算数科教育法	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	穴田　恭輔			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：提出課題、試験

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：提出課題、試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：提出課題、試験

[教科書（ISBN）]
小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 算数編 平成29年7月　著者名：文部科学省　出版社：日本文教出版　（978-4-536-59010-5）

[参考書（ISBN）]
小学校算数科教育法　著者名：鈴木将史　出版社：建帛社　（978-4-7679-2112-9）
数学の学び方・教え方　著者名：遠山啓　出版社：岩波新書　（978-4004160076）

S61030 [LH1-071]

科目名	算数科教材研究	後期		2 単位
サブタイトル				
担当者	穴田　恭輔			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
小学校算数科における学習内容を「数学的な見方や考え方」に着目して修得する。さらに、「数学的活動」による算数教育を構築することをめざす。
また、図形ツールなどのソフトウェアを利用した授業を構成できるようになることもめざす。

[授業概要]
学校数学で扱う概念は日常の人間行動や自然現象を抽象化したものである。人間行動がいかにして抽象化・形式化されて、小学校算数科の教材となるかといった教材を高い立場から見直すことで、算数・数学の理解を深めることを目的とする。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
自ら演習問題を解いておく。

[授業計画]
1. 算数文章題「割合と比」
2. 算数文章題「速さ」
3. 算数文章題「規則性」
4. 算数文章題「和と差」
5. 算数文章題「数の性質」
6. 算数文章題「場合の数」
7. 数と式
8. 方程式と不等式
9. 関数
10. 数列
11. 場合の数
12. 確率
13. 図形と計量
14. 図形ツールを利用した図形指導
15. まとめ

[成績評価方法]
試験（100%） ただし、発表に対して、別途、加点する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
manaba のコースニュースおよび掲示板で適宜コメントします。
採点が済んだ試験を返却します。希望者はとりにきてください。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S64640

科目名	算数科教材研究	後期		2 単位
サブタイトル				
担当者	穴田　恭輔			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法：試験

[教科書（ISBN）]
小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 算数編 平成29年7月　　著者名：文部科学省　出版社：日本文教出版
（978-4536590105）

[参考書（ISBN）]
自分が高校のとき使ったものでよいから、各自、「数学I」と「数学A」の教科書をいつでも参照できるように用意する。

S64640

科目名	実践英語表現Ⅰ	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	本多　明子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
中学校外国語科の授業において英語で授業ができる実践的な英語力を養うために、英語で考え、英語で発信する力を身に付ける。

[授業概要]
身近なテーマに関する英文に触れながら、自分の考えや意見を明確に伝えるための表現方法や提示の仕方を学ぶ。アウトプット活動を取り入れながら「読む」・「書く」・「聞く」・「話す」の4技能をバランスよく高めていく。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各回、予習復習を合わせて2時間程度。
各テーマについて、自分の意見も考えておくこと。付属のCDを聴き、英語の発話練習（音読）を繰り返し行っておくこと。

[授業計画]
1. オリエンテーション & Shared Housing vs. Living Alone
2. Studying in a Caf? vs. Home
3. Coming-of-Age Ceremonies
4. 24/7 Convenience Stores
5. Domestic Trip vs. Abroad
6. Studying English Abroad
7. More Foreign Visitors
8. Summer-Vacation Assignments
9. Halloween Is Best!
10. Valentine's Day in Japan
11. Smartphone Lock Screens
12. YouTube vs. Normal TV
13. Internet vs. Bricks-and-Mortar
14. Translation Software
15. まとめ

[成績評価方法]
定期試験（50%）と授業中の課題（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題に対するフィードバックは授業で行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	実践英語表現Ⅰ	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	本多　明子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：定期試験、授業中の課題

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：授業中の課題

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：定期試験、授業中の課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業中の課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業中の課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業中の課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：定期試験、授業中の課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：定期試験、授業中の課題

[教科書（ISBN）]
Two Sides to Every Discussion 2　著者名：Jonathan Lynch
Kotaro Shitori　出版社：SEIBIDO　（9784791972104）

[参考書（ISBN）]
なし

科目名	実践英語表現Ⅱ	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	本多　明子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
中学校外国語科における「話すこと・書くこと」の指導力を高めるために、自らの考えを英語で発信できる語彙や表現力を身に付ける。

[授業概要]
中学校学習指導要領には、「話すこと（やり取り）」と「話すこと（発表）」の違いを明確にして指導することが求められている。このような指導力を身に付けるために、本授業では、基本となるモデルプレゼンテーションの構造と英語の論理構成を学びながら的確なプレゼンテーションが行える力を養成する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各回、予習復習を合わせて2時間程度。
次に行うUnitに目を通しておくこと。授業の中で提示する課題に取り組んでおくこと。

[授業計画]
1. オリエンテーション & Unit 1 Presentation Structure プレゼンテーションの構造
2. Unit 2 Presentation Skills プレゼンテーションのスキル
3. Unit 3 Preparing for Your Presentation 情報収集と情報倫理
4. Unit 4 How to Arrange a Presentation Setting プレゼンテーション環境の準備
5. Unit 5 Type 1: Listing 列挙型プレゼンテーション
6. Unit 6 Type 2: Classification 分類型プレゼンテーション
7. Unit 7 Type 3: Process プロセス型プレゼンテーション
8. Unit 8 Type 4: Investigation 調査型プレゼンテーション
9. Unit 9 Review Unit: Giving Your Presentation 報告型プレゼンテーションの実践
10. Unit 10 Type 5: Persuasion 説得型プレゼンテーション
11. Unit 11 Type 6: Problem and Solution 問題解決型プレゼンテーション
12. Unit 12 Type 7: Cause and Effect 原因・結果型プレゼンテーション
13. Unit 13 Type 8: Comparison and Contrast 比較対象型プレゼンテーション
14. Unit 14 Review Unit: Giving Your Proposal Presentation
説得型・提案型のプレゼンテーションの実践
15. まとめ

[成績評価方法]
定期試験（50%）と授業中の課題（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題に対するフィードバックは授業で行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	実践英語表現Ⅱ	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	本多　明子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：授業中の課題

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：授業中の課題

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：定期試験、授業中の課題

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：定期試験、授業中の課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業中の課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：授業中の課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業中の課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：定期試験、授業中の課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：定期試験、授業中の課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：定期試験、授業中の課題

[教科書（ISBN）]
Winning Presentations　著者名：Akira Morita
Shinichi Harada
Kazuma Kitamura
Sayaka Sugimoto
Bill Benfield　出版社：SEIBIDO　（9784791934249）

[参考書（ISBN）]
中学校学習指導要領解説　外国語編　著者名：文部科学省　出版社：開隆堂　（9784304051692）

S64800

科目名	社会科概説	前期	講義	2 単位
サブタイトル	小学校社会科の基礎・基本			
担当者	佐藤　浩樹			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
小学校社会科教育の基礎を理解する。
小学校社会科授業を担当する教員として必要な地域学習、地理的学習、歴史的学習、公民的学習に関わる基礎的・基本的な知識・理解と能力を養う。

[授業概要]
社会科教育の意義・目標、歴史、カリキュラムを概観し、小学校社会科教育の基礎について、授業実践例も取り上げて解説する。
また、小学校社会科の地理的内容、歴史的内容、公民的内容について、授業実践例の紹介や模擬授業なども取り入れて講義する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
前回の学習内容を復習して理解し、次回の授業を予習しておく。各自が問題意識・主体者意識を持って授業に臨んでほしい。

[授業計画]
【全て遠隔授業】
1. 社会科教育の意義・目標
2. 社会科教育の歴史①
3. 社会科教育の歴史②
4. 社会科教育のカリキュラム
5. 地理的学習の内容①
6. 地理的学習の内容②
7. 地理的学習の内容③
8. 地理的学習の内容④
9. 歴史的学習の内容①
10. 歴史的学習の内容②
11. 公民的学習の内容①
12. 公民的学習の内容②
13. 地域学習の内容①
14. 地域学習の内容②
15. まとめ、テスト

[成績評価方法]
授業態度（25%）、レポート、提出物（25%）、試験（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	社会科概説	前期	講義	2 単位
サブタイトル	小学校社会科の基礎・基本			
担当者	佐藤　浩樹			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：試験、レポート課題、ワークシート

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：試験、レポート課題、ワークシート

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：試験、レポート課題、ワークシート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験、レポート課題、ワークシート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：試験、レポート課題、ワークシート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：試験、レポート課題、ワークシート

[教科書（ISBN）]
小学校学習指導要領(平成29年告示)解説　社会編　著者名：文部科学省　出版社：日本文教出版
（9784536590099）
テキスト初等社会科　著者名：佐藤浩樹ほか編　出版社：学文社 （9784762029141）

[参考書（ISBN）]
なし

S61170 [LH2-101]

科目名	社会科概説	後期	講義	2 単位
サブタイトル	小学校社会科の基礎・基本			
担当者	佐藤　浩樹			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
小学校社会科教育の基礎を理解する。
小学校社会科授業を担当する教員として必要な地域学習、地理的学習、歴史的学習、公民的学習に関わる基礎的・基本的な知識・理解と能力を養う。

[授業概要]
社会科教育の意義・目標、歴史、カリキュラムを概観し、小学校社会科教育の基礎について、授業実践例も取り上げて解説する。
また、小学校社会科の地理的内容、歴史的内容、公民的内容について、授業実践例の紹介や模擬授業なども取り入れて講義する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
前回の学習内容を復習して理解し、次回の授業を予習しておく。各自が問題意識・主体者意識を持って授業に臨んでほしい。

[授業計画]
【全て遠隔授業】
1. 社会科教育の意義・目標
2. 社会科教育の歴史①
3. 社会科教育の歴史②
4. 社会科教育のカリキュラム
5. 地理的学習の内容①
6. 地理的学習の内容②
7. 地理的学習の内容③
8. 地理的学習の内容④
9. 歴史的学習の内容①
10. 歴史的学習の内容②
11. 公民的学習の内容①
12. 公民的学習の内容②
13. 地域学習の内容①
14. 地域学習の内容②
15. まとめ、テスト

[成績評価方法]
授業態度（25%）、レポート、提出物（25%）、試験（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	社会科概説	後期	講義	2 単位
サブタイトル	小学校社会科の基礎・基本			
担当者	佐藤　浩樹			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：試験、レポート課題、ワークシート

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：試験、レポート課題、ワークシート

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：試験、レポート課題、ワークシート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験、レポート課題、ワークシート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：試験、レポート課題、ワークシート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：試験、レポート課題、ワークシート

[教科書（ISBN）]
『小学校学習指導要領解説　社会編』（平成29年版）　著者名：文部科学省　出版社：日本文教出版　（9784536590099）
『テキスト初等社会科』
　著者名：佐藤浩樹ほか編　出版社：学文社　（9784762029141）

[参考書（ISBN）]
なし

S61171 [LH2-101]

科目名	社会科教育法	後期	講義	2 単位
サブタイトル	小学校社会科の授業づくり			
担当者	佐藤　浩樹			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
小学校社会科の学習指導に関わる基礎的事項について理解する。
学習指導案を作成して模擬授業を行い、小学校社会科の実践的指導力を身に付ける。

[授業概要]
前半は、小学校社会科の学習指導法や授業構成、教材研究から学習指導案作成の過程、評価について講義する。まとめとして各自が地域学習の学習指導案を作成する。後半は、グループで学習指導案を作成して模擬授業を行い、社会科の実践的指導力を養っていく。模擬授業について相互に討論することを通して、授業を分析する力も養う。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
前回の学習内容を復習して理解し、次回の授業を予習しておく。各自が問題意識・主体者意識を持って授業に臨んでほしい。

[授業計画]
1. 社会科の学習指導論と学習過程
2. 社会科の学習過程と授業構成
3. 社会科の学習形態と学習活動
4. 社会科授業づくりとICTの活用
5. 社会科教材研究と学習指導案の作成
6. 社会科学習指導案の検討・発表
7. 社会科の評価
8. 優れた社会科授業に学ぶ
9. 社会科模擬授業①
10. 社会科模擬授業②
11. 社会科模擬授業③
12. 社会科模擬授業④
13. 社会科模擬授業⑤
14. 社会科模擬授業⑥
15. まとめ、テスト

[成績評価方法]
授業態度（20%）、レポート（10%）、模擬授業（20%）、試験（50%）、

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	社会科教育法	後期	講義	2 単位
サブタイトル	小学校社会科の授業づくり			
担当者	佐藤　浩樹			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：授業への取組姿勢、レポート、模擬授業、試験

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：授業への取組姿勢、レポート、模擬授業、試験

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：授業への取組姿勢、レポート、模擬授業、試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業への取組姿勢、レポート、模擬授業、試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業への取組姿勢、レポート、模擬授業、試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：授業への取組姿勢、レポート、模擬授業、試験

[教科書（ISBN）]
『小学校学習指導要領解説　社会編』（平成29
年版）　著者名：文部科学省　出版社：日本文教出版　（9784536590099）
『テキスト初等社会科』　著者名：佐藤浩樹ほか編　出版社：学文社　（9784762029141）

[参考書（ISBN）]
なし

S61020 [LH2-093]

科目名	社会科教材研究	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	佐藤　浩樹			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
社会科授業における教材、単元構成、カリキュラム・マネジメントの重要性を理解し、地域教材づくり、学習指導案作成、単元構想開発をすることができる。

[授業概要]
教材研究、単元構成と学習指導案、カリキュラムマネジメントについて講義し、それに基づいて地域教材づくり（ペア）、学習指導案作成（グループ）、総合的な単元構想開発（個人）を行う。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
社会科教材づくり、学習指導案作成、カリキュラム・マネジメントに関わる本を読むこと。

[授業計画]
1. 社会科授業における教材研究
2. 社会科地域学習とフィールドワーク
3. 社会科授業における地域教材開発①
4. 社会科授業における地域教材開発②
5. 社会科授業における地域教材開発③
6. 社会科の授業構成①
7. 社会科の授業構成②
8. 社会科の単元開発と学習指導案の作成①
9. 社会科の単元開発と学習指導案の作成②
10. 社会の単元開発と学習指導案の作成③
11. 社会科におけるカリキュラム・マネジメント
12. 社会科におけるカリキュラム・マネジメントの実際①
13. 社会科におけるカリキュラム・マネジメントの実際②
14. 社会科を中心とした横断的・総合的単元の構想①
15. 社会科を中心とした横断的・総合的単元の構想②

[成績評価方法]
授業に取り組む姿勢（30%）、課題・レポート（70%）。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中にコメントする。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S64660

科目名	社会科教材研究	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	佐藤　浩樹			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：授業への取組姿勢、課題・レポート

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：授業への取組姿勢、課題・レポート

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：授業への取組姿勢、課題・レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／ 自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業への取組姿勢、課題・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業への取組姿勢、課題・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力　／ 課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：授業への取組姿勢、課題・レポート

[教科書（ISBN）]
『テキスト初等社会科』 著者名：佐藤浩樹他編著　出版社：学芸図書 （9784762029141）

[参考書（ISBN）]
なし

S64660

科目名	社会心理学	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	片桐　恵子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
①社会心理学の理論や仮説などの知識を得、その研究方法をイメージできる
②社会心理学の知識をどのように生かしたら良いか、自分の問題として考えられる

[授業概要]
社会心理学は、社会に生きる人々がいかに考え、行動するかを明らかにする学問である。授業では、どのような問題に対してどういう研究が行われ、研究結果がいかに解釈されてきたのかを中心に説明する。社会心理学の研究を知ることで、自分や他者、ひいては社会について自分の頭でよく考え、より深く理解することを求める。基本的には、パワーポイントによるスライドを使って解説し、適宜、簡単な実験や作業などを取り入れる。また、授業内に、解説した内容を自分のことばでまとめる課題や紹介した事柄についての自分の意見を記述する課題を出すことがある。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
参考書の該当章を読んでおくこと。また、授業で説明した内容を身近な問題や社会現象に当てはめて考えることをおすすめする。

[授業計画]
【全て遠隔授業】
1.ガイダンス：社会心理学とは
2.社会的認知(1)
3.社会的認知(2)
4.社会的推論と原因帰属
5.ステレオタイプ
6.態度
7.説得
8.自己
9.自己評価、自己と動機づけ
10.対人関係とコミュニケーション
11.家族関係
12.友人関係
13.集団・組織(1)
14.集団・組織(2)
15.まとめ

[成績評価方法]
小テスト40%、試験60%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中にコメントをする

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	社会心理学	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	片桐　恵子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：試験・レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：小テスト

[教科書（ISBN）]
社会心理学 補訂版　著者名：池田謙一・唐沢穣・工藤恵理子・村本由紀子　出版社：有斐閣 （4641053871）

[参考書（ISBN）]
グラフィック社会心理学・第2版　著者名：池上知子・遠藤由美　出版社：サイエンス社 （9784781911915）
「サードエイジ」をどう生きるか　シニアと拓く高齢先端社会　著者名：片桐恵子　出版社：東京大学出版会 （9784130530255）

S63070 [LH2-132]

科目名	社会的養護Ⅰ	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	大西　雅裕			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
児童福祉施設での児童養護の理論、実践方法、今日的動向を概観する中で、専門職としての保育士が備えるべき知識を体得することを目標とする。

[授業概要]
“子どもは家庭で成長することが望ましい”。しかし今日の家庭状況は、現代社会のさまざまな構造要因によって、親たちが家庭のみで子育てを十分に行うことができない場合がある。
　本授業では、「児童養護とは何か」について学ぶ。また社会的養護の必要な子どもたちは、家庭を離れて児童福祉施設等で生活したり、また家庭から通園して養護を受けていることがある。子どものすこやかな成長発達を保障するために必要な児童養護とはなにかについて学び、その場としての社会資源としての児童福祉施設についての理解も深めたい。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
児童養護についての普段より情報を収集し、児童福祉施設の種類、家庭的養護等の内容について社会的養護全般に対する知識を積極的に収集すること。

[授業計画]
1. ガイダンス
2. 「子ども」を理解すること
3. 子ども観と子どもの権利
4. 家庭と社会の役割
5. 社会的養護とは
6. 社会的養護を必要とする子どもたち
7. 児童養護の歴史
8. 児童養護の制度
9. 児童養護の領域①
10. 児童養護の領域②
11. 施設養護の基本原理
12. 施設における児童養護
13. 家庭的養護
14. 児童福祉施設の運営と援助者
15. まとめ、今後の課題

[成績評価方法]
レポート試験で評価を行う

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	社会的養護Ⅰ	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	大西　雅裕			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題及び授業参加態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題及び授業参加態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート課題及び授業参加態度

[教科書（ISBN）]
「新・プリマーズ　社会的養護」 著者名：小池由佳・山縣文治編著　　出版社：ミネルヴァ書房 （9784623076567）

[参考書（ISBN）]
適宜紹介する

S62330

科目名	社会的養護内容	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	大西　雅裕			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
児童福祉施設での児童の養育について重要な責務を担うのが保育士である。その保育士に必要な専門的知識、技能について学ぶ、実際役立つ実践力を体得する。

[授業概要]
児童福祉施設に入所する子どもたちの抱える問題は、今日、複雑・多様化してきている。それらの問題に対応する処遇方法について学ぶ。まず児童福祉施設での具体的事例等を通して、具体的な実践方法について学ぶ。また家庭型養護である里親制度の事例について検討する。その上で援助者としての価値観、子ども観、施設養護観等について学ぶ。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
2回生の社会的養護で学んだ原理、実際、現状等を再度学修しておくこと。
授業の進め方として、毎回学生に進行してもらいます。主体的に取り組んでください。

[授業計画]
【全て遠隔授業】
1. 児童養護の基本的理解
2. 児童福祉施設での処遇の現状①
3. 児童福祉施設での処遇の現状②
4. 児童福祉施設等での実際①
5. 児童福祉施設等での実際②
6. 児童福祉施設等での実際③
7. 児童福祉施設等での実際④
8. 児童福祉施設等での実際⑤
9. その他の施設での現状理解
10. 障がい児施設での実際①
11. 障がい児施設での実際②
12. 障がい児施設での実際③
13. 里親制度での実際①
14. 里親制度での実際②
15. まとめ

[成績評価方法]
レポート試験によって評価を行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	社会的養護内容	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	大西　雅裕			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：レポート課題、試験

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：レポート課題、試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート課題、試験　授業への積極的参加態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：レポート課題、試験　授業への積極的参加態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題、試験　授業への積極的参加態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：

[教科書（ISBN）]
事例で学ぶ社会的養護　著者名：大西　雅裕、浦田　雅夫、阪野　学、山川　宏和　著　　出版社：八千代出版
（978-4-8429-1805-1）

[参考書（ISBN）]
授業で適宜紹介します。

S62320 [LH3-163]

科目名	社会的養護内容	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	大西　雅裕			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
児童福祉施設での児童の養育について重要な責務を担うのが保育士である。その保育士に必要な専門的知識、技能について学ぶ、実際役立つ実践力を体得する。

[授業概要]
児童福祉施設に入所する子どもたちの抱える問題は、今日、複雑・多様化してきている。それらの問題に対応する処遇方法について学ぶ。まず児童福祉施設での具体的事例等を通して、具体的な実践方法について学ぶ。また家庭型養護である里親制度の事例について検討する。その上で援助者としての価値観、子ども観、施設養護観等について学ぶ。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
2回生の社会的養護で学んだ原理、実際、現状等を再度学修しておくこと。
授業の進め方として、毎回学生に進行してもらいます。主体的に取り組んでください。

[授業計画]
【全て遠隔授業】
1. 児童養護の基本的理解
2. 児童福祉施設での処遇の現状①
3. 児童福祉施設での処遇の現状②
4. 児童福祉施設等での実際①
5. 児童福祉施設等での実際②
6. 児童福祉施設等での実際③
7. 児童福祉施設等での実際④
8. 児童福祉施設等での実際⑤
9. その他の施設での現状理解
10. 障がい児施設での実際①
11. 障がい児施設での実際②
12. 障がい児施設での実際③
13. 里親制度での実際①
14. 里親制度での実際②
15. まとめ

[成績評価方法]
レポート試験によって評価を行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	社会的養護内容	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	大西　雅裕			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：レポート課題、試験

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：レポート課題、試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題、試験　授業への積極的参加態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：レポート課題、試験　授業への積極的参加態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題、試験　授業への積極的参加態度

[教科書（ISBN）]
事例で学ぶ社会的養護　著者名：大西　雅裕、浦田　雅夫、阪野　学、山川　宏和　著　出版社：八千代出版（978-4-8429-1805-1）

[参考書（ISBN）]
授業で適宜紹介します。

科目名	社会福祉	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	大西　雅裕			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
保育士として保育実践を行う専門職の基礎的体系として社会福祉はその基盤をなす。社会福祉の本質、目的、価値、方法等を理解し、実践力を高めることを目標とする。

[授業概要]
必然的所産として社会福祉が体系化されている現代社会の現状を把握し、保育実践への基礎体系構築のために社会福祉の定義、理念等や、制度施策、実践活動等の現状について学ぶ。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
社会福祉は、この社会の中で起こっている事象をその対象とします。今日の社会で起こっていることに注目し主体的にとらえておくこと。

[授業計画]
1. ガイダンス 「社会福祉とは何か」
2. 社会福祉の定義と基本的枠組み
3. 社会福祉の基本的枠組み（問題のとらえ方）
4. 社会福祉の基本的枠組み（援助資源とその方法）
5. 社会福祉の現代的背景
6. 社会福祉の価値と倫理
7. 社会福祉の歴史（日本を中心に）
8. 社会福祉の仕組み
9. 社会保障と社会保険、公的扶助（生活保護）
10. 社会福祉援助技術について
11. 社会福祉援助技術について
12. 社会福祉の分野①
13. 社会福祉の分野②
14. 社会福祉の担い手
15. まとめ

[成績評価方法]
最終試験によって評価を行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	社会福祉	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	大西　雅裕			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：レポート課題、試験

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：試験、レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題、試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート課題、試験

[教科書（ISBN）]
新プリマーズ　社会福祉　第5版　著者名：石田慎二・山縣文治編著　出版社：ミネルヴァ書房　（9784623080090）
福祉小六法2020　著者名：大阪ボランティア協会（編集）　出版社：中央法規出版　（978-4-8058-5970-4）

[参考書（ISBN）]
適宜紹介する

S62170 [LH1-080]

科目名	生涯学習概論Ⅱ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	生涯学習の実践			
担当者	山内　紀幸			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
1　生涯学習の概念や内容について、基本的・発展的な知識を身に着けている。
2　生涯学習の目的やねらいを理解し、実際に適正な生涯学習の特定の事業を実施することができる。

[授業概要]
本授業では、生涯学習の基本的概念、内容・方法・計画について講義した後に、実践的な計画を作らせ、様々な生涯学習プログラムの技法について学ばせる。講義科目ではあるが、アクティブ・ラーニングの要素を導入し、実際の生涯学習プログラムを通じて、学生に反省的に知識・技能を習得させることをねらいとしている。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各回、予習復習合わせて4時間程度。
毎時の授業で指示します。

[授業計画]
1　生涯学習と社会教育
2　生涯学習の方法と内容
3　生涯学習と社会教育の計画
4　学習プログラムの編成
5　公民館活動の計画
5　生涯学習プログラム①
6　生涯学習プログラム②
7　自主サークル活動の支援①
8　自主サークル活動の支援②
9　図書館司書の仕事
10　読書活動推進のプログラム①
11　読書活動推進のプログラム②
12　学芸員の仕事
13　博物館でのプログラム①
14　博物館でのプログラム②
15　美術館でのプログラム

[成績評価方法]
小レポート（30%）と、授業中の課題（50%）、総括レポート（20%）の合計で評価します。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
フィードバックは適宜manabaを通じて行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	生涯学習概論Ⅱ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	生涯学習の実践			
担当者	山内　紀幸			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：小レポート

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：小レポート、授業中の課題、総括レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：授業中の課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：小レポート、授業中の課題、総括レポート

[教科書（ISBN）]
なし。適宜資料を配付します。

[参考書（ISBN）]
生涯学習概論［第2次改訂版］　著者名：佐藤晴雄
出版社：学陽書房
（N978-4-313-61144-3）

S67900R [LH2-089]

科目名	生涯学習概論Ⅱ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	生涯学習の実践			
担当者	山内　紀幸			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
1　生涯学習の概念や内容について、基本的・発展的な知識を身に着けている。
2　生涯学習の目的やねらいを理解し、実際に適正な生涯学習の特定の事業を実施することができる。

[授業概要]
本授業では、生涯学習の基本的概念、内容・方法・計画について講義した後に、実践的な計画を作らせ、様々な生涯学習プログラムの技法について学ばせる。講義科目ではあるが、アクティブ・ラーニングの要素を導入し、実際の生涯学習プログラムを通じて、学生に反省的に知識・技能を習得させることをねらいとしている。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各回、予習復習合わせて4時間程度。
毎時の授業で指示します。

[授業計画]
1　生涯学習と社会教育
2　生涯学習の方法と内容
3　生涯学習と社会教育の計画
4　学習プログラムの編成
5　公民館活動の計画
5　生涯学習プログラム①
6　生涯学習プログラム②
7　自主サークル活動の支援①
8　自主サークル活動の支援②
9　図書館司書の仕事
10　読書活動推進のプログラム①
11　読書活動推進のプログラム②
12　学芸員の仕事
13　博物館でのプログラム①
14　博物館でのプログラム②
15　美術館でのプログラム

[成績評価方法]
小レポート（30%）と、授業中の課題（50%）、総括レポート（20%）の合計で評価します。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
フィードバックは適宜manabaを通じて行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	生涯学習概論Ⅱ	後期	講義	2 単位
サブタイトル	生涯学習の実践			
担当者	山内　紀幸			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：小レポート

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：小レポート、授業中の課題、総括レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：授業中の課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：小レポート、授業中の課題、総括レポート

[教科書（ISBN）]
なし。適宜資料を配付します。

[参考書（ISBN）]
生涯学習概論［第2次改訂版］　著者名：佐藤晴雄
出版社：学陽書房
（N978-4-313-61144-3）

科目名	障がい児保育	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	隠岐　厚美			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
①障がいに対する理念や障害の種類、特性を理解している。
②保育場面で出来る配慮や環境の工夫などを理解している

[授業概要]
障がい児保育の歴史と現状を把握する。神経心理学的な立場から脳の発達と障害を理解し、保育・教育場面で出逢うことの多い障害を中心に概説する。具体的には、障害の基本特性について平易に解説し、支援・指導の方向性について考え、幼稚園教諭、保育士、保育教諭として子どもの発達上の混乱の解消、支援の方法を学ぶ。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
教科書及び事前に指示された資料は必ず目を通すこと。
各回、予習復習あわせて2時間程度の自主学習が必要です

[授業計画]
1. オリエンテーション－障害とは－
2. 障がい児保育のあゆみ
3. 障害のある子どもの通う療育・保育機関とかかわる人々について
4.障害児保育の基本と取り組み方
5. 障害のある子どもの家族の心理
6. 障がい児保育の実際 ① 知的障害の理解と保育のポイント
7. 障がい児保育の実際 ② 肢体不自由の理解と保育のポイント
8. 障がい児保育の実際 ③ 視覚障害の理解と保育のポイント
9. 障がい児保育の実際 ④ 聴覚障害の理解と保育のポイント
10. 障がい児保育の実際 ⑤ 発達障害の理解と保育のポイント1－ASD
11. 障がい児保育の実際 ⑥ 発達障害の理解と保育のポイント2－ADHDとLD
12. 障がい児保育の記録と評価について
13. 保育課程における指導計画と個別初支援計画について
14. 小学校・特別支援学校との連携
15. まとめ

[成績評価方法]
試験と講義中にしばしば実施する小テスト（小レポートを含む）ならびにグループワークを総合的に評価する（試験・小テスト70%、グループワーク30%）。なお、フィードバックは返却時に口頭で行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	障がい児保育	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	隠岐　厚美			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：試験レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：小レポート

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：小レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート課題

[教科書（ISBN）]
障がい児保育
　著者名：小山内あかね・竹野内ゆかり
　出版社：中山書店
　（978-4-521-747507C3047
）

[参考書（ISBN）]
適宜指示する。

科目名	障がい児保育	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	隠岐　厚美			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
①障がいに対する理念や障害の種類、特性を理解している。
②保育場面で出来る配慮や環境の工夫などを理解している

[授業概要]
障がい児保育の歴史と現状を把握する。神経心理学的な立場から脳の発達と障害を理解し、保育・教育場面で出逢うことの多い障害を中心に概説する。具体的には、障害の基本特性について平易に解説し、支援・指導の方向性について考え、幼稚園教諭、保育士、保育教諭として子どもの発達上の混乱の解消、支援の方法を学ぶ。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
教科書及び事前に指示された資料は必ず目を通すこと。
各回、予習復習あわせて2時間程度の自主学習が必要です

[授業計画]
1. オリエンテーションー障害とはー
2. 障がい児保育のあゆみ
3. 障害のある子どもの通う療育・保育機関とかかわる人々について
4.障害児保育の基本と取り組み方
5. 障害のある子どもの家族の心理
6. 障がい児保育の実際 ① 知的障害の理解と保育のポイント
7. 障がい児保育の実際 ② 肢体不自由の理解と保育のポイント
8. 障がい児保育の実際 ③ 視覚障害の理解と保育のポイント
9. 障がい児保育の実際 ④ 聴覚障害の理解と保育のポイント
10. 障がい児保育の実際 ⑤ 発達障害の理解と保育のポイント1－ASD
11. 障がい児保育の実際 ⑥ 発達障害の理解と保育のポイント2－ADHDとLD
12. 障がい児保育の記録と評価について
13. 保育課程における指導計画と個別初支援計画について
14. 小学校・特別支援学校との連携
15. まとめ

[成績評価方法]
試験と講義中にしばしば実施する小テスト（小レポートを含む）ならびにグループワークを総合的に評価する（試験・小テスト70%、グループワーク30%）。なお、フィードバックは返却時に口頭で行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	障がい児保育	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	隠岐　厚美			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：試験レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：小レポート

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：小レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート課題

[教科書（ISBN）]
障がい児保育
　著者名：小山内あかね・竹野内ゆかり
　出版社：中山書店
　（978-4-521-747507C3047
）

[参考書（ISBN）]
適宜指示する。

科目名	小学校基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	金岩　俊明			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
小学校教員として求められる実践的指導力に結びつく基本力となるコミュニケーション力やソーシャルスキル、プレゼンテーション力、教育的観察眼等を養う。

[授業概要]
現代の教育課題等を各回のテーマとして、ワークショップやグループディスカッション等により教育的関心を高め、発表や表現等のスキルを高める。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
日頃から、学校教育に対して関心を持ち、新聞や文献等で考察を深めておく。

[授業計画]
1. オリエンテーション、基礎力の診断的評価テスト
2. めざす教師像について(1)
3. めざす教師像について(2)
4. 学校現場の課題(1)
5. 学校現場の課題(2)
6. 新聞（ネット）記事を読んでプレゼンテーション(1)
7. 新聞（ネット）記事を読んでプレゼンテーション(2)
8. 各ゼミの課題研究(1)
9. 基各ゼミの課題研究(2)基礎テスト1
10. テストのふりかえり・各ゼミの課題研究(3)
11. ワークショップ型の学び(1)
12. ワークショップ型の学び(2)
13. スクールサポーターの報告と討議(1)
14. スクールサポーターの報告と討議(2)基礎テスト2
15. テストのふりかえり・まとめ
※　順番は、入れ替わることがあります。
※　小学校見学等の実地学習を行うことがあります。

[成績評価方法]
受講態度（40%）授業中の発表（30%） 基礎テスト（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
提出課題テストについては、授業内で返却します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	小学校基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	金岩　俊明			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：発表・課題

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：発表・課題

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：発表・課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：発表・課題

[教科書（ISBN）]
なし（プリントを配布）

[参考書（ISBN）]
なし

S61790 [LH2-108]

科目名	小学校基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	穴田　恭輔			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
小学校教員として求められる実践的指導力に結びつく基本力となるコミュニケーション力やソーシャルスキル、プレゼンテーション力、教育的観察眼等を養う。

[授業概要]
現代の教育課題等を各回のテーマとして、ワークショップやグループディスカッション等により教育的関心を高め、発表や表現等のスキルを高める。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
日頃から、学校教育に対して関心を持ち、新聞や文献等で考察を深めておく。

[授業計画]
1. オリエンテーション、基礎力の診断的評価テスト
2. めざす教師像について(1)
3. めざす教師像について(2)
4. 学校現場の課題(1)
5. 学校現場の課題(2)
6. 新聞（ネット）記事を読んでプレゼンテーション(1)
7. 新聞（ネット）記事を読んでプレゼンテーション(2)
8. 各ゼミの課題研究(1)
9. 基各ゼミの課題研究(2)基礎テスト1
10. テストのふりかえり・各ゼミの課題研究(3)
11. ワークショップ型の学び(1)
12. ワークショップ型の学び(2)
13. スクールサポーターの報告と討議(1)
14. スクールサポーターの報告と討議(2)基礎テスト2
15. テストのふりかえり・まとめ
※　順番は、入れ替わることがあります。
※　小学校見学等の実地学習を行うことがあります。

[成績評価方法]
受講態度（40%）授業中の発表（30%） 基礎テスト（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
提出課題テストについては、授業内で返却します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	小学校基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	穴田　恭輔			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：発表・課題

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：発表・課題

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：発表・課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：発表・課題

[教科書（ISBN）]
なし（プリントを配布）

[参考書（ISBN）]
なし

S61791 [LH2-108]

科目名	小学校基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	小林　田鶴子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
小学校教員として求められる実践的指導力に結びつく基本力となるコミュニケーション力やソーシャルスキル、プレゼンテーション力、教育的観察眼等を養う。

[授業概要]
現代の教育課題等を各回のテーマとして、ワークショップやグループディスカッション等により教育的関心を高め、発表や表現等のスキルを高める。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
日頃から、学校教育に対して関心を持ち、新聞や文献等で考察を深めておく。

[授業計画]
1. オリエンテーション、基礎力の診断的評価テスト
2. めざす教師像について(1)
3. めざす教師像について(2)
4. 学校現場の課題(1)
5. 学校現場の課題(2)
6. 新聞（ネット）記事を読んでプレゼンテーション(1)
7. 新聞（ネット）記事を読んでプレゼンテーション(2)
8. 各ゼミの課題研究(1)
9. 基各ゼミの課題研究(2)基礎テスト1
10. テストのふりかえり・各ゼミの課題研究(3)
11. ワークショップ型の学び(1)
12. ワークショップ型の学び(2)
13. スクールサポーターの報告と討議(1)
14. スクールサポーターの報告と討議(2)基礎テスト2
15. テストのふりかえり・まとめ
※　順番は、入れ替わることがあります。
※　小学校見学等の実地学習を行うことがあります。

[成績評価方法]
受講態度（40%）授業中の発表（30%） 基礎テスト（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
提出課題テストについては、授業内で返却します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	小学校基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	小林　田鶴子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：発表・課題

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：発表・課題

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：発表・課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：発表・課題

[教科書（ISBN）]
なし（プリントを配布）

[参考書（ISBN）]
なし

S61792 [LH2-108]

科目名	小学校基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	住本　純			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
小学校教員として求められる実践的指導力に結びつく基本力となるコミュニケーション力やソーシャルスキル、プレゼンテーション力、教育的観察眼等を養う。

[授業概要]
現代の教育課題等を各回のテーマとして、ワークショップやグループディスカッション等により教育的関心を高め、発表や表現等のスキルを高める。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
日頃から、学校教育に対して関心を持ち、新聞や文献等で考察を深めておく。

[授業計画]
1. オリエンテーション、基礎力の診断的評価テスト
2. めざす教師像について(1)
3. めざす教師像について(2)
4. 学校現場の課題(1)
5. 学校現場の課題(2)
6. 新聞（ネット）記事を読んでプレゼンテーション(1)
7. 新聞（ネット）記事を読んでプレゼンテーション(2)
8. 各ゼミの課題研究(1)
9. 基各ゼミの課題研究(2)基礎テスト1
10. テストのふりかえり・各ゼミの課題研究(3)
11. ワークショップ型の学び(1)
12. ワークショップ型の学び(2)
13. スクールサポーターの報告と討議(1)
14. スクールサポーターの報告と討議(2)基礎テスト2
15. テストのふりかえり・まとめ
※　順番は、入れ替わることがあります。
※　小学校見学等の実地学習を行うことがあります。

[成績評価方法]
受講態度（40%）授業中の発表（30%） 基礎テスト（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
提出課題テストについては、授業内で返却します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	小学校基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	住本　純			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：発表・課題

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：発表・課題

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：発表・課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：発表・課題

[教科書（ISBN）]
なし（プリントを配布）

[参考書（ISBN）]
なし

S61793 [LH2-108]

科目名	小学校基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	稲垣　善茂			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
小学校教員として求められる実践的指導力に結びつく基本力となるコミュニケーション力やソーシャルスキル、プレゼンテーション力、教育的観察眼等を養う。

[授業概要]
現代の教育課題等を各回のテーマとして、ワークショップやグループディスカッション等により教育的関心を高め、発表や表現等のスキルを高める。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
日頃から、学校教育に対して関心を持ち、新聞や文献等で考察を深めておく。

[授業計画]
1. オリエンテーション、基礎力の診断的評価テスト
2. めざす教師像について(1)
3. めざす教師像について(2)
4. 学校現場の課題(1)
5. 学校現場の課題(2)
6. 新聞（ネット）記事を読んでプレゼンテーション(1)
7. 新聞（ネット）記事を読んでプレゼンテーション(2)
8. 各ゼミの課題研究(1)
9. 基各ゼミの課題研究(2)基礎テスト1
10. テストのふりかえり・各ゼミの課題研究(3)
11. ワークショップ型の学び(1)
12. ワークショップ型の学び(2)
13. スクールサポーターの報告と討議(1)
14. スクールサポーターの報告と討議(2)基礎テスト2
15. テストのふりかえり・まとめ
※　順番は、入れ替わることがあります。
※　小学校見学等の実地学習を行うことがあります。

[成績評価方法]
受講態度（40%）授業中の発表（30%） 基礎テスト（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
提出課題テストについては、授業内で返却します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	小学校基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	稲垣　善茂			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：発表・課題

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：発表・課題

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：発表・課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：発表・課題

[教科書（ISBN）]
なし（プリントを配布）

[参考書（ISBN）]
なし

S61794 [LH2-108]

科目名	小学校基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	堀江　祐爾			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
小学校教員として求められる実践的指導力に結びつく基本力となるコミュニケーション力やソーシャルスキル、プレゼンテーション力、教育的観察眼等を養う。

[授業概要]
現代の教育課題等を各回のテーマとして、ワークショップやグループディスカッション等により教育的関心を高め、発表や表現等のスキルを高める。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
日頃から、学校教育に対して関心を持ち、新聞や文献等で考察を深めておく。

[授業計画]
1. オリエンテーション、基礎力の診断的評価テスト
2. めざす教師像について(1)
3. めざす教師像について(2)
4. 学校現場の課題(1)
5. 学校現場の課題(2)
6. 新聞（ネット）記事を読んでプレゼンテーション(1)
7. 新聞（ネット）記事を読んでプレゼンテーション(2)
8. 各ゼミの課題研究(1)
9. 基各ゼミの課題研究(2)基礎テスト1
10. テストのふりかえり・各ゼミの課題研究(3)
11. ワークショップ型の学び(1)
12. ワークショップ型の学び(2)
13. スクールサポーターの報告と討議(1)
14. スクールサポーターの報告と討議(2)基礎テスト2
15. テストのふりかえり・まとめ
※　順番は、入れ替わることがあります。
※　小学校見学等の実地学習を行うことがあります。

[成績評価方法]
受講態度（40%）授業中の発表（30%） 基礎テスト（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
提出課題テストについては、授業内で返却します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	小学校基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	堀江　祐爾			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：発表・課題

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：発表・課題

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：発表・課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：発表・課題

[教科書（ISBN）]
なし（プリントを配布）

[参考書（ISBN）]
なし

S61795 [LH2-108]

科目名	小学校基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	村田　恵子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
小学校教員として求められる実践的指導力に結びつく基本力となるコミュニケーション力やソーシャルスキル、プレゼンテーション力、教育的観察眼等を養う。

[授業概要]
現代の教育課題等を各回のテーマとして、ワークショップやグループディスカッション等により教育的関心を高め、発表や表現等のスキルを高める。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
日頃から、学校教育に対して関心を持ち、新聞や文献等で考察を深めておく。

[授業計画]
1. オリエンテーション、基礎力の診断的評価テスト
2. めざす教師像について(1)
3. めざす教師像について(2)
4. 学校現場の課題(1)
5. 学校現場の課題(2)
6. 新聞（ネット）記事を読んでプレゼンテーション(1)
7. 新聞（ネット）記事を読んでプレゼンテーション(2)
8. 各ゼミの課題研究(1)
9. 基各ゼミの課題研究(2)基礎テスト1
10. テストのふりかえり・各ゼミの課題研究(3)
11. ワークショップ型の学び(1)
12. ワークショップ型の学び(2)
13. スクールサポーターの報告と討議(1)
14. スクールサポーターの報告と討議(2)基礎テスト2
15. テストのふりかえり・まとめ
※　順番は、入れ替わることがあります。
※　小学校見学等の実地学習を行うことがあります。

[成績評価方法]
受講態度（40%）授業中の発表（30%） 基礎テスト（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
提出課題テストについては、授業内で返却します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S61796 [LH2-108]

科目名	小学校基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	村田　恵子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：発表・課題

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：発表・課題

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：発表・課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：発表・課題

[教科書（ISBN）]
なし（プリントを配布）

[参考書（ISBN）]
なし

S61796 [LH2-108]

科目名	小学校教育課程論	前期	講義	2 単位
サブタイトル	新型コロナ対応とGIGAスクール構想の実現のなかで			
担当者	宮本　晃郎			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
かつてないほどに「教育課程」が注目されている背景をさぐり、「教育課程」とは何かを具体的に整理する。教育課程の基準となる学習指導要領について、戦後の教育改革から現在に至る改訂の変遷を大まかにつかみ、未来の学校教育のあり方を考える。また、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、実際の学校現場における教育課程編成のプロセスを学び、教育課程の創造的編成の基礎を習得する。

[授業概要]
教育課程には、教育目標や年間学習指導計画、週時程表、生活時間帯など数多くの内容が含まれている。教育課程は、各学校が独自に編成すべきものであるが、公教育を担っている性格上、守るべき水準がある。しかし、それぞれの学校には、歴史的な経緯や地域性の違いだけでなく、学校規模や施設環境などの違いもある。何よりも、克服すべき課題が異なる。この課題を克服しようと努力していく過程で、各学校の特色ある教育活動は生まれてくる。
学習指導要領の改訂の変遷を概観するとともに、今日的な教育課題としての新型コロナ対応やGIGAスクール構想の実現に向けた努力も学んでいく。そのうえで、各学校が行う教育課題の克服に向けた大きな計画が「教育課程」にあることを理解する。教育課程の実施状況に加えて、学校評価や学校運営協議会（コミュニティ・スクール構想）も幅広く学び、教育課程全般の基礎を理解する。

（注意）小学校教諭免許状取得予定者は必修である。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
小学校学習指導要領（平成29年告示）解説・総則編を中心に概要を調べておくことが望ましい。授業後は、本時の学習内容について、配付プリント等や学習指導要領解説・総則編等を参考に復習すること。

[授業計画]
1.「教育課程」が急速に注目され出した背景とは何か
2.「教育課程」の具体的な種類と内容、方法とは何か
3.「新型コロナ」対応で教育課程はどう変わったのか
4.「GIGAスクール構想」で教育課程はどう変わるのか
5.「教育新時代」の教育課程を誰が再考して編成するのか
6.「学習指導要領の変遷」に学ぶ教育課程の意義とは何か
7.「各学校の教育課程」の具体的な違いから何が見えるか
8.「特色ある教育活動」が生まれてくる根本要因は何か
9.「教科書の変遷」が教育課程に与えた影響は何か
10.「学校行事の変化」が教育課程に与えた影響は何か
11.「健全育成等の他の要因」が教育課程に与えた影響は何か
12.「教育課程実施状況調査」の現状における課題は何か
13.「新たな学校評価」のあり方と教育課程編成の関係は何か
14.「コミュニティ・スクール」の教育課程の重要性は何か
15.「一つ上をめざす」教育課程とは何か

[成績評価方法]
・1～14回　5分程度のミニレポート（70%）
・15回目　　まとめのレポート（30%）

欠席の場合には、個別に相談して、回復できるように努力します。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
・質問や望ましい意見は、要約して次回の講義で紹介する。
・解決できていない学習上の問題点については、個別に対応する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	小学校教育課程論	前期	講義	2 単位
サブタイトル	新型コロナ対応とGIGAスクール構想の実現のなかで			
担当者	宮本　晃郎			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：・ミニレポートにおける新たな気付きと疑問の記載内容により、本時の学習内容における理解の程度と問題意識を評価・まとめのレポートでは、教育課程に関するキーワードを活用して表現したものを評価

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：・ミニレポートにおける新たな気付きと疑問の記載内容により、本時の学習内容における理解の程度と問題意識を評価・まとめのレポートでは、教育課程に関するキーワードを活用して表現したものを評価

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：・ミニレポートにおける新たな気付きと疑問の記載内容により、本時の学習内容における理解の程度と問題意識を評価・まとめのレポートでは、教育課程に関するキーワードを活用して表現したものを評価

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：・ミニレポートにおける新たな気付きと疑問の記載内容により、本時の学習内容における理解の程度と問題意識を評価・まとめのレポートでは、教育課程に関するキーワードを活用して表現したものを評価

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：・ミニレポートにおける新たな気付きと疑問の記載内容により、本時の学習内容における理解の程度と問題意識を評価・まとめのレポートでは、教育課程に関するキーワードを活用して表現したものを評価

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：・ミニレポートにおける新たな気付きと疑問の記載内容により、本時の学習内容における理解の程度と問題意識を評価・まとめのレポートでは、教育課程に関するキーワードを活用して表現したものを評価

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題、課題に対する取組

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート課題

[教科書（ISBN）]
小学校学習指導要領(平成29年告示)解説　総則編　著者名：文部科学省　出版社：東洋館出版社　(9784491034614)
小学校学習指導要領(平成29年告示)　著者名：文部科学省　出版社：東洋館出版社　(9784491034607)

[参考書（ISBN）]
「教育課程」－これから求められるカリキュラム開発－　著者名：石村卓也著　出版社：昭和堂　(978-4-8122-0910-3)
『教育課程論』　著者名：柴田義松編著　出版社：学文社　(978-4-7620-1896-1)

科目名	小学校教育課程論	前期	講義	2 単位
サブタイトル	新型コロナ対応とGIGAスクール構想の実現のなかで			
担当者	宮本　晃郎			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
かつてないほどに「教育課程」が注目されている背景をさぐり、「教育課程」とは何かを具体的に整理する。教育課程の基準となる学習指導要領について、戦後の教育改革から現在に至る改訂の変遷を大まかにつかみ、未来の学校教育のあり方を考える。また、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、実際の学校現場における教育課程編成のプロセスを学び、教育課程の創造的編成の基礎を習得する。

[授業概要]
教育課程には、教育目標や年間学習指導計画、週時程表、生活時間帯など数多くの内容が含まれている。教育課程は、各学校が独自に編成すべきものであるが、公教育を担っている性格上、守るべき水準がある。しかし、それぞれの学校には、歴史的な経緯や地域性の違いだけでなく、学校規模や施設環境などの違いもある。何よりも、克服すべき課題が異なる。この課題を克服しようと努力していく過程で、各学校の特色ある教育活動は生まれてくる。
学習指導要領の改訂の変遷を概観するとともに、今日的な教育課題としての新型コロナ対応やGIGAスクール構想の実現に向けた努力も学んでいく。そのうえで、各学校が行う教育課題の克服に向けた大きな計画が「教育課程」にあることを理解する。教育課程の実施状況に加えて、学校評価や学校運営協議会（コミュニティ・スクール構想）も幅広く学び、教育課程全般の基礎を理解する。

（注意）小学校教諭免許状取得予定者は必修である。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
小学校学習指導要領（平成29年告示）解説・総則編を中心に概要を調べておくことが望ましい。授業後は、本時の学習内容について、配付プリント等や学習指導要領解説・総則編等を参考に復習すること。

[授業計画]
1.「教育課程」が急速に注目され出した背景とは何か
2.「教育課程」の具体的な種類と内容、方法とは何か
3.「新型コロナ」対応で教育課程はどう変わったのか
4.「GIGAスクール構想」で教育課程はどう変わるのか
5.「教育新時代」の教育課程を誰が再考して編成するのか
6.「学習指導要領の変遷」に学ぶ教育課程の意義とは何か
7.「各学校の教育課程」の具体的な違いから何が見えるか
8.「特色ある教育活動」が生まれてくる根本要因は何か
9.「教科書の変遷」が教育課程に与えた影響は何か
10.「学校行事の変化」が教育課程に与えた影響は何か
11.「健全育成等の他の要因」が教育課程に与えた影響は何か
12.「教育課程実施状況調査」の現状における課題は何か
13.「新たな学校評価」のあり方と教育課程編成の関係は何か
14.「コミュニティ・スクール」の教育課程の重要性は何か
15.「一つ上をめざす」教育課程とは何か

[成績評価方法]
・1～14回　5分程度のミニレポート（70%）
・15回目　　まとめのレポート（30%）

欠席の場合には、個別に相談して、回復できるように努力します。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
・質問や望ましい意見は、要約して次回の講義で紹介する。
・解決できていない学習上の問題点については、個別に対応する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	小学校教育課程論	前期	講義	2 単位
サブタイトル	新型コロナ対応とGIGAスクール構想の実現のなかで			
担当者	宮本　晃郎			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：・ミニレポートにおける新たな気付きと疑問の記載内容により、本時の学習内容における理解の程度と問題意識を評価・まとめのレポートでは、教育課程に関するキーワードを活用して表現したものを評価

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：・ミニレポートにおける新たな気付きと疑問の記載内容により、本時の学習内容における理解の程度と問題意識を評価・まとめのレポートでは、教育課程に関するキーワードを活用して表現したものを評価

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：・ミニレポートにおける新たな気付きと疑問の記載内容により、本時の学習内容における理解の程度と問題意識を評価・まとめのレポートでは、教育課程に関するキーワードを活用して表現したものを評価

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：・ミニレポートにおける新たな気付きと疑問の記載内容により、本時の学習内容における理解の程度と問題意識を評価・まとめのレポートでは、教育課程に関するキーワードを活用して表現したものを評価

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：・ミニレポートにおける新たな気付きと疑問の記載内容により、本時の学習内容における理解の程度と問題意識を評価・まとめのレポートでは、教育課程に関するキーワードを活用して表現したものを評価

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：・ミニレポートにおける新たな気付きと疑問の記載内容により、本時の学習内容における理解の程度と問題意識を評価・まとめのレポートでは、教育課程に関するキーワードを活用して表現したものを評価

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題、課題に対する取組

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート課題

[教科書（ISBN）]
小学校学習指導要領(平成29年告示)解説　総則編　著者名：文部科学省　出版社：東洋館出版社　(9784491034614)
小学校学習指導要領(平成29年告示)　著者名：文部科学省　出版社：東洋館出版社　(9784491034607)

[参考書（ISBN）]
「教育課程」－これから求められるカリキュラム開発－　著者名：石村卓也著　出版社：昭和堂　(978-4-8122-0910-3)
『教育課程論』　著者名：柴田義松編著　出版社：学文社　(978-4-7620-1896-1)

科目名	初等教育実習Ⅰ	後期～2022年度	実習	2 単位
サブタイトル	基礎的な教育実践力をつけよう			
担当者	榎元　十三男、松崎　隆幸			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
各学校での教育実習を通じて、教育の実際を学び、確実な学級経営や授業などの教育実践ができる力を身につける。特に、観察実習を中心に、教科指導力の向上を図る。

[授業概要]
各学校での管理職をはじめ校務担当教員の講話、学級担任・教科担任の指導を受けて、観察実習を中心に、教科指導力の向上を図る。また、教科指導のほかに、生徒指導をはじめとする校務にも携わり、実践的な指導力の向上を図る。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各教科指導法の概要・学習指導案の作成、人権・学級経営・生徒指導等の学校での学習指導に必要な事項について、その概要を復習しておくこと。

[授業計画]
事前指導（榎元・松崎）
学校実習
・管理職の講話
・校務担当教職員の講話と指導
・校務処理の仕方について
・学級担任の指導、学級経営の実際
・教科担任の指導と観察実習
・学習指導案の作成と指導
・授業実践と指導
・大学教員の指導等
・研究授業と反省
・実習のまとめ
事後指導（榎元・松崎）
・実習後の課題の整理等

[成績評価方法]
実習状況（40%）、実習校からの評価資料（40%）、実習記録等（20%）
実習記録はコメントを記入の上本人に返却する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
不十分なレポート等については、個別に指導を行い再提出を求める。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	初等教育実習Ⅰ	後期～2022年度	実習	2 単位
サブタイトル	基礎的な教育実践力をつけよう			
担当者	榎元　十三男、松崎　隆幸			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：実習記録ノート、実習校からの評価

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：実習記録ノート、実習校からの評価

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：実習記録ノート、実習校からの評価

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：実習記録ノート、実習校からの評価

学科DP番号／DP内容：教育3-5／教員という職業自体が社会的に特に高い人格・識見を求められる性質のものであることから、教員としての使命感を自覚し、その資質向上のためにたゆまず研鑽を積む態度と幼児・児童・生徒に対する教育的愛情をもつことができる。
成績評価方法：実習記録ノート、実習校からの評価

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：実習記録ノート、実習校からの評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：実習記録ノート、実習校からの評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：実習記録ノート、実習校からの評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：実習記録ノート、実習校からの評価

[教科書（ISBN）]
適宜プリント等を配付

[参考書（ISBN）]
各自調達のこと

科目名	初等教育実習Ⅰ	後期～2022年度	実習	2 単位
サブタイトル				
担当者	平井　和恵			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
　これまで習得してきた知識や技能を基盤にして、教育実習を経験することにより、幼児教育の場で活躍できる実践力を養う。また、今後の課題を見つけ、将来の展望をしっかりと持てるようになる。

[授業概要]
　幼稚園で幼児と共に生活し、保育者や大学教員の指導を受けながら、観察実習、部分実習、1日実習を経験する。また、様々な行事への取り組みや学級の管理運営、教員の服務に関すること等幼児教育の全般にわたり実習を経験する。さらに、園外保育、預かり保育、未就園児保育、園庭開放に参加しながら、それぞれの役割や意義を知る。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
　教育実習指導で学んだことを基礎に復習すること

[授業計画]
1. 事前指導（実習の心得・実習内容と方法・実習記録の書き方等）
2. オリエンテーション
3. 観察実習・部分実習・1日実習
4. 実習記録・指導案作成
5. 研究保育・反省会
6. 園長講話・大学教員指導
7. 事後指導（今後の課題・実習の活用・将来への展望等）

[成績評価方法]
実習園の評価（60%）、実習記録（20%）、実習態度（20%）。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	初等教育実習Ⅰ	後期～2022年度	実習	2 単位
サブタイトル				
担当者	平井　和恵			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：実習記録

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：実習態度

学科DP番号／DP内容：教育3-5／教員という職業自体が社会的に特に高い人格・識見を求められる性質のものであることから、教員としての使命感を自覚し、その資質向上のためにたゆまず研鑽を積む態度と幼児・児童・生徒に対する教育的愛情をもつことができる。
成績評価方法：実習園評価

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：実習記録

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：実習園評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：実習態度

[教科書（ISBN）]
配布資料等

[参考書（ISBN）]
幼稚園教育要領解説　著者名：文部科学省　出版社：フレーベル館（9784577814475）

S60241A

科目名	初等教育実習Ⅰ	後期～2022年度	実習	2 単位
サブタイトル				
担当者	平井　和恵			

[実務経験のある教員による授業]
〇

[到達目標]
　これまで習得してきた知識や技能を基盤にして、教育実習を経験することにより、幼児教育の場で活躍できる実践力を養う。また、今後の課題を見つけ、将来の展望をしっかりと持てるようになる。

[授業概要]
　幼稚園で幼児と共に生活し、保育者や大学教員の指導を受けながら、観察実習、部分実習、１日実習を経験する。また、様々な行事への取り組みや学級の管理運営、教員の服務に関すること等幼児教育の全般にわたり実習を経験する。さらに、園外保育、預かり保育、未就園児保育、園庭開放に参加しながら、それぞれの役割や意義を知る。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
　教育実習指導で学んだことを基礎に復習すること

[授業計画]
1. 事前指導（実習の心得・実習内容と方法・実習記録の書き方等）
2. オリエンテーション
3. 観察実習・部分実習・１日実習
4. 実習記録・指導案作成
5. 研究保育・反省会
6. 園長講話
7. 事後指導（今後の課題・実習の活用・将来への展望等）

[成績評価方法]
実習園の評価（60%）、実習記録（20%）、実習態度（20%）。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S60242A

科目名	初等教育実習Ⅰ	後期～2022年度	実習	2 単位
サブタイトル				
担当者	平井　和恵			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：実習記録

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：実習態度

学科DP番号／DP内容：教育3-5／教員という職業自体が社会的に特に高い人格・識見を求められる性質のものであることから、教員としての使命感を自覚し、その資質向上のためにたゆまず研鑽を積む態度と幼児・児童・生徒に対する教育的愛情をもつことができる。
成績評価方法：実習園評価

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：実習記録

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：実習園評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：実習態度

[教科書（ISBN）]
配布資料等

[参考書（ISBN）]
幼稚園教育要領解説　著者名：文部科学省　出版社：フレーベル館（9784577814475）

S60242A

科目名	初等教育実習Ⅱ	後期～2022年度	実習	2 単位
サブタイトル	基礎的な教育実践力をつけよう			
担当者	榎元　十三男、松崎　隆幸			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
各学校での教育実習を通じて、教育の実際を学び、確実な学級経営や授業などの教育実践ができる力を身につける。特に、観察実習を中心に、教科指導力の向上を図る。

[授業概要]
各学校での管理職をはじめ校務担当教員の講話、学級担任・教科担任の指導を受けて、観察実習を中心に、教科指導力の向上を図る。また、教科指導のほかに、生徒指導をはじめとする校務にも携わり、実践的な指導力の向上を図る。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各教科指導法の概要・学習指導案の作成、人権・学級経営・生徒指導等の学校での学習指導に必要な事項について、その概要を復習しておくこと。

[授業計画]
事前指導（榎元・松崎）
学校実習
・管理職の講話
・校務担当教職員の講話と指導
・校務処理の仕方について
・学級担任の指導、学級経営の実際
・教科担任の指導と観察実習
・学習指導案の作成と指導
・授業実践と指導
・大学教員の指導等
・研究授業と反省
・実習のまとめ
事後指導（榎元・松崎）
・実習後の課題の整理等

[成績評価方法]
実習状況（40%）、実習校からの評価資料（40%）、実習記録等（20%）
実習記録はコメントを記入の上本人に返却する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
不十分なレポート等については、個別に指導を行い再提出を求める。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	初等教育実習Ⅱ	後期～2022年度	実習	2 単位
サブタイトル	基礎的な教育実践力をつけよう			
担当者	榎元　十三男、松崎　隆幸			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：実習記録ノート、実習校からの評価

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：実習記録ノート、実習校からの評価

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：実習記録ノート、実習校からの評価

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：実習記録ノート、実習校からの評価

学科DP番号／DP内容：教育3-5／教員という職業自体が社会的に特に高い人格・識見を求められる性質のものであることから、教員としての使命感を自覚し、その資質向上のためにたゆまず研鑽を積む態度と幼児・児童・生徒に対する教育的愛情をもつことができる。
成績評価方法：実習記録ノート、実習校からの評価

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：実習記録ノート、実習校からの評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：実習記録ノート、実習校からの評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：実習記録ノート、実習校からの評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：実習記録ノート、実習校からの評価

[教科書（ISBN）]
適宜プリント等を配付

[参考書（ISBN）]
各自調達のこと

科目名	初等教育実習Ⅱ	後期～2022年度	実習	2 単位
サブタイトル				
担当者	平井　和恵			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
　これまで習得してきた知識や技能を基盤にして、教育実習を経験することにより、幼児教育の場で活躍できる実践力を養う。また、今後の課題を見つけ、将来の展望をしっかりと持てるようになる。

[授業概要]
　幼稚園で幼児と共に生活し、保育者や大学教員の指導を受けながら、観察実習、部分実習、1日実習を経験する。また、様々な行事への取り組みや学級の管理運営、教員の服務に関すること等幼児教育の全般にわたり実習を経験する。さらに、園外保育、預かり保育、未就園児保育、園庭開放に参加しながら、それぞれの役割や意義を知る。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
　教育実習指導で学んだことを基礎に復習すること

[授業計画]
1. 事前指導（実習の心得・実習内容と方法・実習記録の書き方等）
2. オリエンテーション
3. 観察実習・部分実習・1日実習
4. 実習記録・指導案作成
5. 研究保育・反省会
6. 園長講話・大学教員指導
7. 事後指導（今後の課題・実習の活用・将来への展望等）

[成績評価方法]
実習園の評価（60%）、実習記録（20%）、実習態度（20%）。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	初等教育実習Ⅱ	後期～2022年度	実習	2 単位
サブタイトル				
担当者	平井　和恵			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：実習記録

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：実習態度

学科DP番号／DP内容：教育3-5／教員という職業自体が社会的に特に高い人格・識見を求められる性質のものであることから、教員としての使命感を自覚し、その資質向上のためにたゆまず研鑽を積む態度と幼児・児童・生徒に対する教育的愛情をもつことができる。
成績評価方法：実習園評価

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：実習記録

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：実習園評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：実習態度

[教科書（ISBN）]
配布資料等

[参考書（ISBN）]
幼稚園教育要領解説　著者名：文部科学省　出版社：フレーベル館（9784577814475）

S60251A

科目名	初等教育実習Ⅱ	後期～2022年度	実習	2 単位
サブタイトル				
担当者	平井　和恵			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
　これまで習得してきた知識や技能を基盤にして、教育実習を経験することにより、幼児教育の場で活躍できる実践力を養う。また、今後の課題を見つけ、将来の展望をしっかりと持てるようになる。

[授業概要]
　幼稚園で幼児と共に生活し、保育者や大学教員の指導を受けながら、観察実習、部分実習、1日実習を経験する。また、様々な行事への取り組みや学級の管理運営、教員の服務に関すること等幼児教育の全般にわたり実習を経験する。さらに、園外保育、預かり保育、未就園児保育、園庭開放に参加しながら、それぞれの役割や意義を知る。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
　教育実習指導で学んだことを基礎に復習すること

[授業計画]
1. 事前指導（実習の心得・実習内容と方法・実習記録の書き方等）
2. オリエンテーション
3. 観察実習・部分実習・1日実習
4. 実習記録・指導案作成
5. 研究保育・反省会
6. 園長講話
7. 事後指導（今後の課題・実習の活用・将来への展望等）

[成績評価方法]
実習園の評価（60%）、実習記録（20%）、実習態度（20%）。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S60252A

科目名	初等教育実習Ⅱ	後期～2022年度	実習	2 単位
サブタイトル				
担当者	平井　和恵			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：実習記録

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：実習態度

学科DP番号／DP内容：教育3-5／教員という職業自体が社会的に特に高い人格・識見を求められる性質のものであることから、教員としての使命感を自覚し、その資質向上のためにたゆまず研鑽を積む態度と幼児・児童・生徒に対する教育的愛情をもつことができる。
成績評価方法：実習園評価

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：実習記録

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：実習園評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：実習態度

[教科書（ISBN）]
配布資料等

[参考書（ISBN）]
幼稚園教育要領解説　著者名：文部科学省　出版社：フレーベル館（9784577814475）

S60252A

科目名	人権教育	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	田中　美紀子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
「生きる力」を育む教育活動において重要となる、基本的な人権に関する知識を習得し、現実に人権問題に直面した時に的確な判断を行い対処できる能力が身につく。

[授業概要]
本講義では西洋近代における自然法思想における「自然権」を始点として、18世紀啓蒙思想における人権の意義と人権尊重の理念を把握し、人権という概念が、自由の概念とともに確立されてきたことを歴史的に認識する。さらに現代の日本に目を向け、学校、家庭およ地域社会の中で様々な状況において台頭する人権の問題を、身近な例を取り上げながら学ぶ。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
指定された文献・資料に目を通して疑問点をみつけておく。日頃から人権に関する時事問題に関心を持つように努めること。各回、予習復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. 人権とは何か。人権問題とは何か。
2. 人権の意義と理念(1) ロック、ホッブズにおける自然権
3. 人権の意義と理念(2) ルソーとフランス革命
4. 人権の意義と理念(3) 国連世界人権宣言
5. 人権の尊重(1) 日本国憲法
6. 人権の尊重(2) 自由と平等
7. 同和教育
8. 先住民および在日外国人の人権
9. 障害者の人権
10. 子供の人権
11. 女性の人権(1) 家庭における女性
12. 女性の人権(2) 社会における女性
13. 女性の人権(3) これからの女性
14. 高齢者の人権
15. 総括：自分の人権と他者の人権

[成績評価方法]
期末試験（100%）、授業態度、小テストの提出等を総合的に評価する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
試験の解答例は学内ウェブで公表する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	人権教育	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	田中　美紀子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：試験

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：試験

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：試験

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：試験

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：試験

[教科書（ISBN）]
なし。別途プリント配付。（なし。）

[参考書（ISBN）]
『人権をめぐる十五講―現代の難問に挑む（岩波現代全書）』2013年
テキストを購入する必要はない。　著者名：辻村 みよ子　出版社：岩波書店（なし。）
これでわかった!部落の歴史―私のダイガク講座　著者名：上杉聡　出版社：解放出版社（978-4759240405）

S60080 [LH3-130]

科目名	心理学演習	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	小原　依子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
各自が心理学の特定テーマに関する理解と知識及びその研究方法論を修得することを到達目標とする。

[授業概要]
各自が関心をもつテーマについて、自分たちで実験や調査を計画立案すると共に、データ収集、データの整理と分析を行い研究レポートを作成する。まず、自分たちが計画した問題(テーマ)や方法(実験、調査内容など)について、互いに議論を行うことで内容を深める。その後、互いに協力して調査や実験を実施し、得られたデータを整理分析し、その結果を報告して相互討議する。さらに、まとめとして研究レポートを作成する。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
テーマ確定、資料収集、文献の講読、調査実験、収集データの統計的分析、研究レポートの作成など、各ステップで当面する課題の準備を行うこと。各回、予習復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 心理学論文作成の方法について
3. 各研究テーマについての心理学研究法に基づくデータ収集および発表1
4. 各研究テーマについての心理学研究法に基づくデータ収集および発表2
5. 各研究テーマについての心理学研究法に基づくデータ収集および発表3
6. 各研究テーマについての心理学研究法に基づくデータ収集および発表4
7. 各研究テーマについての心理学研究法に基づくデータ収集および発表5
8. 各研究テーマについての心理学研究法に基づくデータ収集および発表6
9. 各研究テーマについてのレポート作成とディスカッション1
10. 各研究テーマについてのレポート作成とディスカッション2
11. 各研究テーマについてのレポート作成とディスカッション3
12. 各研究テーマについてのレポート作成とディスカッション4
13. 各研究テーマについてのレポート作成とディスカッション5
14. 各研究テーマについてのレポート作成とディスカッション6
15. 全体のまとめ

[成績評価方法]
発表(30%)、討議への参加態度(20%)、レポート(50%)による。
・発表やレポートのフィードバックは授業内で行っていく。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	心理学演習	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	小原　依子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：発表・討議への参加態度

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：発表・討議への参加態度

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：発表・討議への参加態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：発表・討議への参加態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表・討議への参加態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：発表・討議への参加態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：発表・討議への参加態度

[教科書（ISBN）]
なし。必要に応じて資料を配付する。

[参考書（ISBN）]
なし。授業内に随時紹介する。

科目名	心理学演習	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	前田　研史			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
各自が心理学の特定のテーマに関する理解と知識及びその研究方法論を修得することを到達目標とする。

[授業概要]
各自が関心をもつテーマについて、自分たちで実験や調査を計画立案すると共に、データ収集、データの整理と分析を行い研究レポートを作成する。まず、自分たちが計画した問題(テーマ)や方法(実験、調査内容など)について、互いに議論を行うことで内容を深める。その後、互いに協力して調査や実験を実施し、得られたデータを整理分析し、その結果を報告して相互討議する。さらに、まとめとして研究レポートを作成する。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
テーマ確定、資料収集、文献の購読、調査実験、収集データの統計的分析、研究レポートの作成など、各ステップで当面する課題の準備を行うこと。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 心理学論文作成の方法について
3. 各研究テーマについての心理学研究方法に基づくデータ収集および発表1
4. 各研究テーマについての心理学研究方法に基づくデータ収集および発表2
5. 各研究テーマについての心理学研究方法に基づくデータ収集および発表3
6. 各研究テーマについての心理学研究方法に基づくデータ収集および発表4
7. 各研究テーマについての心理学研究方法に基づくデータ収集および発表5
8. 各研究テーマについての心理学研究方法に基づくデータ収集および発表6
9. 各研究テーマについてのレポート作成とディスカッション1
10. 各研究テーマについてのレポート作成とディスカッション2
11. 各研究テーマについてのレポート作成とディスカッション3
12. 各研究テーマについてのレポート作成とディスカッション4
13. 各研究テーマについてのレポート作成とディスカッション5
14. 各研究テーマについてのレポート作成とディスカッション6
15. 全体のまとめ

[成績評価方法]
発表(30%)、討論への参加態度(20%)、レポート(50%)による。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
フィードバックは授業内で行う

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	心理学演習	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	前田　研史			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：発表（30%）討論への参加態度（20%）レポート（50%）

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：発表（30%）討論への参加態度（20%）レポート（50%）

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：発表（30%）討論への参加態度（20%）レポート（50%）

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
随時紹介する。

S63251 [LI3-011]

科目名	心理学演習	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	曽山　いづみ			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
各自が心理学の特定のテーマに関する理解と知識及びその研究方法論を修得することを到達目標とする。

[授業概要]
各自が関心をもつテーマについて、自分たちで実験や調査を計画立案すると共に、データ収集、データの整理と分析を行い研究レポートを作成する。まず、自分たちが計画した問題(テーマ)や方法(実験、調査内容など)について、互いに議論を行うことで内容を深める。その後、互いに協力して調査や実験を実施し、得られたデータを整理分析し、その結果を報告して相互討議する。さらに、まとめとして研究レポートを作成する。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
テーマ確定、資料収集、文献の購読、調査実験、収集データの統計的分析、研究レポートの作成など、各ステップで当面する課題の準備を行うこと。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 心理学論文作成の方法について
3. 各研究テーマについての心理学研究方法に基づくデータ収集および発表1
4. 各研究テーマについての心理学研究方法に基づくデータ収集および発表2
5. 各研究テーマについての心理学研究方法に基づくデータ収集および発表3
6. 各研究テーマについての心理学研究方法に基づくデータ収集および発表4
7. 各研究テーマについての心理学研究方法に基づくデータ収集および発表5
8. 各研究テーマについての心理学研究方法に基づくデータ収集および発表6
9. 各研究テーマについてのレポート作成とディスカッション1
10. 各研究テーマについてのレポート作成とディスカッション2
11. 各研究テーマについてのレポート作成とディスカッション3
12. 各研究テーマについてのレポート作成とディスカッション4
13. 各研究テーマについてのレポート作成とディスカッション5
14. 各研究テーマについてのレポート作成とディスカッション6
15. 全体のまとめ

[成績評価方法]
発表(30%)、討論への参加態度(20%)、レポート(50%)による。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
口頭で講評する。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	心理学演習	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	曽山　いづみ			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：発表（30%）討論への参加態度（20%）レポート（50%）

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：発表（30%）討論への参加態度（20%）レポート（50%）

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：発表（30%）討論への参加態度（20%）レポート（50%）

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
随時紹介する。

S63252 [LI3-011]

科目名	心理学演習	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	巣黒　慎太郎			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
各自が心理学の特定テーマに関する理解と知識及びその研究方法論を修得することを到達目標とする。

[授業概要]
各自が関心をもつテーマについて、自分たちで実験や調査を計画立案すると共に、データ収集、データの整理と分析を行い研究レポートを作成する。まず、自分たちが計画した問題(テーマ)や方法(実験、調査内容など)について、互いに議論を行うことで内容を深める。その後、互いに協力して調査や実験を実施し、得られたデータを整理分析し、その結果を報告して相互討議する。さらに、まとめとして研究レポートを作成する。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
テーマ確定、資料収集、文献の講読、調査実験、収集データの統計的分析、研究レポートの作成など、各ステップで当面する課題の準備を行うこと。各回、予習復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 心理学論文作成の方法について
3. 各研究テーマについての心理学研究法に基づくデータ収集および発表1
4. 各研究テーマについての心理学研究法に基づくデータ収集および発表2
5. 各研究テーマについての心理学研究法に基づくデータ収集および発表3
6. 各研究テーマについての心理学研究法に基づくデータ収集および発表4
7. 各研究テーマについての心理学研究法に基づくデータ収集および発表5
8. 各研究テーマについての心理学研究法に基づくデータ収集および発表6
9. 各研究テーマについてのレポート作成とディスカッション1
10. 各研究テーマについてのレポート作成とディスカッション2
11. 各研究テーマについてのレポート作成とディスカッション3
12. 各研究テーマについてのレポート作成とディスカッション4
13. 各研究テーマについてのレポート作成とディスカッション5
14. 各研究テーマについてのレポート作成とディスカッション6
15. 全体のまとめ

[成績評価方法]
発表(30%)、討議への参加態度(20%)、レポート(50%)による。
・発表やレポートのフィードバックは授業内で行っていく。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	心理学演習	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	巣黒　慎太郎			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：発表・討議への参加態度

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：発表・討議への参加態度

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：発表・討議への参加態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：発表・討議への参加態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表・討議への参加態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：発表・討議への参加態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：発表・討議への参加態度

[教科書（ISBN）]
なし。必要に応じて資料を配布する。

[参考書（ISBN）]
なし。授業内に随時紹介する。

科目名	心理学演習	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	佐伯　恵里奈			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
各自が心理学の特定テーマに関する理解と知識及びその研究方法論を修得することを到達目標とする。

[授業概要]
各自が関心をもつテーマについて、自分たちで実験や調査を計画立案すると共に、データ収集、データの整理と分析を行い研究レポートを作成する。まず、自分たちが計画した問題（テーマ）や方法（実験、調査内容など）について、互いに議論を行うことで内容を深める。その後、互いに協力して調査や実験を実施し、得られたデータを整理分析し、その結果を報告して相互討議する。さらに、まとめとして研究レポートを作成する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
　テーマ確定、資料収集、文献の講読、調査実験、収集データの統計的分析、研究レポートの作成など、各ステップで当面する課題の準備を行うこと。
各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 心理学論文作成の方法について
3. 各研究テーマについての心理学研究法に基づくデータ収集および発表１
4. 各研究テーマについての心理学研究法に基づくデータ収集および発表２
5. 各研究テーマについての心理学研究法に基づくデータ収集および発表３
6. 各研究テーマについての心理学研究法に基づくデータ収集および発表４
7. 各研究テーマについての心理学研究法に基づくデータ収集および発表５
8. 各研究テーマについての心理学研究法に基づくデータ収集および発表６
9. 各研究テーマについてのレポート作成とディスカッション１
10. 各研究テーマについてのレポート作成とディスカッション２
11. 各研究テーマについてのレポート作成とディスカッション３
12. 各研究テーマについてのレポート作成とディスカッション４
13. 各研究テーマについてのレポート作成とディスカッション５
14. 各研究テーマについてのレポート作成とディスカッション６
15. 全体のまとめ

[成績評価方法]
発表（30%）、討論への参加態度（20%）、レポート(50%)による。
フィードバックは授業時および成績問合せに対応して行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	心理学演習	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	佐伯　恵里奈			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：発表、レポート

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：参加態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：参加態度とレポート

[教科書（ISBN）]
なし。必要に応じて配布する。 著者名：x 出版社：x （x）

[参考書（ISBN）]
なし。授業内に随時紹介する。 著者名：x 出版社：x

S63254 [LI3-011]

科目名	心理学研究法Ⅰ	前期	実験	2 単位
サブタイトル				
担当者	佐伯　恵里奈、曽山　いづみ			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
心理学の基礎となる実験法について、実際の実験を通して学び、人間についての心理学的な基礎理解を深めることを到達目標とします。

[授業概要]
心理学実験法の実習を行いながら、実験的研究の方法に関する理解を深めます。具体的には、さまざまなテーマに関する実験を相互に実施し、得られたデータの統計的処理を行います。これに基づいて、テーマごとに実験レポートの提出を求めます。実験の都合上、時間が延長される場合があるので注意してください。なお、実習であるため、受講は心理学コースの学生に限ります。心理学コース以外の学生で履修を希望する者は事前に相談に来ること。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
次回までに行っておくよう指示された課題に取り組み、教員への質問等も行いながら課題を仕上げること。各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
1. 授業の目的と予定（佐伯）
2. 学習・記憶についての演習（佐伯）
3. 感覚・知覚に関する実験（1）（佐伯）
4. 感覚・知覚に関する実験（2）（佐伯）
5. データ処理（佐伯）
6. レポート作成の方法（佐伯）
7. 情意・行動に関する実験（1）（佐伯）
8. 情意・行動に関する実験（2）（佐伯）
9. 学習・記憶に関する実験（1）（佐伯）
10. 学習・記憶に関する実験（2）（佐伯）
11. 思考・概念に関する実験（1）（曽山）
12. 思考・概念に関する実験（2）（曽山）
13. 人格・測定に関する実験（1）（曽山）
14. 人格・測定に関する実験（2）（曽山）
15. 実験法のまとめ（佐伯）

[成績評価方法]
レポート（70%）、授業時の課題（30%）を総合的に判断して評価します。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートは添削して返却します

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	心理学研究法Ⅰ	前期	実験	2 単位
サブタイトル				
担当者	佐伯　恵里奈、曽山　いづみ			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：レポート（70%）、授業時の課題（30%）を総合的に判断して評価する。

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：レポート（70%）、授業時の課題（30%）を総合的に判断して評価する。

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：レポート（70%）、授業時の課題（30%）を総合的に判断して評価する。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：授業時の課題

[教科書（ISBN）]
プリントを配布する。

[参考書（ISBN）]
なし　著者名：x　出版社：x

S63080 [LH2-133]

科目名	心理学研究法Ⅱ	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	尾﨑　勝彦			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
グループワークを通して、質問紙調査におけるテーマ・目的の設定、調査の計画立案、質問紙の作成と調査の実施、データの分析などの手順を理解する。研究レポートの書き方に従って自分でレポートを作成する。

[授業概要]
心理学研究法Ⅰ（基礎実験）に続いて研究法Ⅱでは、心理尺度を用いた質問紙調査法を取り上げ、調査テーマ・目的の設定、調査の計画立案、質問紙の作成と調査の実施、データ処理と結果の分析などの手順、研究レポート作成までのプロセスをグループワークとして完成させる（レポート作成は個別作業である）。認定心理士資格のための必修科目のため、原則として心理学コース履修者を対象とする。コース外からの受講希望者は事前に相談のこと。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
・統計分析(特にt検定)の復習をしておくこと。
・後半はグループメンバー間の協力が不可欠。グループ内でのコミュニケーションが重要。さらに、予備調査および本調査で集めたデータはグループ内で共有して、メンバーで協力して次の授業までにデータ入力や分析などの作業を進めていきます。

[授業計画]
【全て遠隔授業】
1. オリエンテーション－講義で学ぶこと、講義の狙い等、第2回目の準備
2. 質問紙調査法概要(1)質問紙への回答
3. 質問紙調査法概要(2)心理尺度とは？　質問紙の構成
4. 質問紙調査法概要(3)因子得点の計算
5. 質問紙調査法概要(4)分析とレポート1作成
6. 質問紙調査法概要（5)設問項目の配置の検討
7. 質問紙調査の実施(1)グループ討議1；調査テーマ、使用尺度
8. 質問紙調査の実施(2)グループ討議2；質問紙作成、調査実施計画
9. 質問紙調査の実施(3)調査実施とデータ入力フォーマットの作成
10. 質問紙調査の実施(4)データ入力（EXCELによるデータ処理）
11. 質問紙調査の実施(5)データ分析（EXCELによるデータ処理）
12. 質問紙調査の実施(6)データ分析（EXCELによるデータ処理）
13. 質問紙調査の実施(7)データ分析（EXCELによるデータ処理）
14. 質問紙調査のまとめ(1)研究レポート(レポート2)作成手順
15. 質問紙調査のまとめ(2)研究レポート(レポート2)作成

[成績評価方法]
レポート1（20%），グループワークへの貢献度(20%)，レポート2(60%)の総合評価

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポート1について、その後のグループワーク時などに授業時間中に個別にフィードバックしていく予定。
レポート2については、できるだけ途中段階で、チェックを受けに来てください。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	心理学研究法Ⅱ	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	尾﨑　勝彦			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の感が家を適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／道筋に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法見出せる能力
成績評価方法：レポート課題

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
なし

科目名	心理学講読	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	小原　依子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
各自が心理学の特定テーマに関する問題意識を高め、心理学演習での取り組みに発展させることを到達目標とする。

[授業概要]
ゼミ担当教員の指導のもとに、心理学の各領域に関する文献を講読する。「発達」「認知・学習」「人格（パーソナリティ）」「臨床」「社会」などの領域から、ゼミ担当教員の専門領域を中心に、各自が関心をもつ領域・テーマにそった文献をえらび、順番にその内容について発表資料を作成して紹介しあい、ディスカッションしながら、心理学の専門的テーマへの理解を深めていく。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
心理学一般の知識や心理学における実験研究・調査研究などの手法について復習をしながら、研究テーマについての発表資料を作成し、ディスカッションのための準備をしておくこと。
各回、予習復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 文献検索の方法について
3. 先行研究や最新データについて
4. 心理学研究法（文献研究、事例研究）について
5. 心理学研究法（調査研究、実験研究）について
6. 文献研究についての発表とディスカッション①
7. 文献研究についての発表とディスカッション②
8. 文献研究についての発表とディスカッション③
9. 文献研究についての発表とディスカッション④
10. 文献研究についての発表とディスカッション⑤
11. 文献研究についての発表とディスカッション⑥
12. 文献研究についての発表とディスカッション⑦
13. 文献研究についての発表とディスカッション⑧
14. 文献研究についての発表とディスカッション⑨
15. 各研究テーマのまとめ

[成績評価方法]
発表（60%）、討議への参加態度（40%）による。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	心理学講読	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	小原　依子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：発表・討議への参加態度

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：発表・討議への参加態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表・討議への参加態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：発表・討議への参加態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：発表・討議への参加態度

[教科書（ISBN）]
なし。必要に応じて資料を配付する。

[参考書（ISBN）]
なし。授業内で随時紹介する。

科目名	心理学講読	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	前田　研史			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
各自が心理学の特定のテーマに関する理解と知識及びその研究方法論を修得することを到達目標とする。

[授業概要]
ゼミ担当教員の指導のもとに、心理学の各領域に関する文献を講読する。
「発達」「認知・学習」「人格（パーソナリティ）」「臨床」「社会」などの領域から、ゼミ担当教員の専門領域を中心に、各自が関心をもつ領域・テーマにそった文献をえらび、順番にその内容について発表資料を作成して紹介しあい、討論することで、心理学の専門的テーマへの理解を深めていく。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各自の担当箇所に関する予習だけでなく、他のメンバーが担当する箇所についても、よく読み込んでおくこと。

[授業計画]
1. 心理学文献の読み方
2. 心理学文献の検索方法
3. 発達心理学に関する文献の輪読1
4. 発達心理学に関する文献の輪読2
5. 発達心理学に関する文献の輪読3
6. 発達心理学に関する文献の輪読4
7. 発達心理学に関する文献の輪読5
8. 発達心理学に関する文献の輪読6
9. 発達臨床心理学に関する文献の輪読1
10. 発達臨床心理学に関する文献の輪読2
11. 発達臨床心理学に関する文献の輪読3
12. 発達臨床心理学に関する文献の輪読4
13. 発達臨床心理学に関する文献の輪読5
14. 発達臨床心理学に関する文献の輪読6
15. まとめ

[成績評価方法]
発表（60%）、討論への参加態度（40%）による。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
フィードバックは授業内で行う

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	心理学講読	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	前田　研史			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：発表（60%）討論への参加態度（40%）

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：発表（60%）討論への参加態度（40%）

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表（60%）討論への参加態度（40%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法：発表（60%）討論への参加態度（40%）

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
随時紹介する。

S63201 [LI3-010]

科目名	心理学講読	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	曽山　いづみ			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
各自が心理学の特定テーマに関する問題意識を高め、心理学演習での取り組みに発展させることを目標とする。

[授業概要]
ゼミ担当教員の指導のもとに、心理学の各領域に関する文献を講読する。
「発達」「認知・学習」「人格（パーソナリティ）」「臨床」「社会」などの領域から、ゼミ担当教員の専門領域を中心に、各自が関心をもつ領域・テーマにそった文献をえらび、順番にその内容について発表資料を作成して紹介しあい、討論することで、心理学の専門的テーマへの理解を深めていく。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各自の担当箇所に関する予習だけでなく、他のメンバーが担当する箇所についても、よく読み込んでおくこと。

[授業計画]
【全て遠隔授業】
1. 心理学文献の読み方
2. 心理学文献の検索方法
3. 発達心理学に関する文献の輪読1
4. 発達心理学に関する文献の輪読2
5. 発達心理学に関する文献の輪読3
6. 発達心理学に関する文献の輪読4
7. 発達心理学に関する文献の輪読5
8. 発達心理学に関する文献の輪読6
9. 発達臨床心理学に関する文献の輪読1
10. 発達臨床心理学に関する文献の輪読2
11. 発達臨床心理学に関する文献の輪読3
12. 発達臨床心理学に関する文献の輪読4
13. 発達臨床心理学に関する文献の輪読5
14. 発達臨床心理学に関する文献の輪読6
15. まとめ

[成績評価方法]
発表（60%）、討論への参加態度（40%）による。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S63202 [LI3-010]

科目名	心理学講読	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	曽山　いづみ			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：発表（60%）討論への参加態度（40%）

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：発表（60%）討論への参加態度（40%）

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表（60%）討論への参加態度（40%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：発表（60%）討論への参加態度（40%）

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
随時紹介する。

科目名	心理学講読	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	巣黒　慎太郎			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
各自が心理学の特定テーマに関する問題意識を高め、年度後期「心理学演習」での取り組みに発展させることができる。

[授業概要]
ゼミ担当教員の指導のもとに、心理学の各領域に関する文献を講読する。「発達」「認知・学習」「人格（パーソナリティ）」「臨床」「社会」などの領域から、ゼミ担当教員の専門領域を中心に、各自が関心をもつ領域・テーマにそった文献をえらび、順番に発表を担当する。その内容について発表資料を作成して紹介しあいディスカッションしながら、心理学の専門的テーマへの理解を深めていく。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
心理学一般の知識や心理学における実験研究・調査研究などの手法について復習をしながら、研究テーマについての発表資料を作成し、ディスカッションのための準備をしておくこと。
各回、予習復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
【全て遠隔授業】
1. オリエンテーション
2. 文献検索の方法について
3. 先行研究や最新データについて
4. 心理学研究法（文献研究、事例研究）について
5. 心理学研究法（調査研究、実験研究）について
6. 文献研究についての発表とディスカッション①
7. 文献研究についての発表とディスカッション②
8. 文献研究についての発表とディスカッション③
9. 文献研究についての発表とディスカッション④
10. 文献研究についての発表とディスカッション⑤
11. 文献研究についての発表とディスカッション⑥
12. 文献研究についての発表とディスカッション⑦
13. 文献研究についての発表とディスカッション⑧
14. 文献研究についての発表とディスカッション⑨
15. 各研究テーマのまとめ

[成績評価方法]
発表（60%）、討議への参加態度（40%）による。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
発表に対しては授業中に即時コメントやアドバイスを与える。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	心理学講読	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	巣黒　慎太郎			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：発表・討議への参加態度

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：発表・討議への参加態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表・討議への参加態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：発表・討議への参加態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：発表・討議への参加態度

[教科書（ISBN）]
なし。必要に応じて資料を配付する。

[参考書（ISBN）]
なし。授業内で随時紹介する。

科目名	心理学講読	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	佐伯　恵里奈			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
各自が心理学の特定テーマに関する問題意識を高め、心理学演習での取り組みに発展させることを到達目標とします。

[授業概要]
研究を自主的にすすめていくのに必要な知識の理解を図るとともに、各自の関心のある心理学研究を精読、発表、討論を求めます。これらの活動を通して、卒業研究へとつながる受講生各自の研究テーマの具体化ならびに研究方法を検討します。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
前回の授業内容および該当する文献資料（プリント等）の関連個所を復習し、次回の予習または発表資料の準備をすること。各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
【全て遠隔授業】
1. 授業のねらい、文献紹介、発表予定
2. 発表資料作成と発表形式の例示
3. テーマごとの発表（1）
4. テーマごとの発表（2）
5. テーマごとの発表（3）
6. テーマごとの発表（4）
7. テーマごとの発表（5）
8. 中間まとめ
9. テーマごとの発表（6）
10. テーマごとの発表（7）
11. テーマごとの発表（8）
12. テーマごとの発表（9）
13. テーマごとの発表（10）
14. 全体の補足とまとめ（1）
15. 全体の補足とまとめ（2）

[成績評価方法]
ゼミでの発表（50%）、討論への参加態度（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
フィードバックは授業時に適宜行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	心理学講読	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	佐伯　恵里奈			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：ゼミでの発表

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：討論への参加態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：ゼミでの発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：討論への参加態度

[教科書（ISBN）]
プリントを配布します

[参考書（ISBN）]
なし

S63204 [LI3-010]

科目名	心理検査法実習	後期	実習	1 単位
サブタイトル				
担当者	巣黒　慎太郎			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
対象者理解のためのアセスメントについて学び、特に心理検査法の実際を中心に実習形式で体験しながら、心理アセスメントの基本を修得することを到達目標とする。

[授業概要]
心理アセスメント（査定・見立て）は、心理臨床実践において、援助を受ける側（クライエント）の抱える問題等を総合的・包括的に理解するために実施される専門的技法である。この授業では、クライエント理解のための心理アセスメントの概説と、特に心理検査法の実際を中心にとりあげ、知能検査、発達検査、質問紙法、投影法などの代表的な心理検査を実際に実習しながら、各課題のレポートを作成し、心理アセスメントの基礎的知識を習得していく。
心理学コース以外の履修希望者は、事前に相談に来ること。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
前回の授業内容を復習し理解しておくこと。そして心理検査全般通しての課題について、提出期限までに作成し、次の課題に臨むこと。各回、予習復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. 心理アセスメントとは（アセスメント方法、仮説形成から援助介入へ）
2. よい心理検査の条件とは
3. 心理検査の実際　1（知能検査：知能検査とは / WAISの紹介、体験）
4. 心理検査の実際　2（発達検査：発達検査とは / 新版K式発達検査の紹介）
5. 心理検査の実際　3（質問紙法：質問紙法とは/ YG性格検査の実施）
6. 心理検査の実際　4（質問紙法：YG性格検査の分析）（課題1）
7. 心理検査の実際　5（質問紙法：エゴグラムの実施と分析）（課題2）
8. 心理検査の実際　6（質問紙法：YG性格検査とエゴグラムの総合分析）（課題3）
9. 心理検査の実際　7（投影法：投影法とは/ 描画法（バウムテスト、人物画など））
10. 心理検査の実際　8（投影法：コラージュ制作と振り返り、総合分析）（課題4）
11. 心理検査の実際　9（投影法：SCT（文章完成法テスト）の実施と分析）（課題5）
12. 心理検査の実際　10（投影法：ロールシャッハテストの紹介）
13. 心理検査の実際　11（作業検査法：内田クレペリン作業検査の体験と解釈）（課題6）
14. 心理検査の実際　12神経心理学検査、症状評価尺度などの紹介、体験）
15. 検査の効用と限界、テストバッテリーについて、検査結果（所見）のまとめ方と伝え方（フィードバック）

[成績評価方法]
授業中の課題（30%）、レポート提出（70%）等を総合的に判断して評価する。
・授業中の課題、レポートは、授業内に随時フィードバックする。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	心理検査法実習	後期	実習	1 単位
サブタイトル				
担当者	巣黒　慎太郎			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：授業中の課題、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：授業中の課題、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：授業中の課題、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：授業中の課題、レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：授業中の課題、レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業中の課題、レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：授業中の課題、レポート課題

[教科書（ISBN）]
なし。授業時に随時資料を配布する。

[参考書（ISBN）]
精神・心理機能評価ハンドブック　著者名：山内俊雄、鹿島晴雄（編）　出版社：中山書店　（978-4-521-74192-5）
ストレススケールガイドブック　著者名：（財）パブリックヘルスリサーチセンター　出版社：実務教育出版　（4-7889-6080-X）
心理アセスメントハンドブック　第2版　著者名：上里一郎（監修）　出版社：西村書店　（4-89013-294-5）

科目名	心理統計	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	高橋　良幸			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
パソコンの表計算ソフト(EXCEL)を利用して，心理統計における基礎的な知識，表やグラフの作成，統計処理の技法の理解，処理結果の文章化ができる.

[授業概要]
心理学では人の心を科学的な視点から分析するために，計測可能なデータを実験・調査・観察を行うことによって収集し，統計的な分析を通して仮説を検証していく. この授業では，実際に収集されたデータを使用し，実験研究や調査研究の際に必要なデータの処理・分析の仕方を学ぶ.

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
前回の授業内容についてしっかりと復習し，次の授業に臨むこと.
また，Excelを使用するので，事前にExcelの基本的な操作等についても復習しておくこと.

[授業計画]
1.心理統計の基礎知識(データの種類と尺度水準)
2.データの特徴の記述(度数分布・ヒストグラム)
3.データの特徴の記述(代表値)
4.データの特徴の記述(散布図)
5.データの特徴の記述(散布図)
6.データの特徴の記述(相関)
7.データの特徴の記述(回帰)
8.EXCEL実習(データ入力・並び替え)
9.EXCEL実習(代表値)
10.EXCEL実習(散布図・ヒストグラム)
11.EXCEL実習(相関・回帰)
12.推測統計～母集団・正規分布～
13.推測統計～統計的仮説検定～
14.EXCEL実習
15.まとめ

[成績評価方法]
試験(70%)と授業中の課題(30%)の総合評価

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	心理統計	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	高橋　良幸			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_: 主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：試験

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
「よくわかる心理統計」 著者名：山田剛史・村井潤一郎　出版社：ミネルヴァ出版 （978-4623039999）
「使える統計―エクセルで学ぶ実践心理統計」 著者名：櫻井広幸・神宮秀夫　出版社：ナカニシヤ出版 （978-4888487757）

S63060 [LH2-131]

科目名	図画工作科概説	後期	講義	2 単位
サブタイトル	図画工作の基礎を学ぶ			
担当者	守本　智美			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
造形能力を育成し、美術を愛好する豊かな心と情操を養い、感性を高めることを目標とする。

[授業概要]
小学校学習指導要領の中で示されている、図画工作科の目標をもとに、その実現に向けて必要な能力修得の為、児童の表現実態の理解を深めると共に、美術造形の表現の基礎実習、学習指導計画及び指導案の作成、並びに美術作品の鑑賞等を行う。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各回、予習復習合わせて4時間程度。美術についての参考書籍を読んだり、質の高い作品作りを心がけるとともに、美術作品を日頃から美術館や画集等で見て、鑑賞眼を養うこと。
manaba（マナバ）にて授業に必要な連絡をするので、必ずmanabaに登録しておくこと。

[授業計画]
1.はじめに
2.学習指導要領にみる図画工作科の目標、内容について
3.学習指導要領にみる各学年の目標及び内容の理解
4.美術における表現と素材の問題について
5.写真等の情報機器の活用について
6.表現方法と作例鑑賞
7.絵画制作実習step1
8.絵画制作実習step2
9.絵画制作実習step3(仕上げ)
10.ﾓﾀﾞﾝﾃｸﾆｯｸによる表現と作例鑑賞
11.制作実習step1
12.制作実習step2
13.制作実習step3（仕上げ）
14. 学習指導案計画の解説及び指導案の作成
15. まとめ

[成績評価方法]
レポート（40%）・課題作品（60%）による総合評価。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
提出課題についてコメントを行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	図画工作科概説	後期	講義	2 単位
サブタイトル	図画工作の基礎を学ぶ			
担当者	守本　智美			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：レポート、課題作品

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：レポート、課題作品

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：レポート、課題作品

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：レポート、課題作品

[教科書（ISBN）]
小学校学習指導要領解説　図画工作編　著者名：文部科学省　出版社：日本文教出版株式会社（978-4-536-59011-2）

[参考書（ISBN）]
『図画工作・美術　用具用法事典』 著者名：相田盛二　著　出版社：日本文教出版（978-4-7830-40050-7）

S61200 [LH1-095]

科目名	図画工作科概説	後期	講義	2 単位
サブタイトル	図画工作の基礎を学ぶ			
担当者	守本　智美			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
造形能力を育成し、美術を愛好する豊かな心と情操を養い、感性を高めることを目標とする。

[授業概要]
小学校学習指導要領の中で示されている、図画工作科の目標をもとに、その実現に向けて必要な能力修得の為、児童の表現実態の理解を深めると共に、美術造形の表現の基礎実習、学習指導計画及び指導案の作成、並びに美術作品の鑑賞等を行う。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各回、予習復習合わせて4時間程度。美術についての参考書籍を読んだり、質の高い作品作りを心がけるとともに、美術作品を日頃から美術館や画集等で見て、鑑賞眼を養うこと。
manaba（マナバ）にて授業に必要な連絡をするので、必ずmanabaに登録しておくこと。

[授業計画]
1.はじめに
2.学習指導要領にみる図画工作科の目標、内容について
3.学習指導要領にみる各学年の目標及び内容の理解
4.美術における表現と素材の問題について
5.写真等の情報機器の活用について
6.表現方法と作例鑑賞
7.絵画制作実習step1
8.絵画制作実習step2
9.絵画制作実習step3(仕上げ)
10.ﾓﾀﾞﾝﾃｸﾆｯｸによる表現と作例鑑賞
11.制作実習step1
12.制作実習step2
13.制作実習step3（仕上げ）
14. 学習指導案計画の解説及び指導案の作成
15. まとめ

[成績評価方法]
レポート（40%）・課題作品（60%）による総合評価。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
提出課題についてコメントを行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	図画工作科概説	後期	講義	2 単位
サブタイトル	図画工作の基礎を学ぶ			
担当者	守本　智美			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：レポート、課題作品

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：レポート、課題作品

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：レポート、課題作品

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：レポート、課題作品

[教科書（ISBN）]
小学校学習指導要領解説　図画工作編　　著者名：文部科学省　出版社：日本文教出版株式会社（978-4-536-59011-2）

[参考書（ISBN）]
『図画工作・美術　用具用法事典』 著者名：相田盛二　著　出版社：日本文教出版（978-4-7830-40050-7）

S61201 [LH1-095]

科目名	図画工作科教育法	前期	講義	2 単位
サブタイトル	図画工作を理解する			
担当者	守本　智美			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
授業の到達目標及びテーマ
「図画工作科概説」で学んだ技法、材料、用具、表現等の基礎的な知識や内容をもとに、それらをさらに発展させ幅広い美術教育分野に通じた、感性豊かな実践力のある教員を育成することを目標とする。
1. 図画工作科の目標と指導内容、指導方法、指導計画、評価等を理解すること。
2. 様々な造形表現、技術、技能を身に着け、鑑賞教育にも精通すること。
3. 授業構成力を身に着け、情報機器も適切に扱える授業展開が出来るようになること。

[授業概要]
小学校学習指導要領の中で示されている、図画工作科の目標をもとに、その実現に向けて児童の表現に対する理解を深め、美術造形の表現の基礎実習、カメラやコンピュータ等の情報機器の操作を取り入れた作品制作や図画工作の授業の構成方法の考察、また学習指導計画及び指導案の作成、模擬授業並びにスマートフォン等の操作を取り入れた作品検索による美術作品の鑑賞等を行う。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各回、予習復習合わせて4時間程度。授業に関係する美術書籍類をよく読み、各回の授業内容を理解できるようにしておくこと。また美術館にも出かけて美術作品にも日頃から慣れ親しんでおくこと。
manaba（マナバ）にて授業に必要な連絡をするので、必ずmanabaに登録しておくこと。

[授業計画]
1.はじめに
2.図画工作科の目的と内容
3.表現と鑑賞の理解
4.色と形の理論の説明
5.「色彩構成」の表現及び作例鑑賞
6.「色彩構成」制作実習
7.「色彩構成」制作実習（仕上げ）
8.「版画」の表現及び作例鑑賞
9.「版画」の制作実習
10.「版画」の制作実習（仕上げ）
11.材料、用具、技法の説明(教材研究)
12.「工作」の制作実習
13.写真等の情報機器の教材の活用について（カメラ、コンピュータを用いた授業構成の実践）
14.学習指導案計画の解説及び指導案の作成
15.模擬授業及びまとめ

[成績評価方法]
レポート（50%）・課題作品（50%）による総合評価。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題作品等に対するコメントを行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	図画工作科教育法	前期	講義	2 単位
サブタイトル	図画工作を理解する			
担当者	守本　智美			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：レポート、課題作品

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：レポート、課題作品

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート、課題作品

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：レポート、課題作品

[教科書（ISBN）]
小学校学習指導要領解説　図画工作編　著者名：文部科学省　出版社：日本文教出版株式会社（978-4-536-59011-2）

[参考書（ISBN）]
なし
授業中に指示する

S61070

科目名	図画工作科教育法	前期	講義	2 単位
サブタイトル	図画工作を理解する			
担当者	守本　智美			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
授業の到達目標及びテーマ
「図画工作科概説」で学んだ技法、材料、用具、表現等の基礎的な知識や内容をもとに、それらをさらに発展させ幅広い美術教育分野に通じた、感性豊かな実践力のある教員を育成することを目標とする。
1. 図画工作科の目標と指導内容、指導方法、指導計画、評価等を理解すること。
2. 様々な造形表現、技術、技能を身に着け、鑑賞教育にも精通すること。
3. 授業構成力を身に着け、情報機器も適切に扱える授業展開が出来るようになること。

[授業概要]
小学校学習指導要領の中で示されている、図画工作科の目標をもとに、その実現に向けて児童の表現に対する理解を深め、美術造形の表現の基礎実習、カメラやコンピュータ等の情報機器の操作を取り入れた作品制作や図画工作の授業の構成方法の考察、また学習指導計画及び指導案の作成、模擬授業並びにスマートフォン等の操作を取り入れた作品検索による美術作品の鑑賞等を行う。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各回、予習復習合わせて4時間程度。授業に関係する美術書籍類をよく読み、各回の授業内容を理解できるようにしておくこと。また美術館にも出かけて美術作品にも日頃から慣れ親しんでおくこと。
manaba（マナバ）にて授業に必要な連絡をするので、必ずmanabaに登録しておくこと。

[授業計画]
1.はじめに
2.図画工作科の目的と内容
3.表現と鑑賞の理解
4.色と形の理論の説明
5.「色彩構成」の表現及び作例鑑賞
6.「色彩構成」制作実習
7.「色彩構成」制作実習（仕上げ）
8.「版画」の表現及び作例鑑賞
9.「版画」の制作実習
10.「版画」の制作実習（仕上げ）
11.材料、用具、技法の説明(教材研究)
12.「工作」の制作実習
13.写真等の情報機器の教材の活用について（カメラ、コンピュータを用いた授業構成の実践）
14.学習指導案計画の解説及び指導案の作成
15.模擬授業及びまとめ

[成績評価方法]
レポート（50%）・課題作品（50%）による総合評価。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題作品等に対するコメントを行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	図画工作科教育法	前期	講義	2 単位
サブタイトル	図画工作を理解する			
担当者	守本　智美			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：レポート、課題作品

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：レポート、課題作品

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート、課題作品

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：レポート、課題作品

[教科書（ISBN）]
小学校学習指導要領解説　図画工作編　著者名：文部科学省　出版社：日本文教出版株式会社（978-4-536-59011-2）

[参考書（ISBN）]
なし
授業中に指示する

S61071

科目名	図画工作科教材研究	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	安部　永			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
将来、小学校や幼稚園などの教育現場で役立つ立体造形や工作の知識・技能を習得します。
子どもたちに指導できるように、基本的な道具素材(のこぎり、金づち、ねんど等)の使い方、特性を理解します。

[授業概要]
立体造形の中で、主に粘土による制作を中心にします。対象をじっくり見つめ観察し、粘土で制作します。また、石膏や焼き物にも挑戦します。少し本格的な作業ですが、さまざまなことが学べます。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
前回の授業の制作内容をふりかえり、次回の授業に向け制作の手順を確認しておくこと。普段よりパブリツクアートに関心を持つよう心がけること

[授業計画]
1. 授業進行・成績評価等の説明、立体造形や工作で使出用する道具や素材についての解説
2. 粘土を楽しもう、粘土や身の回りの物をつかって楽しい作品作り
3. 粘土による制作(粘土遊び)
4. 粘土による制作(象嵌技法について)
5. 粘土による制作(手ひねりの練習)
6. 石膏でかたどり造形(石膏を使ってみよう)
7. 石膏でかたどり造形(石膏素材に慣れる)
8. 石膏でかたどり造形(石膏型の完成)
9. 彩色(立体作品に色をつけよう)
10. げずって作る立体(素材紹介、素材体験)
11. げずって作る立体(大きく削る。のこぎり、金づち、ノミ、などを使って)
12. 作にも役立つ道具たち~のこぎり、金づち、ペンチなどを使ってみよう
13. 木工作品を作ろう
14. 美術館を楽しもう
15.作品展示、鑑賞

[成績評価方法]
作品(40%) 、実技 (30%) 、授業態度(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S64690

科目名	図画工作科教材研究	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	安部　永			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：作品課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：作品課題

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
なし

S64690

科目名	生活科概説	前期	講義	2 単位
サブタイトル	幼保・小をつなぐ生活科			
担当者	金岩　俊明			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
生活科の系譜と基本理念を理解し、教科の目標及び内容について習得するとともに、評価方法の概要を知り、実践力の基礎・基本を養う。また、幼保・小連携に関わる理論と実践も習得する。

[授業概要]
生活科の教育実践は、小学校教育の入門時期における核となる教育活動である。幼保・小の連携においてその重要度は増してきており、生活科の基礎・基本を学ぶことは、遊びの学習化や問題解決学習の理念を習得することにつながる。また、生活科と総合的な学習の時間との関連にも言及し、学校や地域の特色を生かした小学校のカリキュラムづくりも概観する。授業実践の経験に基づく講義と演習を行う。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
生活科の理論と方法について、授業内容に即して学習指導要領の確認をしておくこと。授業の復習を行い、課題テストに備えること。

[授業計画]
1. 生活科とは（オリエンテーション）
2. 生活科教育の系譜①
3. 生活科教育の系譜②
4. 生活科の誕生
5. 生活科の趣旨
6. 生活科の目標①
7. 生活科の目標②
8. 生活科の内容①
9. 生活科の内容②
10. 生活科の学習指導①
11. 生活科の学習指導②
12. 生活科の学習指導③
13. 生活科の評価
14. 幼小連携と生活科
15. まとめ

[成績評価方法]
授業中の課題等（50%）試験（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
提出課題については授業内又はmanabaで返却します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	生活科概説	前期	講義	2 単位
サブタイトル	幼保・小をつなぐ生活科			
担当者	金岩　俊明			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：課題・試験

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：課題・試験

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：課題・試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：課題・試験

[教科書（ISBN）]
小学校学習指導要領(平成29年告示)解説　生活編　著者名：文部科学省　出版社：東洋館出版社
（9784491034645）

[参考書（ISBN）]
『生活科の授業づくりと評価』 著者名：高浦勝義・佐々井利夫　出版社：黎明書房 （978-4-654-01818-5）

S61180 [LH2-102]

科目名	生活科概説	前期	講義	2 単位
サブタイトル	幼保・小をつなぐ生活科			
担当者	金岩　俊明			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
生活科の系譜と基本理念を理解し、教科の目標及び内容について習得するとともに、評価方法の概要を知り、実践力の基礎・基本を養う。また、幼保・小連携に関わる理論と実践も習得する。

[授業概要]
生活科の教育実践は、小学校教育の入門時期における核となる教育活動である。幼保・小の連携においてその重要度は増してきており、生活科の基礎・基本を学ぶことは、遊びの学習化や問題解決学習の理念を習得することにつながる。また、生活科と総合的な学習の時間との関連にも言及し、学校や地域の特色を生かした小学校のカリキュラムづくりも概観する。授業実践の経験に基づく講義と演習を行う。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
生活科の理論と方法について、授業内容に即して学習指導要領の確認をしておくこと。授業の復習を行い、課題テストに備えること。

[授業計画]
1. 生活科とは（オリエンテーション）
2. 生活科教育の系譜①
3. 生活科教育の系譜②
4. 生活科の誕生
5. 生活科の趣旨
6. 生活科の目標①
7. 生活科の目標②
8. 生活科の内容①
9. 生活科の内容②
10. 生活科の学習指導①
11. 生活科の学習指導②
12. 生活科の学習指導③
13. 生活科の評価
14. 幼小連携と生活科
15. まとめ

[成績評価方法]
授業中の課題等（50%）試験（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
提出課題については授業内又はmanabaで返却します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	生活科概説	前期	講義	2 単位
サブタイトル	幼保・小をつなぐ生活科			
担当者	金岩　俊明			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：課題・試験

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：課題・試験

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：課題・試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：課題・試験

[教科書（ISBN）]
小学校学習指導要領(平成29年告示)解説　生活編　著者名：文部科学省　出版社：東洋館出版社
（9784491034645）

[参考書（ISBN）]
『生活科の授業づくりと評価』 著者名：高浦勝義・佐々井利夫　出版社：黎明書房 （978-4-654-01818-5）

S61181 [LH2-102]

科目名	生活科教育法	後期	講義	2 単位
サブタイトル	生活科の授業づくり			
担当者	金岩　俊明			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
学習指導要領における生活科の学習内容を理解するとともに、具体的な活動や体験を創造し、指導案を作成する。また、模擬授業を通して教材づくりや指導技術の習得、学習評価についての実践的指導力を高める。

[授業概要]
生活科の学習指導に際しての知識や技能について、「遊び」と「問題解決学習」をふまえて学習過程の構成を行う。さらに、具体的な内容を位置づけた各学年の指導計画に基づき、創造的な学習展開例を作成する。また、授業をデザインし、教師の支援の在り方や学びへの評価についても知見を広げていく。授業実践の経験に基づく講義と模擬授業指導を行う。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
生活科の理論と実践について、学習指導要領や文献で学習しておく。 また、各回の模擬授業の内容について評価し、習得した事項が生かせるようにする。

[授業計画]
1. 生活科の意義と授業づくり
2. 模擬授業について（情報機器及び機材の活用）
3. 学習指導の基本
4. 生活科の内容①「学校と生活」
5. 生活科の内容②「家庭と生活」
6. 生活科の内容③「地域と生活」
7. 生活科の内容④「公共物や公共施設の利用」
8. 生活科の内容⑤「季節の変化と生活」
9. 生活科の内容⑥「自然や物を使った遊び」
10. 生活科の内容⑦「動物の飼育」
11. 生活科の内容⑦「植物の栽培」
12. 生活科の内容⑧「生活や出来事の伝え合い」
13. 生活科の内容⑨「自分の成長」
14. 生活科の学習指導について
15. まとめ
※4～13は、模擬授業を含む。

[成績評価方法]
レポート及び課題（30%）指導案作成・模擬授業（30%）試験（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題のフィードバックは授業内等で行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	生活科教育法	後期	講義	2 単位
サブタイトル	生活科の授業づくり			
担当者	金岩　俊明			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：提出物・模擬授業・試験

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：提出物・模擬授業

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：提出物・模擬授業・試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：提出物・模擬授業

[教科書（ISBN）]
小学校学習指導要領（平成29年告示）解説　生活編　著者名：文部科学省　出版社：東洋館出版社 （978-4-491-03464-5）

[参考書（ISBN）]
資料を配布

S61050 [LH2-094]

科目名	生活科教育法	後期	講義	2 単位
サブタイトル	生活科の授業づくり			
担当者	金岩　俊明			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
学習指導要領における生活科の学習内容を理解するとともに、具体的な活動や体験を創造し、指導案を作成する。また、模擬授業を通して教材づくりや指導技術の習得、学習評価についての実践的指導力を高める。

[授業概要]
生活科の学習指導に際しての知識や技能について、「遊び」と「問題解決学習」をふまえて学習過程の構成を行う。さらに、具体的な内容を位置づけた各学年の指導計画に基づき、創造的な学習展開例を作成する。また、授業をデザインし、教師の支援の在り方や学びへの評価についても知見を広げていく。授業実践の経験に基づく講義と模擬授業指導を行う。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
生活科の理論と実践について、学習指導要領や文献で学習しておく。 また、各回の模擬授業の内容について評価し、習得した事項が生かせるようにする。

[授業計画]
1. 生活科の意義と授業づくり
2. 模擬授業について（情報機器及び機材の活用）
3. 学習指導の基本
4. 生活科の内容①「学校と生活」
5. 生活科の内容②「家庭と生活」
6. 生活科の内容③「地域と生活」
7. 生活科の内容④「公共物や公共施設の利用」
8. 生活科の内容⑤「季節の変化と生活」
9. 生活科の内容⑥「自然や物を使った遊び」
10. 生活科の内容⑦「動物の飼育」
11. 生活科の内容⑦「植物の栽培」
12. 生活科の内容⑧「生活や出来事の伝え合い」
13. 生活科の内容⑨「自分の成長」
14. 生活科の学習指導について
15. まとめ
※4～13は、模擬授業を含む。

[成績評価方法]
レポート及び課題（30%）指導案作成・模擬授業（30%）試験（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題のフィードバックは授業内等で行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	生活科教育法	後期	講義	2 単位
サブタイトル	生活科の授業づくり			
担当者	金岩　俊明			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：提出物・模擬授業・試験

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：提出物・模擬授業

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：提出物・模擬授業・試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：提出物・模擬授業

[教科書（ISBN）]
小学校学習指導要領（平成29年告示）解説　生活編　著者名：文部科学省　出版社：東洋館出版社 （978-4-491-03464-5）

[参考書（ISBN）]
資料を配布

S61051 [LH2-094]

科目名	生活科教育法	後期	講義	2 単位
サブタイトル	生活科の授業づくり			
担当者	金岩　俊明			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
学習指導要領における生活科の学習内容を理解するとともに、具体的な活動や体験を創造し、指導案を作成する。また、模擬授業を通して教材づくりや指導技術の習得、学習評価についての実践的指導力を高める。

[授業概要]
生活科の学習指導に際しての知識や技能について、「遊び」と「問題解決学習」をふまえて学習過程の構成を行う。さらに、具体的な内容を位置づけた各学年の指導計画に基づき、創造的な学習展開例を作成する。また、授業をデザインし、教師の支援の在り方や学びへの評価についても知見を広げていく。授業実践の経験に基づく講義と模擬授業指導を行う。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
生活科の理論と実践について、学習指導要領や文献で学習しておく。 また、各回の模擬授業の内容について評価し、習得した事項が生かせるようにする。

[授業計画]
1. 生活科の意義と授業づくり
2. 模擬授業について（情報機器及び機材の活用）
3. 学習指導の基本
4. 生活科の内容①「学校と生活」
5. 生活科の内容②「家庭と生活」
6. 生活科の内容③「地域と生活」
7. 生活科の内容④「公共物や公共施設の利用」
8. 生活科の内容⑤「季節の変化と生活」
9. 生活科の内容⑥「自然や物を使った遊び」
10. 生活科の内容⑦「動物の飼育」
11. 生活科の内容⑦「植物の栽培」
12. 生活科の内容⑧「生活や出来事の伝え合い」
13. 生活科の内容⑨「自分の成長」
14. 生活科の学習指導について
15. まとめ
※4～13は、模擬授業を含む。

[成績評価方法]
レポート及び課題（30%）指導案作成・模擬授業（30%）試験（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題のフィードバックは授業内等で行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	生活科教育法	後期	講義	2 単位
サブタイトル	生活科の授業づくり			
担当者	金岩　俊明			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：提出物・模擬授業・試験

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：提出物・模擬授業

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：提出物・模擬授業・試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：提出物・模擬授業

[教科書（ISBN）]
小学校学習指導要領（平成29年告示）解説　生活編　著者名：文部科学省　出版社：東洋館出版社 （978-4-491-03464-5）

[参考書（ISBN）]
資料を配布

S61052 [LH2-094]

科目名	生活科教材研究	後期	演習	2 単位
サブタイトル	楽しい学習づくりへの教材開発			
担当者	金岩　俊明			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
生活科における魅力ある教材作りについて、目標や内容と関係付け、児童が興味・関心を高める教材を開発し、それを活用した授業実践することができる。また、教材を交流して多面的な視点をもつことができ、生活科の授業実践に向けて見通しをもつ。

[授業概要]
教材についての概念を理解し、生活科の教材論についての基本的な知識を習得する。生活科マップ等を作成し、栽培活動、飼育活動、製作活動、遊び活動、スタートカリキュラム等の趣旨をふまえ、具体的な教材を作成する。さらに、各教材を使用した授業構想を行い、模擬授業の実践を通して有効性を検証する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
生活科の授業実践や研究資料を収集して、教材に関わる情報を収集しておく。

[授業計画]
1.生活科の教材論
2.生活科マップの作成①
3.生活科マップの作成②
4.生活科マップによる模擬授業
5.栽培活動の教材づくり
6.栽培活動の教材による模擬授業
7.飼育活動の教材づくり
8.飼育活動の教材による模擬授業
9.自然物を使った教材づくり
10.自然物の教材による模擬授業
11.身近な材料を使った教材づくり
12.身近な材料を使った教材による模擬授業
13.スタートカリキュラムの作成
14.スタートカリキュラムによる模擬授業
15.まとめ

[成績評価方法]
教材作成（70%）教材を使用した模擬授業（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題のフィードバックは、授業内で行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	生活科教材研究	後期	演習	2 単位
サブタイトル	楽しい学習づくりへの教材開発			
担当者	金岩　俊明			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：課題作成

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：課題作成

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：課題作成

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力。
成績評価方法：課題作成

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
なし

S64670

科目名	精神保健	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	鈴　道幸			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
精神保健活動等の歴史的な流れを学び、精神保健の視点からみた生活・就労の場での諸課題、又代表的な精神科疾病の症状やその特性について理解し、その治療や回復に対して精神科医療機関等がどのような取り組みをしているのか、又地域及び家族がどのような役割を担っているのかを理解する。

[授業概要]
精神保健活動をとおして、面接・訪問をおこなってきた当事者・家族及び各種団体に対しての研修会講師の実務経験を活かした授業を行う。
精神保健の歴史的な流れ、現代社会における精神保健の諸課題、代表的な精神科疾病（統合失調症、認知症、依存症、気分障害）に対する症状等を学び、そして医療機関がどのような治療を行っているのか、又我々地域の関係者が当事者・家族に対してどのように接し、関わってきたのかを習得し、精神保健の重要性と精神疾患の基礎知識を習得する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
事前に配布する資料を一読しておくこと。
日頃から精神保健について心掛け、新聞等のメディアに関心を持つこと、判らない事があれば
積極的に質問を。
授業終了後、資料を再度一読を。
「各回、予習復習合わせて4時間程度」

[授業計画]
1. 自己紹介・ガイダンス
2. 精神保健について①
3. 精神保健について②
4. 精神保健の視点からみた家族の課題とアプローチ①
5. 精神保健の視点からみた家族の課題とアプローチ②
6. 精神保健の視点からみた勤労者の課題とアプローチ
7. 精神保健の視点からみた学校教育の課題とアプローチ①
8. 精神保健の視点からみた学校教育の課題とアプローチ②
9. 統合失調症について
10. 認知症について①
11. 認知症について②
12. 依存症について①
13. 依存症について②
14. 気分障害について
15. まとめ

[成績評価方法]
授業内レポート60%　試験40%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
試験及びレポートの回答・解説等については、 Manabaによるコースニュースでおこなう。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	精神保健	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	鈴　道幸			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：レポート課題、試験

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：レポート課題

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
精神疾患とその治療 第2版　著者名：日本精神保健福祉士養成校協会 編集　出版社：中央法規　（978-4-8058-5312-2）
看護のための精神医学　著者名：中井久夫+山口直彦　出版社：医学書院（4-260-33325-9）
授業中に適宜紹介する

S63130 [LH3-178]

科目名	生徒・進路指導論	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	谷山　優子			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
・生徒指導の意義や原理を理解し、すべての児童生徒を対象とした学級、学年、学校における指導の在り方や考え方を理解する。
・進路指導、キャリア教育の意義や原理を理解し、すべての児童生徒を対象とした学級、学年、学校における指導の在り方や考え方、外部の専門家、関係機関等の連携を理解する。
・児童生徒の抱える主な生徒指導上の課題と、学校の全教職員、外部の専門家、関係機関との連携の在り方を理解する。
・暴力行為、いじめ、不登校等の生徒指導上の課題の定義及び対応の視点を理解する。

[授業概要]
この授業では、学校現場における教員経験があるものが、その経験を活かして、今日的な課題(いじめ問題、不登校等)への対応を指導する。生徒指導や進路指導・キャリア教育は、一人一人の児童生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指して教育活動全体を通じて行われる、学習指導と並ぶ重要な教育活動である。
　この授業では、生徒指導や進路指導、キャリア教育や進路指導、キャリア教育の理論及び方法や発達段階に応じた学習指導、教育相談等についてアクティブ・ラーニングやロールプレイなどの技法を用いて学習することをめあてとする。また、発達障害等のある子どもの特性を踏まえつつも、障害のあるなしにかかわらず子どもの問題行動事例や進路指導、キャリア教育についての指導方法を身に付けることをめあてとする。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
・事前に「特別支援教育」「生徒指導」「キャリア教育」に関する書物や資料を読むこと。
・教育課題についての概要を把握すること。
・授業で出された課題について探究的に取り組むこと。
・スクールサポーターなど教育活動で実践してみること。

[授業計画]
1.生徒指導の意義と原理及び指導体制と教育課程、各教科等との関連
2.進路指導、キャリア教育の意義と原理及び指導体制と教育課程、各教科等との関連
3.進路指導、キャリア教育を推進する校内組織及び関係機関との連携
4.規範意識の醸成と存在感を育む学級づくり
5.生徒指導上の課題(いじめ)
6.生徒指導上の課題(非行・不登校)
7.発達障害のある児童生徒の理解と生徒指導
8.生徒指導の方法(集団指導の方法原理)＜学外＞
9.生徒指導の方法(個別指導の方法原理)＜学外特別講師＞
10.生徒指導上の課題(インターネット・児童虐待)
11.校則・懲戒・体罰等の法令
12.生徒指導や進路指導、キャリア教育のカウンセリングの基礎と実践についてのエンカウンターとアサーショントレーニング
13.生徒指導における関係諸機関との連携のロールプレイ
14.進路指導・キャリア教育のカリキュラムマネジメントやガイダンスとポートフォリオの活用
15.まとめと試験

[成績評価方法]
授業中の課題(50%)、試験(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業中の課題に対してコメント等のフィードバックを返します。
授業以外の研究課題に対して添削等の指導を行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	生徒・進路指導論	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	谷山　優子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法:試験、レポート課題

学科DP番号／DP内容:教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法:試験、レポート課題

学科DP番号／DP内容:教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法:試験、レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:試験、レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:試験、レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:試験、レポート課題

[教科書(ISBN)]
『生徒指導提要』 著者名:文部科学省　出版社:教育図書 (978-4-87730-274-0)

[参考書(ISBN)]
授業進度に応じて紹介

S64020

科目名	総合的な学習の時間の指導法	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	金岩　俊明			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
学習指導要領における総合的な学習の時間の概要を理解し、その意義や特色に気付くとともに、カリキュラムの作成や運用、学習指導案の作成を通して探究的な学習過程に基づく指導法を習得することができる。さらに、実施上必要な環境づくりや学校体制等について理解する。

[授業概要]
総合的な学習の時間設置の経緯や趣旨・目標・内容を理解し、学校全体の指導計画・各学年の指導計画を立案し単元をデザインする。また、学習指導案の作成により、探究課題に基づく各時間の学習指導を探究的に行うことができるようにするとともに、教材づくりや学習評価についての実践的指導力を高める。また、環境づくりや学校体制、地域との連携等について具体的な理解を深める。授業実践の経験に基づく講義と演習を行う。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
総合的な学習の時間の理論と方法について、授業内容に即して学習指導要領の確認をしておくこと。授業の復習を行い、課題テストに備えること。

[授業計画]
1.総合的な学習の時間設置の経緯
2.総合的な学習の時間の趣旨と目標
3.各学校において定める目標及び内容
4.指導計画の作成と内容の取扱い
5.学校における全体計画・年間指導計画
6.単元計画の作成
7.全体計画の作成の実際
8.年間指導計画の作成の実際1
9.年間指導計画の作成の実際2
10.単元計画としての学習指導案作成の実際
11.学習指導
12.学習評価と教育課程の評価
13.体制づくり
14.実践事例の検討
15.まとめ

[成績評価方法]
授業中の課題等（50%）試験（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポート等提出課題については、授業内又はmanabaで返却します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	総合的な学習の時間の指導法	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	金岩　俊明			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：課題・試験

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：課題・試験

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：課題・試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：課題・試験

[教科書（ISBN）]
小学校学習指導要領(平成29年告示)解説　総合的な学習の時間編　著者名：文部科学省　出版社：東洋館出版社（9784491034683）

[参考書（ISBN）]
プリントを配布

S64010

科目名	総合的な学習の時間の指導法	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	金岩　俊明			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
学習指導要領における総合的な学習の時間の概要を理解し、その意義や特色に気付くとともに、カリキュラムの作成や運用、学習指導案の作成を通して探究的な学習過程に基づく指導法を習得することができる。さらに、実施上必要な環境づくりや学校体制等について理解する。

[授業概要]
総合的な学習の時間設置の経緯や趣旨・目標・内容を理解し、学校全体の指導計画・各学年の指導計画を立案し単元をデザインする。また、学習指導案の作成により、探究課題に基づく各時間の学習指導を探究的に行うことができるようにするとともに、教材づくりや学習評価についての実践的指導力を高める。また、環境づくりや学校体制、地域との連携等について具体的な理解を深める。授業実践の経験に基づく講義と演習を行う。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
総合的な学習の時間の理論と方法について、授業内容に即して学習指導要領の確認をしておくこと。授業の復習を行い、課題テストに備えること。

[授業計画]
1.総合的な学習の時間設置の経緯
2.総合的な学習の時間の趣旨と目標
3.各学校において定める目標及び内容
4.指導計画の作成と内容の取扱い
5.学校における全体計画・年間指導計画
6.単元計画の作成
7.全体計画の作成の実際
8.年間指導計画の作成の実際1
9.年間指導計画の作成の実際2
10.単元計画としての学習指導案作成の実際
11.学習指導
12.学習評価と教育課程の評価
13.体制づくり
14.実践事例の検討
15.まとめ

[成績評価方法]
授業中の課題等（50%）試験（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポート等提出課題については、授業内又はmanabaで返却します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	総合的な学習の時間の指導法	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	金岩　俊明			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：課題・試験

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：課題・試験

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：課題・試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：課題・試験

[教科書（ISBN）]
小学校学習指導要領(平成29年告示)解説　総合的な学習の時間編　著者名：文部科学省　出版社：東洋館出版社（9784491034683）

[参考書（ISBN）]
プリントを配布

S64011

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル				
担当者	穴田　恭輔			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
各自が関心のある算数教育に関するテーマを設定し主体的に論文完成をめざす。

[授業概要]
算数教育についての論文を作成する。各自が進捗を報告し討議する。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
レジュメを用意して、進捗報告の準備をして臨む。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. プレゼンテーションのスキルを学ぶ(1)
3. プレゼンテーションのスキルを学ぶ(2)
4. 論文作成の概要
5. 各自のテーマの決定(1)
6. 各自のテーマの決定(2)
7. 各自のテーマの決定(3)
8. 参考文献や先行研究の調査とその報告(1)
9. 参考文献や先行研究の調査とその報告(2)
10. 参考文献や先行研究の調査とその報告(3)
11. 章立ての検討(1)
12. 章立ての検討(2)
13. 章立ての検討(3)
14. 章立ての検討(4)
15. 中間のまとめ

16. 論文構想の発表(1)
17. 論文構想の発表(2)
18. 構想に沿った内容の検討(1)
19. 構想に沿った内容の検討(2)
20. 構想に沿った内容の検討(3)
21. 構想に沿った内容の検討(4)
22. 構想に沿った内容の検討(5)
23. 論文完成作業(1)
24. 論文完成作業(2)
25. 論文完成作業(3)
26. 論文完成作業(4)
27. 論文完成作業(5)
28. 論文完成作業(6)
29. 卒業論文発表の準備
30. 卒業論文発表と総括

[成績評価方法]
完成論文(80%)と口頭試問に対しての応答(20%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題は添削して返却する。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル				
担当者	穴田　恭輔			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：論文

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：論文

学科DP番号／DP内容：教育3-5／教員という職業自体が社会的に特に高い人格・識見を求められる性質のものであることから、教員としての使命感を自覚し、その資質向上のためにたゆまず研鑽を積む態度と幼児・児童・生徒に対する教育的愛情をもつことができる。
成績評価方法：論文

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：論文

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：論文

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
小学校学習指導要領解説(平成29年告示)算数編　著者名：文部科学省　出版社：日本文教出版 （978-4536590105）

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル				
担当者	石田　裕子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
主に保育や子どもの発達に関して設定した研究テーマにそって論文を作成する

[授業概要]
全体で行うゼミと各自の研究テーマにそった個別指導を行う。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
新聞記事や保育関連の文献に目を通し、世の中の事象や保育の問題に対して自分の意見をもっておく
中間発表等で指摘されたことは次回発表までに改善しておく　各回2時間程度

[授業計画]
1.はじめに（卒業論文作成の概要について）
2.卒業論文テーマの研究（過去のテーマ例研究）
3.卒業論文テーマの研究（各自の興味の確認①）
4.卒業論文テーマの研究（各自の興味の確認②）
5.卒業論文の書き方について①
6.卒業論文の書き方について②
7.研究方法の検討①
8.研究方法の検討②
9.研究方法の検討③
10.研究方法の検討④
11.論文構成の検討①
12.論文構成の検討②
13.論文構成の検討③
14.論文構成の検討④
15.研究の中間発表と検討1①
16.研究の中間発表と検討1②
17.研究の中間発表と検討1③
18.研究の中間発表と検討1④
19.研究の中間発表と検討1⑤
20.研究の中間発表と検討2①
21.研究の中間発表と検討2②
22.研究の中間発表と検討2③
23.研究の中間発表と検討2④
24.卒業論文作成指導①
25.卒業論文作成指導②
26.卒業論文作成指導③
27.卒業論文作成指導④
28.卒業論文作成指導⑤
29.卒業論文発表会①
30.卒業論文発表会②

[成績評価方法]
取り組みの姿勢（30%）、発表（20%）、卒業論文(50%)
発表は卒論発表会の内容で評価する

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル				
担当者	石田　裕子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：取り組みの姿勢 発表　卒業論文内容

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：取り組みの姿勢 発表　卒業論文内容

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：取り組みの姿勢 発表　卒業論文内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：取り組みの姿勢 発表　卒業論文内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：取り組みの姿勢 発表　卒業論文内容

[教科書（ISBN）]
なし　著者名：×　出版社：×

[参考書（ISBN）]
なし。指導時に指示する。 著者名：×　出版社：×

S69010 [LI4-002]

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル				
担当者	稲垣　善茂			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
教育学科の卒業論文に相応しい研究論文を完成させる。

[授業概要]
全体で行うゼミでの研究発表と各自の研究テーマにそった個別指導を行う。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
検討会で指摘された問題点を整理し，解答を準備しておくこと。

[授業計画]
【全て遠隔授業】(前期のみ)
1. 卒論テーマの検討会①
2. 卒論テーマの検討会②
3. 卒論テーマの検討会③
4. 卒論テーマの検討会④
5. 卒論テーマの検討会⑤
6. 研究方法の検討会①
7. 研究方法の検討会②
8. 研究方法の検討会③
9. 研究方法の検討会④
10. 研究方法の検討会⑤
11. 論文構成の検討会①
12. 論文構成の検討会②
13. 論文構成の検討会③
14. 論文構成の検討会④
15. 論文構成の検討会⑤

16. 研究の中間発表と検討1①
17. 研究の中間発表と検討1②
18. 研究の中間発表と検討1③
19. 研究の中間発表と検討1④
20. 研究の中間発表と検討1⑤
21. 研究の中間発表と検討2①
22. 研究の中間発表と検討2②
23. 研究の中間発表と検討2③
24. 研究の中間発表と検討2④
25. 研究の中間発表と検討2⑤
26. 卒業論文作成指導①
27. 卒業論文作成指導②
28. 卒業論文作成指導③
29. 卒業論文作成指導④
30. 卒業論文発表会

[成績評価方法]
卒論発表会(50%)、卒業論文(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
論文課題、レポート、グループワーク課題、卒論研究本文などの提出物については、赤字で添削したのち、直接返却しています。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル				
担当者	稲垣　善茂			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：卒業論文発表会・卒業論文

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：卒業論文発表会・卒業論文

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：卒業論文発表会

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：卒業論文発表会

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：卒業論文発表会・卒業論文

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：卒業論文発表会・卒業論文

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：卒業論文発表会・卒業論文

[教科書（ISBN）]
プリント等を配布する。教科書はなし。

[参考書（ISBN）]
なし

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル				
担当者	大西　雅裕			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
自ら設定したテーマ、課題について、卒業論文を作成し完成する。

[授業概要]
大学に入学されてからの学習、研究を通して、培ってきた知識や成果等より、その集大成として卒業論文を作成する。もちろん、幼児教育学購読や幼児教育学演習を通して卒業論文について学んできたことをベースにして自らの研究課題を設定し、それについて文献調査やその他の調査を行って、ある一定以上の成果を成果物として卒業論文を作成する。定期的に、経過や成果を発表する機会を与える。その場を通して、研究成果の確認、共有化を図っていくこととする。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
三回ゼミでの学修内容を振り返ること。論文・レポートの文章の書き方についての本を自ら選択し事前学習しておくこと。

[授業計画]
【全て遠隔授業】（前期のみ）
1. 研究についてのガイダンス
2. 実践科学的手法
3. 各自の主体的課題研究1
4. 各自の主体的課題研究2
5. 各自の主体的課題研究3
6. 各自の主体的課題研究4
7. 各自の主体的課題研究5
8. 各自の主体的課題研究6
9. 各自の主体的課題研究7
10. 各自の主体的課題研究8
11. 中間発表会①
12. 各自の主体的課題研究9
13. 各自の主体的課題研究10
14. 各自の主体的課題研究11
15. 各自の主体的課題研究12
16. 各自の主体的課題研究13
17. 各自の主体的課題研究14
18. 各自の主体的課題研究15
19. 各自の主体的課題研究16
20. 各自の主体的課題研究17
21. 各自の主体的課題研究18
22. 各自の主体的課題研究19
23. 各自の主体的課題研究20
24. 各自の主体的課題研究21
25. 各自の主体的課題研究22
26. 各自の主体的課題研究23
27. 各自の主体的課題研究24
28. 各自の主体的課題研究25
29. 口頭試問
30. 口頭試問＜卒論発表会＞

[成績評価方法]
論文（80%）、発表（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル				
担当者	大西　雅裕			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：卒業論文への取り組み姿勢態度、卒業論文及びレポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：卒業論文への取り組み姿勢態度、卒業論文及びレポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-5／教員という職業自体が社会的に特に高い人格・識見を求められる性質のものであることから、教員としての使命感を自覚し、その資質向上のためにたゆまず研鑽を積む態度と幼児・児童・生徒に対する教育的愛情をもつことができる。
成績評価方法：卒業論文への取り組み姿勢態度、卒業論文及びレポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：卒業論文への取り組み姿勢態度、卒業論文及びレポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：卒業論文への取り組み姿勢態度、卒業論文及びレポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：卒業論文への取り組み姿勢態度、卒業論文及びレポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：卒業論文への取り組み姿勢態度、卒業論文及びレポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：卒業論文への取り組み姿勢態度、卒業論文及びレポート課題

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
適宜紹介する。

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル	心身の発達と学びの過程－乳幼児、児童(障がいのある乳幼児、児童を含む)を中心に－			
担当者	隠岐　厚美			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
幼児教育学演習ならびにフィールドワークでの学習を基に、文献検索を通して先行研究や最新データを収集し、ゼミ発表・ディスカッションを行い経験と知識に裏付けされた実践力を育む。

[授業概要]
各自の関心に基づき設定した卒業論文のテーマに関する文献講読、資料収集、調査や実験などを行う。これらに基づき、ゼミでのプレゼンテーションとディスカッションを繰り返しながら、卒業論文を作成する。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
文献を熟読し、ディスカッションができるよう準備すること。
各回、予習・復習あわせて最低限2時間程度の自主学習が必要です。

[授業計画]
年間通して、卒論中間発表会、卒論発表会の場をもちながら、以下の流れで進める。
1. オリエンテーション
2. 研究課題と研究方法について ①
3. 研究課題と研究方法について ②
4. 先行研究についての発表とディスカッション ①
5. 先行研究についての発表とディスカッション ②
6. 先行研究についての発表とディスカッション ③
7. 先行研究についての発表とディスカッション ④
8. 先行研究についての発表とディスカッション ⑤
9. 卒業論文の研究方法の決定
10. 研究課題への取り組み ①
11. 研究課題への取り組み ②
12. 研究課題への取り組み ③
13. 研究課題への取り組み ④
14. 経過発表 ①
15. 経過発表 ②
16. 研究課題への取り組み ①
17. 研究課題への取り組み ②
18. 研究課題への取り組み ③
19. 研究課題への取り組み ④
20. 研究課題への取り組み ⑤
21. 研究課題への取り組み ⑥
22. 研究課題への取り組み ⑦
23. 中間発表①(3回生に対して)
24. 中間発表②(3回生に対して)
25. 研究課題への取り組み ①
26. 研究課題への取り組み ②
27. 研究課題への取り組み ③
28. 研究課題への取り組み ④
29. 研究課題への取り組み ⑤
30. 卒業研究のまとめ(研究発表会)

[成績評価方法]
卒業研究の内容(70%)と研究態度(20%)、プレゼンテーションの内容およびディスカッションへの参加態度(10%)などを基に評価する。フィードバックはプレゼンテーション後及び提出物の返却時に口頭で行う。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル	心身の発達と学びの過程－乳幼児、児童(障がいのある乳幼児、児童を含む)を中心に－			
担当者	隠岐　厚美			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法:文献研究の発表

学科DP番号／DP内容:教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法:卒陵論文

学科DP番号／DP内容:教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法:卒業論文

学科DP番号／DP内容:教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法:卒業論文

学科DP番号／DP内容:教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法:卒業論文

学科DP番号／DP内容:教育3-5／教員という職業自体が社会的に特に高い人格・識見を求められる性質のものであることから、教員としての使命感を自覚し、その資質向上のためにたゆまず研鑽を積む態度と幼児・児童・生徒に対する教育的愛情をもつことができる。
成績評価方法:卒業論文

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:卒業論文

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:卒業論文

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:卒業論文

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:卒業論文

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:卒業論文

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:卒業論文

[教科書(ISBN)]
なし。必要に応じて各自に指示する。 著者名:なし。 必要に応じて各自に指示する 出版社:なし。必要に応じて各自に指示する (978-4-7628-2937-6)

[参考書(ISBN)]
乳幼児の発達臨床心理学 理論と現場をつなぐ 著者名:菊野春雄編著 出版社:北大路書房 (9784762829376)

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル	理論と実践			
担当者	金岩　俊明			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
小学校教育における自己の課題意識を明確にして、研究デザインを構築し課題解決に迫る論理的かつ実践的な論文を作成する。

[授業概要]
課題に関する文献や論文を研究し、独自の着想を大切にして論文の構成を進める。その過程において、テーマ発表を行い、情報交換を行うとともに、プレゼンテーション技能の習得を目指す。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
テーマに関する文献研究や実践研修を積極的に行い、各段階における発表に備えること。また、受講者全員のテーマに関心をもち、自己の見解が述べられるようにしておくこと。

[授業計画]
1. 卒業論文作成オリエンテーション
2. 論文作成の技法①
3. 論文作成の技法②
4. 参考論文の講読①
5. 参考論文の講読②
6. 研究デザイン発表・討論①
7. 研究デザイン発表・討論②
8. テーマ及び文献発表①
9. テーマび文献発表②
10. テーマび文献発表③
11. テーマび文献発表④
12. 論文プロット発表①
13. 論文プロット発表②
14. 論文プロット発表③
15. 論文プロット発表④
16. 論文の編集について
17. 1次原稿発表・討議①
18. 1次原稿発表・討議②
19. 1次原稿発表・討議③
20. 1次原稿発表・討議④
21. 中間発表会
22. 2次原稿発表・討議①
23. 2次原稿発表・討議②
24. 2次原稿発表・討議③
25. 2次原稿発表・討議④
26. 最終原稿発表・討議①
27. 最終原稿発表・討議②
28. 最終原稿発表・討議③
29. 最終原稿発表・討議④（抄録作成）
30. 卒論発表会　研究のまとめ

[成績評価方法]
作成論文（80%）ディスカッション（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
※提出課題については授業及びメールで返却

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S69050 [LI4-002]

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル	理論と実践			
担当者	金岩　俊明			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：発表・論文

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：発表・論文

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：発表・論文

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：発表・論文

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表・論文

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：発表・論文

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
なし

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル	各自テーマを決めて、卒論を完成させよう			
担当者	久野　和子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
各自が見出した課題について考察し、主体的に事例研究・文献研究を進めながら卒業論文を作成する。

[授業概要]
教育学講読や演習で進めてきた学習や実践での学びを基に、各自の研究テーマを明確にし、さらに事例研究や文献、先行研究から卒業論文としてまとめる。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
教育学購読や演習で取り組んできたことを基礎とする

[授業計画]
【全て遠隔授業】（前期のみ）
1. 研究についてのガイダンス
2. 研究課題と研究方法の具体化①
3. 研究課題と研究方法の具体化②
4. 研究課題への取り組み①
5. 研究課題への取り組み②
6. 研究課題への取り組み③
7. 研究課題への取り組み④
8. 研究課題への取り組み⑤
9. 経過発表①
10. 研究課題への取り組み⑥
11. 研究課題への取り組み⑦
12. 研究課題への取り組み⑧
13. 研究課題への取り組み⑨
14. 研究課題への取り組み⑩
15. 経過発表②
16. 経過発表③
17. 研究課題への取り組み⑪
18. 研究課題への取り組み⑫
19. 研究課題への取り組み⑬
20. 中間発表①
21. 中間発表②
22. 研究課題への取り組み⑭
23. 研究課題への取り組み⑮
24. 研究課題への取り組み⑯
25. 研究課題への取り組み⑰
26. 研究課題への取り組み⑱
27. 研究課題への取り組み⑲
28. 研究課題への取り組み⑳
29. 発表準備
30. 研究のまとめ（発表会）

[成績評価方法]
取り組みへの態度や研究成果等を総合的に評価する
レポートは後日添削して返却します。
研究レポート課題、研究発表は相互評価、自己評価、教員が総合的に評価する
最終的に卒業論文については、主査の教員、副査の教員によって総合的に評価する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル	各自テーマを決めて、卒論を完成させよう			
担当者	久野　和子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：レポート課題、発表、卒業論文

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：レポート課題、発表、卒業論文

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：レポート課題、発表、卒業論文

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：レポート課題、発表、卒業論文

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：レポート課題、発表、卒業論文

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：レポート課題、発表、卒業論文

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート課題、発表、卒業論文

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題、発表、卒業論文

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：レポート課題、発表、卒業論文

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題、発表、卒業論文

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：レポート課題、発表、卒業論文

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題、発表、卒業論文

[教科書（ISBN）]
必要に応じて各自に指示

[参考書（ISBN）]
必要に応じて各自に指示

科目名	卒業論文	前期～後期		8 単位
サブタイトル				
担当者	黒田　昌克			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
研究活動を通して、合理的な考え方や表現方法によって自らが見出した課題を解決し、その中で探究的に学び続けるための基礎となる力を身につけることができる。

[授業概要]
研究の進め方や論文の書き方を理解した上で、自らの研究テーマを設定し、主体的に研究活動を進め、卒業論文を作成します。最後に卒業論文発表会（やる気がある人は学会での発表等も視野に入れます）において、研究成果を発表します。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各回、準備とふりかえりについて4時間程度の学習を求めます。具体的には、先行研究、参考文献の整理や教材作成、質問紙調査の分析、論文の執筆等に適宜取り組んでください。

[授業計画]
1.ゼミでの学び方
2.論文の書き方
3.文献の集め方
4.研究の進め方
5.卒業論文の書き進め方
6.研究の方法
7.研究テーマの探索
8.先行研究のレビュー①
9.先行研究のレビュー②
10.問題の所在の検討
11.研究課題の決定
12.研究のアプローチの決定
13.研究課題への取り組み①（例：教材作成、調査、実験等の研究活動）
14.研究課題への取り組み②（例：教材作成、調査、実験等の研究活動）
15.研究課題への取り組み③（例：教材作成、調査、実験等の研究活動）
16.研究課題への取り組み④（例：教材作成、調査、実験等の研究活動）
17.中間報告会
18.研究課題への取り組み⑤（例：結果の分析）
19.研究課題への取り組み⑥（例：結果の整理）
20.研究課題への取り組み⑦（例：結果の考察）
21.序論の執筆
22.方法の執筆
23.結果と考察の執筆
24.結論の執筆
25.卒業論文の点検と推敲
26.卒業論文の仕上げ
27.卒業論文発表会の資料作成
28.卒業論文発表会の発表練習
29.卒業論文発表会の予行
30.まとめ（卒業論文発表会）

[成績評価方法]
卒業論文（60%）、卒業論文作成への取り組み（20%）、卒業論文発表会等における発表（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
各回の課題については、講義の中でコメント等のフィードバックを行います。卒業論文に関しては、卒業論文発表会においてコメント等のフィードバックを行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	卒業論文	前期～後期		8 単位
サブタイトル				
担当者	黒田　昌克			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法:卒業論文、卒業論文発表会等における発表

学科DP番号／DP内容:教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法:卒業論文、卒業論文発表会等における発表

学科DP番号／DP内容:教育3-5／教員という職業自体が社会的に特に高い人格・識見を求められる性質のものであることから、教員としての使命感を自覚し、その資質向上のためにたゆまず研鑽を積む態度と幼児・児童・生徒に対する教育的愛情をもつことができる。
成績評価方法:卒業論文、卒業論文への取り組み、卒業論文発表会等における発表

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:卒業論文、卒業論文への取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:卒業論文への取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:卒業論文、卒業論文発表会等における発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:卒業論文、卒業論文発表会等における発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:卒業論文

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／
成績評価方法:卒業論文、卒業論文への取り組み

[教科書(ISBN)]
なし(こちらで用意します)

[参考書(ISBN)]
なし

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル				
担当者	小林　田鶴子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
各自が見出した課題について考察し、主体的に事例研究・文献研究を進めながら卒業論文を作成する。

[授業概要]
教育学講読や演習で進めてきた学習や実践での学びを基に、各自の研究テーマを明確にし、さらに事例研究や文献、先行研究から研究論文としてまとめる。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
教育学講読や演習で取り組んできたことを基礎とする

[授業計画]
【全て遠隔授業】（前期のみ）
1. 研究についてのガイダンス
2. 研究課題と研究方法の具体化①
3. 研究課題と研究方法の具体化②
4. 研究課題への取り組み①
5. 研究課題への取り組み②
6. 研究課題への取り組み③
7. 研究課題への取り組み④
8. 研究課題への取り組み⑤
9. 経過発表①
10. 研究課題への取り組み⑥
11. 研究課題への取り組み⑦
12. 研究課題への取り組み⑧
13. 研究課題への取り組み⑨
14. 研究課題への取り組み⑩
15. 経過発表②
16. 経過発表③
17. 研究課題への取り組み⑪
18. 研究課題への取り組み⑫
19. 研究課題への取り組み⑬
20. 中間発表①
21. 中間発表②
22. 研究課題への取り組み⑭
23. 研究課題への取り組み⑮
24. 研究課題への取り組み⑯
25. 研究課題への取り組み⑰
26. 研究課題への取り組み⑱
27. 研究課題への取り組み⑲
28. 研究課題への取り組み⑳
29. 発表準備
30. 研究のまとめ（発表会）

[成績評価方法]
取り組みへの態度や研究成果等を総合的に評価する

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
その都度、ゼミの中で指導する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル				
担当者	小林　田鶴子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：取り組みへの態度

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：取り組みへの態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：研究成果

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：研究成果

[教科書（ISBN）]
必要に応じて各自に指示

[参考書（ISBN）]
必要に応じて各自に指示

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル				
担当者	小原　依子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
各自の関心のあるテーマについて、文献研究を進めながら、実験や調査、事例研究等の心理学研究手法を用いて、心理学論文作成を行うことを到達目標とする。

[授業概要]
卒業論文では、各自が関心をもったテーマについて、まず、文献検索を通して、先行研究や最新のデータを集め、ゼミで発表・ディスカッションを行いながら、知識と理解を深めていく。同時に各自が研究するテーマ設定とその研究手法を明確にし、実験・調査・文献・事例等の研究方法を通して、結果を導きだし、データの整理や分析を行う。さらに心理学的考察の方法を学びながら、独自の考察を行っていく。そして最終的には、目的・方法・結果・考察の内容をまとめ、心理学論文として完成させる。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
自身の研究テーマについて関係する学術論文を読み解いておくこと。自身の見解や仮説を実証するための研究手法について復習をしながら、卒業論文作成を行っていくこと。

[授業計画]
年間通して、卒論中間発表会、卒論発表会の場を持ちながら、以下の流れで進める。
1. オリエンテーション
2. 文献検索の方法について
3. 先行研究や最新データについて
4. 先行研究や最新データについての発表とディスカッション1
5. 先行研究や最新データについての発表とディスカッション2
6. 先行研究や最新データについての発表とディスカッション3
7. 先行研究や最新データについての発表とディスカッション4
8. 先行研究や最新データについての発表とディスカッション5
9. 卒業論文の研究手法の決定
10. 実験、調査、事例、文献研究等の実施と経過発表及びディスカッション1
11. 実験、調査、事例、文献研究等の実施と経過発表及びディスカッション2
12. 実験、調査、事例、文献研究等の実施と経過発表及びディスカッション3
13. 実験、調査、事例、文献研究等の実施と経過発表及びディスカッション4
14. 実験、調査、事例、文献研究等の実施と経過発表及びディスカッション5
15. 卒業論文　中間発表のための抄録作成
16. 卒業論文　中間発表とディスカッション
17. 各研究結果のデータの整理と分析1
18. 各研究結果のデータの整理と分析2
19. 各研究結果のデータの整理と分析3
20. 各研究結果のデータの整理と分析4
21. 各研究結果のデータの整理と分析5
22. 心理学論文について
23. 各研究の結果に対する考察と心理学論文作成1
24. 各研究の結果に対する考察と心理学論文作成2
25. 各研究の結果に対する考察と心理学論文作成3
26. 各研究の結果に対する考察と心理学論文作成4
27. 各研究の結果に対する考察と心理学論文作成5
28. 抄録作成について
29. 心理学論文発表の抄録作成と発表1
30. 心理学論文発表の抄録作成と発表2

[成績評価方法]
授業中の課題（20%）、発表（10%）、卒業論文（70%）等を総合的に判断して評価する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル				
担当者	小原　依子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：授業中の課題、発表、卒業論文

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：授業中の課題、発表、卒業論文

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：授業中の課題、発表、卒業論文

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：授業中の課題、発表、卒業論文

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業中の課題、発表、卒業論文

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業中の課題、発表、卒業論文

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：授業中の課題、発表、卒業論文

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：授業中の課題、発表、卒業論文

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：授業中の課題、発表、卒業論文

[教科書（ISBN）]
なし。授業時に随時配布する。

[参考書（ISBN）]
なし。授業内で随時紹介する。

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル				
担当者	齋藤　美保子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
教育や保育に関する自分の研究テーマを決定し、学科規定の紙数以上、且独自の研究論文を仕上げる。テーマは各自、自分の興味あるもの・時代の要請として必要なものなど自由研究とする。

[授業概要]
先行研究を検討し、論文をよく読みこんで抄読会で発表する。続いて調査対象、調査項目を検討し調査用紙を作成し、再びプレゼンテーションを行いワーディングチェクをする。実地調査を行い、データー整理をし、文章を作成、論文を完成する。 ただし、文献研究のみの場合は、この方法ではない。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
自らの知的好奇心に基づいて興味のある事象を捉え、探求したい内容を求めていく

[授業計画]
1. 論文テーマの決定と方法・目的の吟味・情報収集の方法(1)
2. 論文テーマの決定と方法の吟味・目的・情報収集の方法(2)
3. 論文テーマの決定と方法の吟味・目的・情報収集の方法(3)
4. 論文テーマの決定と方法の吟味・目的・情報収集の方法(4)
5. 論文テーマの決定と方法の吟味・目的・情報収集の方法(5)
6. 以上1から5までテーマの情報(先行研究)の問題・課題を明らかにする(1)
7. テーマの情報(先行研究)の問題・課題を明らかにする(2)
8.先行研究をまとめる(1)
9..先行研究をまとめる(2)
10.調査用紙のワーディングチェックと予備調査（1）
7. 調査用紙のワーディングチェックと予備調査（2）
8. 調査用紙のワーディングチェックと予備調査（3）
9. 調査用紙のワーディングチェックと予備調査（4）
11. 本調査後、データー入力（1）
12. 本調査後、データー入力（2）
13. SPSSとEXCEL統計処理（1）
14. SPSSとEXCEL統計処理（2）
15. 論文内容構成の吟味(1)
16. 第1章　研究目的・方法
17. 第2章　研究方法
18.第3章　先行研究
19. 第4章　結果と考察（1）
20. 第4章　結果と考察（2）
21. 第4章　結果と考察（3）
22. 第4章　結果と考察（4）
23. 第4章　結果と考察（5）
24. 第4章　結果と考察（5）
25. 第5章　結論
26. あとがき・まとめ
27. 引用文献・参考文献
28. 抄録作成
29. 論文発表のためのプレゼンテーション資料の作成
30. 論文発表

[成績評価方法]
論文テーマ、研究目的（20%）、研究方法（50%）、仮説決定とその検証方法などを信頼性、独自性（30%）などの観点から評価とする。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
その都度課題をかし、添削して返却する

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル				
担当者	齋藤　美保子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法:先行研究の選び方

学科DP番号／DP内容:教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法:論文の理論性と共に豊かな発想が出来ている。

学科DP番号／DP内容:教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法:先行研究を踏まえながら自分なりの推論を証明できる文章を構成し出来ているか。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:発表・討議への参加態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:発表・討議への参加態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:発表・討議への参加態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:発表・討議への参加態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:発表・討議への参加態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題解決力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:発表・討議への実践

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:発表・討議への実践

[教科書(ISBN)]
各種論文、文献を各自で検索

[参考書(ISBN)]
SPSSとExcelによる[統計力]トレーニング　著者名:川本竜史　出版社:東京図書 (9784489006715)
SPSSによる多変量データ解析の手順(第5版) 著者名:石村貞夫　出版社:東京図書 (9784489022425)
学生のための心理統計方要点　著者名:丸山欣也・佐々木隆之・大橋智樹著　出版社:おうふう (9784273035389)

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル				
担当者	佐藤　浩樹			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
社会科教育を中心に小学校教育における各自の問題意識に基づいて設定したテーマについて、主体的に文献研究、調査研究、事例研究を進め、卒業論文を完成させる。

[授業概要]
教育学講読、教育学演習での学びをもとに各自が研究テーマを設定し、文献研究、調査研究を進め、卒業論文を作成する。最後に研究成果を発表する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
その時の課題を明確にし、確実にやり遂げていく。

[授業計画]
【全て遠隔授業】（前期のみ）
1. オリエンテーション
2. 卒業論文作成の方法①
3. 卒業論文作成の方法②
4. 先行研究の発表とディスカッション①
5. 先行研究の発表とディスカッション②
6. 先行研究の発表とディスカッション③
7. 先行研究の発表とディスカッション④
8. 先行研究の発表とディスカッション⑤
9. 先行研究の発表とディスカッション⑥
10. 研究構想の発表①
11. 研究構想の発表②
12. 研究課題への取り組み①
13. 研究課題への取り組み②
14. 研究課題への取り組み③
15. 研究課題への取り組み④
16. 卒業論文のまとめ方①
17. 研究課題への取り組み⑤
18. 研究課題への取り組み⑥
19. 研究課題への取り組み⑦
20. 卒論中間発表準備
21. 卒論中間発表
22. 卒業論文のまとめ方②
23. 研究課題への取り組み⑧
24. 研究課題への取り組み⑨
25. 研究課題への取り組み⑩
26. 卒業論文第1次提出
27. 卒業論文の仕上げ
28. 卒業論文第2次提出
29. 卒論発表会準備
30. 卒業研究のまとめ（卒論発表会）

[成績評価方法]
卒業論文作成への取り組み（30%）、卒業論文の内容（60%）、卒業論文発表会における発表（10%）。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル				
担当者	佐藤　浩樹			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：授業への取組姿勢、卒業論文、発表

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：授業への取組姿勢、卒業論文、発表

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：授業への取組姿勢、卒業論文、発表

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業への取組姿勢、卒業論文、発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業への取組姿勢、卒業論文、発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：授業への取組姿勢、卒業論文、発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：授業への取組姿勢、卒業論文、発表

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
なし

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル				
担当者	住本　純			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
幼児教育、小学校教育、体育、スポーツ、健康における各自の問題意識に基づいて設定したテーマについて、主体的に文献研究、調査研究、事例研究を進め、卒業論文を完成させる。

[授業概要]
教育学講読、教育学演習での学びをもとに各自が研究テーマを設定し、文献研究、調査研究を進め、卒業論文を作成する。最後に研究成果を発表する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
その時の課題を明確にし、確実にやり遂げていく。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 卒業論文作成の方法①
3. 卒業論文作成の方法②
4. 先行研究の発表とディスカッション①
5. 先行研究の発表とディスカッション②
6. 先行研究の発表とディスカッション③
7. 先行研究の発表とディスカッション④
8. 先行研究の発表とディスカッション⑤
9. 先行研究の発表とディスカッション⑥
10. 研究構想の発表①
11. 研究構想の発表②
12. 研究課題への取り組み①
13. 研究課題への取り組み②
14. 研究課題への取り組み③
15. 研究課題への取り組み④
16. 卒業論文のまとめ方①
17. 研究課題への取り組み⑤
18. 研究課題への取り組み⑥
19. 研究課題への取り組み⑦
20. 卒論中間発表準備
21. 卒論中間発表
22. 卒業論文のまとめ方②
23. 研究課題への取り組み⑧
24. 研究課題への取り組み⑨
25. 研究課題への取り組み⑩
26. 卒業論文第1次提出
27. 卒業論文の仕上げ
28. 卒業論文第2次提出
29. 卒論発表会準備
30. 卒業研究のまとめ（卒論発表会）

[成績評価方法]
卒業論文作成への取り組み（30%）、卒業論文の内容（60%）、卒業論文発表会における発表（10%）。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル				
担当者	住本　純			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：授業への取組姿勢、卒業論文、発表

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：授業への取組姿勢、卒業論文、発表

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：授業への取組姿勢、卒業論文、発表

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業への取組姿勢、卒業論文、発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業への取組姿勢、卒業論文、発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：授業への取組姿勢、卒業論文、発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：授業への取組姿勢、卒業論文、発表

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
なし

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル				
担当者	竹田　和恵			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
教育学講読・演習で習得した情報技術に関する知識とスキルおよび情報収集したデータに基づき、卒業論文を完成させる。

[授業概要]
三回生で培った情報技術の知識とスキルを応用し、個々人のテーマに沿ったソフトウェアを構築する。更に、テーマに沿って情報収集を行い、研究背景や問題点等の考察を行い、卒業論文としてまとめる。また、テーマによってはアンケート調査した結果の集計を行う。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
前回の講義の復習

[授業計画]
1. システムの構想を練る（1）
2. システムの構想を練る（2）
3. 調査内容の発表・技術習得・ソフト作成（1）
4. 調査内容の発表・技術習得・ソフト作成（2）
5. 調査内容の発表・技術習得・ソフト作成（3）
6. 調査内容の発表・技術習得・ソフト作成（4）
7. 調査内容の発表・技術習得・ソフト作成（5）
8. 調査内容の発表・技術習得・ソフト作成（6）
9. 調査内容の発表・技術習得・ソフト作成（7）
10. 調査内容の発表・技術習得・ソフト作成（8）
11. 調査内容の発表・技術習得・ソフト作成（9）
12. 調査内容の発表・技術習得・ソフト作成（10）
13. 卒業論文作成・ソフト作成（1）
14. 卒業論文作成・ソフト作成（2）
15. 卒業論文作成・ソフト作成（3）
16. 卒業論文作成・ソフト作成（4）
17. 卒業論文作成・ソフト作成（5）
18. 卒業論文作成・ソフト作成（6）
19. 卒業論文作成・ソフト作成（7）
20. 卒業論文作成・ソフト作成（8）
21. 卒業論文作成・ソフト作成（9）
22. 卒業論文作成・ソフト作成（10）
23. 卒業論文作成・ソフト作成（11）
24. 卒業論文作成・ソフト作成（12）
25. 卒業論文作成・ソフト作成（13）
26. 発表・討論（1）
27. 発表・討論（2）
28. 発表・討論（3）
29. 発表・討論（4）
30. 発表・討論（5）

[成績評価方法]
課題（100%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル				
担当者	竹田　和恵			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：プログラミング演習課題レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：プログラミング演習課題レポート課題

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
なし

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル				
担当者	田中　美紀子			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
教育学講読・演習で習得した知識に基づき、各自で卒業論文のテーマを決定し、論文を完成させる。

[授業概要]
三回生で習得した知識をもとに、各自のテーマに沿った研究を進める。ゼミで質疑応答を繰り返し、論文で扱うテーマについて理論を構築し、問題点を明確にする。論文の結論で、独自の意見を提示できるようにし、卒業論文作成計画を成就する。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
各自で卒論作成計画を立てて、それに沿って確実に前進する。他の人の研究発表から学ぶ。各回、予習復習合わせて3時間程度。

[授業計画]
【全て遠隔授業】(前期のみ)
1. オリエンテーション
2. 文献収集の仕方
3. 論文の書き方
4. テーマ選択
5. テーマ選択
6. テーマ研究・討論
7. テーマ研究・討論
8. テーマ研究・討論
9. テーマ研究・討論
10. テーマ研究・討論
11.テーマ研究・討論
12. テーマ研究・討論
13. 中間発表
14. 中間発表
15. 中間発表
16. 論文作成
17. 論文作成
18. 論文作成
19. 論文作成
20. 論文作成
21. 論文作成
22. 論文作成
23. 論文作成
24. 論文作成
25. 論文作成
26. 論文作成
27. 最終発表
28. 最終発表
29. 最終発表
30. 総括

[成績評価方法]
各自の卒論作成計画の達成度とその成果(100%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
研究室で個人指導。レポート等はmanabaを使い提出させ、添削する。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル				
担当者	田中　美紀子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法:卒論

学科DP番号／DP内容:教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法:卒論

学科DP番号／DP内容:教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法:卒論

学科DP番号／DP内容:教育3-5／教員という職業自体が社会的に特に高い人格・識見を求められる性質のものであることから、教員としての使命感を自覚し、その資質向上のためにたゆまず研鑽を積む態度と幼児・児童・生徒に対する教育的愛情をもつことができる。
成績評価方法:卒論、研究態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:研究態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:研究態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:卒論

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:卒論

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:卒論

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:研究態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:卒論

[教科書(ISBN)]
なし

[参考書(ISBN)]
なし

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル				
担当者	谷山　優子			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
教育に関して各自が設定した研究テーマに沿った論文を完成させる。

[授業概要]
この授業では、学校現場における教員経験があるものが、その経験を活かして、今日的な課題（特別支援教育等）への対応を指導する。これまでの研究をもとに探究したいテーマを設定し、個別指導を受けながら、論文を作成する。必要な文献や研究論文の検索、資料の収集、小学校の児童、教員への研究協力依頼等を計画的に進める。進捗状況を相互発表し、討議しながら研究を深めていくような授業を行う。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
研究テーマに関する専門書、学術論文、新聞等に目を通すこと。
学校ボランティアや授業観察、学会や研究会に参加すること。＜4時間以上＞

[授業計画]
【全て遠隔授業】（前期のみ）
1.論文テーマの設定と関連する先行研究調査、相互発表と討議①
2.論文テーマの設定と関連する先行研究調査、相互発表と討議②
3.論文テーマの設定と関連する先行研究調査、相互発表と討議③
4.論文テーマの設定と関連する先行研究調査、相互発表と討議④
5.論文テーマの設定と関連する先行研究調査、相互発表と討議⑤
6.研究計画と研究方法、相互発表と討議①
7.研究計画と研究方法、相互発表と討議②
8.研究計画と研究方法、相互発表と討議③
9.研究計画と研究方法、相互発表と討議④
10.研究計画と研究方法、相互発表と討議⑤
11.調査の実施、相互発表と討議①
12.調査の実施、相互発表と討議②
13.調査の実施、相互発表と討議③
14.調査の実施、相互発表と討議④
15.調査の実施、相互発表と討議⑤
16.研究データのまとめ、相互発表と討議①
17.研究データのまとめ、相互発表と討議②
18.研究データのまとめ、相互発表と討議③
19.研究データのまとめ、相互発表と討議④
20.研究データのまとめ、相互発表と討議⑤
21.卒業論文のまとめ、相互発表と討議①
22.卒業論文のまとめ、相互発表と討議②
23.卒業論文のまとめ、相互発表と討議③
24.卒業論文のまとめ、相互発表と討議④
25.卒業論文のまとめ、相互発表と討議⑤
26.卒業論文の発表と質疑応答①
27.卒業論文の発表と質疑応答②
28.卒業論文の発表と質疑応答③
29.卒業論文の発表と質疑応答④
30.卒業論文の発表と質疑応答⑤

[成績評価方法]
卒業論文への取り組み課程（50%）、卒業論文内容（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
卒業論文と関連研究課題に対して助言と修正および添削等の指導を行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル				
担当者	谷山　優子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：試験、レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：試験、レポート課題

[教科書（ISBN）]
なし。研究に応じて紹介する。

[参考書（ISBN）]
なし。必要な時に授業内で紹介する。

S69140 [LI4-002]

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル				
担当者	中島　實			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
テーマ設定、資料収集、資料の吟味、論文構想、論文作成までの過程を主体的に進めて論文を完成させる

[授業概要]
論文作成過程の主要な各ステップにおいて、各人がゼミ形式で順に報告し検討をする中で、テーマの多面的な理解を深めながら論文完成をはかる

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
自分のテーマについて、資料収集、文献の読みこなしを行い、発表準備をすること。発表後は、次回の発表に向けて、さらなる資料収集、文献講読、調査・実験の作業を進めること。
各回、予習復習合わせて2時間程度。

[授業計画]

1. 卒業論文作成の概要と例（1）
2. 卒業論文作成の概要と例（2）
3. 卒業論文作成の概要と例（3）
4. 個人別のテーマ設定と発表（1）
5. 個人別のテーマ設定と発表（2）
6. 個人別のテーマ設定と発表（3）
7. 個人別のテーマ設定と発表（4）
8. 個人別のテーマ設定と発表（5）
9. 個人別のテーマ設定と発表（6）
10. 個人別のテーマ設定と発表（7）
11. 個人別のテーマ設定と発表（8）
12. 個人別のテーマ設定と発表（9）
13. 論文構想発表（1）
14. 論文構想発表（2）
15. 中間のまとめ
16. 構想に沿った内容の検討（1）
17. 構想に沿った内容の検討（2）
18. 構想に沿った内容の検討（3）
19. 構想に沿った内容の検討（4）
20. 構想に沿った内容の検討（5）
21. 構想に沿った内容の検討（6）
22. 構想に沿った内容の検討（7）
23. 論文完成作業（1）
24. 論文完成作業（2）
25. 論文完成作業（3）
26. 論文完成作業（4）
27. 論文完成作業（5）
28. 論文完成作業（6）
29. 卒論発表と総括（1）
30. 卒論発表と総括（2）

[成績評価方法]
論文（80%）、試問（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
フィードバックは問合せに応じて解説する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル				
担当者	中島　實			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:論文と試問

学科DP番号／DP内容:教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法:論文と試問

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:論文と試問

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:論文と試問

[教科書(ISBN)]
なし　著者名:x　出版社:x（×）

[参考書(ISBN)]
なし　著者名:x　出版社:x（×）

S69150 [LI4-002]

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル				
担当者	中村　隆文			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
大学院入試に耐えられる卒業論文を作成する。

[授業概要]
卒業論文は、教育学に関する学生それぞれのテーマを検討し、教育学系の大学院入試に耐えられるものを作成することを目標として指導する。前期では卒業論文の資料を収集し、その構造の大まかなところを作成する。後期では、具体的な論文作成を行う。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
三回生で決まったテーマについて、しっかり資料集め、資料分析をしておくこと。

[授業計画]
【全て遠隔授業】（前期のみ）
1. オリエンテーション
2. 各自の発表 1
3. 各自の発表 2
4. 各自の発表 3
5. 各自の発表 4
6. 各自の発表 5
7. 各自の発表 6
8. 各自の発表 7
9. 各自の発表 8
10. 各自の発表 9
11. 各自の発表 10
12. 各自の発表 11
13. 各自の発表 12
14. 各自の発表 13
15. 各自の発表 14
16. 各自の発表 15
17. 各自の発表 16
18. 各自の発表 17
19. 各自の発表 18
20. 各自の発表 19
21. 各自の発表 20
22. 各自の発表 21
23. 各自の発表 22
24. 各自の発表 23
25. 各自の発表 24
26. 各自の発表 25
27. 各自の発表 26
28. 各自の発表 27
29. 各自の発表 28
30. 各自の発表 29

[成績評価方法]
発表（100%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
随時、講評する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル				
担当者	中村　隆文			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：レポート・発表

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：レポート・発表

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
授業中に指示する

S69160 [LI4-002]

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル				
担当者	平井　和恵			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
・教育に関して各自が設定した研究テーマにそって論文を完成させる。
・学科のディプロマ・ポリシーに基づき、基礎・基本となる力の「知識・技能」、考える力としての「思考力・判断力・表現力等の能力」、そして、それらを活用するときの態度に現れる「主体性・多様性・協働性」を身につける。

[授業概要]
これまでの研究をもとに、設定した研究テーマを設定し、個別指導を受けながら、論文を作成していく。必要な文献、研究論文、各資料の収集、学校への依頼等を計画的に進める。進捗状況を相互発表し、討議しながら研究を深める。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
研究テーマに関する専門書や学術論文に多く当たること。
学校訪問をしたり、教育研究会に参加したりする機会を多く持つこと。

[授業計画]
【全て遠隔授業】（前期のみ）
1. 論文テーマの設定と関連先行研究調査、相互発表と討議①
2. 論文テーマの設定と関連先行研究調査、相互発表と討議②
3. 論文テーマの設定と関連先行研究調査、相互発表と討議③
4. 論文テーマの設定と関連先行研究調査、相互発表と討議④
5. 論文テーマの設定と関連先行研究調査、相互発表と討議⑤
6. 研究計画と研究方法、相互発表と討議①
7. 研究計画と研究方法、相互発表と討議②
8. 研究計画と研究方法、相互発表と討議③
9. 研究計画と研究方法、相互発表と討議④
10. 研究計画と研究方法、相互発表と討議⑤
11. 調査の実施、相互発表と討議①
12. 調査の実施、相互発表と討議②
13. 調査の実施、相互発表と討議③
14. 調査の実施、相互発表と討議④
15. 調査の実施、相互発表と討議⑤
16. 研究データのまとめ、相互発表と討議①
17. 研究データのまとめ、相互発表と討議②
18. 研究データのまとめ、相互発表と討議③
19. 研究データのまとめ、相互発表と討議④
20. 研究データのまとめ、相互発表と討議⑤
21. 卒業論文まとめ　相互発表と討議①
22. 卒業論文まとめ　相互発表と討議②
23. 卒業論文まとめ　相互発表と討議③
24. 卒業論文まとめ　相互発表と討議④
25. 卒業論文まとめ　相互発表と討議⑤
26. 卒業論文発表　相互発表と討議①
27. 卒業論文発表　相互発表と討議②
28. 卒業論文発表　相互発表と討議③
29. 卒業論文発表　相互発表と討議④
30. 卒業論文発表　相互発表と討議⑤

[成績評価方法]
卒業論文の取り組み過程（50%）、卒業論文内容（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル				
担当者	平井　和恵			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：卒業論文取組過程

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：卒業論文内容

学科DP番号／DP内容：教育3-5／教員という職業自体が社会的に特に高い人格・識見を求められる性質のものであることから、教員としての使命感を自覚し、その資質向上のためにたゆまず研鑽を積む態度と幼児・児童・生徒に対する教育的愛情をもつことができる。
成績評価方法：卒業論文取組過程

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：卒業論文内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：卒業論文取組過程

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
研究進度に応じ紹介

S69170 [LI4-002]

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル				
担当者	堀江　祐爾			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
主に国語教育に関して設定した研究テーマにそって論文完成を目指す。

[授業概要]
主に国語教育に関して、各自卒業論文の研究テーマを設定し、論文作成のための個別指導を受けながら、論文作成に必要な文献、研究論文、各資料の収集、作業等を計画的に進める。卒業論文提出期限までに論文を完成させ提出できるよう授業を行う。論文作成の方法と資料等の探し方の要領など、卒業論文作成に必要な基礎的な知識を最初に学び、その後、各自で主に国語教育に関する研究テーマを、教員から指導を受けながら設定する。テーマを設定した後各自で研究に必要な資料、研究論文、文献等を収集する。それらをもとに、論文作成のための分析作業を積み重ねる。資料や作業成果をもとに、目次を作成し、執筆作業に取りかかる。何度も推敲や教員との相談を重ねてよりよいものに高める。期限までに完成させ提出する。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
国語教育について幅広い知識を身につけるために、国語科教科書をはじめ、先行研究、先行実践、教育雑誌などを読み続ける。各回、予習復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
【全て遠隔授業】(前期のみ)
1. はじめに(卒業論文作成の概要について)
2. 過去の卒業論文例の研究
3. 卒業論文テーマの研究(過去のテーマ例研究)
4. 卒業論文テーマの研究(各自の興味の確認①)
5. 卒業論文テーマの研究(各自の興味の確認②)
6. 卒業論文の書き方について(プリントと卒論例を比較し説明)①
7. 卒業論文の書き方について②
8. 卒業論文の書き方について③
9. 卒業論文の書き方について④
10. 資料収集方法等の説明と実践①
11. 資料収集方法等の説明と実践②
12. 分析作業等の説明と実践①
13. 分析作業等の説明と実践②
14. 卒業論文のテーマ設定①
15. 卒業論文のテーマ設定②
16. 論文作成の要領についての概略(項目、図、表等について)
17. 資料、文献、参考論文の収集①
18. 資料、文献、参考論文の収集②
19. 資料、文献、参考論文の収集③
20. 論文作成(題目、目次)
21. 論文作成(研究目的)
22. 論文作成(研究方法)
23. 論文作成(研究結果)①
24. 論文作成(研究結果)②
25. 論文作成(研究結果)③
26. 論文作成(まとめ、参考文献等)
27. 論文作成最終チェック
28. 卒業論文抄録作成①
29. 卒業論文抄録作成②
30. 各自の論文のまとめと発表
※授業の展開の都合により順序や内容が変わることがある。

[成績評価方法]
論文完成までの各自の取り組みの姿勢と方法(30%)、及び完成した論文の内容(70%)による。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
manabaやLINEによって、課題の成果をフィードバックする。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル				
担当者	堀江　祐爾			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:レポート課題(卒業論文)

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:レポート課題(卒業論文)

学科DP番号／DP内容:教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法:レポート課題(卒業論文)

学科DP番号／DP内容:教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法:レポート課題(卒業論文)

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:レポート課題(卒業論文)

学科DP番号／DP内容:教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法:レポート課題(卒業論文)

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法:レポート課題(卒業論文)

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:レポート課題(卒業論文)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:レポート課題(卒業論文)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:レポート課題(卒業論文)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:レポート課題(卒業論文)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:レポート課題(卒業論文)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:レポート課題(卒業論文)

[教科書(ISBN)]
なし

[参考書(ISBN)]
なし

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル				
担当者	本多　明子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
英語学・英語教育学に関して自ら設定した研究テーマの論文の完成を目指す。

[授業概要]
英語学・英語教育学に関する研究課題を明確にし、それに関連する論文や文献を精読することを通して先行研究をまとめていく。研究で必要な資料を収集し分析結果を提示して、科学的見地に基づき自らの考えを示す。中間発表会、意見交換を通して、研究の振り返りを行いながら、粘り強く考えていく力、論拠を組み立てていく力を身に付けながら、卒業論文完成に必要なステップを一つひとつ積み重ねていく。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各回、予習復習を合わせて2時間程度。
自らの卒業論文のテーマに関連する論文、文献を読み、各自の課題に取り組んでおくこと。

[授業計画]
1.　はじめに（卒業論文作成にあたって）
2.　先行研究・発表・意見交換①
3.　先行研究・発表・意見交換②
4.　先行研究・発表・意見交換③
5.　先行研究の纏め
6.　研究調査・資料収集・分析①
7.　研究調査・資料収集・分析②
8.　研究調査・資料収集・分析③
9.　研究調査・提案・意見交換①
10. 研究調査・提案・意見交換②
11. 研究調査・提案・意見交換③
12. 分析結果・提案の纏め
13. 中間発表会の準備①
14. 中間発表会の準備②
15. 中間発表会
16. 論文執筆（題目、研究目的、研究方法）
17. 論文執筆（先行研究）①
18. 論文執筆（先行研究）②
19. 論文執筆（先行研究）③
20. 論文執筆（調査・分析結果）①
21. 論文執筆（調査・分析結果）②
22. 論文執筆（調査・分析結果）③
23. 論文執筆（提案）①
24. 論文執筆（提案）②
25. 論文執筆（提案）③
26. 論文執筆（纏め、参考文献等）
27. 論文最終確認
28. 論文抄録作成
29. 論文抄録推敲
30. 卒業論文発表会

[成績評価方法]
論文（80%）、口頭試問（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題に対するフィードバックは授業で行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル				
担当者	本多　明子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法:卒業論文、発表、試問

学科DP番号／DP内容:教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法:卒業論文、試問

学科DP番号／DP内容:教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法:卒業論文、発表、試問

学科DP番号／DP内容:教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法:卒業論文、試問

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法:卒業論文、発表、試問

学科DP番号／DP内容:教育3-5／教員という職業自体が社会的に特に高い人格・識見を求められる性質のものであることから、教員としての使命感を自覚し、その資質向上のためにたゆまず研鑽を積む態度と幼児・児童・生徒に対する教育的愛情をもつことができる。
成績評価方法:卒業論文、試問

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:卒業論文、発表、試問

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:卒業論文、試問

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:卒業論文、発表、試問

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:卒業論文、試問

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:卒業論文、試問

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／
成績評価方法:卒業論文、発表、試問

[教科書(ISBN)]
必要に応じて指示する　著者名:なし
（なし
）

[参考書(ISBN)]
小学校学習指導要領(平成29年告示)解説　外国語活動・外国語編　著者名:文部科学省　出版社:開隆堂　(9784304051685)
中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 外国語編　著者名:文部科学省　出版社:開隆堂　(9784304051692)

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル				
担当者	前田　研史			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
心理学的な研究方法に基づいた調査や文献的研究を行い、自分の関心あるテーマについて考察を深め、卒業論文を完成させる。

[授業概要]
乳幼児期から青年期までの人間の心理や行動、あるいは家族関係の諸問題などから、自分の関心あるテーマを選び明確なものとしていく。そして、そのテーマに関する専門的文献を検索し、読み込んでいく。そのうえで、心理学的な実験・調査の実施やこれまでの研究の展望を行い、論文作成を行っていく。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
日ごろから自分のテーマを意識しながら資料収集に努め、新聞やテレビなどで報道される内容にも関心をもつこと。

[授業計画]
1. 卒論作成の過程について説明
2. 卒論テーマの検討　テーマを明確にするための手順1
3. 卒論テーマの検討　テーマを明確にするための手順2
4. 卒論テーマの検討　各自の問題意識の確認1
5. 卒論テーマの検討　各自の問題意識の確認2
6. 各自のテーマの発表と相互討議1
7. 各自のテーマの発表と相互討議2
8. 各自のテーマの発表と相互討議3
9. 各自のテーマの発表と相互討議4
10. 各自のテーマの発表と相互討議5
11. テーマに添った資料収集の方法について1
12. テーマに添った資料収集の方法について2
13. 各自の資料収集方法の発表と相互討議1
14. 各自の資料収集方法の発表と相互討議2
15. 各自の資料収集方法の発表と相互討議3
16. 参考文献の読み込み方について1
17. 参考文献の読み込み方について2
18. 参考文献の読み込み方について3
19. 資料収集経過の発表と相互討議1
20. 資料収集経過の発表と相互討議2
21. 資料収集経過の発表と相互討議3
22. 資料収集経過の発表と相互討議4
23. 資料収集経過の発表と相互討議5
24. 卒論の構成の発表と相互討議1
25. 卒論の構成の発表と相互討議2
26. 文章の検討1
27. 文章の検討2
28. 文章の検討3
29. 文章の検討4
30. 卒論発表と講評

[成績評価方法]
研究方法や結果の整理の仕方（40%）・考察内容の妥当性（40%）、考察の深まりの程度（20%）に基づいて評価する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
随時授業内でフィードバックする。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル				
担当者	前田　研史			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：論文の内容

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：論文の内容

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：論文作成への取り組み姿勢

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：論文の内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：論文作成への取り組み姿勢

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
適宜紹介していく。

S69200 [LI4-002]

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル				
担当者	三宅　茂夫			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
幼稚園教育や保育、子どもの育ちに関する自らの課題について、科学的・研究的な視点から分析的に捉え、実践力の形成につなげていくことのできる教育実践学的研究力の構築を目指す。

[授業概要]
幼児教育学講読や演習において進めてきた学習や実践を土台に、自らの研究課題を明確にしていく。さらに、それらをもとに、関連する文献や先行研究のリサーチ等をさらに充実させながら研究を進め、研究論文としてまとめる。その間、定期的に研究の経過や結果等を発表することで、プレゼンテーション力の向上と研究成果の共有化を図っていく。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
前回の講義内容を整理し理解して、次回の講義の予習・準備をしておくこと。日常的に講義に関係する情報に関心を持ち、問題意識を持って、積極的に学びを進めること。授業内容が講義の場合は予習・復習合わせて4時間程度　演習の場合は予習・復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
【全て遠隔授業】（前期のみ）
1. 研究についてのガイダンス
2. 研究課題への取り組み1
3. 研究課題への取り組み2
4. 研究課題への取り組み3
5. 研究課題への取り組み4
6. 研究課題への取り組み5
7. 研究課題への取り組み6
8. 経過発表1
9. 研究課題への取り組み7
10. 研究課題への取り組み8
11. 研究課題への取り組み9
12. 研究課題への取り組み10
13. 研究課題への取り組み11
14. 研究課題への取り組み12
15. 経過発表2
16. 研究課題への取り組み13
17. 研究課題への取り組み14
18. 研究課題への取り組み15
19. 研究課題への取り組み16
20. 研究課題への取り組み17
21. 研究課題への取り組み18
22. 研究課題への取り組み19
23. 経過発表3
24. 研究課題への取り組み20
25. 研究課題への取り組み21
26. 研究課題への取り組み22
27. 研究課題への取り組み23
28. 研究課題への取り組み24
29. 研究課題への取り組み25
30. 研究のまとめ（研究発表会）

[成績評価方法]
研究成果（80%）、課題及び発表（20%）を総合して行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
その都度指導を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル				
担当者	三宅　茂夫			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:研究課題への取り組み

学科DP番号／DP内容:教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法:研究課題への取り組み

学科DP番号／DP内容:教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法:研究課題への取り組み

学科DP番号／DP内容:教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法:研究課題への取り組み

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:研究課題への取り組み

学科DP番号／DP内容:教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法:研究課題への取り組み

学科DP番号／DP内容:教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法:研究課題への取り組み

学科DP番号／DP内容:教育3-5／教員という職業自体が社会的に特に高い人格・識見を求められる性質のものであることから、教員としての使命感を自覚し、その資質向上のためにたゆまず研鑽を積む態度と幼児・児童・生徒に対する教育的愛情をもつことができる。
成績評価方法:研究課題への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:研究課題への取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:プレゼンテーション、ディスカッション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:研究課題への取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:研究課題への取り組み、プレゼンテーション、ディスカッション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:研究課題への取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:研究課題への取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:研究課題への取り組み

[教科書(ISBN)]
必要に応じて各自に指示

[参考書(ISBN)]
必要に応じて各自に指示

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル				
担当者	村田　恵子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
小学校の理科教育や理科教材に関わるテーマを設定し、調査・研究を行い、論文を作成する。

[授業概要]
各自が関心を持った小学校理科教育や理科教材に関するテーマについて、調査・研究を行い、論文を作成する。個別にテーマ設定後、年間計画を立て、研究の枠組み、調査・研究方法を随時相談・指導する。研究計画に従って研究を行い、論文を作成する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
個別指導が主となるため、毎回、各自が卒業研究の進捗状況を報告できるように、1週間分の成果をまとめておく。

[授業計画]
1.オリエンテーション
2.卒業論文の作成について
3.各自の研究テーマ設定①
4.各自の研究テーマ設定②
5.各自の研究テーマ設定③
6.研究の枠組み、調査・研究方法、研究計画について相談①
7.研究の枠組み、調査・研究方法、研究計画について相談②
8.研究の枠組み、調査・研究方法、研究計画について相談③
9.研究計画に従って調査・研究①
10.研究計画に従って調査・研究②
11.研究計画に従って調査・研究③
12.研究計画に従って調査・研究④
13.研究計画に従って調査・研究⑤
14.研究計画に従って調査・研究⑥
15.研究計画に従って調査・研究⑦
16.研究計画に従って調査・研究⑧
17.研究計画に従って調査・研究⑨
18.研究の概要発表①
19.研究の概要発表②
20.研究の概要発表③
21.論文作成①
22.論文作成②
23.論文作成③
24.論文作成④
25.論文作成⑤
26.論文作成⑥
27.論文作成⑦
28.論文作成⑧
29.論文作成⑨
30.卒業研究発表

[成績評価方法]
論文作成過程（30%）、論文内容（60%）、研究発表内容（10%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
論文作成（研究）過程において随時指導する。その結果としての論文と発表の内容を講評する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル				
担当者	村田　恵子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：論文作成過程・論文内容

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：論文作成過程・論文内容

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：論文作成過程・論文内容・研究発表内容

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：論文作成過程・論文内容

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：論文作成過程、論文内容、研究発表内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：論文作成過程、論文内容、研究発表内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：論文作成過程、論文内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：論文作成過程

[教科書（ISBN）]
なし。

[参考書（ISBN）]
なし。

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル	卒業論文の作成			
担当者	守本　智美			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
主に美術に関して設定した研究テーマにそって論文完成を目指す。

[授業概要]
主に美術に関して、各自卒業論文の研究テーマを設定し、論文作成のための個別指導を受けながら、論文作成に必要な文献、研究論文、各資料の収集等を計画的に進める。卒業論文提出期限までに論文を完成させ提出出来るよう授業を行う。論文作成の方法と資料等の探し方の要領など、卒業論文作成に必要な基礎的な知識を最初に学び、その後、各自で主に美術に関して論文作成のための研究テーマを、教員から指導を受けながら設定する。テーマを設定したあとは各自で研究に必要な資料、研究論文、文献等を収集する。また、場合によっては美術作品の現物を見に現地に出かけたり、アンケートなどを行う、実際に研究に必要な作品を制作してみるなどの方法をとりながら、卒業論文を作成し、期限までに完成させ提出する。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
各回、予習復習合わせて4時間程度。美術館で本物の作品を鑑賞したり、画集でも授業で関連する内容の作品はよく見て、自分の作品制作や研究に生かすこと。manaba(マナバ)にて授業に必要な連絡をするので、必ずmanabaに登録しておくこと。

[授業計画]
1.はじめに(卒業論文作成の概要について)
2.過去の卒業論文例の研究
3.卒業論文テーマの研究(過去のテーマ例研究)
4.卒業論文テーマの研究(各自の興味の確認①)
5.卒業論文テーマの研究(各自の興味の確認②)
6.卒業論文の書き方について(プリントと卒論例を比較し説明)①
7.卒業論文の書き方について②
8.卒業論文の書き方について③
9.卒業論文の書き方について④
10.資料収集方法等の説明と実践①
11.資料収集方法等の説明と実践②
12.資料収集方法等の説明と実践③
13.資料収集方法等の説明と実践④
14.卒業論文のテーマ設定①
15.卒業論文のテーマ設定②
16.論文作成の要領についての概略(項目、図、表等について)
17.資料、文献、参考論文の収集①(作品制作含む)
18.資料、文献、参考論文の収集②(作品制作含む)
19.資料、文献、参考論文の収集③(作品制作含む。以後、適宜に制作。)
20.論文作成(題目、はじめに)
21.論文作成(研究方法)①
22.論文作成(研究方法)②
23.論文作成(研究結果)①
24.論文作成(研究結果)②
25.論文作成(研究結果)③
26.論文作成(まとめ、参考文献等)
27.論文作成最終チェック
28.卒業論文抄録作成①
29.卒業論文抄録作成②
30.各自の論文のまとめと発表

[成績評価方法]
論文完成までの各自の取り組みの姿勢と方法(20%)、及び完成した論文の内容(80%)による。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
論文等に対するコメントを行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル	卒業論文の作成			
担当者	守本　智美			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：論文

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：論文

学科DP番号／DP内容：教育3-5／教員という職業自体が社会的に特に高い人格・識見を求められる性質のものであることから、教員としての使命感を自覚し、その資質向上のためにたゆまず研鑽を積む態度と幼児・児童・生徒に対する教育的愛情をもつことができる。
成績評価方法：論文

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：論文

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：論文

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：論文

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
なし。指導時に指示する。

S69230 [LI4-002]

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル	自らのテーマを追究する			
担当者	山内　紀幸			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
1　卒業論文の作成を通じて思考力、文章力、表現力等を学ぶ。
2　卒業論文の作成を通じて専門分野への理解を深め、専門性を生かした社会貢献のあり方を考える。

[授業概要]
本演習は、それまでの学習を基盤とし、学生自らがテーマを設定し、主体的な研究を進めることにより、その成果を卒業論文へとまとめていくものであり、同時に自らの学びを社会へと生かす視座を養う。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
三回生のゼミでの学習内容を振り返り、研究課題に対する知識を広げておくこと。また、毎時の課題をもとに、研究活動を遂行していくこと。

[授業計画]
1　研究計画(1):本演習の実施計画表作成
2　本研究(1):調査・フィールドワーク・ケーススタディ・の実施・先行研究の収集と学習
3　本研究(2) :調査・フィールドワーク・ケーススタディ・の実施・先行研究の収集と学習
4　本研究(3) :調査・フィールドワーク・ケーススタディ・の実施・先行研究の収集と学習
5　本研究(4) :調査・フィールドワーク・ケーススタディ・の実施・先行研究の収集と学習
6　本研究(5) :調査・フィールドワーク・ケーススタディ・の実施・先行研究の収集と学習
7　研究結果の吟味(1):調査・フィールドワーク・ケーススタディ・の実施・結果についての文献との比較検討
8　研究結果の吟味(2) :調査・フィールドワーク・ケーススタディ・の実施・結果についての文献との比較検討
9　中間発表会準備(1):目的・方法・予想される結果についての執筆
10中間発表会準備((2) :目的・方法・予想される結果についての執筆・プレゼン資料の作成
11 中間発表会
12　補足研究(1):結果についての文献との比較検討・調査・フィールドワーク・ケーススタディ・制作の補充
13 補足研究(2):結果についての文献との比較検討・調査・フィールドワーク・ケーススタディ・制作の補充
14 補足研究(3) :結果についての文献との比較検討・調査・フィールドワーク・ケーススタディ・制作の補充
15　研究計画(2):卒業論文題目の最終決定
16　研究結果の整理(1):データの量的・質的処理・データ整理・図表の作成
17　研究結果の整理(2) :データの量的・質的処理・データ整理・図表の作成15回
18　本文執筆(1):「方法」の文章作成
19 本文執筆(2):「結果」「考察」の文章作成
20本文執筆(3):「結果」「考察」の文章作成
21 本文清書(1):「目次」の作成
22 本文清書(2):「方法」の文章推敲（追加調査・の実施）
23　本文清書(3):「結果」「考察」の文章推敲
24　本文清書(4):卒業レポート全体の文章推敲
25　本文清書(5):卒業レポート全体の文章推敲。完成
26　卒論発表会準備(1):パワーポイントの作成
27　卒論発表会準備(2):パワーポイントの作成
28　卒論発表会準備(3):パワーポイントの作成
29　卒論発表会準備(4):パワーポイントの作成
30　卒論発表会:発表・質疑応答

[成績評価方法]
論文（80%）、発表（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内で討議の上、フィードバックを行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル	自らのテーマを追究する			
担当者	山内　紀幸			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：論文

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：論文

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：論文

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：論文、プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：論文

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：論文

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：論文

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
なし

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル				
担当者	山成　昭世			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
各自の関心に基づいて設定した論文テーマに関して、フィールドワーク、資料収集、造形作品の制作などを行い経験と知識や造形体験に裏付けされた実践力を育む。

[授業概要]
造形作品の制作や教育方法の実践等、各自の研究テーマに沿った個別指導を行う。中間発表のプレゼンテーションで指摘された問題点を改善し,より良い論文や造形作品を作成する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
作品制作や予習復習合わせて2時間程度の自主学習が必要です。

[授業計画]
【前期】
1. オリエンテーション
2. 卒業論文のテーマ研究①
3. 卒業論文のテーマ研究②
4. 卒業論文のテーマ研究③
5. 造形表現の研究①
6. 造形表現の研究②
7. 論文スタイルの検討①
8. 論文スタイルの検討②
9. 論文スタイルの検討③
10. 受講者による中間発表と質疑①
11. 受講者による中間発表と質疑②
12. 受講者による中間発表と質疑③
13. 中間発表の振り振りと課題①
14. 中間発表の振り返りと課題②
15. 中間発表の振り返りと課題③

【後期】
16. 中間発表を踏まえた具体的な検討①
17. 中間発表を踏まえた具体的な検討②
18. 中間発表を踏まえた具体的な検討③
19. 中間発表を踏まえた具体的な検討④
20. 中間発表を踏まえた具体的な検討⑤
21. 卒業論文、制作の指導①
22. 卒業論文、制作の指導②
23. 卒業論文、制作の指導③
24. 卒業論文、制作の指導④
25. 卒業論文、制作の指導⑤
26. 卒業論文、制作の指導⑥
27. 卒業論文、制作の指導⑦
28. 卒業論文、制作の指導⑧
29. 卒業論文発表会の準備、資料作成
30. 卒業論文発表会・作品発表も含む

[成績評価方法]
卒業研究、造形作品の内容（70%）研究態度（20%）プレゼンテーション（10%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
中間発表時、卒業論文発表時のプレゼンテーションで行う。
日々の取り組みの中でも問題点や課題を個別に指導する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	卒業論文	前期～後期	演習	8 単位
サブタイトル				
担当者	山成　昭世			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：卒業論文　造形作品

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：卒業論文

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：卒業論文　造形作品

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：卒業論文　造形作品

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：プレゼンテーション課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：卒業論文　造形作品

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：造形作品

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：卒業論文　造形作品

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
なし。適宜資料を配布します。
　出版社：

科目名	体育科概説	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	住本　純			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
体育・スポーツのもつ教育的可能性、体育科の基礎知識（体育科の基本的性格や内容論）等を理解する。体育科教育・スポーツ教育を取り巻く基礎的・制度的条件について理解する。

[授業概要]
　小学校体育科の基本的概念の構築を模索する。本講は小学校体育の授業を実践するに際し、必要とされる基礎的知識・実践能力の習得を主な目的とし概説する。児童が体育実技を実践することの意義や安全指導など総合的な指導方法を学習する。授業方法としては以下である。
・講義とそれに基づく課題についてのディスカッションを中心に展開する。
・レポート課題については、次回授業で全体に対してフィードバックを行う。
・最終授業で全体に対するフィードバックを行う。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
・関連性を持って、講義を進行していくので、前回の授業内容について復習する。
・次回の授業内容について、学習指導要領や参考文献で確認しておく.。

[授業計画]
1.オリエンテーション
2.スポーツ、体育の歴史
3.学校体育が抱える諸問題
4.体育科教育・スポーツ教育における日本の動きと国際的な動向
5.欧米諸国で提案されているスポーツ教育論
6.文化としてのスポーツ・体育の意義や多様性
7.体育科を通した教師の成長と必要な資質
8.小学校体育科の基本的性格と目的
9.学習者としての児童の発育発達
10.教科内容論（系統性を踏まえた運動領域編成）
11.体育科の教材づくり論
12.各運動領域の構造（体つくり運動、表現運動）
13.各運動領域の構造（器械運動、陸上運動）
14.各運動領域の構造（ゲーム・ボール運動）
15.まとめ（フィードバックと解説）

[成績評価方法]
試験（50%）、レポート（20%）、授業態度（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中やmanabaを通して行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	体育科概説	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	住本　純			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：試験、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：授業態度、レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：授業態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：レポート課題、試験

[教科書（ISBN）]
『小学校学習指導要領解説 体育偏』（平成29年告示）　著者名：文部科学省　出版社：東洋館出版社 （978-4491034676）

[参考書（ISBN）]
授業で適宜紹介

S61210

科目名	体育科概説	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	住本　純			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
体育・スポーツのもつ教育的可能性、体育科の基礎知識（体育科の基本的性格や内容論）等を理解する。体育科教育・スポーツ教育を取り巻く基礎的・制度的条件について理解する。

[授業概要]
　小学校体育科の基本的概念の構築を模索する。本講は小学校体育の授業を実践するに際し、必要とされる基礎的知識・実践能力の習得を主な目的とし概説する。児童が体育実技を実践することの意義や安全指導など総合的な指導方法を学習する。授業方法としては以下である。
・講義とそれに基づく課題についてのディスカッションを中心に展開する。
・レポート課題については、次回授業で全体に対してフィードバックを行う。
・最終授業で全体に対するフィードバックを行う。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
・関連性を持って、講義を進行していくので、前回の授業内容について復習する。
・次回の授業内容について、学習指導要領や参考文献で確認しておく.。

[授業計画]
1.オリエンテーション
2.スポーツ、体育の歴史
3.学校体育が抱える諸問題
4.体育科教育・スポーツ教育における日本の動きと国際的な動向
5.欧米諸国で提案されているスポーツ教育論
6.文化としてのスポーツ・体育の意義や多様性
7.体育科を通した教師の成長と必要な資質
8.小学校体育科の基本的性格と目的
9.学習者としての児童の発育発達
10.教科内容論（系統性を踏まえた運動領域編成）
11.体育科の教材づくり論
12.各運動領域の構造（体つくり運動、表現運動）
13.各運動領域の構造（器械運動、陸上運動）
14.各運動領域の構造（ゲーム・ボール運動）
15.まとめ（フィードバックと解説）

[成績評価方法]
試験（50%）、レポート（20%）、授業態度（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中やmanabaを通して行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	体育科概説	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	住本　純			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：試験、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：授業態度、レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：授業態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：レポート課題、試験

[教科書（ISBN）]
『小学校学習指導要領解説 体育偏』（平成29年告示）　著者名：文部科学省　出版社：東洋館出版社 （978-4491034676）

[参考書（ISBN）]
授業で適宜紹介

科目名	体育科教育法	後期	演習	2 単位
サブタイトル	小学校体育			
担当者	住本　純			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
体育授業の実践的指導力を身につける。教材作成力や指導力の向上を図る。

[授業概要]
小学校体育授業を対象に、運動の楽しさや喜びを感じられる授業の学習内容・実践方法を探る。
小学校学習指導要領解説に合致した授業を作成し、模擬授業に取り組む。学習指導要領解説に示されている運動領域をまんべんなく取り扱う。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
学習指導要領解説に示されている体育の目標、内容と系統性のあるカリキュラムについて理解を深めておく。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 教員による模擬授業
3. 教材作成
4. 模擬授業「体つくり運動」①
5. 模擬授業「体つくり運動」②
6. 模擬授業「表現運動①」
7. 模擬授業「表現運動②」
8. 模擬授業「陸上運動①」
9. 模擬授業「陸上運動②」
10. 模擬授業「器械運動①」
11. 模擬授業「器械運動②」
12. 模擬授業「ボール運動①」
13. 模擬授業「ボール運動②」
14. これまでの模擬授業に関する省察
15. まとめ

[成績評価方法]
①学習指導案と模擬授業（30%）
②受講態度（20%）
③修正学習指導案と模擬授業の省察（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S61080 [LH2-096]

科目名	体育科教育法	後期	演習	2 単位
サブタイトル	小学校体育			
担当者	住本　純			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：学習指導案

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：模擬授業

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：教材や指導案の作成過程と省察レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：受講態度、模擬授業

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：模擬授業、修正学習指導案、模擬授業の省察

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
『小学校学習指導要領解説 体育偏』　著者名：文部科学省　出版社：東洋館出版社

S61080 [LH2-096]

科目名	体育科教育法	後期	演習	2 単位
サブタイトル	小学校体育			
担当者	住本　純			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
体育授業の実践的指導力を身につける。教材作成力や指導力の向上を図る。

[授業概要]
小学校体育授業を対象に、運動の楽しさや喜びを感じられる授業の学習内容・実践方法を探る。
小学校学習指導要領解説に合致した授業を作成し、模擬授業に取り組む。学習指導要領解説に示されている運動領域をまんべんなく取り扱う。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
学習指導要領解説に示されている体育の目標、内容と系統性のあるカリキュラムについて理解を深めておく。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 教員による模擬授業
3. 教材作成
4. 模擬授業「体つくり運動」①
5. 模擬授業「体つくり運動」②
6. 模擬授業「表現運動①」
7. 模擬授業「表現運動②」
8. 模擬授業「陸上運動①」
9. 模擬授業「陸上運動②」
10. 模擬授業「器械運動①」
11. 模擬授業「器械運動②」
12. 模擬授業「ボール運動①」
13. 模擬授業「ボール運動②」
14. これまでの模擬授業に関する省察
15. まとめ

[成績評価方法]
①学習指導案と模擬授業（30%）
②受講態度（20%）
③修正学習指導案と模擬授業の省察（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	体育科教育法	後期	演習	2 単位
サブタイトル	小学校体育			
担当者	住本　純			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：学習指導案

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：模擬授業

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：教材や指導案の作成過程と省察レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：受講態度、模擬授業

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：模擬授業、修正学習指導案、模擬授業の省察

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
『小学校学習指導要領解説 体育偏』　著者名：文部科学省　出版社：東洋館出版社

S61081 [LH2-096]

科目名	体育科教育法	後期	演習	2 単位
サブタイトル	小学校体育			
担当者	住本　純			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
体育授業の実践的指導力を身につける。教材作成力や指導力の向上を図る。

[授業概要]
小学校体育授業を対象に、運動の楽しさや喜びを感じられる授業の学習内容・実践方法を探る。
小学校学習指導要領解説に合致した授業を作成し、模擬授業に取り組む。学習指導要領解説に示されている運動領域をまんべんなく取り扱う。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
学習指導要領解説に示されている体育の目標、内容と系統性のあるカリキュラムについて理解を深めておく。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 教員による模擬授業
3. 教材作成
4. 模擬授業「体つくり運動」①
5. 模擬授業「体つくり運動」②
6. 模擬授業「表現運動①」
7. 模擬授業「表現運動②」
8. 模擬授業「陸上運動①」
9. 模擬授業「陸上運動②」
10. 模擬授業「器械運動①」
11. 模擬授業「器械運動②」
12. 模擬授業「ボール運動①」
13. 模擬授業「ボール運動②」
14. これまでの模擬授業に関する省察
15. まとめ

[成績評価方法]
①学習指導案と模擬授業（30%）
②受講態度（20%）
③修正学習指導案と模擬授業の省察（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	体育科教育法	後期	演習	2 単位
サブタイトル	小学校体育			
担当者	住本　純			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：学習指導案

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：模擬授業

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：教材や指導案の作成過程と省察レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：受講態度、模擬授業

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：模擬授業、修正学習指導案、模擬授業の省察

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
『小学校学習指導要領解説 体育偏』　著者名：文部科学省　出版社：東洋館出版社

S61082 [LH2-096]

科目名	体育科特別演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル	体育科教育指導法を含む			
担当者	住本　純			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
小学校体育科の教材研究及び指導法について実践を通して理解する。

[授業概要]
小学校体育の教材内容を把握し、各領域の指導法について実践を通して理解する。
授業内容は、各学生のニーズに応じた演習課題を明確にし、実技を通して技能を身につけ指導者としての資質を高める。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
自己の実技課題について調べておく。その実技課題練習について具体的な流れを組み立てる。

[授業計画]
1. 科目概要の説明
2. 器械運動における系統的な指導方法
3. 器械運動における具体的な技に応じた補助法や指導方法
4. ボール運動における指導方法
5. 陸上運動における指導方法
6. 各学生のニーズに応じた課題の確認と練習方法
7. 個別実技練習1（グループ内でのFBや指導方法の検討）
8. 個別実技練習2（グループ内でのFBや指導方法の検討）
9. 個別実技練習3（グループ内でのFBや指導方法の検討）
10. 個別実技練習4（グループ内でのFBや指導方法の検討）
11. 個別実技練習5（グループ内でのFBや指導方法の検討）
12. 模擬実技1
13. 模擬実技2
14. 模擬実技3
15. まとめ

[成績評価方法]
受講態度（授業参加度、周囲とのコミュニケーションや意見交換、補助など）50%、課題内容50%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	体育科特別演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル	体育科教育指導法を含む			
担当者	住本　純			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：実技練習プロセス

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：他者への助言、指導、励まし

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：他者への助言、指導、励まし

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：各自の到達目標への達成度

[教科書（ISBN）]
小学校学習指導要領解説「体育編」 著者名：文部科学省　出版社：東洋館出版社 （978-4-491-0346-6）

[参考書（ISBN）]
課題に応じて紹介する

S61770 [LH4-013]

科目名	対人関係論	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	宮川　貴美子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
対人関係の中に生きる存在として、社会の中で、援助的な役割を担うための基礎となるのは自己理解、他者理解、人間関係理解である。これらの理解を深めるとともに、必要な感受性をみがくことを体験的に学ぶ。

[授業概要]
わたしたちは他者との関わりの中で生きており、対人関係を通して、自分をより深く知ることができる。
この授業では、グループワークを通して、さまざまな気づきや学びの体験をする。たとえば、グループの中にいる自分のあり方、グループメンバーと一体化する喜びやともに味わう達成感(時にはグループに入れないさみしさや疎外感)、他のメンバーの言動や心の動きに対する感受性、自己主張と他者受容のあり方、価値観の違い、リーダーシップやメンバーシップ、自分と他者のコミュニケーションのあり方、他者から学ぶことの重要性などを、個人や集団による実習を通して学ぶ。
ラボラトリー方式の体験学習のステップに基づき、個人ペア、またはグループによる実習を行い、そこで気づいたことを言語化する。個人でふりかえりを行うとともに、メンバー相互間でフィードバックすることで自己理解、他者理解、関係理解を深めていく。したがってこの授業では、実習、ふりかえり(個人とメンバー相互のフィードバック)、理論化のための講義をワンセットにして進める。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
実習中や実習後のふりかえりで気づいたことや学びが自分にとってどのような意味があるのかを考える。また実習を通して気づいた自分の「課題」に、今後どのように取り組んでいくのか，得た知識や感性をその後の生活・人生にどのように活かすのかについても考える。

[授業計画]
【全て遠隔授業】
前期集中講義の形態により実施する。
実習のテーマは、「グループワーク」→「個人でのふりかえり」→「グループでのシェアリング」をワンセットにして構成される。

1. オープニング①:アイスブレーキング
2. オープニング②:お互いにより深く知り合う
3. 課題解決実習
4. ふりかえり
5. コミュニケーション実習①:コミュニケーションの基本を学ぶ，より深くわかりあう
6. ふりかえり
7. イメージ交換
8. ふりかえり
9. コミュニケーション実習②
10. ふりかえり
11. コンセンサス実習
12. ふりかえり
13. コミュニケーション実習③
14. ふりかえり
15. クロージング

[成績評価方法]
毎回の実習の参加(50%)と定期試験に代わるレポート(50%)により総合的に判断する。
この授業では、自分自身を素材とした自らの体験によって、何を学び、どう気づき、どのように変化したかが問われることになる。したがって、いわゆる学習成果としての「知識」を確かめるための試験は行わない。
受講者が「参加・体験する」ことを受講の基本条件とするため、原則として、遅刻、早退は認めない。また授業の性格から、3コマ相当時間を超える欠席をもって成績評価を行わない。ただし学校感染症など大学が認める欠席の場合は、この限りではない。それを証明する書類の提出をもって「公欠」とする。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	対人関係論	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	宮川　貴美子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

[教科書(ISBN)]
なし

[参考書(ISBN)]
人間関係トレーニング　私を育てる教育への人間学的アプローチ　著者名:津村俊充・山口真人偏　出版社:ナカニシヤ出版　(9784888481823)

S63150 [LH3-182]

科目名	中学校基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	佐藤　浩樹			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
小・中学校教員として求められる実践的指導力に結びつく基本力となるコミュニケーション力やソーシャルスキル、プレゼンテーション力、教育的観察眼等を養う。

[授業概要]
現代の教育課題等を各回のテーマとして、ワークショップやグループディスカッション等により教育的関心を高め、発表や表現等のスキルを高める。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
日頃から、学校教育に対して関心を持ち、新聞や文献等で考察を深めておく。

[授業計画]
1　オリエンテーション、基礎力の診断的評価テスト（合同）
2　目指す教師像について（1）
3　目指す教師像について（2）
4　小学校現場の課題（1）
5　小学校現場の課題（2）
6　新聞（インターネット）記事を読んでプレゼンテーション（1）
7　新聞（インターネット）記事を読んでプレゼンテーション（2）
8　ワークショップ型の学び（1）
9　ワークショップ型の学び（2）
10　中学校現場の課題（1）（合同）
11　中学校現場の課題（2）
12　中学校現場の課題（3）
13　スクールサポーターの報告と討議
14　基礎テスト
15　まとめ、模擬授業教室の掲示物作成

[成績評価方法]
受講態度（50%）授業中の発表（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
提出課題については授業内で返却

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S64840

科目名	中学校基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	佐藤　浩樹			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：発表、課題

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：発表、課題

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：発表、課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：発表・課題

[教科書（ISBN）]
なし（プリント配布）

[参考書（ISBN）]
なし

S64840

科目名	中学校基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	佐藤　佳子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
小・中学校教員として求められる実践的指導力に結びつく基本力となるコミュニケーション力やソーシャルスキル、プレゼンテーション力、教育的観察眼等を養う。

[授業概要]
現代の教育課題等を各回のテーマとして、ワークショップやグループディスカッション等により教育的関心を高め、発表や表現等のスキルを高める。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
日頃から、学校教育に対して関心を持ち、新聞や文献等で考察を深めておく。

[授業計画]
1　オリエンテーション、基礎力の診断的評価テスト（合同）
2　目指す教師像について（1）
3　目指す教師像について（2）
4　小学校現場の課題（1）
5　小学校現場の課題（2）
6　新聞（インターネット）記事を読んでプレゼンテーション（1）
7　新聞（インターネット）記事を読んでプレゼンテーション（2）
8　ワークショップ型の学び（1）
9　ワークショップ型の学び（2）
10　中学校現場の課題（1）（合同）
11　中学校現場の課題（2）
12　中学校現場の課題（3）
13　スクールサポーターの報告と討議
14　基礎テスト
15　まとめ、模擬授業教室の掲示物作成

[成績評価方法]
受講態度（50%）授業中の発表（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
提出課題については授業内で返却

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S64841

科目名	中学校基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	佐藤　佳子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：発表、課題

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：発表、課題

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：発表、課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：発表・課題

[教科書（ISBN）]
なし（プリント配布）

[参考書（ISBN）]
なし

S64841

科目名	中学校基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	谷山　優子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
小・中学校教員として求められる実践的指導力に結びつく基本力となるコミュニケーション力やソーシャルスキル、プレゼンテーション力、教育的観察眼等を養う。

[授業概要]
現代の教育課題等を各回のテーマとして、ワークショップやグループディスカッション等により教育的関心を高め、発表や表現等のスキルを高める。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
日頃から、学校教育に対して関心を持ち、新聞や文献等で考察を深めておく。

[授業計画]
1　オリエンテーション、基礎力の診断的評価テスト（合同）
2　目指す教師像について（1）
3　目指す教師像について（2）
4　小学校現場の課題（1）
5　小学校現場の課題（2）
6　新聞（インターネット）記事を読んでプレゼンテーション（1）
7　新聞（インターネット）記事を読んでプレゼンテーション（2）
8　ワークショップ型の学び（1）
9　ワークショップ型の学び（2）
10　中学校現場の課題（1）（合同）
11　中学校現場の課題（2）
12　中学校現場の課題（3）
13　スクールサポーターの報告と討議
14　基礎テスト
15　まとめ、模擬授業教室の掲示物作成

[成績評価方法]
受講態度（50%）授業中の発表（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
提出課題については授業内で返却

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S64842

科目名	中学校基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	谷山　優子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：発表、課題

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：発表、課題

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：発表、課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：発表・課題

[教科書（ISBN）]
なし（プリント配布）

[参考書（ISBN）]
なし

S64842

科目名	中等英語科教育法Ⅰ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	中学校における外国語（英語）の学習・指導に関する知識と授業指導及び学習評価の基礎を身につける			
担当者	佐藤　佳子			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
中学校における外国語（英語）の学習・指導に関する知識と授業指導及び学習評価の基礎を身につける。

[授業概要]
テキストを利用し、学習指導要領及び教科用図書について理解するとともに、複数の領域を統合した言語活動の指導方法を身につける。年間指導計画、単元計画、各時間の指導計画及び授業の組み立て方についての理解をするとともに、学習指導案を作成し、評価についても理解を促す。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
テキストを事前に読み、疑問点をまとめておく。授業後の振り返りで、疑問点が解消したかどうかさらに検証する。

[授業計画]
第1回：英語という言語の特質について
第2回：英語教育の歴史と必要性について
第3回：学習指導要領にもいる日本の外国語教育の変遷（育成するべき英語力について）
第4回：コミュニケーション能力について
第5回：第2言語習得理論
第6回：言語適性について（認知要因）
第7回：英語学習の動機づけについて（情意要因）
第8回：学習方略について（行動要因）
第9回：学習評価について
第10回：小学校の指導と評価
第11回：中学校の指導と評価
第12回：高等学校の指導と評価　ICT教材の活用
第13回：英語教師に必要な資質と能力について（学び続ける教師になるために）
第14回：学習指導案作成
第15回：指導案について自己評価と相互評価（レポート作成）

[成績評価方法]
毎時間授業後の振り返りレポート（60%）　指導案（20%）　最終レポート（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中及び、manabaの掲示板を利用して行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S64820

科目名	中等英語科教育法Ⅰ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	中学校における外国語（英語）の学習・指導に関する知識と授業指導及び学習評価の基礎を身につける			
担当者	佐藤　佳子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：レポート課題

[教科書（ISBN）]
「学ぶ・教える・考える」ための実践的英語科教育法　著者名：酒井英樹・廣森友人・吉田達弘編著　出版社：大修館書店 （9784469246223）

[参考書（ISBN）]
中学校学習指導要領
　著者名：文部科学省　出版社：東山書房 （978－4－8278－15580
）
中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 外国語編　著者名：文部科学省　出版社：開隆堂 （9784304051692）
小学校学習指導要領(平成29年告示)解説　外国語活動・外国語編　著者名：文部科学省　出版社：開隆堂 （9784304051685）

S64820

科目名	中等英語科教育法Ⅱ	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	本多　明子、佐藤　佳子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
中学校の英語教員に求められる資質・能力を身につけるためには、英語教育に関する理論的、実践的側面の理解を深め、小学校と高等学校との連続性を意識した中学校における英語教育のあり方について理解しておく必要がある。本授業では、学習指導要領に記された目標や内容を理解した上で、英語科教育法に関する基本的な知識・技能を活用しながら指導案が作成できることを目標とする。

[授業概要]
中学校での英語教育のあるべき指導法について、学習指導要領に記された目標に沿って理論と実践の両面から考察する。教育現場での実践事例を収集・分析し、コミュニケーション能力の育成に主眼を置いた中学生に相応しい指導内容と指導方法の開発を目指す。同時に、国際的視野に立って異文化を積極的に受容していこうとする資質や態度を育てるための指導法を組み入れていく。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
各回、予習復習を合わせて2時間程度。
中学校学習指導要領及び文部科学省検定教科書をしっかりと読んでおくこと。
授業内容を振り返り、質問があればメモしておき、次の授業時間に確認すること。

[授業計画]
1. 中学校の英語教員に求められる資質・能力とは（本多・佐藤）
2. 第二言語習得と教授法（本多）
3. 「聞くこと」の指導（本多）
4. 「読むこと」の指導（本多）
5. 「話すこと（やり取り・発表）」の指導（本多）
6. 「書くこと」の指導（本多）
7. 中学校英語教育における4技能5領域の指導（本多）
8. 自文化と異文化（本多）
9. ICT機器の教室内での活用（本多）
10. ALTとのティーム・ティーチング（本多）
11. 教材研究の方法（佐藤）
12. 教材研究（佐藤）
13. 学習指導案の作成（佐藤）
14. 学習指導案の検討（佐藤）
15. まとめ （本多）

[成績評価方法]
定期試験（50%）と授業中の課題（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題に対するフィードバックは授業で行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S64830

科目名	中等英語科教育法Ⅱ	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	本多　明子、佐藤　佳子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：定期試験、授業中の課題

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：定期試験、授業中の課題

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：授業中の課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業中の課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：授業中の課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：授業中の課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業中の課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：定期試験、授業中の課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／道筋に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：定期試験、授業中の課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：定期試験、授業中の課題

[教科書（ISBN）]
令和3年度版　『NEW CROWN: English Series』1, 2, 3　著者名：根岸 雅史、他95名　出版社：三省堂

[参考書（ISBN）]
中学校学習指導要領解説　外国語編　著者名：文部科学省　出版社：開隆堂　（9784304051692）

S64830

科目名	道徳教育の理論と指導法	前期		2 単位
サブタイトル				
担当者	田中　美紀子			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
教育活動全体を通じて行われる道徳教育の意義を考え、道徳教育の内容を把握し、教育の現場における様々な状況を想定しながら、実践的な指導力が身につく。

[授業概要]
本講義では『学習指導要領』に明記される道徳教育の意義と目標、道徳教育の内容、道徳教育の実践を主要な柱として扱う。児童・生徒の発達段階に応じて、道徳心を培うために選択した資料を用いて学習指導案を考案・作成する。それに基づいて模擬授業を行い、実践的能力を養う。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
指定されたテキスト・資料をあらかじめ読んでおくこと。各回、予習復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. オリエンテーション、道徳教育の意義
2. 道徳教育の目標
3. 道徳教育の内容① A.自分自身に関すること、B.人とのかかわり、
4. 道徳教育の内容② C.集団や社会とのかかわり(公平、公正、社会正義)、D.生命、自然、崇高なものとのかかわり
5. 道徳の指導法、学習教材・資料の分析
6. 道徳感情 vs 義務
7. 学習指導案の考案・作成について
8. 学習指導案の例、研究授業（DVD鑑賞）、模擬授業準備
9. 道徳教材視聴（DVD）、模擬授業準備
10. 板書について、模擬授業準備
11. 模擬授業実施① 低学年
12. 模擬授業実施② 中学年
13. 模擬授業実施③ 中学年
14. 模擬授業実施④ 高学年
15. 総括および授業に関する反省と評価

[成績評価方法]
学習指導案と模擬授業（20%）、期末試験（80%）、授業態度等を総合的に評価。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
模擬授業のコメントは学内ウェブで公開する。筆記試験の解答例も学内ウェブで公開する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	道徳教育の理論と指導法	前期		2 単位
サブタイトル				
担当者	田中　美紀子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：試験

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：試験

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：試験

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：試験

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：試験

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：模擬授業

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：模擬授業

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：模擬授業

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：模擬授業

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：模擬授業

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：模擬授業

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：模擬授業

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：模擬授業

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：模擬授業

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：模擬授業

[教科書（ISBN）]
「小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」 著者名：文部科学省　出版社：廣済堂あかつき （978-4-908255-35-9）

[参考書（ISBN）]
「中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」
　著者名：文部科学省　出版社：教育出版 （978-4-316-30084-9）

S64000

科目名	道徳教育の理論と指導法	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	田中　美紀子			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
教育活動全体を通じて行われる道徳教育の意義を考え、道徳教育の内容を把握し、教育の現場における様々な状況を想定しながら、実践的な指導力が身につく。

[授業概要]
本講義では『学習指導要領』に明記される道徳教育の意義と目標、道徳教育の内容、道徳教育の実践を主要な柱として扱う。児童・生徒の発達段階に応じて、道徳心を培うために選択した資料を用いて学習指導案を考案・作成する。それに基づいて模擬授業を行い、実践的能力を養う。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
指定されたテキスト・資料をあらかじめ読んでおくこと。各回、予習復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. オリエンテーション、道徳教育の意義
2. 道徳教育の目標
3. 道徳教育の内容① A.自分自身に関すること、B.人とのかかわり、
4. 道徳教育の内容② C.集団や社会とのかかわり(公平、公正、社会正義)、D.生命、自然、崇高なものとのかかわり
5. 道徳の指導法、学習教材・資料の分析
6. 道徳感情 vs 義務
7. 学習指導案の考案・作成について
8. 学習指導案の例、研究授業（DVD鑑賞）、模擬授業準備
9. 道徳教材視聴（DVD）、模擬授業準備
10. 板書について、模擬授業準備
11. 模擬授業実施① 低学年
12. 模擬授業実施② 中学年
13. 模擬授業実施③ 中学年
14. 模擬授業実施④ 高学年
15. 総括および授業に関する反省と評価

[成績評価方法]
学習指導案と模擬授業（20%）、期末試験（80%）、授業態度等を総合的に評価。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
模擬授業のコメントは学内ウェブで公開する。筆記試験の解答例も学内ウェブで公開する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	道徳教育の理論と指導法	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	田中　美紀子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：試験

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：試験

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：試験

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：試験

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：試験

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：模擬授業

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：模擬授業

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：模擬授業

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：模擬授業

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：模擬授業

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：模擬授業

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：模擬授業

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：模擬授業

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：模擬授業

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：模擬授業

[教科書（ISBN）]
「小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」 著者名：文部科学省　出版社：廣済堂あかつき （978-4-908255-35-9）

[参考書（ISBN）]
「中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」
　著者名：文部科学省　出版社：教育出版 （978-4-316-30084-9）

S64001

科目名	特別活動の指導法	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	佐藤　浩樹			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
学校教育全体における特別活動の意義、目標および内容を理解する。
特別活動の指導のあり方について理解する。

[授業概要]
前半は、特別活動の意義、目標、内容、歴史、位置付け、心理学的基礎を踏まえた指導原理について事例を取り上げて解説する。後半は、特別活動における各活動の内容と指導、評価、家庭・地域・関係機関との連携ついて演習を取り入れて授業を行う。学級活動においては、話し合い活動や意思決定の重要性を取り上げ、学習指導案の作成する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
前回の授業のまとめプリントを行い、授業内容を定着させる。

[授業計画]
第1回：特別活動とは何か①（意義、目的、内容）
第2回：特別活動とは何か②（歴史的変遷、教育課程における位置付け）
第3回：特別活動の心理学的基礎①（集団活動論）
第4回：特別活動の心理学的基礎②（リーダーシップ論）
第5回：特別活動における指導原理、望ましい人間関係づくり
第6回：クラブ活動の内容と指導
第7回：部活動指導のあり方
第8回：児童会活動の内容と指導
第9回：学校行事の内容とあり方
第10回：学校行事の指導と諸課題
第11回：学級活動の内容と指導①(内容(1))
第12回：学級活動の内容と指導②（内容(2)）、学級活動における話し合い活動
第13回：学級活動とキャリア教育（内容(3)）、学級活動の学習指導案の作成
第14回：学級活動の学習指導案の交流、特別活動の評価、他の教育活動との関連
第15回：まとめ、テスト

[成績評価方法]
授業態度30%、レポート10%、テスト60%。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S64510

科目名	特別活動の指導法	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	佐藤　浩樹			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法： 試験、レポート課題、ワークシート

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：試験、レポート課題、ワークシート　教育

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：　試験、レポート課題、ワークシート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業への取組姿勢、試験、レポート課題、ワークシート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力　／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：授業への取組姿勢、試験、レポート課題、ワークシート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業への取組姿勢、試験、レポート課題、ワークシート

[教科書（ISBN）]
小学校学習指導要領(平成29年告示)解説　特別活動編　著者名： 文部科学省　出版社：東洋館出版　（9784491034690）

[参考書（ISBN）]
特別活動指導法　著者名：渡部 邦雄 ,緑川 哲夫 ,桑原 憲一　出版社：日本文教出版 （4536601007）

S64510

科目名	特別活動の指導法	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	佐藤　浩樹			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
学校教育全体における特別活動の意義、目標および内容を理解する。
特別活動の指導のあり方について理解する。

[授業概要]
前半は、特別活動の意義、目標、内容、歴史、位置付け、心理学的基礎を踏まえた指導原理について事例を取り上げて解説する。後半は、特別活動における各活動の内容と指導、評価、家庭・地域・関係機関との連携ついて演習を取り入れて授業を行う。学級活動においては、話し合い活動や意思決定の重要性を取り上げ、学習指導案の作成する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
前回の授業のまとめプリントを行い、授業内容を定着させる。

[授業計画]
第1回：特別活動とは何か①（意義、目的、内容）
第2回：特別活動とは何か②（歴史的変遷、教育課程における位置付け）
第3回：特別活動の心理学的基礎①（集団活動論）
第4回：特別活動の心理学的基礎②（リーダーシップ論）
第5回：特別活動における指導原理、望ましい人間関係づくり
第6回：クラブ活動の内容と指導
第7回：部活動指導のあり方
第8回：児童会活動の内容と指導
第9回：学校行事の内容とあり方
第10回：学校行事の指導と諸課題
第11回：学級活動の内容と指導①(内容(1))
第12回：学級活動の内容と指導②（内容(2)）、学級活動における話し合い活動
第13回：学級活動とキャリア教育（内容(3)）、学級活動の学習指導案の作成
第14回：学級活動の学習指導案の交流、特別活動の評価、他の教育活動との関連
第15回：まとめ、テスト

[成績評価方法]
授業態度30%、レポート10%、テスト60%。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	特別活動の指導法	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	佐藤　浩樹			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法： 試験、レポート課題、ワークシート

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：試験、レポート課題、ワークシート　教育

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：　試験、レポート課題、ワークシート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業への取組姿勢、試験、レポート課題、ワークシート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力　／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：授業への取組姿勢、試験、レポート課題、ワークシート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業への取組姿勢、試験、レポート課題、ワークシート

[教科書（ISBN）]
小学校学習指導要領(平成29年告示)解説　特別活動編　著者名： 文部科学省　出版社：東洋館出版　（9784491034690）

[参考書（ISBN）]
特別活動指導法　著者名：渡部 邦雄 ,緑川 哲夫 ,桑原 憲一　出版社：日本文教出版 （4536601007）

科目名	特別支援教育	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	谷山　優子			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
・通常の学級にも在籍している発達障害や知的障害など様々な障害等により特別の支援を必要とする用幼児児童生徒が授業において学習活動に参加している実感・達成感を持ちながら学び、生きる力を身に付けるように、必要な知識と支援方法を理解する。
・学校の教員と関係諸機関が連携しながら個別の教育的ニーズに対して継続的勝組織的な支援ができるような知識と方法を理解する。
・全学共通のディプロマ・ポリシーに基づき、基礎・基本となる力の「知識・技能」、考える力としての「思考力・判断力・表現力等の能力」、そして、それらを活用するときの態度に現れる「主体性・多様性・協働性」を身につける。

[授業概要]
この授業では、学校現場における教員経験があるものが、その経験を活かして、今日的な課題（特別支援教育等）への対応を指導する。特別の支援を必要とする幼児や児童、生徒の障害特性および心身の発達を理解する。また、特別の支援を必要とする幼児や児童、生徒の教育課程及び支援の方法を理解する。障害はないが、特別の教育的ニーズのある幼児、児童、生徒の把握や支援について理解する。インクルーシブ教育システムを含めた特別支援教育に関する制度の理念や仕組みを理解する。毎時間、グループワークなど主体的で協働的な学びの手法で授業を進める。学んだことを実行する課題を課す。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
・事前に「特別支援教育」に関する書物や資料を読みこんでおくこと。＜2時間＞
・授業で指定された課題について主体的、探究的に実行すること。＜2時間＞

[授業計画]
1.特別支援教育の制度・理念
2.視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱等さまざまな障害理解
3.通常の学級に在籍する発達障害のある幼児児童生徒の特性（グループワーク）
4.自閉症スペクトラム症候群の特性の理解と支援（グループワーク）
5.ADHDの特性の理解と支援（グループワーク）
6.学習障害の特性の理解と支援（学外特別講師）
7.ユニバーサルデザインの授業とインクルーシブ教育（グループワーク）
8.障害のある子供の保護者理解（グループワーク）
9.特別支援教育コーディネーターの仕事と関係機関連携（グループワーク）
10.障害のある児童生徒の学びの場（通級指導教室、特別支援学級）（グループワーク）
11.個別の指導計画と個別の教育支援計画の作成（グループワーク）
12.ユニバーサルデザインの教材作り（グループワーク）
13.母国語や貧困等から教育的ニーズのある幼児児童生徒の理解（学外フィールドワーク）
14.「ケース会議」のロールプレイ
15.まとめ

[成績評価方法]
試験（50%）、授業中の課題（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中の課題に対してコメント等のフィードバックを返します。
授業以外の研究課題に対して添削等の指導を行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	特別支援教育	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	谷山　優子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:試験、レポート課題

学科DP番号／DP内容:教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法:試験、レポート課題

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:試験、レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:試験、レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:試験、レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:試験、レポート課題

[教科書(ISBN)]
『よくわかる発達障害第2版』 著者名:小野次朗・上野一彦・藤田継道編　出版社:ミネルヴァ書房 (978-4-623-05736-8)

[参考書(ISBN)]
授業進度に応じて紹介

科目名	日本教育史	前期	講義	2 単位
サブタイトル	近代日本教育史			
担当者	中村　隆文			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
教職に必要な教育史の知識

[授業概要]
近代の日本の教育を学校の成立を中心に講義する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
今までに学んだ教育史関連の知識の整理と復習

[授業計画]
1.明治期1
2.明治期2
3.明治期3
4.明治期4
5.明治期5
6.大正期1
7.大正期2
8.大正期3
9.大正期4
10.大正期5
11.昭和期1
12.昭和期2
13.昭和期3
14.昭和期4
15.昭和期5

授業全体を各期に分けて論述する。
各期の教育法令を中心にその内容、意義などをしめす。

[成績評価方法]
テスト（60%）・レポート（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
随時、講評する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S60040 [LH1-068]

科目名	日本教育史	前期	講義	2 単位
サブタイトル	近代日本教育史			
担当者	中村　隆文			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：レポート・発表

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：レポート・発表

[教科書（ISBN）]
『視線からみた日本近代』 著者名：中村隆文　出版社：京都大学学術出版会 （4－87698－099－3）

[参考書（ISBN）]
『視線からみた日本近代』　著者名：中村隆文　出版社：京都大学学術出版会　（4－87698－099－3
）

S60040 [LH1-068]

科目名	乳児保育Ⅰ	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	石田　裕子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
乳児期の発達を理解し、乳児保育に必要な基礎的な知識や技能を身につける

[授業概要]
乳児保育の歴史や、乳児期や低年齢児の保育の理論や発達について講義・演習で学ぶ

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
授業内で指示した課題に取り組むこと。また授業中に学修内容の確認を行うため復習をしておくこと。各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
1.乳児保育の歴史的変遷および社会的な背景
2.3歳児神話と保育所の役割について
3.さまざまな保育形態における乳児保育
4.保育者との愛着関係について
5.乳児期前半の発達と保育
6.乳児期後半の発達と保育
7.1歳児の発達と保育
8.2歳児の発達と保育
9.子どもの発達と遊び　環境と玩具
10.子どもの発達と遊び　絵本
11.子どもの発達と遊び　ふれあい遊び
12.健康安全への配慮について
13.子どもの遊びと環境
14.課題発表及び評価
15.乳児保育をめぐる諸問題 まとめ

[成績評価方法]
試験50%　受講態度20%　提出物30%
試験は答案回収後問題の解説を行う
受講態度は積極性やresponで評価する
提出物は期限や形式、内容について総合的に判断する

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
実施後の翌回に行う

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	乳児保育Ⅰ	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	石田　裕子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：試験　受講態度　提出物

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：試験　受講態度　提出物

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：試験　受講態度　提出物

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：試験　受講態度　提出物

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：試験　受講態度　提出物

[教科書（ISBN）]
演習で学ぶ乳児保育　著者名：善本眞弓編著　出版社：わかば社　（978-4-907270-29-2）
保育所保育指針（解説）　著者名：厚生労働省　出版社：フレーベル館
（978-4-577-81448-2）

[参考書（ISBN）]
なし　著者名：×　出版社：×

S62460 [LH2-126]

科目名	乳児保育Ⅰ	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	石田　裕子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
乳児期の発達を理解し、乳児保育に必要な基礎的な知識や技能を身につける

[授業概要]
乳児保育の歴史や、乳児期や低年齢児の保育の理論や発達について講義・演習で学ぶ

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
授業内で指示した課題に取り組むこと。また授業中に学修内容の確認を行うため復習をしておくこと。各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
1.乳児保育の歴史的変遷および社会的な背景
2.3歳児神話と保育所の役割について
3.さまざまな保育形態における乳児保育
4.保育者との愛着関係について
5.乳児期前半の発達と保育
6.乳児期後半の発達と保育
7.1歳児の発達と保育
8.2歳児の発達と保育
9.子どもの発達と遊び　環境と玩具
10.子どもの発達と遊び　絵本
11.子どもの発達と遊び　ふれあい遊び
12.健康安全への配慮について
13.子どもの遊びと環境
14.課題発表及び評価
15.乳児保育をめぐる諸問題 まとめ

[成績評価方法]
試験50%　受講態度20%　提出物30%
試験は答案回収後問題の解説を行う
受講態度は積極性やresponで評価する
提出物は期限や形式、内容について総合的に判断する

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
実施後の翌回に行う

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	乳児保育Ⅰ	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	石田　裕子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：試験　受講態度　提出物

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：試験　受講態度　提出物

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：試験　受講態度　提出物

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：試験　受講態度　提出物

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：試験　受講態度　提出物

[教科書（ISBN）]
演習で学ぶ乳児保育　著者名：善本眞弓編著　出版社：わかば社　（978-4-907270-29-2）
保育所保育指針（解説）　著者名：厚生労働省　出版社：フレーベル館
（978-4-577-81448-2）

[参考書（ISBN）]
なし　著者名：×　出版社：×

S62461 [LH2-126]

科目名	乳児保育Ⅱ	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	石田　裕子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
乳児期の発達を理解し、乳児保育に必要な基礎的な知識や技能を身につける
保育の計画が立案できるようになる

[授業概要]
乳児保育に必要な理論や発達について講義・演習で学ぶ
保育計画の立案や、乳児保育に必要な連携について学ぶ

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
授業内で指示した課題に取り組むこと。また授業中に学修内容の確認を行うため復習をしておくこと。
各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
1.乳児保育Iの復習
2.健康と安全への配慮について
3. 基本的生活習慣の自立と援助について-食事-
4. 基本的生活習慣の自立と援助について-睡眠-
5. 基本的生活習慣の自立と援助について-排泄・衣服の着脱・清潔-
6. 乳幼児のいる生活の実態について（外部講師）
8. ライフプランからみる出産と育児（外部講師）
9. クラス運営とチームワークについて
10.保育計画の立案について
11.個別指導計画及び個人の記録について
12.個と集団について
13. 保護者や地域との連携について
14.小規模保育　家庭的保育等の実際
15.乳児保育をめぐる諸問題　まとめ

[成績評価方法]
試験50%　小テスト10%　受講態度40%

試験は回収後、問題の解説をします
小テストは相互採点とし、結果は確認できます
受講態度は積極性、授業内レポート等で評価します

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	乳児保育Ⅱ	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	石田　裕子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：試験　小テスト　受講態度

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：試験　小テスト　受講態度

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：試験　小テスト　受講態度

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：試験　小テスト　受講態度

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：試験　小テスト　受講態度

学科DP番号／DP内容：教育3-5／教員という職業自体が社会的に特に高い人格・識見を求められる性質のものであることから、教員としての使命感を自覚し、その資質向上のためにたゆまず研鑽を積む態度と幼児・児童・生徒に対する教育的愛情をもつことができる。
成績評価方法：試験　小テスト　受講態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験　小テスト　受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：試験　　受講態度

[教科書（ISBN）]
乳児保育　著者名：大橋喜美子　出版社：みらい （978-4-86015-436-3）
保育所保育指針（解説）　著者名：厚生労働省　出版社：フレーベル館 （978-4-577-81448-2
）

[参考書（ISBN）]
なし　著者名：×　出版社：×

S62470 [LH3-167]

科目名	乳児保育Ⅱ	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	石田　裕子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
乳児期の発達を理解し、乳児保育に必要な基礎的な知識や技能を身につける
保育の計画が立案できるようになる

[授業概要]
乳児保育に必要な理論や発達について講義・演習で学ぶ
保育計画の立案や、乳児保育に必要な連携について学ぶ

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
授業内で指示した課題に取り組むこと。また授業中に学修内容の確認を行うため復習をしておくこと。
各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
1.乳児保育Iの復習
2.健康と安全への配慮について
3. 基本的生活習慣の自立と援助について-食事-
4. 基本的生活習慣の自立と援助について-睡眠-
5. 基本的生活習慣の自立と援助について-排泄・衣服の着脱・清潔-
6. 乳幼児のいる生活の実態について（外部講師）
8. ライフプランからみる出産と育児（外部講師）
9. クラス運営とチームワークについて
10.保育計画の立案について
11.個別指導計画及び個人の記録について
12.個と集団について
13. 保護者や地域との連携について
14.小規模保育　家庭的保育等の実際
15.乳児保育をめぐる諸問題　まとめ

[成績評価方法]
試験50%　小テスト10%　受講態度40%

試験は回収後、問題の解説をします
小テストは相互採点とし、結果は確認できます
受講態度は積極性、授業内レポート等で評価します

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	乳児保育Ⅱ	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	石田　裕子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：試験　小テスト　受講態度

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：試験　小テスト　受講態度

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：試験　小テスト　受講態度

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：試験　小テスト　受講態度

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：試験　小テスト　受講態度

学科DP番号／DP内容：教育3-5／教員という職業自体が社会的に特に高い人格・識見を求められる性質のものであることから、教員としての使命感を自覚し、その資質向上のためにたゆまず研鑽を積む態度と幼児・児童・生徒に対する教育的愛情をもつことができる。
成績評価方法：試験　小テスト　受講態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験　小テスト　受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：試験　　受講態度

[教科書（ISBN）]
乳児保育　著者名：大橋喜美子　出版社：みらい （978-4-86015-436-3）
保育所保育指針（解説）　著者名：厚生労働省　出版社：フレーベル館 （978-4-577-81448-2
）

[参考書（ISBN）]
なし　著者名：×　出版社：×

科目名	認知心理学	後期	講義	2 単位
サブタイトル	認知の特性としくみ			
担当者	高橋　良幸			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
人間の認知のしくみと特性について理解を深める

[授業概要]
本講は、人間の心理と行動のうち、知覚・記憶、思考、学習、社会的認知などの認知過程に関する心理学的研究を知り、認知に関する主要な概念の理解を深める。授業では、さまざまな概念や知見を知るだけでなく、いくつかの課題や実験の例を体験しながら学習をすすめる。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
授業において指示した課題，配布した資料およびノートの復習を行った上で授業に臨むこと。
各回、予習復習合わせて4時間程度

[授業計画]
1　授業概要と予定
2　知覚・記憶(1)
3　知覚・記憶(2)
4　知覚・記憶(3)
5　知覚・記憶(4)
6　思考と判断(1)
7　思考と判断(2)
8　思考と判断(3)
9　学習(1)
10　学習(2)
11　学習(3)
12　学習(4)
13　社会的認知(1)
14　社会的認知(2)
15　まとめ

[成績評価方法]
試験による
フィードバックは問合せに応じて回答を解説する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	認知心理学	後期	講義	2 単位
サブタイトル	認知の特性としくみ			
担当者	高橋　良幸			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
なし

S63050 [LH2-130]

科目名	発達心理学A	前期	講義	2 単位
サブタイトル	乳幼児期の心身の発達と学びの在り方			
担当者	隠岐　厚美			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
誕生から就学までの子どもの発達的特徴を把握し、乳幼児にとっては、遊びを中心とする日常生活が学びの場であること、その場が阻害されると発達上の問題がおこることを理解する。その上で、発達を促す支援・指導の在り方を身につける。さらに発達上の混乱の解消、支援・指導方法の基礎を理解する。

[授業概要]
人は、生まれた時点からすでに社会的存在である。赤ちゃんは、強い母子の絆によって護られ、[ヒト]から[ひと]へと成長・発達していく。さらに、家族関係、近隣、保育所や幼稚園の中で、そのグループダイナミックスにもまれながら、幼い子どもは[ひと]から[人]へと発達していく。この点を重視し、この講義では、社会性の発達を中心に、誕生から就学までの子どもの精神の発達について概説する。
また、乳幼児期は、人格の基礎を培う大切な時期でもある。この時期を共に過ごす保育士や教師は、子どもの人生に大きな影響を与える存在である。よって、子どもの健やかな精神の発達はぐくむには、どのように発達を捉え、導くべきなのか、専門職としての子どもをみる眼を養えるよう実践的に解説する。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
指示された資料は事前に必ず目を通し、知識の定着をはかるため、必ず復習すること。
各回、予習・復習あわせて4時間程度の自主学習が必要です。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 行動基盤としての身体感覚の発達と脳機能の成熟
3. 新生児期の発達　①こころの起源
4. 新生児期の発達　②初期発達と母子関係
5. 乳児期の発達　①姿勢・運動の発達
6. 乳児期の発達　②赤ちゃんのこころの拡がりー好奇心と認知ー
7. 乳児期の発達　③社会スキルの芽ばえとことばの獲得
8. 幼児期の発達特徴
9. 幼児期の発達　①運動発達と遊びの拡がり
10. 幼児期の発達　②もののみ方・感じ方とことばの育ち
11. 演習①　見立て遊び
12. 幼児期の発達　③遊びの中で獲得する社会スキル
13. 幼児期の発達　④生活習慣の形成と社会スキル
14. 自我形成と社会化
15. 社会スキルの障害と評価

※各自、問題意識をもって、主体的に講義に参加することを期待する。

[成績評価方法]
レポート試験と講義中にしばしば実施する小テスト(小レポート、制作課題を含む)、を総合的に評価する。(レポート試験70%、その他30%)。フィードバックは、返却時に口頭で行う。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	発達心理学A	前期	講義	2 単位
サブタイトル	乳幼児期の心身の発達と学びの在り方			
担当者	隠岐　厚美			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：試験、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：おもちゃ作り

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：試験、レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験、レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：おもちゃ作り、レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：おもちゃ作り、レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：おもちゃ作り、レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：おもちゃ作り、レポート課題

[教科書（ISBN）]
乳幼児の発達臨床心理学ー理論と現場をつなぐー　著者名：菊野春雄編著　出版社：北大路書房 （9784762829376）

[参考書（ISBN）]
必要に応じ適宜指示します　著者名：必要に応じて適宜指示ます　出版社：必要に応じ適宜指示します （必要に応じて適宜指示します）

科目名	発達心理学B	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	寺村　ゆかの			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
1. 児童期の身体・認知・情緒面などの発達の様相と、児童期に生じやすい対人関係や生活上の課題について理解を深める。
2. 家庭・学校・地域における子どもの心理社会的な発達支援のあり方を整理できる。

[授業概要]
乳幼児期から児童期、さらには青年期にわたる子どもの心身の発達を概説する。特に、本授業で焦点を当てる「児童期」については、テキストを丁寧に読み込むことを通して、この時期の子どもの「自己意識の変化」「認知や感情の発達」「友人関係を通した社会性の発達」などの理解を深める。最近顕在化している「発達障害」や従来から見られている「いじめ」「不登校」などによる子どもの不適応状態を解説したうえで、その解決法・支援策についても、乳幼児期における発達と関連づけながら考察する。また、家庭・地域・学校における個々の人間関係にも注目し、健全な発達を支えるためには、その力動的関係を変容させることの重要性を解説する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
授業前学修：テキストの中から事前に読んでおく章を指定するので熟読しておく。
授業後学修：授業中の内容について、文献や新聞を始めとするメディアを活用し理解を深める。
（各回、予習復習合わせて4時間程度）

[授業計画]
【全て遠隔授業】
1. オリエンテーション：講義の目的と発達心理学を学ぶ意義
2. 子どものからだの発達
3. 子どもの心理社会的発達　エリクソンの発達理論
4. 子どもの認知発達　ピアジェの発達理論
5. なぜ「9～10歳」は発達的に注目されるのか（主にテキスト第1章）
6.「9～10歳」とはどのような特徴を示す時期か（主にテキスト第2章）
7. 自己意識の芽生えと変化（主にテキスト第3章）
8. 児童期における「考える力」の飛躍（主にテキスト第4章）
9. 児童期における感情の変化（主にテキスト第5章）
10. 友達関係の変化と支援（主にテキスト第6章）
11. 児童期の道徳性の発達（主にテキスト第7章）
12. 現代社会に生きる子ども①　発達障害（1）
13. 現代社会に生きる子ども②　発達障害（2）
14. 現代社会に生きる子ども③　いじめ　不登校
15. 社会性を育てる支援（主にテキスト第9章）

[成績評価方法]
①と②の合計　100点

①毎回のミニレポート又は小テスト　14回×５点　70点
②最終回レポート　30点

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
毎回のミニレポート・小テストに関して、次回の授業中に解説・回答を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	発達心理学B	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	寺村　ゆかの			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:レポート課題

[教科書(ISBN)]
子どもの「10歳の壁」とは何か？乗り越えるための発達心理学(2011)　著者名:渡辺弥生　出版社:光文社新書514 (978-4-334-03618-8)

[参考書(ISBN)]
保育の心理学(2017)　著者名:伊藤篤 編著　出版社:ミネルヴァ書房 (978-4-623-07956-8)

S63010 [LH2-129]

科目名	発達心理学C	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	巣黒　慎太郎			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
青年期以降の発達課題と起こりうる心の問題や病理についての関係を理解し、生涯発達の観点から人間理解を深め、各ステージの特徴について基礎的知識を習得する。

[授業概要]
人間は、生涯発達しつづける存在であるという生涯発達心理学の観点にたって、人間理解をより深めることを目標とし、この授業では特に青年期以降から老年期までのライフサイクルについてとりあげる。その中で、それぞれの段階における発達課題と心身の特性について学び、それらに関連して起こりうる心の問題や病理も合わせて習得していく。
ビデオ教材も用いながら、近年遷延化している様々なケースについてもとりあげていきたい。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習をしておくこと。授業に関する近年の社会的動向にも関心をもつこと。各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
1. 発達とは
2. 知的能力の生涯発達(1)
3. 知的能力の生涯発達(2)
4. 思春期・青年期の発達
5. 思春期・青年期の発達課題
6. アイデンティティーについて
7. 思春期・青年期の心の問題
8. 成人期・中年期の発達
9. 成人期・中年期の発達課題
10. 成人期・中年期の心の問題
11. 老年期の発達
12. 老年期の発達課題
13. 老年期の心の問題
14. 多世代の交流
15. まとめ

[成績評価方法]
授業でのレポート課題（80%）、確認試験（20%）等を総合的に判断して評価する。
・授業中の課題は、授業内でフィードバックする。
・試験については、答案回収後、解答の解説を行い、質問を受け付けます。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	発達心理学C	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	巣黒　慎太郎			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：授業中の課題、試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業中の課題、試験

[教科書（ISBN）]
エピソードでつかむ生涯発達心理学　著者名：岡本祐子・深瀬裕子　編著　出版社：ミネルヴァ書房（987-4-623-06531-8）

[参考書（ISBN）]
なし。授業内で随時紹介する。

S63020 [LH3-171]

科目名	発達と障がいの臨床心理学	前期	講義	2 単位
サブタイトル	発達障がい、情緒障がい児の理解と心理的援助			
担当者	前田　研史			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
子どものさまざまな問題を、その発達面、情緒面から理解し、どのような心理的援助が必要かを判断できる基本的能力を養うことを目標とする。

[授業概要]
近年、教育の現場では、発達に問題のあるさまざまな子どもたちへの教育的働きかけと心理的サポートが求められるようになってきている。発達に障がいのある子どもたちは、その一般的な行動上の特徴をよく理解したうえで、ひとりひとりの示す違いに応じた配慮ある働きかけを行っていかなければ、子どもたちに二次的な問題を生じさせてしまうことにもなりかねない。また、親から虐待を受けた子どもなどへのサポートも、教育や保育の現場における対応のあり方をよく考えることが、ますます重要となってきている。本講では、これらの問題を、子どもの心理的発達過程と関連づけながら具体的にとり上げ、理解を深める。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
毎回、授業でとり上げた子どもの発達と障がいや情緒的問題に関するテーマを振り返り、教育実習やスクールサポーターなどの場で出会う子どもたちとの関係と照らし合わせながら理解を深めるように努める。

[授業計画]
1. 乳児期の発達の実際
2. 幼児期の発達の実際
3. 学童期の発達の実際
4. 自閉スペクトラム症の理解
5. 自閉スペクトラム症の支援
6. 注意欠如/多動症の理解と@支援
7. 限局性学習症の理解と支援
8. 知的能力障がいの理解と支援
9. 情緒障がいを理解するための発達理論1
10. 情緒障がいを理解するための発達理論2
11. 子どもの心理療法（プレイセラピー）
12. 子どもの情緒的問題1
13. 子どもの情緒的問題2
14. 心的外傷（トラウマ）とその影響
15. まとめ

[成績評価方法]
レポートによる

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
口頭で講評する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	発達と障がいの臨床心理学	前期	講義	2 単位
サブタイトル	発達障がい、情緒障がい児の理解と心理的援助			
担当者	前田　研史			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：レポートによる

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：レポートによる

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：レポートによる

[教科書（ISBN）]
「子どもの発達臨床心理（新版）」 著者名：岩川淳・杉村省吾・本多修・前田研史　出版社：昭和堂 （978-4-8122-0013-1）

[参考書（ISBN）]
授業時に資料を配布する。

S63040 [LH3-173]

科目名	保育原理	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	三宅　茂夫			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
保育という営みの全般について理解することを目的に、保育にかかる全ての基盤を網羅し、それぞれの専門分野へ発展する基盤を築くことを目指す。

[授業概要]
現代は、子どもをめぐる環境の大きな変革期であると捉えることができる。少子化対策や待機児童の増加、地域の子育て支援という言葉に代表されるようなさまざまな課題や、基本的生活習慣が身につきにくい、運動能力・コミュニケーション能力の低下、気になる子どもの存在など、といった子どもの育ちの変化に関する問題がある。このような状況のなかで、人格形成に大きく寄与する保育という営みについて、「保育とは何か」を現状に照らし合わせながら、広い視点から深く捉えていく必要がある。その際、手がかりとなるのが「保育原理」である。
本授業では、保育全般について理解し、今後その他の専門科目において学んでいく、それぞれの専門分野へ発展する基盤を築く。具体的には、保育の意味や制度、保育の基本、保育の目標と方法、保育の思想と歴史、子ども理解、子育て支援、保育の現状と課題などについて学ぶ。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習をしておくこと。日常的に授業に関係する情報に関心を持ち、問題意識を持って、積極的に学びを進めること。授業内容が講義の場合は予習・復習合わせて4時間程度　演習の場合は予習・復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
【全て遠隔授業】
1. オリエンテーション
2. 保育の意味と意義
3. 保育の制度と場①（保育所・幼稚園）
4. 保育の制度と場②（認定こども園・家庭的保育・多様な保育）
5. 保育の基本①（養護と教育）
6. 保育の基本②（環境を通しての保育）
7. 保育の基本③（発達と保育）
8. 保育の目標と方法①（保育の構造と目標）
9. 保育の目標と方法②（保育の方法と内容）
10. 諸外国における保育の思想と歴史①
11. 諸外国における保育の思想と歴史②
12. 日本における保育の思想と歴史①
13. 日本における保育の思想と歴史②
14. 諸外国や日本における保育の現状と課題・展望
15. まとめ

[成績評価方法]
試験（80%）、課題及び発表、小テスト（20%）を総合して行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
まとめ後、解答の解説を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	保育原理	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	三宅　茂夫			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：試験、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：試験、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：小テスト

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：試験、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：試験、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：レポート課題、プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育3-5／教員という職業自体が社会的に特に高い人格・識見を求められる性質のものであることから、教員としての使命感を自覚し、その資質向上のためにたゆまず研鑽を積む態度と幼児・児童・生徒に対する教育的愛情をもつことができる。
成績評価方法：試験、レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：プレゼンテーション

[教科書（ISBN）]
「新・保育原理［第4版］」2018　著者名：三宅茂夫編　出版社：みらい （9784860154301）

[参考書（ISBN）]
「保育所保育指針解説（平成30年3月）」2018　著者名：厚生労働省編　出版社：フレーベル館 （9784577814482）
「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（平成30年3月）」2018　著者名：内閣府・文部科学省・厚生労働省著　出版社：フレーベル館 （9784577814499）

S62220 [LH1-081]

科目名	保育実習Ⅰ	前期～後期	実習	4 単位
サブタイトル	施設の機能および子どもの発達・保育の実際を学ぶ			
担当者	石田　裕子、大西　雅裕			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
1.保育所を含む児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解するようになる
2.観察や子どもとの関わりを通して子どもへの理解を深める
3.保育の計画・観察・記録及び自己評価等について具体的に理解しようとする
4.保育士の業務内容や職業倫理について具体的に学ぶ

[授業概要]
保育所(園)10日間、保育所(園)を除く児童福祉施設10日間の現場実習は、第一に健康・安全面に注意して、理論を実践に結び、深い学びとする、第二は以下の点について具体的な学びを主体的に行う。
(1)保育所(園)、および保育所(園)を除く児童福祉施設の目的、役割、機能、入所児の一般的な特徴を学ぶ。
(2)実習の目的. 実習の課題を確実に遂行する。
(3)日々の実習課題に対して、目標を達成するために実習中にどのようなことに心がけたらいいのかを考えて行動する。
(4)保育の計画・観察・記録及び自己評価について具体的に理解する。
(5)保育士の業務内容や職業倫理について具体的に学ぶ。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
保育指導計画案作成(0・1・2・3・4・5歳児、異年齢児)
保育教材の準備
児童福祉施設に関しての機能や役割の予習・復習

[授業計画]
保育所(園)10日間、保育所(園)を除く施設10日間の現場実習
実習中に求められることとして、以下の視点で実習にのぞむこと
(1)乳幼児や就学児童の発達と保育の実際について年齢ごとに理解する。
(2)乳幼児や就学児童の個性や発達の個人差を理解して配慮して柔軟的な保育が出来る。
(3)観察の着目点を理解して、乳幼児や就学児童の実際から正確に記録記述する。
(4)保育指導計画案を立てた上で参加・責任実習を行う。
(5)個々の実習先施設の沿革や地域性、実習先の職員構成、機能と役割を理解する。
(6)守秘義務遂行の重要性について再確認し、実習中の心構えとマナーを守る。
(7)感謝の気持ちを忘れずに積極的且つ謙虚な態度で過ごす。

[成績評価方法]
実習評価80%　巡回訪問時評価20%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	保育実習Ⅰ	前期～後期	実習	4 単位
サブタイトル	施設の機能および子どもの発達・保育の実際を学ぶ			
担当者	石田　裕子、大西　雅裕			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

学科DP番号／DP内容:教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

学科DP番号／DP内容:教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

学科DP番号／DP内容:教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

学科DP番号／DP内容:教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

学科DP番号／DP内容:教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

学科DP番号／DP内容:教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

学科DP番号／DP内容:教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

[教科書(ISBN)]
なし　著者名:×　出版社:×　(×)

[参考書(ISBN)]
各自必要なものを用意すること

科目名	保育実習Ⅰ	前期～後期	実習	4 単位
サブタイトル	施設の機能および子どもの発達・保育の実際を学ぶ			
担当者	三宅　茂夫、大西　雅裕			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
1.保育所を含む児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解するようになる
2.観察や子どもとの関わりを通して子どもへの理解を深める
3.保育の計画・観察・記録及び自己評価等について具体的に理解しようとする
4.保育士の業務内容や職業倫理について具体的に学ぶ

[授業概要]
保育所(園)10日間、保育所(園)を除く児童福祉施設10日間の現場実習は、第一に健康・安全面に注意して、理論を実践に結び、深い学びとする、第二は以下の点について具体的な学びを主体的に行う。
(1)保育所(園)、および保育所(園)を除く児童福祉施設の目的、役割、機能、入所児の一般的な特徴を学ぶ。
(2)実習の目的. 実習の課題を確実に遂行する。
(3)日々の実習課題に対して、目標を達成するために実習中にどのようなことに心がけたらいいのかを考えて行動する。
(4)保育の計画・観察・記録及び自己評価について具体的に理解する。
(5)保育士の業務内容や職業倫理について具体的に学ぶ。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
保育指導計画案作成(0・1・2・3・4・5歳児、異年齢児)
保育教材の準備
児童福祉施設に関しての機能や役割の予習・復習

[授業計画]
保育所(園)10日間、保育所(園)を除く施設10日間の現場実習
実習中に求められることとして、以下の視点で実習にのぞむこと
(1)乳幼児や就学児童の発達と保育の実際について年齢ごとに理解する。
(2)乳幼児や就学児童の個性や発達の個人差を理解して配慮して柔軟的な保育が出来る。
(3)観察の着目点を理解して、乳幼児や就学児童の実際から正確に記録記述する。
(4)保育指導計画案を立てた上で参加・責任実習を行う。
(5)個々の実習先施設の沿革や地域性、実習先の職員構成、機能と役割を理解する。
(6)守秘義務遂行の重要性について再確認し、実習中の心構えとマナーを守る。
(7)感謝の気持ちを忘れずに積極的且つ謙虚な態度で過ごす。

[成績評価方法]
実習評価80%　巡回訪問時評価20%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	保育実習Ⅰ	前期～後期	実習	4 単位
サブタイトル	施設の機能および子どもの発達・保育の実際を学ぶ			
担当者	三宅　茂夫、大西　雅裕			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

学科DP番号／DP内容:教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

学科DP番号／DP内容:教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

学科DP番号／DP内容:教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

学科DP番号／DP内容:教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

学科DP番号／DP内容:教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

学科DP番号／DP内容:教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

学科DP番号／DP内容:教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

[教科書(ISBN)]
なし　著者名:×　出版社:×　(×)

[参考書(ISBN)]
各自必要なものを用意すること

科目名	保育実習Ⅱ	後期	実習	2 単位
サブタイトル	専門的実践力の向上			
担当者	三宅　茂夫、石田　裕子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
保育実習Ⅰで学んだ保育所や社会福祉施設での事前・事中・事後の学習をもとに自己課題を明確化し、保育所保育に関する知識や理解の一層の深化を図るとともに、保育者として必要な専門的実践力および保育者にふさわしい態度の修得を目標とする。

[授業概要]
保育実習Ⅱ（保育所10日間）は選択必修である。
学内でのオリエンテーションと事前事後学習を含む保育実習指導Ⅱと保育現場における保育実習Ⅱ（保育所）10日間の実習を行なうことにより2単位を修得できる。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
保育実習Ⅰを基盤として、自己課題を明らかにすること。

[授業計画]
保育所（園）10日間の現場実地実習
実習中に求められることとして、以下の視点で実習にのぞむこと
（1）乳幼児の発達と保育の実際について年齢ごとに理解する。
（2）乳幼児の個性や発達の個人差を理解して配慮して柔軟的な保育ができる。
（3）観察の着目点を理解して、乳幼の実際から正確に記録記述する。
（4）保育指導計画案を立てた上で参加・責任実習を行う。
（5）個々の実習先施設の沿革や地域性、実習先の職員構成、機能と役割を理解する。
（6）守秘義務遂行の重要性について再確認し、実習中の心構えとマナーを守る。
（7）感謝の気持ちを忘れずに積極的且つ謙虚な態度で過ごす。

[成績評価方法]
実習評価80%　巡回訪問時評価20%
・実習施設や、実習生との面談により総合的に評価する

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	保育実習Ⅱ	後期	実習	2 単位
サブタイトル	専門的実践力の向上			
担当者	三宅　茂夫、石田　裕子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

学科DP番号／DP内容:教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

学科DP番号／DP内容:教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

学科DP番号／DP内容:教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

学科DP番号／DP内容:教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

学科DP番号／DP内容:教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

学科DP番号／DP内容:教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

学科DP番号／DP内容:教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

学科DP番号／DP内容:教育3-5／教員という職業自体が社会的に特に高い人格・識見を求められる性質のものであることから、教員としての使命感を自覚し、その資質向上のためにたゆまず研鑽を積む態度と幼児・児童・生徒に対する教育的愛情をもつことができる。
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

[教科書(ISBN)]
特に指定しない

[参考書(ISBN)]
必要に応じて、文献の紹介や資料の配付を行う　著者名:×　出版社:×

科目名	保育実習Ⅱ	後期	実習	2 単位
サブタイトル	専門的実践力の向上			
担当者	石田　裕子、三宅　茂夫			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
保育実習Ⅰで学んだ保育所や社会福祉施設での事前・事中・事後の学習をもとに自己課題を明確化し、保育所保育に関する知識や理解の一層の深化を図るとともに、保育者として必要な専門的実践力および保育者にふさわしい態度の修得を目標とする。

[授業概要]
保育実習Ⅱ（保育所10日間）は選択必修である。
学内でのオリエンテーションと事前事後学習を含む保育実習指導Ⅱと保育現場における保育実習Ⅱ（保育所）10日間の実習を行なうことにより2単位を修得できる。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
保育実習Ⅰを基盤として、自己課題を明らかにすること。

[授業計画]
保育所（園）10日間の現場実地実習
実習中に求められることとして、以下の視点で実習にのぞむこと
（1）乳幼児の発達と保育の実際について年齢ごとに理解する。
（2）乳幼児の個性や発達の個人差を理解して配慮して柔軟的な保育ができる。
（3）観察の着目点を理解して、乳幼の実際から正確に記録記述する。
（4）保育指導計画案を立てた上で参加・責任実習を行う。
（5）個々の実習先施設の沿革や地域性、実習先の職員構成、機能と役割を理解する。
（6）守秘義務遂行の重要性について再確認し、実習中の心構えとマナーを守る。
（7）感謝の気持ちを忘れずに積極的且つ謙虚な態度で過ごす。

[成績評価方法]
実習評価80%　巡回訪問時評価20%
・実習施設や、実習生との面談により総合的に評価する

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	保育実習Ⅱ	後期	実習	2 単位
サブタイトル	専門的実践力の向上			
担当者	石田　裕子、三宅　茂夫			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

学科DP番号／DP内容:教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

学科DP番号／DP内容:教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

学科DP番号／DP内容:教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

学科DP番号／DP内容:教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

学科DP番号／DP内容:教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

学科DP番号／DP内容:教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

学科DP番号／DP内容:教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

学科DP番号／DP内容:教育3-5／教員という職業自体が社会的に特に高い人格・識見を求められる性質のものであることから、教員としての使命感を自覚し、その資質向上のためにたゆまず研鑽を積む態度と幼児・児童・生徒に対する教育的愛情をもつことができる。
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:実習評価80%　巡回訪問時評価20%

[教科書(ISBN)]
特に指定しない

[参考書(ISBN)]
必要に応じて、文献の紹介や資料の配付を行う　著者名:×　出版社:×

科目名	保育実習Ⅲ	後期	実習	2 単位
サブタイトル				
担当者	大西　雅裕			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
保育所以外の児童福祉施設の養護を、実際に実践することによって、保育士としての必要な資質、能力の習得及び子育て支援能力を習得できる。

[授業概要]
保育実習において、学習し、実習した保育所、その他の児童福祉施設の学びを基盤として、その上にその他の児童福祉施設で保育実習Ⅲを実施することで、子育て、子育ち支援を中心に保育士として必要な児童福祉実践の技術、能力を涵養する。
履修者は、年度当初に保育実習Ⅱと保育実習Ⅲとの選択によって決定する。
＜10名を上限にする＞

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
保育実習Ⅰを踏まえ、その上に保育実習Ⅲを積み上げることである。それ故に保育実習での学修を十分に振り返っておくこと。

[授業計画]
保育実習Ⅲでは、保育所以外の児童福祉施設及び社会福祉施設にて、10日間の日程で保育実習が行われる。もちろん保育実習Ⅰでの実習経験の上に、保育士としての専門性をより深いレベルでの実践が求められる。またその上に実習施設の対象者においても、保育実習Ⅰで行ったような児童を中心として障がいのある大人の方も対象となっていたが、保育実習Ⅲでは、より幅の広い対象者を対象としてすることができる。
本実習を選択した学生には、まず保育実習Ⅰでの実習体験の上に、各自の実習における目的、方法、価値観、倫理観等々、専門職としての保育士に今後求められる課題を、より具体的目標として実習に挑み、また、今日的な施設の置かれている状況、施設利用者とその家族との関係把握、地域社会との連携等々について意欲的に実習に取り組みを実施していただく。
この実習を踏まえて保育実習指導Ⅲにおいて振り返りを行い、専門職としての技術、知識、価値観等を涵養することとなる。

[成績評価方法]
実習記録と実習評価等での総合評価を行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	保育実習Ⅲ	後期	実習	2 単位
サブタイトル				
担当者	大西　雅裕			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：実習への取り組む実践的態度、記録簿及び実習先からの評価

学科DP番号／DP内容：教育3-5／教員という職業自体が社会的に特に高い人格・識見を求められる性質のものであることから、教員としての使命感を自覚し、その資質向上のためにたゆまず研鑽を積む態度と幼児・児童・生徒に対する教育的愛情をもつことができる。
成績評価方法：実習への取り組む実践的態度、記録簿及び実習先からの評価

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：実習への取り組む実践的態度、記録簿及び実習先からの評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：実習への取り組む実践的態度、記録簿及び実習先からの評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：実習への取り組む実践的態度、記録簿及び実習先からの評価

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
適宜紹介する

科目名	保育実習指導Ⅰ（施設）	後期	講義	1 単位
サブタイトル				
担当者	小林　洋司			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
1. 保育実習の意義・目的を理解する。
2. 実習の内容を理解し、自らの実習の課題を明確にする。
3. 実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について理解する。
4. 実習の計画・実践・観察・記録・評価の方法や内容について具体的に理解する。
5. 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、今後の学習に向けた課題や目標を明確にする。

[授業概要]
本授業は、3回生前期の保育実習指導Ⅰ保育所の継続としてある授業である。そして保育実習（施設）その他の児童福祉施設への実習科目の事前指導、事後指導の役割を担っています。
到達目標に掲げている5項目の達成に向けて、施設に従事する保育士として必須となる理念、視座、方法、技術様々について、種々な方法を用いて指導していきます。
そのために積極的な学習態度で何事も対応するようにしてください。
一回、一回設定されている授業は、どれも実習を実施するためには必須要件になります。
そのために、欠席、遅刻、早退は認めていません。必ず授業に出席し、主体的態度で受講するようにしてください。
もし欠席等があった場合、そのことを振り返り、今後の方針、目標等を記述したレポートを課します。かならず次の週に授業で提出するようにしてください。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
・常に主体的に学習態度で臨んでください。
・前期の保育実習指導Ⅰ保育所及び保育所実習を踏まえて、その延長線上にある後期の児童福祉施設実習にむけて、十分にリフレクションしておいてください。

[授業計画]
1.施設実習オリエンテーション
2. 夏実習のリフレクション①
3. 夏実習のリフレクション②
4. 児童養護施設での実際①記録の方法
5. 児童福祉施設での実習②記録の方法
6. 実習対象施設の理解（児童養護施設、乳児院等）
7. 実習対象施設の理解（障がい児施設等）
8. 身上書、実習課題の具体化①
9. 身上書、実習課題の具体化②
10. 身上書、実習課題の具体化③
11. 4回生との引き継ぎ交流学習
12, 実習直前オリエンテーション
13. 実習に際しての留意事項
14. 実習に向けてのグループワーク
15. まとめ、事後実習指導（自己評価等）

[成績評価方法]
授業内での提出物「レポート」（50%）、科目最終レポート（50%）によって評価します。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内での提出物は基本、返却しフィードバックします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	保育実習指導Ⅰ（施設）	後期	講義	1 単位
サブタイトル				
担当者	小林　洋司			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：授業内での提出物、レポート

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：授業内での提出物、レポート

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：授業内での提出物、レポート

学科DP番号／DP内容：教育3-5／教員という職業自体が社会的に特に高い人格・識見を求められる性質のものであることから、教員としての使命感を自覚し、その資質向上のためにたゆまず研鑽を積む態度と幼児・児童・生徒に対する教育的愛情をもつことができる。
成績評価方法：授業内での提出物、レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業内での提出物、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：授業内での提出物、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業内での提出物、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：授業内での提出物、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業内での提出物、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考／
成績評価方法：授業内での提出物、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／
成績評価方法：授業内での提出物、レポート

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
適宜紹介する

科目名	保育実習指導Ⅰ（施設）	後期	講義	1 単位
サブタイトル				
担当者	大西　雅裕			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
1. 保育実習の意義・目的を理解する。
2. 実習の内容を理解し、自らの実習の課題を明確にする。
3. 実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について理解する。
4. 実習の計画・実践・観察・記録・評価の方法や内容について具体的に理解する。
5. 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、今後の学習に向けた課題や目標を明確にする。

[授業概要]
本授業は、3回生前期の保育実習指導Ⅰ保育所の継続としてある授業である。そして保育実習（施設）その他の児童福祉施設への実習科目の事前指導、事後指導の役割を担っています。
到達目標に掲げている5項目の達成に向けて、施設に従事する保育士として必須となる理念、視座、方法、技術様々について、種々な方法を用いて指導していきます。
そのために積極的な学習態度で何事も対応するようにしてください。
一回、一回設定されている授業は、どれも実習を実施するためには必須要件になります。
そのために、欠席、遅刻、早退は認めていません。必ず授業に出席し、主体的態度で受講するようにしてください。
もし欠席等があった場合、そのことを振り返り、今後の方針、目標等を記述したレポートを課します。かならず次の週に授業で提出するようにしてください。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
・常に主体的に学習態度で臨んでください。
・前期の保育実習指導Ⅰ保育所及び保育所実習を踏まえて、その延長線上にある後期の児童福祉施設実習にむけて、十分にリフレクションしておいてください。

[授業計画]
1.施設実習オリエンテーション
2. 夏実習のリフレクション①
3. 夏実習のリフレクション②
4. 児童養護施設での実際①記録の方法
5. 児童福祉施設での実習②記録の方法
6. 実習対象施設の理解（児童養護施設、乳児院等）
7. 実習対象施設の理解（障がい児施設等）
8. 身上書、実習課題の具体化①
9. 身上書、実習課題の具体化②
10. 身上書、実習課題の具体化③
11. 4回生との引き継ぎ交流学習
12, 実習直前オリエンテーション
13. 実習に際しての留意事項
14. 実習に向けてのグループワーク
15. まとめ、事後実習指導（自己評価等）

[成績評価方法]
授業内での提出物「レポート」（50%）、科目最終レポート（50%）によって評価します。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内での提出物は基本、返却しフィードバックします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	保育実習指導Ⅰ（施設）	後期	講義	1 単位
サブタイトル				
担当者	大西　雅裕			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：授業内での提出物、レポート

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：授業内での提出物、レポート

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：授業内での提出物、レポート

学科DP番号／DP内容：教育3-5／教員という職業自体が社会的に特に高い人格・識見を求められる性質のものであることから、教員としての使命感を自覚し、その資質向上のためにたゆまず研鑽を積む態度と幼児・児童・生徒に対する教育的愛情をもつことができる。
成績評価方法：授業内での提出物、レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業内での提出物、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：授業内での提出物、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業内での提出物、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：授業内での提出物、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業内での提出物、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考／
成績評価方法：授業内での提出物、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／
成績評価方法：授業内での提出物、レポート

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
適宜紹介する

科目名	保育実習指導Ⅰ（保育所）	前期		1 単位
サブタイトル				
担当者	石田　裕子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
3回生までに学んだ保育の理論や演習・実習などによって修得した技能などをもって、実際の保育現場を観察・体験することで、保育に携わる専門職の目的や価値、倫理などについて理解と自覚を深める。また、多様な経験のなかで、保育者としての使命感や実践力の基礎を一層高めることを目標とする。

[授業概要]
本授業は保育士としての専門性を修得するために実施される保育実習の事前・事中・事後において必要となる事項を指導・支援することを目的とする。
事前指導として、保育実習I（保育所10日間、施設10日間）に備え、実習生が実習を円滑に、かつ高い効果をあげることが可能となるよう詳細な指導を行う。
実習を通して、これまでに修得した理論学習をより確実なものとし、子どもとの直接的なかかわりを通して実践力を高めていけるよう、実習前、実習中の活動について学習し、自己理解力や自己洞察力を深める。
実習終了後に、事後指導として保育実習前から保育実習終了までの総括・評価を行い、各自の実習体験を多面的に振り返り今後の学習課題を明確にする。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
ボランティアなどで、できるだけ保育の現場で実践する機会を得ること。
毎回、予習、復習、実践合わせて4時間程度

[授業計画]
1.保育所制度の理解
2.実習の目的と意義、実習生の立場
3.入所児童や保育所の機能の理解
4.実習記録の書き方について
5.観察記録の記述方法
6.乳児及び低年齢児の指導計画
7.幼児期の指導計画
8.実習課題と実習への見通しについて
9.教材研究
10.保育所見学（乳児及び低年齢児）（学外）
11.保育所見学（幼児）（学外）
12.保育実践者による講演
13.保育実践者による演習
14.実習直前の注意とマナー、トラブルへの対応など
15.保育所実習振り返り　自己課題の明確化

[成績評価方法]
講義への参加態度（50%）提出物及び知識確認評価（50%）
・講義への参加態度は、レスポン、積極的発言、プレゼンテーションで評価する
・提出物及び知識確認評価　提出物の期限、内容、小テストで評価する

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内か翌回に解説・指導を行う

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	保育実習指導Ⅰ（保育所）	前期		1 単位
サブタイトル				
担当者	石田　裕子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：授業への参加態度50%　提出物及び知識確認評価50%

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：授業への参加態度50%　提出物及び知識確認評価50%

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：授業への参加態度50%　提出物及び知識確認評価50%

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：授業への参加態度50%　提出物及び知識確認評価50%

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：授業への参加態度50%　提出物及び知識確認評価50%

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：授業への参加態度50%　提出物及び知識確認評価50%

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：授業への参加態度50%　提出物及び知識確認評価50%

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：授業への参加態度50%　提出物及び知識確認評価50%

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：授業への参加態度50%　提出物及び知識確認評価50%

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：授業への参加態度50%　提出物及び知識確認評価50%

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業への参加態度50%　提出物及び知識確認評価50%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：授業への参加態度50%　提出物及び知識確認評価50%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業への参加態度50%　提出物及び知識確認評価50%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：授業への参加態度50%　提出物及び知識確認評価50%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業への参加態度50%　提出物及び知識確認評価50%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業への参加態度50%　提出物及び知識確認評価50%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：授業への参加態度50%　提出物及び知識確認評価50%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：授業への参加態度50%　提出物及び知識確認評価50%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／
成績評価方法：授業への参加態度50%　提出物及び知識確認評価50%

[教科書（ISBN）]
保育所保育指針解説書　著者名：厚生労働省　出版社：フレーベル館

[参考書（ISBN）]
なし、各自必要なものを探すこと

S64580

科目名	保育実習指導Ⅰ（保育所）	前期	講義	1 単位
サブタイトル	実習の目的と意義の理解			
担当者	三宅　茂夫			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
3回生までに学んだ保育の理論や演習・実習などによって修得した技能などをもって、実際の保育現場を観察・体験することで、保育に携わる専門職の目的や価値、倫理などについて理解と自覚を深める。また、多様な経験のなかで、保育者としての使命感や実践力の基礎を一層高めることを目標とする。

[授業概要]
本授業は保育士としての専門性を修得するために実施される保育実習の事前・事中・事後において必要となる事項を指導・支援することを目的とする。
事前指導として、保育実習（保育所10日間、施設10日間）に備え、実習生が実習を円滑に、かつ高い効果をあげることが可能となるよう詳細な指導を行う。
実習を通して、これまでに修得した理論学習をより確実なものとし、子どもとの直接的なかかわりを通して実践力を高めていけるよう、実習前、実習中の活動について学習し、自己理解力や自己洞察力を深める。
実習終了後に、事後指導として保育実習前から保育実習終了までの総括・評価を行い、各自の実習体験を多面的に振り返り今後の学習課題を明確にする。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
ボランティアなどで、できるだけ保育の現場で実践する機会を得ること。
毎回、予習、復習、実践合わせて4時間程度

[授業計画]
【保育所実習】
1. 保育所制度の理解
2. 実習の目的と意義、実習生の立場
3. 入所児童や保育所の機能の理解
4. 実習記録の書き方について
5. 観察記録の記述方法
6. 乳児及び低年齢児の指導計画
7. 幼児期の指導計画
8. 実習課題と実習への見通しについて
9. 教材研究
10.保育所見学（乳児及び低年齢児）（学外）
11.保育所見学（幼児）（学外）
12. 保育実践者による講演
13.保育実践者による演習
14. 実習直前の注意とマナー、トラブルへの対応など
15. 保育所実習振り返り　自己課題の明確化

[成績評価方法]
講義への参加態度（50%）提出物及び知識確認評価（50%）
・講義への参加態度は、ミニッツペーパー、積極的発言、プレゼンテーションで評価する
・提出物及び知識確認評価　提出物の期限、内容、小テストで評価する

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内か翌回に解説・指導を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	保育実習指導Ⅰ（保育所）	前期	講義	1 単位
サブタイトル	実習の目的と意義の理解			
担当者	三宅　茂夫			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：講義への参加態度（50%）、提出物及び知識確認評価（50%）

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：講義への参加態度（50%）、提出物及び知識確認評価（50%）

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：講義への参加態度（50%）、提出物及び知識確認評価（50%）

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：講義への参加態度（50%）、提出物及び知識確認評価（50%）

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：講義への参加態度（50%）、提出物及び知識確認評価（50%

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：講義への参加態度（50%）、提出物及び知識確認評価（50%）

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：講義への参加態度（50%）、提出物及び知識確認評価（50%）

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：講義への参加態度（50%）、提出物及び知識確認評価（50%）

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：講義への参加態度（50%）、提出物及び知識確認評価（50%）

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：講義への参加態度（50%）、提出物及び知識確認評価（50%）

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：講義への参加態度（50%）、提出物及び知識確認評価（50%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感　／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：講義への参加態度（50%）、提出物及び知識確認評価（50%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：講義への参加態度（50%）、提出物及び知識確認評価（50%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解　／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿
成績評価方法：講義への参加態度（50%）、提出物及び知識確認評価（50%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：講義への参加態度（50%）、提出物及び知識確認評価（50%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解　／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：講義への参加態度（50%）、提出物及び知識確認評価（50%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力　／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：講義への参加態度（50%）、提出物及び知識確認評価（50%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：講義への参加態度（50%）、提出物及び知識確認評価（50%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：講義への参加態度（50%）、提出物及び知識確認評価（50%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力　／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：講義への参加態度（50%）、提出物及び知識確認評価（50%）

[教科書（ISBN）]
「知のゆりかご　教育・保育カリキュラム論」2019　著者名：田中亨胤・三宅茂夫編　出版社：（株）みらい（978-4-86015-478-3 ）
「保育所保育指針解説書」2018　著者名：厚生労働省編　出版社：フレーベル館（978-4-577-81242-6）

[参考書（ISBN）]
「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（平成30年3月）」2018　著者名：内閣府・文部科学省・厚生労働省著　出版社：フレーベル館（9784577814499）

S64581

科目名	保育実習指導Ⅱ	前期	講義	1 単位
サブタイトル	保育観の構築と実践力向上			
担当者	三宅　茂夫、石田　裕子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
保育実習Ⅰでの経験をふまえて、実践力をさらに磨き、子どもの発達や特性を理解して、保育を創造し保育観を構築する。

[授業概要]
4年間の総合的な学びから、保育指導計画を立案してPDCAサイクルによって、保育の質と保育者の質の向上を目指す。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
手作りの保育教材の制作や、保育園の各年齢群における保育指導案を作成する。各自の課題を明確にし、その改善に向けて行動すること。各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
1.保育実習Ⅰでの経験を基盤として、自己課題を明らかにする
2.保育実習Ⅰでの経験を基盤として、自己課題改善に向けてワークシートを作成する
3.先輩の体験談から学ぶ①
4.先輩の体験談から学ぶ②
5.学外講師による保育者に必要な資質に関する講演
6.学外講師による保育者に必要な資質向上のための演習
7.保育実習Ⅲにむけて
8.保育実習Ⅱの課題
9.必要書類作成
10.実習に関しての諸注意
11.直前指導
12. 実習の振り返り
13. 保育者に必要な資質について（グループミーテング）①
14. 保育者に必要な資質について（グループミーティング）②
15. 実習報告会

[成績評価方法]
提出物50%　授業参加態度50%
・提出物に関しては期限、内容について全体的に評価する
・授業参加態度に関しては積極的発言、態度について評価する

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内か翌回に解説・指導を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	保育実習指導Ⅱ	前期	講義	1 単位
サブタイトル	保育観の構築と実践力向上			
担当者	三宅　茂夫、石田　裕子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:提出物50%　授業参加態度50%

学科DP番号／DP内容:教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法:提出物50%　授業参加態度50%

学科DP番号／DP内容:教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法:提出物50%　授業参加態度50%

学科DP番号／DP内容:教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法:提出物50%　授業参加態度50%

学科DP番号／DP内容:教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法:提出物50%　授業参加態度50%

学科DP番号／DP内容:教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法:提出物50%　授業参加態度50%

学科DP番号／DP内容:教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法:提出物50%　授業参加態度50%

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法:提出物50%　授業参加態度50%

学科DP番号／DP内容:教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法:提出物50%　授業参加態度50%

学科DP番号／DP内容:教育3-5／教員という職業自体が社会的に特に高い人格・識見を求められる性質のものであることから、教員としての使命感を自覚し、その資質向上のためにたゆまず研鑽を積む態度と幼児・児童・生徒に対する教育的愛情をもつことができる。
成績評価方法:提出物50%　授業参加態度50%

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:提出物50%　授業参加態度50%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:提出物50%　授業参加態度50%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:提出物50%　授業参加態度50%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:提出物50%　授業参加態度50%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:提出物50%　授業参加態度50%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:提出物50%　授業参加態度50%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:提出物50%　授業参加態度50%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:提出物50%　授業参加態度50%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:提出物50%　授業参加態度50%

[教科書(ISBN)]
「知のゆりかご　教育・保育カリキュラム論」2019　著者名:田中亨胤・三宅茂夫　編　出版社:(株)みらい　(978-4-86015-478-3　)
「保育所保育指針解説書」2018　著者名:厚生労働省編　出版社:フレーベル館　(978-4-577-81242-6)

[参考書(ISBN)]
「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(平成30年3月)」2018　著者名:内閣府・文部科学省・厚生労働省著　出版社:フレーベル館　(9784577814499)

S60300 [LH4-010]

科目名	保育実習指導Ⅱ	前期	講義	1 単位
サブタイトル	保育観の構築と実践力向上			
担当者	石田　裕子、三宅　茂夫			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
保育実習Ⅰでの経験をふまえて、実践力をさらに磨き、子どもの発達や特性を理解して、保育を創造し保育観を構築する。

[授業概要]
4年間の総合的な学びから、保育指導計画を立案してPDCAサイクルによって、保育の質と保育者の質の向上を目指す。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
手作りの保育教材の制作や、保育園の各年齢群における保育指導案を作成する。各自の課題を明確にし、その改善に向けて行動すること。各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
1.保育実習Ⅰでの経験を基盤として、自己課題を明らかにする
2.保育実習Ⅰでの経験を基盤として、自己課題改善に向けてワークシートを作成する
3.先輩の体験談から学ぶ①
4.先輩の体験談から学ぶ②
5.学外講師による保育者に必要な資質に関する講演
6.学外講師による保育者に必要な資質向上のための演習
7.保育実習Ⅲにむけて
8.保育実習Ⅱの課題
9.必要書類作成
10.実習に関しての諸注意
11.直前指導
12. 実習の振り返り
13. 保育者に必要な資質について（グループミーテング）①
14. 保育者に必要な資質について（グループミーティング）②
15. 実習報告会

[成績評価方法]
提出物50%　授業参加態度50%
・提出物に関しては期限、内容について全体的に評価する
・授業参加態度に関しては積極的発言、態度について評価する

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	保育実習指導Ⅱ	前期	講義	1 単位
サブタイトル	保育観の構築と実践力向上			
担当者	石田　裕子、三宅　茂夫			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:提出物50%　授業参加態度50%

学科DP番号／DP内容:教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法:提出物50%　授業参加態度50%

学科DP番号／DP内容:教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法:提出物50%　授業参加態度50%

学科DP番号／DP内容:教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法:提出物50%　授業参加態度50%

学科DP番号／DP内容:教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法:提出物50%　授業参加態度50%

学科DP番号／DP内容:教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法:提出物50%　授業参加態度50%

学科DP番号／DP内容:教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法:提出物50%　授業参加態度50%

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法:提出物50%　授業参加態度50%

学科DP番号／DP内容:教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法:提出物50%　授業参加態度50%

学科DP番号／DP内容:教育3-5／教員という職業自体が社会的に特に高い人格・識見を求められる性質のものであることから、教員としての使命感を自覚し、その資質向上のためにたゆまず研鑽を積む態度と幼児・児童・生徒に対する教育的愛情をもつことができる。
成績評価方法:提出物50%　授業参加態度50%

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:提出物50%　授業参加態度50%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:提出物50%　授業参加態度50%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:提出物50%　授業参加態度50%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:提出物50%　授業参加態度50%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:提出物50%　授業参加態度50%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:提出物50%　授業参加態度50%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:提出物50%　授業参加態度50%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:提出物50%　授業参加態度50%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:提出物50%　授業参加態度50%

[教科書(ISBN)]
保育所保育指針解説書　著者名:厚生労働省　編　　出版社:フレーベル館 (978-4-577-81242-6)

[参考書(ISBN)]
自主的に開拓すること

S60301 [LH4-010]

科目名	保育実習指導Ⅲ	前期	講義	1 単位
サブタイトル	保育所以外の児童福祉施設およびその他の社会福祉施設での実習指導			
担当者	大西　雅裕			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
児童福祉施設での養護全体について参加し、養護技術を習得する。
子ども(利用者)の個人沙、子ども(利用者)のニーズについて理解し、その対応方法を習得する。
地域社会との連携について具体的状況を理解する。

[授業概要]
保育実習Ⅰ・保育実習指導Ⅰを踏まえて、保育実習指導Ⅲでは、児童福祉施設の現状の理解を深め、社会福祉援助のあり方を理解することを目標として、学生の主体的学びを支援し、実践的方法を用いて、実習に向けて、また実習後の振り返りを中心として、児童福祉施設での支援実践活動について種々の方法を用いて学習する。
履修者は、年度当初に保育実習Ⅱと保育実習Ⅲとの選択によって決定する。
＜10名程度を上限にする＞
※当該年度の春休み期間において、保育実習Ⅰと保育実習Ⅲとの間に一日帰校日を設けて、授業を行う。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
実習施設数等の関係もあり、面接後に選抜を行う。
常に「児童の最善の利益」とは何かについて、種々のメディア情報から情報収集を行い、普段から自らの理念を深めるように心がけるようにしてください。

[授業計画]
状況の応じて、集中で授業を実施する場合がある。
1. イントロダクション
2. 児童福祉施設体系について理解する
3. 児童養護施設について現状を理解する①
4. 児童養護施設について現状を理解する②
5. 児童養護施設について現状を理解する③
6. 乳児院について現状を理解する
7. 障害児施設等について現状を理解する
8. 保育実習Ⅰでの施設実習について振り返る帰校日①
9. 保育実習Ⅰでの施設実習について振り返る帰校日②
10. 保育実習Ⅰでの施設実習について振り返る帰校日③
11. 保育実習Ⅰでの施設実習について振り返る帰校日④
12. 保育実習Ⅰでの施設実習について振り返る帰校日⑤
13. 保育実習Ⅲでの振り返り①
14. 保育実習Ⅲでの振り返り②・発表
15. 保育実習Ⅲでの振り返り③と発表、まとめ

[成績評価方法]
実習修了後の振り返りについての発表(80%)と実習事後について自己評価によって評価(20%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	保育実習指導Ⅲ	前期	講義	1 単位
サブタイトル	保育所以外の児童福祉施設およびその他の社会福祉施設での実習指導			
担当者	大西　雅裕			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：実習後の発表　レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実習後の発表　レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：実習後の発表　レポート課題

[教科書（ISBN）]
レジュメ資料を配付する

[参考書（ISBN）]
適宜紹介する

科目名	保育者論	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	三宅　茂夫			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
児童福祉法に示される保育士の定義や、保育に求められる今日的課題などを踏まえ、子どもの保育と保護者支援を担う保育士の専門性について理解を深めることを目標とする。

[授業概要]
子どもを取り巻く環境の急激な変化は、子どもの生活や保護者の子育て、保育のあり方を変化させ、その対応をより困難なものにしている。それらの状況に対して、社会は保育所の役割や機能を明確にし、地域における保育の専門機関として社会的責任を果たすことを求めている。むろん、そこで従事する保育士に対しても、保育現場で求められる多様な課題に対応できる高い専門性が求められることから、養成段階において保育士の役割と責務、制度的位置づけ、及び多様な専門性をもった保育者（看護師・栄養士等）との協働などについて学ぶことが重要となる。
本授業では、保育者の役割や倫理、制度的な位置づけ、専門性をはじめ、保育者の協働や専門職的成長などについて学ぶ。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習をしておくこと。日常的に授業に関係する情報に関心を持ち、問題意識を持って、積極的に学びを進めること。授業内容が講義の場合は予習・復習合わせて4時間程度　演習の場合は予習・復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. オリエンテーション、保育者とは
2. 保育者の社会的位置づけ
3. 保育者の哲学
4. 保育者の資質
5. 保育者の専門性
6. 保育者の養成
7. 保育者の業務
8. 保育者間の協働
9. 保育者の実践的能力
10. 保護者に対する理解と支援
11. 専門機関との連携
12. 現代の望ましい保育者像
13. 保育者の成長
14. これからの保育者に求められるもの
15. まとめ

[成績評価方法]
試験（80%）、課題及び発表（20%）を総合して行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
まとめ後、解答の解説を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	保育者論	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	三宅　茂夫			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：試験、課題レポート

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：試験、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：レポート課題、プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：試験、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育3-5／教員という職業自体が社会的に特に高い人格・識見を求められる性質のものであることから、教員としての使命感を自覚し、その資質向上のためにたゆまず研鑽を積む態度と幼児・児童・生徒に対する教育的愛情をもつことができる。
成績評価方法：レポート課題、プレゼンテーション

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題、プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：レポート課題、プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：プレゼンテーション

[教科書（ISBN）]
「新・保育原理［第4版］」 著者名：三宅茂夫編　出版社：みらい （9784860154301）

[参考書（ISBN）]
「保育所保育指針解説（平成30年3月）」2018　著者名：厚生労働省編　出版社：フレーベル館 （9784577814482）
「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（平成30年3月）」2018　著者名：内閣府・文部科学省・厚生労働省著　出版社：フレーベル館 （9784577814499）

S62280 [LH1-082]

科目名	保育相談支援	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	大西　雅裕			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
保育相談支援の意義と原則について理解を深める。
保育相談支援の実際について学び、その方法等について理解する
保護者支援の基本について理解する

[授業概要]
本授業は、保護者が支援を求めている子育ての問題や課題に対して、保護者の気持ちを受け止めつつ、保育者が行う保育相談支援についての概要について理解する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
予習・復習をしっかり行い、事例を通して見えてくる、子どもを取り巻く環境について理解できるようにしてください。

[授業計画]
1. イントロダクション
2. 子どもを取り巻く環境および家族（保護者）のおかれている状況
3. 保育相談支援の基本とその意義
4. 保育ソーシャルワーク
5. 事例検討とその方法①
6. 事例検討とその方法②
7. 具体的相談内容の検討①
8. 具体的相談内容の検討②
9. 具体的相談内容の検討③
10. 具体的相談内容の検討④
11. 具体的相談内容の検討⑤
12. 具体的相談内容の検討⑥
13. 具体的相談内容の検討⑦
14. 具体的相談内容の検討⑧
15. 地域連携の現状と事例検討／まとめ

[成績評価方法]
レポート等（85%）による評価を行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S62440 [LH4-015]

科目名	保育相談支援	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	大西　雅裕			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：レポート課題、発表を含む積極的授業態度

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：レポート課題、発表を含む積極的授業態度

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：レポート課題、発表を含む積極的授業態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題、発表を含む積極的授業態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題、発表を含む積極的授業態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：レポート課題、発表を含む積極的授業態度

[教科書（ISBN）]
保育者のための　子育て支援セミナー　著者名：大西雅裕 編著　出版社：建帛社 （978-4-7679-5106-5）

[参考書（ISBN）]
「相談援助セミナー」
適宜紹介する。 著者名：赤木　正典、大西雅裕編著　出版社：建帛社 （978-4-7679-3300-9 ）

S62440 [LH4-015]

科目名	保育相談支援	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	大西　雅裕			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
保育相談支援の意義と原則について理解を深める。
保育相談支援の実際について学び、その方法等について理解する
保護者支援の基本について理解する

[授業概要]
本授業は、保護者が支援を求めている子育ての問題や課題に対して、保護者の気持ちを受け止めつつ、保育者が行う保育相談支援についての概要について理解する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
予習・復習をしっかり行い、事例を通して見えてくる、子どもを取り巻く環境について理解できるようにしてください。

[授業計画]
1. イントロダクション
2. 子どもを取り巻く環境および家族（保護者）のおかれている状況
3. 保育相談支援の基本とその意義
4. 保育ソーシャルワーク
5. 事例検討とその方法①
6. 事例検討とその方法②
7. 具体的相談内容の検討①
8. 具体的相談内容の検討②
9. 具体的相談内容の検討③
10. 具体的相談内容の検討④
11. 具体的相談内容の検討⑤
12. 具体的相談内容の検討⑥
13. 具体的相談内容の検討⑦
14. 具体的相談内容の検討⑧
15. 地域連携の現状と事例検討／まとめ

[成績評価方法]
レポート等（85%）による評価を行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	保育相談支援	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	大西　雅裕			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：レポート課題、発表を含む積極的授業態度

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：レポート課題、発表を含む積極的授業態度

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：レポート課題、発表を含む積極的授業態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題、発表を含む積極的授業態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題、発表を含む積極的授業態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：レポート課題、発表を含む積極的授業態度

[教科書（ISBN）]
保育者のための　子育て支援セミナー　著者名：大西雅裕 編著　出版社：建帛社 （978-4-7679-5106-5）

[参考書（ISBN）]
「相談援助セミナー」
適宜紹介する。 著者名：赤木　正典、大西雅裕編著　出版社：建帛社 （978-4-7679-3300-9 ）

S62441 [LH4-015]

科目名	保育内容　健康	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	住本　純			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
幼児期における運動遊びのねらいと内容について理解する。心と体の健康維持・増進を重点におき、発達段階や安全に配慮した運動遊びに必要な基礎的技能を習得する。子どもたちの自主性・主体性を核とした運動支援方法の知識を深める。

[授業概要]
・講義とそれに基づく課題についてのディスカッションおよび実技を中心に展開する。
・実習を中心とするので、積極的に自らが運動遊びを楽しむ。
・実践者、幼児役それぞれの観点からの議論を行う。
・グループ学習によって、相互理解を深める活動を行う。
・資料は適宜配布する。
・レポート課題については、次回授業で全体に対してフィードバックを行う。
・最終授業で全体に対するフィードバックを行う。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
・関連性を持って、講義を進行していくので、前回の授業内容について復習する。
・ニュースを注視し、幼児の運動についての問題点や疑問点を常に持つように心がけること。
・文部科学省『幼児期運動指針』を読んでおくこと。

[授業計画]

第1回 オリエンテーション　　今年の子どものからだの異変とその対策
第2回　実技①体育あそびの実際　からだを使ったあそび
第3回　実技②体育あそびの実際　用具を使ったあそび　ボール運動
第4回　実技③体育あそびの実際　フープ、なわを使ったあそび
第5回　実技④体育あそびの実際　マット、とび箱
第6回　実技⑤体育あそびの実際　運動会種目（競技種目、表現・リズム種目、レクリエーション種目）
第7回　理論・実技⑥保育指導案作成、模擬保育について
第8回　実技⑦模擬保育①
第9回　実技⑧模擬保育②
第10回　実技⑨模擬保育③
第11回　実技⑩模擬保育④
第12回　理論①子どもの生活と運動
第13回　理論②運動発現のメカニズム　体力測定評価
第14回　理論③幼児体育の意義と役割、幼児体育指導上の留意事項
第15回　まとめ、フィードバック

[成績評価方法]
授業参加度、授業態度（50%）、指導案・小レポート（30%）、実技に関する課題（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中やmanabaを通して行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	保育内容　健康	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	住本　純			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：授業態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題、実技課題

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
適宜紹介する

S64760

科目名	保育内容　健康	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	住本　純			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
幼児期における運動遊びのねらいと内容について理解する。心と体の健康維持・増進を重点におき、発達段階や安全に配慮した運動遊びに必要な基礎的技能を習得する。子どもたちの自主性・主体性を核とした運動支援方法の知識を深める。

[授業概要]
・講義とそれに基づく課題についてのディスカッションおよび実技を中心に展開する。
・実習を中心とするので、積極的に自らが運動遊びを楽しむ。
・実践者、幼児役それぞれの観点からの議論を行う。
・グループ学習によって、相互理解を深める活動を行う。
・資料は適宜配布する。
・レポート課題については、次回授業で全体に対してフィードバックを行う。
・最終授業で全体に対するフィードバックを行う。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
・関連性を持って、講義を進行していくので、前回の授業内容について復習する。
・ニュースを注視し、幼児の運動についての問題点や疑問点を常に持つように心がけること。
・文部科学省『幼児期運動指針』を読んでおくこと。

[授業計画]

第1回 オリエンテーション　　今年の子どものからだの異変とその対策
第2回　実技①体育あそびの実際　からだを使ったあそび
第3回　実技②体育あそびの実際　用具を使ったあそび　ボール運動
第4回　実技③体育あそびの実際　フープ、なわを使ったあそび
第5回　実技④体育あそびの実際　マット、とび箱
第6回　実技⑤体育あそびの実際　運動会種目（競技種目、表現・リズム種目、レクリエーション種目）
第7回　理論・実技⑥保育指導案作成、模擬保育について
第8回　実技⑦模擬保育①
第9回　実技⑧模擬保育②
第10回　実技⑨模擬保育③
第11回　実技⑩模擬保育④
第12回　理論①子どもの生活と運動
第13回　理論②運動発現のメカニズム　体力測定評価
第14回　理論③幼児体育の意義と役割、幼児体育指導上の留意事項
第15回　まとめ、フィードバック

[成績評価方法]
授業参加度、授業態度（50%）、指導案・小レポート（30%）、実技に関する課題（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中やmanabaを通して行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	保育内容　健康	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	住本　純			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：授業態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題、実技課題

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
適宜紹介する

科目名	保育内容　環境Ⅰ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	領域「環境」の基礎			
担当者	金岩　俊明			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
幼稚園教育要領に基づき、幼稚園教育において育む資質・能力を踏まえ、領域「環境」のねらいや内容構成に関する基礎的知識を理解し、指導法の習得を目指す。

[授業概要]
領域「環境」では、子どもが周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもってかかわり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養うことを目標としている。そのために保育においては、子どもが主体的に身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に豊かな心情をもってかかわり、発見を楽しみ、考え、それを生活に取り入れていくことができるような生活が求められる。本授業では、以上のねらいを理解し、ふさわしい生活づくりのための領域「環境」を中心とした保育構成と実践に関する基礎・基本、評価の在り方について学ぶ。さらに、小学校との接続を視野に入れた保育内容の構成ができるようにする。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
幼稚園教育要領等を中心として、領域「環境」の位置付けや保育内容・方法についての知識等を整理しておくこと。授業内容についての復習を理論と実践の側面において行うこと。

[授業計画]
1.幼稚園教育の基本と領域「環境」（幼小の接続を含む）
2.領域「環境」の意味と意義
3.領域「環境」のねらいと資質・能力
4.自然事象と領域「環境」
5.社会生活と領域「環境」
6.文化や伝統と領域「環境」
7.数量や図形と領域「環境」
8.生活力と領域「環境」
9.遊びと領域「環境」
10.領域「環境」を中心とした保育実践
11.知的好奇心を育てる保育実践
12.掲示物の製作ワークショップ（「情報機器の活用」を含む）
13.環境の変化と保育の課題
14.領域「環境」と幼小の接続
15.まとめ

[成績評価方法]
授業中の課題（50%）試験（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題のフィードバックは授業内で行う

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	保育内容　環境Ⅰ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	領域「環境」の基礎			
担当者	金岩　俊明			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：課題・試験

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：課題・試験

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：課題・試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：課題・試験

[教科書（ISBN）]
プリント配布

[参考書（ISBN）]
MINERVA保育実践学講座9 保育内容「環境」論　著者名：三宅茂夫・大森雅人・爾寛明編著　出版社：ミネルヴァ書房 （9784623056651）

S64530R [LH2-112]

科目名	保育内容　健康Ⅰ	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	住本　純			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
幼児期における運動遊びのねらいと内容について理解する。心と体の健康維持・増進を重点におき、発達段階や安全に配慮した運動遊びに必要な基礎的技能を習得する。子どもたちの自主性・主体性を核とした運動支援方法の知識を深める。

[授業概要]
・講義とそれに基づく課題についてのディスカッションおよび実技を中心に展開する。
・実習を中心とするので、積極的に自らが運動遊びを楽しむ。
・実践者、幼児役それぞれの観点からの議論を行う。
・グループ学習によって、相互理解を深める活動を行う。
・資料は適宜配布する。
・レポート課題については、次回授業で全体に対してフィードバックを行う。
・最終授業で全体に対するフィードバックを行う。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
・関連性を持って、講義を進行していくので、前回の授業内容について復習する。
・ニュースを注視し、幼児の運動についての問題点や疑問点を常に持つように心がけること。
・文部科学省『幼児期運動指針』を読んでおくこと。

[授業計画]

第1回 オリエンテーション　　今年の子どものからだの異変とその対策
第2回　実技①体育あそびの実際　からだを使ったあそび
第3回　実技②体育あそびの実際　用具を使ったあそび　ボール運動
第4回　実技③体育あそびの実際　フープ、なわを使ったあそび
第5回　実技④体育あそびの実際　マット、とび箱
第6回　実技⑤体育あそびの実際　運動会種目（競技種目、表現・リズム種目、レクリエーション種目）
第7回　理論・実技⑥保育指導案作成、模擬保育について
第8回　実技⑦模擬保育①
第9回　実技⑧模擬保育②
第10回　実技⑨模擬保育③
第11回　実技⑩模擬保育④
第12回　理論①子どもの生活と運動
第13回　理論②運動発現のメカニズム　体力測定評価
第14回　理論③幼児体育の意義と役割、幼児体育指導上の留意事項
第15回　まとめ、フィードバック

[成績評価方法]
授業参加度、授業態度（50%）、指導案・小レポート（30%）、実技に関する課題（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中やmanabaを通して行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	保育内容　健康Ⅰ	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	住本　純			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：授業態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題、実技課題

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
適宜紹介する

科目名	保育内容　健康Ⅰ	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	住本　純			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
幼児期における運動遊びのねらいと内容について理解する。心と体の健康維持・増進を重点におき、発達段階や安全に配慮した運動遊びに必要な基礎的技能を習得する。子どもたちの自主性・主体性を核とした運動支援方法の知識を深める。

[授業概要]
・講義とそれに基づく課題についてのディスカッションおよび実技を中心に展開する。
・実習を中心とするので、積極的に自らが運動遊びを楽しむ。
・実践者、幼児役それぞれの観点からの議論を行う。
・グループ学習によって、相互理解を深める活動を行う。
・資料は適宜配布する。
・レポート課題については、次回授業で全体に対してフィードバックを行う。
・最終授業で全体に対するフィードバックを行う。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
・関連性を持って、講義を進行していくので、前回の授業内容について復習する。
・ニュースを注視し、幼児の運動についての問題点や疑問点を常に持つように心がけること。
・文部科学省『幼児期運動指針』を読んでおくこと。

[授業計画]

第1回 オリエンテーション　　今年の子どものからだの異変とその対策
第2回　実技①体育あそびの実際　からだを使ったあそび
第3回　実技②体育あそびの実際　用具を使ったあそび　ボール運動
第4回　実技③体育あそびの実際　フープ、なわを使ったあそび
第5回　実技④体育あそびの実際　マット、とび箱
第6回　実技⑤体育あそびの実際　運動会種目（競技種目、表現・リズム種目、レクリエーション種目）
第7回　理論・実技⑥保育指導案作成、模擬保育について
第8回　実技⑦模擬保育①
第9回　実技⑧模擬保育②
第10回　実技⑨模擬保育③
第11回　実技⑩模擬保育④
第12回　理論①子どもの生活と運動
第13回　理論②運動発現のメカニズム　体力測定評価
第14回　理論③幼児体育の意義と役割、幼児体育指導上の留意事項
第15回　まとめ、フィードバック

[成績評価方法]
授業参加度、授業態度（50%）、指導案・小レポート（30%）、実技に関する課題（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中やmanabaを通して行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	保育内容　健康Ⅰ	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	住本　純			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：授業態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題、実技課題

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
適宜紹介する

科目名	保育内容　言葉Ⅰ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	コミュニケーションとしてのことばを育み、思考力の芽ばえを保障する保育			
担当者	隠岐　厚美			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
ことばを育む保育の基礎的知識を身に着け、基本的保育技術を養う

[授業概要]
幼い子どもたちは、「ひと」「もの」「こと（状況）」とのかかわりの中でことばを獲得し、ことばを介してのコミュニケーションが可能なる。乳幼児期はことばを獲得し、話しことばの基盤が形成され、思考が芽生える時期であることから、この時期を共に過ごす保育者の果たす役割は大きい。そこで、この講義では、出生以降、コミュニケーションとしてのことばを獲得し、思考が芽生える発達過程を平易に解説し、その発達を保障する保育者の関わり方や情報機器及び教材の活用について学ぶ。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説を事前に熟読すること。各回、予習・復習を合わせて4時間程度の自主学習が必要です。

[授業計画]
1. オリエンテーション　コミュニケーションとことば
2. 稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領と乳幼児期のことば
3. 乳児期のコニュニケーションと保育者の援助　①前言語期の特徴
4. 乳児期のコニュニケーションと保育者の援助　②ことばの芽ばえ
5. 幼児期のコミュニケーションと保育者の援助　①幼児期のことばの特徴
6. 幼児期のコミュニケーションと保育者の援助　②心身の自立とことばの発達
7. 幼児期のコミュニケーションと保育者の援助　③遊び・仲間関係とことばの発達
8. 話し言葉から読み・書き言葉への興味・関心の拡がりと保育者－援助就学に向けて－
9. 暮らしの中でことばを育む
10. ことばを育む文化的環境　①保育の中のことばの文化財
11. ことばを育む文化的環境　②メディアとことば
12. ことばを育む文化的環境　③保育の中の情報機器および教材の活用
13. 演習　子どものことばを育む指導①
14. 演習　子どものことばを育む指導②
15. まとめ

[成績評価方法]
レポート試験　発表（個人発表）、レポート（ブックリスト）、を総合的に評価する。（レポート70%、その他30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
フィードバックは発表後およびレポート返却時に口頭で行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	保育内容　言葉Ⅰ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	コミュニケーションとしてのことばを育み、思考力の芽ばえを保障する保育			
担当者	隠岐　厚美			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：試験個人発表レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：個人発表レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：グループ発表　レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：グループ発表レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：グループ発表レポート課題

[教科書（ISBN）]
新時代の保育双書　保育内容　ことば　第3版　著者名：赤羽根有里子　鈴木穂波　出版社：みらい（978-4-86015-426-4 ）

[参考書（ISBN）]
平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本　著者名：内閣府　文部科省　厚生労働省　出版社：チャイルド社（ISBN-13: 978-4805402580）
保育における子ども文化　著者名：松本峰雄他　出版社：わかば社　（978-4-907270-10-0 c3037 ）

科目名	保育内容　人間関係	後期	講	2 単位
サブタイトル				
担当者	三宅　茂夫			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
幼児の人間関係の構築に関する諸能力発達の実態や過程を知り、それらを育むための保育構成の基礎的な考え方や方法、実践技術の修得を目標とする。

[授業概要]
乳幼児期にとって人間関係の発達は、社会的な存在たらしめるための基盤となるものである。多様な人間関係のなかで、「より善く生きたい」という人間本来の道徳的な源泉をより高次なものにしながら、「みんなで共に生きたい」や「社会の中で貢献したい」などの社会における成員意識を確かなものとしていく必要がある。さらに、乳幼児期には社会的関係を通して、自他の認識から自己の確立、社会生活を営むために必要となる社会性・言語・コミュニケーションを発達させ、さらに他者との多くの体験の共有や追体験を行いながら、思考や行動の糧を得ていくことが求められる。乳幼児期の保育や教育が環境を通して行うものであることから、保育者には乳幼児期の人間関係の発達にふさわしい環境の構成が求められる。
本授業では、乳幼児期の人間関係の意義や発達に関する諸理論を理解し、育成すべき資質・能力の三つの柱を視野に入れた保育や教育の構成・実施に関する実践力を養う。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習をしておくこと。日常的に授業に関係する情報に関心を持ち、問題意識を持って、積極的に学びを進めること。授業内容が講義の場合は予習・復習合わせて4時間程度　演習の場合は予習・復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1.オリエンテーション、幼稚園教育の基本と領域、乳幼児期における人間関係の意味
2.学校教育における幼児教育において育む資質・能力の三つの柱と領域「人間関係」
3.初期の人間関係の芽生え
4.家庭で育まれる人間関係
5.仲間と育ちあう人間関係
6.保育における人間関係
7.領域「人間関係」の目標とねらい
8.領域「人間関係」における内容
9.領域「人間関係」」における指導上の留意点
10.指導案作成の理論と実際1（指導計画の意味と作成・展開・評価の理論（情報機器および教材の活用も含む））
11.指導案作成の理論と実際2（模擬保育の計画）
12.指導案作成の理論と実際3（模擬保育の実施）
13.指導案作成の理論と実際4（模擬保育の反省）
14.幼小連携における領域「人間関係」の展開、優れた実践事例からの学び
15.まとめ

[成績評価方法]
試験（80%）、課題及び発表（20%）を総合して行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
まとめ後、解答の解説を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	保育内容　人間関係	後期	講	2 単位
サブタイトル				
担当者	三宅　茂夫			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：試験、レポート課題、指導案

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：試験、レポート課題、プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感　／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性　／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力　／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

[教科書（ISBN）]
「保育内容 人間関係」［第2版］ 2018　著者名：濱名浩編　出版社：みらい　（9784860154455 ）

[参考書（ISBN）]
「幼稚園教育要領解説（平成30年3月）」2018　著者名：文部科学省著　出版社：フレーベル館　（9784577814475）
「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（平成30年3月）」2018　著者名：内閣府・文部科学省・厚生労働省著　出版社：フレーベル館　（9784577814499）

科目名	保育内容　人間関係	後期	講	2 単位
サブタイトル				
担当者	三宅　茂夫			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
幼児の人間関係の構築に関する諸能力発達の実態や過程を知り、それらを育むための保育構成の基礎的な考え方や方法、実践技術の修得を目標とする。

[授業概要]
乳幼児期にとって人間関係の発達は、社会的な存在たらしめるための基盤となるものである。多様な人間関係のなかで、「より善く生きたい」という人間本来の道徳的な源泉をより高次なものにしながら、「みんなで共に生きたい」や「社会の中で貢献したい」などの社会における成員意識を確かなものとしていく必要がある。さらに、乳幼児期には社会的関係を通して、自他の認識から自己の確立、社会生活を営むために必要となる社会性・言語・コミュニケーションを発達させ、さらに他者との多くの体験の共有や追体験を行いながら、思考や行動の糧を得ていくことが求められる。乳幼児期の保育や教育が環境を通して行うものであることから、保育者には乳幼児期の人間関係の発達にふさわしい環境の構成が求められる。
本授業では、乳幼児期の人間関係の意義や発達に関する諸理論を理解し、育成すべき資質・能力の三つの柱を視野に入れた保育や教育の構成・実施に関する実践力を養う。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習をしておくこと。日常的に授業に関係する情報に関心を持ち、問題意識を持って、積極的に学びを進めること。授業内容が講義の場合は予習・復習合わせて4時間程度　演習の場合は予習・復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1.オリエンテーション、幼稚園教育の基本と領域、乳幼児期における人間関係の意味
2.学校教育における幼児教育において育む資質・能力の三つの柱と領域「人間関係」
3.初期の人間関係の芽生え
4.家庭で育まれる人間関係
5.仲間と育ちあう人間関係
6.保育における人間関係
7.領域「人間関係」の目標とねらい
8.領域「人間関係」における内容
9.領域「人間関係」」における指導上の留意点
10.指導案作成の理論と実際1（指導計画の意味と作成・展開・評価の理論（情報機器および教材の活用も含む））
11.指導案作成の理論と実際2（模擬保育の計画）
12.指導案作成の理論と実際3（模擬保育の実施）
13.指導案作成の理論と実際4（模擬保育の反省）
14.幼小連携における領域「人間関係」の展開、優れた実践事例からの学び
15.まとめ

[成績評価方法]
試験（80%）、課題及び発表（20%）を総合して行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
まとめ後、解答の解説を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	保育内容　人間関係	後期	講	2 単位
サブタイトル				
担当者	三宅　茂夫			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：試験、レポート課題、指導案

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：試験、レポート課題、プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感　／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性　／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力　／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

[教科書（ISBN）]
「保育内容 人間関係」［第2版］ 2018　著者名：濱名浩編　出版社：みらい　（9784860154455 ）

[参考書（ISBN）]
「幼稚園教育要領解説（平成30年3月）」2018　著者名：文部科学省著　出版社：フレーベル館　（9784577814475）
「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（平成30年3月）」2018　著者名：内閣府・文部科学省・厚生労働省著　出版社：フレーベル館　（9784577814499）

科目名	保育内容　人間関係	後期	講	2 単位
サブタイトル				
担当者	三宅　茂夫			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
幼児の人間関係の構築に関する諸能力発達の実態や過程を知り、それらを育むための保育構成の基礎的な考え方や方法、実践技術の修得を目標とする。

[授業概要]
乳幼児期にとって人間関係の発達は、社会的な存在たらしめるための基盤となるものである。多様な人間関係のなかで、「より善く生きたい」という人間本来の道徳的な源泉をより高次なものにしながら、「みんなで共に生きたい」や「社会の中で貢献したい」などの社会における成員意識を確かなものとしていく必要がある。さらに、乳幼児期には社会的関係を通して、自他の認識から自己の確立、社会生活を営むために必要となる社会性・言語・コミュニケーションを発達させ、さらに他者との多くの体験の共有や追体験を行いながら、思考や行動の糧を得ていくことが求められる。乳幼児期の保育や教育が環境を通して行うものであることから、保育者には乳幼児期の人間関係の発達にふさわしい環境の構成が求められる。
本授業では、乳幼児期の人間関係の意義や発達に関する諸理論を理解し、育成すべき資質・能力の三つの柱を視野に入れた保育や教育の構成・実施に関する実践力を養う。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習をしておくこと。日常的に授業に関係する情報に関心を持ち、問題意識を持って、積極的に学びを進めること。授業内容が講義の場合は予習・復習合わせて4時間程度　演習の場合は予習・復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1.オリエンテーション、幼稚園教育の基本と領域、乳幼児期における人間関係の意味
2.学校教育における幼児教育において育む資質・能力の三つの柱と領域「人間関係」
3.初期の人間関係の芽生え
4.家庭で育まれる人間関係
5.仲間と育ちあう人間関係
6.保育における人間関係
7.領域「人間関係」の目標とねらい
8.領域「人間関係」における内容
9.領域「人間関係」」における指導上の留意点
10.指導案作成の理論と実際1（指導計画の意味と作成・展開・評価の理論（情報機器および教材の活用も含む））
11.指導案作成の理論と実際2（模擬保育の計画）
12.指導案作成の理論と実際3（模擬保育の実施）
13.指導案作成の理論と実際4（模擬保育の反省）
14.幼小連携における領域「人間関係」の展開、優れた実践事例からの学び
15.まとめ

[成績評価方法]
試験（80%）、課題及び発表（20%）を総合して行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
まとめ後、解答の解説を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	保育内容　人間関係	後期	講	2 単位
サブタイトル				
担当者	三宅　茂夫			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：試験、レポート課題、指導案

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：試験、レポート課題、プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感　／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性　／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力　／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

[教科書（ISBN）]
「保育内容 人間関係」［第2版］ 2018　著者名：濱名浩編　出版社：みらい　（9784860154455 ）

[参考書（ISBN）]
「幼稚園教育要領解説（平成30年3月）」2018　著者名：文部科学省著　出版社：フレーベル館　（9784577814475）
「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（平成30年3月）」2018　著者名：内閣府・文部科学省・厚生労働省著　出版社：フレーベル館　（9784577814499）

科目名	保育内容　人間関係	後期	講	2 単位
サブタイトル				
担当者	三宅　茂夫			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
幼児の人間関係の構築に関する諸能力発達の実態や過程を知り、それらを育むための保育構成の基礎的な考え方や方法、実践技術の修得を目標とする。

[授業概要]
乳幼児期にとって人間関係の発達は、社会的な存在たらしめるための基盤となるものである。多様な人間関係のなかで、「より善く生きたい」という人間本来の道徳的な源泉をより高次なものにしながら、「みんなで共に生きたい」や「社会の中で貢献したい」などの社会における成員意識を確かなものとしていく必要がある。さらに、乳幼児期には社会的関係を通して、自他の認識から自己の確立、社会生活を営むために必要となる社会性・言語・コミュニケーションを発達させ、さらに他者との多くの体験の共有や追体験を行いながら、思考や行動の糧を得ていくことが求められる。乳幼児期の保育や教育が環境を通して行うものであることから、保育者には乳幼児期の人間関係の発達にふさわしい環境の構成が求められる。
本授業では、乳幼児期の人間関係の意義や発達に関する諸理論を理解し、育成すべき資質・能力の三つの柱を視野に入れた保育や教育の構成・実施に関する実践力を養う。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習をしておくこと。日常的に授業に関係する情報に関心を持ち、問題意識を持って、積極的に学びを進めること。授業内容が講義の場合は予習・復習合わせて4時間程度　演習の場合は予習・復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1.オリエンテーション、幼稚園教育の基本と領域、乳幼児期における人間関係の意味
2.学校教育における幼児教育において育む資質・能力の三つの柱と領域「人間関係」
3.初期の人間関係の芽生え
4.家庭で育まれる人間関係
5.仲間と育ちあう人間関係
6.保育における人間関係
7.領域「人間関係」の目標とねらい
8.領域「人間関係」における内容
9.領域「人間関係」」における指導上の留意点
10.指導案作成の理論と実際1（指導計画の意味と作成・展開・評価の理論（情報機器および教材の活用も含む））
11.指導案作成の理論と実際2（模擬保育の計画）
12.指導案作成の理論と実際3（模擬保育の実施）
13.指導案作成の理論と実際4（模擬保育の反省）
14.幼小連携における領域「人間関係」の展開、優れた実践事例からの学び
15.まとめ

[成績評価方法]
試験（80%）、課題及び発表（20%）を総合して行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
まとめ後、解答の解説を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	保育内容　人間関係	後期	講	2 単位
サブタイトル				
担当者	三宅　茂夫			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：試験、レポート課題、指導案

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：試験、レポート課題、プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感　／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性　／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力　／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

[教科書（ISBN）]
「保育内容 人間関係」［第2版］ 2018　著者名：濱名浩編　出版社：みらい　（9784860154455 ）

[参考書（ISBN）]
「幼稚園教育要領解説（平成30年3月）」2018　著者名：文部科学省著　出版社：フレーベル館　（9784577814475）
「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（平成30年3月）」2018　著者名：内閣府・文部科学省・厚生労働省著　出版社：フレーベル館　（9784577814499）

科目名	保育内容　表現Ⅰ	後期		2 単位
サブタイトル				
担当者	小林　田鶴子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
幼稚園教育において育みたい資質・能力を理解し、幼稚園教育要領のねらいや内容についての理解を深めるとともに、幼児の音楽的発達に即した具体的な指導ができる力を付ける。

[授業概要]
保育者として音楽活動を行うためには、技術だけでなく、子どもと音楽との関わりについての深い知識も必要となる。この授業では、子どもと音楽との関わりについて、さまざまなテーマを取り上げるとともに、歌や声、簡単なリズム楽器を使ったアンサンブルなどの実技も行うことで、理論と実技の双方から幼児の音楽教育についての理解を深める。また幼稚園教育要領の内容についての理解も得る。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
　毎回の授業に、充分な復習をして臨むこと。また、身の周りの音の出るものなどに興味を持つようにすること。「表現」は音楽だけではないので、「保育内容表現Ⅱ」の授業との関連性を考えること。

[授業計画]
第1回：オリエンテーション
第2回：乳幼児の音楽的発達と小学校音楽教育との連続性
第3回：身体を使った表現（手・体で奏でる）
第4回：身の回りのものを使った表現（環境を奏でる）
第5回：ICTを使った表現（サンプリングから映像まで）
第6回：楽器を使った表現
第7回：協働で行う表現（アンサンブル）
第8回：日本の音楽・世界の音楽を使った表現
第9回：保育表現の実際（外部講師招聘）
第10回：幼児教育の変遷と幼稚園教育要領について
第11回：幼児教育と小学校教育とのつながり(創造的音楽教育について）
第12回：指導案の書き方と作成と評価の方法とその工夫
第13回：模擬保育と振り返り①楽器と声、身振りなどを入れた表現
第14回：模擬保育と振り返り②様々な要素を取り入れた表現
第15回：試験/とまとめ

[成績評価方法]
授業内試験（50%）、授業への取り組みやグループ発表（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
試験後に解答解説を行う

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	保育内容　表現Ⅰ	後期		2 単位
サブタイトル				
担当者	小林　田鶴子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：授業への取り組みや課題発表

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：授業への取り組みや課題発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業への取り組みや課題発表

[教科書（ISBN）]
コンパス　音楽表現　著者名：駒久美子・味府美香　編著　出版社：建帛社　（978-4-7679-5120-1 ）
幼稚園教育要領解説（平成30年3月）　著者名：文部科学省　出版社：フレーベル館　（978-4-577-81447-5）

[参考書（ISBN）]
なし

S64860R [LH1-078]

科目名	保育内容　表現Ⅰ	後期		2 単位
サブタイトル				
担当者	小林　田鶴子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
幼稚園教育において育みたい資質・能力を理解し、幼稚園教育要領のねらいや内容についての理解を深めるとともに、幼児の音楽的発達に即した具体的な指導ができる力を付ける。

[授業概要]
保育者として音楽活動を行うためには、技術だけでなく、子どもと音楽との関わりについての深い知識も必要となる。この授業では、子どもと音楽との関わりについて、さまざまなテーマを取り上げるとともに、歌や声、簡単なリズム楽器を使ったアンサンブルなどの実技も行うことで、理論と実技の双方から幼児の音楽教育についての理解を深める。また幼稚園教育要領の内容についての理解も得る。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
　毎回の授業に、充分な復習をして臨むこと。また、身の周りの音の出るものなどに興味を持つようにすること。「表現」は音楽だけではないので、「保育内容表現Ⅱ」の授業との関連性を考えること。

[授業計画]
第1回：オリエンテーション
第2回：乳幼児の音楽的発達と小学校音楽教育との連続性
第3回：身体を使った表現（手・体で奏でる）
第4回：身の回りのものを使った表現（環境を奏でる）
第5回：ICTを使った表現（サンプリングから映像まで）
第6回：楽器を使った表現
第7回：協働で行う表現（アンサンブル）
第8回：日本の音楽・世界の音楽を使った表現
第9回：保育表現の実際（外部講師招聘）
第10回：幼児教育の変遷と幼稚園教育要領について
第11回：幼児教育と小学校教育とのつながり(創造的音楽教育について）
第12回：指導案の書き方と作成と評価の方法とその工夫
第13回：模擬保育と振り返り①楽器と声、身振りなどを入れた表現
第14回：模擬保育と振り返り②様々な要素を取り入れた表現
第15回：試験/とまとめ

[成績評価方法]
授業内試験（50%）、授業への取り組みやグループ発表（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
試験後に解答解説を行う

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	保育内容　表現Ⅰ	後期		2 単位
サブタイトル				
担当者	小林　田鶴子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：授業への取り組みや課題発表

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：授業への取り組みや課題発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業への取り組みや課題発表

[教科書（ISBN）]
コンパス　音楽表現　著者名：駒久美子・味府美香　編著　出版社：建帛社　（978-4-7679-5120-1 ）
幼稚園教育要領解説（平成30年3月）　著者名：文部科学省　出版社：フレーベル館　（978-4-577-81447-5）

[参考書（ISBN）]
なし

S64870R [LH1-078]

科目名	保育内容演習　環境	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	三宅　茂夫			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
領域「環境」の目標を理解し、それらを生活の中で培い、育んでいくための保育実践に必要となる基礎的な知識や基本的な技能の修得を目指す。

[授業概要]
領域「環境」は、子どもが身近な環境に好奇心や探究心をもってかかわり、それらを生活や遊びに取り入れていこうとする力を養うことを目標としている。目標の達成に向けて、子どもは様々な事象に興味や関心をもち、主体的に環境にかかわるなかで、発見や試行錯誤を楽しみ、それを生活に取り入れようとする。さらに、そのなかで大きな学びにつながる多様な感覚や概念などが形成される。
本授業では、幼児教育の基本である「環境を通して行う教育」という視点から、領域「環境」のねらいを捉え、今を生きる子どもたちにとって必要な環境のあり方について学ぶ。さらに、実践力の構築をめざして、ふさわしい保育構成や展開に必要となる知識や技能について学ぶ。
なお、模擬保育等を実施するため、授業は原則的に各週おきに2コマ連続で行う。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
次回の授業の予習や模擬保育等の準備を入念にしておくこと。日常的に授業に関係する情報に関心を持ち、問題意識を持って、積極的に学びを進めること。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 模擬保育の実際と学び方のポイント・模擬保育の準備
3. 模擬保育の説明と実践①
4. 模擬保育の反省と次回指導案の検討①
5. 模擬保育の説明と実践②
6. 模擬保育の反省と次回指導案の検討②
7. 模擬保育の説明と実践③
8. 模擬保育の反省と次回指導案の検討③
9. 模擬保育の説明と実践④
10. 模擬保育の反省と次回指導案の検討④
11. 模擬保育の説明と実践⑤
12. 模擬保育の反省と次回指導案の検討⑤
13. 模擬保育の説明と実践⑥
14. 模擬保育の反省⑥
15. まとめ

[成績評価方法]
模擬保育の計画・実施と反省会の参加度（70%）、授業内の課題と提出物（30%）を総合して行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
まとめ後、解答の解説を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	保育内容演習　環境	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	三宅　茂夫			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：試験、レポート課題、指導案

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：試験、レポート課題、プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性　／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力　／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

[教科書（ISBN）]
「子どもの姿からはじめる　領域・環境」 著者名：東義也編　出版社：みらい （9784860155155）
「知のゆりかご　教育・保育カリキュラム論」2019　著者名：田中亨胤・三宅茂夫編　　出版社：みらい （9784860154783）

[参考書（ISBN）]
「幼稚園教育要領解説（平成30年3月）」 著者名：文部科学省著　出版社：フレーベル館 （9784577814475）

科目名	保育内容演習　環境	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	三宅　茂夫			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
領域「環境」の目標を理解し、それらを生活の中で培い、育んでいくための保育実践に必要となる基礎的な知識や基本的な技能の修得を目指す。

[授業概要]
領域「環境」は、子どもが身近な環境に好奇心や探究心をもってかかわり、それらを生活や遊びに取り入れていこうとする力を養うことを目標としている。目標の達成に向けて、子どもは様々な事象に興味や関心をもち、主体的に環境にかかわるなかで、発見や試行錯誤を楽しみ、それを生活に取り入れようとする。さらに、そのなかで大きな学びにつながる多様な感覚や概念などが形成される。
本授業では、幼児教育の基本である「環境を通して行う教育」という視点から、領域「環境」のねらいを捉え、今を生きる子どもたちにとって必要な環境のあり方について学ぶ。さらに、実践力の構築をめざして、ふさわしい保育構成や展開に必要となる知識や技能について学ぶ。
なお、模擬保育等を実施するため、授業は原則的に各週おきに2コマ連続で行う。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
次回の授業の予習や模擬保育等の準備を入念にしておくこと。日常的に授業に関係する情報に関心を持ち、問題意識を持って、積極的に学びを進めること。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 模擬保育の実際と学び方のポイント・模擬保育の準備
3. 模擬保育の説明と実践①
4. 模擬保育の反省と次回指導案の検討①
5. 模擬保育の説明と実践②
6. 模擬保育の反省と次回指導案の検討②
7. 模擬保育の説明と実践③
8. 模擬保育の反省と次回指導案の検討③
9. 模擬保育の説明と実践④
10. 模擬保育の反省と次回指導案の検討④
11. 模擬保育の説明と実践⑤
12. 模擬保育の反省と次回指導案の検討⑤
13. 模擬保育の説明と実践⑥
14. 模擬保育の反省⑥
15. まとめ

[成績評価方法]
模擬保育の計画・実施と反省会の参加度（70%）、授業内の課題と提出物（30%）を総合して行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
まとめ後、解答の解説を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	保育内容演習　環境	後期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	三宅　茂夫			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：試験、レポート課題、指導案

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：試験、レポート課題、プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性　／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力　／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

[教科書（ISBN）]
「子どもの姿からはじめる　領域・環境」 著者名：東義也編　出版社：みらい （9784860155155）
「知のゆりかご　教育・保育カリキュラム論」2019　著者名：田中亨胤・三宅茂夫編　　出版社：みらい （9784860154783）

[参考書（ISBN）]
「幼稚園教育要領解説（平成30年3月）」 著者名：文部科学省著　出版社：フレーベル館 （9784577814475）

科目名	保育内容演習　健康	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	住本　純			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
幼児期における運動遊びのねらいと内容について理解する。心と体の健康維持・増進を重点におき、発達段階や安全に配慮した運動遊びに必要な基礎的技能を習得する。子どもたちの自主性・主体性を核とした運動支援方法の知識を深める。

[授業概要]
・講義とそれに基づく課題についてのディスカッションおよび実技を中心に展開する。
・実習を中心とするので、積極的に自らが運動遊びを楽しむ。
・実践者、幼児役それぞれの観点からの議論を行う。
・グループ学習によって、相互理解を深める活動を行う。
・資料は適宜配布する。
・レポート課題については、次回授業で全体に対してフィードバックを行う。
・最終授業で全体に対するフィードバックを行う。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
・関連性を持って、講義を進行していくので、前回の授業内容について復習する。
・ニュースを注視し、幼児の運動についての問題点や疑問点を常に持つように心がけること。
・文部科学省『幼児期運動指針』を読んでおくこと。

[授業計画]

第1回 オリエンテーション　　今年の子どものからだの異変とその対策
第2回　実技①体育あそびの実際　からだを使ったあそび
第3回　実技②体育あそびの実際　用具を使ったあそび　ボール運動
第4回　実技③体育あそびの実際　フープ、なわを使ったあそび
第5回　実技④体育あそびの実際　マット、とび箱
第6回　実技⑤体育あそびの実際　運動会種目（競技種目、表現・リズム種目、レクリエーション種目）
第7回　理論・実技⑥保育指導案作成、模擬保育について
第8回　実技⑦模擬保育①
第9回　実技⑧模擬保育②
第10回　実技⑨模擬保育③
第11回　実技⑩模擬保育④
第12回　理論①子どもの生活と運動
第13回　理論②運動発現のメカニズム　体力測定評価
第14回　理論③幼児体育の意義と役割、幼児体育指導上の留意事項
第15回　まとめ、フィードバック

[成績評価方法]
授業参加度、授業態度（50%）、指導案・小レポート（30%）、実技に関する課題（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中やmanabaを通して行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	保育内容演習　健康	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	住本　純			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：授業態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題、実技課題

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
適宜紹介する

S64520

科目名	保育内容演習　健康	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	住本　純			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
幼児期における運動遊びのねらいと内容について理解する。心と体の健康維持・増進を重点におき、発達段階や安全に配慮した運動遊びに必要な基礎的技能を習得する。子どもたちの自主性・主体性を核とした運動支援方法の知識を深める。

[授業概要]
・講義とそれに基づく課題についてのディスカッションおよび実技を中心に展開する。
・実習を中心とするので、積極的に自らが運動遊びを楽しむ。
・実践者、幼児役それぞれの観点からの議論を行う。
・グループ学習によって、相互理解を深める活動を行う。
・資料は適宜配布する。
・レポート課題については、次回授業で全体に対してフィードバックを行う。
・最終授業で全体に対するフィードバックを行う。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
・関連性を持って、講義を進行していくので、前回の授業内容について復習する。
・ニュースを注視し、幼児の運動についての問題点や疑問点を常に持つように心がけること。
・文部科学省『幼児期運動指針』を読んでおくこと。

[授業計画]

第1回 オリエンテーション　　今年の子どものからだの異変とその対策
第2回　実技①体育あそびの実際　からだを使ったあそび
第3回　実技②体育あそびの実際　用具を使ったあそび　ボール運動
第4回　実技③体育あそびの実際　フープ、なわを使ったあそび
第5回　実技④体育あそびの実際　マット、とび箱
第6回　実技⑤体育あそびの実際　運動会種目（競技種目、表現・リズム種目、レクリエーション種目）
第7回　理論・実技⑥保育指導案作成、模擬保育について
第8回　実技⑦模擬保育①
第9回　実技⑧模擬保育②
第10回　実技⑨模擬保育③
第11回　実技⑩模擬保育④
第12回　理論①子どもの生活と運動
第13回　理論②運動発現のメカニズム　体力測定評価
第14回　理論③幼児体育の意義と役割、幼児体育指導上の留意事項
第15回　まとめ、フィードバック

[成績評価方法]
授業参加度、授業態度（50%）、指導案・小レポート（30%）、実技に関する課題（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中やmanabaを通して行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	保育内容演習　健康	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	住本　純			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：授業態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題、実技課題

[教科書（ISBN）]
なし

[参考書（ISBN）]
適宜紹介する

科目名	保育内容演習　言葉	前期	演習	2 単位
サブタイトル	乳幼児と育む豊かな言葉			
担当者	隠岐　厚美			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
・乳幼児の言葉を育む環境作りと保育者の援助を学ぶ
・言葉を育む児童文化財に関する知識と実践に向けての基礎的技術を身に着ける

[授業概要]
「幼児と言葉」における学びを踏まえ、手遊び、ペープサート、紙芝居、絵本の読み聞かせ、素話など乳幼児の言葉を育む保育教材の作成及び模擬保育を行う。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
発表準備を含めた予習復習に4時間ほど必要です

[授業計画]
1.　言葉に関する児童文化財について
2. わらべ歌の魅力と実践
3. 絵本の魅力と実践
4. お話づくり①
5　お話づくり②
6.　シアター教材の魅力と実践－ペープサートー
7.　シアター教材の魅力と実践－紙芝居－
8.　シアター教材の魅力と実践－エプロンシアター－
9.　シアター教材を用いた模擬保育①
10.　シアター教材を用いた模擬保育②
11.　シアター教材を用いた模擬保育③
12.　素話の魅力と実践
13.　素話の個人発表①
14.　素話の個人発表②
15　素話の個人発表③
16.　まとめ

[成績評価方法]
レポート、個人課題、グループ課題を基に総合的に評価する（レポート40%　個人課題40%　グループ課題40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中の課題は、授業内に適宜フィードバックする
模擬保育及び個人発表課題には、発表後フィードバックを行う

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	保育内容演習　言葉	前期	演習	2 単位
サブタイトル	乳幼児と育む豊かな言葉			
担当者	隠岐　厚美			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：個人課題　グループ発表

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：個人課題　グループ課題

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：レポート　個人課題、グループ課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：レポート　個人課題　グループ課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：レポート　個人課題　グループ課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働）する能力・姿勢
成績評価方法：グループ課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：

[教科書（ISBN）]
なし　必要に応じて資料を配布する

[参考書（ISBN）]
なし。授業内で適宜紹介する

科目名	保育内容演習　言葉	前期	演習	2 単位
サブタイトル	乳幼児と育む豊かな言葉			
担当者	隠岐　厚美			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
・乳幼児の言葉を育む環境作りと保育者の援助を学ぶ
・言葉を育む児童文化財に関する知識と実践に向けての基礎的技術を身に着ける

[授業概要]
「幼児と言葉」における学びを踏まえ、手遊び、ペープサート、紙芝居、絵本の読み聞かせ、素話など乳幼児の言葉を育む保育教材の作成及び模擬保育を行う。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
発表準備を含めた予習復習に4時間ほど必要です

[授業計画]
1.　言葉に関する児童文化財について
2. わらべ歌の魅力と実践
3. 絵本の魅力と実践
4. お話づくり①
5　お話づくり②
6.　シアター教材の魅力と実践－ペープサートー
7.　シアター教材の魅力と実践－紙芝居－
8.　シアター教材の魅力と実践－エプロンシアター－
9.　シアター教材を用いた模擬保育①
10.　シアター教材を用いた模擬保育②
11.　シアター教材を用いた模擬保育③
12.　素話の魅力と実践
13.　素話の個人発表①
14.　素話の個人発表②
15　素話の個人発表③
16.　まとめ

[成績評価方法]
レポート、個人課題、グループ課題を基に総合的に評価する（レポート40%　個人課題40%　グループ課題40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中の課題は、授業内に適宜フィードバックする
模擬保育及び個人発表課題には、発表後フィードバックを行う

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	保育内容演習　言葉	前期	演習	2 単位
サブタイトル	乳幼児と育む豊かな言葉			
担当者	隠岐　厚美			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：個人課題　グループ発表

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：個人課題　グループ課題

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：レポート　個人課題、グループ課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：レポート　個人課題　グループ課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：レポート　個人課題　グループ課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働）する能力・姿勢
成績評価方法：グループ課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：

[教科書（ISBN）]
なし　必要に応じて資料を配布する

[参考書（ISBN）]
なし。授業内で適宜紹介する

科目名	保育内容演習　人間関係	前期	講	2 単位
サブタイトル				
担当者	三宅　茂夫			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
幼児の人間関係の構築に関する諸能力発達の実態や過程を知り、それらを育むための保育構成の基礎的な考え方や方法、実践技術の修得を目標とする。

[授業概要]
乳幼児期にとって人間関係の発達は、社会的な存在たらしめるための基盤となるものである。多様な人間関係のなかで、「より善く生きたい」という人間本来の道徳的な源泉をより高次なものにしながら、「みんなで共に生きたい」や「社会の中で貢献したい」などの社会における成員意識を確かなものとしていく必要がある。さらに、乳幼児期には社会的関係を通して、自他の認識から自己の確立、社会生活を営むために必要となる社会性・言語・コミュニケーションを発達させ、さらに他者との多くの体験の共有や追体験を行いながら、思考や行動の糧を得ていくことが求められる。乳幼児期の保育や教育が環境を通して行うものであることから、保育者には乳幼児期の人間関係の発達にふさわしい環境の構成が求められる。
本授業では、乳幼児期の人間関係の意義や発達に関する諸理論を理解し、育成すべき資質・能力の三つの柱を視野に入れた保育や教育の構成・実施に関する実践力を養う。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習をしておくこと。日常的に授業に関係する情報に関心を持ち、問題意識を持って、積極的に学びを進めること。授業内容が講義の場合は予習・復習合わせて4時間程度　演習の場合は予習・復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. オリエンテーション　幼稚園教育の基本と領域、乳幼児期における人間関係の意味
2. 学校教育における幼児教育において育む資質・能力の三つの柱と領域「人間関係」
3. 領域「人間関係」について
4. 模擬保育の実際と学び方のポイント・模擬保育の準備
5. 模擬保育の説明と実践①
6. 模擬保育の反省と次回指導案の検討①
7. 模擬保育の説明と実践②
8. 模擬保育の反省と次回指導案の検討②
9. 模擬保育の説明と実践③
10. 模擬保育の反省と次回指導案の検討③
11. 模擬保育の説明と実践④
12. 模擬保育の反省と次回指導案の検討④
13. 模擬保育の説明と実践⑤
14. 模擬保育の反省と次回指導案の検討⑤
15. まとめ

[成績評価方法]
試験（80%）、課題及び発表（20%）を総合して行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
まとめ後、解答の解説を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	保育内容演習　人間関係	前期	講	2 単位
サブタイトル				
担当者	三宅　茂夫			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：試験、レポート課題、指導案

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：試験、レポート課題、プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感　／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性　／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力　／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

[教科書（ISBN）]
「保育内容 人間関係」［第2版］ 2018　著者名：濱名浩編　出版社：みらい　（9784860154455 ）

[参考書（ISBN）]
「幼稚園教育要領解説（平成30年3月）」2018　著者名：文部科学省著　出版社：フレーベル館　（9784577814475）
「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（平成30年3月）」2018　著者名：内閣府・文部科学省・厚生労働省著　出版社：フレーベル館　（9784577814499）

科目名	保育内容演習　人間関係	前期	講	2 単位
サブタイトル				
担当者	三宅　茂夫			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
幼児の人間関係の構築に関する諸能力発達の実態や過程を知り、それらを育むための保育構成の基礎的な考え方や方法、実践技術の修得を目標とする。

[授業概要]
乳幼児期にとって人間関係の発達は、社会的な存在たらしめるための基盤となるものである。多様な人間関係のなかで、「より善く生きたい」という人間本来の道徳的な源泉をより高次なものにしながら、「みんなで共に生きたい」や「社会の中で貢献したい」などの社会における成員意識を確かなものとしていく必要がある。さらに、乳幼児期には社会的関係を通して、自他の認識から自己の確立、社会生活を営むために必要となる社会性・言語・コミュニケーションを発達させ、さらに他者との多くの体験の共有や追体験を行いながら、思考や行動の糧を得ていくことが求められる。乳幼児期の保育や教育が環境を通して行うものであることから、保育者には乳幼児期の人間関係の発達にふさわしい環境の構成が求められる。
本授業では、乳幼児期の人間関係の意義や発達に関する諸理論を理解し、育成すべき資質・能力の三つの柱を視野に入れた保育や教育の構成・実施に関する実践力を養う。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習をしておくこと。日常的に授業に関係する情報に関心を持ち、問題意識を持って、積極的に学びを進めること。授業内容が講義の場合は予習・復習合わせて4時間程度　演習の場合は予習・復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. オリエンテーション　幼稚園教育の基本と領域、乳幼児期における人間関係の意味
2. 学校教育における幼児教育において育む資質・能力の三つの柱と領域「人間関係」
3. 領域「人間関係」について
4. 模擬保育の実際と学び方のポイント・模擬保育の準備
5. 模擬保育の説明と実践①
6. 模擬保育の反省と次回指導案の検討①
7. 模擬保育の説明と実践②
8. 模擬保育の反省と次回指導案の検討②
9. 模擬保育の説明と実践③
10. 模擬保育の反省と次回指導案の検討③
11. 模擬保育の説明と実践④
12. 模擬保育の反省と次回指導案の検討④
13. 模擬保育の説明と実践⑤
14. 模擬保育の反省と次回指導案の検討⑤
15. まとめ

[成績評価方法]
試験（80%）、課題及び発表（20%）を総合して行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
まとめ後、解答の解説を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	保育内容演習　人間関係	前期	講	2 単位
サブタイトル				
担当者	三宅　茂夫			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：試験、レポート課題、指導案

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：試験、レポート課題、プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感　／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性　／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力　／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

[教科書（ISBN）]
「保育内容 人間関係」［第2版］ 2018　著者名：濱名浩編　出版社：みらい　（9784860154455 ）

[参考書（ISBN）]
「幼稚園教育要領解説（平成30年3月）」2018　著者名：文部科学省著　出版社：フレーベル館　（9784577814475）
「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（平成30年3月）」2018　著者名：内閣府・文部科学省・厚生労働省著　出版社：フレーベル館　（9784577814499）

科目名	保育内容総論	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	日坂　歩都恵			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
保育の全体構造を理解する。子どもや子ども集団の発達の特性や過程を踏まえ、観察や記録の観点を修得する。保育の理念と保育実践をつなげて理解する。

[授業概要]
講義、ディスカッション、映像記録の視聴を通して保育内容を総合的に捉え、理解する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
テキストの関連する部分を事前に読んでおく。授業の復習をして、問題意識を持つ。各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]

1.保育の基本と理念
2.保育の全体構造と保育内容の関係
3.幼稚園教育要領・保育所保育指針における保育内容
4.子どもの理解と評価の考え方
5.指導計画の作成の理解
6.遊びや生活を通しての学び
7.養護と教育が一体的に展開する教育
8.子どもの主体性を尊重する保育
9.環境を通して行う保育
10.個と集団の育ちを支える保育
11.家庭や地域との連携
12.小学校への接続をふまえた保育
13.多様な保育内容の展開
14.保育内容の歴史的変遷
15.今後の課題　まとめ

[成績評価方法]
授業態度・積極性20%　授業内提出物30%　試験50%
受講態度や積極性は発言、質問などで評価をします

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内課題として小レポートを提出、返却し、授業の理解度を確認する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	保育内容総論	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	日坂　歩都恵			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：受講態度・積極性30%　授業内提出物20%　試験50%

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：受講態度・積極性30%　授業内提出物20%　試験50%

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：受講態度・積極性30%　授業内提出物20%　試験50%

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：受講態度・積極性　授業内提出物

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：受講態度・積極性30%　授業内提出物20%　試験50%

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：受講態度・積極性　授業内提出物

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：受講態度・積極性　授業内提出物

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：受講態度・積極性　授業内提出物

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：受講態度・積極性　授業内提出物 試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：受講態度・積極性　授業内提出物 試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：受講態度・積極性　授業内提出物

[教科書（ISBN）]
新しい保育講座4　保育内容総論　著者名：渡邉英則・大豆生田啓友編　出版社：ミネルヴァ書房　(978-4-628-08534-7

)
幼稚園教育要領 保育所保育指針　幼保連携型認定こども園教育・保育要領　著者名：文部科学省　厚生労働省内閣府
　出版社：チャイルド本社　(978-4-8054-0258-0
)

[参考書（ISBN）]
なし　著者名：×　出版社：×

S62430 [LH2-125]

科目名	保育内容総論	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	日坂　歩都恵			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
保育の全体構造を理解する。子どもや子ども集団の発達の特性や過程を踏まえ、観察や記録の観点を修得する。保育の理念と保育実践をつなげて理解する。

[授業概要]
講義、ディスカッション、映像記録の視聴を通して保育内容を総合的に捉え、理解する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
テキストの関連する部分を事前に読んでおく。授業の復習をして、問題意識を持つ。各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]

1.保育の基本と理念
2.保育の全体構造と保育内容の関係
3.幼稚園教育要領・保育所保育指針における保育内容
4.子どもの理解と評価の考え方
5.指導計画の作成の理解
6.遊びや生活を通しての学び
7.養護と教育が一体的に展開する保育
8.子どもの主体性を尊重する保育
9.環境を通して行う保育
10.個と集団の育ちを支える保育
11. 家庭や地域との連携
12.小学校への接続をふまえた保育
13.多様な保育内容の展開
14.保育内容の歴史的変遷
15.今後の課題　まとめ

[成績評価方法]
受講態度・積極性20%　授業内提出物30%　試験50%
受講態度や積極性は発言、質問などで評価をします

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内課題として小レポートを提出、返却し、授業の理解度を確認する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	保育内容総論	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	日坂　歩都恵			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：受講態度・積極性30%　授業内提出物20%　試験50%

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：受講態度・積極性30%　授業内提出物20%　試験50%

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：受講態度・積極性30%　授業内提出物20%　試験50%

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：受講態度・積極性　授業内提出物

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：受講態度・積極性30%　授業内提出物20%　試験50%

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：受講態度・積極性　授業内提出物

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：受講態度・積極性　授業内提出物

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：受講態度・積極性　授業内提出物

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：受講態度・積極性　授業内提出物 試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：受講態度・積極性　授業内提出物 試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：受講態度・積極性　授業内提出物

[教科書（ISBN）]
新しい保育講座4　保育内容総論　著者名：渡邉英則・大豆生田啓友編　出版社：ミネルヴァ書房　(978-4-628-08534-7

)
幼稚園教育要領 保育所保育指針　幼保連携型認定こども園教育・保育要領　著者名：文部科学省　厚生労働省　内閣府
　出版社：チャイルド本社　(978-4-8054-0258-0
)

[参考書（ISBN）]
なし　著者名：×　出版社：×

S62431 [LH2-125]

科目名	保育内容　人間関係	後期	講	2 単位
サブタイトル				
担当者	三宅　茂夫			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
幼児の人間関係の構築に関する諸能力発達の実態や過程を知り、それらを育むための保育構成の基礎的な考え方や方法、実践技術の修得を目標とする。

[授業概要]
乳幼児期にとって人間関係の発達は、社会的な存在たらしめるための基盤となるものである。多様な人間関係のなかで、「より善く生きたい」という人間本来の道徳的な源泉をより高次なものにしながら、「みんなで共に生きたい」や「社会の中で貢献したい」などの社会における成員意識を確かなものとしていく必要がある。さらに、乳幼児期には社会的関係を通して、自他の認識から自己の確立、社会生活を営むために必要となる社会性・言語・コミュニケーションを発達させ、さらに他者との多くの体験の共有や追体験を行いながら、思考や行動の糧を得ていくことが求められる。乳幼児期の保育や教育が環境を通して行うものであることから、保育者には乳幼児期の人間関係の発達にふさわしい環境の構成が求められる。
本授業では、乳幼児期の人間関係の意義や発達に関する諸理論を理解し、育成すべき資質・能力の三つの柱を視野に入れた保育や教育の構成・実施に関する実践力を養う。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習をしておくこと。日常的に授業に関係する情報に関心を持ち、問題意識を持って、積極的に学びを進めること。授業内容が講義の場合は予習・復習合わせて4時間程度　演習の場合は予習・復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1.オリエンテーション、幼稚園教育の基本と領域、乳幼児期における人間関係の意味
2.学校教育における幼児教育において育む資質・能力の三つの柱と領域「人間関係」
3.初期の人間関係の芽生え
4.家庭で育まれる人間関係
5.仲間と育ちあう人間関係
6.保育における人間関係
7.領域「人間関係」の目標とねらい
8.領域「人間関係」における内容
9.領域「人間関係」」における指導上の留意点
10.指導案作成の理論と実際1（指導計画の意味と作成・展開・評価の理論（情報機器および教材の活用も含む））
11.指導案作成の理論と実際2（模擬保育の計画）
12.指導案作成の理論と実際3（模擬保育の実施）
13.指導案作成の理論と実際4（模擬保育の反省）
14.幼小連携における領域「人間関係」の展開、優れた実践事例からの学び
15.まとめ

[成績評価方法]
試験（80%）、課題及び発表（20%）を総合して行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
まとめ後、解答の解説を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	保育内容　人間関係	後期	講	2 単位
サブタイトル				
担当者	三宅　茂夫			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：試験、レポート課題、指導案

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：試験、レポート課題、プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感　／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性　／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力　／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

[教科書（ISBN）]
「保育内容 人間関係」［第2版］ 2018　著者名：濱名浩編　出版社：みらい　（9784860154455 ）

[参考書（ISBN）]
「幼稚園教育要領解説（平成30年3月）」2018　著者名：文部科学省著　出版社：フレーベル館　（9784577814475）
「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（平成30年3月）」2018　著者名：内閣府・文部科学省・厚生労働省著　出版社：フレーベル館　（9784577814499）

S62040

科目名	保育内容　人間関係	後期	講	2 単位
サブタイトル				
担当者	三宅　茂夫			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
幼児の人間関係の構築に関する諸能力発達の実態や過程を知り、それらを育むための保育構成の基礎的な考え方や方法、実践技術の修得を目標とする。

[授業概要]
乳幼児期にとって人間関係の発達は、社会的な存在たらしめるための基盤となるものである。多様な人間関係のなかで、「より善く生きたい」という人間本来の道徳的な源泉をより高次なものにしながら、「みんなで共に生きたい」や「社会の中で貢献したい」などの社会における成員意識を確かなものとしていく必要がある。さらに、乳幼児期には社会的関係を通して、自他の認識から自己の確立、社会生活を営むために必要となる社会性・言語・コミュニケーションを発達させ、さらに他者との多くの体験の共有や追体験を行いながら、思考や行動の糧を得ていくことが求められる。乳幼児期の保育や教育が環境を通して行うものであることから、保育者には乳幼児期の人間関係の発達にふさわしい環境の構成が求められる。
本授業では、乳幼児期の人間関係の意義や発達に関する諸理論を理解し、育成すべき資質・能力の三つの柱を視野に入れた保育や教育の構成・実施に関する実践力を養う。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習をしておくこと。日常的に授業に関係する情報に関心を持ち、問題意識を持って、積極的に学びを進めること。授業内容が講義の場合は予習・復習合わせて4時間程度　演習の場合は予習・復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1.オリエンテーション、幼稚園教育の基本と領域、乳幼児期における人間関係の意味
2.学校教育における幼児教育において育む資質・能力の三つの柱と領域「人間関係」
3.初期の人間関係の芽生え
4.家庭で育まれる人間関係
5.仲間と育ちあう人間関係
6.保育における人間関係
7.領域「人間関係」の目標とねらい
8.領域「人間関係」における内容
9.領域「人間関係」」における指導上の留意点
10.指導案作成の理論と実際1（指導計画の意味と作成・展開・評価の理論（情報機器および教材の活用も含む））
11.指導案作成の理論と実際2（模擬保育の計画）
12.指導案作成の理論と実際3（模擬保育の実施）
13.指導案作成の理論と実際4（模擬保育の反省）
14.幼小連携における領域「人間関係」の展開、優れた実践事例からの学び
15.まとめ

[成績評価方法]
試験（80%）、課題及び発表（20%）を総合して行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
まとめ後、解答の解説を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	保育内容　人間関係	後期	講	2 単位
サブタイトル				
担当者	三宅　茂夫			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：試験、レポート課題、指導案

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：試験、レポート課題、プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感　／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性　／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力　／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：模擬保育の計画・実施・反省

[教科書（ISBN）]
「保育内容 人間関係」［第2版］ 2018　著者名：濱名浩編　出版社：みらい　（9784860154455 ）

[参考書（ISBN）]
「幼稚園教育要領解説（平成30年3月）」2018　著者名：文部科学省著　出版社：フレーベル館　（9784577814475）
「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（平成30年3月）」2018　著者名：内閣府・文部科学省・厚生労働省著　出版社：フレーベル館　（9784577814499）

S62041

科目名	保育内容の理解と方法Ⅰ	後期		2 単位
サブタイトル				
担当者	宮本　和行			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
講義および実技等を通して、保育の援助方法や子どものとの関わり、子どもの発達などについて具体的に学習し知識・技能を習得する。
また、保育の問題点等について考え、保育観を深めることを目的とする。

[授業概要]
講義や実技、ディスカッションをなど通して、保育現場の実際を知ることで専門的な知識や保育技術の基礎を身につける。また、保育現場での写真や動画などを見ることで、現場に即した子どもの発達や理解、保育者のねらいや援助などを知り、保育の理解を深めるきっかけとする。
さらに保育者のあり方や子どもとの関わり方、保育の現場や問題点について考えることで、保育の視野を広げる。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
保育内容（5領域）の基礎を事前学習しておくこと

[授業計画]
1.オリエンテーション
2.保育者と子どもの信頼関係
3.設定保育と自由保育
4.子どもをみる保育者の目
5.人的環境と人間関係
6.優しさとは何かを考える
7.子ども同士の関わりと保育者の援助
8.言語の重要性
9.保育室の環境設定
10.育児支援と保護者支援
11.特別な支援（インクルーシブな保育）
12.視覚教材（支援）の重要性と作成
13.子どもを引きつける方法と教材作成
14.保育（教育）指導案
１5.まとめ

[成績評価方法]
授業への参加度・貢献度　50%
課題　レポート　その他の提出物　50%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S64560

科目名	保育内容の理解と方法Ⅰ	後期		2 単位
サブタイトル				
担当者	宮本　和行			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：課題　レポート　発表

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：課題　レポート　発表

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：課題　レポート　発表

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：課題　レポート　発表

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：課題　レポート　発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分と異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：課題　レポート　発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：課題　レポート　発表

[教科書（ISBN）]
レジュメ・資料を作成し配布する。

[参考書（ISBN）]
レジュメ・資料を作成し配布する。

科目名	保育内容の理解と方法Ⅰ	後期		2 単位
サブタイトル				
担当者	宮本　和行			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
講義および実技等を通して、保育の援助方法や子どものとの関わり、子どもの発達などについて具体的に学習し知識・技能を習得する。
また、保育の問題点等について考え、保育観を深めることを目的とする。

[授業概要]
講義や実技、ディスカッションをなど通して、保育現場の実際を知ることで専門的な知識や保育技術の基礎を身につける。また、保育現場での写真や動画などを見ることで、現場に即した子どもの発達や理解、保育者のねらいや援助などを知り、保育の理解を深めるきっかけとする。
さらに保育者のあり方や子どもとの関わり方、保育の現場や問題点について考えることで、保育の視野を広げる。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
保育内容（5領域）の基礎を事前学習しておくこと

[授業計画]
1.オリエンテーション
2.保育者と子どもの信頼関係
3.設定保育と自由保育
4.子どもをみる保育者の目
5.人的環境と人間関係
6.優しさとは何かを考える
7.子ども同士の関わりと保育者の援助
8.言語の重要性
9.保育室の環境設定
10.育児支援と保護者支援
11.特別な支援（インクルーシブな保育）
12.視覚教材（支援）の重要性と作成
13.子どもを引きつける方法と教材作成
14.保育（教育）指導案
１5.まとめ

[成績評価方法]
授業への参加度・貢献度　50%
課題　レポート　その他の提出物　50%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S64561

科目名	保育内容の理解と方法Ⅰ	後期		2 単位
サブタイトル				
担当者	宮本　和行			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：課題　レポート　発表

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：課題　レポート　発表

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：課題　レポート　発表

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：課題　レポート　発表

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：課題　レポート　発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分と異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：課題　レポート　発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：課題　レポート　発表

[教科書（ISBN）]
レジュメ・資料を作成し配布する。

[参考書（ISBN）]
レジュメ・資料を作成し配布する。

科目名	保育内容　表現Ⅰ	後期		2 単位
サブタイトル				
担当者	小林　田鶴子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
幼稚園教育において育みたい資質・能力を理解し、幼稚園教育要領のねらいや内容についての理解を深めるとともに、幼児の音楽的発達に即した具体的な指導ができる力を付ける。

[授業概要]
保育者として音楽活動を行うためには、技術だけでなく、子どもと音楽との関わりについての深い知識も必要となる。この授業では、子どもと音楽との関わりについて、さまざまなテーマを取り上げるとともに、歌や声、簡単なリズム楽器を使ったアンサンブルなどの実技も行うことで、理論と実技の双方から幼児の音楽教育についての理解を深める。また幼稚園教育要領の内容についての理解も得る。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
　毎回の授業に、充分な復習をして臨むこと。また、身の周りの音の出るものなどに興味を持つようにすること。「表現」は音楽だけではないので、「保育内容表現Ⅱ」の授業との関連性を考えること。

[授業計画]
第1回：オリエンテーション
第2回：乳幼児の音楽的発達と小学校音楽教育との連続性
第3回：身体を使った表現（手・体で奏でる）
第4回：身の回りのものを使った表現（環境を奏でる）
第5回：ICTを使った表現（サンプリングから映像まで）
第6回：楽器を使った表現
第7回：協働で行う表現（アンサンブル）
第8回：日本の音楽・世界の音楽を使った表現
第9回：保育表現の実際（外部講師招聘）
第10回：幼児教育の変遷と幼稚園教育要領について
第11回：幼児教育と小学校教育とのつながり(創造的音楽教育について）
第12回：指導案の書き方と作成と評価の方法とその工夫
第13回：模擬保育と振り返り①楽器と声、身振りなどを入れた表現
第14回：模擬保育と振り返り②様々な要素を取り入れた表現
第15回：試験/とまとめ

[成績評価方法]
授業内試験（50%）、授業への取り組みやグループ発表（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
試験後に解答解説を行う

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	保育内容　表現Ⅰ	後期		2 単位
サブタイトル				
担当者	小林　田鶴子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：授業への取り組みや課題発表

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：授業への取り組みや課題発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業への取り組みや課題発表

[教科書（ISBN）]
コンパス　音楽表現　著者名：駒久美子・味府美香　編著　出版社：建帛社　（978-4-7679-5120-1 ）
幼稚園教育要領解説（平成30年3月）　著者名：文部科学省　出版社：フレーベル館　（978-4-577-81447-5）

[参考書（ISBN）]
なし

S64860

科目名	保育内容　表現Ⅰ	後期		2 単位
サブタイトル				
担当者	小林　田鶴子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
幼稚園教育において育みたい資質・能力を理解し、幼稚園教育要領のねらいや内容についての理解を深めるとともに、幼児の音楽的発達に即した具体的な指導ができる力を付ける。

[授業概要]
保育者として音楽活動を行うためには、技術だけでなく、子どもと音楽との関わりについての深い知識も必要となる。この授業では、子どもと音楽との関わりについて、さまざまなテーマを取り上げるとともに、歌や声、簡単なリズム楽器を使ったアンサンブルなどの実技も行うことで、理論と実技の双方から幼児の音楽教育についての理解を深める。また幼稚園教育要領の内容についての理解も得る。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
　毎回の授業に、充分な復習をして臨むこと。また、身の周りの音の出るものなどに興味を持つようにすること。「表現」は音楽だけではないので、「保育内容表現Ⅱ」の授業との関連性を考えること。

[授業計画]
第1回：オリエンテーション
第2回：乳幼児の音楽的発達と小学校音楽教育との連続性
第3回：身体を使った表現（手・体で奏でる）
第4回：身の回りのものを使った表現（環境を奏でる）
第5回：ICTを使った表現（サンプリングから映像まで）
第6回：楽器を使った表現
第7回：協働で行う表現（アンサンブル）
第8回：日本の音楽・世界の音楽を使った表現
第9回：保育表現の実際（外部講師招聘）
第10回：幼児教育の変遷と幼稚園教育要領について
第11回：幼児教育と小学校教育とのつながり(創造的音楽教育について）
第12回：指導案の書き方と作成と評価の方法とその工夫
第13回：模擬保育と振り返り①楽器と声、身振りなどを入れた表現
第14回：模擬保育と振り返り②様々な要素を取り入れた表現
第15回：試験/とまとめ

[成績評価方法]
授業内試験（50%）、授業への取り組みやグループ発表（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
試験後に解答解説を行う

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	保育内容　表現Ⅰ	後期		2 単位
サブタイトル				
担当者	小林　田鶴子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：授業への取り組みや課題発表

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：授業への取り組みや課題発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業への取り組みや課題発表

[教科書（ISBN）]
コンパス　音楽表現　著者名：駒久美子・味府美香　編著　出版社：建帛社　（978-4-7679-5120-1 ）
幼稚園教育要領解説（平成30年3月）　著者名：文部科学省　出版社：フレーベル館　（978-4-577-81447-5）

[参考書（ISBN）]
なし

S64870

科目名	保育の計画と評価	前期	講義	2 単位
サブタイトル	保育者の意図が子どもの発達を促し、意図は保育計画に在り評価により改善される			
担当者	多田　琴子			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
1）全体的な計画、指導計画の意義と目的を理解し、その編成について理解する。
2）子ども一人一人が自分の発達に応じた乳幼児期にふさわしい生活をおくることができる具体的な構造的導計画を作成する。
3）保育のねらいと内容の関係が分かり、自ら設定保育指導案の立案ができることを目指す。
4）保育記録・評価反省と計画の関係を理解し、計画の改善の意義と方法について理解する。

[授業概要]
乳幼児期の保育の計画と評価についての基礎的基本的な理念について学び、その上に展開される具体的な保育の全体的計画の編成、指導計画の作成から実践に至るまでを理解する。
まず、保育という営みは、どのような計画に基づいて行っているのかについて、その意義や必要性を学ぶ。
また、グループワークで設定した保育目標に基づいて子どもの発達にあった保育内容を構造的に思考し、子どもの発達の過程や特徴の理解を進める。この作業を通して、指導計画作成の方法やポイントについて理解する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
テキストの関連する部分を事前に読んでおく。授業の復習をして、問題意識を持つ。
各回予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
【対面授業】
1. オリエンテーション・カリキュラムを考える　プロローグ
2. カリキュラムの基礎理論 －教育・保育に大切なこと－１章
3. 保育における計画と評価の意義
　－よりよい保育を構想するために－２章
4. 保育所保育指針等を共に考える　３章
5. 教育課程・全体的な計画の編成・作成　４章
6. 指導計画の必要性・保育を柔軟に展開するポイント5. ６章
7. 諸外国の保育の特徴（グループワーク）発表
8. 全体的な計画と指導計画の関係性・全体的な計画の作成8. ９. １０章
9. 指導計画作成上の留意事項・計画に基づく保育の柔軟な.展開　８. ９. １０章　.
10. 具体的指導計画図作成（グループワーク）
11. 指導計画作成（設定保育指導案の作成）（グループワーク）
12. 保育計画の実際(0～3歳）（グループワーク）発表
13. 保育計画の実際(3～6歳）　（グループワーク）発表
14. カリキュラムマネージメントと保育の評価（記録及び省察・保育士及び保育所の自己評価・保育改善の取組・生活と発達を踏まえた保育所児童保育要録）7章
15. 補足とまとめ、理解度の確認

[成績評価方法]
テスト（50%）
提出物ー論理的思考力・デザイン力・情報収集力ー（30%）
授業参加態度ーグループワーク貢献度・ー（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
・授業中に前回の振り返りを行う
・課題については、事後指導を授業中に行う
・試験をした場合は、直後に模範解答を示す

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	保育の計画と評価	前期	講義	2 単位
サブタイトル	保育者の意図が子どもの発達を促し、意図は保育計画に在り評価により改善される			
担当者	多田　琴子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法:テスト　提出物

学科DP番号／DP内容:教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法:提出物

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:授業参加態度　提出物

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法:授業参加態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／道筋に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:提出物

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:授業参加態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画性・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:提出物

[教科書(ISBN)]
教育・保育カリキュラム論
ーシリーズ知のゆりかごー　著者名:田中亨胤・三宅茂夫編著　出版社:みらい
保育所保育指針解説 (平成30年3月) 出版社:フレーベル館
(9784577814482)
幼稚園教育要領解説 (平成30年3月) 出版社:フレーベル館 (9784577814475
)
幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(平成30年3月)2018　出版社:フレーベル館 (9784577814499)

[参考書(ISBN)]
なし

S62420

科目名	保育の心理学	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	隠岐　厚美			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
①保育実践にかかわる心理学的知識を学び、発達をとらえる視点を理解する
②乳幼児期の子どもの学びの在り方や特性について基礎知識を習得し、保育において人と相互的にかかわること、体験すること、発達に応じた環境を整えることの意義を理解する

[授業概要]
ヒトは誕生から様々な発達課題を乗り越え、様々な心的機能を確立する。ことに、乳幼児期は、日常生活や遊び、保育所での先生、友だちとの集団との関係を通して、動作、操作、社会スキル、ことばを獲得し経験・知識を豊かしていく。こうした過程について具体例を挙げて概説し、乳幼児の特性を踏まえた保育の在り方について考える。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
指示された資料は事前に必ず目を通すこと。また知識の定着をはかるため、授業内容の復習をしっかりしてください。なお、各回、予習・復習を合わせて4時間程度の自主学習が必要です。

[授業計画]
1.保育と心理学　①子どもの発達のみ方・考え方
2.保育と心理学　②子どもの発達と環境
3.保育と心理学　③子どもの発達と子ども観・保育観の変遷
4.こころの起源－ヒトからひとへ　新生児期の発達－
5.新生児の世界を支える母子の絆
6.子どもの発達理解　①社会情動的発達－「わたし」のはじまり
7.子どもの発達理解　②社会的情動発達－情動の発達と情動調整－
8..子どもの発達理解　③体の成長と運動機能の発達
9.子どもの発達理解　④認知の発達とものの見方、とらえ方の発達的変化
10.子どもの発達理解　⑤ことばの発達とコミュニケーション
11.乳幼児期の学びの特性
12.乳幼児期の学びにかかわる理論　①学びの土台となる愛着理論
13.乳幼児期の学びにかかわる理論　②ピアジェの発生論的認識論と主体性
14乳幼児期の学びにかかわる理論　③ヴィゴツキーの発達の最近接領域
15まとめ

[成績評価方法]
レポート試験（70%）、講義中にしばしば実施する小テスト・レポート（30%）を総合的に評価する。フィードバックは返却時に口頭で行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S62290

科目名	保育の心理学	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	隠岐　厚美			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：試験レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：試験レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：試験レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：試験レポート課題

[教科書（ISBN）]
保育の心理学（シリーズ知のゆりかご）著者名：青木紀久代　出版社：みらい（9784860154844）

[参考書（ISBN）]
なし

S62290

科目名	幼児教育基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	石田　裕子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
幼児教育教員および保育士などの専門職に求められる実践力に結びつく基礎力を養う。

[授業概要]
本演習では、今日の保育実践現場での諸課題を取り上げ、グループディスカッションおよびワークショップにより学生自身の保育に関する関心を高め、自らの意見の発表等に関するスキルの向上を目指す。また、保育現場でのボランティア活動、学外活動に積極的に取り組むことによって、実践現場における課題等について考察し、学びを共有する。
上記のように授業外活動も前提となる。またボランティア活動、学外活動等にも必須で、積極的に取り組んでもらう。
授業には全回とも出席参加を前提する。授業外活動も積極的に主体的に取り組んでいただく。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
日頃から子どもの「育ち」や「育て」、保育実践現場に対して関心をもち、資料などの収集を通して各自が課題意識をもち、社会的課題や専門用語について理解を深めておくこと。
各回予習、復習　実践あわせて2時間程度

[授業計画]
【全て遠隔授業】
1. オリエンテーション⇒全員に対して授業日が複数あり、希望選択する。
2. めざす保育者像について①
3. めざす保育者像について②
4. 現場でのボランティア活動の現状
5. 新聞記事からの諸課題抽出およびプレゼンテーション①
6. 新聞記事からの諸課題抽出およびプレゼンテーション②
7. 新聞記事からの諸課題抽出およびプレゼンテーション③
8. 新聞記事からの諸課題抽出およびプレゼンテーション④
9. ワークショップ型の学び（保育現場の実際について）①
10.ワークショップ型の学び（保育現場の実際について）②
11.ワークショップ型の学び（保育現場の実際について）③
12.ワークショップ型の学び（保育現場の実際について）④
13.ボランティア体験からのプレゼンテーション①
14.ボランティア体験からのプレゼンテーション②
15.まとめ

[成績評価方法]
受講態度　50%　授業での発表25%　課題提出　25%
受講態度は積極性や発言内容などで評価する
授業での発表は　プレゼンテーションの内容で評価する
課題提出は期限や形式についても評価の対象とする

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S62700 [LI3-009]

科目名	幼児教育基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	石田　裕子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：受講態度　授業での発表　課題提出

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：受講態度　授業での発表　課題提出

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：受講態度　授業での発表　課題提出

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：受講態度　授業での発表　課題提出

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：受講態度　授業での発表　課題提出

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：受講態度　授業での発表　課題提出

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：受講態度　授業での発表　課題提出

[教科書（ISBN）]
なし。（なし。）

[参考書（ISBN）]
なし。 著者名：なし。 出版社：なし。（なし。）

科目名	幼児教育基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	隠岐　厚美			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
幼児教育教員および保育士などの専門職に求められる実践力に結びつく基礎力を養う。

[授業概要]
本演習では、今日の保育実践現場での諸課題を取り上げ、グループディスカッションおよびワークショップにより学生自身の保育に関する関心を高め、自らの意見の発表等に関するスキルの向上を目指す。また、保育現場でのボランティア活動、学外活動に積極的に取り組むことによって、実践現場における課題等について考察し、学びを共有する。
上記のように授業外活動も前提となる。またボランティア活動、学外活動等にも必須で、積極的に取り組んでもらう。
授業には全回とも出席参加を前提する。授業外活動も積極的に主体的に取り組んでいただく。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
日頃から子どもの「育ち」や「育て」、保育実践現場に対して関心をもち、資料などの収集を通して各自が課題意識をもち、社会的課題や専門用語について理解を深めておくこと。
各回予習、復習　実践あわせて2時間程度

[授業計画]
1. オリエンテーション⇒全員に対して授業日が複数あり、希望選択する。
2. めざす保育者像について①
3. めざし保育者像について②
4. 現場でのボランティア活動の現状
5. 新聞記事からの諸課題抽出およびプレゼンテーション①
6. 新聞記事からの諸課題抽出およびプレゼンテーション②
7. 新聞記事からの諸課題抽出およびプレゼンテーション③
8. 新聞記事からの諸課題抽出およびプレゼンテーション④
9. ワークショップ型の学び（保育現場の実際について）①
10.ワークショップ型の学び（保育現場の実際について）②
11.ワークショップ型の学び（保育現場の実際について）③
12.ワークショップ型の学び（保育現場の実際について）④
13.ボランティア体験からのプレゼンテーション①
14.ボランティア体験からのプレゼンテーション②
15.まとめ

[成績評価方法]
受講態度　50%　授業での発表25%　課題提出　25%
受講態度は積極性や発言内容などで評価する
授業での発表は　プレゼンテーションの内容で評価する
課題提出は期限や形式についても評価の対象とする

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	幼児教育基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	隠岐　厚美			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：受講態度　授業での発表　課題提出

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：受講態度　授業での発表　課題提出

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：受講態度　授業での発表　課題提出

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：受講態度　授業での発表　課題提出

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：受講態度　授業での発表　課題提出

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：受講態度　授業での発表　課題提出

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：受講態度　授業での発表　課題提出

[教科書（ISBN）]
なし。（なし。）

[参考書（ISBN）]
なし。 著者名：なし。 出版社：なし。（なし。）

科目名	幼児教育基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	山成　昭世			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
造形活動を主に幼児教育教員および保育士などの専門職に求められる実践力に結びつく基礎力を養う。

[授業概要]
グループディスカッションおよびワークショップなどに積極的に参加し、学生自身の保育に関する関心を高め、自らの意見の発表等に関するスキルの向上を目指す。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
日頃から子どもの「育ち」や「育て」、保育実践現場に対して関心をもち、資料などの収集を通して各自が課題意識をもち、社会的課題や専門用語について理解を深めておくこと。
各回予習、復習　実践あわせて2時間程度

[授業計画]

1. オリエンテーション
2. 保育者について、ディスカッション①
3. 保育者について、ディスカッション②
4. 保育現場で取り上げられている造形活動について①
5. 保育現場で取り上げられている造形活動について②
6. 課題検討①
7. 課題検討②
8. 課題検討③
9. 課題修正①
10.中間発表
11.課題修正③
12.課題最終仕上げ
13.プレゼンテーションと鑑賞①
14.プレゼンテーションと鑑賞②
15.まとめ、振り返りと今後の課題

[成績評価方法]
受講態度20%　授業での発表30%　課題提出50%
提出物、プレゼンテーションの内容で評価する

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
プレゼンテーション、中間発表時に行う

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	幼児教育基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	山成　昭世			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：受講態度　授業での発表　課題提出

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：受講態度　授業での発表　課題提出

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：受講態度　授業での発表　課題提出

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：受講態度　授業での発表　課題提出

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：受講態度　授業での発表　課題提出

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：受講態度　授業での発表　課題提出

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：受講態度　授業での発表　課題提出

[教科書（ISBN）]
なし。（なし。）

[参考書（ISBN）]
なし。 著者名：なし。 出版社：なし。（なし。）

科目名	幼児教育基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	大西　雅裕			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
幼児教育教員および保育士などの専門職に求められる実践力に結びつく基礎力を養う。

[授業概要]
本演習では、今日の保育実践現場での諸課題を取り上げ、グループディスカッションおよびワークショップにより学生自身の保育に関する関心を高め、自らの意見の発表等に関するスキルの向上を目指す。また、保育現場でのボランティア活動、学外活動に積極的に取り組むことによって、実践現場における課題等について考察し、学びを共有する。
上記のように授業外活動も前提となる。またボランティア活動、学外活動等にも必須で、積極的に取り組んでもらう。
授業には全回とも出席参加を前提する。授業外活動も積極的に主体的に取り組んでいただく。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
日頃から子どもの「育ち」や「育て」、保育実践現場に対して関心をもち、資料などの収集を通して各自が課題意識をもち、社会的課題や専門用語について理解を深めておくこと。
各回予習、復習　実践あわせて2時間程度

[授業計画]
【全て遠隔授業】
1. オリエンテーション⇒全員に対して授業日が複数あり、希望選択する。
2. めざす保育者像について①
3. めざし保育者像について②
4. 現場でのボランティア活動の現状
5. 新聞記事からの諸課題抽出およびプレゼンテーション①
6. 新聞記事からの諸課題抽出およびプレゼンテーション②
7. 新聞記事からの諸課題抽出およびプレゼンテーション③
8. 新聞記事からの諸課題抽出およびプレゼンテーション④
9. ワークショップ型の学び（保育現場の実際について）①
10.ワークショップ型の学び（保育現場の実際について）②
11.ワークショップ型の学び（保育現場の実際について）③
12.ワークショップ型の学び（保育現場の実際について）④
13.ボランティア体験からのプレゼンテーション①
14.ボランティア体験からのプレゼンテーション②
15.まとめ

[成績評価方法]
受講態度　50%　授業での発表25%　課題提出　25%
受講態度は積極性や発言内容などで評価する
授業での発表は　プレゼンテーションの内容で評価する
課題提出は期限や形式についても評価の対象とする

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	幼児教育基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	大西　雅裕			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：受講態度　授業での発表　課題提出

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：受講態度　授業での発表　課題提出

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：受講態度　授業での発表　課題提出

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：受講態度　授業での発表　課題提出

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：受講態度　授業での発表　課題提出

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：受講態度　授業での発表　課題提出

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：受講態度　授業での発表　課題提出

[教科書（ISBN）]
なし。（なし。）

[参考書（ISBN）]
なし。 著者名：なし。 出版社：なし。（なし。）

科目名	幼児教育基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	平井　和恵			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
幼児教育教員および保育士などの専門職に求められる実践力に結びつく基礎力を養う。

[授業概要]
本演習では、今日の保育実践現場での諸課題を取り上げ、グループディスカッションおよびワークショップにより学生自身の保育に関する関心を高め、自らの意見の発表等に関するスキルの向上を目指す。また、保育現場でのボランティア活動、学外活動に積極的に取り組むことによって、実践現場における課題等について考察し、学びを共有する。
上記のように授業外活動も前提となる。またボランティア活動、学外活動等にも必須で、積極的に取り組んでもらう。
授業には全回とも出席参加を前提する。授業外活動も積極的に主体的に取り組んでいただく。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
日頃から子どもの「育ち」や「育て」、保育実践現場に対して関心をもち、資料などの収集を通して各自が課題意識をもち、社会的課題や専門用語について理解を深めておくこと。
各回予習、復習　実践あわせて2時間程度

[授業計画]
【全て遠隔授業】
1. オリエンテーション⇒全員に対して授業日が複数あり、希望選択する。
2. めざす保育者像について①
3. めざし保育者像について②
4. 現場でのボランティア活動の現状
5. 新聞記事からの諸課題抽出およびプレゼンテーション①
6. 新聞記事からの諸課題抽出およびプレゼンテーション②
7. 新聞記事からの諸課題抽出およびプレゼンテーション③
8. 新聞記事からの諸課題抽出およびプレゼンテーション④
9. ワークショップ型の学び（保育現場の実際について）①
10.ワークショップ型の学び（保育現場の実際について）②
11.ワークショップ型の学び（保育現場の実際について）③
12.ワークショップ型の学び（保育現場の実際について）④
13.ボランティア体験からのプレゼンテーション①
14.ボランティア体験からのプレゼンテーション②
15.まとめ

[成績評価方法]
受講態度　50%　授業での発表25%　課題提出　25%
受講態度は積極性や発言内容などで評価する
授業での発表は　プレゼンテーションの内容で評価する
課題提出は期限や形式についても評価の対象とする

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S62704 [LI3-009]

科目名	幼児教育基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	平井　和恵			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：受講態度　授業での発表　課題提出

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：受講態度　授業での発表　課題提出

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：受講態度　授業での発表　課題提出

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：受講態度　授業での発表　課題提出

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：受講態度　授業での発表　課題提出

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：受講態度　授業での発表　課題提出

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：受講態度　授業での発表　課題提出

[教科書（ISBN）]
なし。（なし。）

[参考書（ISBN）]
なし。 著者名：なし。 出版社：なし。（なし。）

科目名	幼児教育基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	山内　紀幸			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
幼児教育教員および保育士などの専門職に求められる実践力に結びつく基礎力を養う。

[授業概要]
本演習では、今日の保育実践現場での諸課題を取り上げ、グループディスカッションおよびワークショップにより学生自身の保育に関する関心を高め、自らの意見の発表等に関するスキルの向上を目指す。また、保育現場でのボランティア活動、学外活動に積極的に取り組むことによって、実践現場における課題等について考察し、学びを共有する。
上記のように授業外活動も前提となる。またボランティア活動、学外活動等にも必須で、積極的に取り組んでもらう。
授業には全回とも出席参加を前提する。授業外活動も積極的に主体的に取り組んでいただく。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
日頃から子どもの「育ち」や「育て」、保育実践現場に対して関心をもち、資料などの収集を通して各自が課題意識をもち、社会的課題や専門用語について理解を深めておくこと。
各回予習、復習　実践あわせて2時間程度

[授業計画]
【全て遠隔授業】
1. オリエンテーション⇒全員に対して授業日が複数あり、希望選択する。
2. めざす保育者像について①
3. めざす保育者像について②
4. 現場でのボランティア活動の現状
5. 新聞記事からの諸課題抽出およびプレゼンテーション①
6. 新聞記事からの諸課題抽出およびプレゼンテーション②
7. 新聞記事からの諸課題抽出およびプレゼンテーション③
8. 新聞記事からの諸課題抽出およびプレゼンテーション④
9. ワークショップ型の学び（保育現場の実際について）①
10.ワークショップ型の学び（保育現場の実際について）②
11.ワークショップ型の学び（保育現場の実際について）③
12.ワークショップ型の学び（保育現場の実際について）④
13.ボランティア体験からのプレゼンテーション①
14.ボランティア体験からのプレゼンテーション②
15.まとめ

[成績評価方法]
受講態度　50%　授業での発表25%　課題提出　25%
受講態度は積極性や発言内容などで評価する
授業での発表は　プレゼンテーションの内容で評価する
課題提出は期限や形式についても評価の対象とする

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S62705 [LI3-009]

科目名	幼児教育基礎演習	前期	演習	2 単位
サブタイトル				
担当者	山内　紀幸			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：受講態度　授業での発表　課題提出

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：受講態度　授業での発表　課題提出

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：受講態度　授業での発表　課題提出

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：受講態度　授業での発表　課題提出

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：受講態度　授業での発表　課題提出

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：受講態度　授業での発表　課題提出

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：受講態度　授業での発表　課題提出

[教科書（ISBN）]
なし。（なし。）

[参考書（ISBN）]
なし。 著者名：なし。 出版社：なし。（なし。）

科目名	幼児教育原理	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	三宅　茂夫			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
フレーベル、ペスタロッチ、デューイ、倉橋惣三、モンテッソーリなどの現代幼児教育の礎となった児童中心主義の教育思想や実践を理解し、子どもの保育や教育を適切に行っていくための保育観や教育観の形成を目標とする。また、幼児教育の意味や特性について理解する。

[授業概要]
教育の究極の目的は、それを進めていく過程において、人間の成長や発達、学習（体験や経験なども含めて）がその社会といかに関係をもっているのかを追求し、関係づけていくことにある。幼児教育においても、保育者がどのような子ども観や保育・教育観をもって保育や教育にあたるかが、その成否を左右することにかわりはない。
本講義は、今後学習を進めていく幼児教育に関する科目を理解するうえで基盤となる概念を学ぶ科目と位置づけられる。代表的な児童中心主義の教育思想を紐解きながら、子ども観や保育・教育観を学びとり、とりわけ幼児教育の意味や意義について考えを深める。さらに、それらの理解をふまえ、適切な子どもの指導・支援を行うことのできる有為有能な幼児教育者となるための専門職性についても学ぶ。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習をしておくこと。日常的に授業に関係する情報に関心を持ち、問題意識を持って、積極的に学びを進めること。授業内容が講義の場合は予習・復習合わせて4時間程度　演習の場合は予習・復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
【全て遠隔授業】
1. オリエンテーション、幼児教育の意味と意義
2. 幼児教育思想の流れと子ども観1　フレーベル①
3. 幼児教育思想の流れと子ども観2　フレーベル②
4. 幼児教育思想の流れと子ども観3　ペスタロッチ①
5. 幼児教育思想の流れと子ども観4　ペスタロッチ②
6. 幼児教育思想の流れと子ども観5　デューイ①
7. 幼児教育思想の流れと子ども観6　デューイ②
8. 幼児教育思想の流れと子ども観7　倉橋惣三①
9. 幼児教育思想の流れと子ども観8　倉橋惣三②
10. 幼児教育思想の流れと子ども観9　モンテッソーリ①
11. 幼児教育思想の流れと子ども観10　モンテッソーリ②
12. 幼児教育の考え方1　（保育の意味と基本）
13. 幼児教育の考え方2　（遊びの意味と援助）
14. 幼児教育者の役割と専門職性
15. まとめ

[成績評価方法]
試験（80%）、課題及び発表（20%）を総合して行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
まとめ後、解答の解説を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	幼児教育原理	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	三宅　茂夫			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：試験、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：試験、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：試験

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：試験、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：試験、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：レポート課題、プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育3-5／教員という職業自体が社会的に特に高い人格・識見を求められる性質のものであることから、教員としての使命感を自覚し、その資質向上のためにたゆまず研鑽を積む態度と幼児・児童・生徒に対する教育的愛情をもつことができる。
成績評価方法：試験、レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：プレゼンテーション

[教科書（ISBN）]
教育原理　著者名：三宅茂夫編　出版社：ミネルヴァ書房　（9784623079636）
「幼稚園教育要領解説」2018　著者名：文部科学省　出版社：フレーベル館　（978-4-577-81447-5）

[参考書（ISBN）]
必要に応じて、文献の紹介や資料の配布を行う。

科目名	幼児教育指導法	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	平井　和恵			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
幼児の姿に触れ、幼児理解を図るとともに、適切な指導案や指導記録を作成する力を養う。幼稚園見学を通して、実際の保育の場で、援助の方法、環境の構成、情報機器及び教材の活用等に関する基礎的な知識・技術を身に付け、教育内容を理解する。

[授業概要]
幼稚園教育要領の基本を講義から学ぶ。講義から学んだことを実践につなげられるように事前指導では、映像によって幼児の姿を理解する。見学実習においては、実際に幼児と関わり、様々な問題に対処できる視点を具体的・実践的に学習する。事後学修では実践の場での幼児の姿からの考察を行うことで幼児理解を深める。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
関係法規、教育課程概論等　で学んだ内容を復習すること

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 幼稚園・保幼保連携型認定こども園教育・保育要領について
3. 幼児理解を深める
4. 視聴覚教材による指導について
5. 視聴覚教材による演習
6. 3歳児の発達過程について
7. 4歳児の発達過程について
8. 5歳児の発達過程について
9. 指導案について
10. エピソード記録1
11. エピソード記録2
12. 見学実習事前指導
13. 見学実習①
14. 見学実習②
15. 見学実習事後指導

[成績評価方法]
レポート課題（40%）・授業態度（40%）・見学実習参加態度（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S62140

科目名	幼児教育指導法	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	平井　和恵			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：レポート課題・授業態度

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：見学実習参加態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：見学実習参加態度、レポート課題

[教科書（ISBN）]
幼稚園教育要領解説　著者名：文部科学省　出版社：フレーベル館 （978-4-577-81447-5）

[参考書（ISBN）]
なし

S62140

科目名	幼児教育指導法	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	平井　和恵			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
幼児の姿に触れ、幼児理解を図るとともに、適切な指導案や指導記録を作成する力を養う。幼稚園見学を通して、実際の保育の場で、援助の方法、環境の構成、情報機器及び教材の活用等に関する基礎的な知識・技術を身に付け、教育内容を理解する。

[授業概要]
幼稚園教育要領の基本を講義から学ぶ。講義から学んだことを実践につなげられるように事前指導では、映像によって幼児の姿を理解する。見学実習においては、実際に幼児と関わり、様々な問題に対処できる視点を具体的・実践的に学習する。事後学修では実践の場での幼児の姿からの考察を行うことで幼児理解を深める。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
関係法規、教育課程概論等　で学んだ内容を復習すること

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 幼稚園・保幼保連携型認定こども園教育・保育要領について
3. 幼児理解を深める
4. 視聴覚教材による指導について
5. 視聴覚教材による演習
6. 3歳児の発達過程について
7. 4歳児の発達過程について
8. 5歳児の発達過程について
9. 指導案について
10. エピソード記録1
11. エピソード記録2
12. 見学実習事前指導
13. 見学実習①
14. 見学実習②
15. 見学実習事後指導

[成績評価方法]
レポート課題（40%）・授業態度（40%）・見学実習参加態度（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S62141

科目名	幼児教育指導法	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	平井　和恵			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：レポート課題・授業態度

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：見学実習参加態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：見学実習参加態度、レポート課題

[教科書（ISBN）]
幼稚園教育要領解説　著者名：文部科学省　出版社：フレーベル館 （978-4-577-81447-5）

[参考書（ISBN）]
なし

S62141

科目名	幼児教育指導法	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	平井　和恵			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
幼児の姿に触れ、幼児理解を図るとともに、適切な指導案や指導記録を作成する力を養う。幼稚園見学を通して、実際の保育の場で、援助の方法、環境の構成、情報機器及び教材の活用等に関する基礎的な知識・技術を身に付け、教育内容を理解する。

[授業概要]
幼稚園教育要領の基本を講義から学ぶ。講義から学んだことを実践につなげられるように事前指導では、映像によって幼児の姿を理解する。見学実習においては、実際に幼児と関わり、様々な問題に対処できる視点を具体的・実践的に学習する。事後学修では実践の場での幼児の姿からの考察を行うことで幼児理解を深める。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
関係法規、教育課程概論等　で学んだ内容を復習すること

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 幼稚園・保幼保連携型認定こども園教育・保育要領について
3. 幼児理解を深める
4. 視聴覚教材による指導について
5. 視聴覚教材による演習
6. 3歳児の発達過程について
7. 4歳児の発達過程について
8. 5歳児の発達過程について
9. 指導案について
10. エピソード記録1
11. エピソード記録2
12. 見学実習事前指導
13. 見学実習①
14. 見学実習②
15. 見学実習事後指導

[成績評価方法]
レポート課題（40%）・授業態度（40%）・見学実習参加態度（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S62142

科目名	幼児教育指導法	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	平井　和恵			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：レポート課題・授業態度

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：見学実習参加態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：見学実習参加態度、レポート課題

[教科書（ISBN）]
幼稚園教育要領解説　著者名：文部科学省　出版社：フレーベル館 （978-4-577-81447-5）

[参考書（ISBN）]
なし

S62142

科目名	幼児教育の方法及び技術	前期		2 単位
サブタイトル				
担当者	平井　和恵			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
幼児期にふさわしい教育・保育方法に浮いての知識と理論について理解を深め、実践的な指導技術を身に付ける。さらに、保育現場における情報教育あり方等に関する知識・技術を修得する。

[授業概要]
幼児教育・保育における実践的な知識を修得し、活用するための方法を里香資するとともに、実践におけるt季節な指導を行うための指導計画について理解を深め、立案から実践に関わる演習過程を通して、必要となる具能を学ぶ。プレゼンテーション、ディスカッション、発表体験等を行いながら、探究する。
保育現場における情報機器及び教材の活用に関する最新の知識・技術を演習等を通して修得する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
幼稚園教育課程に関する講義、幼児教育指導法の講義等で、学修したことを基本として行う。

[授業計画]
1幼稚園教育の基本□
23つの資質・能力□
3幼児期に育てたい10の姿□
4環境構成による教育□
5自然環境の活用□
6教師の援助□
7指導案の作成1□
8指導案の作成2□
9指導案の作成3□
10指導案の作成4□
11保育場面での配慮事項□
12幼児教育における情報教育の実践1（竹田）□
13幼児教育における情報教育の実践2（竹田）□
14幼児教育における情報教育の実践3（竹田）□
15まとめ□

[成績評価方法]
授業態度　40%
課題提出　30%
試験　　30%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S64610

科目名	幼児教育の方法及び技術	前期		2 単位
サブタイトル				
担当者	平井　和恵			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：試験・レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：授業態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業態度 ・試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

[教科書（ISBN）]
幼稚園教育要領解説　著者名：文部科学省　出版社：フレーベル館（978-4-577-81447-5 ）

[参考書（ISBN）]
なし

S64610

科目名	幼児教育の方法及び技術	前期		2 単位
サブタイトル				
担当者	平井　和恵			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
幼児期にふさわしい教育・保育方法に浮いての知識と理論について理解を深め、実践的な指導技術を身に付ける。さらに、保育現場における情報教育あり方等に関する知識・技術を修得する。

[授業概要]
幼児教育・保育における実践的な知識を修得し、活用するための方法を里香資するとともに、実践におけるt季節な指導を行うための指導計画について理解を深め、立案から実践に関わる演習過程を通して、必要となる具能を学ぶ。プレゼンテーション、ディスカッション、発表体験等を行いながら、探究する。
保育現場における情報機器及び教材の活用に関する最新の知識・技術を演習等を通して修得する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
幼稚園教育課程に関する講義、幼児教育指導法の講義等で、学修したことを基本として行う。

[授業計画]
1幼稚園教育の基本□
23つの資質・能力□
3幼児期に育てたい10の姿□
4環境構成による教育□
5自然環境の活用□
6教師の援助□
7指導案の作成1□
8指導案の作成2□
9指導案の作成3□
10指導案の作成4□
11保育場面での配慮事項□
12幼児教育における情報教育の実践1（竹田）□
13幼児教育における情報教育の実践2（竹田）□
14幼児教育における情報教育の実践3（竹田）□
15まとめ□

[成績評価方法]
授業態度　40%
課題提出　30%
試験　　30%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S64611

科目名	幼児教育の方法及び技術	前期		2 単位
サブタイトル				
担当者	平井　和恵			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：試験・レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：授業態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業態度 ・試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

[教科書（ISBN）]
幼稚園教育要領解説　著者名：文部科学省　出版社：フレーベル館（978-4-577-81447-5 ）

[参考書（ISBN）]
なし

科目名	幼児教育の方法及び技術	前期		2 単位
サブタイトル				
担当者	平井　和恵			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
幼児期にふさわしい教育・保育方法に浮いての知識と理論について理解を深め、実践的な指導技術を身に付ける。さらに、保育現場における情報教育あり方等に関する知識・技術を修得する。

[授業概要]
幼児教育・保育における実践的な知識を修得し、活用するための方法を里香資するとともに、実践におけるt季節な指導を行うための指導計画について理解を深め、立案から実践に関わる演習過程を通して、必要となる具能を学ぶ。プレゼンテーション、ディスカッション、発表体験等を行いながら、探究する。
保育現場における情報機器及び教材の活用に関する最新の知識・技術を演習等を通して修得する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
幼稚園教育課程に関する講義、幼児教育指導法の講義等で、学修したことを基本として行う。

[授業計画]
1幼稚園教育の基本□
2３つの資質・能力□
3幼児期に育てたい１０の姿□
4環境構成による教育□
5自然環境の活用□
6教師の援助□
7指導案の作成１□
8指導案の作成２□
9指導案の作成３□
10指導案の作成４□
11保育場面での配慮事項□
12幼児教育における情報教育の実践１（竹田）□
13幼児教育における情報教育の実践２（竹田）□
14幼児教育における情報教育の実践３（竹田）□
15まとめ□

[成績評価方法]
授業態度　４０％
課題提出　３０％
試験　　３０％

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S64612

科目名	幼児教育の方法及び技術	前期		2 単位
サブタイトル				
担当者	平井　和恵			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：試験・レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：授業態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業態度 ・試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

[教科書（ISBN）]
幼稚園教育要領解説　著者名：文部科学省　出版社：フレーベル館（978-4-577-81447-5 ）

[参考書（ISBN）]
なし

S64612

科目名	幼児教育の方法及び技術	前期		2 単位
サブタイトル				
担当者	平井　和恵			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
幼児期にふさわしい教育・保育方法に浮いての知識と理論について理解を深め、実践的な指導技術を身に付ける。さらに、保育現場における情報教育あり方等に関する知識・技術を修得する。

[授業概要]
幼児教育・保育における実践的な知識を修得し、活用するための方法を里香資するとともに、実践におけるt季節な指導を行うための指導計画について理解を深め、立案から実践に関わる演習過程を通して、必要となる具能を学ぶ。プレゼンテーション、ディスカッション、発表体験等を行いながら、探究する。
保育現場における情報機器及び教材の活用に関する最新の知識・技術を演習等を通して修得する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
幼稚園教育課程に関する講義、幼児教育指導法の講義等で、学修したことを基本として行う。

[授業計画]
1幼稚園教育の基本□
2３つの資質・能力□
3幼児期に育てたい１０の姿□
4環境構成による教育□
5自然環境の活用□
6教師の援助□
7指導案の作成１□
8指導案の作成２□
9指導案の作成３□
10指導案の作成４□
11保育場面での配慮事項□
12幼児教育における情報教育の実践１（竹田）□
13幼児教育における情報教育の実践２ （竹田）□
14幼児教育における情報教育の実践３（竹田）□
15まとめ□

[成績評価方法]
授業態度　４０％
課題提出　３０％
試験　　３０％

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

S64613

科目名	幼児教育の方法及び技術	前期		2 単位
サブタイトル				
担当者	平井　和恵			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：試験・レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：授業態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業態度 ・試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

[教科書（ISBN）]
幼稚園教育要領解説　著者名：文部科学省　出版社：フレーベル館（978-4-577-81447-5 ）

[参考書（ISBN）]
なし

科目名	幼児と環境	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	金岩　俊明			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
領域「環境」の指導において必要となる感性を養い、保育内容に関する知識及び技能を習得する。特に、領域「環境」の指導に関連する現代の幼児を取り巻く環境とその現代的課題、幼児と身近な環境との関わりの発達等について具体的かつ実践的に学ぶ。

[授業概要]
本授業は、領域「環境」の指導の基盤となるものである。まず、幼児を取り巻く環境の諸側面から現代的課題を明らかにし、乳幼児からの発達と環境との相互関係の中で保育において育てる資質・能力を理解する。次に、具体的な関わりとして自然・社会・数量や図形・文字や標識についての内容を扱う。なお、体験活動として学内外の3回のフィールドワークを実施し、その成果をまとめ交流することにより、知識や技能の活用を図る。さらに、小学校との接続を視野に入れた環境の構成についての理解もできるようにする。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
幼児が育つ環境について、身近な自然環境や社会環境についての関心をもち、自ら体験したりフィールドワークしたりすることにより情報を収集する。また、授業の課題に係る栽培活動や調査活動を自主的に継続しておく。

[授業計画]
1.オリエンテーション・授業のねらいと学びについて
2.幼児を取り巻く環境の諸側面
3.幼児を取り巻く環境と現代的課題
4.環境を学ぶフィールドワーク1（栽培活動）
5.幼児の発達と環境との関係
6.幼児期において育む資質・能力
7.幼児と自然との関わり
8.幼児と社会（人）との関わり
9.環境を学ぶフィールドワーク2（幼稚園の環境観察）
10.KP法（紙芝居プレゼンテーション）による 発表と相互評価
11.幼児と数量や図形との関わり
12.幼児と文字や標識との関わり
13.環境を学ぶフィールドワーク3（大学周辺の施設等の環境観察）
14.環境マップの作成とポスターセッション
15.幼小の連続性と授業全体の振り返り
※フィールドワークは状況により代替活動となることがあります。

[成績評価方法]
レポート及び授業中の課題（40%）発表（20%）試験（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題のフィードバックは、授業内で行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	幼児と環境	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	金岩　俊明			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：課題・試験

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：課題・試験

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：課題・試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：課題・試験

[教科書（ISBN）]
子どもの姿からはじめる領域・環境　シリーズ知のゆりかご　著者名：秋田喜代美・三宅茂夫　出版社：みらい （9784860155155）
幼稚園教育要領解説（平成30年3月） 著者名：文部科学省　出版社：フレーベル館 （9784577814475）

[参考書（ISBN）]
なし

S64750

科目名	幼児と健康	前期	講義	2 単位
サブタイトル	子どもの健康と育ち			
担当者	住本　純			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
自ら健康で安全な生活を作り出す力を養う領域「健康」の指導の基盤的知識・基礎的技能を身に付ける。
(1)幼児期は、生涯にわたって必要となる健康な心と身体の基盤をつくる時期と捉えた上で、領域「健康」のねらい・内容等について理解する。
(2)幼児の心身の発達、基本的生活習慣、安全な生活、運動発達などの特徴や意義などの専門的事項について理解する。

[授業概要]
領域「健康」の指導に関して、基盤となる知識や考え方を学習する。
まず幼児期の健康課題と取り巻く環境、健康の発達的意味を把握していく。その後、心身の発達と基本的な生活習慣の形成、怪我や病気の予防等の安全管理や安全教育、運動発達の理解について、映像資料や具体的事例などを活用しながら授業を進行していく。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
・幼児期の子どもたちの健康に関するニュースに関心をもち、情報を得ること。
・毎回、授業で取り上げた内容について、次時まで復習を行うこと。

[授業計画]
第1回:領域「健康」のねらいと内容
第2回:乳幼児を取り巻く生活環境と健康課題
第3回:健康の定義と乳幼児期の健康の意義
第4回:乳幼児の身体的発達
第5回:乳幼児の心の発達と健康
第6回:乳幼児の運動機能の発達
第7回:乳幼児の遊びの発達と健康
第8回:乳幼児期の身体活動(運動遊び)の在り方
第9回:幼児の体格・運動能力に関する測定評価
第10回:乳幼児の基本的な生活習慣の現状と問題点
第11回:乳幼児の安全管理と安全教育
第12回:実際の事故事例と応急処置法
第13回:指導案作成(グループ活動)①
第14回:指導案作成(グループ活動)②
第15回:まとめ

[成績評価方法]
授業態度・発表(30%)、指導案等の小レポート(20%)、講義内容に関するテスト(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業中やmanabaを通して行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	幼児と健康	前期	講義	2 単位
サブタイトル	子どもの健康と育ち			
担当者	住本　純			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：試験、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：試験

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：授業態度・発表

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：試験、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-5／教員という職業自体が社会的に特に高い人格・識見を求められる性質のものであることから、教員としての使命感を自覚し、その資質向上のためにたゆまず研鑽を積む態度と幼児・児童・生徒に対する教育的愛情をもつことができる。
成績評価方法：レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業態度・発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：試験、レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：試験、レポート課題

[教科書（ISBN）]
幼稚園教育要領解説 （平成30年3月） 著者名：文部科学省　出版社：フレーベル館 （9784577814475）

[参考書（ISBN）]
保育所保育指針解説書　著者名：厚生労働省　出版社：フレーベル館 （9784577814239）
幼保連携型こども園教育・保育要領　著者名：内閣府
文部科学省
厚生労働省　出版社：フレーベル館 （9784577814246）
幼児期運動指針ガイドブック　著者名：文部科学省　出版社：サンライフ企画 （9784904011478）

科目名	幼児と言葉	前期	講義	2 単位
サブタイトル	豊かなコミュニケーションを基に育む言葉と思考			
担当者	隠岐　厚美			

[実務経験のある教員による授業]
〇

[到達目標]
① 言葉の特性や働きについて理解する
② 言葉の獲得・発達過程を理解する
③ ①②を踏まえ、豊かな言葉をはぐくむ保育者の在り方を実践的に理解する

[授業概要]
人は、「ひと」「もの」「こと（状況）」とのかかわりの中で言葉を獲得し、言葉を用いたコミュニケーションが可能となる。乳幼児期は言葉を獲得し、話し言葉の基盤が整い、思考が芽生える時期で会うrことから、この時期を共に過ごす保育者の果たす役割は大きい。そこで、本講義では、出生以降、コミュニケーションとしての言葉を獲得し、発達していく過程を平易に解説する。その上で乳幼児の言葉の発達を保証する保育者の関わり方や情報機器及び教材活用を学ぶ

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
前回の授業内容を復習し理解しておくこと。各回予習/ 復習合わせて4時間程度を要する。

[授業計画]
第1回：コミュニケーションと言葉
第2回：保育内容「言葉」で何を学ぶか―領域「言葉」のねらいと内容
第3回：乳児期のコミュニケーションと保育者の援助　①前言語期の特徴
第4回：乳児期のコミュニケーションと保育者の援助　②ことばの芽生え
第5回：幼児期のコミュニケーションと保育者の援助　①幼児期の言葉の特徴
第6回：幼児期のコミュニケーションと保育者の援助　②言葉の発達と心身の自立・自律
第7回：幼児期のコミュニケーションと保育者の援助　③言葉の発達と遊び・仲間関係の広がり
第8回：就学に向けて一話し言葉から読み・書き言葉への興味関心の広がりと保育者の援助
第9回：暮らしの中で言葉を育む
第10回：言葉を育む文化的環境　①保育教材としての児童文化
第11回：言葉を育む文化的環境　②メディアと言葉
第12回：言葉を育む文化的環境　③保育の情報機器および教材の活用
第13回：演習　子どもの言葉を育む保育教材
第14回：グループ発表　言葉を育む保育教材
第15回：グループ発表　言葉を育む保育教材
第16回：定期試験

[成績評価方法]
定期試験、レポート課題、グループ発表を総合的に評価する（試験70%　レポート課題20%　グループ課題　１０%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
フィードバックは授業中に口頭で行う

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	幼児と言葉	前期	講義	2 単位
サブタイトル	豊かなコミュニケーションを基に育む言葉と思考			
担当者	隠岐　厚美			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：試験グループ発表レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：グループ発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：グループ発表　レポート課題

[教科書（ISBN）]
保育内容 指導法「言葉」乳幼児と育む豊かな言葉の世界　著者名：大橋喜美子　川北典子　編著　出版社：建帛社
（9784767951195）

[参考書（ISBN）]
平成29年度告示　幼稚園教育要領　保育所保育指針　幼保連携型認定こども園教育・保育容量　原本　著者名：内閣府　文部科学省　厚生労働省　出版社：チャイルド社　（ISBN13:978-4805402580）

S64740

科目名	幼児と人間関係	後期		2 単位
サブタイトル				
担当者	石田　裕子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
1.領域「人間関係」の内容を理解する。
2.幼児の人間関係の発達に関する基礎理論がわかるようになる。

[授業概要]
幼児教育における領域「人間関係」に関する基礎理論について学ぶ。映像資料や事例を通して理論を具体的にイメージしながら学ぶ。特に生活や遊びを通して人間関係を広げ、深めるための保育者の援助の在り方について考え、学生生活を通して自身にどのような経験や力が必要かを知る。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
公共の場、ボランティア先等での子どもやその周囲の人との関わりに関心を向けること
新聞に目を通し、社会問題にも関心を向けること
予習復習合わせて4時間程度

[授業計画]
1.現代の社会的状況と幼児をとりまく人間関係　関係発達論的視点とは
2.乳幼児期の愛着　基本的信頼感
3.3歳未満児の遊びや生活の中で見られる人間関係
4.自我の芽生え～自己主張の姿から見える自立心の育ち
5.自己主張と自己抑制の発達
6.人間関係における葛藤
7.共感性、向社会的行動の発達
8. 子どもの遊びをどのように捉えるか
9.遊びと人のつながり
10.個と集団との関係
11.幼児期の道徳性、規範意識の芽生えと育ち
12.幼児期の協同性を育むためには
13.困っている子どもを支援する
14.社会生活との関わりを通して育む人間関係
15.保護者とのコミュニケーション 及びまとめ

[成績評価方法]
試験（小テスト含む）50%　提出物25%　授業への積極的態度（授業内のrespon等で評価）25%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	幼児と人間関係	後期		2 単位
サブタイトル				
担当者	石田　裕子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：試験（小テスト含む）提出物　授業への積極的態度

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：試験（小テスト含む）提出物　授業への積極的態度

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：試験（小テスト含む）提出物　授業への積極的態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：提出物　授業への積極的態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法： 提出物　授業への積極的態度

[教科書（ISBN）]
保育実践を学ぶ　保育内容「人間関係」 著者名：咲間まり子編　出版社：みらい （978-4-86015-437-0）
幼稚園教育要領 保育所保育指針　幼保連携型認定こども園教育・保育要領　　著者名：文部科学省　厚生労働省　内閣府　出版社：フレーベル館 （978-4-8054-0258-0 ）

[参考書（ISBN）]
特になし

S62740

科目名	幼児と人間関係	後期		2 単位
サブタイトル				
担当者	石田　裕子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
1.領域「人間関係」の内容を理解する。
2.幼児の人間関係の発達に関する基礎理論がわかるようになる。

[授業概要]
幼児教育における領域「人間関係」に関する基礎理論について学ぶ。映像資料や事例を通して理論を具体的にイメージしながら学ぶ。特に生活や遊びを通して人間関係を広げ、深めるための保育者の援助の在り方について考え、学生生活を通して自身にどのような経験や力が必要かを知る。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
公共の場、ボランティア先等での子どもやその周囲の人との関わりに関心を向けること
新聞に目を通し、社会問題にも関心を向けること
予習復習合わせて4時間程度

[授業計画]
1.現代の社会的状況と幼児をとりまく人間関係　関係発達論的視点とは
2.乳幼児期の愛着　基本的信頼感
3.3歳未満児の遊びや生活の中で見られる人間関係
4.自我の芽生え～自己主張の姿から見える自立心の育ち
5.自己主張と自己抑制の発達
6.人間関係における葛藤
7.共感性、向社会的行動の発達
8. 子どもの遊びをどのように捉えるか
9.遊びと人のつながり
10.個と集団との関係
11.幼児期の道徳性、規範意識の芽生えと育ち
12.幼児期の協同性を育むためには
13.困っている子どもを支援する
14.社会生活との関わりを通して育む人間関係
15.保護者とのコミュニケーション 及びまとめ

[成績評価方法]
試験（小テスト含む）50%　提出物25%　授業への積極的態度（授業内のrespon等で評価）25%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	幼児と人間関係	後期		2 単位
サブタイトル				
担当者	石田　裕子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：試験（小テスト含む）提出物　授業への積極的態度

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：試験（小テスト含む）提出物　授業への積極的態度

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：試験（小テスト含む）提出物　授業への積極的態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：提出物　授業への積極的態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法： 提出物　授業への積極的態度

[教科書（ISBN）]
保育実践を学ぶ　保育内容「人間関係」 著者名：咲間まり子編　出版社：みらい （978-4-86015-437-0）
幼稚園教育要領 保育所保育指針　幼保連携型認定こども園教育・保育要領　　著者名：文部科学省　厚生労働省　内閣府　出版社：フレーベル館 （978-4-8054-0258-0 ）

[参考書（ISBN）]
特になし

S62741

科目名	幼児と表現Ⅰ	前期		2 単位
サブタイトル				
担当者	小林　田鶴子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
領域「表現」における、音楽表現の指導を取り上げ、「気づきを大切にし、学びにつながる音楽表現活動」をテーマに、幼児の感性を豊かにしつつ、表現遊びから学びにつながるための活動を支援するための知識、技能、表現力を身に着ける。

[授業概要]
音を出す様々な素材（声、身体、楽器等含む）を媒体とした、幼児が「聴く、感じる、楽しむ」ことを大切にした活動方法について海外の様々な音楽教育方法をヒントにして学ぶ。
また、幼児の音楽表現を支えるための条件、環境について体験するとともに、グループ学習で、幼児が協同して表現するための方法、表現活動の展開等について学ぶ。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
これまでの「音楽」という概念にとらわれず、幼児の表現について柔軟な視点を持って、常に幼児の表現行動に興味を持っておくこと。
授業でやった内容を実際に自分で試してみる等の復習も必要。
グループ活動では、時間を作って、協力して取組むこと。

[授業計画]
第1回：領域「表現」のねらいと音楽表現について
第2回：乳幼児の音楽的発達
第3回：音楽遊びから音楽表現活動へ－音を感じる・音で遊ぶ－
第4回：様々な表現活動1　－レッジョ・エミリア、オルフ、コダーイ、創造的音楽づくり―
第5回：様々な表現活動2　－リトミックと身体表現－
第6回：音楽表現1　－声・わらべうた・日本の伝統音楽を用した活動―
第7回：音楽表現2　－身の回りの物（音具）を使用した活動－
第8回：音楽表現3　－奏でる活動の実践（楽器等使って）－
第9回：音楽表現4　－他の領域との総合的な活動－
第10回：音楽表現とICTの活用
第11回：豊かな音楽表現を支えるための支援（外部講師招聘）
第12回：音楽表現の指導案作成
第13回：音楽j表現についてのグループ活動1
第14回：音楽表現についてのグループ活動2
第15回：音楽表現についての発表　グループ発表と授業内まとめテスト

[成績評価方法]
グループ発表40%　まとめテスト40%　授業への取り組み20%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
グループ発表後、講評を言って、今後の課題を示す。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	幼児と表現Ⅰ	前期		2 単位
サブタイトル				
担当者	小林　田鶴子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業への取り組み・課題発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：授業への取り組み・課題発表

[教科書（ISBN）]
表現者を育てるための保育内容「音楽表現」ー音遊びから音楽表現へー　著者名：石井玲子　他　出版社：教育情報出版社 （978-4-909378-16-3）

[参考書（ISBN）]
実践しながら学ぶ　子どもの音楽表現　著者名：石井玲子　他　出版社：教育情報出版社 （978-4-938795-78-8）

S62720

科目名	幼児と表現Ⅱ	後期	Ⅰ	2 単位
サブタイトル	幼児の造形表現の理解と表現技法、感性の育成			
担当者	守本　智美、山成　昭世			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
幼児の造形表現の活動において、感性、創造性を豊かにする適切な支援が出来るようになることを目標とする。幼児の造形表現の姿やその生成過程、多様な素材や技法などに関する基礎的な知識や技能、表現手法について学ぶ。
(1)幼児の造形表現の姿やその発達を理解する。
(2)幼児の造形表現の基礎的な知識・技能を学び、幼児の表現を支える感性を豊かにする。

[授業概要]
平成30年度実施幼稚園教育要領の領域「表現」の内容の取扱いにもある通り、「豊かな感性」を重視し、授業では幼児の造形表現とその発達について理解する。幼児の感性や創造性を豊かにする造形表現の基礎的な知識・技能・表現力等を身につける。
授業では実際に造形素材、表現技法を学び指導の実践に役立てられるようにする。また、自作品や他者の作品、造形作品の画像、映像等で鑑賞し学生が「表現とは何か」という根源的な問いに向き合い美に対する感性を高め、創造性を養えるようにする。
学生自身がパソコンやカメラ等のICT機器を活用しポートフォリオ作成やプレゼンテーション等を行い、ICT機器の操作にも慣れるようにする。
「manaba(マナバ)」にて授業に必要な情報を指示するので、各自manabaに登録して注意しておくこと。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
各回、予習復習あわせて4時間程度。各自、造形表現に関する参考書籍を読み、様々な知識を身に付け、技法を習得するとともに、造形作品の鑑賞をし感性を高められるようにすること。

[授業計画]
1.はじめに(マナバ上にて指示します)＜授業の進め方、心構え、準備物＞(守本・山成)
2.表現技法①　絵具やパスを使って(山成)
3.表現技法②　絵具やパスを使って(山成)
4.感性と造形表現について　作品制作(守本)
5.素材と表現について　作品制作(守本)
6.授業のまとめ　ポートフォリオにまとめる(山成)
7.表現技法③　版による表現　スタンプ遊び(自然物、人工物)(山成)
8.可塑性のある資材を使って(山成)
　保育現場でよく使われる素材　造形指導する時の環境についての配慮や注意点
9.イメージの表現について　作品制作(守本)
10.テーマにそった造形作品の制作(守本)
11.植物の表現について　作品制作(守本)
12.動物の表現について　作品制作(守本)
13.造形遊び(人工物を使って)(山成)
　小学校との連続性について　ICT機器を使って造形活動を可視化しまとめる
　プレゼンテーションによる鑑賞活動
14.作って遊ぶ (山成)
　身の回りの材料を使って作ったもので遊ぶ
　授業のまとめと振り返り
15.鑑賞教育について　まとめ(守本)

※2クラスに分け、manabaによる授業(守本)と、面接授業(山成)で実施

[成績評価方法]
・課題作品のポートフォリオ50%
・レポート40%
・授業、課題への取り組み10%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題作品等にはコメントをします。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	幼児と表現Ⅱ	後期		2 単位
サブタイトル	幼児の造形表現の理解と表現技法、感性の育成			
担当者	守本　智美、山成　昭世			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法:課題作品、レポート

学科DP番号／DP内容:教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法:課題作品、レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:課題作品、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:課題作品、レポート

[教科書(ISBN)]
なし。授業中に指示する。 (なし
)

[参考書(ISBN)]
なし

S62730

科目名	幼児と表現Ⅱ	後期	Ⅰ	2 単位
サブタイトル	幼児の造形表現の理解と表現技法、感性の育成			
担当者	守本　智美、山成　昭世			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
幼児の造形表現の活動において、感性、創造性を豊かにする適切な支援が出来るようになることを目標とする。幼児の造形表現の姿やその生成過程、多様な素材や技法などに関する基礎的な知識や技能、表現手法について学ぶ。
(1)幼児の造形表現の姿やその発達を理解する。
(2)幼児の造形表現の基礎的な知識・技能を学び、幼児の表現を支える感性を豊かにする。

[授業概要]
平成30年度実施幼稚園教育要領の領域「表現」の内容の取扱いにもある通り、「豊かな感性」を重視し、授業では幼児の造形表現とその発達について理解する。幼児の感性や創造性を豊かにする造形表現の基礎的な知識・技能・表現力等を身につける。
授業では実際に造形素材、表現技法を学び指導の実践に役立てられるようにする。また、自作品や他者の作品、造形作品の画像、映像等で鑑賞し学生が「表現とは何か」という根源的な問いに向き合い美に対する感性を高め、創造性を養えるようにする。
学生自身がパソコンやカメラ等のICT機器を活用しポートフォリオ作成やプレゼンテーション等を行い、ICT機器の操作にも慣れるようにする。
その他、「manaba(マナバ)」にて授業に必要な情報を指示するので、各自manabaに登録して注意しておくこと。

[準備学修(授業前後の主体的な学修)]
各回、予習復習あわせて4時間程度。各自、造形表現に関する参考書籍を読み、様々な知識を身に付け、技法を習得するとともに、造形作品の鑑賞をし感性を高められるようにすること。

[授業計画]
1.はじめに(マナバ上にて指示します)＜授業の進め方、心構え、準備物＞(守本・山成)
2.表現技法①　絵具やパスを使って(山成)
3.表現技法②　絵具やパスを使って(山成)
4.感性と造形表現について　作品制作(守本)
5.素材と表現について　作品制作(守本)
6.授業のまとめ　ポートフォリオにまとめる(山成)
7.表現技法③　版による表現　スタンプ遊び(自然物、人工物)(山成)
8.可塑性のある資材を使って(山成)
　保育現場でよく使われる素材　造形指導する時の環境についての配慮や注意点
9.イメージの表現について　作品制作(守本)
10.テーマにそった造形作品の制作(守本)
11.植物の表現について　作品制作(守本)
12.動物の表現について　作品制作(守本)
13.造形遊び(人工物を使って)(山成)
　小学校との連続性について　ICT機器を使って造形活動を可視化しまとめる
　プレゼンテーションによる鑑賞活動
14.作って遊ぶ (山成)
　身の回りの材料を使って作ったもので遊ぶ
　授業のまとめと振り返り
15.鑑賞教育について　まとめ(守本)

※2クラスに分け、manabaによる授業(守本)と、面接授業(山成)で実施

[成績評価方法]
・課題作品のポートフォリオ50%
・レポート40%
・授業、課題への取り組み10%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題作品等へはコメントをします。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	幼児と表現Ⅱ	後期		2 単位
サブタイトル	幼児の造形表現の理解と表現技法、感性の育成			
担当者	守本　智美、山成　昭世			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法:課題作品、レポート

学科DP番号／DP内容:教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法:課題作品、レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:課題作品、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:課題作品、レポート

[教科書(ISBN)]
なし。授業中に指示する。 (なし
)

[参考書(ISBN)]
なし

S62731

科目名	幼児理解論	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	三宅　茂夫			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
乳幼児期の子どもの内面等の発達について理解し、幼児理解の基本的な考え方や方法、それらを保育に活かす方法などの修得を目指す。

[授業概要]
保育者が子どもの発達を促すためには、乳幼児期の発達の特性や園生活の全体を見通して彼らの成長の実情を把握し、そのうえで子ども一人ひとりの発達の実態と課題を明らかにする必要がある。そうすることで、保育者は個々の子どもの発達の課題にとって有意義な活動や環境、さらには指導・援助を導き出すことができる。その基盤となるのが「子ども理解」である。子どもは保護者や保育者の前で、個や集団の中で、様々な生活場面で、多様な姿をみせることから、保育者は子どもの行動などから多面的な理解を深めていく必要がある。また、保育者は子どもを常に成長・発達する存在ととらえ、日々の園生活の中で子どもの観察を随時行い、子どもへの認識を繰り返し修正することが重要となる。
本授業では、乳幼児期の内面等の発達について理解を深めながら、子どもの生活する姿などから理解するための基本的な考え方や方法、それを保育に位置づけていくことなどについて学ぶ。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習をしておくこと。日常的に授業に関係する情報に関心を持ち、問題意識を持って、積極的に学びを進めること。授業内容が講義の場合は予習・復習合わせて4時間程度　演習の場合は予習・復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. オリエンテーション、乳幼児理解の基本的な考え方
2. 乳幼児理解の観点1
3. 乳幼児理解の観点2
4. 乳幼児期の発達理解1（認知に関するもの）
5. 乳幼児期の発達理解2（身体に関するもの）
6. 乳幼児期の発達理解3（コミュニケーションに関するもの）
7. 乳幼児期の発達理解4（社会性と情動に関するもの）
8. 保育におけるカウンセリングマインド
9. 行動からの理解①
10. 行動からの理解②
11. 行動からの理解③、観察演習にむけて
12. 観察の実際（観察演習）
13. 保育における乳幼児理解と評価①
14. 保育における乳幼児理解と評価②
15. まとめ

[成績評価方法]
試験（80%）、課題及び発表（20%）を総合して行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
まとめ後、解答の解説を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	幼児理解論	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	三宅　茂夫			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：試験、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：試験、レポート課題、プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：試験、レポート課題、プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：レポート課題、プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：試験、レポート課題、プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育3-5／教員という職業自体が社会的に特に高い人格・識見を求められる性質のものであることから、教員としての使命感を自覚し、その資質向上のためにたゆまず研鑽を積む態度と幼児・児童・生徒に対する教育的愛情をもつことができる。
成績評価方法：レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題、プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート課題、プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：プレゼンテーション

[教科書（ISBN）]
「幼児理解に基づいた評価（平成31年3月）」2019　著者名：文部科学省著　出版社：チャイルド本社　(9784805402832)

[参考書（ISBN）]
なし

科目名	幼児理解論	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	三宅　茂夫			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
乳幼児期の子どもの内面等の発達について理解し、幼児理解の基本的な考え方や方法、それらを保育に活かす方法などの修得を目指す。

[授業概要]
保育者が子どもの発達を促すためには、乳幼児期の発達の特性や園生活の全体を見通して彼らの成長の実情を把握し、そのうえで子ども一人ひとりの発達の実態と課題を明らかにする必要がある。そうすることで、保育者は個々の子どもの発達の課題にとって有意義な活動や環境、さらには指導・援助を導き出すことができる。その基盤となるのが「子ども理解」である。子どもは保護者や保育者の前で、個や集団の中で、様々な生活場面で、多様な姿をみせることから、保育者は子どもの行動などから多面的な理解を深めていく必要がある。また、保育者は子どもを常に成長・発達する存在ととらえ、日々の園生活の中で子どもの観察を随時行い、子どもへの認識を繰り返し修正することが重要となる。
本授業では、乳幼児期の内面等の発達について理解を深めながら、子どもの生活する姿などから理解するための基本的な考え方や方法、それを保育に位置づけていくことなどについて学ぶ。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習をしておくこと。日常的に授業に関係する情報に関心を持ち、問題意識を持って、積極的に学びを進めること。授業内容が講義の場合は予習・復習合わせて4時間程度　演習の場合は予習・復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. オリエンテーション、乳幼児理解の基本的な考え方
2. 乳幼児理解の観点1
3. 乳幼児理解の観点2
4. 乳幼児期の発達理解1（認知に関するもの）
5. 乳幼児期の発達理解2（身体に関するもの）
6. 乳幼児期の発達理解3（コミュニケーションに関するもの）
7. 乳幼児期の発達理解4（社会性と情動に関するもの）
8. 保育におけるカウンセリングマインド
9. 行動からの理解①
10. 行動からの理解②
11. 行動からの理解③、観察演習にむけて
12. 観察の実際（観察演習）
13. 保育における乳幼児理解と評価①
14. 保育における乳幼児理解と評価②
15. まとめ

[成績評価方法]
試験（80%）、課題及び発表（20%）を総合して行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
まとめ後、解答の解説を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	幼児理解論	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	三宅　茂夫			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：試験、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：試験、レポート課題、プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育1-3／子どもの成長や発達について、科学的に理解している。
成績評価方法：試験、レポート課題、プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：レポート課題、プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：試験、レポート課題、プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育3-5／教員という職業自体が社会的に特に高い人格・識見を求められる性質のものであることから、教員としての使命感を自覚し、その資質向上のためにたゆまず研鑽を積む態度と幼児・児童・生徒に対する教育的愛情をもつことができる。
成績評価方法：レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題、プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート課題、プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：プレゼンテーション

[教科書（ISBN）]
「幼児理解に基づいた評価（平成31年3月）」2019　著者名：文部科学省著　出版社：チャイルド本社　(9784805402832)

[参考書（ISBN）]
なし

科目名	幼稚園教育課程論	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	三宅　茂夫			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
教育課程の意味や構造を理解し、その基盤となる「幼稚園教育要領」等から教育課程の編成に関する基礎的事項について理解し、指導計画作成において必要となる知識や技能の修得を目指す。

[授業概要]
幼稚園とは、学校教育法に示されるように「義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長すること」を目的とした、法が定めるところの教育機関（学校）である。したがって、幼稚園では、目的に沿った教育が計画的に実施されなければならない。このような教育が展開される際に、柱となるのが教育課程である。教育課程の編成は、学校教育法施行規則に定められているように、「幼稚園教育要領」に準拠しなければならない。
本授業では、学校教育における幼稚園教育の文脈を明確にしながら、「幼稚園教育要領」を丁寧に読み解き、教育課程に関する基礎的事項や、教育課程を基盤とした指導計画作成において必要となる知識や技能について学ぶ。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習をしておくこと。日常的に授業に関係する情報に関心を持ち、問題意識を持って、積極的に学びを進めること。授業内容が講義の場合は予習・復習合わせて4時間程度　演習の場合は予習・復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. オリエンテーション、教育や保育の意味
2. 学校教育における幼稚園教育
3. 「生きる力」と幼稚園教育
4. 幼稚園教育の意義と目的、目標
5. 幼児教育の基本について①（環境を通して行う教育）
6. 幼児教育の基本について②（幼児期にふさわしい生活の展開）
7. 幼児教育の基本について③（遊びを通しての総合的な指導）
8. 幼児教育の基本について④（一人ひとりの発達の特性に応じた指導）
9. 幼児教育における領域概念①
10. 幼児教育における領域概念②
11. 教育課程の意味と構造、編成と指導計画
12. 保育の構造と構成、評価
13. 幼・保・小・地域連携をめざした教育課程と実践
14. 「生きる力」の基礎を培う教育課程と教育実践
15. まとめ

[成績評価方法]
試験（80%）、課題及び発表（20%）を総合して行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
まとめ後、解答の解説を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	幼稚園教育課程論	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	三宅　茂夫			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：試験、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：試験、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：試験、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：レポート課題、プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：レポート課題、プレゼンテーション

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題、プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート課題、プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：プレゼンテーション

[教科書（ISBN）]
「知のゆりかご　教育・保育カリキュラム論」2019　著者名：田中亨胤・三宅茂夫編　出版社：（株）みらい　（9784860154783）

[参考書（ISBN）]
「幼稚園教育要領解説（平成30年3月）」2018　著者名：文部科学省著
　出版社：フレーベル館　（9784577814475
）
「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（平成30年3月）」2018　著者名：内閣府・文部科学省・厚生労働省著　出版社：フレーベル館　（9784577814499
）

S62010

科目名	幼稚園教育課程論	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	三宅　茂夫			

[実務経験のある教員による授業]
○

[到達目標]
教育課程の意味や構造を理解し、その基盤となる「幼稚園教育要領」等から教育課程の編成に関する基礎的事項について理解し、指導計画作成において必要となる知識や技能の修得を目指す。

[授業概要]
幼稚園とは、学校教育法に示されるように「義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長すること」を目的とした、法が定めるところの教育機関（学校）である。したがって、幼稚園では、目的に沿った教育が計画的に実施されなければならない。このような教育が展開される際に、柱となるのが教育課程である。教育課程の編成は、学校教育法施行規則に定められているように、「幼稚園教育要領」に準拠しなければならない。
本授業では、学校教育における幼稚園教育の文脈を明確にしながら、「幼稚園教育要領」を丁寧に読み解き、教育課程に関する基礎的事項や、教育課程を基盤とした指導計画作成において必要となる知識や技能について学ぶ。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習をしておくこと。日常的に授業に関係する情報に関心を持ち、問題意識を持って、積極的に学びを進めること。授業内容が講義の場合は予習・復習合わせて4時間程度　演習の場合は予習・復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. オリエンテーション、教育や保育の意味
2. 学校教育における幼稚園教育
3.「生きる力」と幼稚園教育
4. 幼稚園教育の意義と目的、目標
5. 幼児教育の基本について①（環境を通して行う教育）
6. 幼児教育の基本について②（幼児期にふさわしい生活の展開）
7. 幼児教育の基本について③（遊びを通しての総合的な指導）
8. 幼児教育の基本について④（一人ひとりの発達の特性に応じた指導）
9. 幼児教育における領域概念①
10. 幼児教育における領域概念②
11. 教育課程の意味と構造、編成と指導計画
12. 保育の構造と構成、評価
13. 幼・保・小・地域連携をめざした教育課程と実践
14.「生きる力」の基礎を培う教育課程と教育実践
15. まとめ

[成績評価方法]
試験（80%）、課題及び発表（20%）を総合して行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
まとめ後、解答の解説を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	幼稚園教育課程論	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	三宅　茂夫			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：試験、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：試験、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-1／よりよい社会をつくるための教育について考えることができる。
成績評価方法：試験、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：レポート課題、プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育3-4／教育学・保育学・心理学についての専門性を身につけた者として、他者と協調・協働しながら教育目標を実現していくことができる。
成績評価方法：レポート課題、プレゼンテーション

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題、プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート課題、プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：プレゼンテーション

[教科書（ISBN）]
「知のゆりかご　教育・保育カリキュラム論」2019　著者名：田中亨胤・三宅茂夫編　出版社：（株）みらい　（9784860154783）

[参考書（ISBN）]
「幼稚園教育要領解説（平成30年3月）」2018　著者名：文部科学省著
　出版社：フレーベル館　（9784577814475
）
「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（平成30年3月）」2018　著者名：内閣府・文部科学省・厚生労働省著　出版社：フレーベル館　（9784577814499
）

S62011

科目名	理科概説	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	村田　恵子、稲垣　善茂			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
小学校教諭として必要な理科基礎実験の知識や技術が習得できるようになることを目指す。

[授業概要]
　小学校理科全般の教科内容について講義を行う。特に、小学校学習指導要領の目標や内容および指導計画について解説するとともに、物理・化学・生物・地学分野ごとに下記のテーマについて実験・実習を行い、結果をまとめてレポートを提出する。
　講義内では、情報機器を活用した教材提示の手法も適時指導する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
　事前に配布するプリントをよく読み、実験・演習内容を理解しておくこと。また、前回の実験・演習のレポートを提出すること。各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
1.オリエンテーション（稲垣・村田）
2.（1）てこ、輪軸、滑車（物理担当：村田）
3.（2）浮力と比重（物理担当：村田）
4.（3）光と反射（物理担当：村田）
5.（1）細胞（生物担当：稲垣）
6.（2）染色体及び組織・器官（生物担当：稲垣）
7.（3）消化と酵素（生物担当：稲垣）
8.（1）溶液の濃度・調製法（化学担当：稲垣）
9.（2）酸と塩基・中和滴定（化学担当：稲垣）
10.（3）糖類の性質（還元性）（化学担当：稲垣）
11.（1）月（地学担当：村田）
12.（2）太陽（地学担当：村田）
13.（3）星（地学担当：村田）
14.まとめ（物理・化学分野）（稲垣・村田）
15.まとめ（生物・地学分野）（稲垣・村田）

[成績評価方法]
レポート（60点）と試験（40点）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートいついては採点し、返却時に模範解答等を配布する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	理科概説	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	村田　恵子、稲垣　善茂			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：試験・レポート

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：試験・レポート

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：試験・レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：試験・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：試験・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：試験・レポート

[教科書（ISBN）]
『小学校学習指導要領解説　理科編』 著者名：文部科学省　出版社：大日本図書 （978-4-477-01949-9）

[参考書（ISBN）]
『小学校理科の指導』 著者名：森本信也・森藤義孝　編著　出版社：建帛社 （978-4-7679-2103-7）

S61160 [LH2-100]

科目名	理科教育法	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	村田　恵子、稲垣　善茂			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
小学校教諭として必要な理科基礎実験の知識や技術が習得できるようになることをめざす。

[授業概要]
小学校理科全般の教科内容及びその指導法について講義を行う。特に、小学校学習指導要領の目標や内容および指導計画について解説するとともに、学習指導案の作成や指導上の留意点、学習評価の考え方を理解し、模擬授業の実施とそのふりかえりを通して授業改善の視点を身につけさせる。また、情報機器及び教材の効果的な活用と当該教材の目標及び主な内容、全体構造理解のために物理・化学・生物・地学分野ごとに下記のテーマについて実験・実習を行い、結果をまとめてレポートを提出する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
事前に配布するプリントをよく読んで、実験・演習内容を理解しておくこと。また、前回の実験・演習のレポートを提出すること。各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
1:オリエンテーション（稲垣・村田）
2:（1）電気の回路（物理担当：村田）
3:（2）豆電球（物理担当：村田）
4:（3）磁石及び指導案作成および模擬授業の実施（物理担当：村田）
5:（1）光合成（生物担当：稲垣）
6:（2）呼吸と発酵（生物担当：稲垣）
7:（3）花から実への指導案作成および模擬授業の実施（生物担当：稲垣）
8:（1）固体の精製（再結晶）（化学担当：稲垣）
9:（2）液体の精製（蒸留）（化学担当：稲垣）
10:（3）水溶液の性質の指導案作成および模擬授業の実施（化学担当：稲垣）
11:（1）気象（地学担当：村田）
12:（2）水と地形（地学担当：村田）
13:（3）地層と化石・岩石及び指導案作成および模擬授業の実施（地学担当：村田）
14：まとめ（物理・化学分野）（稲垣・村田）
15：まとめ（生物・地学分野）（稲垣・村田）

[成績評価方法]
レポート（60点）と試験（40点）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートについては採点し、模範解答等をmanabaにアップする。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	理科教育法	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	村田　恵子、稲垣　善茂			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：試験・レポート

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：試験・レポート

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：試験・レポート

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：試験レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験・レポ―ト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：試験・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：試験・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：試験・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：試験・レポート

[教科書（ISBN）]
『小学校学習要領解説理科編』 著者名：文部科学省　出版社：大日本図書 （978-4-477-01949-9）

[参考書（ISBN）]
『小学校理科の指導』 著者名：森本信也・森藤義孝　編著　出版社：建帛社 （978-4-7679-2094-8）

S61040 [LH3-145]

科目名	理科教育法	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	村田　恵子、稲垣　善茂			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
小学校教諭として必要な理科基礎実験の知識や技術が習得できるようになることをめざす。

[授業概要]
小学校理科全般の教科内容及びその指導法について講義を行う。特に、小学校学習指導要領の目標や内容および指導計画について解説するとともに、学習指導案の作成や指導上の留意点、学習評価の考え方を理解し、模擬授業の実施とそのふりかえりを通して授業改善の視点を身につけさせる。また、情報機器及び教材の効果的な活用と当該教材の目標及び主な内容、全体構造理解のために物理・化学・生物・地学分野ごとに下記のテーマについて実験・実習を行い、結果をまとめてレポートを提出する。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
事前に配布するプリントをよく読んで、実験・演習内容を理解しておくこと。また、前回の実験・演習のレポートを提出すること。各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
1:オリエンテーション（稲垣・村田）
2:（1）電気の回路（物理担当：村田）
3:（2）豆電球（物理担当：村田）
4:（3）磁石及び指導案作成および模擬授業の実施（物理担当：村田）
5:（1）光合成（生物担当：稲垣）
6:（2）呼吸と発酵（生物担当：稲垣）
7:（3）花から実への指導案作成および模擬授業の実施（生物担当：稲垣）
8:（1）固体の精製（再結晶）（化学担当：稲垣）
9:（2）液体の精製（蒸留）（化学担当：稲垣）
10:（3）水溶液の性質の指導案作成および模擬授業の実施（化学担当：稲垣）
11:（1）気象（地学担当：村田）
12:（2）水と地形（地学担当：村田）
13:（3）地層と化石・岩石及び指導案作成および模擬授業の実施（地学担当：村田）
14：まとめ（物理・化学分野）（稲垣・村田）
15：まとめ（生物・地学分野）（稲垣・村田）

[成績評価方法]
レポート（60点）と試験（40点）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートについては採点し、模範解答等をmanabaにアップする。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	理科教育法	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	村田　恵子、稲垣　善茂			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：試験・レポート

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：試験・レポート

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：試験・レポート

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教育における現代的な課題に対し、多様な価値観を尊重するとともに「対話力」をもって自らの意志を伝えながら問題解決していくことができる。
成績評価方法：試験レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験・レポ―ト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：試験・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：試験・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：試験・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画力・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：試験・レポート

[教科書（ISBN）]
『小学校学習要領解説理科編』 著者名：文部科学省　出版社：大日本図書 （978-4-477-01949-9）

[参考書（ISBN）]
『小学校理科の指導』 著者名：森本信也・森藤義孝　編著　出版社：建帛社 （978-4-7679-2094-8）

科目名	理科教材研究	後期		2 単位
サブタイトル				
担当者	村田　恵子、稲垣　善茂			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
将来、小学校教員として理科の授業ができる資質を身につける。

[授業概要]
　小学校の理科は、「エネルギー・粒子」、「生命・地球」、の二つの分野からなるが、演習では「物理」、「化学」、「生物」、「地学」の4分野に分けて行う。理科は観察や実験など体験を通して学ぶことが大切なため、「理科概説」や「理科教育法」では主に実験・演習などの実技に重点をおいている。しかし、各分野は範囲が広いため、理科概説各分野3回、理科教育法各分野3回の合計6回の授業ではそれぞれの分野が網羅できない。そこで、理科概説や理科教育法で扱わなかった分野を取り上げるとともに、理科の理論面での強化を図る。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
「理科概説」や「理科教育法」の内容を理解し、疑問点や質問内容を明確にしておくこと。各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
1.総合（光・色）（村田）
2.地球から見た月・太陽・星の動き（地学：村田）
3.地震と地殻変動（地学：村田）
4.岩石（地学：村田）
5.化学の基礎、物質の構造（化学：稲垣）
6.物質の状態（化学：稲垣）
7.物質の変化、物質の性質（化学：稲垣）
8.器具の取り扱い、細胞と生殖、植物のつくり（生物：稲垣）
9.種子の発芽、光合成、植物の分類（生物：稲垣）
10.動物の分類、身近な動物（生物：稲垣）
11.ヒトのからだとしくみ、生物のつながり（生物：稲垣）
12.等速度・加速度運動（物理：村田）
13.物体のいろいろな運動（物理：村田）
14.仕事とエネルギー（物理：村田）
15.まとめ

[成績評価方法]
試験（50%）・課題（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題については採点し、返却時に模範解答等を配布する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	理科教材研究	後期		2 単位
サブタイトル				
担当者	村田　恵子、稲垣　善茂			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：試験・課題

学科DP番号／DP内容：教育1-4／一般教養および教員にふさわしい幅広い知識を備えている。
成績評価方法：試験・課題

学科DP番号／DP内容：教育3-2／修得した知識・技能をさまざまな場面で活用しながら自ら問題解決していける「自立心」を身につけている。
成績評価方法：試験・課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：試験・課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：試験・課題

[教科書（ISBN）]
プリント

[参考書（ISBN）]
なし

S64650

科目名	臨床心理学	前期	講義	2 単位
サブタイトル	多様な臨床心理学的アプローチ			
担当者	小原　依子			

[実務経験のある教員による授業]

[到達目標]
臨床心理学の諸理論と実践のあり方を学びながら、臨床心理学の基礎的知識を修得することを到達目標とする。

[授業概要]
近年の社会的動向や様々な問題と平行して「心のケア」や「カウンセリング」などの言葉が一般的にも広く知られるようになってきている。しかし、そのような行為の実践のためには、背景にある臨床心理学の諸理論をしっかり理解していることが重要である。この臨床心理学の授業では、「臨床心理学とは」という問いから始まり、その基礎的理論について歴史的な流れも含めて学ぶ。そして、人間理解をキーワードに、臨床心理学の対象となる領域を人間の発達的観点・ライフサイクルから理解する。また、心理臨床の実践において重要な心理アセスメント、心理療法などについての概説を行い、臨床心理学における理論と実践の基礎的理解を深める。

[準備学修（授業前後の主体的な学修）]
心理学一般の基本を復習しながら、前回の授業内容の理解を深め、次回の授業の予習をしておくこと。各回、予習・復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
1. 臨床心理学とは
2. 自己理解演習
3. 臨床心理学の基礎理論①　精神分析理論（心の構造、心的装置）
4. 臨床心理学の基礎理論②　認知・行動理論（行動療法）
5. 臨床心理学の基礎理論③　人間性心理学理論（来談者中心療法）
6. 人間理解と心理アセスメント①　心理アセスメントとは
7. 人間理解と心理アセスメント②　質問紙法・作業検査法・投影法
8. 乳幼児期・児童期の心身の特性と心理臨床①
9. 乳幼児期・児童期の心身の特性と心理臨床②
10. 思春期・青年期の心身の特性と心理臨床①
11. 思春期・青年期の心身の特性と心理臨床②
12. 成人期・中年期の心身の特性と心理臨床①
13. 成人期・中年期の心身の特性と心理臨床②
14. 老年期の心身の特性と心理臨床
15. まとめ

[成績評価方法]
授業でのレポート課題(70%)、最終レポート課題(30%)等を総合的に判断して評価する。
・授業中の課題は、授業内でフィードバックする。
・試験については、答案回収後、解答の解説を行い、質問を受け付けます。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

科目名	臨床心理学	前期	講義	2 単位
サブタイトル	多様な臨床心理学的アプローチ			
担当者	小原　依子			

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学・心理学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：授業中の課題、レポート課題、試験

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学・心理学における専門的な知識と実践的な力の基礎を修得している。
成績評価方法：授業中の課題、レポート課題、試験

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を多角的な視点から柔軟な発想や感性でとらえたり、判断したりできる。
成績評価方法：授業中の課題、レポート課題、試験

学科DP番号／DP内容：教育2-3／教育・保育の方法や心理学的な援助の方法を「創造性」豊かに考えてそれを実践することができる。
成績評価方法：授業中の課題、レポート課題、試験

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学・心理学に関心をもち、その幅広い分野の知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：授業中の課題、レポート課題、試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業中の課題、レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業中の課題、試験

[教科書（ISBN）]
はじめての臨床心理学　著者名：森谷寛之・竹松志乃(編著)　出版社：北樹出版 （978-4-89384-550-4）

[参考書（ISBN）]
なし。授業内で随時紹介する。